

保健科学部
シラバス
Syllabus 2018

科目名: **英語 I**

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 医療における新しい情報は、日本人の研究成果であったとしても、多くは英文で発表されることが多い。したがって医療従事者として、医療をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うためには、英語で書かれた論文や文献を読んで理解することが必須の能力となっている。英語で書かれた文献を読むために必要な技能としては、英語の文法知識、語彙力などがあげられるが、それらに加え、英語の文章の段落構成に着目し、「論理的に読み解いていく」能力というものも求められる。本講では特にパラグラフリーディングを通じて、英語の文章を論理的に捉え、文章の大意を把握できる能力を身に付けることを目指す。

到達目標: (SBOs)
1) 基礎的な語彙の習得。
2) 英文の構造に着目して、適切な和訳ができる。
3) 内容のまとめや構成をとらえ、文章全体の読解ができる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義に出席する際には辞書を持参すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ①】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
2	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ②】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
3	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ③】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
4	1)2)3)	小テスト 【Why is the one hundred yen shop so successful? ①】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
5	1)2)3)	【Why is the one hundred yen shop so successful? ②】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
6	1)2)3)	【Why is the one hundred yen shop so successful? ③】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
7	1)2)3)	小テスト 【Increasing obesity in Mexico ①】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
8	1)2)3)	【Increasing obesity in Mexico ②】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
9	1)2)3)	【Increasing obesity in Mexico ③】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
10	1)2)3)	小テスト 【Language switching in not good for children ①】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
11	1)2)3)	【Language switching in not good for children ②】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
12	1)2)3)	【Language switching in not good for children ③】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
13	1)2)3)	小テスト 【Can a fetus be the victim of a crime? ①】 二つの意見を比較するための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
14	1)2)3)	【Can a fetus be the victim of a crime? ②】 二つの意見を比較するための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
15	1)2)3)	【Can a fetus be the victim of a crime? ③】	講義・演習	太田

二つの意見を比較するための文章構成を理解する。

教科書: Outlook on Society :Skills for Better Reading 2 (Emma Andrews) 南雲堂 【978-4-523-17560-5】

参考書: 使用しない。

科目名: **英語 I**

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 医療における新しい情報は、日本人の研究成果であったとしても、多くは英文で発表されることが多い。したがって医療従事者として、医療、特に言語聴覚療法をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行う(DP6)ためには、英語で書かれた論文や文献を読んで理解することが必須の能力となっている。英語で書かれた文献を読むために必要な技能としては、英語の文法知識、語彙などがあげられるが、それらに加え、英語の文章の段落構成に着目し、「論理的に読み解いていく」能力というものも求められる。本講では特にパラグラフリーディングを通じて、英語の文章を論理的に捉え、文章の大意を把握できる能力を身に付けることを目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 基礎的な語彙の習得。
2) 英文の構造に着目して、適切な和訳ができる。
3) 内容のまとめや構成をとらえ、文章全体の読解ができる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義に出席する際には辞書を持参すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ①】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
2	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ②】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
3	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ③】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
4	1)2)3)	小テスト 【Why is the one hundred yen shop so successful? ①】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
5	1)2)3)	【Why is the one hundred yen shop so successful? ②】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
6	1)2)3)	【Why is the one hundred yen shop so successful? ③】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
7	1)2)3)	小テスト 【Increasing obesity in Mexico ①】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
8	1)2)3)	【Increasing obesity in Mexico ②】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
9	1)2)3)	【Increasing obesity in Mexico ③】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
10	1)2)3)	小テスト 【Language switching in not good for children ①】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
11	1)2)3)	【Language switching in not good for children ②】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
12	1)2)3)	【Language switching in not good for children ③】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
13	1)2)3)	小テスト 【Can a fetus be the victim of a crime? ①】 二つの意見を比較するための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
14	1)2)3)	【Can a fetus be the victim of a crime? ②】 二つの意見を比較するための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
15	1)2)3)	【Can a fetus be the victim of a crime? ③】	講義・演習	太田

二つの意見を比較するための文章構成を理解する。

教科書: Outlook on Society :Skills for Better Reading 2 (Emma Andrews) 南雲堂 【978-4-523-17560-5】

参考書: 使用しない。

科目名: **英語 I**

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 医療における新しい情報は、日本人の研究成果であったとしても、多くは英文で発表されることが多い。したがって医療従事者として、医療をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うためには、英語で書かれた論文や文献を読んで理解することが必須の能力となっている。英語で書かれた文献を読むために必要な技能としては、英語の文法知識、語彙力などがあげられるが、それらに加え、英語の文章の段落構成に着目し、「論理的に読み解いていく」能力というものも求められる。本講では特にパラグラフリーディングを通じて、英語の文章を論理的に捉え、文章の大意を把握できる能力を身に付けることを目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 基礎的な語彙の習得。
2) 英文の構造に着目して、適切な和訳ができる。
3) 内容のまとめりや構成をとらえ、文章全体の読解ができる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義に出席する際には辞書を持参すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ①】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
2	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ②】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
3	1)2)3)	【America should be the first country to sign the Kyoto Protocol ③】 意見を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
4	1)2)3)	小テスト【Why is the one hundred yen shop so successful? ①】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
5	1)2)3)	【Why is the one hundred yen shop so successful? ②】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
6	1)2)3)	【Why is the one hundred yen shop so successful? ③】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
7	1)2)3)	小テスト【Increasing obesity in Mexico ①】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
8	1)2)3)	【Increasing obesity in Mexico ②】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
9	1)2)3)	【Increasing obesity in Mexico ③】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義	太田
10	1)2)3)	小テスト【Language switching is not good for children ①】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義	太田
11	1)2)3)	【Language switching is not good for children ②】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義	太田
12	1)2)3)	【Language switching is not good for children ③】 実験を通して自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義	太田
13	1)2)3)	小テスト【Can a fetus be the victim of a crime? ①】 二つの意見を比較するための文章構成を理解する。	講義	太田
14	1)2)3)	【Can a fetus be the victim of a crime? ②】 二つの意見を比較するための文章構成を理解する。	講義	太田
15	1)2)3)	【Can a fetus be the victim of a crime? ③】 二つの意見を比較するための文章構成を理解する。	講義	太田

教科書: Outlook on Society :Skills for Better Reading 2 (Emma Andrews) 南雲堂 【978-4-523-17560-5】

参考書： 特に指定しない

科目名: **英語 I**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習・SGD

授業概要: 国際的な感覚を養うとともに、日常生活に支障の無いレベルまでの英語力を身につけることを目標とする。。

到達目標: 1) ネイティブな英会話をある程度理解できる
(SBOs) 2) 簡単な英語表現をすることが出来る
3) 英語での簡単な会話が出来る

評価方法: 英語でのレポートにより評価

準備学習・履修上の注意等: 日常に出てくる単語を英語で何と表現するのか、毎日10分程度をかけて5単語ずつ習得するよう努力すること。

オフィスアワー: 水曜日5限

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	日本語字幕による映画鑑賞を行う。	講義	竹澤
2	1)	英語字幕による映画鑑賞を行い、イントネーションの重要性を理解する。	講義	竹澤
3	1)	英語字幕による映画鑑賞を行い、英語発音を理解する。	講義	竹澤
4	1)	ポイントを絞った映画鑑賞を行い、ネイティブ発音を理解する。	講義	竹澤
5	1)	ポイントを絞った映画鑑賞を行い、ネイティブ発音を理解する。	講義	竹澤
6	1)	ポイントを絞った映画鑑賞を行い、ネイティブ発音を理解する。	講義	竹澤
7	2)	英語で自己紹介をするためのテクニックを学習する。	講義	竹澤
8	2)	英語で自己紹介をする。	演習	竹澤
9	2)	英語で故郷の紹介をする。	演習	竹澤
10	2)	英語で故郷の紹介をする。	演習	竹澤
11	3)	英語で臨床工学について討論する。	SGD	竹澤
12	3)	英語で大学とは何かを討論する。	SGD	竹澤
13	3)	英語で将来の自分のありかたについて議論する。	SGD	竹澤
14	3)	英語で生きることは何かについて議論する。	SGD	竹澤
15	3)	英語で大学人はどうあるべきかを議論する。	SGD	竹澤

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない。

科目名: **英語Ⅱ**

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 作業療法学科、言語聴覚療法学科、視機能療法学科、臨床工学科、動物生命薬科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 医療における新しい情報は、日本人の研究成果であったとしても、多くは英文で発表されることが多い。したがって医療従事者として、医療をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うためには、英語で書かれた論文や文献を読んで理解することが必須の能力となっている。英語で書かれた文献を読むために必要な技能としては、英語の文法知識、語彙力などがあげられるが、それらに加え、英語の文章の段落構成に着目し、「論理的に読み解いていく」能力というものも求められる。本講では特にパラグラフリーディングを通じて、英語の文章を論理的に捉え、文章の大意を把握できる能力を身に付けることを目指す。

到達目標: (SBOs) 1) 基礎的な語彙の習得。
2) 英文の構造に着目して、適切な和訳ができる。
3) 内容のまとめりや構成をとらえ、文章全体の読解ができる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義に出席する際には辞書を持参すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【Political Systems ①】 事柄を分類して述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
2	1)2)3)	【Political Systems ②】 事柄を分類して述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
3	1)2)3)	【Political Systems ③】 事柄を分類して述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
4	1)2)3)	小テスト 【History of the Calendar ①】 出来事の起こった順序に従って述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
5	1)2)3)	【History of the Calendar ②】 出来事の起こった順序に従って述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
6	1)2)3)	【History of the Calendar ③】 出来事の起こった順序に従って述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
7	1)2)3)	小テスト 【Why Finland leads the IT race ①】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
8	1)2)3)	【Why Finland leads the IT race ②】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
9	1)2)3)	【Why Finland leads the IT race ③】 理由・原因を述べるための文章構成を理解する。	講義・演習	太田
10	1)2)3)	小テスト 【Unhappy without war? ①】 データに基づいて自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
11	1)2)3)	【Unhappy without war? ②】 データに基づいて自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
12	1)2)3)	【Unhappy without war? ③】 データに基づいて自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
13	1)2)3)	小テスト 【Food imports make Japan dependent on other countries ①】 データ(グラフ)に基づいて自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
14	1)2)3)	【Food imports make Japan dependent on other countries ②】 データ(グラフ)に基づいて自らの考察を述べる文章構成を理解する。	講義・演習	太田
15	1)2)3)	【Food imports make Japan dependent on other countries ③】	講義・演習	太田

データ(グラフ)に基づいて自らの考察を述べる文章構成を理解する。

教科書: Outlook on Society :Skills for Better Reading 2 (Emma Andrews) 南雲堂【978-4-523-17560-5】

参考書: 使用しない。

科目名: **情報処理入門**

担当者: 柴田 文孝(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 情報処理の道具であるコンピューターに関する知識と操作方法を習得する。情報の入手、処理、発信といった情報技術は学生生活にはもちろん、社会人になってからも必要不可欠なものである。コンピューター用語なども幅広く知識を広げ、パソコン操作についてもWordやExcelなどのソフトを使い、講義レポートや論文作成に役立てるようになる。

到達目標: (SBOs) 1) LANの仕組みやセキュリティーの重要性を知り、ファイルのバックアップについて、他メディアへの保存とクラウド保存ができる。フォルダーについて説明できる。
2) パソコンの初期設定を変更し、マウスやデスクトップ画面のカスタマイズができる。
3) 文字入力の基本とタッチタイピングの基礎を知り、キー操作を習得する。
4) Wordで文書を作成し、インデントやタブによる文字揃えや均等割付などができる。
5) PowerPointを使ってプレゼンテーションを作成できる。
6) Excelで表計算やグラフ作成ができるようになる。またピボットテーブル機能を知る。
7) WordとExcelの機能を生かして、両ソフトを使った文書が作成できる。
8) Wordの図形描画機能や文字列の折り返しについて理解する。

評価方法: 毎回の講義で作成したファイルの評価を50%、課題の提出状況及び授業態度、まとめとして実施する小テストなどを50%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: パソコンのスキルアップは日々の積み重ねになるので、講義で学んだことは配布プリントを使い、1コマあたり4時間を目安に自宅パソコンや学内のパソコンで復習し理解しておくこと。またシラバスを確認し、次の講義の用語や操作等について調べておくこと。個人用パソコンの所有者で学内LANに接続できるものはできるだけ個人パソコンを使用するのが望ましい。

オフィスアワー: 講義日の授業前後の可能な時間に授業実施教室で質問や相談に応じる。また前もって連絡があれば、教室の空き時間や非常勤講師控室で対応する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	ガイダンス パソコンとOS インターネット接続とWebメール設定	講義・演習	柴田文孝
2	2)3)	Windowsの初期設定 文字入力基礎 タッチタイピング練習 シャットダウンアイコン作成 アプリのピン止め	講義・演習	柴田文孝
3	3)	[Word] 文章入力と図形作成1 Wordの基本操作 タブとリボン ページ設定	講義・演習	柴田文孝
4	4)	[Word] 文章入力と図形作成2 文字の均等割付 ルーラーとインデントによる文字位置揃え	講義・演習	柴田文孝
5	3)4)	[Word]]表作成 セルの削除や挿入 列幅変更 罫線作成とセルの塗りつぶし	講義・演習	柴田文孝
6	5)	[PowerPoint]プレゼンテーション作成1 SnippingToolで画面を切り取り貼り付ける	講義・演習	柴田文孝
7	5)	[PowerPoint]プレゼンテーション作成2 アニメーション設定 スライドの表示 印刷設定	講義・演習	柴田文孝
8	6)	[Excel] 表計算ソフトの基礎1 セルの選択とオートフィル 四則計算	講義・演習	柴田文孝
9	6)	[Excel] 表計算ソフトの基礎2 行、列の削除、セルの移動とコピー グラフ作成	講義・演習	柴田文孝
10	6)	[Excel] 高低差付きグラフ Webページからのデータ取り込み	講義・演習	柴田文孝

11	7)	[WordとExcel] Excelで作成した図表をWordに貼りつける	講義・演習	柴田文孝
12	6)	[Excel] ピボットテーブル1 データの集計 検索と置換 並べ替え	講義・演習	柴田文孝
13	6)	[Excel] ピボットテーブル2 ピボットテーブルから3-D円グラフを作る	講義・演習	柴田文孝
14	3)4)	[Word] 案内文書作成 段落の網掛け ページ罫線 オンライン画像の挿入とBing検索	講義・演習	柴田文孝
15	3)4)	[Word] 2段組み文書作成 段組みと段落の塗りつぶし 縦書きテキストボックス	講義・演習	柴田文孝

教科書: 使用しない。

参考書: 特に指定しないが、分からないパソコン用語や操作方法は、その都度インターネットで検索すること。

科目名: **情報処理入門**

担当者: 柴田 文孝(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚学科・視機能学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 情報処理の道具であるコンピューターに関する知識と操作方法を習得する。情報の入手、処理、発信といった情報技術は学生生活にはもちろん、社会人になってからも必要不可欠なものである。コンピューター用語なども幅広く知識を広げ、パソコン操作についてもWordやExcelなどのソフトを使い、講義レポートや論文作成に役立てるようになる。

到達目標: (SBOs) 1) LANの仕組みやセキュリティーの重要性を知り、ファイルのバックアップについて、他メディアへの保存とクラウド保存ができる。フォルダーについて説明できる。
2) パソコンの初期設定を変更し、マウスやデスクトップ画面のカスタマイズができる。
3) 文字入力の基本とタッチタイピングの基礎を知り、キー操作を習得する。
4) Wordで文書を作成し、インデントやタブによる文字揃えや均等割付などができる。
5) PowerPointを使ってプレゼンテーションを作成できる。
6) Excelで表計算やグラフ作成ができるようになる。またピボットテーブル機能を知る。
7) WordとExcelの機能を生かして、両ソフトを使った文書が作成できる。
8) Wordの図形描画機能や文字列の折り返しについて理解する。

評価方法: 毎回の講義で作成したファイルの評価を50%、課題の提出状況及び授業態度、まとめとして実施する小テストなどを50%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: パソコンのスキルアップは日々の積み重ねになるので、講義で学んだことは配布プリントを使い、1コマあたり4時間を目安に自宅パソコンや学内のパソコンで復習し理解しておくこと。またシラバスを確認し、次の講義の用語や操作等について調べておくこと。個人用パソコンの所有者で学内LANに接続できるものはできるだけ個人パソコンを使用するのが望ましい。

オフィスアワー: 講義日の授業前後の可能な時間に授業実施教室で質問や相談に応じる。また前もって連絡があれば、教室の空き時間や非常勤講師控室で対応する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	ガイダンス パソコンとOS インターネット接続とWebメール設定	講義・演習	柴田文孝
2	2)3)	Windowsの初期設定 文字入力基礎 タッチタイピング練習 シャットダウンアイコン作成 アプリのピン止め	講義・演習	柴田文孝
3	3)	[Word] 文章入力と図形作成1 Wordの基本操作 タブとリボン ページ設定	講義・演習	柴田文孝
4	4)	[Word] 文章入力と図形作成2 文字の均等割付 ルーラーとインデントによる文字位置揃え	講義・演習	柴田文孝
5	3)4)	[Word]]表作成 セルの削除や挿入 列幅変更 罫線作成とセルの塗りつぶし	講義・演習	柴田文孝
6	5)	[PowerPoint]プレゼンテーション作成1 SnippingToolで画面を切り取り貼り付ける	講義・演習	柴田文孝
7	5)	[PowerPoint]プレゼンテーション作成2 アニメーション設定 スライドの表示 印刷設定	講義・演習	柴田文孝
8	6)	[Excel] 表計算ソフトの基礎1 セルの選択とオートフィル 四則計算	講義・演習	柴田文孝
9	6)	[Excel] 表計算ソフトの基礎2 行、列の削除、セルの移動とコピー グラフ作成	講義・演習	柴田文孝
10	6)	[Excel] 高低差付きグラフ Webページからのデータ取り込み	講義・演習	柴田文孝

11	7)	[WordとExcel] Excelで作成した図表をWordに貼りつける	講義・演習	柴田文孝
12	6)	[Excel] ピボットテーブル1 データの集計 検索と置換 並べ替え	講義・演習	柴田文孝
13	6)	[Excel] ピボットテーブル2 ピボットテーブルから3-D円グラフを作る	講義・演習	柴田文孝
14	3)4)	[Word] 案内文書作成 段落の網掛け ページ罫線 オンライン画像の挿入とBing検索	講義・演習	柴田文孝
15	3)4)	[Word] 2段組み文書作成 段組みと段落の塗りつぶし 縦書きテキストボックス	講義・演習	柴田文孝

教科書: 使用しない。

参考書: 特に指定しないが、分からないパソコン用語や操作方法は、その都度インターネットで検索すること。

科目名: **情報処理入門**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 臨床工学業務に不可欠なソフトの使用方法を理解し、十分活用できるようになるための基礎を学習する。内容はかなり高度なものまで含まれており(マイクロソフトオフィス検定)、卒論などで活用できるため、十分身につけることが望ましい。

到達目標: (SBOs)
1) 学科内で基本的なコンピュータ操作ができる。
2) Wordで文章の作成ができる。
3) Excellで計算の基本ができる。
4) PowerPointでプレゼンテーションの基本ができる。

評価方法: レポートと定期試験(実習)にて評価。

準備学習・履修上の注意等: ノート型パソコン(無線LAN付き)が必需品である。ソフトは、Microsoft社のWord、Excell、Power Pointを使用するので、大学から提供される無償バージョンなどをあらかじめインストールしておくこと。復習は必ず30分以上行い、ソフトに慣れておくこと。また、インターネットからの情報などを活用し、予習を30分程度行うと講義内容を理解しやすい。

オフィスアワー: 金曜日2限

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【コンピュータの基本設定】 コンピュータの基本構造およびソフトウェアについて理解する。	講義	竹澤
2	1)	【コンピュータの基本】 Windows上でのソフトウェアとインターネットについて理解する。	演習	竹澤
3	1)	【コンピュータの構造】 コンピュータを分解し、内部構造について理解する。	SGD	竹澤
4	2)	【コンピュータの部品動作】 分解したコンピュータ内部の動作を理解する。	SGD	竹澤
5	2)	【コンピュータの動作原理】 コンピュータ分解授業をまとめ、説明できる。	SGD	竹澤
6	2)	【Wordの基本1】 Wordの設定、基本操作ができる。	演習	竹澤
7	2)	【Wordの基本2】 Wordの基本文書校正ができる。	演習	竹澤
8	2)	【Wordの基本3】 Wordの基本操作<目次の自動作成>ができる。	演習	竹澤
9	3)	【Excelの基本1】 Excelの基本設定と基本計算方法が理解できる。	演習	竹澤
10	3)	【Excelの基本2】 Excelの基本計算方法<グラフ化>ができる。	演習	竹澤
11	3)	【Excelの基本3】 Excelの基本計算方法<シート間の計算>ができる。	演習	竹澤
12	3)	【Excelの基本4】 Excelの基本計算方法<if文を利用した条件判断>ができる。	演習	竹澤
13	3)	【Excelの基本5】 Excelの基本計算方法<Wordへの結果の貼り付け>ができる。	演習	竹澤
14	4)	【Power Pointの基本】 PowerPointの基本操作を学習し、テーマに沿った内容でレイアウトが取れる。	演習	竹澤
15	4)	【プレゼンテーション】 各自の調査した内容を発表し、他の学生に理解してもらう。	演習	竹澤

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **情報処理演習**

担当者: 柴田 文孝(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 1年時の情報処理入門で学んだ知識をさらに深め、WordやExcelの各種機能について学び、応用力を高める。講義のレポート作成や論文作成には不可欠のWordは、文書校閲や目次作成、脚注の挿入などについてもできるようになる。またExcelでは関数を組み合わせた文字列操作やデータ集計の関数、データ分析につかうグラフ作成を習得する。このほかWebページとHTMLの基礎についても理解しその作成方法を知る。

到達目標: (SBOs) 1) Wbrdでラベルや封筒、はがき印刷の機能を使い、名刺カードを作成する。
2) Webページについて理解し、HTMLのタグを使い簡単なWebページを作成できる。
3) Wbrdの校閲機能を使い、文書校正や、コメントの脚注が挿入できる。
4) Wbrd文書の段組みやドロップキャップ、図形描画などの機能を使った文書を作成する。
5) Excelの日付関数を使って月ごとに曜日が変わるカレンダーを作成し、IF関数やVLOOKUP関数と組み合わせて授業時間割を作成する。
6) Excelのピボットテーブル機能について知り、データ分析に役立てる。
7) Wbrd文書にExcelで作成した図表を図として貼り付けた文書を作成する。

評価方法: 毎回の講義で作成したファイルの評価を50%、課題の提出状況及び授業態度、まとめとして実施する小テストなどを50%として総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: パソコンのスキルアップは日々の積み重ねになるので、講義で学んだことは配布プリントを使い、自宅パソコンや学内のパソコンで復習し理解しておくこと。またシラバスを確認し、次の講義の用語や操作等について調べておくこと。個人用パソコンの所有者で学内LANに接続できるものはできるだけ個人パソコンを使用するのが望ましい。

オフィスアワー: 講義日の授業前後の可能な時間に授業実施教室で質問や相談に応じる。また前もって連絡があれば、教室の空き時間や非常勤講師控室で対応する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	Webメールのログイン確認 Wordで名刺を作る	講義・演習	柴田文孝
2	2)	HTML1 簡単なWebページを作成する 文字をブラウザで表示させる	講義・演習	柴田文孝
3	2)	HTML2 別のWebサイトへのリンク 画像貼り付け	講義・演習	柴田文孝
4	3)	[Word] 校閲機能 文章の訂正を記録する	講義・演習	柴田文孝
5	3)4)	[Word]]パンフレット作成1 縦書きの段組み文書を作る	講義・演習	柴田文孝
6	3)4)	[Word]]パンフレット作成2 表や図形、イラストを挿入する	講義・演習	柴田文孝
7	5)	[Excel] 日付関数を使う WEEKDAY関数などを使って万年カレンダーを作成する	講義・演習	柴田文孝
8	5)	[Excel] VLOOKUP関数 月ごとに自動処理する時間割を作成する	講義・演習	柴田文孝
9	2)	[Word] 目次作成 レポートに目次を付ける	講義・演習	柴田文孝
10	4)	WordとExcelのコラボレーション Excelで作成した図表をWord文書に貼り付ける	講義・演習	柴田文孝
	4)7)	[Excel] データベース機能		

11	データベース関数を使って特定の条件のデータを集計する	講義・演習 柴田文孝
12	6) [Excel] ピボットテーブル ピボットテーブルでデータを集計する	講義・演習 柴田文孝
13	5) [Excel] IF関数 条件に応じて入力値を変える	講義・演習 柴田文孝
14	5) [Excel] VLOOKUP関数 検索の方の違いを知る 近似値検索のTRUEと完全一致のFALSE	講義・演習 柴田文孝
15	4)7) [Word] 案内文作成 段組み 段落の塗りつぶし ページ罫線 イラスト挿入	講義・演習 柴田文孝

教科書: 使用しない。

参考書: 特に指定しないが、分からないパソコン用語や操作方法は、その都度インターネットで検索すること。

科目名: **情報処理演習**

担当者: 竹澤 真吾(保・工) 丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学に必要な情報処理について学習し、病院内での業務に応用できるレベルを目標とする。

到達目標: 1) コンピュータ内部の仕組みについて説明できる。
(SBOs) 2) インターネットの基本原則とウイルスについて理解できる。
3) コンピュータ内部での情報処理方法が理解できる。
4) ME2種、国家試験問題該当項目が理解できる。

評価方法: 毎回の課題と定期試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各自のノートパソコンが必須。

オフィスアワー: 講義後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【コンピュータの原理】 コンピュータ内部の物理的原理が説明できる。	演習	竹澤
2	2)	【インターネットとウイルス】 インターネットの基本原則が理解でき、ウイルス対策を説明できる。	演習	竹澤
3	3)	【論理式】 コンピュータ内部での計算に不可欠な論理式が理解できる。	演習	竹澤
4	3)	【論理回路・等価回路】 論理式を理解し、等価回路が導ける。	演習	竹澤
5	3)	【10進数からn進数へ】 10進数の数値をn進数に変換できる。	演習	竹澤
6	3)	【n進数から10進数へ】 n真数の数値を10進数に変換できる。	演習	竹澤
7	3)	【変調】 伝送時の変調が理解できる。	演習	竹澤
8	4)	【ME2種対策1】 4年前のME2種該当問題が理解できる。	演習	丹下
9	4)	【ME2種対策2】 3年前のME2種該当問題が理解できる。	演習	丹下
10	4)	【ME2種対策3】 2年前のME2種該当問題が理解できる。	演習	丹下
11	4)	【ME2種対策4】 1年前のME2種該当問題が理解できる。	演習	丹下
12	4)	【国家試験対策1】 3年前の国家試験該当問題が理解できる。	演習	丹下
13	4)	【国家試験対策2】 2年前の国家試験該当問題が理解できる。	演習	丹下
14	4)	【国家試験対策3】 1年前の国家試験該当問題が理解できる。	演習	丹下
15	4)	【国家試験対策4】 今年の国家試験該当問題が理解できる。	演習	丹下

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **キャリア教育**

担当者: 内勢 美絵子(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義,|SGD,|演習

授業概要: 本講義は、社会人・職業人として自立していくために基盤となる、「自らの力で生き方を選択していくことができる」よう必要な能力や態度を育成することを通じて、一人一人のキャリア発達を促していくことを目標としている。そのために、脳科学と認知心理学に基づいた「脳と心の仕組み」を活用して「生きる力」を育むための教育プログラム(下記教材)を中心として講義を進めていく。ゲームやディスカッションを通して楽しく学び、脳と心の仕組みを活用する方法を身体に記憶させていく。あわせて、脳と心に効果のあるボディワークについても紹介する。それらを通して、「社会的・職業的自立、社会・職業への円滑な移行に必要な力(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力、論理的思考力・創造力、意欲・態度、価値観)を身に付けることにつなげていく。
[教材]
川口菜旺子、伊藤卓也他:メンートル先生の遊んで脳トレ8ステップ。メンターリング・アソシエイツ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) キャリア教育で育成する力について理解できる
 - 2) いろいろな人と交わり、意見交換できる
 - 3) 各回の自らの目標を決め、実行できる
 - 4) 各回での学びを生活の中に汎化できる
 - 5) 各回、作業療法で活用できることを見つけることができる
 - 6) 自分自身の心身の状態、「脳が気持ちがいい」を確認できる
 - 7) 自分自身を振り返ることができる
 - 8) 脳が変わると行動が変わる仕組みを説明することができる
 - 9) 言葉が脳に及ぼす影響について説明できる
 - 10) 日頃、習慣として行っていることを挙げ、分析できる
 - 11) 自己効力感とは何であるかを説明できる
 - 12) 脳が感知しやすいものは何であるか確認できる
 - 13) 脳に感知させるためにはどうしたらよいか説明できる
 - 14) 賞賛を受け入れる効果を体験してみる
 - 15) 小さな成功体験に気づき、自尊心を身につけることができる
 - 16) 作業療法における段階付けと自尊心について意見を述べるができる
 - 17) 枠(或)を超えて自らの願望をストレートに表現してみる
 - 18) 前向きに自己の将来を設計する力を付けることができる
 - 19) 自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うことができる
 - 20) 自ら望む結果を真剣に考えることができる

評価方法: 各授業内でのディスカッション等の参加状況及び各授業終了後のミニレポート4割、総括レポート6割で総合評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 目標を持ち、主体的に参加すること。
復習として振り返りレポートを作成すること(30分程度)。
講義の中で学んだことを日常の中で実践し、次回の授業で報告するためにまとめること(30分程度)。

オフィスアワー: 月曜14:55~16:25、金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	オリエンテーション, 自己紹介, 自己分析(1)	講義,演習,SGD	内勢
2	1)~6)	脳と心のためのボディワーク	講義,演習,SGD	内勢
3	1)~6)8)	脳と心のしくみ	講義,演習,SGD	内勢
4	1)~6)9)	セルフトークと脳の働き	講義,演習,SGD	内勢
5	1)~6)10)	自己効力感を身につける	講義,演習,SGD	内勢
6	1)~6)11)	意識の焦点を変えると人生が動き出す	講義,演習,SGD	内勢
7	1)~6)12)	賞賛を活かして能力アップ	講義,演習,SGD	内勢
8	1)~6)13)	自尊心を高める(決める→やる→ほめる)	講義,演習,SGD	内勢
9	1)~6)14)	前半の振り返り	講義,演習,SGD	内勢
10	1)~6)15)	脳の抑制を外して心の声を聞く	講義,演習,SGD	内勢
11	1)~6)16)	望む結果を真剣に考える①	講義,演習,SGD	内勢
12	1)~6)17)	望む結果を真剣に考える②	講義,演習,SGD	内勢

13	1)~6)18 アファメーション・プロセス ~20)		講義,演 習,SGD	内勢
14	1)~20) 全体の振り返り		講義,演 習,SGD	内勢
15	1)~6)18 どんな作業療法士になりたいか、どのような作業療法を行いたいか ~20)	自己分析(2)	講義,演 習,SGD	内勢

教科書: 使用しない。

参考書: 講義の中で随時紹介する。

科目名: **キャリア教育**

担当者: 倉内 紀子(保・言)・原 修一(保・言)・長嶋比奈美(保・言)・中村真理子(保・言)・松山 光生(保・言)・太田 栄次(保・言)・内藤 健一(保・言)・戸高 翼(保・言)・外部講師

配当学科: 言語聴覚療学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義の目標は、「豊かな人間性、高いコミュニケーション能力、高度な臨床的知識を備えた言語聴覚士」になるために(DP1、2、5)、学生が社会人としての基礎を身に付けながら、並行して専門職を目指す者としての基礎を身に付けることにある(CP1、2)。

到達目標: (SBOs) 1)自分の特徴(いわゆる長所・短所)を客観視する。
2)自分と社会との接点に気付く。
3)言語聴覚士の仕事の社会的側面について知る。
4)関連他職種との存在とその特徴について知る。
5)他職種との連携の重要性を理解する。

評価方法: 出欠状況、講義における態度、小テスト、提出物等による総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 常に、新聞やテレビ、インターネット等で、医療や福祉に関する最新の動向について目にするように心がけること。また、自分の長所・短所を知り、長所は伸ばす、短所は改善することが、2・3・4年次の学内・外臨床実習や将来の臨床につながるために重要である。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 2)	自分と社会を見つめ直す・キャリアデザインとは	講義	倉内
2	3)	言語聴覚士の業務について	講義	長嶋
3	1) 2)	自分の特性を知る(1)	講義	松山
4	1) 2)	自分の特性を知る(2)	講義	太田
5	1) 2)	自分の特性を知る(3)	講義	内藤
6	1)~3)	言語聴覚士に必要な資質とは-私の経験から	講義	倉内
7	1) 2)	社会人として必要な資質とは(1)	講義	松山
8	1) 2)	社会人として必要な資質とは(2)	講義	太田
9	1) 2)	社会人として必要な資質とは(3)	講義	内藤
10	1)~ 4)	言語聴覚士の関連職種との連携(1) 小児発達障害・聴覚障害領域	講義	戸高
11	3)~5)	言語聴覚士の関連職種との連携(2) 成人言語障害・摂食嚥下障害領域	講義、演習	原
12	3)~5)	医療従事者に必要な資質とは-私の経験から	講義、演習	中村
13	1)~5)	職場体験(1)	講義、演習	原
14	1)~5)	職場体験(2)	講義、演習	原
15	1)~5)	職場体験(3)	講義、演習	原

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: **キャリア教育**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義|(SGD/演習)

授業概要: 臨床工学技士に必要な常識、マナー、社会ルールについて学習する。臨床工学技士は単に医学・工学的な知識を有すればよいと言うわけではなく、「ひと」としての資質が求められている。とくに、長期疾患を対象とした血液透析業務では患者との関わりが長く、人間関係の形成に苦労することも多い。ここでは大学人としての臨床工学技士のあり方、卒業後職場で苦労しないためのノウハウについて他学科の学生との交流も交えて修得する。

到達目標: (SBOs) 1)ビジネスマナーの基本を理解する。
2)患者対応の基本を理解する。
3)医療者としての自覚と責任を持つことができる。
4)高度な専門技術を身につける。

評価方法: レポートと講義態度により評価

準備学習・履修上の注意等: 一部ノート型パソコンを使用する。講義終了後に必ず30分以上は復習を行うこと。また、CAD講義では1時間程度予習を行い、操作にあらかじめ慣れておくこと。

オフィスアワー: 月曜日15~17時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【おとなの文書:ビジネスレターのナゾ】 病院実習先への挨拶文やお礼状、就職希望先への履歴書送付など、ビジネスレターを書くことができる。	講義・演習・SGD	竹澤
2	1)2)3)	【難しい会話:患者さんと信頼関係を得るはじめての一步】 医療現場では患者さんとの喧嘩ごし会話が多い。患者さんは必死に助けを求めているからである。売られたけんかを買わない必殺技を学習する。	講義・演習・SGD	竹澤
3	1)2)3)	【研究者の常識:文献検索】 一人前の臨床工学技士は、日本語、英語の文献検索ができて当たり前。インターネットを用いた検索方法を理解する。	講義・演習・SGD	竹澤
4	1)2)3)	【医療の常識は非常識?バイタルサインからはじめる患者対応】 概略を習ったバイタルの意味と取り方について、復習を兼ねて学習する。	講義・演習・SGD	丹下
5	1)2)3)	【医療に用いられる圧力は?モニタリング技術】 医療の世界では未だにmmHg単位の圧力が用いられている。圧力はどのようにして測定しているのだろうか。その測定原理、実際の測定方法などについて学習する。	講義・演習・SGD	丹下
6	1)2)3)	【医療従事者に不可欠なプレゼンテーション実践】 わかりやすいプレゼン技術は医療者に不可欠である。1年次に学習したプレゼンを、実践的に再確認する。	講義・演習・SGD	丹下
7	1)2)3)	【医療における隠語】 病院では、わざと患者さんに分からない言葉を使って医療者同士が会話を行う。クリティカル、ツッカーなどが理解できるように学習する。	講義・演習・SGD	丹下
8	1)2)3)	【生きることそして死ぬこと:真の人世とは何か?】 第9回に引き続いて、生と死について考える。自らの人生哲学を探し求め、本学科の教育理念の一つである「医療者である前にまず人間であること」の意味を理解できる。	講義・演習・SGD	竹澤
9	4)	【2次元から3次元へ】 最後の4週は、3D-CADを用いた立体図形について学習する。第1回目はCADのインストールと概要について学習する。	講義・演習・SGD	竹澤
10	4)	【3D-CAD基礎編1】 簡単な3D図形を作図するテクニックを学習する。	講義・演習・SGD	竹澤
11	4)	【3D-CAD基礎編2】 簡単な3D図形を作図、それらを変更して別の形へと移行するテクニックを学習する。	講義・演習・SGD	竹澤
12	4)	【3D-CAD応用編】 やや複雑な形状にチャレンジ。頭のセンスを磨いて立体思考ができるように学習する。	講義・演習・SGD	竹澤

- | | | | |
|----|----|--|-----------------|
| 13 | 4) | 【3D-CAD実習編1】
各自が考えた3D図形の基本部分を作成する。 | 講義・演習・竹澤
SGD |
| 14 | 4) | 【3D-CAD実習編2】
各自が考えた3D図形の詳細部分を作成する。 | 講義・演習・竹澤
SGD |
| 15 | 4) | 【3D-CAD発表会】
各自の作品を発表、最優秀作品を全員で選出、技術の交流を行う。 | 講義・演習・竹澤
SGD |

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **コミュニケーション論**

担当者: 佐藤 豊子(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: ・コミュニケーションの意味や重要性など、コミュニケーションに関する基本的な知識を学ぶ。
・日常的なコミュニケーションのあり方を見直す。
・グループワークや、実習をとおして、コミュニケーション能力向上の方法を学ぶ。
・実践的なビジネスマナーや社会的常識を学ぶ。

到達目標: 1)コミュニケーションの重要性を理解できるようになる。
(SBOs) 2)実習や就職に有利なコミュニケーション能力を身につける。

評価方法: 講義中に随時求めるレポート、小テスト、受講態度を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 適宜、授業の進捗状況を勘案しながら振り返りを行い、レポート等を活用しながらフィードバックを行いますので、予習・復習を学修準備を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義	佐藤
2	1)	自己理解	講義	佐藤
3	2)	接遇の基本について学ぶ-挨拶・表情	講義	佐藤
4	2)	接遇の基本について学ぶ-身嗜み	講義	佐藤
5	2)	接遇の基本について学ぶ-言葉遣い(敬語の正しい使い方)	講義	佐藤
6	2)	接遇の基本について学ぶ-話し方・聞き方・電話対応	講義	佐藤
7	2)	接遇の基本について学ぶ-態度(身のこなし)	講義	佐藤
8	2)	相手に対する気配りについて学ぶ(配慮)	講義	佐藤
9	2)	ビジネスマナー	講義	佐藤
10	2)	ビジネスマナー	講義	佐藤
11	2)	事例研究	講義	佐藤
12	2)	事例研究	講義	佐藤
13	2)	医療福祉現場でのコミュニケーション	講義	佐藤
14	2)	医療福祉現場でのコミュニケーション	講義	佐藤
15	2)	まとめ	講義	佐藤

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: QOLと人間の尊厳

担当者: 園田 徹(作業)

配当学科: 社会福祉学部・保健科学部・動物生命薬科学科(1年)

必修・選択: 必修※視能及び動 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義SGD

授業概要: 他の人と共存して生きる人間のよりよい人生とは何かを、「QOL」と「人間の尊厳」の二つの観点から学ぶ。病気や障がいを持ちながら人生を全うすることの意味を知ることが、社会人としての基本的な態度を形成する上で重要である。「QOL」では、健康・疾病・障がいの関連をもとに「より良い人生」とは何かを理解するために、言葉の持つ意味を中心に人生や生活におけるquality(質)を科学的・構造的に考えるための基礎知識を修得する。「人間の尊厳」とは、どのような概念であろうか?例えば、「尊厳死」とは本人の人生観に基づいて延命治療を行わないことである。この事例のように、医療・福祉に携わる私たちは、本人の人生観を自分の基準とは異なるものとして否定しないこと(人間の尊厳)が特に求められる。「人間の尊厳」では、人間の尊厳を守ることができる人となるために、他人の価値観を否定せず容認する考え方を習得する。

到達目標: 1)QOLの言葉の意味を説明できる。
(SBOs) 2)人生や生活における「質」について説明できる。
3)医療・福祉の担い手として、社会のニーズに常に目を向け、QOLとその問題点を説明できる。
4)医療・福祉の担い手として、ふさわしい態度を示す。
5)自らの体験を通して、QOLの重要性を考える。
6)人の誕生、成長、加齢、死の意味を概説できる。
7)医療・福祉に関わる倫理的問題を列挙し、その概略と問題点を説明できる。
8)医療・福祉の担い手として、社会のニーズに常に目を向け、その概要と問題点を説明できる。
9)医療・福祉の担い手として、ふさわしい態度を示す。
10)自らの体験を通して、生命の尊さについて討議する。

評価方法: 受講態度および講義中に行うディスカッションによって評価(100%)する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計29時間の自己学習を行うこと。授業の順番は入れ替わることがある。また、教材が変更されることもあるので注意すること。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日の18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	人間の尊厳と教育を考える	講義 SGD	園田
2	4)7)	性の違いから人間関係を考える(性ホルモンと人間の行動)	講義 SGD	園田
3	4)	人間の尊厳を保つための仕事を考える(動物園飼育係)	講義 SGD	園田
4	3)4)7)	人間が尊厳を持って生きることを考える(サヘル)	講義 SGD	園田
5	1)3)6)7)8)9)	人の尊厳とQOLから認知症を考える(アルツハイマー)	講義 SGD	園田
6	1)2)3)4)6)	QOLと生きがいのある人生を考える(日本式おもてなし)	講義 SGD	園田
7	1)2)3)4)7)9)	QOLと女性たちの貧困を考える(女性の貧困)	講義 SGD	園田
8	1)2)3)5)	QOLと感情のコントロールを考える(感情のコントロール)	講義 SGD	園田
9	1)2)4)7)	障害を人間の尊厳とQOLから考える(サリドマイダー)	講義 SGD	園田
10	3)4)6)7)	立場の違いから人間の尊厳を考える(Sicko)	講義 SGD	園田
11	2)3)4)	共に支えあう人間の尊厳を考える(日本赤十字社)	講義 SGD	園田
12	3)9)10)	人間の尊厳を保つために必要な自己コントロールを考える(水谷:ドラッグ)	講義 SGD	園田
13	2)6)	たばこの害について	講義 SGD	園田
14	1)2)3)	QOLを考える	講義 SGD	園田
15	6)7)8)9)10)	人間の尊厳を考える	講義 SGD	園田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 日向国地域論

担当者: 横山 裕(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 九州保健福祉大学はその設立より延岡市を始めとして宮崎県北部地域に密着した大学として発展してきた。本講義を通してこの発展をさらに良きものとし学生が地域とより深く交流するための推進力を身につけることを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)地域の歴史や文化について説明できる。
2)地域に期待される大学像を知る。
3)地域における男女の生き方について説明できる。
4)地域の災害の歴史と現在の危機管理について説明できる。
5)地域における一次産業とその文化について説明できる。
6)地域の産業とまちづくりについて説明できる。
7)地域の医療・保健と健康政策について説明できる。
8)地域の暮らしと福祉の歩みについて知る。
9)地域の観光と娯楽の変遷について知る。

評価方法: 毎講義後の提出物の評価によって行う。

準備学習・履修上の注意等: 外部講師にご講義いただくので礼を失することのない受講態度で臨むこと。

オフィスアワー: 毎週月?金16:00?17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~8)	これまでの講義概要を理解し、地域について知ることの意義を理解する。	講義	横山
2	1)	宮崎県北地域に伝わる神話や今日にいたる様々な歴史について理解する。	講義	横山・外部講師
3	2)	本学設立の経緯や本学に対する地域の人々の思いと期待を知り、本学で学ぶことの意味を理解する。	講義	横山・外部講師
4	4)	県北地域が経験した災害とそれに対処してきた歴史を知り、蓄積された先人の知恵と現在の対応を知る。	講義	横山・外部講師
5	5)	県北地域の一次産業の歴史と現状を知り、それが育んできた豊かさを理解する。	講義	横山・外部講師
6	6)	企業城下町としての延岡市の歴史を知り、それとともに発展してきた街作りについて理解する。	講義	横山・外部講師
7	7)	県北地域で行われてきた健康に関する様々な実践活動について知る。	講義	横山・外部講師
8	7)	地域で暮らす人々の生活について知り、そこで展開される福祉政策について理解する。	講義	横山・外部講師
9	1)6)	県北地域の観光資源について知り、それを活かした街作り活動の現状を理解する。	講義	横山・外部講師
10	1)	県北地域の教育について知り、地域の人材育成がどのように実践されているのかを理解する。	講義	横山・外部講師
11	8)	県北地域の行政の現状を知り、様々な問題に対してどのような取り組みがなされているのか理解する。	講義	横山・外部講師
12	1)	高千穂神社の歴史を古文書を通して理解し、そこで語り継がれてきた神話について知る。	講義	横山・外部講師
13	3)	県北地域の男女共同参画事業について知り、地域における男女の暮らしのあり方について理解する。	講義	横山・外部講師
14	1)	県北地域で行われている新能について知り、それが市民共同運動へと発展して行った経緯について理解する。	講義	横山・外部講師
15	1)~8)	講義を通じて学んだことをふりかえり各自が地域について考えたことをまとめる。	講義	横山

教科書: 必要に応じて別途指示する。

参考書： 必要に応じて別途指示する。

科目名: **国際保健福祉論**

担当者: 秋葉 敏夫(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 日本の保健・福祉の問題を考える場合に、多角的な視点を持つ必要がある。そのためには国内ばかりでなく、世界の保健や福祉の状況を学ばなければならない。本講義では、主に途上国の保健・福祉の問題を、政治、経済、教育、歴史的観点から学びを深めていく。これにより、国内の保健・福祉の問題をより幅広く考えることができるようになる。また、世界的に重要な感染症についても基本的な知識も得ることができる。

到達目標: (SBOs)
1)健康の定義、福祉の定義を説明できる
2)経済と保健の関係について説明できる。
3)リプロダクティブヘルスの観点から人口問題を考えることができる。
4)途上国の小児保健の状況及び問題点を述べるができる。
5)途上国の保健分野における援助機関の活動内容が説明できる。
6)プライマリーヘルスケアの出現に至る歴史的過程を述べるができる。
7)世界の主要な感染症に対して概略を説明できる。

評価方法: 毎回講義の後に提出する小テストの内容(50%)と、学期末に課される課題レポート、もしくは期末テストの点数で(50%)総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義中に質問をするので、積極的に意見を述べる。自らの頭で考えることが要求される。資料を配布するので、その内容を1時間以上かけてよく復習し、要点、疑問点を整理しておくこと。

オフィスアワー: 水・木・金曜日12:30から13:00まで

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	講義概要の説明、健康の定義、福祉の定義に関する諸説を紹介	講義	秋葉
2	2)	世界の貧困の状況、貧困と保健はどんな関係?	講義	秋葉
3	3)	人口問題の意味するところ、それに対してどんな対策がとられているのか?	講義	秋葉
4	4)	途上国の子供はどんな原因で、どれほど亡くなっているのか?	講義	秋葉
5	5)	世界保健機関(WHO)は途上国の保健にどのように貢献しているのか?	講義	秋葉
6	6)	人類はいつから保健というものを意識するようになったのか?	講義	秋葉
7	6)	感染症は人類の歴史にどのように影響してきたのか?	講義	秋葉
8	6)	プライマリーヘルスケアはなぜ考え出されたのか?	講義	秋葉
9	6)	プライマリーヘルスにどんな問題があるのか?	講義	秋葉
10	7)	エイズの現状、この病気の何が問題なのか?	講義	秋葉
11	7)	マラリアってどんな病気?	講義	秋葉
12	7)	結核は自分に関係のない病気なの?	講義	秋葉
13	7)	インフルエンザはなにが問題なの?	講義	秋葉
14	7)	肝炎ウイルスは何種類あるの?	講義	秋葉
15	7)	他の主要な感染症を紹介	講義	秋葉

教科書: 使用しない。必要に応じて資料を提供する。

参考書: 使用しない。

科目名: ボランティア活動

担当者: 山崎 きよ子(福・福)

配当学科: スポーツ健康福祉学科・臨床福祉学科・子ども保育福祉学科・作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科・薬学科・動物生命薬科学科・生命医科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義及び活動

授業概要: ①活動を通して地域住民とふれあい、住民がなぜボランティア活動するのかその意味を説明することができる。
②ボランティア活動を自ら行うことにより、ボランティアの意義と意味について自ら考察し実践することができる。
③今後の社会の中でボランティアはどう位置付けられるのかを考察し説明することができる。

到達目標: (SBOs) 1)ボランティアがなぜ授業科目に取り入れられたのかを学び、本講義の意義を理解できる。
2)実際の活動までのルールがわかり実践することができる。
3)様々なボランティアを理解し、ともに活動できる。
4)ボランティアを実践、また企画運営している社会人などと交流し他世代の価値観を知る。
5)社会的マナーを理解し、契約(約束)を守る。
6)報告書を適切にわかりやすく、正確に書く事ができる。
7)薬学教育モデル、コアカリキュラムとの対応ができる。
8)対人援助の基礎として社会福祉実践を念頭に置きながら活動することができる。

評価方法: 評価は出席による評価30%、活動内容、報告書を70%にする。活動内容、報告者の関しての第1次評価者は各学部ボランティアセンター担当教員、評価をまとめ入力するのは副ボランティアセンター長とする。

準備学習・履修上の注意等: 最初の3コマはオリエンテーション、ボランティア活動を行うための心得や社会的マナーなどの指導、ボランティアコーディネーター実践者からの講話、記録についてなどを座学で学ぶ。その後5月から翌年1月末までの間で10回程度のボランティアを実践し報告書を作成する。ボランティアを行う事については内容や団体などに一定の基準を設ける。ボランティアを実施する場合は大学が認定したものに限る。後期最初に夏休み終了までの実践状況を把握するための授業を実施する。後期の最後に到達目標に関する試験を実施する。

オフィスアワー: 要確認

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	・授業目標説明 ・単位認定方法の説明 ・実習センターの見学 ・ボランティア掲示板の確認 ・学生の連絡先の確認 ・学生の自己紹介書提出	講義	山崎
2	3)	ボランティア実践事例を通し、ボランティアの内容を具体的に学ぶ。	講義	山崎
3	2)4)	ボランティアを実践するためのルールを学ぶ。社会と接する際のマナーを実践的に学ぶ。	講義	山崎
4	5)	ボランティア実践	講義	山崎
5	6)	ボランティア実践	講義	山崎
6	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
7	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
8	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
9	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
10	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
11	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
12	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
13	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
14	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎
15	2)~6)	ボランティア実践	実践	山崎

教科書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

参考書: 講義時に配布するプリントなどを使用する。

科目名: **保健科学**

担当者: 竹澤真吾(保・工)・立石修康(保・作)・倉内紀子(保・言)・鬼塚信(保・視)・戸畑裕志(保・工)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択(作業:必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 保健科学は、すべての人が健やかに人生を全うすることを願って、人と健康を大きなテーマとして成り立っている学問領域である。保健科学部では、保健科学の理念を背景に、「チーム医療に貢献できる確かな知識・技術とコミュニケーション・スキルを有する臨床家の養成」を教育目標として掲げている。学部の教育目標を理解し、保健科学領域の臨床家となるために必要な知識・技術・態度の基礎を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 保健科学部の教育目標について説明できる。
- 2) 保健科学部の学生がめざす専門職の名称を列挙することができる。
- 3) 保健科学とは何かについて説明し、臨床・研究のトピックをあげることができる。
- 4) 作業療法士の仕事について説明し、作業療法領域の臨床・研究のトピックをあげることができる。
- 5) 言語聴覚士の仕事について説明し、言語聴覚療法領域の臨床・研究のトピックをあげることができる。
- 6) 視能訓練士の仕事について説明し、視機能療法領域の臨床・研究のトピックをあげることができる。
- 7) 臨床工学技士の仕事について説明し、臨床工学領域の臨床・研究のトピックをあげることができる。
- 8) 作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床工学技士の共通点・相違点について説明できる。

評価方法: 担当者5名がそれぞれ授業態度、レポート等で評価する(各20%)。

準備学習・履修上の注意等: 各学科における専門教育の導入として開設されていることから、積極的な授業への参加を期待する。1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	保健科学部の教育目標 チーム医療とコミュニケーション・スキル	講義	竹澤
2	1)2)3)	保健科学領域における心理面からのアプローチ	講義	竹澤
3	4)	作業療法の視点からみた保健科学の概要 基礎的事項	講義	立石
4	4)	作業療法の視点からみた保健科学の概要 応用的事項	講義	立石
5	4)	作業療法領域における臨床・研究の最新の動向	講義	立石
6	5)	言語聴覚療法の視点からみた保健科学の概要 基礎的事項	講義	倉内
7	5)	言語聴覚療法の視点からみた保健科学の概要 応用的事項	講義	倉内
8	5)	言語聴覚療法領域における臨床・研究の最新の動向	講義	倉内
9	6)	視機能療法の視点からみた保健科学の概要 基礎的事項	講義	鬼塚
10	6)	視機能療法の視点からみた保健科学の概要 応用的事項	講義	鬼塚
11	6)	視機能療法領域における臨床・研究の最新の動向	講義	鬼塚
12	7)	臨床工学の視点からみた保健科学の概要 基礎的事項	講義	戸畑
13	7)	臨床工学の視点からみた保健科学の概要 応用的事項	講義	戸畑
14	7)	臨床工学領域における臨床・研究の最新の動向	講義	戸畑
15	1)2)3)8)	作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床工学技士と多職種連携協働	講義	竹澤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **医学概論**

担当者: 吉武 重徳(保・視)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修※ 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: “著しい進歩をとげる医療を学ぶうえで、医学の根底をなす、治療を提供する側と受ける側にとって医学そして臨床とは、何であるべきかを、過去から現在、未来を見据えて、網羅的に学習を行う。さらに、社会的、法律的観点から、医の倫理、医療事故と対策などを、また医学を取り囲む環境からの視点から、医療の一翼を担ううえで、如何に接していけば良いのかを考えていく。

到達目標: (SBOs) ①大学で学ぶ、とは何かを考えてみる。
②目の前でヒトが倒れたらどうすべきか説明できシミュレートできる。
③新しい医療の進歩について説明できる。
④コメディカルとして医療法規を説明できる。

評価方法: 授業における教官により行われる質疑応答態度、最終試験

準備学習・履修上の注意等: 授業における内容に対して各回復習を確実にし習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。予習復習の時間を1回あたり目安として1時間を確保すること。
※視機能療法学科は選択

オフィスアワー: 金曜日11:00~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	①②	【イントロダクション:目の前で人が倒れたら】BLS(basic Life Support)について、目の前で人が倒れたら、医療を志す者としてどうすべきか?	講義	吉武
2	①②	【心肺蘇生法;学習とスキル】前回の学習したことをもとにして、実際のマネキンで実習して、自身で正しく行えるか考えてみる。	講義	吉武
3	①	【学習の目的:GIOとSBO】GIOとSBOとは何か?実際の事例を提示して学習する。	講義	吉武
4	①③	【病気とは?】一般に考えられている、病気から、さらに一歩進んで、どのように医療側が取り組んでいるのか学習する。	講義	吉武
5	①③	【健康と環境】健康と環境との関係を学習して、身近な事例を考える。	講義	吉武
6	①③	【GIOとSBO】前回の学習を踏まえ、大学生活の中で、どのように習得して、医療人として成長すべきなのか考える。	講義	吉武
7	①③	【医療モデル】医療の形成にどのような過程があり、最終的なユーザーである患者に供給されているのかを考えてみる。	講義	吉武
8	③④	【医療過誤】医療事故といったものが、何であるのかを学習する。	講義	吉武
9	③④	【ヒヤリハットから考える】前回の学習事項を踏まえ、ヒヤリハットの事例から考え、防犯止めるのかを討論する。	講義	吉武
10	③④	【機器を通しての医療】医療機器の進歩により、恩恵とデメリット、さらに限界について考えてみる。	講義	吉武
11	③④	【治療法の決定】医療現場で治療の決定がどのようになされ患者さんに返されているのか?学習する。	講義	吉武
12	③④	【ヒトゲノム計画】遺伝子の地図が何か、これからどのように医療が変わっていくのか?倫理的な問題は、などを考えてみる	講義	吉武
13	③④	【移植医療】臓器移植の恩恵と限界について考えてみる。	講義	吉武
14	③④	【医療法規】医療現場の中で、法律がどのようにはたらいているのか?考えてみる。	講義	吉武
15	①③④	【現代における感染症】医療環境を取り巻く、感染症について基本的なことから考えて何が重要なのかを学習する。	講義	吉武

教科書: 医学概論 (中島 泉) 南江堂【978-4-524-26751-4】

参考書: 使用しない。

科目名: **生命倫理学**

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 作業療法学科、視機能療法学科、臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 専門職としての素養と自覚、責任感および倫理観をもつために、生命科学に基礎を置く現代の医療・保健分野における具体的な問題を把握し、それらの問題を生命観・倫理観の視野の中で考察するとともに、個々の課題に対して主体的に関わっていくための基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 生命倫理学の言葉の意味を理解するとともに、生命倫理学で扱う具体的諸問題を列挙できる。
2) 終末期医療を死をめぐる倫理問題について説明できる。
3) 出生をめぐる倫理問題について説明できる。
4) 先端医療技術について説明できる。
5) 医療・保健分野における利用者―従事者関係の歴史の変遷を理解し、インフォームドコンセントの意味と限界を説明できる。
6) 公衆衛生の倫理について説明できる
7) 医療倫理の個性を理解し、それらに対応できる視野の広がりについて説明できる。

評価方法: レポートの内容ならびに学習の取り組み姿勢(課題の提出状況、授業への参加)より総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 普段からメディア等を通じて、現代社会の医療・保健分野のトピックスに注意を向けていること。

オフィスアワー: 毎週木曜12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	生命倫理学の言葉の意味は何か、生命倫理の4原則について	講義	中村
2	1)5)	インフォームドコンセント、守秘義務について	講義	中村
3	2)	終末期医療について	講義	中村
4	2)	臓器移植について	講義	中村
5	2)	安楽死と尊厳死について	講義	中村
6	2)	救急医療・災害医療について	講義	中村
7	3)	着床前診断について	講義	中村
8	3)	人工中絶と出生前診断について	講義	中村
9	3)	生殖補助医療技術について	講義	中村
10	3)4)	新生児医療における生命倫理について	講義	中村
11	1)5)	医療情報(個人情報、診療情報、遺伝情報)について	講義	中村
12	6)	公衆衛生の倫理	講義	中村
13	1)7)	疫学研究について	講義	中村
14	7)	医療機関における医療安全への取り組みについて	講義	中村
15	7)	医療人類学について	講義	中村

教科書: 生命倫理と医療倫理 改訂3版 伏木信次 樫則章 霜田 求 株式会社金芳堂 ISBN978-4-7653-1598-2

参考書: 使用しない

科目名: **生命倫理学**

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害や、言語聴覚士の基本的役割を認識し、専門職としての素養と自覚、責任感および倫理観をもつために(DP1)、生命科学に基礎を置く現代の医療・保健分野における具体的な問題を把握し、それらの問題を生命観・倫理観の視野の中で考察するとともに、個々の課題に対して主体的に関わっていくための基本的知識を修得する(CP1-1)。

到達目標: (SBOs) 1) 生命倫理学の言葉の意味を理解するとともに、生命倫理学で扱う具体的諸問題を列挙できる。
2) 終末期医療を死をめぐる倫理問題について説明できる。
3) 出生をめぐる倫理問題について説明できる。
4) 先端医療技術について説明できる。
5) 医療・保健分野における利用者―従事者関係の歴史的変遷を理解し、インフォームドコンセントの意味と限界を説明できる。
6) 公衆衛生の倫理について説明できる
7) 医療倫理の個別性を理解し、それらに対応できる視野の広がりについて説明できる。

評価方法: レポートの内容ならびに学習の取り組み姿勢(課題の提出状況、授業への参加)より総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 普段からメディア等を通じて、現代社会の医療・保健分野のトピックスに注意を向けていること。

オフィスアワー: 毎週木曜12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	生命倫理学の言葉の意味は何か、生命倫理の4原則について	講義	中村
2	1)5)	インフォームドコンセント、守秘義務について	講義	中村
3	2)	終末期医療について	講義	中村
4	2)	臓器移植について	講義	中村
5	2)	安楽死と尊厳死について	講義	中村
6	2)	救急医療・災害医療について	講義	中村
7	3)	着床前診断について	講義	中村
8	3)	人工中絶と出生前診断について	講義	中村
9	3)	生殖補助医療技術について	講義	中村
10	3)4)	新生児医療における生命倫理について	講義	中村
11	1)5)	医療情報(個人情報、診療情報、遺伝情報)について	講義	中村
12	6)	公衆衛生の倫理	講義	中村
13	1)7)	疫学研究について	講義	中村
14	7)	医療機関における医療安全への取り組みについて	講義	中村
15	7)	医療人類学について	講義	中村

教科書: 生命倫理と医療倫理 改訂3版 伏木信次 檉則章 霜田 求 株式会社金芳堂 ISBN978-4-7653-1598-2

参考書: 使用しない

科目名: **医療経済学**

担当者: 金谷 義弘(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 医療や福祉など社会の現場で活躍する上で、必要最低限の経済に関するものの見方を、医療を中心に説明します。

そのために、医療経済そのものを説明します。しかし、欧米や日本の医療経済は、先進諸国としての経済発展の上に建設されてきたものです。そこで、イギリスの産業革命を皮切りにして、欧州・北米・日本などで19世紀に産業革命が起こり、都市における産業発展に支えられて都市の人口の急激な拡大が起こります。これは、何故、これらの諸国・諸都市でコレラやペストの流行が起こったのかという点に深く結びつきます。また、そうした現状を打開するため、イギリスや大陸欧州で「公衆衛生学」が生み出されて行くこととなります。

すなわち、医療の発展は、まず先進諸国の経済発展と深く結びついています。この歴史的な経済発展の中において医療や福祉の発展を把握することは、今後の21世紀における医療を見る上で、決定的に重要な知識なのです。

本授業は、医療を経済から把握できるようになることを目指します。ここ200年余の経済発展の中で、医療というものが、世界と日本で、どのように建設されてきたか、更に、産業動物や愛玩動物の経済についても、説明します。宮崎県における宮崎県立宮崎病院の建て替え問題などを通じて、地域における医療の重要性も説明します。また、医療と経済の問題を念頭に、今後必要になる情報収集の方法についても説明し、今後、皆さんがぶつかる諸問題を、我流でなく、検索し把握する手法も取り入れます。

このような諸論点を通じて、現代の社会経済という観点から医療はどういうものか、医療活動を支える経済基盤をどう把握するか、などなどを学びましょう。

到達目標: (SBOs) 本講義の目的は、日本の医療を経済学の視点から理解してもらうことを課題とする。そのためには経済現象に関する基礎的な理解が不可欠です。そこで、本講義は、

- 1) 経済現象を理解できる見方・感覚を身につけること、
 - 2) 経済現象を歴史的な変化・発展から理解できること、
 - 3) 医療活動を、上述の多様な諸側面から理解して、将来の職場の置かれた大状況を把握するのに必要な知識と意欲を持てること、
- などを目標とします。

こうした学習の中で、医療機関が提供するのは医療サービスであるが、

- 4) 人は自動車や家電製品などの商品(財)やサービスを自由な市場取引で売買しているが、医療サービスには、こうした財とサービスには解消できない多様な特殊性があること、
- 5) 日本の医療は、医療保険制度によって提供され、それは社会保険方式をとって支払われていること(各国は必ずしもそうではない)こと、その価値と問題点を理解できること、
- 6) また、その保険料負担は、民間保険と異なり、病気になるリスクとは無関係に各人の所得によって決まる特殊な市場であること、
- 7) 最後に、医療機関の担い手になるものとして必要な「勤労観」の存在に気づき理解を深めること、

などへのリアルな理解を目指します。広い経済現象に関する基礎的理解を踏まえ、他の経済分野と区別される医療制度の独自性を併せ理解できることを目指します。

評価方法: 毎時間におけるリアクションペーパーの評価(30%)と期末試験の点数(70%)による総合評価を行う。
毎回配布するリアクションペーパーには、質問や感想を出してもらいたい。授業に役立つ質問や感想については、次回の授業で取り上げ、講義担当者によってコメントする。それは、おそらく良い次の授業の導入部分をなすであろう。

準備学習・履修上の注意等:

経済学や経営学、法学などを学ぶことは、皆さんの専門教育と異なり、「自分の専門性・技能を現代社会の中で役立つように如何に位置づけるか」という力を涵養するでしょう。実は、これは就職活動をどのように構想するかということと深く関係する。

社会・経済などの複雑な諸条件の中にある、日本の医療(派生して福祉)の現状を把握する理解力を獲得して欲しい。資料は、十分読むに値するように書かれているので、混乱しないように、絶えずファイリングして、授業全体を見通す材料として有効に活用してもらいたい。

オフィスアワー: 私は非常勤の教員なので、講義中に配るリアクションペーパーにて質問してもらいたい。質問や授業内容に関するコメントは大歓迎!!!です。次回の授業で、必要なリアクションペーパーの論点へコメントもします。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	社会科学系の学習は、その研究対象が変化・発展している。そのため、必要な社会情勢の変化に対応して、新しい論点を取り入れ、後掲の論点を何かを外す場合があること、また、各回の講義内容の順番が入れ替わることを了解されたい。 【I. 生涯にどれだけのお金がかかるのか? - 生活に密着した経済への関心 -】 A. 大学生になるまでにどれだけのお金がかかったのか。 B. 卒業後のライフイベント(就職, 結婚, 子育て, 住宅取得, 相続, 退職とその後) C. ライフプランが必要だ!	講義	金谷

		【Ⅱ～Ⅳ.医療の現場から考えるー病院が存立する経済諸環境ー】		
		A.病院に需給関係を当てはめたら、どんなに困ったことが生じるのか？		
		B.病院を巡る三つの市場		
2	2)	C.一般の産業分野と比較して、医療の特殊性はどこにあるか？		
		D.医療保険、日本は社会保険によって医療のシステムの経済基盤を建設した。	講義	金谷
		・医療保険の原理		
		E.診療報酬と薬価はどのように決められているのか？		
		F.医師不足の背景には如何なる問題があるのか？		
3	2)	G.現代の医療機関とドラマ「仁」の時代との対比	講義	金谷
		【Ⅴ.経済の歴史(1)ギリシ産業革命と資本主義経済の自立ー】		
		A.産業革命とは何か？イギリスにおける技術革新と社会経済構造の変容。		
		・技術革新だけではなく、社会経済構造が変化した。		
		・機械の開発と企業の叢生、エネルギー革命から、交通革命		
		B.人口の都市集中と人口集中		
		C.国民生活の変容		
		(都市と勤労、生活インフラの不足、パンデミックの発生、ジョン・スノウと公衆衛生学の必要)		
4	1)2)4)		講義	金谷
		【Ⅵ.経済の歴史(2)世界各国の産業革命の進展と19世紀世界経済へー】		
		A.産業革命のベルギー、フランス、ドイツ、アメリカ、日本への波及。		
		B.それは経済活動だけでなく、鉄道、海運と運河、情報通信、医療などの諸側面に大きな変化をもたらした。		
5	1)	C.移民、女性の社会進出、植民地、鉄道・運河・蒸気船・世界的な通信網の建設など	講義	金谷
		の社会生活の変化と医療の産業化の進展。		
		【Ⅶ.19世紀欧州の医学と医療、人材育成】		
		A.中世までの医療		
		B.19世紀の医学と医療の発展(ジェンナー、パスツール、コッホ)		
		C.医師養成の組織、教育の変化		
6	1)	【Ⅷ.産業動物・愛玩動物と経済】	講義	金谷
		A.産業動物の世界と経済		
		B.愛玩動物の世界と経済		
		【Ⅸ.製薬産業・医療機器産業の実態を学ぶ】		
		A.製薬産業の経済と研究開発		
7	1)	B.医療機器産業の経済と研究開発	講義	金谷
		【Ⅹ～?.経済の教養を広げる(1)お金の経済を再認識する】		
		A.日本銀行券と補助通貨		
		B.お金は現在、ICT技術とともに激変している		
		・ポイントカード、電子マネー、デビットカード、クレジットカード		
		C.Bitcoinなどの「仮想通貨」とは何か？		
8	1)	D.FinTechとは何か？	講義	金谷
		【?.経済の教養を広げる(2)産業循環というものが存在する】		
		・経済の成長は、好不況を繰り返す。		
		・何故、好不況が起こるのか？		
		・アメリカが世界の大国になる1920年代の事例で見る。		
		【ⅩⅢ.経済の教養を広げる(3)モノ作りの経済】		
		A.自動車産業		
9	1)	・フォードシステムとは何か？	講義	金谷
		・Toyotaの摺り合わせ型とVolkswagenのモジュール生産		
		・現代は自動車産業の巨大な転換点だー内燃機関からEV・Telematicsへー		
		B.電機産業		
		・電気製品と配線・基盤		
		・PCとモジュール化		
		・iPhone 8の驚くべきグローバル生産		
10	1)	C.グローバル化とICT化は、医療の世界にも確実に作用する	講義	金谷
		【ⅩⅣ. Web検索の我流を脱却するーどこに確たる情報があるか？ー】		
		A.Web検索は尚、我流の検索に任されている		
		B.政府の情報(官邸サイトから、)		
		C.民間の情報(業界団体から、)		
11	1)2)	D.テーマが如何なる分野から把握されるのか、バランスの良い情報収集と絞り込み	講義	金谷
		【ⅩⅤ.宮崎県立宮崎病院の建て替え問題ー地域から医療を見るー】		
		A.県内の医療機関、これを把握するための諸統計		
		B.県立病院の役割りと建て替え問題		
		C.地域医療の使命と医療従事者の課題		
12	1)2)		講義	金谷

13	3)5)	講義	金谷
14	3)4)6)	講義	金谷
15	3)7)	講義	金谷

教科書: 特になし。

参考書: 『日本の医療－統制とバランス－』(池上直巳・J.C.キャンベル) 中公新書, 1996年。
『医療経済学』(漆 博雄編) 東京大学出版会, 1998年(古典的な医療経済学のテキストです)。
その他, 講義中に紹介して行きます。
『数字でみるニッポンの医療』(読売新聞医療情報部) 講談社現代新書, 2008年。
『東日本大震災 石巻災害医療の全記録－「最大被災地」を医療崩壊から救った医師の7ヶ月－』(石井 正) 講談社(ブルーバックス), 2012年。

科目名: **健康科学論**

担当者: 樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1年次)

必修・選択: 必修※ 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 「健康」というキーワードを含んだ情報雑誌、またテレビ番組が増えている。しかしながら、偏った解釈により、間違った健康に関する情報が公開されていることも多い。本講義では、保健科学の基礎知識として、科学的に証明されている運動、栄養、休養に関する知見を学習するとともに、医療従事者として、障害者の健康について考える能力を身につけることを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)健康の定義を理解し、日本の健康づくり政策を理解する。
2)健康増進を目的とした運動について説明できる。
3)生活習慣病と運動療法について説明できる。
4)健康と栄養との関係を説明できる。
5)年齢別にみた疾患の特徴を説明できる。
6)社会保障制度について理解する。

評価方法: 受講態度、レポート、筆記試験により総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 「生涯スポーツ論」、「生涯スポーツ実習」と関連付けて行う。
1コマ当たり4時間を目安に準備学習を行うこと。

※資料は、ユニバーサル・パスポートの「健康科学論」よりダウンロードし、印刷して下さい。
詳細については1回目の授業時に説明します。

※視機能療法学科、臨床工学科は選択科目

※授業中は、携帯電話の電源を切るかマナーモードにし、カバンに収納すること。守られない場合は退席を命じます。

オフィスアワー: 毎週火曜日12:30~13:30 ※前年度と時間割が変更となった場合、オフィスアワーも変更するかもしれません

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	健康とは何か?/健康寿命とは?	講義	樋口
2	1)	健康の日本史 -第二次世界大戦後から現在まで-	講義	樋口
3	2)	健康増進を目的とした運動	講義	樋口
4	3)	生活習慣病の基準	講義	樋口
5	3)	生活習慣病の運動療法	講義	樋口
6	4)	健康と栄養/健康食品による健康被害の実態	講義	樋口
7	5)	健康と疲労/休養 こころの健康とは?/精神的ストレスの評価	講義	樋口
8	5)	健康診断の意義	講義	樋口
9	5)	母子保健/母体と乳幼児の健康管理	講義	樋口
10	5)	学校保健/幼児から大学生の健康管理	講義	樋口
11	5)	成人保健/疾病と健康づくり対策	講義	樋口
12	6)	老人保健/後期高齢者医療制度と介護保険制度	講義	樋口
13	6)	社会保障制度(年金制度、生活保護)	講義	樋口
14	5)	高齢者認知症と運動	講義	樋口
15	1)~6)	総括	講義	樋口

教科書: 使用しない。

参考書: 授業で紹介します。

科目名: **生涯スポーツ論**

担当者: 樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生涯スポーツの実践は、健康の保持・増進に重要である。本授業では、運動(スポーツ)が心身および社会に及ぼす効果について学習し、生涯スポーツ実践につなげる理論と方法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)なぜ生涯スポーツが重要であるか理解する。
2)生活習慣病について説明できる。
3)一過性の運動による代謝について説明できる。
4)身体トレーニングによる身体面および精神面の効果を説明できる。
5)スポーツ活動に必要な栄養に関する知識を理解する。

評価方法: 受講態度、レポート、筆記試験により総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 「生涯スポーツ実習」、「健康科学論」と関連付けて行う。
1コマ当たり4時間を目安に準備学習(予習・復習)を行うこと。
※授業中は、携帯電話の電源切るかマナーモードにし、カバンに収納すること。

オフィスアワー: 毎週火曜日12:30~13:30 ※前年度と時間割が変更となった場合、オフィスアワーも変更するかもしれません

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	生涯スポーツとは何か?を理解する。	講義	樋口
2	1)	体力の指標と基準値 -文部科学省体力テスト-	講義	樋口
3	2)	生活習慣病の予防に有効なスポーツとは何か?を理解する。	講義	樋口
4	3)4)	筋疲労、オーバートレーニングについてを理解する	講義	樋口
5	3)	エネルギー供給のしくみ -エアロビクスとは?-	講義	樋口
6	4)	スポーツとウェイトコントロール -体脂肪は必要!-	講義	樋口
7	4)5)	スポーツとボディマッスル:スポーツと身体組成について理解する。	講義	樋口
8	3)4)	スポーツと暑熱環境 -体温調節!- 高所トレーニング:メリットとデメリットについて理解する。	講義	樋口
9	4)	スポーツ・トレーニングの理論と実践	講義	樋口
10	4)	スポーツと心理 -リラクゼーション効果-	講義	樋口
11	4)	ウォーミングアップとクールダウン:なぜ必要なのか?を理解する。	講義	樋口
12	5)	スポーツ栄養学 -三大栄養素、ビタミン、ミネラル-:必要なエネルギー源(所要量)について理解する。	講義	樋口
13	4)5)	「スタミナ」とは何か?	講義	樋口
14	2)4)	加齢とスポーツ:スポーツが発育・発達に及ぼす影響について理解する。	講義	樋口
15	1)~5)	総括:スポーツ活動が個人に与える影響を総括し、障害者や高齢者のコミュニティづくりに果たす役割・可能性について理解する。	講義	樋口

教科書: 「これからの健康とスポーツの科学」(安部 孝・琉子 友男 編) 講談社サイエンティック 【4-06-153128-X】

参考書: 使用しない。

科目名: 生涯スポーツ実習

担当者: 樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科・視機能療法学科(1年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 身体と心を一体として捉え、スポーツや運動・レクリエーションについての理解とスポーツの合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的にスポーツに親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
現在の体力レベルを評価します。持久力は20mシャトルラン、その他筋力、柔軟性の測定も行います。

到達目標: 1) 協調性をもって、積極的にスポーツ活動ができる。
(SBOs) 2) ルールを守って、高いパフォーマンスを発揮することができる。

評価方法: 受講態度、実技テストなどにより総合的に評価する。ただし、診断書のある病気については考慮する。
欠席1回につき-5点、遅刻・早退3回で-5点とする。受講態度の評価として、積極的に参加していた場合は加点し、消極的であった場合は減点する。シューズを忘れた場合(減点)は見学扱いとする。

準備学習・履修上の注意等: 体育館シューズ、グラウンド用シューズ、大学指定のTシャツを着用すること。
1コマ40名前後で授業を実施したいが、2013年度は履修学生数が60名を超えるクラス(2学科合同)がありました。
7月の4限(15時頃)の授業では体育館の温度が34℃を超える日があり、日時を変更して補講を実施しています。体調の自己管理が不安な学生は、相談した上で履修して下さい。

※作業療法学科の学生はレクリエーション・インストラクター認定必修科目となっています。

オフィスアワー: 毎週火曜日12:30~13:30 ※前年度と時間割が変更となった場合、オフィスアワーも変更するかもしれません

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション/生涯スポーツ実習	実習	樋口
2	1)2)	体力測定(筋力、筋持久力、瞬発力)	実習	樋口
3	1)2)	持久走(シャトルラン)	実習	樋口
4	1)2)	基礎トレーニングの理論と実践	実習	樋口
5	1)2)	応用トレーニングの理論と実践	実習	樋口
6	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
7	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
8	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
9	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
10	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
11	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
12	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール、バスケットボール)	実習	樋口
13	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール、バスケットボール)	実習	樋口
14	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール、バスケットボール)	実習	樋口
15	1)2)	レクリエーション・スポーツ(インディアカ)	実習	樋口
16	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
17	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
18	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
19	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール)	実習	樋口
20	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール)	実習	樋口
21	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール)	実習	樋口

22	1)2)	屋内団体スポーツ(バスケットボール)	実習	樋口
23	1)2)	屋内団体スポーツ(バスケットボール)	実習	樋口
24	1)2)	屋内団体スポーツ(バスケットボール)	実習	樋口
25	1)2)	体力測定(柔軟性、敏捷性)	実習	樋口
26	1)2)	持久走(シャトルラン)	実習	樋口
27	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
28	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
29	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
30	1)2)	総括	実習	樋口

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 生涯スポーツ実習

担当者: 樋口 博之(保・作)

配当学科: 言語聴覚療法学科・臨床工学科(1年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 身体と心を一体として捉え、スポーツや運動・レクリエーションについての理解とスポーツの合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的にスポーツに親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。
現在の体力レベルを評価します。持久力は20mシャトルラン、その他筋力、柔軟性の測定も行います。

到達目標: 1) 協調性をもって、積極的にスポーツ活動ができる。
(SBOs) 2) ルールを守って、高いパフォーマンスを発揮することができる。

評価方法: 受講態度、実技テストなどにより総合的に評価する。ただし、診断書のある病気については考慮する。
欠席1回につき-5点、遅刻・早退3回で-5点とする。受講態度の評価として、積極的に参加していた場合は加点し、消極的であった場合は減点する。シューズを忘れた場合(減点)は見学扱いとする。

準備学習・履修上の注意等: 大学指定のTシャツ、体育館シューズ、グラウンド用シューズを着用すること。
7月の4限(15時頃)の授業では体育館の温度が34℃を超える日があり、日時を変更して補講を行う予定です。体調の自己管理が不安な学生は、相談した上で履修して下さい。

最近、授業中に携帯電話を見る学生がいます。再三、注意したにもかかわらず、携帯電話を見る学生は履修する意志がないとみなし、授業への参加を認めません。

※作業療法学科の学生はレクリエーション・インストラクター認定必修科目となっています。

オフィスアワー: 毎週火曜日12:30~13:30 ※前年度と時間割が変更となった場合、オフィスアワーも変更するかもしれません

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション/生涯スポーツ実習	実習	樋口
2	1)2)	体力測定(筋力、筋持久力、瞬発力)	実習	樋口
3	1)2)	持久走(シャトルラン)	実習	樋口
4	1)2)	基礎トレーニングの理論と実践	実習	樋口
5	1)2)	応用トレーニングの理論と実践	実習	樋口
6	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
7	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
8	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
9	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
10	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
11	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
12	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール、バスケットボール)	実習	樋口
13	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール、バスケットボール)	実習	樋口
14	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール、バスケットボール)	実習	樋口
15	1)2)	レクリエーション・スポーツ(インディアカ)	実習	樋口
16	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
17	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
18	1)2)	屋外団体種目(ソフトボール)	実習	樋口
19	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール)	実習	樋口
20	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール)	実習	樋口
21	1)2)	屋内団体スポーツ(バレーボール)	実習	樋口

22	1)2)	屋内団体スポーツ(バスケットボール)	実習	樋口
23	1)2)	屋内団体スポーツ(バスケットボール)	実習	樋口
24	1)2)	屋内団体スポーツ(バスケットボール)	実習	樋口
25	1)2)	体力測定(柔軟性、敏捷性)	実習	樋口
26	1)2)	持久走(シャトルラン)	実習	樋口
27	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
28	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
29	1)2)	個人・ペア種目(バドミントン)	実習	樋口
30	1)2)	総括	実習	樋口

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **医療統計学演習**

担当者: 樋口博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 医療統計学は、医療従事者が科学的根拠に基づいて治療を行うために必要な知識である。現在、多くの統計ソフトが市販されているが、その基本的なポイントを把握していなければ、大きな間違いとなる。また、解析された結果を正しく解釈することができない。本授業では、講義と演習により、統計の基礎的な手法を習得することを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1) 統計の意味が理解できる。
2) 統計の基本的な手法が理解できる。
3) エクセル(Microsoft)を用いて統計処理ができる。
4) 医療データを基に、適切な統計法を選択し、解析された結果を正しく解釈できる。

評価方法: レポートと単位認定試験にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 演習で使用するUSBメモリ(1GB程度)を持参すること。また、ファイルの保存など、パーソナル・コンピューターの基本的な操作ができることが望ましい。

1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 火曜日12:00~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション - 統計学とは?	講義・演習	樋口
2	1)	尺度(名義、順序、間隔)について	講義・演習	樋口
3	1)	平均値、中央値、最頻値の違い	講義・演習	樋口
4	1)	調査目的と質問票・評価法(目的にあった統計法)	講義・演習	樋口
5	1)2)	検定法について理解する	講義・演習	樋口
6	2)3)	2標本の差の検定	講義・演習	樋口
7	2)3)	1標本の検定	講義・演習	樋口
8	2)3)	回帰分析 相関とは何か?	講義・演習	樋口
9	2)3)	エクセル統計処理①	講義・演習	樋口
10	2)3)	多重ロジスティック回帰分析とは? オッズ比とは?	講義・演習	樋口
11	2)3)	分割表の検定(X ² 検定)	講義・演習	樋口
12	2)3)	差の検定	講義・演習	樋口
13	2)3)	分散分析	講義・演習	樋口
14	3)4)	信頼性・再現性とは?	講義・演習	樋口
15	3)4)	エクセル統計処理②	講義・演習	樋口
総合演習				

教科書: リハビリテーション統計学(石川朗、種村留美)、中山書店
ISBN:978-4-521-73667-9

参考書: バイオサイエンスの統計学(市原清志)、(株)南江堂
ISBN: 978-4-524-22036-6
エクセル活用 コメディカル統計テキスト(宮城重二)、医歯薬出版(株)
ISBN:978-4-263-24253-7
※必ずしも購入する必要はない。

科目名: **医療統計学演習**

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 評価に必要なプロセスが遂行できる言語聴覚士になるために、必要な統計学の知識を習得することを目的として、データの意味とその収集方法について知識・技能の獲得を図る。

到達目標: (SBOs) 1)エビデンスとしてのデータの役割を理解する。
2)図表からデータをよみとることができる。
3)データやデータ処理に関連する基本事項が説明できる。
4)データ収集の方法が説明できる。

評価方法: 平常点10%と期末試験90%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回授業につき240分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週木曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	データとは何か説明できる	講義	松山
2	1)	測定と尺度の関係が説明できる	講義	松山
3	1)	尺度の4つの水準が解説できる	講義	松山
4	1)2)	研究目的に応じた尺度の設定ができる	演習	松山
5	1)2)	データをグラフにすることができる	演習	松山
6	3)	代表値のいくつかを挙げることができる	講義	松山
7	3)	データの標準化が理解できる	講義	松山
8	3)	相関や相関係数の意味を解説できる	講義	松山
9	3)	帰無仮説の棄却域と採択域の設定と判断ができる	講義	松山
10	3)	検定を決めるポイントを解説できる	講義	松山
11	3)4)	量的データによる2つの変数の差の検定ができる	講義	松山
12	3)4)	カテゴリーによる差の検定ができる	講義	松山
13	3)4)	量的データによる3つの変数の差の検定ができる	講義	松山
14	3)4)	標本と母集団の関係を説明できる	講義	松山
15	3)4)	推測統計が説明できる	講義	松山

教科書: データの処理と解析 (岩淵 千明) 福村出版 【4-571-20058-7】

参考書: 適宜紹介する

科目名: **医療統計学演習**

担当者: 渡辺 渡(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 具体的な事例を元に適切な統計処理ができるよう、Excellの活用とデータの持つ意味が理解できる。グループで検討を行い、発表する。

到達目標: 1) 統計処理の基本が理解できる。
(SBOs) 2) 各事例における正しい統計処理ができる。

評価方法: 各テーマの統計処理結果にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: ノート型パソコン必須。
予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義終了後教員の空いている時間随時。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【研究の種類】 データ収集方法などについて理解する。	講義	渡辺
2	1)	【研究観察】 コホートなどが理解できる。	SGD	渡辺
3	1)	【介入観察】 クロスオーバー試験などが理解できる。	SGD	渡辺
4	1)	【統計結果の読みとり】 統計の表が理解できる。	SGD	渡辺
5	1)	【相関】 相関関係を説明できる。	SGD	渡辺
6	1)	【回帰】 直線回帰ができる。	SGD	渡辺
7	1)	【感度と特異性】 検査の信頼性が理解ができる。	SGD	渡辺
8	1)	【オッズ比】 相対危険度などが理解できる。	SGD	渡辺
9	1)	【NNT】 NNTが説明できる。	SGD	渡辺
10	1)	【Excell統計処理1】 Excellでの統計処理ができる。	SGD	渡辺
11	1)	【Excell統計処理1】 Excellでの統計処理ができる。	SGD	渡辺
12	1)	【Excell統計処理1】 Excellでの統計処理ができる。	SGD	渡辺
13	2)	【臨床事例1】 与えられた臨床事例を十分理解し、適切な統計処理ができる。	SGD	渡辺
14	2)	【臨床事例2】 与えられた臨床事例を十分理解し、適切な統計処理ができる。	SGD	渡辺
15	2)	【臨床事例3】 与えられた臨床事例を十分理解し、適切な統計処理ができる。	SGD	渡辺

教科書: 恋する医療統計学 出版社: 南江堂; 1版 (2015/4/16) ISBN-13: 978-4524257171

参考書: 使用しない。

科目名: **医療統計学演習**

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 医療統計学では、統計学の基礎を学び、保健科学分野における基本的なデータ分析方法を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) データと母集団との関係を説明できる。
- 2) 対応があるデータと対応がないデータの区別ができる。
- 3) ヒストグラムと正規分布について説明できる。
- 4) パラメトリックデータとノンパラメトリックデータの区別ができる。
- 5) 平均値、中央値、標準偏差、標準誤差、パーセントオイルを説明でき、算出できる。
- 6) 典型的な2群のデータの比較統計計算を行うことができる。
- 7) 典型的な多群のデータの比較統計計算を行うことができる。
- 8) 典型的な比率の比較を行うことができる。
- 9) 分散の比較を行うことができ、Student法とWelch法の使い分けができる。
- 10) 相関分析と回帰分析について説明できる。
- 11) Excelを用いて簡単な統計処理ができる。

評価方法: 毎回のレポート(30%)と期末試験(70%)による

準備学習・履修上の注意等: 授業時間のおおよそ2倍の時間、予習復習をすることが求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)11)	データと母集団	講義、演習	川野
2	2)11)	対応があるデータと対応がないデータ	講義、演習	川野
3	1)3)11)	ヒストグラムと正規分布	講義、演習	川野
4	4)11)	パラメトリックデータとノンパラメトリックデータ	講義、演習	川野
5	1)4)511)	代表値と散布度	講義、演習	川野
6	1)4)511)	比較統計の考え方	講義、演習	川野
7	1)2)11)	2群の比較	講義、演習	川野
8	1)~5)6)11)	分散の比較	講義、演習	川野
9	1)~5)9)11)	3群以上の比較	講義、演習	川野
10	1)8)11)	独立性の検定	講義、演習	川野
11	1)8)11)	適合度の検定	講義、演習	川野
12	1)~5)7)11)	相関と回帰分析	講義、演習	川野
13	10)11)	統計法の選択	講義、演習	川野
14	1)~11)	統計処理演習1	演習	川野
15	1)~11)	統計処理演習2	演習	川野

教科書: なるほど統計学おどろきExcel統計処理第7版 (山崎 信也) 医学書院【978-4871514644】

参考書: 使用しない。

科目名: **英語コミュニケーション**

担当者: Carlie Johnson(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: Students will improve their English ability including listening, speaking, writing, reading and pronunciation skills.

到達目標: 1) Students will improve their English comprehension through learning grammar structures.
(SBOs) 2) Students will improve their English communication skills through class activities.
3) Students will improve their listening skills.

評価方法: Total evaluation on class attitude and tests.

準備学習・履修上の注意等: 1) Bring English/Japanese dictionaries to class
2) Bring the textbook to class.

オフィスアワー: After classes.

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1-3)	unit1 People	講義・演習	Carlie
2	1-3)	unit2 Work, Rest, Play	講義・演習	Carlie
3	1-3)	unit3 Going Places	講義・演習	Carlie
4	1-3)	Review of Units 1-3, Mini Test	講義・演習	Carlie
5	1-3)	unit4 Food	講義・演習	Carlie
6	1-3)	unit5 Sports	講義・演習	Carlie
7	1-3)	unit6 Destinations	講義・演習	Carlie
8	1-3)	Review of Units 4-6, Mini Test	講義・演習	Carlie
9	1-3)	unit7 Communication	講義・演習	Carlie
10	1-3)	unit8 Moving Forward	講義・演習	Carlie
11	1-3)	unit9 Types of Clothing	講義・演習	Carlie
12	1-3)	Review of Units7-9, Mini Test	講義・演習	Carlie
13	1-3)	unit10 Lifestyles	講義・演習	Carlie
14	1-3)	unit11 Achievements	講義・演習	Carlie
15	1-3)	unit12 Consequences	講義・演習	Carlie

教科書: WORLD ENGLISH 1 Second Edition ISBN 978-1-305-08954-9

参考書: なし

科目名: **医療英語**

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 2年次より始まる作業療法学の専門領域授業の理解を促すため、作業療法の領域での頻出英単語・医学用語の語源、発音、意味を習得し、言葉の理解を介してその概念の本質を知る。

到達目標: 1)医療英単語を理解し、説明できる。
(SBOs) 2)接頭辞、接尾辞を理解し、説明できる。
3)略語を理解し、説明できる。

評価方法: 授業の取り組み姿勢を10%、毎回の小テストを90%として総合評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業前後に1コマ4時間程度の予習復習をすること。

オフィスアワー: 金曜日の13時から17時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【オリエンテーション・単語①】科目の概要を理解し、作業療法の領域での頻出単語①について説明できる。	講義	立石
2	1)2)3)	【単語②】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
3	1)2)3)	【単語③】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
4	1)2)3)	【単語④】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
5	1)2)3)	【単語⑤】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
6	1)2)3)	【単語⑥】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
7	1)2)3)	【単語⑦】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
8	1)2)3)	【単語⑧】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
9	1)2)3)	【単語⑨】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
10	1)2)3)	【単語⑩】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
11	1)2)3)	【単語⑪】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
12	1)2)3)	【単語⑫】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
13	1)2)3)	【単語⑬】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
14	1)2)3)	【単語⑭】 作業療法の実際を英語で理解する	講義	立石
15	1)2)3)	【総括】 論文を読み、理解する	講義	立石

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **医療英語**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 生涯自律性と問題発見・解決力を身につけた言語聴覚士となるために(DP6,7)、医療・保健に関する基礎的な専門語彙を修得する(CP1(1))。

到達目標: 1)医療・保健に関する基礎的な専門語彙の日英訳ができる。
(SBOs) 2)接頭辞や接尾辞の意味を理解することで、単語の意味を推測できる。

評価方法: 宿題の提出(15%)と小テスト(35%)により学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学期末の単位認定試験を50%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習(次回おこなうところを予習すること)・復習(小テストに備えてその日習った内容を復習すること)をおこなうこと。宿題の提出を必ず守ること。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 1	講義	内藤
2	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 2	講義	内藤
3	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 3	講義	内藤
4	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 4	講義	内藤
5	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 5	講義	内藤
6	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 6	講義	内藤
7	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 7	講義	内藤
8	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 8	講義	内藤
9	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 9	講義	内藤
10	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 10	講義	内藤
11	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 11	講義	内藤
12	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 12	講義	内藤
13	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 13	講義	内藤
14	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 14	講義	内藤
15	1)2)	医療・保健分野の基礎的な専門語彙:BMW Unit 15	講義	内藤

教科書: Basic Medical Words (高垣 俊之) 鷹書房弓プレス 【4-8034-1249-9】

参考書: 使用しない。

科目名: **医療英語**

担当者: 吉武 重徳(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: コメディカルとしての医療専門英語の語彙、聴き取り能力、表現能力、writing skill等を総合的にプラクティスする。

到達目標: 1)医療英単語の特徴を既知の単語と関連づけ列挙する。
(SBOs) 2)英語構文についてその構成を吟味する。
3)英語アレルギーを克服して身近に感じしてみる。
4)英語で表現してみる。

評価方法: 授業における教官による行われる質疑応答態度、および毎回の小テストによる評価。

準備学習・履修上の注意等: 各授業における小テストの内容に対して各回復習を確実にに行い習得すること。
小テストの内容が提示された場合は、確実に内容の習得を行い授業に参加すること。
各課題提出がある場合は、次回講義までに予習をし準備していること。

オフィスアワー: 金曜日11:00~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
2	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
3	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
4	3)4)	【英語で表現してみる2】 日常生活での身の回りの出来事を英語で表現する。	講義	吉武
5	1)	【医療英語の語彙をみる1】 テキストを使用。見て、聴いて、書いて、習得する。	講義	吉武
6	1)	【医療英語の語彙をみる1】 テキストを使用。見て、聴いて、書いて、習得する。	講義	吉武
7	2)3)4)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
8	2)3)4)	【英語の論文を読む2】 英文をみて、日本語との構造の違い、さらに考え方の違いを見てみる。	講義	吉武
9	2)3)4)	【英語の論文を読む3】 英文をみて、日本語との構造の違い、さらに考え方の違いを見てみる。	講義	吉武
10	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
11	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
12	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
13	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
14	1)2)	【医療用の英語教材について】 英語をさらにbrush upするためには?効率よく、集中して。その方法を例示するので考えてみる。	講義	吉武
15	1)2)3)4)	【医療人としての英語力】 医療を行ううえで、どのくらいの英語の力が必要なのか?表現力、読解力、発言力などから考えてみる。	講義	吉武

教科書: 携帯版 英会話とっさのひとこと辞典DHC; 携帯版(1999/02)ISBN-13: 978-4887241442

参考書： 使用しない。

科目名: **医療英語**

担当者: 吉武 重徳(保・視)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: コメディカルとしての医療専門英語の語彙、聴き取り能力、表現能力、writing skill等を総合的にプラクティスする。

到達目標: 1)医療英単語の特徴を既知の単語と関連づけ列挙する。
(SBOs) 2)英語構文についてその構成を吟味する。
3)英語アレルギーを克服して身近に感じしてみる。
4)英語で表現してみる。

評価方法: 授業における教官による行われる質疑応答態度、および毎回の小テストによる評価。

準備学習・履修上の注意等: 各授業における小テストの内容に対して各回復習を確実にに行い習得すること。
小テストの内容が提示された場合は、確実に内容の習得を行い授業に参加すること。
各課題提出がある場合は、次回講義までに予習をし準備していること。

オフィスアワー: 金曜日11:00~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
2	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
3	1)2)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
4	3)4)	【英語で表現してみる2】 日常生活での身の回りの出来事を英語で表現する。	講義	吉武
5	1)	【医療英語の語彙をみる1】 テキストを使用。見て、聴いて、書いて、習得する。	講義	吉武
6	1)	【医療英語の語彙をみる1】 テキストを使用。見て、聴いて、書いて、習得する。	講義	吉武
7	2)3)4)	【英語の論文を読む1】英語論文を読み、全体から何がテーマでどのように構成されているか判読を試みる。	講義	吉武
8	2)3)4)	【英語の論文を読む2】 英文をみて、日本語との構造の違い、さらに考え方の違いを見てみる。	講義	吉武
9	2)3)4)	【英語の論文を読む3】 英文をみて、日本語との構造の違い、さらに考え方の違いを見てみる。	講義	吉武
10	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
11	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
12	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
13	3)4)	【英語で対話する1】 自己表現を磨く。さらに対話で意思疎通が図れるように工夫する。	講義	吉武
14	1)2)	【医療用の英語教材について】 英語をさらにbrush upするためには?効率よく、集中して。その方法を例示するので考えてみる。	講義	吉武
15	1)2)3)4)	【医療人としての英語力】 医療を行ううえで、どのくらいの英語の力が必要なのか?表現力、読解力、発言力などから考えてみる。	講義	吉武

教科書: 携帯版 英会話とっさのひとこと辞典DHC; 携帯版(1999/02)ISBN-13: 978-4887241442

参考書： 使用しない。

科目名: **社会福祉学**

担当者: 横山 裕

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択※言語聴覚療 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: (1)現代社会における社会福祉の意義・理念を理解するために、日本や海外の社会福祉の歴史を学習する。
(2)医療従事者の基礎知識として、社会保障関連の法律・制度・機関・サービス等について理解を深める。
(3)日本が直面する少子高齢社会の要因と今後の課題、セーフティネットとしての社会保障施策を具体的に学習する。
(4)医療・保健・福祉に関わる専門職としての役割や援助者としての基本的姿勢について学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)医療と社会福祉制度との関連について説明できる。
2)社会福祉の形成過程について理解し、説明できる。
3)社会福祉保障制度の課題、改革について説明できる。
4)生活保護に関する特徴的事項を説明できる。
5)高齢者福祉、介護保険に関する特徴的事項を説明できる。
6)児童福祉に関する特徴的事項を説明できる。
7)身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいに関する特徴的事項を説明できる。
8)所得保障制度(年金、雇用、労災、医療保険)に関する特徴的事項を説明できる。

評価方法: 学内の「教務内規」又は、「単位認定基準」等に基づいた「筆記試験」による評価。

準備学習・履修上の注意等: 1. テキストは毎回必ず持参すること。 2. 講義ごとの資料で授業内容の要点を復習すること。 3. 次回講義内容について、テキスト等で予習して受講すること。 4. 1回の授業に当たり4時間を目安に予習、復習を行うこと。

オフィスアワー: 時間割が確定後研究室に掲示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 4)~8)	【社会福祉の概念とその範囲】 医療従事者として社会福祉制度を学ぶ基本的な取り組みの姿勢や、多面的な捉え方の重要性を認識する。ノーマライゼーションの理念を実社会で発揮できるよう、社会福祉学を知識のみならず、人間価値として理解できるよう学習する。	講義	横山
2	2)	【日本及び欧米の社会福祉の歴史】 我が国の社会福祉事業の基礎を築いた先人達の偉業を学ぶ。また、日本の社会福祉制度に影響を及ぼした欧米を中心とした諸国の社会福祉の歴史、思想の背景を理解する。	講義	横山
3	2)	【日本国憲法第25条及び福祉六法の成立と概要】 終戦と同時に法治国家の基本として成立した日本国憲法、中でも社会福祉の理念を司る第25条を詳細に分析する。関連する福祉三法や福祉六法について、成立時期、各法の目的の概要を学習し、日本の福祉施策の全体像を理解する。	講義	横山
4	2)	【社会保障制度変遷の概要と今後の取り組み】 戦後から現在に至るまで、医療・福祉・保険制度の変遷と具体的な取り組みを理解し、我が国の社会・経済活動との関連を理解する。社会保障制度の充実が国民にとって不可欠な制度であることを理解する。	講義	横山
5	2) 3)	【社会福祉基礎構造改革の骨子とねらい】 戦後間もなく構築された福祉関連法は時代の推移に伴い改正せざるを得ない状況が生じた。時代に呼応し変化する国民社会生活と社会保障のニーズに応えるべく実施された社会福祉基礎構造改革の内容と目的を理解する。	講義	横山
6	2) 3)	【日本の社会福祉の現況と今後の推移】 国勢調査を基にしたデータを分析し、過去との比較により人口動態や出生率の低下による少子社会の原因や平均寿命の延びに伴う高齢社会の進展等の現状を把握し、将来の推計により今後の福祉施策を推察する。	講義	横山
7	4)	【生活保護法の解説及び現況と課題】 日本国憲法第25条を具現化する生活保護法の成立経緯と変遷を学習する。制度内容、低所得者や生活困窮者に対する救済と自立に向けた事業の内容を理解し、医療従事者として制度を活用できるような見識を深める。	講義	横山

8	5)	【高齢者保健福祉と老人福祉法をはじめとする高齢者福祉施策の経緯】 高齢者の特質や老人福祉法成立の経緯、基本的理念及び目的について学習し、高齢社会の現況を理解する。また、介護保険制度導入までの取り組みを学習する。	講義	横山
9	5)	【介護保険法の成立経緯、詳細と現況及び課題】 2000年4月より導入された介護保険法成立の経緯や法の基本的理念・目的・制度の内容について理解し、高齢社会を支える法制度の導入に至った理由と現況を理解する。	講義	横山
10	5)	【高齢者福祉の現状及び課題】 ケアマネジメント、ケアプラン、認知症、福祉用具貸与など介護保険制度に関連する具体的取り組みを理解し、医療従事者として高齢者福祉の課題の認識を深める。介護保険制度の取り組みについて自らの身近な問題として意識できるよう学習する。	講義	横山
11	6)	【児童福祉法・母子及び寡婦福祉法の現況と課題】 児童福祉法及び母子寡婦福祉法の成立の経緯、基本的理念及び目的について理解し、保育施策、障がい児施策、その他児童にかかわる諸課題について学習する。更に母子寡婦家庭の現況を理解すると共に、医療従事者としての問題意識を持つ。	講義	横山
12	7)	【障害保健福祉の法律、障害の概念、リハビリテーションについて】 障害に関連する身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・障害者基本法の経緯や基本的理念及び目的を理解する。また、国際的及び日本における障害の概念について経緯を考察し、障害概念の変化を確認する。また、障害とリハビリテーションの関連についても理解を深める。	講義	横山
13	7)	【障害者総合支援法、障害者保健施策と課題】 身体障害者、知的障害者、精神障害者などの障害者総合支援法の基本的理念及び目的を理解し、現実的な障がい者福祉制度の現況を把握する。障がい者福祉への取り組みを理解し、今後、医療従事者として障がい者医療に携わる当事者としての問題意識を持つ。	講義	横山
14	8)	【社会保障制度としての年金、雇用、労働者災害補償、医療保険制度の解説と課題】 社会保障制度としての公的年金制度、雇用保険、労働者災害保険、医療保険制度の詳細を理解し、セーフティネット機能としての社会保障制度を理解する。	講義	横山
15	4)~8)	【社会保障の機能、体系と範囲、社会福祉の実施体制について】 社会保障機能の全般的視点から所得再配分、ナショナルミニマム・セーフティネット機能など再確認する。社会保障制度体系として、社会保険・公的扶助・社会福祉・公衆衛生及び医療・老人保健制度など医療従事者が把握しておくべき制度を再整理する。	講義	横山

教科書： (新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度)「社会福祉」 第10版 メジカルフレンド社ISBN:978-4-8392-3318-1

参考書： 使用しない。

科目名: **哲学**

担当者: 栗栖 照雄(生・医)・渡邊 一平(福・ス)

配当学科: 作業療法学科・言語療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1学年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 現在、世界的に展開する文化・思想の基底を支配している西洋の近代自然科学は、ルネサンス・宗教改革を経て17世紀の科学革命によって成立した。その自然科学の基底には、西洋の近代的人間観の核を成す「絶対的自我」の活動が想定されている。本講義では、西洋近代自然科学が誕生する歴史的経緯を学習すると共に、自然科学に基礎を置くテクノロジーから発生する現象を、現代の様々な領域(思想・医療・保健・福祉)から抽出し、それぞれの問題に対して主体的に関与する態度を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)「哲学」のギリシャ語源philosophia⇒philosophyの意味と、それが「哲学」と日本語訳された経緯を説明できる。
 - 2)西洋の近代的人間観の特徴と、それを生み出した歴史的な事象について説明できる。
 - 3)17世紀科学革命について説明できる。
 - 4)近代的人間観の核をなす「超越論性」の意味を説明できる。
 - 5)「内在主義」と「構成主義」の意味について説明できる。
 - 6)「二元論」と「自我分裂」の意味について説明できる。
 - 7)「現象学」の意味について説明できる。
 - 8)多彩な視点を持つことで、思想の根源を見つめなおすことができる。
 - 9)他者との関係性の中から、自己とは何か?について理解できる。
 - 10)科学の方法論から主観と客観について理解できる。
 - 11)西洋的「知重視」の思想と東洋の「心重視」の思想を比較して、西洋的なものを超えた哲学の可能性について説明できる。
 - 12)人間におけるケアの意味を理解し、ケアの意味の広がりについて説明できる。

評価方法: 毎回の授業終了後に形成的評価のための小テストを行う。学期末の単位認定試験70%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 様々な毎授業後に必ず配布資料を読み返すこと。次回の授業までに少なくとも4時間以上の予習・復習を行うこと。近代科学における知の体系と構造の客観性が、意識の主観性に基礎づけられていることを確認すること

オフィスアワー: 毎週月曜～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	「哲学」philosophyなどの言葉の意味を通して、この科目の学習目的を考える。	講義	栗栖
2	2)	ルネサンス・宗教改革、および「社会契約説」等の思想潮流と、それに関わった人物の思想や言説を理解する。	講義	栗栖
3	3)	ガリレオ、デカルト、ニュートンの、それぞれの思想的役割を理解する。	講義	栗栖
4	4)	古代・中世から近代へ転換する宇宙観・自然観・人間観における変化の特徴及び近代的宇宙観の誕生と「超越論性」の自覚が連動していることを理解する。	講義	栗栖
5	5)	「内在主義」の原理を確立したデカルトと、「構成主義」の原理を基礎づけたカントの、それぞれの言説を理解する。	講義	栗栖
6	6)	内在主義の認識論的立場から「主観・客観二元論」が発生する事理解する。	講義	栗栖
7	7)	フッサールの現象学とハイデッガーの「世界内存在」の内容と意義を理解する。	講義	栗栖
8	8)	多彩な視点を持つことで、思想の根源を見つめなおすことができる。	講義	渡邊
9	9)	自己と他者: 他者との関係性の中から、自己とは何か?について理解できる。	講義	渡邊
10	9)	他者との関係性の中から、自己とは何か?について理解できる。	講義	渡邊
11	9)	自立と依存: 他者との関係性の中から、自己とは何か?について理解できる。	講義	渡邊
12	10)	科学の視点1: 科学の方法論から主観と客観について理解できる。	講義	渡邊
13	10)	科学の視点2: 科学の方法論から主観と客観について理解できる。	講義	渡邊
14	11)	西洋では「知」と東洋の「心」の本質的な違いは何なのか。	講義	渡邊
15	12)	ケア(care)の意味から人間本質に関する規定を導出できることを理解する。	講義	栗栖・渡邊

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: **社会学**

担当者: 長友 道彦(講師)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・視機能療法学科・臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択※ 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 「社会」は身近な家庭から地域, 国家や世界という広い領域から構成されている。そして, それぞれの領域において, 様々な問題が発生している。育児や介護という家族の問題, 経済的格差や貧困の連鎖という問題があり, 学校におけるいじめや職場におけるセクハラ・マタハラがある。さらには, 世界的規模での公害問題や貿易問題, 民族・宗教問題などもある。
この授業では, 社会の様々な構成要素や事象, 社会における問題点を取り上げ, 理解し考察し, そして, どうすることが人間の福利・幸福(well-being)につながるかを考察する。
また, 様々な短歌を通して, 社会を考察する。

到達目標: (SBOs)
1) 社会学に関する用語や意義を理解し, 説明することができる。
2) 社会構造や事象の成立過程や問題点を理解し, 説明することができる。
3) 社会事象の問題点を理解し, あるべき姿を考察し表現することができる。
4) 本学で学ぶことによって, 福祉に対する理解と行動する意欲を持って行動することができる。
5) 人間の福利(well-being)に対する考察を深め, 実践への意識を持つことができる。

評価方法: 毎回の授業での態度, 小テスト, 感想文, レポート, 期末試験及び出席状況等を総合的に勘案して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 予習は使用する教科書を熟読して難解な語句の意味を調べるのに150分, 復習はレジユメの見直しと教科書の再読に90分を充てること。

オフィスアワー: 研究室(B-513)ドアに掲示します。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)4)	「社会学」ガイダンス…成立と研究対象と課題	講義	長友
2	1)	社会調査法…その意義, 種類とプロセス, 相関関係と因果関係	講義	長友
3	1)3)	家族論…家族の定義と福利, 家族の個人化と少子化	講義	長友
4	1)3)	「教育」論…教育の平等と階層との関連における学校の役割	講義	長友
5	1)3)	メディア論…メディアの発展と社会の変容, 情報リテラシーの重要性	講義	長友
6	1)2)3)5)	少子高齢社会…その実像と影響と対応	講義	長友
7	1)2)3)5)	「地域社会とコミュニティー」…少子高齢社会におけるコミュニティーの必要性と可能性	講義	長友
8	1)2)3)	グローバリゼーション…その登場背景と社会変化, そして対応法	講義	長友
9	1)2)3)5)	社会階層…社会格差の成立過程と貧困と社会的公正の在り方	講義	長友
10	1)2)3)	労働論…雇用関係の多様化とその動向	講義	長友
11	1)2)3)4)	福祉と社会保障(1)…福祉国家の成立過程と現状, 望ましい福祉の在り方	講義	長友
12	1)2)3)4)	福祉と社会保障(2)…生活習慣・感染症予防・環境と健康から見た保健・医療・福祉のあるべき姿	講義	長友
13	1)2)3)4)	福祉と社会保障(2)…生活習慣・感染症予防・環境と健康から見た保健・医療・福祉のあるべき姿	講義	長友
14	1)2)3)5)	社会福祉と相談援助(1)…ソーシャルワークとは何か	講義	長友
15	1)2)3)5)	社会福祉と相談援助(2)…相談援助の展開過程 コミュニケーション…その重要性と方法, 留意点と実践	講義	長友

教科書: ISBN978-4-8329-6793-9 『アンビシャス 社会学』 櫻井・飯田・西浦 編著 (北海道大学出版会)

参考書: ISBN978-4-8058-5103-6 『相談援助の理論と方法 I』社会福祉士養成講座編集委員会(中央法規)

その他, 適宜紹介する予定

科目名: **生物学**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 作業療法学科・言語聴覚療法学科・臨床工学科(1年次)

必修・選択: 選択(言語:必修) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 細胞は生命の基本単位である。生体の構造・機能を十分理解するためには、細胞の化学成分や細胞内で行われる生命現象の基本を理解することは重要である。生物学では細胞の構造と機能に関する基本的知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 生体を構成する主な化学成分を説明できる。
2) 細胞の構造と機能を説明できる。
3) 酵素の性質と種類を説明できる。
4) 細胞周期と体細胞分裂の仕組みを説明できる。
5) 減数分裂の仕組みと意義を説明できる。
6) エネルギー代謝について説明できる。
7) 核酸の種類と機能について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	タンパク質の基本的な構造と機能を理解する。	講義	近藤
2	1)	糖質の基本的な構造と機能を理解する。	講義	近藤
3	1)	脂質の基本的な構造と機能、ビタミンと無機塩類の機能を理解する。	講義	近藤
4	2)	原核細胞と真核細胞の構造を理解する。	講義	近藤
5	2)	細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能を理解する。	講義	近藤
6	2)	細胞膜の透過性と浸透圧、物質輸送の仕組みを理解する。	講義	近藤
7	3)	酵素及び補酵素の構造と機能を理解する。	講義	近藤
8	3)	基質特異性と酵素反応を調節する外的条件、酵素の主な種類を理解する。	講義	近藤
9	4)	染色体の構造と機能を理解する。	講義	近藤
10	4)	細胞周期及び体細胞分裂の区分と各区分の特徴を理解する。	講義	近藤
11	5)	減数分裂の仕組み及び意義を理解する。	講義	近藤
12	6)	ATPの構造と機能及びエネルギー代謝の仕組みを理解する。	講義	近藤
13	6)	外呼吸と内呼吸の仕組み及び機能を理解する。	講義	近藤
14	7)	核酸の種類・構造・機能を理解する。	講義	近藤
15	7)	遺伝情報とその発現(タンパク質合成)の仕組みを理解する。	講義・実習	近藤

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: **生物学**

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: この科目では、生物学、特に発生学と遺伝学について学習する。さらに、眼科関連の発生異常と遺伝子疾患の学習を行い、発生と遺伝子の仕組みについての理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1)配偶子形成と受精の概要を説明できる。
2)ヒトの発生過程の概要を説明できる。
3)ヒトの眼球発生の概要を説明できる。
4)遺伝の仕組みの概要を説明できる。
5)眼科に関連する主要な発生異常と遺伝疾患の概要を説明できる。

評価方法: 単位認定試験で評価する。ただし、毎回の小テストの平均得点率が60%以上で単位認定試験50点以上であれば60点とみなす。

準備学習・履修上の注意等: 60時間の予習または復習が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	配偶子形成と受精	講義	川野
2	2)	人体発生の概要	講義	川野
3	2)	臓器の発生	講義	川野
4	2)	神経系の発生	講義	川野
5	3)	眼球の発生	講義	川野
6	4)	遺伝子とDNA	講義	川野
7	4)	遺伝子の発現	講義	川野
8	4)	染色体	講義	川野
9	4)	遺伝の基本	講義	川野
10	4)5)	常染色体優性遺伝	講義	川野
11	4)5)	常染色体劣性遺伝	講義	川野
12	4)5)	性染色体遺伝	講義	川野
13	4)5)	非メンデル遺伝	講義	川野
14	4)5)	視覚器の先天異常	講義	川野
15	1)-5)	発生と遺伝のまとめ	講義	川野

教科書: 標準眼科学 第13版 (大野 重昭 他(編)) 医学書院 【978-4-260-02411-2】

参考書: 使用しない。

科目名: **心理学**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 作業療法学科※、視機能療法学科(1年)

必修・選択: 選択※必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 健常児(者)の基本的な心理学的知見を身につけた医療従事者となるために、感覚と知覚、学習、記憶、性格、概念、対人行動、情動についての基本事項を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)心理学とは何か、心理学の歴史を説明できる。
2)感覚、知覚に関する基本的な現象と理論を説明できる。
3)学習に関する基本的な現象と理論を説明できる。
4)記憶に関する基本的な現象と理論を説明できる。
5)性格に関する理論を説明できる。
6)概念に関する理論を説明できる。
7)対人行動に関する基本的な現象と理論を説明できる。
8)情動に関する理論を説明できる。

評価方法: 毎回の授業後の確認シートにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この確認シートの提出を15%、学期末の単位認定試験を85%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	心理学とは、心理学の歴史	講義	内藤
2	2)	感覚、知覚(1)	演習	内藤
3	2)	感覚、知覚(2)	講義	内藤
4	3)	学習(1)	演習	内藤
5	3)	学習(2)	講義	内藤
6	4)	記憶(1)	演習	内藤
7	4)	記憶(2)	講義	内藤
8	5)	性格(1)	演習	内藤
9	5)	性格(2)	講義	内藤
10	6)	概念(1)	演習	内藤
11	6)	概念(2)	講義	内藤
12	7)	対人行動(1)	演習	内藤
13	7)	対人行動(2)	講義	内藤
14	8)	情動(1)	演習	内藤
15	8)	情動(2)	講義	内藤

教科書: 使用しない。講義レジュメを配布する。

参考書: 適宜紹介する。

科目名: **心理学**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)、臨床工学科(2年)、生命医科学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 健常児(者)の基本的な心理学的知見を身につけた医療従事者となるために、感覚と知覚、学習、記憶、性格、概念、対人行動、情動についての基本事項を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)心理学とは何か、心理学の歴史を説明できる。
2)感覚、知覚に関する基本的な現象と理論を説明できる。
3)学習に関する基本的な現象と理論を説明できる。
4)記憶に関する基本的な現象と理論を説明できる。
5)性格に関する理論を説明できる。
6)概念に関する理論を説明できる。
7)対人行動に関する基本的な現象と理論を説明できる。
8)情動に関する理論を説明できる。

評価方法: 毎回の授業後の確認シートにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この確認シートの提出を15%、学期末の単位認定試験を85%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	心理学とは、心理学の歴史	講義	内藤
2	2)	感覚、知覚(1)	演習	内藤
3	2)	感覚、知覚(2)	講義	内藤
4	3)	学習(1)	演習	内藤
5	3)	学習(2)	講義	内藤
6	4)	記憶(1)	演習	内藤
7	4)	記憶(2)	講義	内藤
8	5)	性格(1)	演習	内藤
9	5)	性格(2)	講義	内藤
10	6)	概念(1)	演習	内藤
11	6)	概念(2)	講義	内藤
12	7)	対人行動(1)	演習	内藤
13	7)	対人行動(2)	講義	内藤
14	8)	情動(1)	演習	内藤
15	8)	情動(2)	講義	内藤

教科書: 使用しない。講義レジュメを配布する。

参考書: 適宜紹介する。

科目名: **教育学**

担当者: 登坂 学(保・工)

配当学科: 保健科学部(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 次代を担う子どもたちを心身両面からケアすること。これは将来医療に従事する諸君に求められる重要な役割である。そのために本講義では「子どもにとって現代とはどのような時代であるか」を考えてみよう。子どもは、自己・他者・社会を知ることによって大人になっていく。しかしそのプロセスを阻害するものが社会にあるのではないか?それは何だろう?その背景は?我々が保障すべきは、子どもが成長するための「最善の利益」である。では、子ども時代をより価値のあるものにするために、我々はどのように行動し、子どものために育ちの環境を整えればよいのか?逆に子ども自身はどのように主体的に生きていくべきか?このような「問い」を大切に、考えつつ、学生自身が社会の仕組みを理解することができるようにしたい。この思考体験により、将来の医療活動(医療者は教育者としての役割も担う)に深み加わるだろう。

到達目標: (SBOs) 1)子どもをとりまく環境を考察するためのまざまな視点を理解し説明できる。
2)子どもに関わる諸問題が発生する社会環境や構造を冷静に観察することができ、単純な自己責任論から距離を置きつつ分析・発言することができる。
3)ディスカッションやグループワーク、全体発表等の機会を通じて自分の意見を率直に表明できる。さらには他者の意見とすり合わせを行ったうえで建設的議論を行うことができるようになる。
4)様々な問題を乗り越えようとする子どもの姿を描写した映画やルポルタージュの視聴及び解釈により、上記の「問い」の考察のためのヒントを掴み、自分なりに考えを表明できるようになる。

評価方法: 出席状況及び授業への参加態度(30%) + 提出物等の評価(40%) + 総括課題(30%)で総合的に判定する。

準備学習・履修上の注意等: 通常の講義だけでなく、個人課題及びグループワーク、ディスカッション等、参加型のコンテンツもあるため、何よりも主体的な参加姿勢及び貢献が求められる。なお、毎回最低1時間の予習・復習が必要である。

オフィスアワー: 火曜12:30-13:00、水曜12:30-13:00、木曜12:30-13:00。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【授業のガイダンス】【子どもにとって「自分」とは】子どものアイデンティティを考えるうえで大切なものに「名前」がある。関連事案をつづいて名前の重要性を理解したうえで、自己紹介できる。	講義	登坂
2	1)2)3)	【子どもにとって「年齢」とは】年齢によってできること(許されること)、できないこと(許されないこと)があるが、その事例や論拠について批判的に考察し、意見を述べることができる。	講義	登坂
3	1)2)3)	【子どもにとって「住所」とは】居住地や住環境は子どもの人生を左右する重大事だ。身近な「場所」が子どもの成長にどのような意味を持つのか理解し、支援方法を説明できる。	講義	登坂
4	4)	【映像資料に学ぶ「子どもと社会」(その1)】: 上述の「問い」についての思考に大きなヒントを与えてくれる映画やルポルタージュ等映像資料を視聴することにより、思考を深化し、感想を述べられる。	視聴	登坂
5	1)2)3)	【子どもにとって「家族」とは】様々な理由により家庭における平穏な生活が保障されない子どもも多い。問題の背景を理解したうえで子どもの利益を守る方法を説明できる。	講義	登坂
6	1)2)3)	【子どもにとって「性別」とは】「ジェンダー」の概念及び事案を理解したうえで、保育・幼児教育現場に存在するジェンダーを認識し、適切な行動をとることができるようになる。	講義	登坂
7	1)2)3)	【子どもにとって「死別」とは】近い者やペットとの死別は悲しい出来事であるが、「死=タブー」ではなく、成長のための積極的機会でもあることを理解し、どのように向き合うか意見表明できる。	講義	登坂
8	4)	【映像資料に学ぶ「子どもと社会」(その2)】: 上述の「問い」についての思考に大きなヒントを与えてくれる映画やルポルタージュ等映像資料を視聴することにより、思考を深化し、感想を述べられる。	視聴	登坂
9	1)2)3)	【子どもにとって「社会」とは】ルールを守り、他者と関係しネットワークを構築することが大人になるための重要なプロセス(社会化)であることを理解したうえで、実際の支援方法を考察できる。	講義	登坂
10	1)2)3)	【子どもにとって「学校」とは】学校は子どもの社会化を促す場。教師は大人の代弁者であり、その出会いが子どもたちを成長させていく。学校構造の理解のうえで理想とする教師像を表現できる。	講義	登坂

11	1)2)3)	【子どもにとって「友人」とは】友達は貴重なものだが、いじめやピア・プレッシャーのため、傷ついている子どもたちがいる。典型事案やそのようなことが起こる背景を理解し、支援方法を提言できる。	講義	登坂
12	4)	【映像資料に学ぶ「子どもと社会」(その3)】: 上述の「問い」についての思考に大きなヒントを与えてくれる映画やルポルタージュ等映像資料を視聴することにより、思考を深化し、感想を述べられる。	視聴	登坂
13	1)2)3)	【子どもにとって「恋愛」とは】子どもの成長において「性」は避けて通れないテーマである。保育者としてこの問題にどのようにアプローチし、「自分を大切にする」方法を伝えられるか表現できる。	講義	登坂
14	1)2)3)	【子どもにとって「職業」とは】パンのためだけに働くのではない。職業は自分を認める手段でもある。職業へのアプローチは成長の過程であることを理解し、支援の方法を説明できる。	講義	登坂
15	1)2)3)	【子どもにとって「国家」とは】国家は如何にして子どもに国家自身を認識させてきたのかを戦前・戦後の比較を通じて理解し、どのように穏健な国家観を育てたらよいか意見を表明できる。	講義	登坂

教科書： 特に指定しない。

参考書： 講義において適宜指示する。

科目名: **解剖学**

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 解剖学では、人体の構造と機能の概要について解剖学的に系統立てて学ぶことで、他の基礎医学や一般臨床医学の学習に必要な解剖学的知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)基本的な解剖学用語を理解し、適切に使うことができる。
2)筋骨格系の構造と機能の概要を説明できる。
3)循環器系の構造と機能の概要を説明できる。
4)消化器系の構造と機能の概要を説明できる。
5)呼吸器系の構造と機能の概要を説明できる。
6)泌尿生殖器系の構造と機能の概要を説明できる。
7)内分泌系の構造と機能の概要を説明できる。
8)神経系の構造と機能の概要を説明できる。

評価方法: 単位認定試験(50~59点で毎回行う小テストの得点率が60%以上の場合は60点にする)

準備学習・履修上の注意等: 授業時間のおよそ2倍の予習復習時間が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	解剖学の用語、細胞・組織の構造を含む	講義	川野
2	2)	筋骨格系1:総論	講義	川野
3	2)	筋骨格系2:各論	講義	川野
4	3)	循環器系1:総論、心臓	講義	川野
5	3)	循環器系2:血管系	講義	川野
6	3)	循環器系3:リンパ系	講義	川野
7	3)	循環器系4:血液と免疫系	講義	川野
8	4)	消化器系	講義	川野
9	5)	呼吸器系	講義	川野
10	6)	泌尿生殖器系	講義	川野
11	7)	内分泌系	講義	川野
12	8)	神経系1:総論	講義	川野
13	8)	神経系2:中枢神経系	講義	川野
14	8)	神経系3:末梢神経系	講義	川野
15	8)	神経系4:伝導路、自律神経系	講義	川野

教科書: 解剖生理学 第9版 (坂井建雄) 医学書院 【978-4260018265】

参考書: 使用しない。

科目名: **解剖学**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 人体の正常な基本構造を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。解剖学では、正常な人体の構造と機能を理解するために、人体を構成する細胞・組織・器官の肉眼解剖および顕微解剖レベルでの構造と機能に関する基本的知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)人体の体形の概略を説明できる。
2)組織の種類と機能について説明できる。
3)骨の構造と機能及び骨の連結について説明できる。
4)骨格筋の構造及び人体の主要な骨格筋(呼吸運動に関係)の種類と機能について説明できる。
5)心臓・血管系の構造と機能について説明できる。
6)リンパ系の構造と機能について説明できる。
7)呼吸器の構造と機能について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	人体の部位の名称・方向や位置を示す用語、体腔の種類を理解する。	講義	近藤
2	2)	組織1:上皮組織の種類・構造・機能と結合組織の種類・構造・機能を理解する。	講義	近藤
3	2)	組織2:筋組織の種類・構造・機能と神経組織の構造・機能を理解する。	講義	近藤
4	3)	骨1:骨の構造・機能と骨の連結の種類・構造を理解する。	講義	近藤
5	3)	骨2:骨の模型を用いて、人体の各部を構成する骨を観察し、骨の名称と位置について理解する。	実習	近藤
6	4)	骨格筋:骨格筋の種類と作用(特に呼吸筋)を理解する。	講義	近藤
7	5)6)	循環器系1:体循環と肺循環の仕組みと機能及び血管の種類・構造・機能を理解する。	講義	近藤
8	5)	循環器系2:心臓の外形と出入りする血管、心臓壁と内腔の構造を理解する。	実習	近藤
9	5)	循環器系3:心臓の弁、刺激伝導系、冠循環の構造と機能を理解する。	講義	近藤
10	5)	循環器系4:大動脈弓の枝、頭頸部及び上肢の動脈の分布を理解する。	講義	近藤
11	5)	循環器系5:胸大動脈の枝、腹大動脈の枝、下肢の動脈の分布を理解する。	講義	近藤
12	5)	循環器系6:全身の静脈計の分布及び機能を理解する。	講義	近藤
13	6)	循環器系7:リンパ管系の分布、リンパ性器官の構造と機能を理解する。	講義	近藤
14	7)	呼吸器系1:上気道と下気道の構造と機能を理解する。	講義	近藤
15	7)	呼吸器系2:肺の構造と機能、胸膜の区分と縦隔の構造を理解する。	講義	近藤

教科書: 入門人体解剖学(藤田 恒夫) 南江堂【4-524-21557-7】

参考書: 使用しません。

科目名: **解剖学**

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 解剖学では、人体の構造と機能の概要について解剖学的に系統立てて学ぶことで、他の基礎医学や一般臨床医学の学習に必要な解剖学的知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)基本的な解剖学用語を理解し、適切に使うことができる。
2)筋骨格系の構造と機能の概要を説明できる。
3)循環器系の構造と機能の概要を説明できる。
4)消化器系の構造と機能の概要を説明できる。
5)呼吸器系の構造と機能の概要を説明できる。
6)泌尿生殖器系の構造と機能の概要を説明できる。
7)内分泌系の構造と機能の概要を説明できる。
8)神経系の構造と機能の概要を説明できる。

評価方法: 単位認定試験(50~59点で毎回行う小テストの得点率が60%以上の場合は60点にする)

準備学習・履修上の注意等: 授業時間のおよそ2倍の予習復習時間が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	解剖学の用語語、細胞・組織の構造を含む	講義	川野
2	2)	筋骨格系1:総論	講義	川野
3	2)	筋骨格系2:各論	講義	川野
4	3)	循環器系1:総論、心臓	講義	川野
5	3)	循環器系2:血管系	講義	川野
6	3)	循環器系3:リンパ系	講義	川野
7	3)	循環器系4:血液と免疫系	講義	川野
8	4)	消化器系	講義	川野
9	5)	呼吸器系	講義	川野
10	6)	泌尿生殖器系	講義	川野
11	7)	内分泌系	講義	川野
12	8)	神経系1:総論	講義	川野
13	8)	神経系2:中枢神経系	講義	川野
14	8)	神経系3:末梢神経系	講義	川野
15	8)	神経系4:自律神経系、感覚器系(視覚器を除く)	講義	川野

教科書: 解剖生理学 第9版 (坂井建雄) 医学書院 【978-4260018265】

参考書: 使用しない。

科目名: **解剖学**

担当者: 近藤照義(保・工)、立石修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人体の正常な基本構造を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。解剖学では、正常な人体の構造と機能を理解するために、人体を構成する細胞・組織・器官の肉眼解剖および顕微解剖レベルでの構造と機能に関する基本的知識を習得する。本科目では、解剖学総論、細胞、組織、骨格系、筋系、循環器系、消化器系について学習する

- 到達目標: (SBOs)
- 1)人体の体形の概略を説明できる。
 - 2)細胞の構造と機能について説明できる。
 - 3)組織の種類と機能について説明できる。
 - 4)骨の構造と機能及び骨の連結について説明できる。
 - 5)骨格筋の構造及び人体の主要な骨格筋の種類と機能について説明できる。
 - 6)心臓・血管系の構造と機能について説明できる。
 - 7)リンパ系の構造と機能について説明できる。
 - 8)消化器系の構造と機能について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、終日(立石) 金曜日、13:00~17:00(近藤)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)4)	骨1:肩甲帯と上腕の骨の構成と骨の各部の名称を理解する。	講義	立石
2	1)4)	骨2:前腕と手の骨の構成と骨の各部の名称を理解する。	講義	立石
3	1)4)	骨3:骨盤の構成と骨の各部の名称を理解する。	講義	立石
4	1)4)	骨4:大腿と下腿の骨の構成と骨の各部の名称を理解する。	講義	立石
5	1)4)	骨5:足の骨の構成と骨の各部の名称を理解する。	講義	立石
6	1)4)	骨6:軸骨格の骨の構成と骨の各部の名称を理解する。	講義	立石
7	1)4)	骨7:頭蓋骨の構成と骨の各部の名称を理解する。	講義	立石
8	1)4)	関節1:上肢の関節の構成を理解する。	講義	立石
9	1)4)	関節2:下肢の関節の構成を理解する。	講義	立石
10	1)4)	関節3:軸骨格の関節の構成を理解する。	講義	立石
11	5)	筋1:肩と上腕の筋の種類と機能を理解する。	講義	立石
12	5)	筋2:前腕と手の筋の種類と機能を理解する。	講義	立石
13	5)	筋3:殿部と大腿の筋の種類と機能を理解する。	講義	立石
14	5)	筋4:下腿と足の筋の種類と機能を理解する。	講義	立石
15	5)	筋5:体幹の筋の種類と機能を理解する。	講義	近藤
16	2)	細胞の構造及び細胞内小器官の種類と機能を理解する。	講義	近藤
17	3)	組織1:上皮組織と支持組織の種類と機能を理解する。	講義	近藤
18	3)	組織2:筋組織と神経組織の種類と機能を理解する。	講義	近藤
19	6)	循環器系1:循環器系の構成、血管の種類を理解する。	講義	近藤
20	6)	循環器系2:心臓の構造と機能を理解する。	実習	近藤
21	6)	循環器系3:心臓を観察し、構造を理解する。	講義	近藤
22	6)	循環器系4:上行大動脈と大動脈弓の枝、冠循環を理解する。	講義	近藤
23	6)	循環器系5:頭頸部、上肢の動脈の分布を理解する。	講義	近藤
24	6)	循環器系6:胸大動脈と腹大動脈の枝、下肢の動脈の分布を理解する。	講義	近藤
25	6)	循環器系7:全身の静脈計の分布及び機能を理解する。	講義	近藤
26	7)	循環器系8:リンパ管系及びリンパ性器官の種類と機能を理解する。	講義	近藤
27	8)	消化器系1:消化器系の概略、口腔・咽頭の構造と機能を理解する。	講義	近藤
28	8)	消化器系2:食道・胃の構造と機能を理解する。	講義	近藤
29	8)	消化器系3:小腸・大腸の構造と機能を理解する。	講義	近藤
30	8)	消化器系4:肝臓・膵臓・腹膜の構造と機能を理解する。	講義	近藤

教科書: Standard Textbook 解剖学 第4版(奈良 勲、鎌倉 矩子) 医学書院【9784260020084】

参考書: 必要な場合は適宜紹介します。

科目名: **解剖学実習**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 人体の正常な基本構造を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。解剖学実習では、正常な人体の構造を細胞のレベルから個体レベルまで一体として理解するために、人体を構成する呼吸器系、泌尿生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系の構造と機能並びに人体の発生に関する基本的知識を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)消化器の構造と機能を説明できる。
 - 2)呼吸器系の構造と機能を説明できる。
 - 3)内分泌系の構造と機能を説明できる。
 - 4)泌尿器系の構造と機能を説明できる。
 - 5)生殖器系の構造と機能を説明できる。
 - 6)感覚器系の構造と機能を説明できる。
 - 7)中枢神経系の構造と機能を説明できる。
 - 8)末梢神経系の構造と機能を説明できる。
 - 9)人体の発生の概略について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	胃、小腸、大腸の構造を模型とバーチャルスライドを用いて理解する。	実習	近藤
2	1)	肝臓、膵臓の構造を模型とバーチャルスライドを用いて理解する。	実習	近藤
3	2)	鼻、咽頭、喉頭、気管の構造と機能を理解する。	講義	近藤
4	2)	気管枝、肺の構造と機能を理解する。	講義	近藤
5	2)	気管、気管支、肺の構造を模型とバーチャルスライドを用いて理解する。	実習	近藤
6	3)	下垂体、松果体の構造と機能を理解する。	講義	近藤
7	3)	甲状腺、上皮小体、副腎の構造と機能を理解する。	講義	近藤
8	4)	腎臓の構造と機能を理解する。	講義	近藤
9	4)	腎臓の構造を模型とバーチャルスライドを用いて理解する。	実習	近藤
10	4)	尿管、膀胱、尿道の構造と機能を理解する。	講義	近藤
11	5)	精巣、精巣上体、精管、精嚢、前立腺、陰茎の構造と機能を理解する。	講義	近藤
12	5)	卵巣、卵管、子宮、膣の構造と機能を理解する。	講義	近藤
13	6)	眼の構造と機能を理解する。	講義	近藤
14	6)	耳の構造と機能を理解する。	講義	近藤
15	6)	眼、耳の構造を模型とバーチャルスライドを用いて理解する。	実習	近藤
16	6)	皮膚の構造、皮膚に分布する感覚神経の種類と機能を理解する。	講義	近藤
17	7)8)	神経系の構成、髄膜・脳室系の構造と機能を理解する。	講義	近藤
18	7)	大脳皮質の構造と機能局在、連合野の構造と機能を理解する。	講義	近藤
19	7)	大脳辺縁系、大脳基底核の構造と機能を理解する。	講義	近藤
20	7)	間脳、中脳の構造と機能を理解する。	講義	近藤
21	7)	橋、延髄の構造と機能を理解する。	講義	近藤
22	7)	小脳の構造と機能を理解する。	講義	近藤
23	7)	脳の構造を模型を用いて理解する。	実習	近藤
24	7)	脊髄の構造と機能を理解する。	講義	近藤
25	8)	脊髄神経の分類・分布と機能を理解する。	講義	近藤
26	8)	脳神経の分類・分布と機能を理解する。	講義	近藤
27	8)	自律神経の分類・分布と機能を理解する。	講義	近藤
28	7)	下行性伝導路の種類と機能を理解する。	講義	近藤
29	7)	上行性伝導路の種類と機能を理解する。	講義	近藤
30	9)	人体の発生の仕組みを理解する。	講義	近藤

教科書: Standard Textbook 解剖学 第4版 (奈良 勲、鎌倉 矩子) 医学書院【9784260020084】

参考書: 必要な場合は適宜紹介します。

科目名: **生理学**

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 人体の生命現象は、血液循環、呼吸、消化・吸収・排泄、内分泌・代謝などのような生命を維持するはたらきと、運動、感覚、神経などのような生命を活性化するはたらきがある。生理学とは、これらの生命を維持したり、生命を活性化したりするしくみを考える学問である。本講は、これら人体生命現象について、基礎的な機序を理解し、健常と様々な病態の相違を考察しうることが目標である。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 生理学を学ぶための基礎知識を学習する。
 - 2) 各消化器の働きを説明できる。
 - 3) 三大栄養素を説明できる。
 - 4) 呼吸器の働きを説明できる。
 - 5) 血液の組成や働きを説明できる。
 - 6) 循環系の構造と働きを説明できる。
 - 7) 泌尿器の働きを説明できる。
 - 8) 自律神経系の働きを説明できる。
 - 9) 内分泌腺の部位と働きを説明できる。
 - 10) 中枢神経系と末梢神経系のはたらきの違いを説明できる。
 - 11) 筋収縮のしくみを説明できる。
 - 12) 五感の受容のしくみを説明できる。
 - 13) 生体の免疫防御機構について説明できる。
 - 14) 生殖について説明できる。
 - 15) 医療従事者に必要な人体のメルクマールを説明できる。

評価方法: 定期試験により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 配布資料による予習と復習を1時間以上行う事。

オフィスアワー: 木曜日の12:00~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)8)	この科目を学習する目的を考える一からだのしくみ:消化と吸収、神経での情報伝達を例として	講義	鬼塚
2	1)	栄養と代謝:なぜ、毎日飲食する必要があるのか?	講義	鬼塚
3	2)	消化器:食べたものはどう消化・吸収されるのか?	講義	鬼塚
4	3)	呼吸器:なぜ、呼吸をしなければならないのか?	講義	鬼塚
5	4)	体液と血液:細胞内液・細胞外液 血液の成分と働き、リンパ系の仕組み、血液凝固	講義	鬼塚
6	5)	血液が体中を巡る循環器:心臓のポンプ機能と心筋、心臓に出入りする血管、弁、心臓の自動能 心電図 血管の仕組みと役割 血圧とは 血圧を一定に保つ仕組み	講義 講義	鬼塚 鬼塚
7	6)	体内のゴミを出す泌尿器:泌尿器とは 腎臓の役割 近位尿細管の役割 腎臓にかかわるホルモン 膀胱と尿道の役割と排尿	講義 講義	鬼塚 鬼塚
8	7)	体を動かす筋:筋の種類 収縮のメカニズム 神経による収縮命令の伝達の仕組み	講義	鬼塚
9	8)	体の連絡・情報網:神経系 中枢神経系	講義	鬼塚
10	9)	自律神経系	講義	鬼塚
11	10)	感じること感覚器:感覚の伝わり方 体性感覚 ものが見える仕組み	講義	鬼塚
12	10)	視覚情報処理 味覚 嗅覚 聴覚 前庭覚	講義	鬼塚
13	11)	睡眠はなぜ必要なのか 睡眠の種類		
14	12)	子孫を残す 生殖		
15	13)	体を整える 内分泌 ホルモンとは		

教科書: 生理学テキスト 第7版 (大地 陸男)文光堂【978-4-8306-0226-9】

参考書: なし

科目名: **生理学**

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 人体の生命現象は、血液循環、呼吸、消化・吸収・排泄、内分泌・代謝などのような生命を維持するはたらきと、運動、感覚、神経などのような生命を活性化するはたらきがある。生理学とは、これらの生命を維持したり、生命を活性化したりするしくみを考える学問である。本講は、これら人体生命現象について、基礎的な機序を理解し、健常と様々な病態の相違を考察しうることが目標である。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 生理学を学ぶための基礎知識を学習する。
 - 2) 各消化器の働きを説明できる。
 - 3) 三大栄養素を説明できる。
 - 4) 呼吸器の働きを説明できる。
 - 5) 血液の組成や働きを説明できる。
 - 6) 循環系の構造と働きを説明できる。
 - 7) 泌尿器の働きを説明できる。
 - 8) 自律神経系の働きを説明できる。
 - 9) 内分泌腺の部位と働きを説明できる。
 - 10) 中枢神経系と末梢神経系のはたらきの違いを説明できる。
 - 11) 筋収縮のしくみを説明できる。
 - 12) 五感の受容のしくみを説明できる。
 - 13) 生体の免疫防御機構について説明できる。
 - 14) 生殖について説明できる。
 - 15) 医療従事者に必要な人体のメルクマールを説明できる。

評価方法: 単位認定試験

準備学習・履修上の注意等: 授業時間のおおよそ2倍の予習復習時間が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)8)	この科目を学習する目的を考えるーからだのしくみ: 消化と吸収、神経での情報伝達を例として	講義	鬼塚
2	1)	栄養と代謝: なぜ、毎日飲食する必要があるのか?	講義	鬼塚
3	2)	消化器: 食べたものはどう消化・吸収されるのか?	講義	鬼塚
4	3)	呼吸器: なぜ、呼吸をしなければならないのか?	講義	鬼塚
5	4)	体液と血液: 細胞内液・細胞外液 血液の成分と働き、リンパ系の仕組み、血液凝固	講義	鬼塚
6	5)	血液が体中を巡る循環器: 心臓のポンプ機能と心筋、心臓に出入りする血管、弁、心臓の自動能 心電図 血管の仕組みと役割 血圧とは 血圧を一定に保つ仕組み	講義	鬼塚
7	6)	体内のゴミを出す泌尿器: 泌尿器とは 腎臓の役割 近位尿細管の役割 腎臓にかかわるホルモン 膀胱と尿道の役割と排尿	講義	鬼塚
8	7)	体を動かす筋: 筋の種類 収縮のメカニズム 神経による収縮命令の伝達の仕組み	講義	鬼塚
9	8)	体の連絡・情報網: 神経系 中枢神経系	講義	鬼塚
10	9)	自律神経系	講義	鬼塚
11	10)	感じること感覚器: 感覚の伝わり方 体性感覚 ものが見える仕組み	講義	鬼塚
12	10)	視覚情報処理 味覚 嗅覚 聴覚 前庭覚	講義	鬼塚
13	11)	睡眠はなぜ必要なのか 睡眠の種類	講義	鬼塚
14	12)	子孫を残す 生殖	講義	鬼塚
15	13)	体を整える 内分泌 ホルモンとは	講義	鬼塚

教科書: 解剖生理学 第8版 (坂井建雄) 医学書院 【978-4260006712】

参考書： 指定しない。

科目名: **生理学**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 人体の正常な機能を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。生理学では、人体の正常な機能を調節するホメオスタシス(恒常性)機構に関する基本的知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)細胞膜の性質と機能について説明できる。
2)細胞膜の輸送機能について説明できる。
3)生体の興奮現象(電気的特性)について説明できる。
4)骨格筋、心筋、平滑筋の収縮について説明できる。
5)心臓の収縮と血液の拍出について説明できる。
6)臓器や局所における血液循環を説明できる。
7)血液の組成について説明できる。
8)体液の区分・出納・組成について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	細胞膜の浸透性、拡散・透過・浸透、浸透圧を理解する。	講義	近藤
2	2)	細胞膜の輸送機能を理解する。	講義	近藤
3	3)	生体の興奮現象 (1) 静止電位と活動電位を理解する。	講義	近藤
4	3)	生体の興奮現象 (2) 閾膜電位、全か無かの法則、不応期を理解する。	講義	近藤
5	3)	生体の興奮現象 (3) 興奮の伝導、興奮の伝達、シナプス伝達を理解する。	講義	近藤
6	3)4)	骨格筋の収縮 (1) 遅筋・速筋線維、骨格筋の微細構造を理解する。	講義	近藤
7	3)4)	骨格筋の収縮 (2) 筋の収縮様式、筋収縮のエネルギー、運動単位を理解する。	講義	近藤
8	3)4)	心筋の収縮 (1) 心筋の特徴、活動電位を理解する。	講義	近藤
9	3)4)	心筋の収縮 (2) 洞房結節細胞の活動電位、興奮の伝導速度、心臓の自動能を理解する。	講義	近藤
10	3)4)	心筋の収縮 (3) 心電図の波形の成り立ちを理解する。	講義	近藤
11	5)	心臓のポンプ作用 (1) 心周期、心機能を理解する。	講義	近藤
12	5)	心臓のポンプ作用 (2) 心機能の調節機構を理解する。	講義	近藤
13	6)	血液循環(1) 血液の主な臓器への分配、局所循環を理解する。	講義	近藤
14	6)	血液循環 (2) 血圧・血流・抵抗の関係を理解する。	講義	近藤
15	7)8)	血液と体液の組成を理解する。。	講義	近藤

教科書: エッセンシャル解剖・生理学 (堀川 宗之) 秀潤堂 【4-7809-0804-6】

参考書: 使用しません。

科目名: **生理学実習**

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・実習

授業概要: 人体の生命現象は、血液循環、呼吸、消化・吸収・排泄、内分泌・代謝などのような生命を維持するはたらきと、運動、感覚、神経などのような生命を活性化するはたらきがある。生理学とは、これらの生命を維持したり、生命を活性化したりするしくみを考える学問である。本講は、これら人体生命現象について、基礎的な機序を理解し、健常と様々な病態の相違を考察しうることが目標である。また、講義進行の状況を見て実際の心電測定や血圧測定なども取り入れる。

到達目標: (SBOs) 1)レポートの書き方を説明できる。
2)リムネア、培養細胞など実験動物の基本的な種類や飼育法、扱い方、培養法を説明できる。
3)pHメーターなどの実験器具の原理や取り扱い方を説明できる。リンゲル液の組成や電解質の役割を説明できる。
4)血圧計のしくみや血圧測定法について説明できる。
5)心電図のしくみや解析法を説明できる。
6)パルスオキシメーターによる酸素飽和度測定法について説明できる。
7)尿糖・尿たん白・尿潜血の検出法を説明できる。
8)血液型やその遺伝について説明できる。
9)レントゲン写真、CT、MRIの原理、胸部X線写真の見方を習得する。

評価方法: 筆記試験およびレポート内容によって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 実習マニュアルによる予習と実習後にレポート作成を行う。

オフィスアワー: 木曜日の12:00~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	11)	実習の説明や一般的注意、レポートの書き方を学ぶ。	講義・演習	鬼塚
2	2)	実習1. 実験動物の基本的な種類や飼育法について学ぶ。	講義・演習	鬼塚
3	3)	実習2. 生理食塩水(リンゲル液)の作成。モル濃度。pHメーターや電子天秤の使い方について学習する。実習2. 生理食塩水(リンゲル液)の作成	講義・演習	鬼塚
4	4)	実習3. 手動および自動血圧計を用いて、血圧を測定し、精度を検討する。	講義・演習	鬼塚
5	5)	実習4. 心電図の測定法および解析法について実習する。	講義・演習	鬼塚
6	6)	実験5. パルスオキシメーターによる酸素飽和度測定法について実習する。	講義・演習	鬼塚
7	7)	実験6. テステーブを用いて尿糖・尿たん白・尿潜血の検出法を実習する。	講義・演習	鬼塚
8	7)	実験7. 心電図、血圧、酸素飽和度、尿糖・尿たん白・尿潜血を測定し、喫煙歴、飲酒歴、肥満などとの因果関係を調査するための研究計画を立案する。	講義・演習	鬼塚
9	8)	実験8. 実際に今まで習得した方法を用いて、心電図、血圧、酸素飽和度、尿糖・尿たん白・尿潜血を測定し、喫煙歴、飲酒歴、肥満などの因果関係を調査する。	講義・演習	鬼塚
10	4-7)	実験9. 実験6、7、8の結果をまとめてスライドにする。	講義・演習	鬼塚
11	4-7)	実験10. 実験6、7、8の結果をまとめてスライドにして、発表、質疑応答する。	講義・演習	鬼塚
12	4-7)	実習10. 実験6、7、8の結果をまとめてスライドにして、発表、質疑応答する。	講義・演習	鬼塚
13	8)	実験11. 人工血液を用いたABO式血液型検査。血液型の遺伝について。	講義・演習	鬼塚
14	9)	実験12. 胸部X線写真の見方を習得する。	講義・演習	鬼塚
15	9)	実験13. CT、MRIの原理、見方を習得する。	講義・演習	鬼塚

教科書: 生理学テキスト 第7版 (大地 陸男)文光堂【978-4-8306-0226-9】

参考書: 使用しない。

科目名: **運動学**

担当者: 立石修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 運動器系障害のリハビリテーションに貢献できる作業療法士となるために、テコやベクトル等の力学的知識をもとにして、人間の身体運動、特に筋と関節の運動メカニズムについて理解し、運動器系障害の理解に結びつける基礎を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 姿勢と重心の関係が説明できる。
 - 2) 運動の面と軸および関節運動の方向と名称について説明できる。
 - 3) 関節の基本構造と形態およびその機能について説明できる。
 - 4) 筋と腱の基本構造と形態およびその機能について説明できる。
 - 5) 筋収縮によって起こる運動を、テコおよびベクトルの知識を用いて説明できる。
 - 6) 下肢の関節の運動について説明できる。
 - 7) 人間の歩行について説明できる。

評価方法: 毎授業の終了前15分間を「理解の確認時間」として、ノートの整理や質疑応答によるフィードバックを行う。評価は、この確認時間の成果、および授業自体への取り組み姿勢を10%、および単位認定試験等を90%として単位認定を行う。なお、単位認定試験の問題の80%程度を受験者本人による自己採点とし、理解度のフィードバックを行う。

準備学習・履修上の注意等: 各回の授業内容について60程度の予習と復讐を行うこと。骨や筋の触診を行なうので、短パンやTシャツ等の着用をその都度指定する。特に、男子学生には上半身を露出させることがある。何らかの事情で脱衣できない場合は、事前に申し出ること。事情を聴取の上、配慮を決める。

オフィスアワー: 毎週金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 2)	【運動学の基礎1】 姿勢と重心の関係を理解する 【運動学の基礎2】 運動の面と軸、および関節運動の方向と名称を理解する		立石修康
2	3) 4)	【運動学の基礎3】 関節の基本構造とその機能を理解する 【運動学の基礎4】 筋と腱の構造と機能を理解する	講義、SGD	立石修康
3	3)4)5)	【運動学の基礎5】 関節形態と、関節に対する筋張力の伝達を理解する 【運動学の基礎6】 筋収縮とテコ系の関係を理解する	講義、SGD	立石修康
4	5) 5)	【運動学の基礎7】 筋収縮の様態についてを理解する 【運動学の基礎8】 筋収縮の様態、特に二関節筋についてを理解する	講義、SGD	立石修康
5	3) 6)	【運動学の基礎9】 関節包内運動についてを理解する 【筋・関節各論1】 股関節の屈筋と伸筋についてを理解する	講義、SGD	立石修康
6	6) 6)	【筋・関節各論2】 股関節の内転筋と外転筋について理解する 【筋・関節各論3】 股関節の内旋筋と外転筋について理解する	講義、SGD	立石修康
7	6) 6)	【筋・関節各論4】 股関節の関節生理、特に関節形態について理解する 【筋・関節各論5】 股関節の関節生理、特に靭帯の機能について理解する	講義、SGD	立石修康
8	6) 6)	【筋・関節各論6】 股関節の関節生理、特にパウエル理論について理解する 【筋・関節各論7】 膝関節の伸筋について理解する	講義、SGD	立石修康
9	6) 6)	【筋・関節各論8】 膝関節の屈筋について理解する 【筋・関節各論9】 膝関節の関節生理、特に関節形態について理解する	講義、SGD	立石修康
10	6) 6)	【筋・関節各論10】 膝関節の関節生理、特に靭帯の機能について理解する 【筋・関節各論11】 膝関節の関節生理、特に自動回旋について理解する	講義、SGD	立石修康
11	6) 6)	【筋・関節各論12】 足関節の底屈筋と背屈筋について理解する 【筋・関節各論13】 足関節の関節生理、特に関節形態について理解する	講義、SGD	立石修康
12	6) 6)	【筋・関節各論14】 足関節の関節生理、特に靭帯の機能について理解する 【筋・関節各論15】 足関節の関節生理、特に安定化機構について理解する	講義、SGD	立石修康
13	6) 6)	【筋・関節各論16】 足部の筋について理解する 【筋・関節各論17】 足部の関節生理、特にアーチについて理解する	講義、SGD	立石修康

- 14 7) 【筋・関節各論18】 足部の関節生理、特に扁平足について理解する
【歩行1】 正常歩行について理解する
- 15 7) 【歩行2】 異常歩行について理解する
【歩行3】 歩容分析について理解する

講義、SGD 立石修康

講義、SGD

教科書: 基礎運動学第6版 (中村 隆一) 医歯薬出版 【978-4263211533】

参考書: 使用しない

科目名: **運動学実習**

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 運動器系障害のリハビリテーションに貢献できる作業療法士となるために、前期の運動学で学んだ力学的知識をもとに、人間の身体運動、特に上肢の筋と関節の運動メカニズムについて理解し、運動器系の障害理解に結びつける基礎を修得する。

到達目標: 1)上肢の関節の運動について説明できる。
(SBOs) 2)体幹の運動について説明できる。

評価方法: 毎授業の終了前15分間を「理解の確認時間」として、ノートの整理や質疑応答によるフィードバックを行う。評価は、この確認時間の成果、および授業自体への取り組み姿勢を10%、および単位認定試験等を90%として単位認定を行う。なお、単位認定試験の問題の80%程度を受験者本人による自己採点とし、理解度のフィードバックを行う。

準備学習・履修上の注意等: 各回の授業内容について60分程度の予習と復習をおこなうこと。骨や筋の触診を行なうので、短パンやTシャツ等の着用をその都度指定する。特に、男子学生には上半身を露出させることがある。何らかの事情で脱衣できない場合は、事前に申し出ること。事情を聴取の上、配慮を決める。

オフィスアワー: 毎週金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【筋・関節各論1】 肩甲帯の周囲筋について理解する	講義、SGD	立石修康
2	1)	【筋・関節各論1】 肩関節の屈筋と伸筋について理解する	講義、SGD	立石修康
3	1)	【筋・関節各論1】 肩関節の内転筋と外転筋、および内旋筋と外旋筋について理解する	講義、SGD	立石修康
4	1)	【筋・関節各論1】 肩関節と肩甲帯の関節生理について理解する	講義、SGD	立石修康
5	1)	【筋・関節各論1】 肘関節の屈筋と伸筋について理解する	講義、SGD	立石修康
6	1)	【筋・関節各論1】 肘関節の関節生理、特に関節構造について理解する	講義、SGD	立石修康
7	1)	【筋・関節各論1】 肘関節の関節生理、特に靭帯の機能について理解する	講義、SGD	立石修康
8	1)	【筋・関節各論1】 前腕と手関節の筋について理解する	講義、SGD	立石修康
9	1)	【筋・関節各論1】 前腕と手関節の関節生理について理解する	講義、SGD	立石修康
10	1)	【筋・関節各論1】 手関節の筋について理解する	講義、SGD	立石修康
11	1)	【筋・関節各論1】 手関節の関節生理について理解する	講義、SGD	立石修康
12	1)	【筋・関節各論1】 手の筋について理解する	講義、SGD	立石修康
13	1)	【筋・関節各論1】 手の関節生理について理解する	講義、SGD	立石修康
14	1)	【筋・関節各論1】 手の関節生理、特に支配腱膜の構造と機能について理解する	講義、SGD	立石修康
15	2)	【筋・関節各論1】 体幹の筋について理解する	講義、SGD	立石修康

教科書： 基礎運動学第6版（中村 隆一）医歯薬出版【978-4263211533】

参考書： 使用しない

科目名: 人間・運動発達学

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 作業療法の仕事をするには、治療の対象である人間を理解する必要がある。人間発達学は、人間は発達する存在であるという観点から「人とは何か」、つまり「自分とは何か」を理解しようとする学際的な学問(生物学、生理学、解剖学、発生学、遺伝学、比較行動学などの自然科学の分野の基礎知識と心理学、社会学、分化人類学などの人文科学の分野の基礎知識が含まれる)であるといえる。文理融合の考え方を養い、人間の質的变化のプロセスを体系的に理解する。運動学は人間の運動の科学であり、医学、物理学、心理学、社会学などの多くの学問を統合したものの上に成立している。運動学の基礎的な知識は、医師、理学療法士、作業療法士、体育指導者などにとって必須である。運動機能の発達、神経系の成熟、骨・関節・筋の運動器の成長、運動学習と密接に関係する。運動機能を中心に正常発達と異常な発達の概要、およびその評価法に関する知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 身体的発達、認知的発達、情緒的・社会的発達について説明できる。
2) 発達評価、発達課題論、発達課題について説明できる。
3) パーソナリティーの発達について説明できる。
4) 発達、発達分析、中枢神経系の発生と運動発達、胎児および幼児の運動発達について説明できる。
5) 発達診断に必要な原始反射と反応、正常発達: うつ伏せの発達について説明できる。
6) 仰向けの発達、ホイタ法、精神遅滞の見つけ方、脳性麻痺の見つけ方について説明できる。
7) 正常な反射と反応、それらの異常、GM assessmentの意義について説明できる。
8) 姿勢制御の機構と立位姿勢の異常について説明できる。
9) 歩行とは、歩行の周期性、小児の歩行、高齢者の歩行、歩行の性差と加齢変化について説明できる。
10) 異常歩行・歩行障害の診断手引き、移動の動作パターンと時間計測、走行、階段の昇降について説明できる。

評価方法: 期末に行う筆記試験の点数および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	乳児・幼児前期の発達①	講義	園田
2	1)3)	乳児・幼児前期の発達②	講義	園田
3	1)2)	幼児後期の発達①	講義	園田
4	1)2)	幼児後期の発達②	講義	園田
5	1)3)	学童期の発達①	講義	園田
6	1)2)3)	学童期の発達②	講義	園田
7	1)2)3)	学童期の発達③	講義	園田
8	1)3)	青年期の発達	講義	園田
9	4)	運動発達	講義	園田
10	5)	乳児の発達のみかた①	講義	園田
11	6)	乳児の発達のみかた②	講義	園田
12	7)	反射と反応、GM assessment	講義	園田
13	8)	姿勢	講義	園田
14	9)	歩行と走行①	講義	園田
15	10)	歩行と走行②	講義	園田

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: **病理学**

担当者: 大津 隆一(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 基礎病変の定義を把握し、病変にいたる変化の過程を理解するため、生体に起こるいろいろな形態と機能の変化が、どんな原因で起こり(病因)、どんな変化を生じ(病変・疾患)、どのように推移し(経過)、どうなっていくのか(転帰)という病気の本質を習得する。病理学総論では、代謝障害・循環障害・炎症・生体防御と感染・遺伝病と先天異常・老化について理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1) 病気の外因と内因を列挙できる。また、老化により生体に起こる変化を説明できる。
2) 退行性変性(変性・萎縮・壊死)、異常物質の沈着、肥大・再生・化生について説明できる。
3) 創傷の治癒・異物処理・再生について説明できる。
4) 局所の循環障害および全身の循環障害について列挙し、説明できる。
5) 炎症の徴候を提示し、炎症の種類を列挙できる。
6) 免疫の仕組みにとアレルギーの種類を説明できる。また、感染の仕組みについて説明でき、主な病原微生物を列挙できる。
7) 腫瘍の種類を列挙し、腫瘍の発育や転移について説明できる。また、腫瘍の疫学についても説明できる。
8) 遺伝子病について説明できる。また、染色体異常による疾病について提示でき、先天奇形を列挙できる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: 配布資料による予習と、配布演習問題の解答による復習をしておくこと。

オフィスアワー: 毎週登校日12:00-13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【病気の原因を学ぶ①】	講義	大津
2	2)	【退行性病変を学ぶ①】	講義	大津
3	2)	【代謝障害を学ぶ①】	講義	大津
4	3)	【進行性病変を学ぶ①】	講義	大津
5	3)	【再生を学ぶ①】	講義	大津
6	4)	【局所の循環障害を学ぶ①】	講義	大津
7	4)	【全身の循環障害を学ぶ①】	講義	大津
8	5)	【炎症を学ぶ①】	講義	大津
9	6)	【免疫を学ぶ①】	講義	大津
10	6)	【感染症を学ぶ①】	講義	大津
11	7)	【腫瘍を学ぶ①】	講義	大津
12	7)	【腫瘍の疫学を学ぶ①】	講義	大津
13	8)	【遺伝と遺伝子病を学ぶ①】	講義	大津
14	8)	【染色体異常と先天異常を学ぶ①】	講義	大津
15	1)	【老化を学ぶ①】	講義	大津

教科書: PTOT 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学 第4版(梶原 博毅 監修) 医学書院【978-4-260-02871-4】

参考書: 使用しない。

科目名: **病理学**

担当者: 川野純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」のうち「疾病の基礎」を中心に学ぶ。「健康・疾病・障害の概念」と「疾患の診断と治療」と「予防医学」については扱わない。

到達目標: (SBOs) 1) 病理学の概要を説明できる。
2) 退行性病変の概要を説明できる。
3) 進行性病変の概要を説明できる。
4) 循環障害の概要を説明できる。
5) 炎症の概要を説明できる。
6) 免疫と免疫異常の概要を説明できる。
7) 感染症の概要を説明できる。
8) 代謝異常症の概要を説明できる。
9) 老化と老年病の概要を説明できる。
10) 新生児疾患とおもな先天異常の概要を説明できる。
11) 腫瘍の概要を説明できる。
12) 生命の危機の概要を説明できる。
13) 主な眼科疾患の概要を説明できる。

評価方法: 期末試験による。ただし得点率60%未満であっても、得点率50%以上で、かつ小テストの平均得点率が60%以上であれば60%とみなす。

準備学習・履修上の注意等: 受講時間を含め90時間の学習が求められる。
前回の授業内容について、原則毎回テストを行うので、特に十分な復習が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	疾病とは	講義	川野
2	2)	退行性病変	講義	川野
3	3)	進行性病変	講義	川野
4	4)	循環障害1	講義	川野
5	4)	循環障害2	講義	川野
6	5)	炎症	講義	川野
7	6)	免疫と免疫異常1	講義	川野
8	6)	免疫と免疫異常2	講義	川野
9	7)	感染症	講義	川野
10	8)	代謝異常症	講義	川野
11	9)	老化と老年病	講義	川野
12	10)	新生児疾患と先天異常	講義	川野
13	11)	腫瘍	講義	川野
14	12)	生命の危機	講義	川野
15	13)	主な眼科疾患	講義	川野

教科書: カラーで学べる病理学 第4版 ヌーベルヒロカワ

参考書: なし

科目名: **病理学**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 病理学は病気の原因や病変の成り立ちを理解するための学問である。病理学は全ての医療従事者が必ず学ばなければならない科目であり、基礎と臨床の橋渡しを担う重要な分野である。本病理学では、病気について総合的に理解するため、人体の臓器に起こった病気に共通している基本的な病気の原因や病変の成り立ちに関する知識を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 病因の種類、細胞傷害の特徴を説明できる。
- 2) 変性・萎縮・壊死・アポトーシスを説明できる。
- 3) 肥大・過形成・再生・化生を説明できる。
- 4) 創傷の治癒を説明できる。
- 5) 循環障害の特徴・分類を説明できる。
- 6) 炎症の特徴・分類を説明できる。
- 7) 新生物(腫瘍)の特徴・分類を説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。その他、毎授業後に復習レポートを提出すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	病因と細胞傷害: 病因の種類、細胞傷害の特徴を理解する。	講義	近藤
2	2)	変性の種類と特徴、萎縮の種類と特徴を理解する。	講義	近藤
3	2)	壊死・アポトーシスの特徴及び相違を理解する。	講義	近藤
4	3)	進行性病変(1) 肥大・過形成・再生・化生の特徴を理解する。	講義	近藤
5	4)	進行性病変(2) 創傷治癒と異物処理の仕組みを理解する。	講義	近藤
6	5)	循環障害(1) 出血の種類、血液凝固と線維素溶解の仕組みを理解する。	講義	近藤
7	5)	循環障害(2) 血栓症、塞栓、梗塞の種類と特徴を理解する。	講義	近藤
8	5)	循環障害(3) 充血・うっ血・虚血の特徴を理解する。	講義	近藤
9	5)	循環障害(4) 浮腫の特徴と原因を理解する。	講義	近藤
10	5)	循環障害(5) 心不全と全身性うっ血、ショックの発生機序と分類を理解する。	講義	近藤
11	6)	炎症(1) 炎症の症状(四主徴・五主徴)、炎症の基本的な過程を理解する。	講義	近藤
12	6)	炎症(2) 急性炎症の特徴と分類を理解する。	講義	近藤
13	6)	炎症(3) 慢性炎症の特徴と分類を理解する。	講義	近藤
14	7)	腫瘍(1) 腫瘍の分類・形態学的特徴・転移を理解する。	講義	近藤
15	7)	腫瘍(2) 腫瘍の悪性度と分化度・異型度との関係、悪性腫瘍の病期を理解する。	講義	近藤

教科書: わかりやすい病理学改訂第6版(岩田隆子)南江堂【4-524-26569-5】

参考書: 使用しません。

科目名: 一般臨床医学

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 将来、作業療法士として働く専門職が、心得ておかななくてはならない医学一般に関する知識を修得する。アメリカのレベラルアート(教養教育)のような、将来の専門科目への足がかりになるような内容で、医学・医療の歴史と研究、人体の構造と機能、各種の疾患、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療、関係法規などのきわめて広範囲の分野が含まれる。

到達目標: (SBOs) 1)現代医療までの流れと発展、医療の現状、医療の仕組み、医療倫理について説明できる。
2)人体の構成、各器官と機能について説明できる。
3)病理的変化: 血行障害、進行性の変化、炎症、腫瘍、奇形について説明できる。
4)先天性疾患、生活習慣病、各種感染症、精神・神経疾患、難病について説明できる。
5)リハビリテーション医療のながれ、対象、実施について説明できる。
6)精神と身体の成長と発達、精神と身体の老化、高齢者と疾患について説明できる。
7)在宅医療の実際、在宅医療における連携、医療システムの現状、医事法と医療関係機関との連携について説明できる。
8)人口動態、保健医療対策の現状について説明できる。

評価方法: 学期末に行う筆記試験の点数および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日の18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	一般医学の概要①(現代医療までの流れと発展、医療の現状)	講義	園田
2	1)	一般医学の概要②(医療の仕組み、医療倫理)	講義	園田
3	2)	人体の構造・機能①(人体の構成)	講義	園田
4	2)	人体の構造・機能②(各器官と機能)	講義	園田
5	3)	病気による身体の変化	講義	園田
6	3)4)	現代社会と疾病①(先天性疾患)	講義	園田
7	3)4)	現代社会と疾病②(生活習慣病、がん)	講義	園田
8	3)4)	現代社会と疾病③(各種感染症、精神・神経疾患)	講義	園田
9	3)4)	現代社会と疾病④(難病)	講義	園田
10	5)	リハビリテーション医療の概要①(リハビリテーション医療のながれと対象)	講義	園田
11	5)	リハビリテーション医療の概要②(リハビリテーションの実施)	講義	園田
12	6)	老化と身体変化①(成長発達と老化)	講義	園田
13	6)	老化と身体変化②(高齢者と疾患)	講義	園田
14	7)	在宅医療・医療システムの現状、医事法と医療関係機関の連携	講義	園田
15	8)	保健医療対策の現状	講義	園田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **内科学**

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 内科学は、臨床医学の基礎をなす。日常診療のなかで頻度の高い疾患と、最近話題になることの多い疾患について、概要、頻度、症候と病態生理、診断、治療と予後の要点を作業療法との関連で理解し、国家試験はもとより、将来の職業で役立つために、内科学の知識を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 全身的症状あるいは訴えの生理学的背景と発生機序について説明できる。
- 2) 代表的な疾患の診断法を説明できる。
- 3) 代表的な疾患について、その概念、病態、臨床検査、治療法、予後などについて説明できる。
- 4) 免疫・アレルギーについて説明できる。
- 5) 各器官・臓器の構造と機能について説明できる。
- 6) ビタミンとビタミン欠乏症について説明できる。
- 7) 血液の成分、性状、機能、造血組織の解剖と生理、血液幹細胞について説明できる。

評価方法: 学期末に行う筆記試験の点数および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日1:800~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床医学総論、症候学	講義	園田
2	1)~3)	感染症①	講義	園田
3	1)~3)	感染症②	講義	園田
4	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全①	講義	園田
5	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全②	講義	園田
6	1)~3)5)	循環器疾患①	講義	園田
7	1)~3)5)	循環器疾患②	講義	園田
8	1)~3)5)	呼吸器疾患①	講義	園田
9	1)~3)5)	呼吸器疾患②	講義	園田
10	1)~3)5)	消化器疾患①	講義	園田
11	1)~3)5)	消化器疾患②	講義	園田
12	1)~3)5)	内分泌疾患	講義	園田
13	1)~3)5)6)	代謝性疾患	講義	園田
14	1)~3)5)7)	血液・造血疾患	講義	園田
15	1)~3)5)	腎・泌尿器疾患	講義	園田

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: **内科学**

担当者: 鬼塚 信(保・視)、田村 省悟(保・視)、外部講師

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 医療従事者の一員である視能訓練士には、内科疾患を熟知し、救急処置を実施できることが求められる。本科目では、適切な救急法を実施できるようになるため、一次救命処置(BLS)、急病やけがの手当て、内科疾患に関する基本的知識および技術を習得する。

到達目標: (SBOs)
1) 応急手当の概要について説明できる。
2) 一次救命処置(BLS)を実施できる。
3) 疾患の概要について説明できる。
4) 疾患の予防法について説明できる。
5) 疾患の治療法について説明できる。

評価方法: 実技試験と筆記試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教本を用いて予習した上で各講義に臨むこと。
予習復習に十分な時間(期間全体で60時間)をかけること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	赤十字救急法について、手当の基本、一次救命処置(BLS)	講義	鬼塚
2	1)2)	総合実習(1) 一次救命処置(BLS)のまとめ	講義	
3	3)4)5)	感染症について(1)細菌感染症その1	講義	
4	3)4)5)	感染症について(2)細菌感染症その2	実習	
5	3)4)5)	感染症について(3)ウイルス感染症その1	講義	
6	3)4)5)	感染症について(4)ウイルス感染症その2	講義	
7	3)4)5)	小児科疾患、先天異常と子供の病気	講義	
8	3)4)5)	成人病、生活習慣病	講義	
9	3)4)5)	循環器、心臓血管系疾患	講義	
10	3)4)5)	肝臓、腎臓疾患	講義	
11	3)4)5)	消化器疾患	講義	
12	3)4)5)	内分泌、代謝疾患	講義	
13	3)4)5)	泌尿生殖器、婦人科疾患	実習	
14	3)4)5)	脳、神経疾患	実習	
15	3)4)5)	精神疾患	実習	

教科書: 別途指示する。

参考書: 使用しない。

科目名: **整形外科学**

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 高齢化社会は一段と進み、骨・関節に関連した運動器疾患は大幅に増加した。一般社会でも、運動器疾患の予防と治療の重要性が認識されるようになった。整形外科学およびリハビリテーションが目指す全人的・現代的医療のキーワードとしてlocomotive quality of lifeというのがある。国家試験はもとより、将来的に医療最前線の仕事に従事するのに役立つために、整形外科的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)骨・軟骨・関節の構造、生化学、病態生理を説明できる。
2)診察の基本、検査、治療(保存療法、手術療法)の概要を説明できる。
3)主要疾患の概要を説明できる。
4)関節の機能解剖、疾患について説明できる。
5)骨折と脱臼について説明できる。

評価方法: 学期末に行う筆記試験の点数および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジメを読み返すこと。
高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	整形外科の基礎科学と総論(正常構造と機能、骨と関節の病態生理、主要症状、診察、検査、治療)	講義	園田
2	2)3)	疾患総論(感染症、リウマチおよび類似疾患、慢性関節疾患および類似疾患、血行障害および類似疾患)	講義	園田
3	2)3)	疾患総論(先天性骨系統疾患、先天異常症候群、代謝性骨疾患、骨・軟骨腫瘍と類似疾患)	講義	園田
4	2)3)4)	疾患各論:肩関節	講義	園田
5	2)3)4)	疾患各論:肘関節	講義	園田
6	2)3)4)	疾患各論:手関節および手指①	講義	園田
7	2)3)4)	疾患各論:手関節および手指②	講義	園田
8	2)3)4)	疾患各論:股関節①	講義	園田
9	2)3)4)	疾患各論:股関節②	講義	園田
10	2)3)4)	疾患各論:膝関節①	講義	園田
11	2)3)4)	疾患各論:膝関節②	講義	園田
12	2)3)4)	疾患各論:足関節と足趾	講義	園田
13	2)3)5)	外傷学:外傷学総論	講義	園田
14	2)3)5)	外傷学:骨折・脱臼①	講義	園田
15	2)3)5)	外傷学:骨折・脱臼②	講義	園田

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: **神経内科学**

担当者: 園田 徹(保・作)・武居 光雄(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 神経内科学は、脳神経や脊髄・末梢神経、筋肉の疾患を専門とする内科です。対象は神経系を侵す身体性疾患のすべてです。身体性疾患のなかには、身体機能の障害のほかに行動や心理過程の障害も含まれます。行動・心理過程に生じた異常のすべてを対象とするのが神経心理学です。現在、リハビリテーションの対象となる方の7割くらいが神経内科疾患といわれます。ですから、リハビリテーションの分野で仕事をする人にとって、神経内科学は避けて通れない学ぶべき科目といえます。国家試験のためでなく、試験を突破したあとも、将来的に医療最前線の仕事に従事するのに役立つために、神経内科的知識を修得しましょう。

到達目標: (SBOs) 1)リハビリテーション医療の対象となる神経疾患の病態が説明できる。
2)神経疾患の診断、治療、基本的なリハビリテーションについての知識を説明できる。
3)各臓器の役割分担について説明できる。
4)臓器、組織を構成する細胞の種類を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。
5)個々の障害に対する治療の概略とその治療効果を検証するのに適した評価法を説明できる。

評価方法: 学期末に行う筆記試験の点数(園田60点、武居40点)および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日1:800~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	序論(障害とリハビリテーションプログラム、中枢神経系の解剖と機能)	講義	園田
2	2)	神経学的診断法(神経学的診断と評価、神経学的検査法)	講義	園田
3	2)	神経症候学①(意識障害、脳死、植物状態、頭痛、めまい、失神、運動麻痺、錐体路徴候、筋委縮)	講義	園田
4	2)	神経症候学②(錐体外路徴候、不随意運動、運動失調、感覚障害)	講義	園田
5	2)	神経症候学③(高次脳機能障害:失語症、高次脳機能障害:失認)	講義	園田
6	2)	神経症候学④(高次脳機能障害:失行、高次脳機能障害:記憶障害、認知症、高次脳機能障害:注意障害)	講義	園田
7	2)	神経症候学⑤(高次脳機能障害:遂行機能障害構音障害、嚥下障害、脳神経外科領域の疾患)	講義	園田
8	3)4)5)	神経疾患各論①(脳血管障害)	講義	武居
9	3)4)5)	神経疾患各論②(認知症、脳腫瘍)	講義	武居
10	3)4)5)	神経疾患各論③(外傷性脳損傷、脊髄疾患)	講義	武居
11	3)4)5)	神経疾患各論④(変性疾患、脱髄疾患、錐体外路の変性疾患)	講義	武居
12	3)4)5)	神経疾患各論⑤(末梢神経障害、てんかん、筋疾患)	講義	園田
13	3)4)5)	神経疾患各論⑥(感染性疾患、中毒性疾患、栄養欠乏による神経疾患)	講義	園田
14	3)5)5)	小児神経疾患、神経疾患に多い合併症(廃用症候群と誤用症候群)	講義	武居
15	1)2)	このリハビリテーションが重要(脳血管障害、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋委縮性側索硬化症、多発性硬化症、認知)	講義	武居

教科書: 絵でみる脳と神経 第3版—しくみと障害のメカニズム JJNブックス(馬場 元毅) 医学書院【ISBN】978-4-260-00816-7
簡要 神経学 第4版(岩田 誠, 岩田 淳 翻訳) メディカル・サイエンス・インターナショナル【ISBN】978-4-895-92462-7

参考書: 使用しません。

科目名: **小児科学**

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 小児の成長と発達に關与する基本的事項、成長や発達に問題を有する小児期に頻度の高い疾患(先天異常、先天性代謝異常、代謝・内分泌疾患、新生児疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、消化管・肝・胆道疾患、血液疾患、悪性腫瘍、腎・泌尿器疾患、精神疾患、感染症など)を中心に、国家試験はもとより将来の職業で役立つために、小児科学の知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)key ageでの身体計測値と発達を説明できる。
2)問診・診断のしかた、主要症状と疾患の關係、治療総論の内容、心肺蘇生の方法、診断・治療手技を説明できる。
3)重要疾患の特徴的な症状および検査所見を説明できる。
4)新生児の生理機能の特徴、主要徴候と鑑別診断について説明できる。
5)小児の循環器疾患の血行動態について説明できる。
6)小児の腹部腫瘍の鑑別ができる。
7)気管支喘息は病態から症状、検査所見から説明できる。
8)小児感染症の特徴(感染様式、年齢と起炎菌、季節性など)を説明できる。

評価方法: 期末に行う筆記試験の点数よび学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	成長と発達、精神疾患	講義	園田
2	2)	栄養、小児保健、小児診断、治療総論	講義	園田
3	2)3)	救急疾患と対応、先天異常	講義	園田
4	2)3)	先天代謝異常症	講義	園田
5	2)3)4)	代謝・内分泌疾患	講義	園田
6	2)3)4)	新生児疾患①	講義	園田
7	2)3)5)	新生児疾患②	講義	園田
8	2)3)5)	循環器疾患①	講義	園田
9	2)3)6)	循環器疾患②	講義	園田
10	2)3)	呼吸器疾患、消化器・肝・胆道疾患	講義	園田
11	2)3)6)	血液疾患	講義	園田
12	2)3)	悪性腫瘍、腎・泌尿器疾患	講義	園田
13	2)3)7)	神経疾患、運動器疾患	講義	園田
14	2)3)8)	アレルギー性疾患、膠原病、免疫不全	講義	園田
15	8)	感染症	講義	園田

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: **精神医学Ⅱ**

担当者: 中山 広宣(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 授業概要: 1. 精神医学Ⅰに引き続き各種精神疾患(障害)主に内因性精神疾患の成因と症状, 治療とリハビリテーションについて説明する。2. 対象者を理解し, 治療的関係を確立する為に必要な精神分析理論, 支持的精神療法について説明する。3. 各種精神療法の治療構造を概説することで精神科作業療法の治療構造の理解を促す。
一般目標: 近年の社会構造や疾病構造の変化により, 精神的・心理的な障害を持った対象者が増加している。よって本講義の目標は, 各種精神疾患の概念, 症状, 治療を学ぶことで臨床における心構えを確立し, 加えて精神障害者の精神・心理を理解して実践を可能にすることである。

到達目標: (SBOs) 1)各種精神疾患の成因を説明できる。
2)各種精神疾患の精神症状を述べるができる。
3)薬物療法について述べるができる。
4)精神療法の種類とその内容を説明できる。
5)精神障害者のリハビリテーションの流れと社会資源を述べるができる。
6)精神科作業療法の治療構造を述べるができる。

評価方法: 定期試験及び授業受講態度(小レポートや発表)

準備学習・履修上の注意等: 精神医学を学ぶことは人(精神または心)の理解において非常に重要である。そのため, 疾患や障害をもった人を対象とする医療者には欠かせない学問であることを忘れずに受講してください。
予習ではテキストを読んで難解な部分を明確にして講義に臨み, 復習では資料を必ず読んで理解を深めることに努力してください。
最低でも講義の前後にテキスト, 資料を10分黙読することを心がけてください。

オフィスアワー: 毎週の講義前後30分程度を設定。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	睡眠障害: 睡眠障害の種類と治療 人格障害: 種類と特徴, 治療と対応	講義	中山
2	1)2)3)	精神遅滞: 精神遅滞の原因, 症状と対応 発達障害: 特異的発達障害や自閉性スペクトラム障害の症状と対応	講義	中山
3	1)2)3)	気分障害: うつ病の症状, 治療と対応 躁鬱病の症状, 治療と対応	講義	中山
4	1)2)3)	統合失調症の病型と症状	講義	中山
5	1)2)3)	統合失調症の病態仮説: 心理学的仮説, 生化学的仮説, 脳科学的仮説	講義	中山
6	1)2)3)	統合失調症の回復過程と治療, 対応, リハビリテーション	講義	中山
7	1)~5)	薬物治療: 抗精神病薬, 抗うつ薬, 気分安定薬, 抗てんかん薬, 抗不安薬 リハビリテーション: SST, 心理教育, 認知行動療法, デイケア	講義	中山
8	4)	精神分析療法: 意識, 前意識, 無意識, イド, 自我, 超自我, 防衛機制 陽性転移, 陰性転移, 逆転移, 抵抗, 行動化, 解釈, 洞察	講義	中山
9	4)	各種精神療法の治療醸造: 森田療法, 行動療法, 心理劇, 箱庭療法など	講義	中山
10	4)	精神療法の基本: 傾聴, 受容, 共感, 支持	講義	中山
11	2)4)	疾患別精神療法: 統合失調症, うつ病,	講義	中山
12	5)6)	精神科作業療法の理論背景	講義	中山
13	6)	精神科作業療法の治療構造	講義	中山
14	6)	精神科作業療法の作業活動と治療的意義	講義	中山
15	6)	精神医学, 精神医療のまとめ	講義	中山

教科書: 標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 医学書院【ISBN 978-4-260-02434-1】
精神医学Ⅰと同じ

参考書: 使用しない。

科目名: 老年医学

担当者: 小川 敬之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 高齢者に頻度の高い疾病について、正常の解剖と生理ならびに障害のメカニズムとその原因が理解できるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)高齢社会とはどのような社会かを知る
2)老年期の特徴を理解できる
3)老年期にかかりやすい疾患を理解できる
4)老年期の疾患にたいする治療について理解できる
5)老年期の医療制度について理解できる

評価方法: 定期試験および講義中の口頭試問。

準備学習・履修上の注意等: 講義をきちんと聴いて予習復習に努めること。1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1),2)	【医学の3要素】 3要素を覚えその意味を理解でき、日常生活活動も分析しながら過ごすことができる。	講義	小川
2	1),2),5)	【日本の医旅費と医療保険のシステム】 年間の国家予算、総医療費の額を覚えることで何百億、何千億、何兆円という額の多少が判断できるようになる。さらに自分が医療機関に雇った際の金銭の流れが理解できる。	講義	小川
3	2),3),4)	【脳血管障害1】 「梗塞」を理解することで出血と梗塞の違いがわかる。随意運動の命令の伝わり方を覚えることによって特有な症状が理解できる。	講義	小川
4	2),3),4)	【脳血管障害2】 臨床例を示しながら診断手順、治療の実際を説明しリハビリに至るまでの過程を伝えることで臨場感が体験できる。	講義	小川
5	2),3),4)	【パーキンソン病】 4大症状を絶対として、脳の変性疾患であるパーキンソン病を覚えることで、他の変性疾患も将来同じように理解できるようになる。	講義	小川
6	2),3),4)	【パーキンソン症候群】 DVDを用いてパーキンソン症候群を説明することで、パーキンソン病、パーキンソン症候群の実際が印象づけられ、理解が深まり忘れないようになる。	講義	小川
7	2),3),4)	【高齢老人の日常生活自立度と認知症度】 日常生活自立度のJ1~C2、認知症度I~Mが覚えられる。まだ見たことのない高齢者をこの2つの指標のみで推定できるようになる。 【老人性白内障】 上記疾病が理解できる。	講義	小川
8	2),3),4)	【炎症と呼吸器1】 炎症の5徴候を覚えることにより、その概念が理解できる。 空気が肺に入る仕組みがわかり、肺の予備能力が普通の何倍もあることを知る。	講義	小川
9	2),3),4)	【呼吸器2】 肺炎、結核、喘息、慢性閉鎖性肺疾患、肺がんを理解する。	講義	小川
10	2),3),4)	【骨折と骨粗しょう症】 骨代謝を知り高齢者の骨が折れやすくなっている理由、そのイメージを知る。さらに代表的な3大骨折を覚える。	講義	小川・
11	2),3),4)	【糖尿病1】 糖尿、血糖値、インスリン、膵臓、細胞でのエネルギー産生の仕組みを理解することによって糖代謝および栄養学の概念がわかる。	講義	小川
12		【糖尿病2】	講義	

	2),3),4)	糖尿病が糖代謝の異常に基づくものであることがわかり、その合併症、治療が理解できるようになる。 【じょくそう・皮膚掻痒症】 上記疾病の成因と予防・治療が理解できる。		小川
13	2),3),4)	【循環器1】 正常の血液循環を覚え、心不全、虚血性心臓病、弁膜症を理解する。	講義	小川
14	2),3),4)	【循環器2】 不整脈、高血圧、動脈瘤を理解する。 【老人性難聴】 上記疾患の特徴と対策を覚える。	講義	
15	2),3),4)	【消化器疾患】 食道、胃、大腸、肝臓の加齢による特徴を癌を中心として学ぶ。	講義	

教科書： 老年医学系統講義テキスト カラー版 日本老年医学会 西村書店 2013【978-4-89013-430-4】

参考書： 使用しない。

科目名: **神経科学特論**

担当者: 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年生)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 神経系の構造や機能について、解剖学、生理学、神経生理学的視点で理解する。まずは、神経系の成り立ちである細胞、神経結合、活動電位などを理解する。その後、末梢神経系・中枢神経系の全体像を把握し、その上で脊髄、脳幹、大脳皮質、大脳基底核、視床、小脳など運動・感覚中枢の機能と構造を学ぶ。さらに、上位中枢と下位中枢の機能と質的な違いに着目し、神経系の階層性について理解することを目標とする。

到達目標: (SBOs)

- 1) 神経系の基本的な構成やはたらきについて理解する。
- 2) 神経系の生理学的事象について理解する。
- 3) 末梢神経と中枢神経の機能と構造を理解する。
- 4) 脳室や脳脊髄液、髄膜などの機能と構造を理解する。
- 5) 大脳の構造と機能を理解する。
- 6) 小脳の構造と機能を理解する。
- 7) 脳幹の構造と機能を理解する。
- 8) 自律神経系の構造を理解する。
- 9) 自律神経系(交感神経と副交感神経)のはたらきについて理解する。
- 10) 脳神経の構造と機能を理解する。
- 11) 脳内の血管系の支配領域や動脈枝について理解する。
- 12) 運動出力系(主に下行線維)の走行やはたらきについて理解する。
- 13) 感覚入力系(主に上行線維)の走行やはたらきについて理解する。

評価方法: 筆記試験(80%), 学習ノート(20%)

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、解剖学、生理学の知識を必要とする。そのため、講義に臨むにあたり、関連分野を学習し理解しておかなければならない。予習、復習の方法としてはノート作りを行い、事前・事後学習(各60分を目安に)を行ってもらう。また、講義だけでなく教員への質問、ディスカッションを通して学ぶことが必要となる。

オフィスアワー: 毎週水曜15:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	授業オリエンテーション/細胞, 神経伝達, 神経構造	講義	吉田
2	2)	イオンチャネル, 活動電位, シナプス伝達	講義	吉田
3	3)	神経系の構造と機能(末梢神経と中枢神経について)	講義	吉田
4	4)	脳室と脳脊髄液, 髄膜	講義	吉田
5	5)	大脳の構造と機能①	講義	吉田
6	5)	大脳の構造と機能②	講義	吉田
7	5)	大脳の構造と機能③	講義	吉田
8	6)	小脳の構造と機能	講義	吉田
9	7)	脳幹の構造と機能①	講義	吉田
10	7)	脳幹の構造と機能②	講義	吉田
11	8)9)	自律神経の構造と機能	講義	吉田
12	10)	脳神経の構造と機能	講義	吉田
13	11)	脳の血管の構造と機能	講義	吉田
14	12)	神経系の伝導路(運動出力系: 錐体路など)	講義	吉田
15	13)	神経系の伝導路(感覚入力系)	講義	吉田

教科書: プロメテウス解剖学アトラス 頭頸部/神経解剖(第2版) (監訳:坂井 建雄/河田 光博) 医学書院【978-4-260-01441-0】
生理学テキスト 第7版 (大地 陸男)文光堂【978-4-8306-0226-9】

参考書: 解剖学アトラス 原著第10版 (平田 幸男)文光堂【978-4-8306-0036-4】

科目名: **リハビリテーション医学**

担当者: 福本 安甫(非常勤講師)、武居 光雄(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科 2年

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: リハビリテーション医学では外科手術や薬物療法では順調な社会復帰ができない場合に、機能訓練や福祉機器などを利用して社会復帰を支援する。2001年にWHOで国際生活機能分類(ICF)が採択され、それまで障害というマイナス面だけに注目していたが生活機能というプラス面に注目するように大きく変化した。本講義では日常生活や社会生活を困難にする障害の中でも、とくに小児疾患、整形疾患、中枢疾患、内部疾患についてのリハビリテーションについて教授する。

到達目標: 1)リハビリテーションの意味について説明できる(SBOs)
2)障害について理解できる(ICFの理解)。
3)リハビリテーション医療の提供・方法論について説明できる。
4)リハビリテーションに関わる具体的な疾患について説明できる。

評価方法: レポート課題、期末試験などを総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 集中講義で行われることが多いので、講義の日程などに注意しておくこと。1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【リハビリテーション医学総論1】 リハビリテーションの理念と組織を学ぶ。	講義	福本
2	1)	【リハビリテーション医学総論2】 リハビリテーション医学とは何かを学ぶ。	講義	福本
3	1)2)	【リハビリテーション医学総論3】 障害学: 障害の科学的研究について学ぶ。	講義	福本
4	1)2)	【リハビリテーション医学総論4】 基礎学(運動学)を学ぶ。	講義	武居
5	1)2)	【リハビリテーション医学総論5】 基礎学(機能回復の生理学)を学ぶ。	講義	武居
6	2)3)	【リハビリテーション医学総論6】 基礎学(運動治療学)を学ぶ。	講義	武居
7	2)3)	【リハビリテーション医学の実際】 目標志向的アプローチについて学ぶ。	講義	武居
8	2)3)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション診断学について学ぶ。	講義	武居
9	2)3)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション治療学について学ぶ。	講義	武居
10	2)3)4)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション治療学について学ぶ。(リウマチ)	講義	福本
11	2)3)4)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション治療学について学ぶ。(パーキンソン)	講義	福本
12	2)3)4)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション治療学について学ぶ。(神経難病1)	講義	福本
13	2)3)4)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション治療学について学ぶ。(神経難病2)	講義	福本
14	2)3)4)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション治療学について学ぶ。(認知症・精神1)	講義	福本
15	2)3)4)	【リハビリテーション医学の実際】 リハビリテーション治療学について学ぶ。(認知症・精神2)	講義	福本

教科書: 福本:リハビリテーション総論改訂第2版(椿原彰夫) 診断と治療社【978-4-7878-1880-5】

参考書: なし

科目名: リハビリテーション医学

担当者: 帖佐悦男、鳥取部光司、山口洋一朗、黒木洋美(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行でき(DP3)、適切な訓練目標を設定し、目標に基づいた訓練プログラムを実施できる言語聴覚士となるために(DP4)、リハビリテーション医学について、総論においてはリハビリテーションの理念、プロセス、診断評価の基礎的アプローチについて、各論においては主な疾患の評価法や治療等の、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を修得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs)

- 1)【総論】リハビリテーション医学・医療の概要について理解する。
- 2)【総論】リハビリテーション診療として、各種診察手順、検査、リハ評価等を理解し、概説できる。
- 3)【総論】リハビリテーション診療として、運動学的アプローチや評価、ADL動作やその評価、およびQOLについて理解し、概説できる。
- 4)【各論】障害別の病態生理、疾患としての評価治療を理解する。疾患として脳血管障害、脳損傷等の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 5)【各論】②末梢神経障害(顔面神経障害、糖尿病性神経障害等)の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具について理解し説明できる。
- 6)【各論】③筋・神経疾患: ALS, ホリオ、筋ジス、変性疾患: パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症等の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。固縮・痙縮の病態を理解する。様々な疾患の歩行障害について理解する。
- 7)【各論】④骨・関節・筋肉疾患: 骨折、骨粗しょう症、スポーツ外傷、運動器関連疼痛(頸部、上肢&下肢痛、腰痛)の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 8)【各論】⑤脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患(二分脊椎)の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 9)【各論】⑥自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患(関節リウマチ、強皮症、多発性筋炎)の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 10)【各論】⑦内部障害: 呼吸器疾患、嚥下障害関連の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 11)【各論】⑧内部障害: 循環器疾患、腎関連疾患、廃用症候群の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 12)【各論】⑨高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 13)【各論】⑩がんのリハビリテーション(悪性腫瘍、骨転移、がん性疼痛、チーム医療、複合性局所疼痛症候群含む)の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。
- 14)【各論】⑪加齢による障害: サルコペニア、フレイル)、小児関連疾患として発達障害: 脳性麻痺、自閉症、ADHDなど)の病態、治療、評価、リハビリテーションについて理解し説明できる。

評価方法: 筆記試験による知識・理解度、考え方について評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。資料を中心に行うので、欠席した場合の補充は各自で行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【総論】リハビリテーション医学・医療の概要について理解する。	講義	帖佐
2	2)	【総論】リハビリテーション診療として、各種診察手順、検査、リハ評価等を理解し、概説できる。	講義	帖佐
3	2)	【総論】リハビリテーション診療として、運動学的アプローチや評価、ADL動作やその評価、およびQOLについて理解し、概説できる。	講義	帖佐
4	3)	【各論】障害別の病態生理、疾患としての評価治療 ① 脳血管障害、脳損傷等	講義	鳥取部
5	4)	【各論】②末梢神経障害(顔面神経障害、糖尿病性神経障害等) 閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽、外傷に伴う切断と補装具	講義	鳥取部
6	5)	【各論】③筋・神経疾患: ALS, ホリオ、筋ジス、変性疾患: パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症(固縮・痙縮)、歩行障害	講義	鳥取部
7	6)	【各論】④骨・関節・筋肉疾患: 骨折、骨粗しょう症、スポーツ外傷、運動器関連疼痛(頸部、上肢&下肢痛、腰痛)	講義	山口(洋)
8	7)	【各論】⑤脊髄損傷、排尿障害、褥瘡、脊椎疾患(二分脊椎)	講義	山口(洋)
9	8)	【各論】⑥自己免疫性疾患、膠原病、リウマチ性疾患(関節リウマチ、強皮症、多発性筋炎)	講義	山口(洋)

10	9)	【各論】⑦内部障害:呼吸器疾患、嚥下障害関連	講義	黒木
11	10)	【各論】⑧内部障害:循環器疾患,腎関連疾患、廃用症候群、熱傷	講義	黒木
12	11)	【各論】⑨-1 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連	講義	黒木
13	12)	【各論】⑨-2 高次脳機能障害関連(記憶、失行、失認、失語、注意、遂行機能障害、認知)、精神疾患関連	講義	黒木
14	13)	【各論】⑩がんのリハビリテーション(悪性腫瘍、骨転移、がん性疼痛、チーム医療)、複合性局所疼痛症候群含む	講義	黒木
15	14)	【各論】⑪加齢による障害:サルコペニア、フレイル)、発達障害:脳性麻痺、自閉症、ADHDなど)	講義	黒木

教科書: 最新リハビリテーション医学 第3版(江藤文夫・里宇明元 監修)医歯薬出版株式会社【978-4-263-21730-6】

参考書: リハビリテーション技術全書(服部一郎・細川忠義・和才嘉昭)医学書院【978-4-260-24290-5】
 現代リハビリテーション医学 改訂 第3版(千野直一 編)金原出版【978-4-307-25142-6】
 標準リハビリテーション医学 第3版(上田敏)医学書院【978-4-260-01394-9】
 リハビリテーションビジュアルブック第2版(監修 落合慈之) 学研メディカル秀潤社【978-4780911930】

科目名: **公衆衛生学**

担当者: 池脇 信直(生命医科)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 予防医学、健康科学、環境問題の概念をさまざまな保健活動(公衆衛生活動)から理解できる作業療法士になるために、生活環境と健康、出生と死亡、疾病の罹患状況、健康障害の発生原因等を学習する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 公衆衛生の概要、健康の概念、公衆衛生活動について説明できる。
 - 2) 健康を評価するための健康指標について説明できる。
 - 3) 疾病の自然史、健康管理、医療制度について説明できる。
 - 4) 主な感染症や病院内感染、感染症の予防対策について説明できる。
 - 5) 主な疾病と生活習慣病の動向、行政における疾病予防政策について説明できる。
 - 6) 各保健分野の動向、課題、行政の予防対策と法律について説明できる。
 - 7) 医療関連従事者の資格に関する法律について説明できる。
 - 8) 疫学調査の方法や計算法について説明できる。
 - 9) デモンストレーションの内容について説明できる。

評価方法: 毎回の授業終了後に行う小試験、レポートおよび学期末の単位認定試験で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業は主にプロジェクターで講義内容および説明図を提示し、そのポイントを解説する形で進める。また、公衆衛生学に関するミニデモンストレーションを取り入れて授業を進める。予習としては、教科書を読み、その単元について調べておくこと。復習としては、国家試験対策として行う毎回の小試験、ノート、講義プリント、資料を読み返し、理解を深めること。1回の授業につき4時間を目安に予習と復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜日～金曜日:12:20～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【公衆衛生の概要と健康の概念】 公衆衛生の歴史と概要、健康の概念、公衆衛生活動	講義	池脇
2	2)	【保健統計と人口動態】 人口統計と健康を評価するための健康指標	講義	池脇
3	3)	【予防医学と健康増進】 疾病の自然史と健康管理、医療制度	講義	池脇
4	4)	【感染症の概念と予防1】 感染症の特徴	講義	池脇
5	4)	【感染症の概念と予防2】 感染症の予防対策	講義	池脇
6	5)	【疾病の概念と予防】 生活習慣病に関わる主な疾病の動向と予防政策	講義	池脇
7	6)	【環境保健】 生活環境と汚染問題および地球規模における環境問題	講義	池脇
8	6)	【母子保健】 母子保健活動と少子化問題 【地域保健】 地域保健活動における保健所の役割	講義	池脇
9	6)	【学校保健】 子どもの健康問題 【産業保健】 健康で安全な職業生活と行政制度	講義	池脇
10	6)	【老人保健と福祉】 高齢化社会における医療制度、老人福祉対策、介護保険制度	講義	池脇
11	6)	【精神保健】 精神保健活動の現状、行政における予防対策	講義	池脇
12	7)	【国家資格と関係法規】 医療関連従事者の資格と法律	講義	池脇
13	8)	【疫学研究法】 疫学調査の方法と計算法	講義	池脇
14	9)	【デモンストレーション1】 正常細菌叢と環境微生物の検査	講義・演習	池脇

教科書: シンプル衛生公衆衛生学2018 (鈴木 庄亮・久道 茂) 南江堂

参考書: 資料(プリント)を配付します。

科目名: **公衆衛生学**

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 視機能療法学科(2年次)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 人間集団における生活環境と健康、その集団を構成する人間の出生と死亡、疾病罹患の状況、健康障がいの発生原因等を学習する。すなわち、医療関連従事者として必要な予防医学、健康科学、環境問題の概念をさまざまな領域から理解する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 公衆衛生の概要、健康の概念を把握し、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動を理解できる。
- 2) 日本の人口統計から、人間集団の健康を評価するための健康指標についてグラフや表を読み取ることができる。
- 3) 疾病の自然史を予防という観点から把握するとともに、健康管理、医療制度などの予防対策を理解できる。
- 4) 日本における感染症の予防対策について法律と政策を理解し、主な感染症や病院内感染について知識を理解できる。
- 5) 日本における主な疾患と生活習慣病の動向を把握し、行政における予防政策の基本的な知識を理解できる。
- 6) 環境保健、母子保健、地域保健、学校保健、産業保健、老人保健、精神保健の各分野において、現在の動向、課題、行政の予防対策とそれに関わる法律について基本的な知識を理解できる。
- 7) 医療関連従事者(視能訓練士)の資格に関する法律を理解できる。
- 8) 疫学調査の方法や計算法を理解できる。

評価方法: 定期試験、講義中の小試験およびレポートの成績で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書「シンプル衛生公衆衛生学2018」の最新内容とデータを学習するので必ず持参すること。

オフィスアワー: 火曜、水曜12:30~13:00、木曜13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【公衆衛生の歴史・公衆衛生の概要・健康の概念】 公衆衛生の概要、健康の概念と、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動について	講義	中村
2	2)	【保健統計・人口の動き】 日本の人口統計とさまざまな人間集団の健康を評価するための健康指標について	講義	中村
3	3)	【予防医学と健康増進】 予防医学による疾病の自然史と健康管理、医療制度などの予防対策について	講義	中村
4	2)3)4)	【感染症の概念と予防①】 日本における感染症の予防対策における重要な法律と行政の政策について	講義	中村
5	2)3)4)	【感染症の概念と予防②】 世界的に問題となっている主な感染症の基本的な知識や動向について	講義	中村
6	2)3)4)	【感染症の概念と予防③】 主な感染症と病院内感染について。正常細菌叢に関するミニデモンストレーション	講義	中村
7	2)3)5)	【疾病の概念と予防①】 生活習慣病に関わる主な疾病とその動向と、行政における予防政策について	講義	中村
8	2)3)5)	【疾病の概念と予防②】 主な疾患とその動向と、行政における予防対策について	講義	中村
9	2)3)6)	【環境保健】 人の健康に影響を与える生活環境と汚染問題および地球規模での環境問題について	講義	中村
10	2)3)6)	【母子保健】 母子保健活動と少子化問題について 【地域保健】 地域保健活動における保健所の役割について	講義	中村
11	2)3)6)	【学校保健】 子どもの心と身体の問題について 【産業保健】 健康で安全な職業生活を送るためのさまざまな法律について	講義	中村
12	2)3)6)	【老人保健と福祉】 高齢化の社会における医療制度、老人福祉対策、介護保険制度について	講義	中村
13	2)3)6)	【精神保健】 精神保健活動の現状を把握と、行政における予防対策活動について	講義	中村
		【国家資格と関係法規】		

14	7)	医療関連従事者(視能訓練士)の資格に関する法律について	講義	中村
15	8)	【疫学研究法】 疫学調査の方法や計算法について	講義	中村

教科書: シンプル衛生公衆衛生学2018(鈴木 庄亮・久道 茂) 南江堂【ISBN978-4-524-24019-7】

参考書: 公衆衛生がみえる メディックメディア【ISBN978-4-89632-512-6】

科目名: **公衆衛生学**

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人間集団における生活環境と健康、その集団を構成する人間の出生と死亡、疾病罹患の状況、健康障がいの発生原因等を学習する。すなわち、保健、医療、福祉、教育に参画・連携し地域に根差した障害にわたる支援を行うことができる言語聴覚士(DP5)として必要な予防医学、健康科学、環境問題の概念を習得する。(CP1)

到達目標: (SBOs)

- 1) 公衆衛生の概要、健康の概念を把握し、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動を理解できる。
- 2) 日本の人口統計から、人間集団の健康を評価するための健康指標についてグラフや表を読み取ることができる。
- 3) 疾病の自然史を予防という観点から把握するとともに、健康管理、医療制度などの予防対策を理解できる。
- 4) 日本における感染症の予防対策について法律と政策を理解し、主な感染症や病院内感染について知識を理解できる。
- 5) 日本における主な疾患と生活習慣病の動向を把握し、行政における予防政策の基本的な知識を理解できる。
- 6) 環境保健、母子保健、地域保健、学校保健、産業保健、老人保健、精神保健の各分野において、現在の動向、課題、行政の予防対策とそれに関わる法律について基本的な知識を理解できる。
- 7) 医療関連従事者の資格に関する法律を理解できる。
- 8) 疫学調査の方法や計算法を理解できる。

評価方法: 定期試験、講義中の小試験およびレポートの成績で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書「シンプル衛生公衆衛生学2018」の最新内容とデータを学習するので必ず持参すること。

オフィスアワー: 火、水12:30~13:00、木13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【公衆衛生の歴史・公衆衛生の概要・健康の概念】 公衆衛生の概要、健康の概念と、公衆衛生の歴史から現在の公衆衛生活動について	講義	中村
2	2)	【保健統計・人口の動き】 日本の人口統計とさまざまな人間集団の健康を評価するための健康指標について	講義	中村
3	3)	【予防医学と健康増進】 予防医学による疾病の自然史と健康管理、医療制度などの予防対策について	講義	中村
4	2)3)4)	【感染症の概念と予防①】 日本における感染症の予防対策における重要な法律と行政の政策について	講義	中村
5	2)3)4)	【感染症の概念と予防②】 世界的に問題となっている主な感染症の基本的な知識や動向について	講義	中村
6	2)3)4)	【感染症の概念と予防③】 主な感染症と病院内感染について。正常細菌叢に関するミニデモンストレーション	講義	中村
7	2)3)5)	【疾病の概念と予防①】 生活習慣病に関わる主な疾病とその動向と、行政における予防政策について	講義	中村
8	2)3)5)	【疾病の概念と予防②】 主な疾患とその動向と、行政における予防対策について	講義	中村
9	2)3)6)	【環境保健】 人の健康に影響を与える生活環境と汚染問題および地球規模での環境問題について	講義	中村
10	2)3)6)	【母子保健】 母子保健活動と少子化問題について 【地域保健】 地域保健活動における保健所の役割について	講義	中村
11	2)3)6)	【学校保健】 子どもの心と身体の健康問題について 【産業保健】 健康で安全な職業生活を送るためのさまざまな法律について	講義	中村
12	2)3)6)	【老人保健と福祉】 高齢化の社会における医療制度、老人福祉対策、介護保険制度について	講義	中村
13	2)3)6)	【精神保健】 精神保健活動の現状を把握と、行政における予防対策活動について	講義	中村
		【国家資格と関係法規】		

14	7)	医療関連従事者の資格に関する法律について	講義	中村
15	8)	【疫学研究法】 疫学調査の方法や計算法について	講義	中村

教科書: シンプル衛生公衆衛生学2018 (鈴木 庄亮・久道 茂) 南江堂【978-4-524-24019-7】

参考書: 公衆衛生がみえる メディックメディア【ISBN978-4-89632-512-6】

科目名: **公衆衛生学**

担当者: 池脇 信直(生命医科)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 予防医学、健康科学、環境問題の概念をさまざまな保健活動(公衆衛生活動)から理解できる臨床工学技士になるために、生活環境と健康、出生と死亡、疾病の罹患状況、健康障害の発生原因等を学習する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 公衆衛生の概要、健康の概念、公衆衛生活動について説明できる。
 - 2) 健康を評価するための健康指標について説明できる。
 - 3) 疾病の自然史、健康管理、医療制度について説明できる。
 - 4) 主な感染症や病院内感染、感染症の予防対策について説明できる。
 - 5) 主な疾病と生活習慣病の動向、行政における疾病予防政策について説明できる。
 - 6) 各保健分野の動向、課題、行政の予防対策と法律について説明できる。
 - 7) 医療関連従事者の資格に関する法律について説明できる。
 - 8) 疫学調査の方法や計算法について説明できる。
 - 9) デモンストレーションの内容について説明できる。

評価方法: 毎回の授業終了後に行う小試験、レポートおよび学期末の単位認定試験で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業は主にプロジェクターで講義内容および説明図を提示し、そのポイントを解説する形で進める。また、公衆衛生学に関するミニデモンストレーションを取り入れて授業を進める。予習としては、教科書を読み、その単元について調べておくこと。復習としては、国家試験対策として行う毎回の小試験、ノート、講義プリント、資料を読み返し、理解を深めること。1回の授業につき4時間を目安に予習と復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜日～金曜日:12:20～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【公衆衛生の概要と健康の概念】 公衆衛生の歴史と概要、健康の概念、公衆衛生活動	講義	池脇
2	2)	【保健統計と人口動態】 人口統計と健康を評価するための健康指標	講義	池脇
3	3)	【予防医学と健康増進】 疾病の自然史と健康管理、医療制度	講義	池脇
4	4)	【感染症の概念と予防1】 感染症の特徴	講義	池脇
5	4)	【感染症の概念と予防2】 感染症の予防対策	講義	池脇
6	5)	【疾病の概念と予防】 生活習慣病に関わる主な疾病の動向と予防政策	講義	池脇
7	6)	【環境保健】 生活環境と汚染問題および地球規模における環境問題	講義	池脇
8	6)	【母子保健】 母子保健活動と少子化問題 【地域保健】 地域保健活動における保健所の役割	講義	池脇
9	6)	【学校保健】 子どもの健康問題 【産業保健】 健康で安全な職業生活と行政制度	講義	池脇
10	6)	【老人保健と福祉】 高齢化社会における医療制度、老人福祉対策、介護保険制度	講義	池脇
11	6)	【精神保健】 精神保健活動の現状、行政における予防対策	講義	池脇
12	7)	【国家資格と関係法規】 医療関連従事者の資格と法律	講義	池脇
13	8)	【疫学研究法】 疫学調査の方法と計算法	講義	池脇
14	9)	【デモンストレーション1】 正常細菌叢の検査	講義・演習	池脇

教科書: シンプル衛生公衆衛生学2018 (鈴木 庄亮・久道 茂) 南江堂

参考書: 資料(プリント)を配付します。

科目名: **臨床心理学**

担当者: 矢島 順(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(1年次)・視機能療法学科(2年次)

必修・選択: 選択(作)|必修(視) 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 広く心理的問題の解決を援助することを目的とする臨床心理学は対人援助職の基礎となる分野である。心理学的アセスメントや異常心理学、発達段階での心理学的問題を学ぶことで様々な心理的問題を説明できるようになる。また、心理的問題への介入の仕方としていくつかの基礎理論を理解し、説明できるようになる。

到達目標: (SBOs) 1)心理学における臨床心理学の立場と特徴について説明できる。
2)臨床心理学的援助の流れを説明できる。
3)スーパービジョンやコンサルテーションについて理解し、説明できる。
4)知能検査から始まる心理アセスメントの歴史について理解し説明できる。
5)心理アセスメントの手立てとしての心理検査を理解し説明できる。
6)異常心理についていくつかの障害の特徴について理解し説明できる。
7)自殺の問題について考えることができる。
8)各発達段階における心理的問題を理解し説明できる。
9)心理的問題への介入理論の基礎について理解し説明できる。

評価方法: 受講態度10%、講義時間での小テスト20%、定期試験70%により総合的に判断して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業1回毎に予習復習を行うこと。復習は配布資料を授業での説明と合わせまとめておく。予習は授業毎に次回の予告をするので教科書の該当箇所を目を通しておくこと。教科書と配付資料は毎回持参すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床心理学の立場と特徴を説明できる	講義	矢島
2	2)3)	臨床心理学援助の流れを説明できる	講義	矢島
3	4)	心理アセスメントの意味とアセスメントの流れを説明できる	講義	矢島
4	4)	心理アセスメントの手立てとして面接法や心理検査(質問紙法等)について説明できる	講義	矢島
5	4)	知能、発達のアセスメントの手立てとしてビネー法やウエクスラー法について説明できる	講義	矢島
6	6)	不安障がい各症状とそれに対する心理療法について説明できる	講義	矢島
7	6)	統合失調症の症状と特徴について説明できる	講義	矢島
8	6)7)	気分障害、うつ病の症状と特徴と自殺の問題について説明できる	講義	矢島
9	8)	乳幼児期の発達上の心理的問題点を説明できる	講義	矢島
10	6)8)	児童期の心理的問題を説明できる	講義	矢島
11	8)	思春期の心理的問題を説明できる	講義	矢島
12	8)	青年期の心理的問題点を説明できる	講義	矢島
13	8)	成人期の心理的問題点を説明できる	講義	矢島
14	8)	老年期の心理的問題点を説明できる	講義	矢島
15	9)	心理的問題への介入 いくつかの基礎理論を説明できる	講義	矢島

教科書: よくわかる臨床心理学(改訂版)(下山 晴彦 編)ミネルヴァ書房【978-4-623-05435-0】

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床心理学**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害者の評価や支援に資する基本的な心理学的知見を身につけるために(DP3,4)、臨床心理学が対象とする各種の障害及びその特徴と、対象者を理解するための基本的な技法、さらには、対象者に対する心理療法とそれに付随する種々の技法を修得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs) 1)臨床心理学の定義と特徴、臨床心理士の役割と職域を説明できる。
2)性格類型論、性格特性論、及びそれぞれの長所と短所、Freudのパーソナリティ理論(力動論)を説明できる。
3)臨床心理学におけるアセスメントの流れ、質問紙法と投影法による代表的な性格検査とその内容を説明できる。
4)精神障害の診断基準の1つであるDSM-IV-TRの多軸評定システムを説明できる。
5)臨床心理学が対象とする各種の障害の特徴を説明できる。
6)対象者に対する心理療法とそれに付随する種々の技法を説明できる。

評価方法: 2回に1回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを30%、学期末の単位認定試験を70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。国家試験に向けて精神医学(2年次後期)と関連付けて学習すること。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床心理学とは何か:臨床心理学の定義と特徴、臨床心理士の役割と職域	講義	内藤
2	2)	性格、パーソナリティの基礎理論(1):性格類型論と性格特性論、及びそれぞれの長所と短所	講義	内藤
3	2)	性格、パーソナリティの基礎理論(2):Freudのパーソナリティ理論(力動論)	講義	内藤
4	3)	臨床心理学におけるアセスメント(1):質問紙法による代表的な性格検査と、それらがアセスメントする内容	講義	内藤
5	3)	臨床心理学におけるアセスメント(2):投影法による代表的な性格検査と、それらがアセスメントする内容	講義	内藤
6	4)	精神障害の分類と、診断基準:病因論と症候論、DSM-IV-TRの多軸評定システム	講義	内藤
7	5)6)	様々な精神障害(1):不安障害の類型とそれぞれにみられる症状、不安障害に対する心理療法	講義	内藤
8	5)6)	様々な精神障害(2):身体表現性障害の類型とそれぞれにみられる症状、身体表現性障害に対する心理療法	講義	内藤
9	5)6)	様々な精神障害(3):解離性障害の類型とそれぞれにみられる症状、解離性障害に対する心理療法	講義	内藤
10	5)6)	様々な精神障害(4-1):パーソナリティ障害の類型とそれぞれにみられる症状、パーソナリティ障害に対する心理療法	講義	内藤
11	5)6)	様々な精神障害(4-2):パーソナリティ障害の類型とそれぞれにみられる症状、パーソナリティ障害に対する心理療法(その2)	講義	内藤
12	5)	様々な精神障害(5-1):気分障害にみられる症状	講義	内藤
13	6)	様々な精神障害(5-2):気分障害に対する心理療法	講義	内藤
14	5)	様々な精神障害(6-1):統合失調症にみられる症状	講義	内藤
15	5)6)	様々な精神障害(6-2):統合失調症における病型、統合失調症に対する心理療法	講義	内藤

教科書: 使用しない。講義レジュメを配布する。

参考書： 第1回に紹介する。

科目名: **薬理学**

担当者: 渡辺 渡(保・工)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 医療の現場では、患者は何らかの薬物治療を受けていることが多く、患者に使われている薬の作用が作業療法の効果に影響を与えることもある。薬物は、上手に使えば役に立つが、場合によっては害になることもある。将来、作業療法士として医療の場で仕事をする時、薬の知識は必ず役に立つと思われる。この講義では、薬物治療を理解するための基本的な事項と考え方を学び、薬の飲み併せ・高齢者への投薬など現場で役立つ事項、および、作業療法を行う上で知っておくと役立つ薬の知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 薬物療法と作業療法の関連を説明できる。
2) 薬物の基本的特性について説明できる。
3) 患者に安全で有効な薬物療法を行うための基本的事項を概説できる。
4) 医薬品を取り巻く社会情勢について概説できる。

評価方法: 期末試験の点数(80%)、および、毎回講義終了時に行う確認テスト(20%)で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書および毎回配布するプリントを使用して進めます。皆さんに質問など投げかけ双方向の授業を行いますので、積極的な参加を期待しています。授業中は私語をしないこと。毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間等を使って、15時間程度の準備学習および復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜～金曜日16:30～19:00(4号棟4階、臨床薬学第一講座)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【イントロダクション】 薬とはなにか、薬を使う目的、薬の効き方の基本、および、薬物療法と作業療法との関連	講義	渡辺
2	2)	【薬の運命】 薬を服用した後の吸収・分布・代謝・排泄の流れ	講義	渡辺
3	2)	【脂溶性の薬・水溶性の薬】 薬の物性と、効果発現の特徴	講義	渡辺
4	2)	【剤形と投与方法】 剤形とは何か。剤形の特徴と投与方法の違い・飲みやすくするための工夫	講義	渡辺
5	2)3)	【服用する時間の特徴と意義】 薬効を十分に引き出すための服用時間とその意義	講義	渡辺
6	3)	【副作用とアレルギー】 薬の副作用の特徴と予防方法、過去に起こった薬害の事例、薬物アレルギー	講義	渡辺
7	2)3)	【薬の相互作用】 薬の作用に影響する食べ併せ・飲み併せ	講義	渡辺
8	3)	【高齢者への投薬】 高齢者への投薬と、薬効発現の特徴、飲み忘れ防止のための工夫など	講義	渡辺
9	3)	【リスクマネジメント】 投薬ミスの事例と、投薬ミスを防ぐための工夫	講義	渡辺
10	4)	【医薬品を取り巻く社会情勢】 先発医薬品とジェネリック医薬品の違い、医薬分業の意味とその意義	講義	渡辺
11	1)2)3)	【作業療法とくすり①】 抗精神病薬	講義	渡辺
12	1)2)3)	【作業療法とくすり②】 パーキンソン病の治療薬	講義	渡辺
13	1)2)3)	【作業療法とくすり③】 生活習慣病とその予防薬	講義	渡辺
14	1)2)3)	【作業療法とくすり④】 筋弛緩薬と鎮痛薬	講義	渡辺
14	1)2)3)	【作業療法とくすり⑤】 作業療法士国家試験問題を見てみよう	講義	渡辺

教科書： 教科書は使用しない(配布するプリントを基に授業を進める)。

参考書： 臨床で役立つ薬の知識【改訂版】(折井孝男 監修)学研【978-4-05-153034-1】

科目名: **カウンセリング論**

担当者: 矢島 順(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: カウンセリングとは言語的および非言語的コミュニケーションを通して行動の変容を試みる人間関係であり、人間関係の改善と問題解決、さらには治療的働きかけまで行うものであり、対人援助職において基本となる分野である。カウンセリングの基礎であるクライアント中心療法の積極的傾聴技法を理解し説明できるようになるとともに、積極的傾聴技法を実習し身に着ける。カウンセリングの諸理論を学びそれらと比較することで解決志向アプローチの基本姿勢、質問法を理解し説明できるようになる。また、カウンセリングにおける人間理解の技法である知能検査法を体験し、その内容や実施法を理解し説明できる。

到達目標 (SBOs):
1) カウンセリングの定義について理解し説明できる。
2) カウンセリングの諸理論を比較することで解決志向アプローチの基本姿勢について理解し説明できる。
3) クライアント中心療法の積極的傾聴技法について理解し説明できる。
4) 積極的傾聴技法を実習によって身に着ける。
5) 解決志向アプローチのコンプリメント及び関係性の型について理解し説明できる。
6) 解決志向アプローチの質問法(ミラクルクエスチョン、スケーリングクエスチョン)を理解し説明できる。
7) 知能検査法を体験し、その実施法を説明できる。

評価方法: 授業態度特に演習への取り組みを30%、レポート及び小テストに20%、最終レポート50%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業毎に予習復習を行うこと。復習は主として課題とするレポートの作成。予習は授業時に予告を行うので教科書の該当部分を読んでおく、事前に配布するレジュメで事前学習をしておくこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	カウンセリングとは何かを理解し説明できる	講義	矢島
2	2)	カウンセリングの諸理論の基本を理解し説明できる	講義	矢島
3	2)	カウンセリングの諸理論を比較することで、解決志向アプローチの基本姿勢を理解し説明できる	講義	矢島
4	3)	クライアント中心療法の積極的傾聴技法を理解し説明できる	講義	矢島
5	4)	積極的傾聴技法のワークを実習し体験し身に着ける。その1	演習	矢島
6	4)	積極的傾聴技法のワークを実習し体験し身に着ける。その2	演習	矢島
7	5)	解決志向アプローチのコンプリメント技法を実習で体験し、説明できる	講義	矢島
8	5)	解決志向アプローチにおけるクライアントセラピスト関係性について理解し説明できる	演習	矢島
9	5)	解決志向アプローチにおけるミラクルクエスチョンの技法を実習で体験し、説明できる	演習	矢島
10	6)	解決志向アプローチにおけるスケーリングクエスチョンの技法を実習で体験し、説明できる	講義	矢島
11	6)	解決志向アプローチの進め方について理解し説明できる	講義	矢島
12	6)	解決志向アプローチの進め方について理解し説明できる その2	講義	矢島
13	6)	知能検査法を実習しその実施法を説明できる	演習	矢島
14	7)	知能検査法を実習し採点することでその解釈について理解し説明できる	演習	矢島
15	7)		演習	矢島

教科書: 森俊夫 黒沢幸子著「森・黒沢のワークショップで学ぶ 解決志向ブリーフセラピー」ほんの森出版【ISBN 4-938874-27-X】

参考書: 使用しない。

科目名: **言語・聴覚障害概論**

担当者: 原 修一(保・言)・倉内 紀子(保・言)・長嶋 比奈美(保・言)・中村 真理子(保・言)・戸高 翼(保・言)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語・聴覚障害概論では、作業療法士としての臨床活動の中で遭遇する主な言語・聴覚障害の概要について学ぶ。また、リハビリテーション・チームのチームメイトである言語聴覚士についての理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1) 人間のコミュニケーション機能および能力の概要について説明できる。
2) 言語機能および能力の概要について説明できる。
3) コミュニケーション機能と言語機能との関連について説明できる。
4) 言語発達の概要について説明できる
5) 各種の言語・聴覚障害を列挙し、その概要について説明できる。
6) コミュニケーション障害を合併する患者への対応方法のポイントを説明できる。
7) リハビリテーション・チームにおける作業療法士と言語聴覚士との関連について説明できる。

評価方法: 授業への参加態度、小テスト、提出物等

準備学習・履修上の注意等: オムニバス

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準じる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	人間の言語とコミュニケーション	講義	倉内
2	1)~5)	言語聴覚障害入門	講義	倉内
3	1)~4)	言語発達	講義	長嶋
4	1)~5)	言語発達障害	講義	長嶋
5	1)~7)	小児の言語聴覚療法	講義	長嶋
6	1)~6)	構音障害	講義	原
7	1)~7)	摂食・嚥下障害(1)	講義	中村
8	1)~7)	摂食・嚥下障害(2)	講義	中村
9	1)~7)	摂食・嚥下障害(3)	講義	中村
10	1)~6)	失語症	講義	原
11	1)~7)	失語症	講義	原
12	1)~7)	聴覚と音声言語および言語発達	講義	戸高
13	1)~6)	聴覚障害	講義	戸高
14	1)~7)	聴覚障害	講義	戸高
15	1)~7)	作業療法士と言語聴覚士・チームアプローチ	講義	原

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: 視覚障害概論

担当者: 沼田 公子 (保・視)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 視覚障害概論では、主要な眼疾患について原因、症状、視能障害、治療法などの基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)原因、症状、視能障害、治療法を述べることができる。
2)麦粒腫と霰粒腫の違いを述べることができる。
3)流行性結膜炎への対応を述べることができる。
4)涙道の概要を述べることができる。
5)白内障の手術法、術前・術後の屈折度と眼内レンズ度数との関係を説明できる。
6)房水の産生・流出、前房隅角の形状・機能と眼圧の関係および緑内障の分類とを関係づけることができる。
7)視路の障害部位と視野障害を関係づけて説明できる。
8)外眼筋の神経支配および作用と外眼筋麻痺による視能障害を関係づけて説明できる。
9)生活習慣病の概念を述べる事が出来る。
10)糖尿病網膜症の病態を理解できる。
11)血圧の概念を述べる事が出来る。

評価方法: 毎回の授業前に前回授業の要点の試験を実施する。
毎授業の試験の評価を40%、学期末の単位認定試験60%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の 特になし。
注意等:

オフィスアワー: 講義・会議時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	この科目を学習する目的、眼瞼・結膜疾患(麦粒腫・霰粒腫・流行性結膜炎)	講義	沼田
2	1)	眼瞼疾患	講義	沼田
3	1)4)	角膜疾患(コンタクトレンズ装用による障害)	講義	沼田
4	1)5)	涙器疾患:涙道狭窄・閉鎖	講義	沼田
5	1)6)	水晶体疾患(白内障)	講義	沼田
6	1)	緑内障	講義	沼田
7	1)	網膜疾患(1):加齢黄斑疾患	講義	沼田
8	1)	網膜疾患(2):網膜剥離	講義	沼田
9	1)	ブドウ膜炎	講義	沼田
10	1)7)	視神経疾患:視神経炎、虚血性視神経症、うっ血乳頭	講義	沼田
11	1)	視路疾患:視交叉、視索	講義	沼田
12	8)	眼窩疾患:眼窩蜂巣炎、眼窩ふきぬけ骨折、甲状腺眼症	講義	沼田
13	1)9)10)11)	眼球運動障害	講義	沼田
14	1)	生活習慣病:糖尿病網膜症、高血圧網膜症	講義	沼田
15	1)	身体表現性障害(心因性視能障害)・老視 色覚異常	講義	沼田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **理学療法概論**

担当者: 瀧本 真由美 (スポ)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 職業上、深い関わりを持つ職種の一つである理学療法の概要について理解ができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)世界ならびに日本における理学療法の歴史を理解できる。
 - 2)現在の医療や各関係法における理学療法の概要について理解できる。
 - 3)現在の医療における理学療法の位置づけと業務について理解できる。
 - 4)介護保険における理学療法の位置づけと業務について理解できる。
 - 5)保健・福祉分野における理学療法の位置づけと業務について理解できる。
 - 6)物理療法の種類とその作用及び効果に関する概要について理解できる。
 - 7)中枢疾患における理学療法評価に関し、共有知識として理解できる。
 - 8)臨床における代表的な中枢疾患に関する知識及びアプローチについて理解できる。
 - 9)整形外科における理学療法評価に関し、共有知識として理解できる。
 - 10)臨床における代表的な整形外科に関する知識及びアプローチについて理解できる。
 - 11)呼吸器疾患における理学療法評価に関し、共有知識として理解できる。
 - 12)臨床における代表的な呼吸器疾患に関する知識及びアプローチについて理解できる。
 - 13)循環器疾患における理学療法評価に関し、共有知識として理解できる。
 - 14)臨床における代表的な循環器疾患に関する知識及びアプローチについて理解できる。
 - 15)リハビリテーションに関するトピックスについて理解できる。

評価方法: レポートと単位認定試験により評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 講義の内容で、教室と実習室を使いわけるので、注意する。
実習の際は、動きやすい、目的の動きができる適切な衣服で参加のこと。

オフィスアワー: 水曜日 昼休み

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	理学療法の歴史について	講義	瀧本
2	2)	現在の理学療法について	講義	瀧本
3	3)	医療における理学療法について	講義	瀧本
4	4)	介護保険における理学療法について	講義	瀧本
5	5)	行政機関における理学療法について	講義	瀧本
6	6)	物理療法について(温熱療法・光線療法)	講義	瀧本
7	6)	物理療法について(寒冷療法。電気刺激療法、牽引療法)	講義	瀧本
8	9)	整形外科的テスト(下肢)	講義、実習	瀧本
9	9)	整形外科的テスト(脊椎疾患)	講義、実習	瀧本
10	11)	呼吸器疾患における理学療法(評価・治療手技)	講義、実習	瀧本
11	12)	呼吸器疾患における理学療法(息苦しさを建言するための生活指導)	講義、実習	瀧本
12	13)	循環器疾患における理学療法 -評価-	講義	瀧本
13	14)	循環器疾患における理学療法 -疾患・治療手技-	講義	瀧本
14	10)	歩行者・杖・松葉杖の使い方	講義、実習	瀧本
15	15)	「障害のある人の人権について考える」	講義	瀧本(外部講師担当)

教科書: 使用しません。

参考書: 使用しません。

科目名: レクリエーション論

担当者: 樋口博之(保健・作業)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・実技

授業概要: 作業療法の領域は、身体障害、発達障害、精神障害の三つに分類され、老年期認知症は第四の領域と考えられている。また、高齢化が進む日本においては心身ともに健康な高齢者づくりが重要となっている。本授業では、レクリエーションに関する基礎理論を学び、レクリエーション演習を行う。
コミュニケーション能力とレクリエーション・リーダーとしての積極性を高めることを目標とする。

到達目標: 1)レクリエーション活動の基礎と応用について学ぶ。
(SBOs)

2)参加者が楽しく活動できる雰囲気をつくることができる。(コミュニケーション・ワーク)

3)安全面に配慮し、対象者に合わせたレクリエーション活動の指導ができる。

評価方法: 授業態度、レポート、実技テストにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 体育館利用時には、運動に適した服、室内用シューズを着用すること。屋外またレクリエーション・ルームで授業を行うこともある。
コミュニケーション・ワーク(4回)とレクリエーション・ワーク(4回)の準備として、計4時間の準備学習を行い、グループごとにレポートを提出すること。

※レクリエーション・インストラクターを取得する学生は必修となります。

オフィスアワー: 毎週火曜日12:30~13:30 ※前年度と時間割が変更となった場合、オフィスアワーも変更するかもしれません

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	レクリエーションの概論①	講義・実技	樋口
2	1)	レクリエーションの概論②		樋口
3	1)	レクリエーションの概論③		樋口
4	2)	レクリエーション支援の方法①【コミュニケーション・ワーク】		樋口
5	2)	レクリエーション支援の方法②【コミュニケーション・ワーク】		樋口
6	2)	レクリエーション支援の方法③【コミュニケーション・ワーク】		樋口
7	2)	レクリエーション支援の方法④【コミュニケーション・ワーク】		樋口
8	1)	レクリエーション支援の理論①		樋口
9	1)	レクリエーション支援の理論②		樋口
10	3)	レクリエーション活動の習得①【実技】		樋口
11	3)	レクリエーション活動の習得②【実技】		樋口
12	3)	レクリエーション活動の習得③【実技】		樋口
13	3)	レクリエーション活動の習得④【実技】		樋口
14	3)	レクリエーション活動の習得⑤【実技】		樋口
15	1)2)3)	総括		樋口

教科書: 授業時に連絡します。

参考書: ※必ずしも購入する必要はない
レクリエーション支援の基礎、(財)日本レクリエーション協会

科目名: **レクリエーション演習**

担当者: 樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: レクリエーションとは娯楽や気晴らしの意味をもち、その内容はスポーツ、ネイチャー、カルチャー、福祉の4つに日本レクリエーション協会では分類している。作業療法士は、臨床現場で障害者を対象としたレクリエーション活動を行う機会がある。本授業では、個人・集団に対してレクリエーション指導が行えるように実習することを目的とする。
主に、室内で行うレクリエーションをグループごとに企画し、実施する。

到達目標: (SBOs) 1)参加者が楽しく活動できる雰囲気をつくることのできるレクリエーション活動の知識を習得する
2)目的に合わせたレクリエーション・プログラムを作成することができる
3)対象者の特徴を理解した上で、安全面に配慮し、レクリエーション活動の指導ができる

評価方法: 授業態度、レポートにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 体育館利用時には、運動に適した服、室内用シューズを着用すること。屋外またレクリエーション・ルームで授業を行うこともある。
※レクリエーション・インストラクターを取得する学生は必修となります。

オフィスアワー: 毎週火曜日12:30~13:30 ※前年度と時間割が変更となった場合、オフィスアワーも変更するかもしれません

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	レクリエーション事業論①	講義・演習	樋口
2	1)	レクリエーション事業論②		
3	2)	レクリエーション支援演習①		
4	2)	レクリエーション支援演習②		
5	1)	レクリエーション事業論③		
6	1)	レクリエーション事業論④		
7	2)	レクリエーション支援演習③		
8	2)	レクリエーション支援演習④		
9	2)	レクリエーション支援演習⑤		
10	3)	レクリエーション支援演習⑥		
11	3)	レクリエーション支援演習⑦		
12	3)	レクリエーション支援演習⑧		
13	3)	レクリエーション支援演習⑨		
14	3)	レクリエーション支援演習⑩		
15	1)2)3)	総括【臨床実習にレクリエーションを活用する】		

教科書: 授業時に紹介する

参考書: 授業時に紹介する

科目名: 作業療法概論 I

担当者: 立石修康(保・作)・葉山靖明(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(1年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 社会に貢献できる作業療法士となるために、リハビリテーション分野において大きな役割を担っている作業療法とはどのような職業なのか、保健・医療・福祉の視点から理解する。

到達目標: (SBOs) 1)作業療法の概要について説明できる。
2)作業療法の歴史について説明できる。
3)障害の種類について説明できる。
4)人間活動を分析的に見ることができる。
5)それぞれの領域の作業療法について説明できる
6)研究について説明できる。
7)職業倫理について説明できる。

評価方法: 毎授業の終了前15分間を「理解の確認時間」として、ノートの整理や質疑応答によるフィードバックを行う。評価は、この確認時間の成果、および授業自体への取り組み姿勢を10%、および単位認定試験等を90%として単位認定を行う。なお、単位認定試験の問題の80%程度を受験者本人による自己採点とし、理解度のフィードバックを行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
	1)		講義、SGD	立石
	1)2)		講義、SGD	立石
1	1)	リハビリテーションの定義とその4領域について理解する	講義、SGD	立石
2	4)	作業療法の歴史について理解する	講義、SGD	立石
3	1)3)	理学療法士・作業療法士法について理解する	講義、SGD	立石
4	5)	人間活動(作業)の治療的意義について理解する	講義、SGD	立石
5	5)	作業療法の流れについて理解する	講義、SGD	立石
6	5)	身体障害領域の作業療法について理解する	講義、SGD	立石
7	5)	老年期障害領域の作業療法について理解する	講義、SGD	立石
8	1)	発達障害領域の作業療法について理解する	講義、SGD	葉山
9	1)4)	精神障害領域の作業療法について理解する	講義、SGD	立石
10	5)	現実の作業療法対象者の想いに共感する	講義、SGD	立石
11	1)4)	作業療法の評価について理解する	講義、SGD	立石
12	6)	記録と報告について理解する	講義、SGD	立石
13	7)	指導法について理解する	講義、SGD	立石
14		作業療法研究について理解する		
15		職業倫理について理解する		

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない。

科目名: 作業療法概論Ⅱ

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(1年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 前期で実際に体験したことを念頭に置きながら、作業科学とは何かと学び、対象者サービスにおける作業療法の理論的背景を理解する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 生産的作業について説明できる。
- 2) 楽しい作業について説明できる。
- 3) 休息になる作業について説明できる。
- 4) 作業バランスについて説明できる。
- 5) 作業の空間的側面について説明できる。
- 6) 作業の時間的側面について説明できる。
- 7) 作業の社会的側面について説明できる。
- 8) 作業の文化的側面について説明できる。
- 9) 進化と作業について説明できる。
- 10) 作業と健康について説明できる。
- 11) 一生涯の作業の変遷について説明できる。
- 12) 社会改革と作業について説明できる。

評価方法: 授業への取り組み姿勢と毎回のショートレポートによって総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 60分程度の事前の予習と事後の復習が必要である。特に、予習は重要で、教科書のある程度読み込んでおかないとレポートは書けないかもしれない。

オフィスアワー: 毎週金曜日13時から17時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1) 生産的作業についての考え方を学ぶ。その1	講義、SGD	立石
2	1)	1) 生産的作業についての考え方を学ぶ。その1	講義、SGD	立石
3	2)	2) 楽しい作業についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
4	3)	3) 休息になる作業についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
5	4)	4) 作業バランスについての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
6	5)	5) 作業の空間的側面についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
7	6)	6) 作業の時間的側面についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
8	7)	7) 作業の社会的側面についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
9	8)	8) 作業の文化的側面についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
10	9)	9) 進化と作業についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
11	10)	10) 作業と健康についての考え方を学ぶ。	講義、SGD	立石
12	11)	11) 一生涯の作業の変遷についての考え方を学ぶ。その1	講義、SGD	立石
13	11)	11) 一生涯の作業の変遷についての考え方を学ぶ。その2	講義、SGD	立石
14	12)	12) 社会改革と作業についての考え方を学ぶ。その1	講義、SGD	立石
15	12)	12) 社会改革と作業についての考え方を学ぶ。その2	講義、SGD	立石

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない。

科目名: **作業活動分析学・演習**

担当者: 田中 睦英(保・作)、立石 修康(保・作)、内勢 美絵子(保・作)、吉田 健(保・作)、江口喜久雄(保・作)、黒木 彩(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 3 時間数: 90 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 作業療法は、作業活動を媒介として様々な障害を持つ対象者を治療・指導・援助する技術である。この講義では、具体的な作業・活動分析を通して、どのように「作業」を対象者に適応して行くかについて講義と演習を行う中で学ぶ。特に、演習では作業療法で用いられる各種の作業活動を実践する上で必要な知識と技術を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 作業療法と作業との関係について説明できる。
 - 2) 作業療法の適応と分類について説明できる。
 - 3) 作業分析について説明できる。
 - 4) 各作業活動に必要な環境、素材、道具を説明できる。
 - 5) 各作業活動を実施することができる。
 - 6) 各作業活動の工程、治療的意義を説明できる。
 - 7) 各作業活動を実施できる。
 - 8) 各作業活動を分析しレポートを作成することができる。

評価方法: 各作業種目ごとの演習への取り組み、作品、レポート、出席状況を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各講義ごとに復習を行い理解を深めること。
演習においては課題ごとにレポートの提出をしていただきます。

オフィスアワー: 講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【作業療法と活動分析について①】 作業療法と作業との関係性について	講義	田中
2	2)3)	【作業療法と活動分析について②】 心理社会的技能と作業分析	講義	江口
3	2)3)	【作業療法と活動分析について③】 感覚統合と作業分析	講義	内勢
4	2)3)	【作業療法と活動分析について④】 身体運動技能と作業分析の理論と方法	講義	吉田
5	2)3)	【作業療法と活動分析について⑤】 認知技能と作業分析	講義	田中
6	4)5)6)7)	【作業活動:陶芸①】	演習	田中
7	4)5)6)7)	【作業活動:アンデルセン手芸①】	演習	田中
8	4)5)6)7)	【作業活動:アンデルセン手芸②】	演習	田中
9	4)5)6)7)8)	【作業活動:アンデルセン手芸③】	演習	田中
10	4)5)6)7)	【作業活動:陶芸②】	演習	田中
11	4)5)6)7)8)	【作業活動:陶芸③】	演習	田中
12	4)5)6)7)	【作業活動:木工①】	演習	立石
13	4)5)6)7)	【作業活動:木工②】	演習	立石
14	4)5)6)7)	【作業活動:木工③】	演習	立石
15	4)5)6)7)8)	【作業活動:木工④】	演習	立石
16	4)5)6)7)	【作業活動:七宝焼き①】	演習	内勢
17	4)5)6)7)8)	【作業活動:七宝焼き②】	演習	内勢
18	4)5)6)7)	【作業活動:マクラメ①】	演習	吉田
19	4)5)6)7)8)	【作業活動:マクラメ②】	演習	吉田
20	4)5)6)7)	【作業活動:絵画(臨床美術)①】	演習	黒木, 内勢
21	4)5)6)7)8)	【作業活動:絵画(臨床美術)②】	演習	黒木, 内勢

22	4)5)6)7)	【作業活動:タイルモザイク①】	演習	吉田
23	4)5)6)7)8)	【作業活動:タイルモザイク②】	演習	吉田
24	4)5)6)7)	【作業活動:手芸①】	演習	内勢
25	4)5)6)7)8)	【作業活動:手芸②】	演習	内勢
26	4)5)6)7)	【作業活動:革細工①】	演習	江口
27	4)5)6)7)	【作業活動:革細工②】	演習	江口
28	4)5)6)7)	【作業活動:革細工③】	演習	江口
29	4)5)6)7)8)	【作業活動:革細工④】	演習	江口
30	1)~8)	【まとめ①】	講義	田中

教科書: 標準作業療法学 専門分野 基礎作業学(小林夏子、福田恵美子) 医学書院【ISBN978-4-260-00228-8】
 つくる・あそぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル(古川宏) 医歯薬出版【ISBN978-4-263-21397-1】

参考書: 使用しない。

科目名: 作業療法研究法

担当者: 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 1. 作業療法に関連する研究の必要性について説明することができる。

2. 研究デザイン(主に臨床研究)について説明できる。

2. 研

3. 自身の興味・関心を研究テーマに昇華できる。

4. 自身の考案した研究テーマにもとづいて研究計画書を作成することができる。

到達目標: 1) 研究とは何かを理解し、説明できる。また、研究の流れを理解し、説明できる。
(SBOs) 2) 文献レビューの目的と方法を理解し、説明できる。

3) 文献を収集しレビューできる。

4) 事例研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。

5) 調査的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。

6) 実験的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。

7) シングルケース実験法の目的と方法を理解し、説明できる。

8) 文献的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。

9) 文献レビューの基づいて自身の研究テーマを立案し、研究計画書を作成できる。

評価方法: レポート、演習などで総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書や自分で収集した論文などを事前に読み1時間程度予習すること。また、講義ノートを必ず作成し1時間程度復習すること。

オフィスアワー: 金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【研究テーマの決定①】 研究疑問から、研究テーマについて考えることができる。	講義・演習	田中
2	1)2)	【研究テーマの決定②】 研究テーマの細部について検討できる。	講義・演習	田中
3	1)2)	【研究テーマの決定③】 研究テーマの細部の修正ができる。	講義・演習	田中
4	1)2)	【研究テーマの決定④】 研究テーマの絞り込みができる。	講義・演習	田中
5	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
6	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
7	3)	【研究テーマに関する文献の検索③】 文献を読み、内容を理解、整理できる。	講義・演習	田中
8	3)	【研究テーマに関する文献の検索④】 文献の内容をカード化できる。	講義・演習	田中
9	4)5)6)	【研究方法の検討①】 研究とは何かについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
10	4)5)6)	【研究方法の検討②】 研究疑問について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
11	4)5)6)	【研究方法の検討③】 仮説について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
12	4)5)6)	【研究方法の検討④】 実験的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
13	7)8)	【研究方法の検討⑤】 記述的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
14	7)8)9)	【研究計画①】 研究プロトコルについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
15	7)8)9)	【研究計画②】 研究計画を考えることができる。	講義・演習	田中

教科書: PT・OTのための臨床研究はじめての一步(山田 実編)羊土社(ISBN978-4-7581-0216-2)

参考書: 特になし。

科目名: **管理運営学**

担当者: 福本 安甫(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 円滑かつ効果的な作業療法の施行にあたって職場環境の整備は重要な要素となることから、環境整備に必要な人的・物的な管理に加えリスク管理あるいは自己管理などを含めて、管理運営に関する基礎知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)組織構成員としての役割を説明できる。
2)管理・運営の意味することを説明できる。
3)環境整備について説明できる。
4)リスク管理とその対応について説明できる。
5)社会人として・医療従事者としての倫理的配慮を説明できる。
6)自己管理と自己研鑽の必要性を説明できる。

評価方法: 学期末に行う単位修得試験によって評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間程度の予習復習を行うこと。毎回の授業内容に合わせて、作業療法士としての態度について考え、まとめておくとともに必ず「質問を準備」しておくこと。

オフィスアワー: 授業前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	科目の概要と目的の説明。組織とそれを構成する構成員の役割について考える。	講義	福本
2	1)2)	作業療法部門における人的・物的管理について考える。	講義	福本
3	2)3)	作業療法部門の円滑な運営とそれに必要な環境整備を理解する。	講義	福本
4	4)	医療事故と作業療法におけるリスク管理およびその対応について考える。	講義	福本
5	5)	社会人としての礼節と接遇を理解する。	講義	福本
6	5)6)	作業療法と診療報酬の関係を理解し、医療従事者としての責任と義務について考える。	講義	福本
7	5)6)	臨床における倫理的諸問題と自己研鑽の必要性について理解する。	講義	福本
8	1)~6)	まとめと臨床対応への基本態度を理解する。	講義	福本

教科書: 作業療法概論、作業療法学全書第1巻 (杉原 素子 編) 協同医書出版【978-4-7639-2118-5】

参考書: 使用しない。

科目名: 作業療法評価 I

担当者: 吉田 健(保・作) 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 評価の概要について理解できる。
関節可動域計測, 形態計測, 感覚検査, 反射検査, 協調性検査, 筋緊張検査, 意識障害の評価, 上肢機能検査が実施でき, 各検査についてのデータについて考察できる。

到達目標: (SBOs)

- 1) 評価の概要について説明できる。
- 2) 関節可動域計測の概要について説明できる。
- 3) 上肢の関節可動域計測ができる。
- 4) 下肢の関節可動域計測ができる。
- 5) 軸骨格の関節可動域計測ができる。
- 6) 可動域のデータを読み, 可動域の観点からの障害像を考察できる。
- 7) 形態計測の概要について理解・説明できる。
- 8) 意識レベル・バイタルサインについて理解・説明し, 評価できる。
- 9) 反射検査の概要を理解・説明し, 実際に評価できる。
- 10) 協調性検査の概要について理解・説明でき, 実際に評価できる。
- 11) 筋緊張検査の概要について理解・説明でき, 実際に評価できる。
- 12) 上肢機能検査の概要について理解・説明でき, 実際に評価できる。
- 13) 感覚検査の概要について理解・説明でき, 実際に評価できる。
- 14) 生活行為向上マネジメントについて概要が説明できる。

評価方法: 筆記試験(60%), 実技試験(20%), 評価学ノート(10%), 受講態度(出席状況など)(10%)で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義を受講するに当たって, あらかじめ解剖学や生理学の事前学習を必要とする。また, 講義および実技の予習と復習毎回1時間程度行い, 評価学のノート作成を行ってもらおう。実技では, 骨や筋の触診を行なうので, 短パンやTシャツ等の着用をその都度指定する。特に, 男子学生には上半身を露出させることがある。何らかの事情で脱衣できない場合は, 事前に申し出ること。事情を聴取の上, 配慮を決める。

オフィスアワー: 毎週水曜日 15:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション: 評価総論1	講義・演習	吉田・田中
2	1)	評価総論2(面接, 観察, 検査測定)	講義・演習	吉田・田中
3	1)2)	評価総論3(問題点の統合・解釈), ROM概論	講義・演習	吉田・田中
4	3)	ROM実技(肩甲帯・肩関節)	講義・演習	吉田・田中
5	3)	ROM実技(肘, 前腕)	講義・演習	吉田・田中
6	3)	ROM実技(手関節・手指)	講義・演習	吉田・田中
7	4)	ROM実技(股関節・膝関節)	講義・演習	吉田・田中
8	4)	ROM実技(足関節・足)	講義・演習	吉田・田中
9	5)	ROM実技(頭頸部)	講義・演習	吉田・田中
10	5)	ROM実技(体幹)	講義・演習	吉田・田中
11	6)	ROMデータの解釈と障害像①	講義・演習	吉田・田中
12	6)	ROMデータの解釈と障害像②	講義・演習	吉田・田中
13	7)	形態計測	講義・演習	吉田・田中
14	8)	フィジカルアセスメント①	講義・演習	吉田・田中
15	8)	フィジカルアセスメント②	講義・演習	吉田・田中
16	1)	後期オリエンテーション: 神経系概論	講義・演習	吉田・田中
17	9)	反射検査①(深部腱反射, 表在反射)	講義・演習	吉田・田中
18	9)	反射検査②(病的反射)	講義・演習	吉田・田中

19	10)	協調性検査 概要と検査	講義・演習	吉田・田中
20	11)	筋緊張検査 概要と検査	講義・演習	吉田・田中
21	12)	上肢機能検査 概要と検査(STEF)	講義・演習	吉田・田中
22	12)	上肢機能検査(STEF)	講義・演習	吉田・田中
23	13)	感覚検査①(表在感覚①)	講義・演習	吉田・田中
24	13)	感覚検査②(表在感覚②)	講義・演習	吉田・田中
25	13)	感覚検査③(深部感覚①)	講義・演習	吉田・田中
26	13)	感覚検査④(深部感覚②)	講義・演習	吉田・田中
27	13)	感覚検査⑤(複合感覚①)	講義・演習	吉田・田中
28	13)	感覚検査⑥(複合感覚②)	講義・演習	吉田・田中
29	14)	評価総論①(MTDLP概論)	講義・演習	吉田・田中
30	14)	評価総論②(MTDLP概論)	講義・演習	吉田・田中

教科書: 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 (岩崎 テル子) 医学書院 【978-4260267137】
 ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版(田崎 義昭、斎藤 佳雄、坂井 文彦)南山堂【978-4525247171】

参考書: 特になし

科目名: 作業療法評価 I

担当者: 吉田 健(保・作) 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年次)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 評価の概要について理解できる。面接や観察などから得られる情報の種類を理解し、作業療法士としての評価技術や体動を学ぶ。また、評価結果を解釈、統合を事例を用いて理解する。記録や報告の意義と特徴について、SOAP形式のノートを作成する中で理解する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 作業療法評価の目的と意義を説明できる。
- 2) 面接の目的を説明できる。
- 3) 面接者としての技法、態度について説明できる。
- 4) 観察の目的を説明できる。
- 5) 観察者としての技術、態度について説明できる。
- 6) 面接や観察、情報収集から得られる情報について説明できる。
- 7) 記録と報告の違いを説明できる。
- 8) 記録と報告の内容を説明できる。
- 9) 関節可動域 (ROM) のデータを読み、ROM の観点からの障害像を考察できる。
- 10) 生活行為向上マネジメント (MTDLP) について概要が説明できる。

評価方法: 筆記試験 (80%)、評価学ノート (20%) で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義を受講するに当たって、あらかじめ解剖学や生理学の事前学習を必要とする。本講義では、座学のみでなく、グループワークなどの演習を行う。各自予習したことや学んだことを基に、ディスカッションし、理論的思考を養ってもらう。また、講義の予習と復習毎回1時間程度行い、評価学のノート作成を行ってもらう。

オフィスアワー: 毎週水曜日 15:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	講義オリエンテーション、評価の意義と目的	講義	吉田・田中
2	1)	評価の過程 (評価過程の考え方、評価過程の展開)	講義	吉田・田中
3	2)3)	面接	講義・演習	吉田・田中
4	4)5)	観察	講義・演習	吉田・田中
5	6)	情報収集①	講義・演習	吉田・田中
6	6)	情報収集②	講義・演習	吉田・田中
7	7)8)	記録・報告の意義と特徴 (SOAP) ①	講義・演習	田中・吉田
8	7)8)	記録・報告の意義と特徴 (SOAP) ②	講義・演習	田中・吉田
9	7)8)	記録・報告の意義と特徴 (SOAP) ③	講義・演習	田中・吉田
10	9)	関節可動域 (ROM) 検査のデータの解釈と統合①	講義・演習	吉田・田中
11	9)	関節可動域 (ROM) 検査のデータの解釈と統合②	講義・演習	吉田・田中
12	9)	関節可動域 (ROM) 検査のデータの解釈と統合③	講義・演習	吉田・田中
13	9)	関節可動域 (ROM) 検査のデータの解釈と統合④	講義・演習	吉田・田中
14	10)	生活行為向上マネジメント (MTDLP) 概論①	講義・演習	吉田・田中
15	10)	生活行為向上マネジメント (MTDLP) 概論②	講義・演習	吉田・田中

教科書: 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 (岩崎 テル子) 医学書院 【978-4260267137】
ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版 (田崎 義昭、斎藤 佳雄、坂井 文彦) 南山堂 【978-4525247171】

参考書: 特になし

科目名: **作業療法評価Ⅱ**

担当者: 田中 睦英(保・作) 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 1. 徒手筋力検査と脳卒中の運動障害の評価が実施できる。
2. 臨床活動(実習)の意義と倫理規定および情報保護について理解し実践できる。
3. 評価計画を立案し、データを記録および分析し障害構造を構造化できる。

到達目標: (SBOs) 1) 徒手筋力検査の概要について理解・説明できる。
2) 下肢の徒手筋力検査が実施できる。
3) 上肢の徒手筋力検査が実施できる。
4) 手指の徒手筋力検査が実施できる。
5) 頭頸部・体幹の徒手筋力検査が実施できる。
6) 呼吸筋の徒手筋力検査が実施できる。
7) 徒手筋力検査のデータを考察できる。
8) 脳卒中の運動障害の評価の概要について理解・説明し、実践できる。
9) 臨床活動(実習)の意義、取組姿勢、倫理規定や情報保護について理解・説明できる。
10) 評価の一連の過程(準備、評価計画の立案、データの整理・記録、分析、考察、考察内容の構造化、障害構造のフォーミュレート)が実施できる。

評価方法: 前期は筆記試験50%、実技試験20%、MMTノート提出20%、出席等受講態度10%で評価する。後期は筆記試験50%、paper simの受講態度20%、ノート・レポート提出20%、出席等受講態度10%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 前期: 初回配布の授業スケジュールに従ってMMTノートを作成し、授業後ノート整理と実技の復習を行うこと(予復習60分)。
後期: 身体障害作業療法技能Ⅰの講義内容を復習し、脳血管障害の疾患特徴と作業療法評価、評価情報の整理・統合(障害像の構築)について理解を深めること(予復習60分)。

オフィスアワー: 毎週金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	徒手筋力検査の概要について①	講義	田中・吉田
2	1)	徒手筋力検査の概要について②	講義	田中・吉田
3	2)	股関節の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
4	2)	膝関節の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
5	2)	足関節と足部の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
6	3)	肩甲帯の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
7	3)	肩関節の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
8	3)	肘関節の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
9	3)	手関節の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
10	4)	指の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
11	4)	母指と小指の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
12	5)	頭頸部の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
13	5)	体幹の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
14	6)	呼吸筋の徒手筋力検査	演習	田中・吉田
15	7)	徒手筋力検査のデータの考察	演習	田中・吉田
16	8)	脳卒中の運動障害の評価の概要について	講義・演習	田中・吉田
17	8)	脳卒中の運動障害の評価①BrunnstromRecoveryStage	講義・演習	田中・吉田
18	8)	脳卒中の運動障害の評価②上田の12グレード評価	講義・演習	田中・吉田
19	8)	脳卒中の運動障害の評価③平衡反応検査	講義・演習	田中・吉田

20	8)	脳卒中の運動障害の評価④連合反応、姿勢反射および筋緊張評価	講義・演習	田中・吉田
21	9)	臨床活動(実習)の意義について	講義	田中・吉田
22	9)	臨床活動(実習)に対する取組姿勢について	講義	田中・吉田
23	9)	臨床活動(実習)の倫理規定や情報保護について	講義	田中・吉田
24	10)	PaperSim. ①評価の準備段階の実施	演習	田中・吉田
25	10)	PaperSim. ②評価計画の立案	演習	田中・吉田
26	10)	PaperSim. ③データの整理・記録	演習	田中・吉田
27	10)	PaperSim. ④データの分析	演習	田中・吉田
28	10)	PaperSim. ⑤データの考察	演習	田中・吉田
29	10)	PaperSim. ⑥考察内容の構造化	演習	田中・吉田
30	10)	PaperSim. ⑦障害構造のフォーミュレート	演習	田中・吉田

教科書: MMT-頭部・頸部・上肢(PT・OTのための測定評価DVD Series) (伊藤 俊一、仙石 泰仁) 三輪書店【978-4895903134】
 MMT-体幹・下肢(PT・OTのための測定評価DVD Series) (伊藤 俊一、仙石 泰仁) 三輪書店【978-4895903141】

参考書: 使用しない。

科目名: 作業療法評価Ⅱ

担当者: 田中 睦英(保・作) 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年次)

必修・選択: 必修 単位数: 3 時間数: 90 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 1. 評価の概要について説明できる。
2. 関節可動域計測、形態計測、感覚検査、反射検査、協調性検査、筋緊張検査、意識障害の評価、上肢機能検査、徒手筋力検査、脳卒中の運動機能評価が実施でき、各検査についてのデータについて考察できる。
3. 脳卒中の運動障害の評価が実施できる。
4. 臨床活動(実習)の意義と倫理規定および情報保護について理解し実践できる。
5. 評価計画を立案し、データを記録および分析し障害構造を構造化できる。

到達目標: (SBOs) 1) 関節可動域計測の概要について説明できる。
2) 上肢の関節可動域計測ができる。
3) 下肢の関節可動域計測ができる。
4) 頭頸部、体幹の関節可動域計測ができる。
5) 形態計測の概要について理解・説明できる。
6) 意識レベル・バイタルサインについて理解・説明し、評価できる。
7) 反射検査の概要を理解・説明し、実際に評価できる。
8) 協調性検査の概要について理解・説明でき、実際に評価できる。
9) 筋緊張検査の概要について理解・説明でき、実際に評価できる。
10) 上肢機能検査の概要について理解・説明でき、実際に評価できる。
11) 感覚検査の概要について理解・説明でき、実際に評価できる。
12) 徒手筋力検査の概要について理解・説明できる。
13) 上肢の徒手筋力検査が実施できる。
14) 手指の徒手筋力検査が実施できる。
15) 下肢の徒手筋力検査が実施できる。
16) 頭頸部・体幹の徒手筋力検査が実施できる。
17) 脳卒中の運動障害の評価の概要について理解・説明し、実践できる。
18) 姿勢反射・バランス評価の概要について理解・説明し、実践できる。
19) 気分・意欲の評価の概要について理解・説明し、実践できる。

評価方法: 筆記試験(60%)、実技試験(20%)、評価学ノート(10%)、受講態度(出席状況など)(10%)で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義を受講するに当たって、あらかじめ解剖学や生理学の事前学習を必要とする。また、講義および実技の予習と復習毎回1時間程度行い、評価学のノート作成を行ってもらおう。実技では、骨や筋の触診を行なうので、短パンやTシャツ等の着用をその都度指定する。特に、男子学生には上半身を露出させることがある。何らかの事情で脱衣できない場合は、事前に申し出ること。事情を聴取の上、配慮を決める。初回配布の授業スケジュールに従って評価学ノートを作成し、授業後ノート整理と実技の復習を行うこと(予復習90分)。

オフィスアワー: 田中:金曜日13:00~17:00 吉田:水曜日 13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	ROM実技(肩関節、上肢)	講義・演習	吉田・田中
2	1)3)	ROM実技(下肢)	講義・演習	吉田・田中
3	1)4)	ROM実技(頭頸部、体幹)	講義・演習	吉田・田中
4	1)2)3)4)	ROM測定のみまとめ①	講義・演習	吉田・田中
5	1)2)3)4)	ROM測定のみまとめ②	講義・演習	吉田・田中
6	5)	形態計測	講義・演習	吉田・田中
7	6)	フィジカルアセスメント、Andersonの基準	講義・演習	吉田・田中
8	7)	反射検査	講義・演習	吉田・田中
9	8)	協調性検査	講義・演習	吉田・田中
10	9)	筋緊張検査	講義・演習	吉田・田中
11	10)	上肢機能検査	講義・演習	吉田・田中
12	11)	感覚検査①	講義・演習	吉田・田中
13	11)	感覚検査②	講義・演習	吉田・田中

14	11)	感覚検査③	講義・演習	吉田・田中
15	11)	感覚検査のまとめ	講義・演習	吉田・田中
16	12)	徒手筋力検査の概要について	講義・演習	田中・吉田
17	13)	上肢の徒手筋力検査①	講義・演習	田中・吉田
18	13)	上肢の徒手筋力検査②	講義・演習	田中・吉田
19	14)	手指の徒手筋力検査①	講義・演習	田中・吉田
20	14)	手指の徒手筋力検査②	講義・演習	田中・吉田
21	15)	下肢の徒手筋力検査	講義・演習	田中・吉田
22	16)	頭頸部・体幹の徒手筋力検査	講義・演習	田中・吉田
23	12)~16)	徒手筋力検査のまとめ	講義・演習	田中・吉田
24	17)	脳卒中の運動障害の評価の概要について	講義・演習	田中・吉田
25	17)	脳卒中の運動障害の評価①	講義・演習	田中・吉田
26	18)	姿勢反射・バランス評価①	講義・演習	田中・吉田
27	18)	姿勢反射・バランス評価②	講義・演習	田中・吉田
28	17)18)	脳卒中の運動障害評価・バランス評価のまとめ	講義・演習	田中・吉田
29	19)	気分・うつ・意欲の評価	講義・演習	田中・吉田
30	1)~19)	全体総括	講義・演習	田中・吉田

教科書： 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学（岩崎 テル子）医学書院 【978-4260267137】
 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版（田崎 義昭、斎藤 佳雄、坂井 文彦）南山堂【978-4525247171】
 MMT-頭部・頸部・上肢（PT・OTのための測定評価DVD Series）（伊藤 俊一、仙石 泰仁）三輪書店【978-4895903134】
 MMT-体幹・下肢（PT・OTのための測定評価DVD Series）（伊藤 俊一、仙石 泰仁）三輪書店【978-4895903141】

参考書： 特になし。

科目名: **作業療法評価Ⅲ**

担当者: 吉田 健(保・作)、内勢 美絵子(保・作)、田中 睦英(保・作)、江口喜久雄(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年生)

必修・選択: 必須 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 作業療法評価において身体障害領域, 発達障害領域, 精神障害領域の対象者の評価ができればようになるため各領域ごとの評価に関する知識, 技術を修得する。

到達目標: (SBOs) ①脳血管障害患者の動作の特徴と評価との関連性について説明できる。
②脳血管障害患者の評価(FMA,SIAS)の特徴について説明できる。
③脳血管障害患者のADL評価におけるOTの関わりを説明できる。
④発達過程作業療法における資料・情報収集の方法, 必要となる情報項目, 収集の理由について説明できる。
⑤発達過程作業療法における面接の方法, ポイントになる点, 注意点をあげることができる。
⑥発達過程作業療法における観察の方法, ポイントになる点, 注意点をあげることができる。
⑦発達過程作業療法で用いる評価項目を列挙し, 評価内容を説明できる。
⑧精神科における作業療法の評価を説明し, 実践することができる。
⑨精神科領域における老年期作業療法の評価を説明し, 実践することができる。
⑩内部障害の作業療法評価を実践できる。
⑪脊髄損傷者の作業療法評価を実践できる。

評価方法: 筆記試験(80%), 演習レポートなど(20%)

準備学習・履修上の注意等: 本講義では, 作業療法の各領域ごとの評価に関する知識, 技術を学ぶ, そのため, 作業療法評価Ⅰ・Ⅱで学んだ内容や各講義毎に提示される予習のポイントを予習(60分程度)すること。また, 講義中のノートや資料を参考に復習(60分程度)を必ず行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	①	講義オリエンテーション, 脳血管障害の評価① 基本肢位と動作の特徴	講義・演習	吉田
2	②	脳血管障害の評価② FMA, SIAS	講義・演習	吉田
3	①②③	脳血管障害の評価③ ADLにおける評価	講義・演習	吉田
4	④⑤	発達過程作業療法の評価① 資料・情報収集, 面接	講義・SGD	内勢
5	⑥	発達過程作業療法の評価② 観察	講義・SGD	内勢
6	⑦	発達過程作業療法で用いる評価法① 身体評価, ADL評価	講義・SGD	内勢
7	⑦	発達過程作業療法で用いる評価法② 全般的発達評価, 知覚・認知評価, 社会性	講義・SGD	内勢
8	⑧	精神科作業療法における評価について	講義・演習	江口
9	⑧	精神科作業療法における疾患別評価について	講義・演習	江口
10	⑨	精神科領域における老年期作業療法の評価について①	講義・演習	江口
11	⑨	精神科領域における老年期作業療法の評価について②	講義・演習	江口
12	⑩	内部障害の評価①:運動耐容能評価	講義・演習	田中
13	⑩	内部障害の評価②:呼吸器・循環器障害のフィジカルアセスメント	講義・演習	田中
14	⑪	内部障害の評価③:その他の疾患(代謝障害・腎障害・がん)	講義・演習	田中
15	⑪	脊髄損傷者の評価:MMT・感覚検査・ADL	講義・演習	田中

教科書: 標準作業療法学専門分野 作業療法評価学第3版 (能登真一他)医学書院【978-4-260-03003-8】

参考書: ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版(田崎 義昭, 斎藤 佳雄, 坂井 文彦)南山堂【978-4525247171】
MMT-頭部・頸部・上肢(PT・OTのための測定評価DVD Series) (伊藤 俊一, 仙石 泰仁) 三輪書店【978-4895903134】
MMT-体幹・下肢(PT・OTのための測定評価DVD Series) (伊藤 俊一, 仙石 泰仁) 三輪書店【978-4895903141】

科目名: 作業療法評価Ⅳ

担当者: 田中 睦英(保・作) 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60時間 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 本講義は脳血管障害患者を想定した模擬症例(Simulated patient; SP)を対象に、作業療法評価の一連の流れを演習形式で学習し、臨床評価実習・総合臨床実習に必要な知識・技術を修得することを目的とする。
1. SPの処方箋とカルテの情報から初期評価計画を立案できる。
2. 評価計画に基づいて模擬症例に作業療法評価を実践できる。
3. 評価結果を統合・解釈し障害像を言語化できる。
4. 目標設定に基づいて作業療法プログラムを考案できる。
5. 症例報告書を作成できる

到達目標: 1)脳血管障害片麻痺の模擬症例(Simulated patient; SP)の処方箋とカルテの情報から初期評価計画を立案できる。
2)SPIに対して適切な面接が可能なコミュニケーション技法を実践できる(現病歴・既往歴に基づく主訴の聴取)。
3)院内を想定した安全な起居・移乗動作の介助, 車椅子介助が実践できる。
4)バイタルチェック(血圧・脈拍・SpO2等)の測定ができる。
5)反射検査(深部腱反射・病的反射)が正確に行える。
6)随意性の評価が正確に行える。
7)ROM検査が正確に行える。
8)感覚検査が正確に行える。
9)基本動作の評価・分析(起居・立ち上がり・移乗)ができ, 特徴を説明できる。
10)歩行動作の評価・分析ができ, 特徴を説明できる。
11)トイレ動作の評価・分析ができ, 特徴を説明できる。
12)更衣動作の評価・分析(上衣・下衣・靴下・靴)ができ, 特徴を説明できる。
13)高次脳機能障害の評価(USN, 注意障害, 失行のスクリーニング, HDS-R/MMSE)ができ, 特徴を説明できる。
14)評価結果を統合・解釈し障害像を言語化できる。
15)目標設定に基づいて作業療法プログラムを考案できる。
16)症例報告書を作成できる。

評価方法: 実技試験(50%)、症例報告書(30%)、ケースノート(20%)で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は3年次前期までに学んだ評価Ⅰ～Ⅲの内容および各領域の作業療法(特に身体障害作業療法技能Ⅰ)の内容を実践レベルまで応用できるようになることが目標である。各講義回は学生によるSPの評価実技を中心に進行していくので、これまでの講義資料やテキスト, 自主的な文献参照などによる予復習をそれぞれ90分程度求める。また, 症例報告書の作成に必須となるケースノートの作成を義務付ける。

オフィスアワー: 田中:金曜日13:00~17:00 吉田:水曜日 13:00~17:00

授業計画

Table with 5 columns: 回数, SBOsNo., 授業内容, 授業方法, 担当. It lists 13 sessions of the course, detailing the topics to be covered (e.g., SP prescription and chart information, evaluation planning, and various physical therapy assessments) and the responsible instructors (Tanaka and Yoshida).

14		感覚検査(上肢・下肢)	講義・演習	田中・吉田
15	8)	感覚検査(頭頸部・体幹)	講義・演習	田中・吉田
16	8)	基本動作の評価(起居・移乗動作)	講義・演習	田中・吉田
17	9)	基本動作の評価(立位・座位 ※姿勢反射・バランス評価含む)	講義・演習	田中・吉田
18	9)	移動能力の評価(車椅子駆動, 歩行)①	講義・演習	田中・吉田
19	10)	移動能力の評価(車椅子駆動, 歩行)②	講義・演習	田中・吉田
20	10)	トイレ動作の評価(排尿)	講義・演習	田中・吉田
21	11)	トイレ動作の評価(排便)	講義・演習	田中・吉田
22	11)	更衣動作の評価(上衣)	講義・演習	田中・吉田
23	12)	更衣動作の評価(下衣・靴・装具)	講義・演習	田中・吉田
24	12)	高次脳機能障害の評価(スクリーング検査)	講義・演習	田中・吉田
25	13)	高次脳機能障害の評価(注意障害・USN・失行)	講義・演習	田中・吉田
26	13)	初期評価報告書作成・実技演習①	講義・演習	田中・吉田
27	14)15)16)	初期評価報告書作成・実技演習②	講義・演習	田中・吉田
28	14)15)16)	初期評価報告書作成・実技演習③	講義・演習	田中・吉田
29	14)15)16)	初期評価報告書作成・実技演習④	講義・演習	田中・吉田
30	14)15)16)		講義・演習	田中・吉田

教科書: 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 (岩崎 テル子) 医学書院 【978-4260267137】
標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 (山口 昇・玉垣 努) 医学書院 【978-4-260-02444-0】
ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版(田崎 義昭、斎藤 佳雄、坂井 文彦) 南山堂 【978-4525247171】

参考書: 特になし。

科目名: **身体障害作業療法 I**

担当者: 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 作業療法の対象となる障害特徴を理解し、身体障害者に対する作業療法評価方法に関する知識と技術を獲得する。また、身体障害者の心身機能および身体構造、活動、参加における機能障害・活動制限・参加制約などについて理解し、身体障害者に対する作業療法過程について学ぶ。

- 到達目標: 1) 作業療法の対象となる障害を理解することができる。
(SBOs) 2) 身体障害領域に関連する解剖、生理、運動学的機能や構造を理解できる。
3) 身体障害領域における作業療法評価を理解できる。
4) 身体障害領域における作業療法評価を実施できる。
5) 身体障害者(特に脳血管障害者)の抱える機能障害を理解できる。
6) 身体障害者(特に脳血管障害者)の抱える活動制限を理解できる。
7) 身体障害者(特に脳血管障害者)の抱える参加制約を理解できる。
8) 上記4)～6)に対する作業療法を立案することができる。
9) 事例を通して身体障害者(特に脳血管障害)に対する作業療法の特徴を理解できる。

評価方法: 筆記試験(90%), 確認テスト(10%)

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、解剖学、生理学、運動学などの基礎専門科目や神経内科学や整形外科などの臨床医学の知識を必要とする。そのため、講義に臨むにあたり、関連分野を学習し理解しておかなければならない。毎回1時間程度の予習、復習をあらかじめ行ってもらう。方法としてはノート作成とする。また、講義だけでなく教員への質問、ディスカッションを通して学ぶことが必要となる。

オフィスアワー: 毎週水曜15:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	授業オリエンテーション/身体障害領域における作業療法の目的について。	講義	吉田
2	2)	神経系の構造と機能(末梢神経と中枢神経について)	講義	吉田
3	2)	中枢神経系の構造と機能①	講義	吉田
4	2)	中枢神経系の構造と機能②	講義	吉田
5	2)	筋緊張、反射性調節機能	講義	吉田
6	2)	運動機能の中枢調整、自律神経性調整	講義	吉田
7	2)	感覚系(表在感覚、内臓感覚、特殊感覚)	講義	吉田
8	2)3)	身体障害領域に関する神経学的診断	講義	吉田
9	1)2)3)	脳血管障害の病態と臨床像	講義	吉田
10	1)2)3)	脳血管障害の機能的予後と評価と目標設定	講義	吉田
11	1)2)3)	神経難病の病態と臨床像	講義	吉田
12	1)2)3)	神経難病の機能的予後と評価と目標設定	講義	吉田
13	1)4)5)	身体障害に対する治療法①	講義	吉田
14	1)4)5)	身体障害に対する治療法②	講義	吉田
15	1)3)	脳血管障害者のADL	講義	吉田
16	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】疾患の基礎知識の整理	講義・実技	吉田
17	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】カルテ・処方箋から評価計画を立案	講義・実技	吉田
18	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】評価情報に基づく障害構造の整理(ICF)	講義・実技	吉田
19	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】問題点の抽出と目標設定	講義・実技	吉田
20	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】作業療法プログラムの立案	講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】疾患の基礎知識の整理	講義	吉田

21	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】カルテ・処方箋から評価計画を立案		
22	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】評価情報に基づく障害構造の整理(ICF)		
23	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】問題点の抽出と目標設定		
24	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】作業療法プログラムの立案		
25	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の姿勢分析		
26			講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の動作分析(起居動作)		
27			講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の動作分析(上肢機能)		
28			講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の動作分析(歩行, 移動)		
29			講義・実技	吉田
	1)3)	身体障害領域のリハビリテーショントピックス		
30			講義	吉田

教科書: 標準作業療法学 身体機能作業療法学 第2版(編集 岩崎 テル子) 医学書院【978-4-260-00896-9】
 病気が見えるvol.7脳・神経(尾上 尚志ほか) メディックメディア【978-4-89632-358-0】
 動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践(石井 慎一郎) メジカルビュー社【978-4-7583-1474-9】

参考書: ベッドサイドの診かた 改訂17版(田崎 義昭・斎藤 佳雄・坂井 文彦) 南山堂【4-525-24717-1】
 解剖学アトラス 原著第10版(平田 幸男)文光堂【978-4-8306-0036-4】
 生理学テキスト 第7版(大地 陸男)文光堂【978-4-8306-0226-9】
 PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 国試画像問題攻略(中島 雅美, 中島 喜代彦)医歯薬出版【978-4-263-21439-8】

科目名: **身体障害作業療法Ⅱ**

担当者: 田中 睦英(保・作)・立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 前期は内部障害の作業療法について学ぶ。特に呼吸器障害と循環器障害に焦点を置き、臨床場面で活かせる実践的な知識と技術の修得(呼吸・循環器の解剖・生理、疾患の基礎知識、フィジカルアセスメント、心電図の見方、運動処方踏まえた作業療法)を主目標とする。後期については、脊髄損傷、末梢神経損傷、関節リウマチ、骨関節疾患など運動器障害に対する作業療法を中心に、各疾患に対する実践的な作業療法の知識・技術の理解と修得を主目標とする。

到達目標: (SBOs) 1)内部障害の概要について理解する。
2)呼吸器・循環器・代謝機能に関する解剖学・運動生理学について理解を深め、運動負荷量の簡易計算法を習得する。
3)各内部障害の症状・臨床像を説明できる。
4)内部障害患者のフィジカルアセスメントについて理解し、実践できる。
5)脊髄損傷(主に頸髄損傷)の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
6)末梢神経損傷・神経・筋疾患の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
7)熱傷の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
8)関節リウマチの疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
9)骨・関節疾患の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
10)各疾患の作業療法評価計画とプログラムの立案ができる。

評価方法: 前期・後期実施の定期試験70%、ノート提出20%、受講態度10%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各回のテキスト該当部分について60分程度予習・復習すること。併せて対象疾患に関連する解剖学・生理学・運動学について復習すること。また授業ノートの提出を求めらるので、予復習の際にノート整理を行うこと。

オフィスアワー: 12:00~13:00・17:00~18:00(火曜日を除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	内部障害の概要と分類について	講義	田中
2	2)	運動生理学に基づいた運動処方について	講義	田中
3	3)	呼吸器障害①呼吸器の解剖・生理と呼吸の生理的意義ならびにメカニズム	講義	田中
4	3)	呼吸器障害②病態生理と疾患、症状について	講義	田中
5	4)	呼吸器障害③フィジカルアセスメントと呼吸理学療法(呼吸介助法)	実技	田中
6	4)10)	呼吸器障害④ADL練習・指導方法	講義	田中
7	2)	循環器障害①解剖・生理と循環器の生理的意義ならびにメカニズム	講義	田中
8	3)	循環器障害②病態生理と心電図	講義	田中
9	4)	循環器障害③運動処方に基づく作業療法プログラムについて	講義	田中
10	3)	糖尿病①疾患の基礎知識	講義	田中
11	4)10)	糖尿病②糖尿病合併例に対する作業療法プログラムについて	講義	田中
12	3)	腎不全①疾患の基礎知識(腎不全症状・合併症や人工透析の仕組み)について	講義	田中
13	4)10)	腎不全②人工透析患者の作業療法プログラムについて	講義	田中
14	3)4)10)	がん①がんの種類と特徴(乳がんを中心に、その症状や後遺症)、作業療法実践について	講義	田中
15	3)10)	がん②がん患者の心理や終末期医療について	講義	田中
16	5)	脊髄損傷①疾患の基礎知識(頸髄損傷を中心に)	講義	田中
17	5)	脊髄損傷②神経症状と合併症	講義	田中
	5)10)			

18		脊髄損傷③作業療法の実際(主にADLについて)	講義	田中
19	6)10)	末梢神経損傷の基礎知識と作業療法実践	講義	田中
20	6)10)	神経・筋疾患の基礎知識と作業療法実践	講義	田中
21	5)10)	【事例検討①】	演習	田中
22	7)	脊髄損傷患者の作業療法プログラム立案	講義	立石
23	7)10)	熱傷①疾患の基礎知識	講義	立石
24	8)	熱傷②作業療法評価とプログラムについて	講義	立石
25	8)10)	関節リウマチ①疾患の基礎知識	講義	立石
26	9)	関節リウマチ②作業療法評価とプログラムについて	講義	立石
27	9)10)	骨・関節疾患①疾患の基礎知識	講義	立石
28	9)10)	骨・関節疾患②上腕骨・前腕骨と作業療法実践	講義	立石
29	9)10)	骨・関節疾患③手指骨折・下肢骨折(大腿骨頸部骨折)と作業療法実践	講義	立石
30	9)10)	骨・関節疾患④肩関節周囲炎・腰痛・変形性関節症と作業療法実践	講義	立石
		【事例検討②】	演習	立石
		骨・関節疾患患者の作業療法プログラム立案		

教科書: 作業療法学全書[改定第3版]作業治療学1身体障害(菅原 洋子 編著)協同医書出版【978-4-7639-2121-5】
標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学(岩崎 テル子編)医学書院【978-4-260-00896-9】

参考書: 解剖学アトラス 原著第10版(平田 幸男)文光堂【978-4-8306-0036-4】
生理学テキスト 第7版(大地 陸男)文光堂【978-4-8306-0226-9】
PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 国試画像問題攻略(中島 雅美, 中島 喜代彦)医歯薬出版【978-4-263-21439-8】

科目名: **精神障害作業療法 I**

担当者: 江口 喜久雄(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: ・精神医療, 精神障害に関する法律についての知識を習得する.
・精神障害に関するリハビリテーション施設と社会資源についての知識を習得する.
・精神医療の歴史と現状についての知識を習得する.
・精神障害領域における各種治療理論(精神障害作業療法の関連領域理論)に関する知識を習得する.
また, 各種治療理論の精神科作業療法への応用についても十分な知識を習得する.

以上より, 精神障害作業療法 I では, 臨床で根拠のある治療を実施し, 精神科医療に貢献できる作業療法士となるために法律や歴史的背景, 理論を修得する.

到達目標: (SBOs) 1) 精神医療, 精神障害に関する法律について理解し, 説明できる.
2) 精神障害に関するリハビリテーション施設と社会資源について説明できる.
3) 精神科医療の歴史について理解し, 精神疾患の処遇の変遷について説明できる.
4) 精神障害領域における各種治療理論と精神科作業療法への応用について説明できる.

評価方法: ・出席状況, 授業態度, 小テスト, 期末試験により, 総合的に評価する.

準備学習・履修上の注意等: ・教員からの質問に積極的に答える.
・ディスカッションでは自分の考えを発言するよう努める.
・1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと.

オフィスアワー: ・講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【精神障害者福祉に関する法律 I】	講義	江口
2	1)	【精神障害者福祉に関する法律 II】	講義	江口
3	1)	【精神障害者福祉に関する法律 III】	講義	江口
4	2)	【精神障害に関するリハビリテーション施設と社会資源】	講義	江口
5	3)	【精神科医療の歴史】	講義	江口
6	4)	【園芸療法】	講義	江口
7	4)	【芸術療法】	講義	江口
8	4)	【絵画療法】	講義	江口
9	4)	【音楽療法】	講義	江口
10	4)	【レクリエーション療法】	講義	江口
11	4)	【行動療法】	講義	江口
12	4)	【森田療法】	講義	江口
13	4)	【箱庭療法】	講義	江口
14	4)	【家族療法】	講義	江口

15	4)	【心理劇】	講義	江口
16	4)	【心理教育】	講義	江口
17	4)	【精神分析療法Ⅰ(理論)】	講義	江口
18	4)	【精神分析療法Ⅱ(流れ)】	講義	江口
19	4)	【交流分析】	講義	江口
20	4)	【精神療法Ⅰ(基礎)】	講義	江口
21	4)	【精神療法Ⅱ(治療構造)】	講義	江口
22	4)	【精神療法Ⅲ(疾患別)】	講義	江口
23	4)	【集団療法】	講義	江口
24	4)	【治療共同体理論】	講義	江口
25	2)	【デイケア】	講義	江口
26	4)	【精神科作業療法Ⅰ(理論)】	講義	江口
27	4)	【精神科作業療法Ⅱ(治療構造)】	講義	江口
28	4)	【精神科作業療法Ⅲ(技術)】	講義	江口
29	4)	【統合失調症の認知機能】	講義	江口
30	4)	【治療構造のまとめ】	講義	江口

教科書： <<標準作業療法学 専門分野>>精神機能作業療法学 第2版 (小林 夏子) 医学書院 【978-4-260-01942-2】
精神障害と作業療法 新版 (山根 寛) 三輪書店 【978-4-89590-504-6】

参考書： 使用しない。

科目名: **精神障害作業療法Ⅱ**

担当者: 立石 恵子(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義、実習

授業概要: ・精神疾患の臨床像、疾患特性、作業療法の基礎知識を習得する。
・専門および一般的知識を統合し、対象者への作業療法を実践できるようになる。
・対人援助職に必要な自己理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1 精神科領域で作業療法の対象となるICDおよびDSMの疾患名を列挙でき、疾患分類について説明をおこなうことができる。
2 精神科領域の作業療法の対象となる疾患の臨床像の説明ができる。
3 臨床像に応じた導入面接ができる。
4 疾患に応じた一般的評価項目を列挙できる。臨床像に応じた個別の評価項目を追加できる。
5 適切な方法で評価を実践できる。
6 個々の評価を整理し、適切な治療目標の設定ができる。
7 目標に合致した治療プログラムの立案ができる。
8 治療プログラムを適切に実践できる。
9 初期評価レポートをひな型にそって作成することができる。

評価方法: ・出席状況、授業ならびに実習態度、実習レポート、小テスト、期末試験により、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: ・教員からの質問に積極的に答える。
・ディスカッションでは自分の考えを発言するよう努める。
・実習であるため、学生としてふさわしい立ち振る舞いや態度、服装等で臨む。
・1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: ・後日連絡。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1	精神科作業療法の対象疾患	講義	立石
2	2-8	発達障害の作業療法1	講義	立石
3	2-8	発達障害の作業療法2	講義	立石
4	2-8	発達障害の作業療法3	実習	立石
5	2-8	発達障害の作業療法4	実習	立石
6	2-8	てんかんの作業療法	講義	立石
7	2-8	認知症の作業療法	講義	立石
8	2-8	気分障害の作業療法1	講義	立石
9	2-8	気分障害の作業療法2	講義	立石
10	2-8	気分障害の作業療法3	実習	立石
11	2-8	気分障害の作業療法4	実習	立石
12	2-8	神経症の作業療法1	講義	立石
13	2-8	神経症の作業療法2	講義	立石
		神経症の作業療法3	実習	立石

14	2-8			立石
15	2-8	神経症の作業療法4	実習	立石
16	2-8	摂食障害の作業療法1	講義	立石
17	2-8	摂食障害の作業療法2	講義	立石
18	2-8	摂食障害の作業療法3	実習	立石
19	2-8	摂食障害の作業療法4	実習	立石
20	2-8	依存症の作業療法1	講義	立石
21	2-8	依存症の作業療法2	講義	立石
22	2-8	依存症の作業療法3	実習	立石
23	2-8	依存症の作業療法4	実習	立石
24	2-8	統合失調症の作業療法1	講義	立石
25	2-8	統合失調症の作業療法2	講義	立石
26	2-8	統合失調症の作業療法3	講義	立石
27	2-8	統合失調症の作業療法4	実習	立石
28	2-8	統合失調症の作業療法5	実習	立石
29	2-9	統合失調症の作業療法6	実習	立石
30	2-9	統合失調症の作業療法7	実習	立石

教科書: 標準作業療法学 専門分野 精神機能作業療法学 第2版 (小林 夏子) 医学書院 【978-4-260-01942-2】
精神障害と作業療法 第3版 (山根 寛) 三輪書店 【978-4895903493】

参考書: 看護学生のための精神看護臨地実習NOTE (社団法人 日本精神科看護技術協会 監修) 中央法規 【978-4805829257】

科目名: **発達障害作業療法 I**

担当者: 内勢 美絵子(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義,SGD

授業概要: 近年、少子高齢化の中、出生数が減少傾向にある一方で、低出生体重児の増加や医療技術の進歩に伴い、重度・重複の障害を持つ子どもの数は年々増加傾向にある。また、発達障害者支援法の施行に伴い、知的に問題のないコミュニケーションや社会適応に支援が必要な発達障害児への対応が必要とされている。早期発見・早期療育の実現、インクルーシブ教育の充実、発達障害を持つ児・者が住み慣れた地域で一貫した継続的なリハビリテーションを受けることのできる体制づくりなどが求められている。
そのような中、対象児(者)およびその家族、その児を取り巻く環境に対して貢献できる作業療法士となるために、本講義では、主な対象疾患の障害特性と作業評価、治療・援助の基礎知識および支援技術を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 発達過程作業療法の理念と目的、形成(歴史)と変遷について概説できる。
2) 対象疾患と障害、またそれに伴う発達遅滞症状について列挙できる。
3) 各対象疾患の疾患・障害、臨床像について説明できる。
4) 各対象疾患に対する医学的治療について説明できる。
5) 各対象疾患における実践過程の評価、作業療法立案、実施に必要なとされる知識・技術・態度について説明できる。
6) 作業療法実践について治療原理を理解し、技術を習得したうえで、技術の習得と記録により、選択した技術を用いる理由と記録の大切さを表現することができる。
7) チームアプローチにおける作業療法士の役割を示すことができる。
8) 資料・情報収集の方法、必要となる情報項目、収集の理由などについて説明できる。
9) 面接の方法、ポイントになる点、注意点をあげることができる。
10) 評価実施計画立案において、初期評価における検査項目の選択について得られた資料・情報から必要となる評価項目をあげ、その理由を説明し、結果の解釈ができる。□
11) 長期・短期ゴールの設定、治療・指導・援助、再評価、終了時期について説明できる。□

評価方法: 授業毎の確認テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度、小テスト)の評価20%、学期末の単位認定試験80%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・人間・運動発達学、運動学、小児科学、作業療法評価学の内容を修得しておくこと。
・1コマ当たり30分を目安に予習・復習を行うこと。
・長期休暇を利用して、児童発達支援事業所、特別支援学校、知的障害者入所施設等の見学実習を行う(15時間)。

オフィスアワー: 月曜14:55~16:25、金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	発達過程作業療法学の基礎①	講義・SGD	内勢
2	1)2)	発達過程作業療法学の基礎②	講義・SGD	内勢
3	3)~7)	発達過程作業療法の実践 新生児疾患(NICU対象児)	講義・SGD	内勢
4	3)	発達過程作業療法の実践 脳性麻痺①	講義・SGD	内勢
5	4)	発達過程作業療法の実践 脳性麻痺②	講義・SGD	内勢
6	5)~7)	発達過程作業療法の実践 脳性麻痺③	講義・SGD	内勢
7	5)~7)	発達過程作業療法の実践 脳性麻痺④	講義・SGD	内勢
8	5)~7)	発達過程作業療法の実践 脳性麻痺⑤	講義・SGD	内勢
9	5)~7)	発達過程作業療法の実践 脳性麻痺⑥	講義・SGD	内勢
10	3)4)	発達過程作業療法の実践 進行性筋ジストロフィー①	講義・SGD	内勢
11	5)~7)	発達過程作業療法の実践 進行性筋ジストロフィー②	講義・SGD	内勢
12	3)4)	発達過程作業療法の実践 重症心身障害①	講義・SGD	内勢
13	5)~7)	発達過程作業療法の実践 重症心身障害②	講義・SGD	内勢
14	3)~7)	発達過程作業療法の実践 骨関節疾患(分娩麻痺)	講義・SGD	内勢
15	3)~7)	発達過程作業療法の実践 二分脊椎症	講義・SGD	内勢
16	3)	発達過程作業療法の実践 自閉症スペクトラム①	講義・SGD	内勢

17	4)	発達過程作業療法の実践	自閉症スペクトラム②	講義・SGD	内勢
18	5)~7)	発達過程作業療法の実践	自閉症スペクトラム③	講義・SGD	内勢
19	5)~7)	発達過程作業療法の実践	自閉症スペクトラム④	講義・SGD	内勢
20	3)4)	発達過程作業療法の実践	学習障害①	講義・SGD	内勢
21	5)~7)	発達過程作業療法の実践	学習障害②	講義・SGD	内勢
22	3)4)	発達過程作業療法の実践	注意欠如・多動性障害①	講義・SGD	内勢
23	5)~7)	発達過程作業療法の実践	注意欠如・多動性障害②	講義・SGD	内勢
24	3)4)	発達過程作業療法の実践	知的障害①	講義・SGD	内勢
25	5)~7)	発達過程作業療法の実践	知的障害②	講義・SGD	内勢
26	8)9)	発達過程作業療法の実践現場と実践過程および記録①		講義・SGD	内勢
27	8)9)	発達過程作業療法の実践現場と実践過程および記録②		講義・SGD	内勢
28	8)9)10)	発達過程作業療法の実践現場と実践過程および記録③		講義・SGD	内勢
29	10)11)	発達過程作業療法の実践現場と実践過程および記録④		講義・SGD	内勢
30	10)11)	発達過程作業療法の地域支援		講義・SGD	内勢

教科書: 標準作業療法学 発達過程作業療法学第2版(福田恵美子編集)医学書院【978-4-260-01758-9】
 子どもの感覚運動機能の発達と支援(大城昌平編集)メジカルビュー社【978-4-7583-1900-3】

参考書: 子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ(小西紀一他著)メジカルビュー社【ISBN978-4-7583-1458-9】
 発達OTが考える子どもセラピの思考プロセス(小西紀一他著)メジカルビュー社【ISBN978-4-7583-1697-2】

科目名: 発達障害作業療法Ⅱ

担当者: 内勢 美絵子(保・作)、渡邊 直美(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義,演習|SGD,実

授業概要: 近年、少子高齢化の中、出生数が減少傾向にある一方で、低出生体重児の増加や医療技術の進歩に伴い、重度・重複の障害を持つ子どもの数は年々増加傾向にある。また、発達障害者支援法の施行に伴い、知的に問題のないコミュニケーションや社会適応に支援が必要な発達障害児への対応が必要とされている。早期発見・早期療育の実現、インクルーシブ教育の充実、発達障害を持つ児・者が住み慣れた地域で一貫した継続的なリハビリテーションを受けることのできる体制づくりなどが求められている。
そのような中、対象児(者)およびその家族、その児を取り巻く環境に対して貢献できる作業療法士となるために、本講義では、発達段階と発達課題について学問として人間発達学を学び、それらの臨床への応用について修得する。また、発達過程作業療法における代表的な治療理論である感覚統合理論について学ぶ。
さらに、地域に住むご家族の協力を得て、発達障害作業療法士技能Ⅰ・Ⅱで学んだ内容もとに、実際の活動(遊び)を通して作業療法評価と治療・援助を体験する。

- 到達目標: (SBOs)
1)発達にみられる10の原則をあげ、それぞれ具体例を交えながら説明できる。
2)各期の発達課題について概説できる。
3)運動コントロールの運動学的基盤、運動発達を促進する原動力を説明できる。
4)各発達段階の姿勢・移動動作発達の特徴を説明できる。
5)眼の働き、手の働きについて説明できる。
6)各発達段階の目と手の協調の発達過程の概要を説明できる。
7)上肢の働きと認知機能との相互作用について説明できる。
8)知能を見る視点と、認知機能における各機関間の相互作用を説明できる。□
9)各発達段階の認知機能の特徴を説明できる。
10)各発達段階のコミュニケーションの発達過程を説明できる。□
11)日常生活の諸活動を分化過程として説明できる。
12)日常生活の諸動作(食事、排泄、更衣、整容、遊び)の発達過程を説明できる。
13)感覚統合理論について概説できる。
14)感覚統合理論に基づいた遊びを企画実行できる。
15)自分の意見を述べ、他者の意見を受け入れつつグループで根拠に基づいた遊びを企画することができる。
16)遊びを通して対象者を観察し、“Justrightchallenge”となる作業活動を提供することができる。
17)対象児の行動を客観的に観察し、記録、考察することができる。
18)保護者に対して適切な接遇態度で聴聞をし、情報を整理することができる。

評価方法: 授業毎の確認テストにより形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度、実習への参加状況)の評価20%、実習の報告書20%、学期末の単位認定試験60%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・人間運動発達学、解剖学、運動学、小児科学、作業療法評価学、日常生活活動技能、発達障害作業療法Ⅰの講義内容を修得しておくこと。
・1コマ当たり60分を目安に予習・復習を行うこと。
・実習の準備、振り返り、情報共有時間として講義時間以外に10時間をグループワーク時間とする。

オフィスアワー: 月曜14:55~16:25、金曜日14:55~16:25

授業計画

Table with 5 columns: 回数, SBOsNo., 授業内容, 授業方法, 担当. It lists 12 sessions of the course, detailing the topics to be covered (e.g., human developmental psychology, motor development, sensory integration theory) and the teaching methods used (lectures, SGD, practical exercises).

13	10)	人間発達における各機能の発達 コミュニケーションの発達②	講義・SGD	内勢
14	11)	社会生活活動の発達① 日常生活における諸機能の発達	講義・SGD	内勢
15	12)	社会生活活動の発達② 排泄行動、更衣・整容動作の発達	講義・SGD	内勢
16	13)	感覚統合理論① 概要	講義・SGD	渡邊・内勢
17	13)	感覚統合理論② 対象、評価	講義・SGD	渡邊・内勢
18	13)	感覚統合理論③ 発達障害と感覚統合	講義・SGD	渡邊・内勢
19	13)14)	感覚統合理論④ 感覚統合療法の実際	講義・SGD・ 演習	渡邊・内勢
20	12)	社会生活活動の発達③ 食事動作の発達	講義・SGD・ 実習	内勢
21	12)	社会生活活動の発達④ 食事動作の発達	講義・SGD・ 実習	内勢
22	12)	社会生活活動の発達⑤ 遊びの発達	講義・SGD	内勢
23	15)	発達過程作業療法の実際① 実習オリエンテーション、準備	講義・SGD	内勢
24	15～18)	発達過程作業療法の実際② 第1回実習	実習	内勢
25	15～18)	発達過程作業療法の実際② 第1回実習	実習	内勢
26	15)17)	発達過程作業療法の実際③ 第1回実習の振り返り	講義・SGD	内勢
27	15)	発達過程作業療法の実際③ 第2回実習の準備	講義・SGD	内勢
28	15～18)	発達過程作業療法の実際④ 第2回実習	実習	内勢
29	15～18)	発達過程作業療法の実際④ 第2回実習	実習	内勢
30	17)	発達過程作業療法の実際③ 第2回実習の振り返り	講義・SGD	内勢

教科書： 標準理学療法学・作業療法学 人間発達学第2版(岩崎清隆編集)医学書院【978-4-260-03264-3】
子どもの感覚運動機能の発達と支援(大城昌平編集)メジカルビュー社【978-4-7583-1900-3】□

参考書： やさしく学ぶからだの発達(林万里監修)全障出版部【978-4-88134-944-1】
やさしく学ぶからだの発達part2(林万里監修)全障出版部【978-4-88134-405-7】
発達を学ぶ(森岡周著)協同医書出版社【978-4763910776】
発達障害の作業療法[基礎編]第2版(岩崎清隆・岸本光夫著)三輪書店【978-4-89590-502-2】
発達障害の作業療法[実践編]第2版(岩崎清隆著)三輪書店【978-4-89590-503-9】
感覚統合Q&A改定第2版(土田玲子監修,石井孝弘+岡本武己編集)協同医書出版社【978-4-7639-2135-2】
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名: 老年期障害作業療法 I

担当者: 江口喜久雄(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60時間 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 老年期における精神・身体状況を理解を深め、老年期に多くみられる身体・精神疾病を理解する。また、地域作業療法学とは何かを理解し、地域作業療法を遂行していくために必要な他職種との連携や病院ならびに老人保健施設などの様々な施設の仕組み、介護保険の法制度を理解する。以上より、障害を持たれた方々に対する様々な支援方法について学ぶことを目的とする。

到達目標: (SBOs)

- 1)高齢化社会になった経緯を説明できる
- 2)高齢期の心身の特徴を説明できる
- 3)現代社会と高齢者との関係を説明できる
- 4)老年期の身体障害の特徴について説明できる
- 5)老年期の精神障害について説明できる
- 6)認知症について説明することができる
- 7)老年期の治療について説明することができる
- 8)家族機能について説明できる
- 9)老年期の作業療法について説明できる
- 10)住宅改修について説明できる
- 11)地域リハビリテーションの仕組み、考え方について説明できる
- 12)作業療法士としてどこで・どのように働くか概説できる
- 13)地域リハビリテーションを支える仕組みと施設について説明できる
- 14)介護保険制度について説明できる
- 15)介護保険適応以外のサービスについて説明できる
- 16)総合支援法について説明できる

評価方法: 定期テスト, 出席, レポートを総合して採点する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書以外に作業療法に必要な評価・アプローチ方法などの学習が必要となる。1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	老年社会の現状を把握する。日本および諸外国の老年社会の医療・保健の仕組みを把握する	講義	江口
2	1)2)	老年期作業療法の目的を理解する。老年期における作業療法の視点・考え方を学ぶ	講義	江口
3	2)4)	【老年期とは】 老年期の特徴的な身体機能を中心に理解を深める	講義	江口
4	2)4)	【老年期とは】 身体機能を中心に演習(老年期体験セットを使用)して理解を深める	講義	江口
5	2)5)	【老年期とは】 マズロー、エリクソンなどの文献・書籍を利用して精神機能を中心に理解を深める	講義	江口
6	4)	【老年期の障がいとは】 老年期障がいの特徴について学ぶ(身体的な要因を中心に)	講義	江口
7	5)	【老年期の障がいとは】 老年期障がいの特徴について学ぶ(精神的な要因を中心に)	講義	江口
8	5)6)	【老年期の障がいとは】 認知症について(アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症)	講義	江口
9	5)6)	【老年期の障がいとは】 認知症について(レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、 治る認知症など)	講義	江口
10	7)9)	【評価の視点を理解する】 作業療法評価の視点を理解すると共に評価方法 (評価用紙の解説)を学ぶ	講義	江口
11	8)	【家族の理解と連携】	講義	江口

高齢者の家族負担の重要性および家族との連携について学ぶ

12	7)9)	【老年期障害の作業療法】 老年期の身体障害を中心に作業療法的介入について学ぶ	講義	江口
13	7)9)	【老年期障害の作業療法】 老年期の心理的障害を中心に作業療法的介入について学ぶ	講義	江口
14	5)6)7)9)	【老年期障害の作業療法】 老年期の認知症を中心に作業療法的介入について学ぶ	講義	江口
15	10)	【環境設定について理解する】 住宅改修も含めた環境要因の整備に関して考える	講義	江口
16	11)	【地域作業療法とは1】 地域作業療法のベースの考え方になる地域リハビリテーション (community based rehabilitation)がどのようなものか 理解できる	講義	江口
17	11)12)	【地域作業療法とは2】 急性期から回復期、そして維持期、終末期と医療や福祉の 流れを理解し、自分が作業療法士としてどこで働くのかの イメージがもてる	講義	江口
18	11)12)	【地域作業療法とは3】 地域作業療法の仕組みが理解できる	講義	江口
19	12)13)	【地域作業療法の実際<他職種との関連>】 地域作業療法を遂行する上でチームワーク(関連職種との 協業)について理解を深めることが出来る	講義	江口
20	13)	【地域作業療法の実際<関連施設1>】 地域作業療法遂行を支える様々な施設について、 その仕組みや概要、役割などを学ぶ (急性期、回復期、維持期、終末期(ホスピス)の医療を中心に)	講義	江口
21	13)	【地域作業療法の実際<関連施設2>】 地域作業療法遂行を支える様々な施設について、 その仕組みや概要、役割などを学ぶ(介護保健施設、 特別養護老人ホームなどを中心に)	講義	江口
22	13)	【地域作業療法の実際<関連施設3>】 地域作業療法遂行を支える様々な施設について、 その仕組みや概要、役割などを学ぶ(在宅支援を行う 訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションなどを中心に)	講義	江口
23	14)	【生活を支える社会の仕組み1】 生活を支える社会保障制度についての知識の獲得と整理ができる	講義	江口
24	14)	【生活を支える社会の仕組み2】 介護保険の仕組みについて理解できる	講義	江口
25	14)	【生活を支える社会の仕組み3】 介護保険の実際のサービスについて理解する(訪問看護、 訪問看護、訪問リハビリテーションなど訪問系サービスを中心に)	講義	江口
26	14)	【生活を支える社会の仕組み4】 介護保険の実際のサービスについて理解する(通所介護、 デイケア、介護系施設など通所・施設系サービスを中心に)	講義	江口
27	15)	【生活を支える社会の仕組み5】 介護保険適応以外のサービスについて理解する	講義	江口
28	16)	【生活を支える社会の仕組み6】 総合支援法の仕組みについて理解する	講義	江口
29	16)	【生活を支える社会の仕組み7】 総合支援法の具体的なサービスについて理解する(訪問系を中心に)	講義	江口
30	16)	【生活を支える社会の仕組み8】 総合支援法の具体的なサービスについて理解する (通所・施設系を中心に)	講義	江口

科目名: **老年期障害作業療法Ⅱ**

担当者: 江口 喜久雄(保・作) 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: SGD|実技

授業概要: 老年期における身体・精神機能を理解した上で、具体的な症例を挙げ、障がい構造、目標設定、アプローチについてグループにてディスカッションし、作業療法の視点を広げることを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1) 指定された症例についてポイントとなり得る項目を列挙することができる
2) 指定された症例について国際生活機能分類(ICF)にて整理することができる
3) 指定された症例について短期ゴールの設定を行うことができる
4) 指定された症例について長期ゴールの設定を行うことができる
5) 指定された症例についてゴール設定に基づいたプログラムを立案することができる
6) 指定された症例についてまとめたものを報告することができる
7) レクリエーション実施計画書を作成し、実施することができる

評価方法: レポート提出およびSGD等の取り組みにより総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 教科書以外に作業療法に必要な評価・アプローチ方法などの学習が必要となる。1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の在空中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【事例検討①-1】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口
2	1)2)	【事例検討①-2】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口
3	3)4)	【事例検討①-3】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口
4	3)4)	【事例検討①-4】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口
5	5)	【事例検討①-5】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口
6	5)	【事例検討①-6】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口
7	6)	【事例検討①-7】 症例報告	演習	江口
8	6)	【事例検討①-8】 症例報告	演習	江口
9	1)2)	【事例検討②-1】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口
10	1)2)	【事例検討②-2】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・アプローチなどをグループディスカッションを通して考え方の視野を広げる	SGD	江口

11	3)4)	【事例検討②-3】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	江口
12	3)4)	【事例検討②-4】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	江口
13	5)	【事例検討②-5】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	江口
14	5)	【事例検討②-6】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	江口
15	6)	【事例検討②-7】 症例報告	演習	江口
16	6)	【事例検討②-8】 症例報告	演習	江口
17	1)2)	【事例検討③-1】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	田中・江口
18	1)2)	【事例検討③-2】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	田中・江口
19	3)4)	【事例検討③-3】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	田中・江口
20	3)4)	【事例検討③-4】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	田中・江口
21	5)	【事例検討③-5】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	田中・江口
22	5)	【事例検討③-6】 前期の知識を基に事例について具体的な目標設定・ アプローチなどをグループディスカッションを通して 考え方の視野を広げる	SGD	田中・江口
23	6)	【事例検討③-7】 症例報告	演習	田中・江口
24	6)	【事例検討③-8】 症例報告	演習	田中・江口
25	7)	【レク企画1】	SGD	江口
26	7)	【レク企画2】	SGD	江口
27	7)	【レク企画3】	SGD	江口
28	7)	【レク企画4】	SGD	江口
29	7)	【レク報告会】	演習	江口
30	7)	【レク報告会】	演習	江口

科目名: **機能代償 I**

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 四肢切断のリハビリテーションに貢献できる作業療法士となるために、機能を補う方法としての義手と義足の種類と構造および適応について理解し、特に義手については、そのチェックアウトおよび訓練方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 切断の術式や断端の成熟の概要を理解・説明できる。
2) 義肢や装具のバイオメカニクスの概要を理解・説明できる。
3) 義足について説明できる。
4) 義手について説明できる。
5) 義手のチェックアウトについて説明できる。
6) 筋電義手について説明できる。

評価方法: 毎授業の終了前15分間を「理解の確認時間」として、ノートの整理や質疑応答によるフィードバックを行う。評価は、この確認時間の成果、および授業自体への取り組み姿勢を10%、および単位認定試験等を90%として単位認定を行う。なお、単位認定試験の問題の80%程度を受験者本人による自己採点とし、理解度のフィードバックを行う。

準備学習・履修上の注意等: 各回の授業内容について、60分程度の予習と復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週金曜日の13時～17時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	切断の術式や断端の成熟の概要	講義、SGD	立石
2	2)	義肢や装具のバイオメカニクスの概要	講義、SGD	立石
3	3)	義足のうち、大腿義足についてその構造	講義、SGD	立石
4	3)	義足のうち、下腿義足についてその構造	講義、SGD	立石
5	3)	義足のうち、下腿義足、特にPTBソケットについてその構造	講義、SGD	立石
6	4)	前腕義手のコントロールシステムについて	講義、SGD	立石
7	4)	上腕義手のコントロールシステムについて	講義、SGD	立石
8	4)	肩義手の構造と操作方法について	講義、SGD	立石
9	4)	上腕義手の構造と操作方法について説明できる	講義、SGD	立石
10	4)	前腕義手の構造と操作方法について説明できる	講義、SGD	立石
11	4)	特にミュンスターとノースウェスタンソケットについて説明できる	講義、SGD	立石
12	5)	上腕義手のチェックアウトについて説明できる	講義、SGD	立石
13	5)	前腕義手のチェックアウトについて説明できる	講義、SGD	立石
14	5)	上腕義手と前腕義手の操作エクササイズを実践できる	講義、SGD	立石
15	6)	筋電義手の構造と操作方法について説明できる	講義、SGD	立石

教科書: 義肢装具学 (川村 次郎・陳 隆明 他) 医学書院【ISBN-13: 978-4260005104】

参考書: 使用しない

科目名: **機能代償Ⅱ**

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 機能障害に陥った四肢や体幹を支持したり修正したりする方法として装具がある。本授業では、上肢装具・下肢装具・体幹装具の種類と構造および適応について学び、その臨床応用を習得する。さらに、スプリント制作を修得する。

到達目標: (SBOs)
1) 装具の概要について説明できる。
2) 体幹装具について説明できる。
3) 下肢装具について説明できる。
4) 上肢装具について説明できる。
5) スプリントを制作できる。

評価方法: 単位認定試験等を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各回の授業内容について、60分程度の予習と復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週金曜日13:00?17:00 |

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	装具の概要	講義・SGD	立石
2	2)	体幹装具の種類と構造	講義・SGD	立石
3	2)	頸椎装具、特にフィラデルフィアカラーやハロー装具	講義・SGD	立石
4	2)	体幹装具、特にミルウォーキー装具やボストン装具の構造と適応	講義・SGD	立石
5	3)	下肢装具の構造と機能	講義・SGD	立石
6	3)	長下肢装具の構造と機能	講義・SGD	立石
7	3)	短下肢装具の構造と機能	講義・SGD	立石
8	4)	肩装具の構造と機能	講義・SGD	立石
9	4)	肩装具、特にBFOの構造と機能	講義・SGD	立石
10	4)	肘装具の構造と機能	講義・SGD	立石
11	4)	手の装具、特に手関節背屈スプリントの構造と機能	講義・SGD	立石
12	4)	手の装具、特に対立スプリントの構造と機能	講義・SGD	立石
13	4)	手の装具、特に拘縮矯正スプリントの構造と機能	講義・SGD	立石
14	4)	手の装具、特にフレクサーヒンジスプリントの構造と機能	講義・SGD	立石
15	4)	スプリント制作	講義・SGD	立石

教科書: 義肢装具学 (川村 次郎・陳 隆明 他) 医学書院【978-4-260-00510-4】

参考書: 使用しない。

科目名: **日常生活活動概論**

担当者: 吉田健(保 作)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 日常生活とはどのようなものかという基本的な知識の整理を行い、人の日常生活を支援する専門家としての視点を学ぶことを目的とする。また、同時に活動分析の視点も身につけていく。

到達目標: (SBOs) 1)日常生活の定義について説明できる。
2)具体的な日常生活の動作にはどのようなものがあるか説明できる。
3)それぞれの動作と疾患の関連について説明できる。
4)日常関連動作とはどのようなものか説明できる。
5)ADLの評価について説明できる。
6)評価の使用方法について述べるができる。
7)日常生活を支援する自助具について説明できる。

評価方法: 筆記試験(90%), 確認テスト(10%)

準備学習・履修上の注意等: 積極的に質問や疑問点を聞きに来ること。1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜日18:00~19:00・毎週水~金曜日17:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【ADLとは】 日常生活動作とは何かを理解する。	講義	吉田
2	1)2)	【ADLの構成要素1】 ICFとADLの関連を理解する。	講義	吉田
3	1)2)	【ADLの構成要素2】 BADL、ADL、IADLの関連を理解する。	講義	吉田
4	3)	【ADLの実際1】 食事、排泄、入浴動作の実際について学ぶ。	講義	吉田
5	3)	【ADLの実際2】 更衣、整容動作の実際について学ぶ。	講義	吉田
6	3)	【ADLの実際3】 移動・移乗動作、コミュニケーションの実際について学ぶ。	講義	吉田
7	4)	【日常関連動作について1】 日常関連動作について理解する。洗濯、掃除動作の実際について学ぶ。	講義	吉田
8	4)	【日常関連動作について2】 家事、金銭管理、料理動作の実際について学ぶ。	講義	吉田
9	5)6)	【ADLの評価1】 食事、排泄、入浴動作の評価について学ぶ。	講義	吉田
10	5)6)	【ADLの評価2】 更衣、整容動作の評価について学ぶ。	講義	吉田
11	5)6)	【ADLの評価3】 移動・移乗動作、コミュニケーションの評価について学ぶ。	講義	吉田
12	5)6)	【ADLの評価4】 Barthel IndexなどADL評価の種類について学ぶ。	講義	吉田
13	5)6)	【ADLの評価5】 FIM評価の実際について学ぶ。	講義	吉田
14	7)	【自助具について1】 自助具の実際を学ぶ。	講義	吉田
15	7)	【自助具について2】 自助具の実際を学ぶ。	講義	吉田

教科書: 日常生活活動(ADL)—評価と支援の実際 医歯薬出版
ISBN-13: 978-4263213445

参考書: なし

科目名: 日常生活活動技能 I

担当者: 吉田健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 日常生活とはどのようなものかという基本的な知識と専門的知識を整理し、さらにADLの知識を深めていく。人の日常生活を支援する専門家としての視点を学ぶことを目的とする。

到達目標: 1)日常生活の定義について説明できる。
(SBOs) 2)具体的な日常生活の動作にはどのようなものがあるか説明できる。
3)それぞれの動作と疾患の関連について説明できる。
4)日常関連動作とはどのようなものか説明できる。
5)ADLの評価について説明できる。
6)評価の使用方法について述べるができる。
7)日常生活を支援する自助具について説明できる。
8)さまざまな疾患と日常生活の関連について説明できる。

評価方法: 筆記試験(90%), 確認テスト(10%)

準備学習・履修上の 積極的に質問や疑問点を聞きに来ること。1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。
注意等:

オフィスアワー: 毎週月曜日18:00~19:00・毎週水~金曜日17:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	1:日常生活活動の概念と作業療法の役割(概念と範囲)	講義	吉田
2	1)	2:日常生活活動の概念と作業療法の役割(ADLの成り立ちとOT)	講義	吉田
3	2)	3:ADL別の問題点と援助の視点(身辺処理1)	講義	吉田
4	2)	4:ADL別の問題点と援助の視点(身辺処理2)	講義	吉田
5	2)	5:ADL別の問題点と援助の視点(身辺処理3)	講義	吉田
6	2)	6:ADL別の問題点と援助の視点(家庭生活・IADL)	講義	吉田
7	3)4)	7:ADL別の問題点と援助の視点(社会活動)	講義	吉田
8	3)4)	8:ADLの評価(ADLの障害)	講義	吉田
9	5)	9:ADLの評価(評価の過程1)	講義	吉田
10	5)	10:ADLの評価(評価の過程2)	講義	吉田
11	6)7)8)	11:ADLの評価(結果の解釈と目標設定1)	講義	吉田
12	6)7)8)	12:ADLの評価(結果の解釈と目標設定2)	講義	吉田
13	6)7)8)	13:ADL制限に対するOT援助法(基本的考え方)	講義	吉田
14	6)7)8)	14:観察と記録(評価・介入記録)	講義	吉田
15	6)7)8)	15:観察と記録(報告書・申し送り)	講義	吉田

教科書: 作業療法全書3 日常生活活動(酒井ひとみ(編))協同医書出版社【978-4763921284】

参考書: なし

科目名: 日常生活活動技能Ⅱ

担当者: 田中 睦英(保・作) 内勢 美絵子(保・作) 江口 喜久雄(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年生)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 作業療法で扱う日常生活活動の範囲である身辺処理, 家庭生活, 社会生活に含まれる具体的な活動を取り上げ, 各活動の生活様式や伝統的な価値観などを学ぶ。そして, 各活動の工程, その活動に必要な心身機能および影響する環境を知ること, 生活のしづらさに対する要因分析の視点を学ぶ。さらに, 身障分野・発達分野・精神障害分野・老年期分野における疾患特性やADL支援の特徴を学び, 理解する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 発達過程ある子どもの日常生活における諸活動の発達について説明できる。
 - 2) 各発達段階におけるADLの特徴について説明できる。
 - 3) 発達障害で生じるADLの特性について説明できる。
 - 4) 身体障害者のADLの特徴を理解する。
 - 5) 身体障害者のADL障害の要因を理解する。
 - 6) 高齢者のADLの特徴を理解する。
 - 7) 高齢者のADL障害の要因を理解する。
 - 8) 精神障害者のADLの特徴と障害要因を理解する。
 - 9) 精神障害者の回復過程とADL障害ならびに評価, 疾患別援助法を理解する。

評価方法: 筆記試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は, 解剖学, 生理学, 運動学, 神経内科学などの知識を必要とする。そのため, 講義に臨むにあたり, 関連分野を学習し理解しておかなければならない。予習, 復習の方法としては学習ノートを作成し, 事前・事後学習(各60分を目安に)を行ってもらう。

オフィスアワー: 毎週水曜15:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	日常生活における諸活動の発達①	講義・演習	内勢
2	1)2)3)	日常生活における諸活動の発達②	講義・演習	内勢
3	1)2)3)	食事動作の発達①	講義・演習	内勢
4	1)2)3)	食事動作の発達②	講義・演習	内勢
5	1)2)3)	排泄行動の発達①	講義・演習	内勢
6	1)2)3)	排泄行動の発達②	講義・演習	内勢
7	1)2)3)	更衣・整容動作の発達①	講義・演習	内勢
8	1)2)3)	更衣・整容動作の発達②	講義・演習	内勢
9	4)5)	身体障害分野の特徴とADL①: 脳血管障害	講義・演習	田中
10	4)5)	身体障害分野の特徴とADL②: パーキンソン病	講義・演習	田中
11	4)5)	身体障害分野の特徴とADL③: 神経筋疾患・神経難病	講義・演習	田中
12	4)5)	身体障害分野の特徴とADL④: 脊髄損傷	講義・演習	田中
13	4)5)	身体障害分野の特徴とADL⑤: 整形外科疾患	講義・演習	田中
14	4)5)	身体障害分野の特徴とADL⑥: 内部障害	講義・演習	田中
15	6)7)	老年期分野の特徴とADL①: 加齢による生活機能低下	講義・演習	田中
16	6)7)	老年期分野の特徴とADL②: フレイルとサルコペニア	講義・演習	田中
17	6)7)	老年期分野の特徴とADL③: 在宅認知症高齢者	講義・演習	田中
18	6)7)	老年期分野の特徴とADL④: 介護予防(要支援・事業対象者)	講義・演習	田中
19	8)	精神障害分野のADLの特徴①	講義・演習	江口
20	8)	精神障害分野のADLの特徴②	講義・演習	江口
21	8)	精神障害分野のADL障害の要因①	講義・演習	江口

22	8)	精神障害分野のADL障害の要因②	講義・演習	江口
23	9)	精神障害分野の回復過程とADL障害①	講義・演習	江口
24	9)	精神障害分野の回復過程とADL障害②	講義・演習	江口
25	9)	精神障害分野のADL評価①	講義・演習	江口
26	9)	精神障害分野のADL評価②	講義・演習	江口
27	9)	精神障害分野の疾患別ADL援助法①	講義・演習	江口
28	9)	精神障害分野の疾患別ADL援助法②	講義・演習	江口
29	1)~9)	総括①	講義・演習	田中
30	1)~9)	総括②	講義・演習	田中

教科書： 作業療法全書[改定第3版] 第11巻 作業療法技術学3 日常生活活動 酒井ひとみ 【ISBN 978-4-7639-2128-4】

参考書： 動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践（石井 慎一郎）メジカルビュー社
【ISBN 978-4-7583-1474-9】

科目名: **地域作業療法学 I**

担当者: 三宮 基裕(福・福)

配当学科: 作業療学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 【授業の概要】

日本の住宅の問題、住宅改修のプロセスと具体的な改修方法、そして関係する法律や助成制度について学ぶ。
【一般目標(GIO)】
身体に障害のある方や加齢等により心身機能が低下した方が住宅で生活する時の生活環境上の問題を認識し、将来、福祉職として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)住環境整備の意義を理解し、住環境整備における福祉職の役割を説明できる。
2)住環境整備に関わる基本的な用語を理解し、説明ができる。
3)住環境整備のプロセスとそれに関わる専門職を理解し、それぞれの役割が説明できる。
4)関連する法制度を理解し、制度活用のプロセスが説明できる。
5)建築図面を読み取り簡単な平面図が描ける。
6)高齢者や障がいのある方の生活において生じる日本住宅の問題が列挙できる。
7)住環境整備の方法が列挙できる。
8)住環境整備の方法を立案できる。

評価方法: 毎時間の受講態度と期末試験の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 参考書に準拠して講義を進めるので、必要に応じて購入しておくこと。
積極的な受講態度で臨むこと。
1回の授業につき4時間を目安に予習・復習をおこなうこと。

オフィスアワー: 研究室在室時は、原則、常時対応

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	住環境整備の意義	講義	三宮
2	2)	ノーマライゼーションとリハビリテーション	講義	三宮
3	2)	バリアフリーとユニバーサルデザイン	講義	三宮
4	3)	住環境整備のプロセス	講義	三宮
5	4)	介護保険制度と住環境整備	講義	三宮
6	5)	住宅図面の読み取りと作図法	講義・演習	三宮
7	6)	日本住宅の問題と住環境整備	講義	三宮
8	4)5)7)	移動空間の整備①(移動に関わる福祉用具)	講義	三宮
9	4)5)7)	移動空間の整備②(アプローチ、玄関、廊下、階段)	講義	三宮
10	4)5)7)	トイレ空間の整備①(排泄に関わる福祉用具)	講義	三宮
11	4)5)7)	トイレ空間の整備②(手すり、段差解消、便座、スペース)	講義	三宮
12	4)5)7)	浴室空間の整備①(入浴に関わる福祉用具)	講義	三宮
13	4)5)7)	浴室空間の整備②(手すり、段差解消、浴槽)	講義	三宮
14	5)7)8)	住環境整備の提案①(サニタリー空間の環境整備)	講義・演習	三宮
15	5)7)8)	住環境整備の提案②(戸建住宅の環境整備)	講義・演習	三宮

教科書: 使用しない

参考書: OT・PTのための生活環境整備論第2版(野村歡・橋本美芽 著)三輪書店【978-4-89590-425-4】
改訂4版 福祉住環境コーディネーター3級公式テキスト(東京商工会議所 編)東京商工会議所【978-4924547599】

科目名: **地域作業療法学Ⅱ**

担当者: 内勢 美絵子(保・作)、矢花 芙美子(非常勤講師)、外部講師

配当学科: 作業療学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 前期 授業形態: 講義、SGD

授業概要: 医学モデルを基盤としながらも、生活モデルの視点を併せ持って地域に臨む作業療法への需要は年々増加傾向にある(小川ら;2011)。そのような中、公的保険外サービスの中で実践するOTが着目されている(寺門ら;2017)。本講義では、そういった地域での作業療法を実践する先達や他職種から最新情報について学ぶことを目的としている。あわせて、地域において多職種連携を実践するにあたり必要な心構えについて学んでいく。

小川恵子編集:標準作業療法学地域作業療法学第2版. 医学書院, 2011.
寺門貴編集:未来投資会議の流れの中でOTの生きる道. 臨床作業療法14(5), 2017.

到達目標: (SBOs) 1)地域作業療法について概説できる。
2)各領域の地域作業療法の実践の場について説明できる。
3)各領域の地域作業療法の実践について説明できる。
4)他職種との連携と協働の重要性について説明できる。
4)地域作業療法実践における心構えや準備について説明できる。

評価方法: グループ課題30%、講義内レポート30%、総括レポート40%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 教科書の該当頁を事前に予習すること。(60分)
目標を持って、主体的に授業に参加すること。
各回振り返りのレポートを作成すること。(60分)
その他グループ課題に要する時間。(4時間程度)

オフィスアワー: 月曜14:55~16:25、金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	地域作業療法の基盤と背景、制度・社会生活支援・連携	講義、SGD	内勢
2	2)~5)	地域作業療法の実践の場と実践例① 身体機能領域	講義、SGD	内勢、矢花
3	2)~5)	地域作業療法の実践の場と実践例② 老年期領域	講義、SGD	内勢、矢花
4	2)~5)	地域作業療法の実践の場と実践例③ 精神機能領域、発達領域	講義、SGD	内勢、矢花
5	4)~5)	地域作業療法実践のための心構え①	講義、SGD	内勢、矢花
6	4)~5)	地域作業療法実践のための心構え②	講義、SGD	内勢、矢花
7	1)~5)	地域作業療法の実践事例①	講義、SGD	外部講師、 内勢
8	1)~5)	地域作業療法の実践事例②	講義、SGD	外部講師、 内勢

教科書: 標準作業療法学地域作業療法学第3版(編大熊 明他編集)医学書院【ISBN978-4-260-03165-3】

参考書: 寺門貴編集:未来投資会議の流れの中でOTの生きる道. 臨床作業療法14(5), 2017.

科目名: 地域作業療法学演習

担当者: 内勢 美絵子(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義,演習,SGD,実

授業概要: 本講義は、多くの職種による連携によって進められる職業リハビリテーションの中での作業療法士として必要な基礎知識および技術、役割について学ぶことを目的としている。就労を目指す障害を持つ者への援助を行う上で、基本的な職業の意義、職業発達理論、職業選択および適性に関する知識、作業療法評価および援助について修得する。また、障害者を取り巻く法制度、雇用問題等を知る。さらに、地域における就労の実際について、見学・体験実習を通して学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)人にとって職業とはいかなる意味のある行為なのかを説明できる。
2)就労支援に関する理論を説明できる。
3)当事者の就労に係る諸制度を説明できる。
4)当事者の就労支援に係る支援技術を説明できる。
5)就労支援における作業療法士の役割を説明できる。
6)作業療法における職業評価を説明できる。
7)職業関連活動における作業療法の治療(訓練)過程を説明できる。
8)就労支援関連施設の見学・体験実習に参加し、報告することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(レポートの提出状況、授業態度)の評価20%、見学・体験実習の参加状況・報告書20%、学期末の単位認定試験60%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: ・自分の意見を積極的に発言すること。
・予習(30分)、復習(30分)として講義レポートを実施すること。
・GWを利用して、身近な人に対して「働くこと」「障害を持つ人の就労について」インタビューを実施し、レポートにまとめる(3時間)。
・第13回の講義では、準備(2時間)、見学・体験実習(6時間)、スライド作成(2時間)を要する。

オフィスアワー: 月曜14:55~16:25、金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【就業支援に必要な考え方1】 就業支援とは	講義、演習	内勢
2	1)	【就業支援に必要な考え方2】 企業の視点の理解 就業支援とは	講義、演習	内勢
3	3)	【就業支援に必要な考え方3】 就業支援と支援ネットワーク	講義、演習	内勢
4	1)3)	【インタビューを通して障害のある人の就業を考える1】 民間企業等における障害者就労の実態について聞き取り調査を行う	講義、実習、SGD	内勢
5	1)3)	【インタビューを通して障害のある人の就業を考える2】 民間企業等における障害者就労の実態を整理する	講義、実習、SGD	内勢
6	4)	【就業支援に必要な知識1】 障害特性と職業的課題(身体、知的、精神、発達、難病)	講義、演習	内勢
7	3)	【就業支援に必要な知識2】 障害者雇用に関する制度の概要	講義、演習	内勢
8	5)	【職業関連活動における作業療法1】 就労支援における作業療法の役割、関連職種・機関との連携、作業療法の対象者・実施施設	講義、演習	内勢
9	5)6)	【職業関連活動における作業療法2】 作業療法評価過程	講義、演習	内勢
10	1)5)6)7)	【職業関連活動における作業療法3】 作業療法士による就労支援の実際(身体障害)	講義、SGD	内勢
11	1)5)6)7)	【職業関連活動における作業療法4】 作業療法士による就労支援の実際(精神障害)	講義、SGD	内勢
12	1)5)6)7)	【職業関連活動における作業療法5】 作業療法士による就労支援の実際(知的障害、発達障害)	講義、SGD	内勢
13	1)3)4)5)8)	【就労現場の見学・体験実習1】 特別支援学校、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、作業所、一般企業、特例子会社への見学・体験実習	実習	内勢
14	1)3)4)5)8)	【就労現場の見学・体験実習2】 特別支援学校、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、作業所、一般企業、特例子会社への見学・体験実習の報告	実習	内勢
15	1)3)4)5)8)	【就労現場の見学・体験実習3】 特別支援学校、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、作業所、一般企業、特例子会社への見学・体験実習の報告	実習	内勢

教科書: 平成30年度版就業支援ハンドブック(相澤欽一他)独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
{<http://www.jeed.or.jp/disability/data/handbook/om5ru8000000azsi-att/om5ru8000000b07p.pdf>}

参考書： 授業の中で紹介する。

科目名: **高次脳機能障害作業療法**

担当者: 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 1. 脳血管障害や外傷性脳損傷に随伴する症状である高次脳機能障害の疾患特性について解剖学・神経心理学の観点から学ぶことで、MRI等の読映と観察結果から適切な評価を選択し、結果を解釈する能力を涵養する。
2. 各神経心理検査の特徴を理解し、臨床ツールとして活用できる知識を修得する。
3. 事例検討演習を通じ、高次脳機能障害を有する対象者の障害構造を理解し、作業療法プログラムを立案・実行できる能力を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 神経心理学の観点から高次脳機能障害の概要を説明できる。
2) 注意障害の特徴と評価法について説明できる。
3) 半側空間無視、視覚失認、Balint症候群の特徴と病巣、評価法について説明できる。
4) 失行(行為の障害)の特徴と病巣、評価法について説明できる。
5) 記憶障害の特徴と病巣、評価法について説明できる。
6) 遂行機能障害の特徴と病巣、評価法について説明できる。
7) 神経心理検査を実際に使用し、高次脳機能障害の作業療法評価が実践できる。
8) 高次脳機能障害を有する事例に対し、適切な評価バッテリーを選択し、実施計画を立案することができる。
9) 神経心理検査の結果を解釈し、作業療法における目標設定とプログラムの立案ができる。

評価方法: 定期試験70%、講義内小テスト30%で総合的に評価する。□

準備学習・履修上の注意等: 講義の最後に小テストを毎回実施するので、事前に予習をして講義に臨むこと。また授業ノートを必ず作成すること。これらの予復習を1回の講義につき60分行うこと。□

オフィスアワー: 金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	神経心理学的観点による高次脳機能障害の定義	講義	田中
2	2)	注意障害: 注意の種別と注意障害の臨床症状、評価法について	講義	田中
3	3)	失認(特に視覚モダリティ): 半側空間無視の中核症状と併発しやすい症状・臨床像、評価法(BIT)について	講義	田中
4	4)	失行: 行為の障害のメカニズムと症状、評価法について	講義	田中
5	5)	記憶障害: 記憶の種別と記憶障害の症状(認知症を中心に)、評価法について	講義	田中
6	6)	遂行機能障害: 外傷性脳損傷や前頭葉障害による遂行機能障害の臨床症状と評価法について	講義	田中
7	7)	【演習】注意障害の神経心理学検査と作業療法評価	SGD	田中
8	7)	【演習】半側空間無視の神経心理学検査と作業療法評価: 主に行動性無視検査(BIT)について	SGD	田中
9	7)	【演習】視覚失認・構成障害の神経心理学検査と作業療法評価	SGD	田中
10	7)	【演習】失行の神経心理学検査と作業療法評価	SGD	田中
11	7)	【演習】記憶障害の神経心理学検査と作業療法評価	SGD	田中
12	7)	【演習】遂行機能障害の神経心理学検査と作業療法評価	SGD	田中
13	7)	【演習】認知症の神経心理学検査と作業療法評価	SGD	田中
14	8)	【事例検討①】脳卒中後遺症患者の事例検討を通じ、評価バッテリーの選択や評価結果の解釈方法を理解する。	SGD	田中
15	9)	【事例検討②】脳卒中後遺症患者の事例検討を通じ、高次脳機能障害患者に対する作業療法ゴールの設定、プログラムの立案について理解を深め、実践できる。	SGD	田中

教科書: 高次脳機能障害学第2版(石合 純夫 著) 医歯薬出版【978-263-21396-4】
高次脳機能障害マエストロシリーズ4 リハビリテーション介入(鈴木 孝治 他編著) 医歯薬出版【978-263-21564-7】

科目名: 臨床特論

担当者: 佐藤 浩二(非常勤講師)・田中 英明(非常勤講師)・釘宮 慎太郎(非常勤講師)・田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年次)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 1. 長期実習に際して、実習先職員の方々に好感を抱いて頂けるように、押さえておくべき基本的態度やマナーを習得する。また患者様・利用者様に関わる上での基本技術の復習し、実践レベルまで習熟する。
2. これまでに学習してきた内容を昇華し、より実務的な内容を知る事と、臨床現場での実践的な考え方を知り、スムーズな実習進行ができるようになる。

到達目標: (SBOs) 1) 評価の実技と判定の方法について理解し、実践できる。
2) 治療技法とその注意点について実技を通して学び、実践できる。
3) 支援技術とその注意点について実技を通して学び、実践できる。
4) 実際の臨床場面のVTRを視聴し、現時点でできること、知識・技術が不足している点を自覚し、実習前準備につなげることができる。
5) 実習で赴く病院や介護施設に従事する職員構成について学び、その職種や役割について列挙・説明できる。
6) 各職員(職種)の専門性と、対象者との関係性について学び、説明できる。
7) 臨床実習指導者の役割を理解し、実習指導を受ける心構えを涵養する。
8) 職員に対する接遇を修得し、実践できる。
9) 対象者に対する接遇を修得し、実践できる。
10) 総合臨床実習の全体像を把握し、実習前準備につなげることができる。

評価方法: 各教員の提示する課題レポート80%、確認テスト10%、受講態度10%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 3年次履修の作業療法技能に関する専門科目すべてについて復習しておくこと。また臨床実習を想定して、自身の長・短所を挙げ、短所については対応策を検討すること。これらの事前学習に毎回60分費やすこと。

オフィスアワー: 開講日の12:00~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床実習の概要と心得	講義	田中(英)・田中(睦)
2	1)	評価の実技と結果の判定について	講義・実技	田中(英)
3	2)	治療技法の実技と注意点について①	講義・実技	田中(英)
4	2)	治療技法の実技と注意点について②	講義・実技	田中(英)
5	3)	支援技術の実技と注意点について①	講義・実技	田中(英)
6	3)	支援技術の実技と注意点について②	講義・実技	田中(英)
7	4)	VTR学習にて自助点を知る	講義・実技	田中(英)
8	1)~4)	2~7の復習と確認テスト	講義	田中(英)
9	5)	施設職員の構成について	講義	佐藤
10	6)	対象者と関わる職員の立場について	講義	佐藤
11	7)	スーパーバイザーとケースバイザーについて	講義	佐藤
12	8)	職員に対する接遇	講義・実技	釘宮
13	9)	対象者に対する接遇	講義・実技	釘宮
14	10)	臨床実習の全体像を把握する①	講義	釘宮
15	10)	臨床実習の全体像を把握する②	講義	釘宮

教科書: 特になし。

参考書: 特になし。

科目名: **生活環境論**

担当者: 寺師 良輝(非常勤講師)・小林 博光(非常勤講師)・江原 喜人(非常勤講師)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: **【授業の概要】**

障害者や高齢者に対する生活支援技術や工学的な考え方、適用技術、応用事例などについて理解する。

【一般目標】

車いすや福祉車両などの移動支援機器、移乗を支援する機器や設備の種類と特徴、車いす上での姿勢や褥瘡防止のための用具や手法、公共建築物などの社会環境の改善、コミュニケーション支援のための各種スイッチ、環境制御装置などの機能や適用方法、情報通信機器のアクセシビリティなどについて、講義や実習を通して体得する。
障害者や高齢者に配慮した住宅改修の方法を学び、作業療法士として必要となる生活環境整備の基本的知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 障害者/高齢者のための情報通信機器の種類と概要を理解する。
 - 2) コミュニケーション支援機器とその入力方法について基本的構造と適用方法の基礎を理解する。
 - 3) 障害者/高齢者の移動を実現する福祉用具とその環境について関係性を理解する。
 - 4) 車いすの選択と適合のため、その種類と特徴を理解する。
 - 5) 車いす上での姿勢や褥瘡防止のための用具や手法について理解する。
 - 6) 移乗やその他介助のための機器とその適用方法について理解する。
 - 7) 福祉用具とその使用者について人間工学的に計測/評価する手段を理解する。

評価方法: 筆記試験やレポート、授業態度を基に総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業後に配付資料・ノート記録を読み直して復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	リハビリテーション工学概論	講義	寺師 良輝
2	1)2)	コミュニケーション機器の種類と活用	講義	寺師 良輝
3	1)2)	コンピュータアクセシビリティ	講義	寺師 良輝
4	1)2)	コミュニケーション支援/スイッチの製作	実習	寺師 良輝
5	1)2)	コミュニケーション支援/入力と出力	講義	寺師 良輝
6	3)4)	移動の目的と方法	講義	小林 博光
7	3)4)	電動車いすの種類と活用方法	講義	小林 博光
8	3)4)	電動車いすのコントローラと適用	講義	小林 博光
9	3)4)	障害者が運転する福祉車両	講義	小林 博光
10	3)4)	介助者が操作する福祉車両	講義	小林 博光
11	3)4)	手動車いす	講義	江原 喜人
12	3)5)	車いすクッション	講義	江原 喜人
13	3)4)	社会環境と車いす	講義	江原 喜人
14	3)6)	移乗機器・介助機器	講義	江原 喜人
15	7)	計測・評価	講義	江原 喜人

教科書: 使用しない。

参考書: 福祉機器選び方・使い方セミナー 副読本(2016年版)
編集・発行: 一般財団法人保健福祉広報協会
基本動作編
{https://www.hcr.or.jp/cms/wp-content/uploads/howto_2017_1.pdf}
住宅改修編
{https://www.hcr.or.jp/cms/wp-content/uploads/howto_2017_2.pdf}
自立支援編
{https://www.hcr.or.jp/cms/wp-content/uploads/howto_2017_3.pdf}

科目名: **臨床見学実習 I**

担当者: 立石 修康(保・作)・内勢 美絵子(保・作)・田中 陸英(保・作)・吉田 健(保・作)・江口喜久雄(保・作)・園田 徹(保・作)・樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 学外の病院等の現実の作業療法場面で、対象者および作業療法士と接することで、社会人(前医療人)としての接遇を学び、疾患の概要と作業療法の専門性を理解し、次年度からの専門教育に向けた学習モチベーションを形成する。

到達目標: (SBOs) 1)施設の概要を説明できる。
2)前医療人としての態度を身につける。
3)作業療法士の仕事を説明できる。
4)自らの職業的適性を確認できる。

評価方法: 臨床見学実習施設の実習指導者の評価と学内での提出物および実習セミナーでの評価を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが高い場合は、実習中止となることがある。1コマ当たりの1時間を目安に予習・復習を行うこと

オフィスアワー: 学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	領域1:施設の概要を理解する。	実習	全員
2	2)	領域1:対象者との関わりを通して社会人(前医療人)としての態度を学ぶ。	実習	全員
3	3)	領域1:作業療法士の仕事、特に対象者理解について理解する。	実習	全員
4	3)	領域1:作業療法士の仕事、特に作業療法介入について理解する。	実習	全員
5	4)	領域1:現実の作業療法士の仕事と自らの適正や志向性について理解する。	実習	全員
6	1)	領域2:施設の概要を理解する。	実習	全員
7	2)	領域2:対象者との関わりを通して社会人(前医療人)としての態度を学ぶ。	実習	全員
8	3)	領域2:作業療法士の仕事、特に対象者理解について理解する。	実習	全員
9	3)	領域2:作業療法士の仕事、特に作業療法介入について理解する。	実習	全員
10	4)	領域2:現実の作業療法士の仕事と自らの適正や志向性について理解する。	実習	全員

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床見学実習Ⅱ**

担当者: 立石 修康(保・作)・内勢 美絵子(保・作)・田中 陸英(保・作)・吉田 健(保・作)・江口喜久雄(保・作)・園田 徹(保・作)・樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 学外の病院等の現実の作業療法場面で、対象者および作業療法士と接することで、社会人(前医療人)としての接遇を学び、疾患の概要と作業療法の専門性を理解し、次年度からの専門教育に向けた学習モチベーションを形成する。

到達目標: (SBOs) 1)施設の概要を説明できる。
2)前医療人としての態度を身につける。
3)作業療法士の仕事を説明できる。
4)自らの職業的適性を確認できる。

評価方法: 臨床見学実習施設の実習指導者の評価と学内での提出物および実習セミナーでの評価を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが高い場合は、実習中止となることがある。1コマ当たりの1時間を目安に予習・復習を行うこと

オフィスアワー: 学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	領域1:施設の概要を理解する。	実習	全員
2	2)	領域1:対象者との関わりを通して社会人(前医療人)としての態度を学ぶ。	実習	全員
3	3)	領域1:作業療法士の仕事、特に対象者理解について理解する。	実習	全員
4	3)	領域1:作業療法士の仕事、特に作業療法介入について理解する。	実習	全員
5	4)	領域1:現実の作業療法士の仕事と自らの適正や志向性について理解する。	実習	全員
6	1)	領域2:施設の概要を理解する。	実習	全員
7	2)	領域2:対象者との関わりを通して社会人(前医療人)としての態度を学ぶ。	実習	全員
8	3)	領域2:作業療法士の仕事、特に対象者理解について理解する。	実習	全員
9	3)	領域2:作業療法士の仕事、特に作業療法介入について理解する。	実習	全員
10	4)	領域2:現実の作業療法士の仕事と自らの適正や志向性について理解する。	実習	全員

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床体験実習**

担当者: 立石 修康(保・作)・内勢 美絵子(保・作)・田中 陸英(保・作)・吉田 健(保・作)・江口喜久雄(保・作)・園田 徹(保・作)・樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 臨床実習指導者の指導・見守りのもと、領域共通の作業療法評価や治療・援助技術を体験することで、講義で習得した諸技術の臨床応用の基盤を形成する。

到達目標: (SBOs)

1. 臨床実習指導者の作業療法場面を見学することで、作業療法体験に必要な事前学習や準備ができる
2. 臨床実習指導者の指導・見守りのもと、作業療法評価や治療・援助技術の模倣体験ができる。
3. 体験実習を通じて基礎知識・技術を臨床応用することの実際を体験し、(特に自分自身の)問題点や疑問点を述べるができる。
4. 実際に対象者に関わることで疾患・障害像の理解を深め、接遇や社会人(前医療人)としての態度をブラッシュアップすることができる。
5. 作業療法体験を通じてこれまで学んだ知識を統合し、疾患・障害に応じた作業療法評価や治療・援助技術など、実習で体験したことの意味を説明できる。
6. 臨床体験で学び得た知識・技術をもとに自身の課題を明確にし、次年度以降の学習目標を立てることができる。

評価方法: 実習指導者の評価と学内での提出物および実習セミナーでの評価を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。体験にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと

オフィスアワー: 学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	施設の概要を理解する。	実習	全員
	1)	臨床実習指導者による作業療法を理解する。自らの作業療法体験に必要な、事前学習や準備ができる。		
	1)			
2	2)	評価を模倣体験することができる。	実習	全員
	2)	治療を模倣体験することができる。		
	2)	援助技術を模倣体験することができる。		
3	3)	体験から自分自身の問題点や疑問点を述べるができる。	実習	全員
4	4)	疾患と障害像の理解を深めることができる。		
	4)	臨床実習指導者を手本として、接遇や社会人(前医療人)としての態度をブラッシュアップすることができる。		
5	5)	疾患・障害に応じた作業療法評価や治療・援助技術などの意味を説明できる。	実習	全員
	6)	体験から自身の課題を明確にし、次年度以降の学習目標を立てることができる。		

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床評価実習**

担当者: 立石 修康(保・作)・内勢 美絵子(保・作)・田中 陸英(保・作)・吉田 健(保・作)・江口喜久雄(保・作)・園田 徹(保・作)・樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 90 開講期: 後期 授業形態: 臨床実習

授業概要: 深い人間理解を基盤とした作業療法士になるために、臨床実習指導者の指導・見守りのもと、現実の対象者の作業療法評価を体験することで、講義で習得した評価技術の臨床応用の基盤を形成する。

- 到達目標: (SBOs)
1. 医療人としての対象者接遇ができる
 2. 領域ごとの評価計画を立案できる
 3. 疾患ごとの評価計画を立案できる
 4. カルテ情報を理解できる
 5. 担当対象者の評価計画を立案できる
 6. 個々の評価の準備ができる
 7. 個々の評価を実践できる
 8. 評価結果を考察できる
 9. 対象者の障害のフォーミュレーションが作成できる
 10. 問題点を抽出できる
 11. ゴールを設定できる
 12. 作業療法の介入プランを立案できる

評価方法: 実習指導者の評価と学内での提出物および実習セミナーでの評価を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。評価の実践にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと

オフィスアワー: 学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
2	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
3	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
4	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
5	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
6	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
7	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
8	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
9	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
10	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
11	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
12	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
13	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
14	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
15	1~12	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **総合臨床実習 I**

担当者: 立石 修康(保・作)・内勢 美絵子(保・作)・田中 陸英(保・作)・江口喜久雄(保・作)・吉田 健(保・作)・園田 徹(保・作)・樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 9 時間数: 405 開講期: 前期 授業形態: 臨床実習

授業概要: 大学で学んだ知識や技術を学外の臨床実習施設で実践し作業療法の職業人・専門職として必要な総合的かつ基本的技術の習得、および実践に適応できる技術を習得する。

到達目標: (SBOs)
1)3年間学んできた作業療法を実際場面の中で統合していく。
2)評価、プランニング、実施、再評価ができる。
3)社会人としての規律が守れる。
4)臨床実習を終えた後、レポート、口頭発表にて報告ができる。

評価方法: 臨床実習施設での評価と学内での実習セミナーおよびケースレポートなどの提出物を総合的に評価する。詳細は、後に配布する実習ガイダンスにて説明する。

準備学習・履修上の注意等: フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。実践にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと

オフィスアワー: 学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
2	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
3	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
4	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
5	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
6	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
7	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
8	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
9	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
10	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
11	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
12	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
13	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
14	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
15	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **総合臨床実習Ⅱ**

担当者: 立石 修康(保・作)・内勢 美絵子(保・作)・田中 陸英(保・作)・江口喜久雄(保・作)・吉田 健(保・作)・園田 徹(保・作)・樋口 博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 9 時間数: 405 開講期: 後期 授業形態: 臨床実習

授業概要: 大学で学んだ知識や技術を学外の臨床実習施設で実践し作業療法の職業人・専門職として必要な総合的かつ基本的技術の習得、および実践に適応できる技術を習得する。

到達目標: (SBOs)
1)3年間学んできた作業療法を実際場面の中で統合していく。
2)評価、プランニング、実施、再評価ができる。
3)社会人としての規律が守れる。
4)臨床実習を終えた後、レポート、口頭発表にて報告ができる。

評価方法: 臨床実習施設での評価と学内での実習セミナーおよびケースレポートなどの提出物を総合的に評価する。詳細は、後に配布する実習ガイダンスにて説明する。

準備学習・履修上の注意等: フィールドは実際の作業療法場面であり実際の対象者である。従って、主体的かつ真摯な実習姿勢が要求される。実習姿勢が修正できない場合や对患者リスクが認められる場合は、実習中止となることがある。実践にあたっては、前日に十分な練習をしておくこと。一つの体験について1時間を目安に練習・復習を行うこと

オフィスアワー: 学外臨床実習のため、オフィスアワーの設定はない。必要があれば、電話による相談を随時受け付ける。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
2	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
3	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
4	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
5	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
6	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
7	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
8	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
9	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
10	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
11	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
12	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
13	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
14	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員
15	1)~4)	実習施設の方針に従い、実習を行う。	実習	全員

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 特別課題研究 I

担当者: 内勢 美絵子(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義,SGD,演習

授業概要: 地域における発達障がいを持つ子どもとその家族を支える療育や、子育て支援、地域で暮らす発達障がいを持つ成人についての概要を知り、実際の関わりを通して支援および研究の視点を養う。第一段階:療育や子育て支援に関する現状を文献にて学習する。第二段階:実際の現場に赴き関連職種や当事者から情報収集を行うなどのフィールドワークや調査研究の実施、またはそれらに関する文献研究を行う。第三段階:前述の内容を論文としてまとめる。

到達目標: (SBOs) 1)研究疑問を列挙できる。
2)研究の流れを説明できる。
3)文献レビューについて説明できる。
4)文献を読み、内容を理解、整理できる。
5)研究テーマを決定することができる。
6)研究方法を選定できる。
7)研究計画を作成することができる。
8)予備研究を実施することができる。

評価方法: 課題への取り組み、課題の発表、論文作成などを総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 主体的に取り組むこと。講義時間以外に30時間の自己学習、フィールドワークを実施すること。

オフィスアワー: 月曜14:55~16:25、金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【研究テーマの決定①】 研究疑問から、研究テーマについて考えることができる。	講義、SGD、演習	内勢
2	1)2)	【研究テーマの決定②】 研究テーマの細部について検討できる。	講義、SGD、演習	内勢
3	1)2)	【研究テーマの決定③】 研究テーマの細部の修正ができる。	講義、SGD、演習	内勢
4	1)2)	【研究テーマの決定④】 研究テーマの絞り込みができる。	講義、SGD、演習	内勢
5	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
6	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
7	4)	【研究テーマに関する文献の検索③】 文献を読み、内容を理解、整理できる。	講義、SGD、演習	内勢
8	4)	【研究テーマに関する文献の検索④】 文献の内容をカード化できる。	講義、SGD、演習	内勢
9	2)	【研究方法の検討①】 研究とは何かについて理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
10	1)2)	【研究方法の検討②】 研究疑問について理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
11	1)2)3)4)	【研究方法の検討③】 仮説について理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
12	2)6)	【研究方法の検討④】 実験的研究について理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
13	2)6)	【研究方法の検討⑤】 記述的研究について理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
14	2)8)	【研究計画①】 研究プロトコルについて理解し、説明できる。	講義、SGD、演習	内勢
15	7)	【研究計画②】	講義、SGD	内勢

研究計画を考えることができる。

D、演
習

教科書： 使用しない。

参考書： 授業の中で紹介する。

科目名: **特別課題研究 I**

担当者: 江口 喜久雄(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: この講義では、研究についての手順を理解し、自ら研究を実践できるための基礎を学ぶことを目標とする。研究分野は、精神科領域および関連した領域の研究を行う。

到達目標: (SBOs) 1) 研究疑問を挙げることができる。
2) 研究テーマを決定することができる。
3) 必要な文献を検索することができる。
4) 研究方法を説明することができる。
5) 研究計画書を作成することができる。

評価方法: 課題への取り組み・受講態度・課題研究発表等を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本科目は、自ら積極的に取り組むことが大切である。さらに、1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【研究テーマの決定①】 研究疑問から、研究テーマについて考える。	講義	江口
2	1)2)	【研究テーマの決定②】 研究テーマの細部について検討できる。	講義	江口
3	1)2)	【研究テーマの決定③】 研究テーマの細部の修正ができる。	講義	江口
4	1)2)	【研究テーマの決定④】 研究テーマの絞り込みができる。	講義	江口
5	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】文献検索方法を把握し、検索できる。	講義	江口
6	3)	【研究テーマに関する文献の検索②】文献の種別を理解し、説明できる。	講義	江口
7	3)	【研究テーマに関する文献の検索③】文献レビューについて理解し、説明できる。	講義	江口
8	3)	【研究テーマに関する文献の検索④】文献を読み、内容を理解し、整理できる。	講義	江口
9	4)	【研究方法の検討①】 研究とは何かについて理解し、説明できる。	講義	江口
10	4)	【研究方法の検討②】 研究疑問について理解し、説明できる。	講義	江口
11	4)	【研究方法の検討③】 仮説について理解し、説明できる。	講義	江口
12	4)	【研究方法の検討④】 実験的研究について理解し、説明できる。	講義	江口
13	4)	【研究方法の検討⑤】 記述的研究について理解し、説明できる。	講義	江口
14	4)	【研究計画①】 研究プロトコルについて検討し、説明できる。	講義	江口
15	5)	【研究計画②】 研究計画を立案することができる。	講義	江口

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 特別課題研究 I

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 作業療法の発展に貢献できる作業療法士となるために、研究能力の基礎を育成する。本研究室では、非利き手書字(テーマ1)、徒手筋力検査手技の検証(テーマ2)、福祉機器の開発(テーマ3)を前提として、研究の基礎を習得する。

到達目標: 1)研究の概要や意味を説明できる。
(SBOs) 2)テーマを設定することができる。
3)研究プロトコルを立案することができる。

評価方法: と陸未施政と、研究計画およびパイロットスタディーの立案までを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自分で調べる技術を身につけておくこと。各担当ごとの内容を確認すること。各回の授業内容について、60分程度の予習と復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週金曜日終日

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	研究とは何かについて理解し、説明できる。	講義・演習	立石
2	1)2)	研究疑問について理解し、説明できる。	講義・演習	立石
3	1)2)	仮説について理解し、説明できる。	講義・演習	立石
4	1)2)	実験的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	立石
5	1)2)	記述的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	立石
6	1)2)	データ処理について理解し、説明できる。	講義・演習	立石
7	1)2)	文献レビューについて理解し、説明できる。	講義・演習	立石
8	3)	研究プロトコルについて理解し、説明できる。	講義・演習	立石
9	3)	研究の倫理的義務と責任について理解し、説明できる。	講義・演習	立石
10	3)	研究疑問から、研究テーマについて考えることができる。	講義・演習	立石
11	3)	研究テーマの細部について検討できる。	講義・演習	立石
12	3)	研究テーマの細部の修正ができる。	講義・演習	立石
13	2)	研究テーマの絞り込みができる。	講義・演習	立石
14	3)	研究計画を立案することができる。	講義・演習	立石
15	3)	予備研究を立案することができる。	講義・演習	立石

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 特別課題研究 I

担当者: 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 科学的根拠に基づいたリハビリテーションの実践が言われて久しいが、エビデンスレベルの高い作業療法に関する研究は決して多くはない。この講義では、将来臨床家として作業療法に関する研究が実践できるよう、課題解決の過程およびその方法を学習することを目的とする。研究テーマ: 1)健常成人の認知機能(視覚認知・ワーキングメモリ・情動など)に関する神経生理学・認知神経心理学的研究、2)認知症者の認知機能障害に関する研究、3)高齢者の転倒予防等をテーマとする。また文献抄読を通じて、神経科学に関する最新の知見についても学習する。

到達目標: (SBOs) 1) 課題研究の意義と目的について理解・説明できる。
2) 研究疑問を挙げ、研究テーマを検討できる。
3) 研究デザインについて理解・説明できる。
4) 研究における倫理的事項を理解し実践できる。
5) 文献レビューから研究テーマを設定し、研究計画を立案できる。
6) 予備研究を計画・実行できる。
7) 予備研究から研究計画書(実験プロトコル)を作成できる。

評価方法: 研究成果の発表60%、ゼミノート(ポートフォリオ)30%、受講態度10%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自身の関心領域や研究テーマに関する書籍・論文を精読すること。また定期的に文献抄読会を開催するので、1回の講義につき、自主学習や事前準備を60分行うこと。

オフィスアワー: 毎週水・金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	講義	田中
2	2)	研究疑問とテーマを考える	講義	田中
3	3)	研究様式と分類について	講義	田中
4	4)	倫理的義務と責任について	講義	田中
5	5)	文献レビューの意味と方法	講義	田中
6	5)	研究疑問と文献レビューから研究テーマを発見する①	講義	田中
7	5)	研究疑問と文献レビューから研究テーマを発見する②	講義	田中
8	5)	研究疑問と文献レビューから研究テーマを発見する③	講義	田中
9	5)	研究テーマの絞り込み	講義	田中
10	6)	研究の手順・手法と研究計画書案の作成	講義	田中
11	6)	予備研究(パイロットスタディ)の実施①	講義	田中
12	7)	予備研究(パイロットスタディ)の実施②	講義	田中
13	7)	研究計画書の作成①	講義	田中
14	7)	研究計画書の作成②	講義	田中
15	7)	研究計画書の作成③	講義	田中

教科書: 特になし。

参考書: 特になし。

科目名: **特別課題研究 I**

担当者: 樋口博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30※通 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 興味あるテーマの先行研究を検索し、研究テーマを決定する。次に、研究目的にあった研究方法(研究計画)を作成し、測定(調査)を実施する。得られたデータを分析して研究発表を行う。(特別課題研究Ⅱでは、研究論文をまとめる)
研究分野は作業療法に限定せず、運動生理学、行動科学、予防医学に関する内容とし、一人で研究計画を立案し、実施、まとめることができることを目標とする。

到達目標: (SBOs) 1) 先行研究を検索・整理し、研究テーマを見つける
2) 研究目的にあった研究計画を立案する
3) 研究計画を実施し、結果をまとめる
4) 研究発表を行う

評価方法: レポート提出、課題研究発表、論文作成等を総合して成績を評価する。

準備学習・履修上の注意等: 【指導方針】
ヒトを対象とした研究を基本とする。したがって、研究の目的や測定法を十分に説明するための、コミュニケーション能力が最低限必要である。研究は、教員からの指示待ちだけでは進行しないと考える。よって、研究に対して積極的な学生であれば、学術的に高いレベルの指導も行う。

※課題研究発表が行えない場合は再履修となります。平均1コマ当たり2時間の予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 火曜日 12:30~13:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1	研究テーマの設定①	講義・演習	樋口
2	1	研究テーマの設定②		
3	1	研究テーマの設定③		
4	2	研究計画の立案① MS-wordを利用する		
5	2	研究計画の立案②		
6	2	研究計画の立案③		
7	3	研究結果をまとめる① Excelや図表作成ソフトを利用する		
8	3	研究結果をまとめる②		
9	3	研究結果をまとめる③		
10	3	研究結果を考察する①		
11	3	研究結果を考察する②		
12	3	研究結果を考察する③		
13	4	研究発表の準備① PowerPointを利用する		
14	4	研究発表の準備②		
15	4	課題研究の発表 ※他のゼミとの合同発表会を予定しています。 ※論文発表までのモデル内容です。		

教科書: なし

参考書: 授業中に紹介する

科目名: **特別課題研究 I**

担当者: 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 近年のEBMの流れに沿って、根拠のある作業療法(EBOT)が求められている。臨床場面においても、疑問を持ち、仮説を立て、検証するという姿勢が必要であり、それは研究にも共通する。この講義では、身体障害領域(特に高次脳機能障害)およびその関連領域をテーマに研究を実践する能力と研究への志向を高め、臨床現場での作業療法士としての基本的姿勢を養う。

到達目標: (SBOs)
1) 研究テーマを決定することができる。
2) 必要な文献を検索することができる。
3) 研究方法を説明することができる。
4) 研究計画書を作成することができる。

評価方法: 研究計画書(40%), 課題への取り組み・受講態度・ディスカッション(40%), 研究発表(20%)

準備学習・履修上の注意等: 本科目は、自分で調べ、考え、ディスカッションしていくことが大切である。さらに、講義の事前学習および復習は毎回1時間程度おこない、研究を進めていく。

オフィスアワー: 毎週月曜～金曜日(15:00~17:00)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【研究テーマの決定①】 研究疑問について	講義	吉田
2	1)	【研究テーマの決定②】 研究テーマの細部について	講義	吉田
3	1)	【研究テーマの決定③】 研究テーマの細部の修正	講義	吉田
4	1)	【研究テーマの決定④】 研究テーマの絞り込み	講義	吉田
5	2)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献検索について	講義	吉田
6	2)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて	講義	吉田
7	2)	【研究テーマに関する文献の検索③】 文献詳読	講義	吉田
8	2)	【研究テーマに関する文献の検索④】 文献の分類について	講義	吉田
9	3)	【研究方法の検討①】 研究とは何かについて	講義	吉田
10	3)	【研究方法の検討②】 研究疑問について	講義	吉田
11	3)	【研究方法の検討③】 仮説について	講義	吉田
12	3)	【研究方法の検討④】 実験的研究について	講義	吉田
13	3)	【研究方法の検討⑤】 記述的研究について	講義	吉田
14	3)	【研究計画①】 研究プロトコルについて	講義	吉田
15	4)	【研究計画②】 研究計画を考える	講義	吉田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない.

科目名: **特別課題研究 I**

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 染色体異常、奇形症候群、精神遅滞を伴う小児への作業療法を含めた包括医療をテーマにする。脳科学の分野では脳の構造だけではなく機能面でも新しい知見が次々に明らかにされている。染色体異常、奇形症候群、精神遅滞児の臨床においては、小児科医や小児精神科医のみではなく、教育、心理、福祉、保育、言語治療、看護、リハビリテーション、行政など多くの職種の方々のかかわりが必要である。かかわることができるために、最近の新しい脳科学の知見と組み合わせて、染色体異常、奇形症候群、精神遅滞児の診断、成因、養育の方法について修得する。

到達目標 (SBOs):

- 1) 研究疑問から、研究テーマについて考え、細部について検討、細部の修正、絞り込みができる。
- 2) 文献レビューについて理解し、説明できる。文献を読み、内容を理解、整理できる。文献の内容をカード化できる。
- 3) 研究とは何か、研究疑問、仮説、実験的研究、記述的研究について理解し、説明できる。
- 4) 研究プロトコル、研究計画について理解し、研究計画書を作り、修正することができる。
- 5) 対象者に説明し、同意を得て、データを収集することができる。データの入力と分析方法、処理について理解し、説明できる。
- 6) 論文のアウトライン、方法と結果、考察と研究背景、文献を書くことができ、論文を仕上げるができる。
- 7) パワーポイントで、プレゼンテーションを作成し、内容を、規定時間に合わせて修正し、発表ができ、質問に答えることができる。

評価方法: 課題の発表、論文作成などを総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。自分で調べる技術を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	研究テーマの決定①	講義	園田
2	1)	研究テーマの決定②	講義	園田
3	2)	研究テーマに関する文献の検索①	講義	園田
4	2)	研究テーマに関する文献の検索②	講義	園田
5	3)	研究方法の検討①	講義	園田
6	3)	研究方法の検討②	講義	園田
7	4)	研究計画①	講義	園田
8	4)	研究計画②	講義	園田
9	5)	データの収集	講義	園田
10	5)	データの分析①	講義	園田
11	5)	データの分析②	講義	園田
12	6)	論文の執筆①	講義	園田
13	6)	論文の執筆②	講義	園田
14	7)	発表(プレゼンテーション)の準備	講義	園田
15	7)	発表(プレゼンテーション)	講義	園田

教科書: 特になし。

参考書: 特になし。

科目名: 特別課題研究Ⅱ

担当者: 内勢 美絵子(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義,演習,SGD

授業概要: 地域における発達障がいを持つ子どもとその家族を支える療育や、子育て支援についての概要を知り、実際の関わりを通して支援および研究の視点を養う。第一段階:療育や子育て支援に関する現状を文献にて学習する。第二段階:実際の現場に赴き関連職種や当事者から情報収集を行うなどのフィールドワークや調査研究の実施、またはそれらに関する文献研究を行う。第三段階:前述の内容を論文としてまとめる。

到達目標:
(SBOs) 1)研究計画を作成することができる。
2)予備研究を実施することができる。
3)データ収集ができる。
4)データ分析ができる。
5)論文作成ができる。
6)発表が出来る。
7)論理義務と責任について説明できる。

評価方法: 課題への取り組み、課題の発表、論文作成などを総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 主体的に取り組むこと。講義時間以外に30時間の自己学習、フィールドワークを実施すること。

オフィスアワー: 月曜14:55~16:25、金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【研究計画③】 予備研究の結果に基づき、研究計画を修正できる。	SGD,演習	内勢
2	1)	【研究計画④】 研究計画書を書くことができる。	SGD,演習	内勢
3	1)	【研究計画⑤】 研究計画書を修正することができる。	SGD,演習	内勢
4	2)	【予備研究①】 予備研究について理解し、説明できる。	SGD,演習	内勢
5	2)	【予備研究②】 予備研究を実践できる。	SGD,演習	内勢
6	3)7)	【データの収集】 対象者に説明し、同意を得て、データを収集することができる。研究の倫理的義務と責任について理解し、説明できる。	SGD,演習	内勢
7	4)	【データの分析】 データの入力と分析方法ができる。	SGD,演習	内勢
8	4)	【データの分析②】 データ処理について理解し、説明できる。	SGD,演習	内勢
9	5)	【論文の執筆①】 論文のアウトラインを書くことができる。	SGD,演習	内勢
10	5)	【論文の執筆②】 方法と結果を書くことができる。	SGD,演習	内勢
11	5)	【論文の執筆③】 考察と研究背景、文献を書くことができ、論文を仕上げるすることができる。	SGD,演習	内勢
12	6)	【発表(プレゼンテーション)の準備①】 パワーポイントで、プレゼンテーションを作成できる。	演習	内勢
13	6)	【発表(プレゼンテーション)の準備②】 プレゼンテーションの内容を、規定時間に合わせて修正できる。	演習	内勢
14	6)	【発表(プレゼンテーション)の準備③】 発表の予演を行い、内容を修正できる。	演習	内勢
15	6)	【発表(プレゼンテーション)】 発表ができ、質問に答えることができる。	演習	内勢

教科書： 使用しない。

参考書： 授業の中で紹介する。

科目名: 特別課題研究Ⅱ

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 非利き手書字(テーマ1), 徒手筋力検査手技の検証(テーマ2), 福祉機器の開発(テーマ3)より一つのテーマを選択し, 研究計画を立案し, 研究プロセスを実践し, 結果を考察し, 研究を発表し, 研究能力を育成する。

到達目標: 特別課題研究Ⅰに引き続き、以下を到達目標とする。
(SBOs)

- 3) 研究プロトコルを立案することができる。
- 4) データを収集することができる。
- 5) データを解釈し考察することができる。
- 6) プレゼンテーションができる。

評価方法: 研究結果、論文作成、発表等を総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自分で調べる技術を身につけておくこと。
各担当ごとの内容を確認すること。
各回の授業内容について、60分程度の予習と復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週金曜日、13時から17時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)	予備研究を実践できる。	講義・演習	立石
2	3)	予備研究の結果に基づき、研究計画を修正できる。	講義・演習	立石
3	3)	研究計画書を書くことができる。	講義・演習	立石
4	3)	研究計画書を修正することができる。	講義・演習	立石
5	3)	研究に必要な文献を探ることができる。	講義・演習	立石
6	3)	文献を読み、内容を理解、整理できる。	講義・演習	立石
7	4)	対象者に説明し、同意を得て、データを収集することができる。	講義・演習	立石
8	4)	データの入力と分析方法ができる。	講義・演習	立石
9	5)	論文のアウトラインを書くことができる。	講義・演習	立石
10	5)	方法と結果を書くことができる。	講義・演習	立石
11	5)	考察と研究背景、文献を書くことができ、論文を仕上げるすることができる。	講義・演習	立石
12	6)	パワーポイントで、プレゼンテーションを作成できる。	講義・演習	立石
13	6)	プレゼンテーションの内容を、規定時間に合わせて修正できる。	講義・演習	立石
14	6)	発表の予演を行い、内容を修正できる。	講義・演習	立石
15	6)	発表ができ、質問に答えることができる。	講義・演習	立石

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 特別課題研究Ⅱ

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 特別課題研究Ⅱに引き続き、染色体異常、奇形症候群、精神遅滞を伴う小児への作業療法を含めた包括医療をテーマにする。染色体異常、奇形症候群、精神遅滞児の臨床においては、小児科医や小児精神科医のみではなく、教育、心理、福祉、保育、言語治療、看護、リハビリテーション、行政など多くの職種の方々のかかわりが必要である。かかわることができるために、最近の新しい脳科学の知見と組み合わせ、染色体異常、奇形症候群、精神遅滞児の診断、成因、養育の方法について修得する。

到達目標: (SBOs) 1) 研究疑問から、研究テーマについて考え、細部について検討、細部の修正、絞り込みができる。
2) 文献レビューについて理解し、説明できる。文献を読み、内容を理解、整理できる。文献の内容をカード化できる。
3) 研究とは何か、研究疑問、仮説、実験的研究、記述的研究について理解し、説明できる。
4) 研究プロトコル、研究計画について理解し、研究計画書を作り、修正することができる。
5) 対象者に説明し、同意を得て、データを収集することができる。データの入力と分析方法、処理について理解し、説明できる。
6) 論文のアウトライン、方法と結果、考察と研究背景、文献を書くことができ、論文を仕上げるができる。
7) パワーポイントで、プレゼンテーションを作成し、内容を、規定時間に合わせて修正し、発表ができ、質問に答えることができる。

評価方法: 課題の発表、論文作成などを総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。自分で調べる技術を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	研究テーマの決定①	講義	園田
2	1)	研究テーマの決定②	講義	園田
3	2)	研究テーマに関する文献の検索①	講義	園田
4	2)	研究テーマに関する文献の検索②	講義	園田
5	3)	研究方法の検討①	講義	園田
6	3)	研究方法の検討②	講義	園田
7	4)	研究計画①	講義	園田
8	4)	研究計画②	講義	園田
9	5)	データの収集	講義	園田
10	5)	データの分析①	講義	園田
11	5)	データの分析②	講義	園田
12	6)	論文の執筆①	講義	園田
13	6)	論文の執筆②	講義	園田
14	7)	発表(プレゼンテーション)の準備	講義	園田
15	7)	発表(プレゼンテーション)	講義	園田

教科書: 特にありません

参考書: 特にありません。

科目名: **特別課題研究Ⅱ**

担当者: 樋口博之(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: |選択| 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: ※通年科目です |

授業概要: 特別課題研究Ⅰで行った研究内容を研究論文としてまとめる。

到達目標: 1) 投稿規定(要項)に従った形式で論文を作成する(SBOs)
2) 査読(コメント)に対して、必要な修正が行える

評価方法: 研究論文の作成および投稿までのプロセスを総合して評価する

準備学習・履修上の注意等: 特別課題研究Ⅰ(必修)の単位を取得していること

※平均1コマ当たり2時間の予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 火曜日 12:30~13:30

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 2)	第一段階) 研究論文をまとめるために、MS-Word(原則)を使用して、添削と修正を繰り返していきます。また、図表の作成はExcelとPowerPointを使用します。	講義・演習	樋口
2				
3				
4				
5		第二段階) 投稿規定に沿った形式であるか確認した後、論文の投稿を行う。		
6				
7				
8		第三段階) 査読コメントに対して、必要な修正を加えて再投稿を行う。		
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

教科書: 使用しない

参考書: 必要に応じて紹介する

科目名: **特別課題研究Ⅱ**

担当者: 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 科学的根拠に基づいたリハビリテーションの実践が言われて久しいが、エビデンスレベルの高い作業療法に関する研究は決して多くはない。この講義では、将来臨床家として作業療法に関する研究が実践できるよう、課題解決の過程およびその方法を学習することを目的とする。研究テーマ: 1)健常成人の認知機能(視覚認知・ワーキングメモリ・情動など)に関する神経生理学・認知神経心理学的研究、2)認知症者の認知機能障害に関する研究、3)高齢者の転倒予防等をテーマとする。また文献抄読を通じて、神経科学に関する最新の知見についても学習する。

到達目標: (SBOs) 1) 予備研究から研究計画書を作成できる。
2) データ収集ができる。
3) 統計について理解し、得られたデータを処理・解析できる。
4) 解析結果から先行研究を踏まえて考察できる。
5) 研究結果のプレゼンテーションができる。

評価方法: 研究成果の発表60%、ゼミノート(ポートフォリオ)30%、受講態度10%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 自身の関心領域や研究テーマに関する書籍・論文を精読すること。また定期的に文献抄読会を開催することで、1回の講義につき、自主学習や事前準備を60分行うこと。

オフィスアワー: 毎週水・金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	文献・資料の収集・整理①	講義	田中
2	2)	文献・資料の収集・整理②	講義	田中
3	3)	データの収集①	講義	田中
4	4)	データの収集②	講義	田中
5	5)	データ処理について(統計ソフトの使用方法)	講義	田中
6	5)	データ処理①	講義	田中
7	5)	データ処理②	講義	田中
8	5)	結果の分析①	講義	田中
9	5)	結果の分析②	講義	田中
10	5)	分析結果の考察①	講義	田中
11	6)	分析結果の考察②	講義	田中
12	6)	分析結果の考察③	演習	田中
13	7)	発表準備①	演習	田中
14	7)	発表準備②	演習	田中
15	7)	発表	演習	田中

教科書: 特になし。

参考書: 特になし。

科目名: **特別課題研究Ⅱ**

担当者: 江口 喜久雄(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・実習

授業概要: この講義では、研究についての手順を理解し、自ら研究を実践できるための基礎を学ぶことを目標とする。研究分野は、精神科領域および関連した領域の研究を行う。

到達目標: (SBOs) 1) 研究テーマを決定することができる。
2) 必要な文献を検索することができる。
3) 研究方法を説明することができる。
4) 研究計画書を作成することができる。
5) 予備研究を実施することができる。
6) 予備研究の結果に基づいた研究計画書の修正ができる。
7) 対象者に説明し、同意を得ることができる。
8) 倫理的義務と責任について理解し、説明できる。
9) データの収集を行うことができる。
10) 統計処理を行いデータの分析ができる。
11) 論文を作成することができる。
12) 他者に伝えるためのプレゼンテーションを作成することができる。

評価方法: 課題への取り組み・受講態度・課題研究発表等を総合して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 本科目は、自ら積極的に取り組むことが大切である。さらに、1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	【研究計画①】 研究計画書を書くことができる。	講義	江口
2	1)2)3)4)	【研究計画②】 研究計画書を修正することができる。	講義	江口
3	5)	【予備研究①】 予備研究について理解し、説明できる。	講義	江口
4	5)	【予備研究②】 予備研究を実践できる。	講義	江口
5	6)	【予備研究③】 予備研究の結果に基づいた研究計画書の修正ができる。	講義	江口
6	7)8)9)	【データの収集】 対象者に説明し、同意を得て、データを収集することができる。研究の倫理的義務と責任について理解し、説明できる。	講義	江口
7	10)	【データの分析①】 データの入力と分析方法を理解し、実施できる。	講義	江口
8	10)	【データの分析②】 データ処理について理解し、説明できる。	講義	江口
9	11)	【論文の執筆①】 論文のアウトラインを書くことができる。	講義	江口
10	11)	【論文の執筆②】 方法と結果を書くことができる。	講義	江口
11	11)	【論文の執筆③】 考察と研究背景、文献を書くことができ、論文を仕上げることができる。	講義	江口
12	12)	【発表(プレゼンテーション)の準備①】 パワーポイントで、プレゼンテーションを作成できる。	演習	江口
13	12)	【発表(プレゼンテーション)の準備②】 プレゼンテーションの内容を、規定時間に合わせ修正できる。	演習	江口
14	12)	【発表(プレゼンテーション)の準備③】 発表の予演を行い、内容を修正できる。	演習	江口

教科書: 使用しない.

参考書: 使用しない.

科目名: **特別課題研究Ⅱ**

担当者: 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(4年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: 近年のEBMの流れに沿って、根拠のある作業療法(EBOT)が求められている。臨床場面においても、疑問を持ち、仮説を立て、検証するという姿勢が必要であり、それは研究にも共通する。この講義では、身体障害領域(特に高次脳機能障害)およびその関連領域をテーマに研究を実践する能力と研究への志向を高め、臨床現場での作業療法士としての基本的姿勢を養う。

到達目標: (SBOs)

- 1) 研究テーマを決定することができる。
- 2) 必要な文献を検索することができる。
- 3) 研究方法を説明することができる。
- 4) 研究計画書を作成することができる。
- 5) 予備研究をおこなうことができる。
- 6) 予備研究の結果に基づき研究計画を修正することができる。
- 7) 対象者に同意を得るために内容の説明ができる。
- 8) データ収集・分析ができる。
- 9) パワーポイントでプレゼンテーションの作成し、口頭で発表ができる。

評価方法: 研究計画書(40%), 課題への取り組み・受講態度・ディスカッション(40%), 研究発表(20%)

準備学習・履修上の注意等: 本科目は、自分で調べ、考え、ディスカッションしていくことが大切である。さらに、講義の事前学習および復習は毎回1時間程度おこない、研究を進めていく。

オフィスアワー: 毎週月曜～金曜日(15:00~17:00)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	【研究計画①】 研究計画書について	講義	吉田
2	1)2)3)4)	【研究計画②】 研究計画書の修正について	講義	吉田
3	5)	【予備研究①】 予備研究について	講義	吉田
4	5)	【予備研究②】 予備研究を実践できる。	講義	吉田
5	6)	【研究計画・予備研究の確認】 予備研究の結果に基づいた研究計画の修正	講義	吉田
6	7)	【データの収集】 対象者への説明と同意、研究の倫理的義務と責任について	講義	吉田
7	8)	【データの分析①】 データの入力と分析方法について	講義	吉田
8	8)	【データの分析②】 データ処理について	講義	吉田
9	9)	【論文の執筆①】 論文のアウトラインについて	講義	吉田
10	9)	【論文の執筆②】 方法と結果について	講義	吉田
11	9)	【論文の執筆③】 考察と研究背景、文献の執筆	講義	吉田
12	9)	【発表(プレゼンテーション)の準備①】 パワーポイントでのプレゼンテーションの作成	演習	吉田
13	9)	【発表(プレゼンテーション)の準備②】 プレゼンテーションの内容の修正	演習	吉田
14	9)	【発表(プレゼンテーション)の準備③】 発表の予演	演習	吉田

教科書: 使用しない.

参考書: 使用しない.

科目名: **リハビリテーション概論**

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚士の基本的役割を認識し、専門職としての素養と自覚、責任感及び倫理観を持つことができる。言語聴覚士になるために、リハビリテーションの理念、枠組みなどの総合的な理解を得て、リハビリテーションにおける言語聴覚士の位置付けと役割に関して、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を習得する。

到達目標: 1)リハビリテーションの成り立ちとその理念について説明できる
(SBOs) 2)障がいの定義と構造について説明できる
3)リハビリテーションの評価方法と意義について理解する

評価方法: 平常点20%、期末試験80%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回、教科書を読む活動があるので、医学の専門用語や表現に慣れるように努めてほしい。
次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【リハビリテーションの歴史と定義を学ぶ】 リハビリテーションの起源と医学的リハビリテーションの誕生や意義を説明できる。	講義	松山
2	1)	【セルフヘルプグループの目的と役割を学ぶ】 リハビリテーションにおける自立生活運動の意義とセルフヘルプグループの役割が説明できる。	講義	松山
3	1)	【ノーマライゼーションの理念を学ぶ】 ノーマライゼーションの始まり、バリアフリーデザインとユニバーサルデザインの異同について説明できる。	講義	松山
4	2)	【疾病と障がいを学ぶ】 疾病と障がい者の定義について説明できる。	講義	松山
5	2)	【ICF 国際生活機能分類を学ぶ】 障害の構造と、ICFの特徴について説明できる。	講義	松山
6	3)	【リハビリテーションの評価を学ぶ】 機能的状態の意味について説明でき、その評価方法を列挙できる。	講義	松山
7	3)	【ADLの構造について学ぶ】 ADLの分類と階層性について説明できる。	講義	松山
8	3)	【ADLの臨床的問題を考える】 「しているADL」と「できるADL」の隔たりと、廃用症候群の関係を説明できる。	講義	松山

教科書: 指定しない

参考書: 適宜紹介する。

科目名: **リハビリテーション概論**

担当者: 福本 安甫(非常勤講師)

配当学科: 視機能療法学科(2年次)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 15 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: リハビリテーション、ハビリテーションの概念について学ぶ。また、少子高齢化が進行し疾病構造や生活環境が変化する現代社会で、障がいを持った人々が生き甲斐を持って生活を送るために、障がい者やその家族にどのようなアプローチができるかを考える。

到達目標: (SBOs) 1)リハビリテーションの概念および理念について説明できる。
2)ICFについて説明できる。
3)リハビリテーションの過程および諸段階について説明できる。
4)リハビリテーションのチーム・アプローチについて説明できる。
5)ADLおよびQOLについて説明できる。
6)障害受容について説明できる。
7)人間発達とリハビリテーションについて説明できる。
8)視覚障害に関する構造と機能について説明できる。
9)リハビリテーションの実際について説明できる。

評価方法: 単位認定試験で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間程度の予習復習を行うこと。毎回の授業内容に関連させて、視覚障がい者への適応についてノートにまとめる。

オフィスアワー: 毎週月～水曜日16:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション、リハビリテーションの概念・理念	講義	福本
2	2)	健康と障害(ICF)	講義	福本
3	3)	リハビリテーションの過程と諸段階	講義	福本
4	4)	リハビリテーションのチーム・アプローチ	講義	福本
5	5)	ADL・QOLの概念と評価	講義	福本
6	6)7)	障害受容および人間発達とリハビリテーション	講義	福本
7	8)	視覚障害に関する構造と機能	講義	福本
8	9)	リハビリテーションの実際(脳機能)	講義	福本

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 作業療法研究法 I

担当者: 田中 睦英(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 1. 作業療法に関連する研究の必要性について説明することができる。
2. 研究デザイン(主に臨床研究)について説明できる。
3. 自身の興味・関心を研究テーマに昇華できる。
4. 自身の考案した研究テーマにもとづいて研究計画書を作成することができる。

到達目標: (SBOs) 1) 研究とは何かを理解し、説明できる。また、研究の流れを理解し、説明できる。
2) 文献レビューの目的と方法を理解し、説明できる。
3) 文献を収集しレビューできる。
4) 事例研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。
5) 調査的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。
6) 実験的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。
7) シングルケース実験法の目的と方法を理解し、説明できる。
8) 文献的研究の目的と方法を理解し、その特徴を説明できる。
9) 文献レビューの基づいて自身の研究テーマを立案し、研究計画書を作成できる。

評価方法: レポート、演習、小テストなどで総合的に評価する

準備学習・履修上の注意等: 出された文献等は事前に読んでおくこと。1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 金曜日13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【研究テーマの決定①】 研究疑問から、研究テーマについて考えることができる。	講義・演習	田中
2	1)2)	【研究テーマの決定②】 研究テーマの細部について検討できる。	講義・演習	田中
3	1)2)	【研究テーマの決定③】 研究テーマの細部の修正ができる。	講義・演習	田中
4	1)2)	【研究テーマの決定④】 研究テーマの絞り込みができる。	講義・演習	田中
5	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
6	3)	【研究テーマに関する文献の検索①】 文献レビューについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
7	3)	【研究テーマに関する文献の検索③】 文献を読み、内容を理解、整理できる。	講義・演習	田中
8	3)	【研究テーマに関する文献の検索④】 文献の内容をカード化できる。	講義・演習	田中
9	4)5)6)	【研究方法の検討①】 研究とは何かについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
10	4)5)6)	【研究方法の検討②】 研究疑問について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
11	4)5)6)	【研究方法の検討③】 仮説について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
12	4)5)6)	【研究方法の検討④】 実験的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
13	7)8)	【研究方法の検討⑤】 記述的研究について理解し、説明できる。	講義・演習	田中
14	7)8)9)	【研究計画①】 研究プロトコルについて理解し、説明できる。	講義・演習	田中
15	7)8)9)	【研究計画②】 研究計画を考えることができる。	講義・演習	田中

教科書: PT・OTのための臨床研究ははじめの一步 編著:山田 実 羊土社【ISBN 4758102163】

参考書: 特になし。

科目名: **身体障害作業療法技能 I**

担当者: 吉田 健(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 作業療法の対象となる障害特徴を理解し、身体障害者に対する作業療法評価方法に関する知識と技術を獲得する。また、身体障害者の心身機能および身体構造、活動、参加における機能障害・活動制限・参加制約などについて理解し、身体障害者に対する作業療法過程について学ぶ。

- 到達目標: 1) 作業療法の対象となる障害を理解することができる。
(SBOs) 2) 身体障害領域に関連する解剖、生理、運動学的機能や構造を理解できる。
3) 身体障害領域における作業療法評価を理解できる。
4) 身体障害領域における作業療法評価を実施できる。
5) 身体障害者(特に脳血管障害者)の抱える機能障害を理解できる。
6) 身体障害者(特に脳血管障害者)の抱える活動制限を理解できる。
7) 身体障害者(特に脳血管障害者)の抱える参加制約を理解できる。
8) 上記4)～6)に対する作業療法を立案することができる。
9) 事例を通して身体障害者(特に脳血管障害)に対する作業療法の特徴を理解できる。

評価方法: 筆記試験(90%), 確認テスト(10%)

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、解剖学、生理学、運動学などの基礎専門科目や神経内科学や整形外科などの臨床医学の知識を必要とする。そのため、講義に臨むにあたり、関連分野を学習し理解しておかなければならない。毎回1時間程度の予習、復習をあらかじめ行ってもらう。方法としてはノート作成とする。また、講義だけでなく教員への質問、ディスカッションを通して学ぶことが必要となる。

オフィスアワー: 毎週水曜15:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	授業オリエンテーション/身体障害領域における作業療法の目的について。	講義	吉田
2	2)	神経系の構造と機能(末梢神経と中枢神経について)	講義	吉田
3	2)	中枢神経系の構造と機能①	講義	吉田
4	2)	中枢神経系の構造と機能②	講義	吉田
5	2)	筋緊張、反射性調節機能	講義	吉田
6	2)	運動機能の中枢調整、自律神経性調整	講義	吉田
7	2)	感覚系(表在感覚、内臓感覚、特殊感覚)	講義	吉田
8	2)3)	身体障害領域に関する神経学的診断	講義	吉田
9	1)2)3)	脳血管障害の病態と臨床像	講義	吉田
10	1)2)3)	脳血管障害の機能的予後と評価と目標設定	講義	吉田
11	1)2)3)	神経難病の病態と臨床像	講義	吉田
12	1)2)3)	神経難病の機能的予後と評価と目標設定	講義	吉田
13	1)4)5)	身体障害に対する治療法①	講義	吉田
14	1)4)5)	身体障害に対する治療法②	講義	吉田
15	1)3)	脳血管障害者のADL	講義	吉田
16	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】疾患の基礎知識の整理	講義・実技	吉田
17	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】カルテ・処方箋から評価計画を立案	講義・実技	吉田
18	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】評価情報に基づく障害構造の整理(ICF)	講義・実技	吉田
19	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】問題点の抽出と目標設定	講義・実技	吉田
20	4)5)6)7)8)9)	【事例検討①】作業療法プログラムの立案	講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】疾患の基礎知識の整理	講義	吉田

21	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】カルテ・処方箋から評価計画を立案		
22	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】評価情報に基づく障害構造の整理(ICF)		
23	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】問題点の抽出と目標設定		
24	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)7)	【事例検討②】作業療法プログラムの立案		
25	8)9)		講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の姿勢分析		
26			講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の動作分析(起居動作)		
27			講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の動作分析(上肢機能)		
28			講義・実技	吉田
	4)5)6)	脳血管障害者の動作分析(歩行, 移動)		
29			講義・実技	吉田
	1)3)	身体障害領域のリハビリテーショントピックス		
30			講義	吉田

教科書: 標準作業療法学 身体機能作業療法学 第2版(編集 岩崎 テル子) 医学書院【978-4-260-00896-9】
 病気が見えるvol.7脳・神経(尾上 尚志ほか) メディックメディア【978-4-89632-358-0】
 動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践(石井 慎一郎) メジカルビュー社【978-4-7583-1474-9】

参考書: ベッドサイドの診かた 改訂17版(田崎 義昭・斎藤 佳雄・坂井 文彦) 南山堂【4-525-24717-1】
 解剖学アトラス 原著第10版(平田 幸男)文光堂【978-4-8306-0036-4】
 生理学テキスト 第7版(大地 陸男)文光堂【978-4-8306-0226-9】
 PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 国試画像問題攻略(中島 雅美, 中島 喜代彦)医歯薬出版【978-4-263-21439-8】

科目名: **身体障害作業療法技能Ⅱ**

担当者: 田中 睦英(保・作)・立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 前期は内部障害の作業療法について学ぶ。特に呼吸器障害と循環器障害に焦点を置き、臨床場面で活かせる実践的な知識と技術の修得(呼吸・循環器の解剖・生理、疾患の基礎知識、フィジカルアセスメント、心電図の見方、運動処方踏まえた作業療法)を主目標とする。後期については、脊髄損傷、末梢神経損傷、関節リウマチ、骨関節疾患など運動器障害に対する作業療法を中心に、各疾患に対する実践的な作業療法の知識・技術の理解と修得を主目標とする。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 内部障害の概要について理解する。
 - 2) 呼吸器・循環器・代謝機能に関する解剖学・運動生理学について理解を深め、運動負荷量の簡易計算法を習得する。
 - 3) 各内部障害の症状・臨床像を説明できる。
 - 4) 内部障害患者のフィジカルアセスメントについて理解し、実践できる。
 - 5) 脊髄損傷(主に頸髄損傷)の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
 - 6) 末梢神経損傷・神経・筋疾患の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
 - 7) 熱傷の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
 - 8) 関節リウマチの疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
 - 9) 骨・関節疾患の疾患・障害特徴と作業療法について説明できる。
 - 10) 各疾患の作業療法評価計画とプログラムの立案ができる。

評価方法: 前期・後期実施の定期試験70%、ノート提出20%、受講態度10%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各回のテキスト該当部分について60分程度予習・復習すること。併せて対象疾患に関連する解剖学・生理学・運動学について復習すること。また授業ノートの提出を求めらるので、予復習の際にノート整理を行うこと。

オフィスアワー: 12:00~13:00・17:00~18:00(火曜日を除く)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	内部障害の概要と分類について	講義	田中
2	2)	運動生理学に基づいた運動処方について	講義	田中
3	3)	呼吸器障害①呼吸器の解剖・生理と呼吸の生理的意義ならびにメカニズム	講義	田中
4	3)	呼吸器障害②病態生理と疾患、症状について	講義	田中
5	4)	呼吸器障害③フィジカルアセスメントと呼吸理学療法(呼吸介助法)	実技	田中
6	4)10)	呼吸器障害④ADL練習・指導方法	講義	田中
7	2)	循環器障害①解剖・生理と循環器の生理的意義ならびにメカニズム	講義	田中
8	3)	循環器障害②病態生理と心電図	講義	田中
9	4)	循環器障害③運動処方に基づく作業療法プログラムについて	講義	田中
10	3)	糖尿病①疾患の基礎知識	講義	田中
11	4)10)	糖尿病②糖尿病合併例に対する作業療法プログラムについて	講義	田中
12	3)	腎不全①疾患の基礎知識(腎不全症状・合併症や人工透析の仕組み)について	講義	田中
13	4)10)	腎不全②人工透析患者の作業療法プログラムについて	講義	田中
14	3)4)10)	がん①がんの種類と特徴(乳がんを中心に、その症状や後遺症)、作業療法実践について	講義	田中
15	3)10)	がん②がん患者の心理や終末期医療について	講義	田中
16	5)	脊髄損傷①疾患の基礎知識(頸髄損傷を中心に)	講義	田中
17	5)	脊髄損傷②神経症状と合併症	講義	田中
	5)10)			

18		脊髄損傷③作業療法の実際(主にADLについて)	講義	田中
19	6)10)	末梢神経損傷の基礎知識と作業療法実践	講義	田中
20	6)10)	神経・筋疾患の基礎知識と作業療法実践	講義	田中
21	5)10)	【事例検討①】	演習	田中
22	7)	脊髄損傷患者の作業療法プログラム立案	講義	立石
23	7)10)	熱傷①疾患の基礎知識	講義	立石
24	8)	熱傷②作業療法評価とプログラムについて	講義	立石
25	8)10)	関節リウマチ①疾患の基礎知識	講義	立石
26	9)	関節リウマチ②作業療法評価とプログラムについて	講義	立石
27	9)10)	骨・関節疾患①疾患の基礎知識	講義	立石
28	9)10)	骨・関節疾患②上腕骨・前腕骨と作業療法実践	講義	立石
29	9)10)	骨・関節疾患③手指骨折・下肢骨折(大腿骨頸部骨折)と作業療法実践	講義	立石
30	9)10)	骨・関節疾患④肩関節周囲炎・腰痛・変形性関節症と作業療法実践	講義	立石
		【事例検討②】	演習	立石
		骨・関節疾患患者の作業療法プログラム立案		

教科書: 作業療法学全書[改定第3版]作業治療学1身体障害(菅原 洋子 編著)協同医書出版【978-4-7639-2121-5】
標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学(岩崎 テル子編)医学書院【978-4-260-00896-9】

参考書: 解剖学アトラス 原著第10版(平田 幸男)文光堂【978-4-8306-0036-4】
生理学テキスト 第7版(大地 陸男)文光堂【978-4-8306-0226-9】
PT・OT基礎から学ぶ画像の読み方 国試画像問題攻略(中島 雅美, 中島 喜代彦)医歯薬出版【978-4-263-21439-8】

科目名: **精神障害作業療法技能 I**

担当者: 江口 喜久雄(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: ・精神医療, 精神障害に関する法律についての知識を習得する.
・精神障害に関するリハビリテーション施設と社会資源についての知識を習得する.
・精神医療の歴史と現状についての知識を習得する.
・精神障害領域における各種治療理論(精神障害作業療法の関連領域理論)に関する知識を習得する.
また, 各種治療理論の精神科作業療法への応用についても十分な知識を習得する.

以上より, 精神障害作業療法技能 I では, 臨床で根拠のある治療を実施し, 精神科医療に貢献できる作業療法士となるために法律や歴史的背景, 理論を修得する.

到達目標: (SBOs) 1) 精神医療, 精神障害に関する法律について理解し, 説明できる.
2) 精神障害に関するリハビリテーション施設と社会資源について説明できる.
3) 精神科医療の歴史について理解し, 精神疾患の処遇の変遷について説明できる.
4) 精神障害領域における各種治療理論と精神科作業療法への応用について説明できる.

評価方法: ・出席状況, 授業態度, 小テスト, 期末試験により, 総合的に評価する.

準備学習・履修上の注意等: ・教員からの質問に積極的に答える.
・ディスカッションでは自分の考えを発言するよう努める.
・1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと.

オフィスアワー: ・講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【精神障害者福祉に関する法律 I】	講義	江口
2	1)	【精神障害者福祉に関する法律 II】	講義	江口
3	1)	【精神障害者福祉に関する法律 III】	講義	江口
4	2)	【精神障害に関するリハビリテーション施設と社会資源】	講義	江口
5	3)	【精神科医療の歴史】	講義	江口
6	4)	【園芸療法】	講義	江口
7	4)	【芸術療法】	講義	江口
8	4)	【絵画療法】	講義	江口
9	4)	【音楽療法】	講義	江口
10	4)	【レクリエーション療法】	講義	江口
11	4)	【行動療法】	講義	江口
12	4)	【森田療法】	講義	江口
13	4)	【箱庭療法】	講義	江口
14	4)	【家族療法】	講義	江口

15	4)	【心理劇】	講義	江口
16	4)	【心理教育】	講義	江口
17	4)	【精神分析療法Ⅰ(理論)】	講義	江口
18	4)	【精神分析療法Ⅱ(流れ)】	講義	江口
19	4)	【交流分析】	講義	江口
20	4)	【精神療法Ⅰ(基礎)】	講義	江口
21	4)	【精神療法Ⅱ(治療構造)】	講義	江口
22	4)	【精神療法Ⅲ(疾患別)】	講義	江口
23	4)	【集団療法】	講義	江口
24	4)	【治療共同体理論】	講義	江口
25	2)	【デイケア】	講義	江口
26	4)	【精神科作業療法Ⅰ(理論)】	講義	江口
27	4)	【精神科作業療法Ⅱ(治療構造)】	講義	江口
28	4)	【精神科作業療法Ⅲ(技術)】	講義	江口
29	4)	【統合失調症の認知機能】	講義	江口
30	4)	【治療構造のまとめ】	講義	江口

教科書： <<標準作業療法学 専門分野>>精神機能作業療法学 第2版 (小林 夏子) 医学書院 【978-4-260-01942-2】
精神障害と作業療法 新版 (山根 寛) 三輪書店 【978-4-89590-504-6】

参考書： 使用しない。

科目名: **機能代償技能 I**

担当者: 立石 修康(保・作)

配当学科: 作業療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 四肢切断のリハビリテーションに貢献できる作業療法士となるために、機能を補う方法としての義手と義足の種類と構造および適応について理解し、特に義手については、そのチェックアウトおよび訓練方法を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)切断の術式や断端の成熟の概要を理解・説明できる。
2)義肢や装具のバイオメカニクスの概要を理解・説明できる。
3)義足について説明できる。
4)義手について説明できる。
5)義手のチェックアウトについて説明できる。
6)筋電義手について説明できる。

評価方法: 毎授業の終了前15分間を「理解の確認時間」として、ノートの整理や質疑応答によるフィードバックを行う。評価は、この確認時間の成果、および授業自体への取り組み姿勢を10%、および単位認定試験等を90%として単位認定を行う。なお、単位認定試験の問題の80%程度を受験者本人による自己採点とし、理解度のフィードバックを行う。

準備学習・履修上の注意等: 各回の授業内容について、60分程度の予習と復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週金曜日13:00から17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	切断の術式や断端の成熟の概要	講義、SGD	立石
2	2)	義肢や装具のバイオメカニクスの概要	講義、SGD	立石
3	3)	義足のうち、大腿義足についてその構造	講義、SGD	立石
4	3)	義足のうち、下腿義足についてその構造	講義、SGD	立石
5	3)	義足のうち、下腿義足、特にPTBソケットについてその構造	講義、SGD	立石
6	4)	前腕義手のコントロールシステムについて	講義、SGD	立石
7	4)	上腕義手のコントロールシステムについて	講義、SGD	立石
8	4)	肩義手の構造と操作方法について	講義、SGD	立石
9	4)	上腕義手の構造と操作方法について	講義、SGD	立石
10	4)	前腕義手の構造と操作方法について	講義、SGD	立石
11	4)	前腕義手、特にミュンスターソケットとノースウェスタンソケットについて	講義、SGD	立石
12	5)	上腕義手のチェックアウトについて	講義、SGD	立石
13	5)	前腕義手のチェックアウトについて	講義、SGD	立石
14	5)	上腕義手と前腕義手の操作エクササイズについて	講義、SGD	立石
15	6)	筋電義手の構造と操作方法について	講義、SGD	立石

教科書: 義肢装具学 (川村 次郎・陳 隆明 他) 医学書院【ISBN-13: 978-4260005104】

参考書: 使用しない。

科目名: 評価シミュレーション実習**担当者:** 田中 睦英(保・作)、園田 徹(保・作)、立石 修康(保・作)、樋口 博之(保・作)、内勢 美絵子(保・作)、吉田健(保・作)、江口喜久雄(保・作)**配当学科:** 作業療法学科(3年)**必修・選択:** 必修 **単位数:** 4 **時間数:** 120 **開講期:** 後期 **授業形態:** 学内実習**授業概要:** 教員の演じる模擬症例に対する評価活動の実践をとおして、3年間の座学で学んだすべての知識と技術を動員しそれらを統合し、4年時の総合臨床実習のレディネスを形成する。**到達目標:** 1)臨床実習を行う際の手続きについて学ぶ。
(SBOs) 2)身体障害、発達障害、精神障害、老年期に特徴的な疾患(認知症)の評価が行える。
3)障害像のまとめをICFを使いまとめることができる**評価方法:** 達成度合いはイベントごとに毎日口頭にて知らせる。最終評価は、授業への取り組み姿勢を10%、評価レポートを90%として評価する。**準備学習・履修上の注意等:** 1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと**オフィスアワー:** 担当教員のオフィスアワーに準じる**授業計画**

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
2	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
3	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
4	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
5	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
6	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
7	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
8	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
9	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
10	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
11	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
12	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
13	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
14	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
15	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
16	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
17	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員

精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。

18	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
19	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
20	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
21	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
22	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
23	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
24	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
25	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
26	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
27	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
28	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
29	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員
30	1)2)3)	本実習は到達目標そのものを学生自らの試行錯誤によって発見し、構築してゆく。精神疾患に関しては実際の病院にて評価を行う。	実習	全員

教科書： 使用せず

参考書： 使用せず

科目名: **生理・病理学**

担当者: 大津 隆一(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 健康を維持する仕組みについて知るとともに、基礎病変の定義を把握し、病変にいたる変化の過程を理解するため、生体に起こるいろいろな形態と機能の変化が、どんな原因で起こり(病因)、どんな変化を生じ(病変・疾患)、どのように推移し(経過)、どうなっていくのか(転帰)という病気の本質を理解することにより、言語聴覚士に必須の知識を修得する(DP1~7;CP1(4))。

到達目標: (SBOs) 1)病気の外因と内因を列挙できる。また、老化により生体に起こる変化を説明できる。
2)退行性変性(変性・萎縮・壊死)、異常物質の沈着、肥大・再生・化生について説明できる。
3)創傷の治癒・異物処理・再生について説明できる。
4)局所の循環障害および全身の循環障害について列挙し、説明できる。
5)炎症の徴候を提示し、炎症の種類を列挙できる。
6)免疫の仕組みにとアレルギーを説明できる。また、感染の仕組みを説明でき、病原微生物を列挙できる。
7)腫瘍の種類を列挙し、腫瘍の発育や転移について説明できる。また、腫瘍の疫学についても説明できる。
8)遺伝子病について説明できる。また、染色体異常による疾病について提示でき、先天奇形を列挙できる。

評価方法: 定期試験

準備学習・履修上の注意等: 配布資料による予習と、配布演習問題を解答し復習する。

オフィスアワー: 毎週登校日12:00~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【病気の原因を学ぶ①】	講義	大津
2	2)	【退行性変性を学ぶ①】	講義	大津
3	2)	【代謝障害を学ぶ①】	講義	大津
4	3)	【進行性変性を学ぶ①】	講義	大津
5	3)	【修復・再生を学ぶ①】	講義	大津
6	4)	【局所の循環障害を学ぶ①】	講義	大津
7	4)	【全身の循環障害を学ぶ①】	講義	大津
8	5)	【炎症を学ぶ①】	講義	大津
9	6)	【免疫を学ぶ①】	講義	大津
10	6)	【感染症を学ぶ①】	講義	大津
11	7)	【腫瘍を学ぶ①】	講義	大津
12	7)	【腫瘍の疫学を学ぶ①】	講義	大津
13	8)	【遺伝と遺伝子病を学ぶ①】	講義	大津
14	8)	【染色体異常と先天異常を学ぶ①】	講義	大津
15	1)	【老化を学ぶ①】	講義	大津

教科書: シンプル病理学 改訂第7版(笹野 公伸・岡田 保典・安井 弥 編)南江堂【987-4-524-26154-3】
シンプル生理学 改訂第7版(貴邑 富久子・根来 英雄 著)南江堂【978-4-525-26664-7】

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床医学**

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 内科学は、臨床医学の基礎をなす。日常診療のなかで頻度の高い疾患と、最近話題になることの多い疾患について、概要、頻度、症候と病態生理、診断、治療と予後の要点を言語聴覚療法との関連で理解し、国家試験はもとより、将来の職業で役立つために、内科学の知識を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 全身的症状あるいは訴えの生理学的背景と発生機序について説明できる。
- 2) 代表的な疾患の診断法を説明できる。
- 3) 代表的な疾患について、その概念、病態、臨床検査、治療法、予後などについて説明できる。
- 4) 免疫・アレルギーについて説明できる。
- 5) 各器官・臓器の構造と機能について説明できる。
- 6) 加齢現象、老人性疾患について説明できる。
- 7) ビタミンとビタミン欠乏症について説明できる。
- 8) 血液の成分、性状、機能、造血組織の解剖と生理、血液幹細胞について説明できる。

評価方法: 学期末に行う筆記試験の点数および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日1:800~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床医学総論、症候学	講義	園田
2	1)~3)	感染症①	講義	園田
3	1)~3)	感染症②	講義	園田
4	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全①	講義	園田
5	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全②	講義	園田
6	1)~3)5)	循環器疾患①	講義	園田
7	1)~3)5)	循環器疾患②	講義	園田
8	1)~3)5)	呼吸器疾患①	講義	園田
9	1)~3)5)	呼吸器疾患②	講義	園田
10	1)~3)5)	消化器疾患①	講義	園田
11	1)~3)5)	消化器疾患②	講義	園田
12	1)~3)5)	内分泌疾患	講義	園田
13	1)~3) 5)~7)	代謝性疾患、老年医学	講義	園田
14	1)~3)5)8)	血液・造血疾患	講義	園田
15	1)~3)5)	腎・泌尿器疾患	講義	園田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床医学**

担当者: 園田 徹(保・作)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 内科学は、臨床医学の基礎をなす。日常診療のなかで頻度の高い疾患と、最近話題になることの多い疾患について、概要、頻度、症候と病態生理、診断、治療と予後の要点を言語聴覚療法との関連で理解し、国家試験はもとより、将来の職業で役立つために、内科学の知識を修得する。

到達目標: (SBOs) 1)全身的症状あるいは訴えの生理学的背景と発生機序について説明できる。
2)代表的な疾患の診断法を説明できる。
3)代表的な疾患につて、その概念、病態、臨床検査、治療法な、予後などについて説明できる。
4)免疫・アレルギーについて説明できる。
5)各器官・臓器の構造と機能について説明できる。
6)加齢現象、老人性疾患について説明できる。
7)ビタミンとビタミン欠乏症につて説明できる。
8)血液の成分、性状、機能、造血組織の解剖と生理、血液幹細胞について説明できる。

評価方法: 学期末に行う筆記試験の点数および学習への取り組み姿勢(授業態度)で評価する。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。毎授業後に必ずレジュメを読み返すこと。
高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 毎週月・火曜日1:800~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	臨床医学総論、症候学	講義	園田
2	1)~3)	感染症①	講義	園田
3	1)~3)	感染症②	講義	園田
4	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全①	講義	園田
5	1)~4)	膠原病、アレルギー疾患、免疫不全②	講義	園田
6	1)~3)5)	循環器疾患①	講義	園田
7	1)~3)5)	循環器疾患②	講義	園田
8	1)~3)5)	呼吸器疾患①	講義	園田
9	1)~3)5)	呼吸器疾患②	講義	園田
10	1)~3)5)	消化器疾患①	講義	園田
11	1)~3)5)	消化器疾患②	講義	園田
12	1)~3)5)	内分泌疾患	講義	園田
13	1)~3) 5)~7)	代謝性疾患、老年医学	講義	園田
14	1)~3)5)8)	血液・造血疾患	講義	園田
15	1)~3)5)	腎・泌尿器疾患	講義	園田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床医学**

担当者: 吉武 重徳(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 内科学は、臨床医学の基礎をなす。日常診療のなかで頻度の高い疾患と、最近話題になることの多い疾患について、概要、頻度、症候と病態生理、診断、治療と予後の要点を視機能療法との関連で理解し、国家試験はもとより、将来の職業で役立つ知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)全身的症状あるいは訴えの生理学的背景と発生機序について説明できる。
2)代表的な疾患の診断法を説明できる。
3)代表的な疾患について、その概念、病態、臨床検査、治療法、予後などについて説明できる。
4)免疫・アレルギーについて説明できる。
5)各器官・臓器の構造と機能について説明できる。
6)ビタミンとビタミン欠乏症について説明できる。
7)血液の成分、性状、機能、造血組織の解剖と生理、血液幹細胞について説明できる。

評価方法: 学期末に行う筆記試験の点数で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
高校時代に生物学を履修しなかった学生は、自分で勉強して生物学の基礎知識を身につけておくこと。

オフィスアワー: 金曜日11:00~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【臨床医学総論】、症候学について、症状から診断に至る過程の流れを学習する。	講義	吉武
2	1)~3)	【感染症①】感染が成立する条件、様式から感染症を学習する。	講義	吉武
3	1)~3)	【感染症②】感染症の症状、診断治療の様式を学習する。	講義	吉武
4	1)~4)	【膠原病、アレルギー疾患、免疫不全①】免疫の機序について学習する。	講義	吉武
5	1)~4)	【膠原病、アレルギー疾患、免疫不全②】免疫関連の疾患を学習する。	講義	吉武
6	1)~3)5)	【循環器疾患①】循環器機能を学び、機能的疾患について学習する。	講義	吉武
7	1)~3)5)	【循環器疾患②】急性の循環器疾患について診断治療を学習する。	講義	吉武
8	1)~3)5)	【呼吸器疾患①】呼吸機能を学び、機能的疾患について学習する。	講義	吉武
9	1)~3)5)	【呼吸器疾患②】呼吸器の悪性疾患について診断治療を学習する	講義	吉武
10	1)~3)5)	【消化器疾患①】消化器の機能を学び、機能的疾患について学習する。	講義	吉武
11	1)~3)5)	【消化器疾患②】消化器の悪性疾患について診断治療を学習する。	講義	吉武
12	1)~3)5)6)	【内分泌疾患】内分泌異常の病態を学び、眼疾患へと関連付けて考えてみる。	講義	吉武
13	1)~3)5)7)	【代謝性疾患】代謝異常の病態を学び、眼疾患へと関連付けて考えてみる。	講義	吉武
14	1)~3)5)	【血液・造血疾患】血液生理学を学び、貧血をはじめとする病態を学習する。	講義	吉武
15		【腎・泌尿器疾患】腎臓の機能を学び、慢性疾患から終末期の治療について学習		

教科書: 内科学(コメディカルのための専門基礎分野テキスト)中外医学社; 5版? ISBN-13: 978-4498076709

参考書: 使用しない。

科目名: **精神医学**

担当者: 辻正之(非常勤講師)、中山広宣(保・作)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語機能の障害を人の胎生期から、成人し老化へ進むあらゆる過程で発生する。特に小児の発達期と老年期の基本授業概要:①精神機能について、②精神疾患と精神障害について、③精神疾患(障害)の治療とリハビリテーション。
一般目標:近年の社会構造や疾病構造の変化により、身体障害と精神的・心理的障害を合併した対象者が増加している。そのため、精神障害、および老年期疾患、高次脳障害、発達障害、身体障害の精神的・心理的・社会的支援は欠かすことができない。このような多様な背景を持つ精神障害者に対しても支援を行うことのできる言語聴覚士となるために(DP4,5)、精神障害者や身体障害者の精神・心理を理解し、リハビリテーションの方法を修得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs)
1. 精神症状の概略について説明できる。
2. 精神医学の診断と評価、治療について概説できる。
3. 各種精神疾患の成因を説明できる。
4. 各種精神疾患の精神症状を述べるができる。
5. 薬物療法について述べるができる。
6. 精神療法の種類とその内容を説明できる。
7. 精神障害者の治療形態を述べるができる。
8. 精神障害者のリハビリテーションの流れと社会資源を述べるができる。

評価方法: 定期試験及び授業受講態度(小レポートや発表)

準備学習・履修上の注意等: 精神医学を学ぶことは人(精神または心)の理解において非常に重要である。そのため、疾患や障害をもった人を対象とする医療者には欠かせない学問であることを忘れずに受講すること。予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2	異常を判定する基準, 精神医学特有の方法(了解, 追体験, 解釈等)	講義	辻
2	1,2	精神症状の概略	講義	辻
3	1,2	伝統的分類(器質性、内因性、心因性), 国際的診断分類(ICD, DSM)	講義	辻
4	1,2	精神障害の評価と診断, 薬物療法	講義	辻
5	3,7,8	精神障害の成因と分類, 精神保健福祉法, 入院形態, 医療観察法	講義	中山
6	3,4	精神機能の障害と精神症状(意志の障害, 自我障害, 知覚障害, 思考障害, 感情障害)□	講義	中山
7	3,4,5,6	脳器質性精神障害(アルツハイマー病, 脳血管性認知症, その他の認知症)	講義	中山
8	3,4,5,6	症状性精神障害, 精神作用物質障害(アルコール依存症, 薬物依存症), てんかん	講義	中山
9	3,4,5,6	統合失調症 I (タイプと症状)	講義	中山
10	5,6	統合失調症 II (治療)	講義	中山
11	3,4,5,6	気分障害(うつ病, 躁うつ病)	講義	中山
12	3,4,5,6	神経症性障害(不安神経症障害, 恐怖症性障害, 強迫性障害, 解離性障害)	講義	中山
13	3,4,5,6	生理的障害, 身体要因に関連した精神障害, 人格障害	講義	中山
14	3,4,5,6	精神遅滞, 発達障害, 心身医学, リエゾン精神医学	講義	中山
15	5,6,7,8	精神障害者の治療(精神療法, 薬物療法)とリハビリテーション□	講義	中山

教科書: 標準理学療法・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版 医学書院【ISBN 978-4-260-02434-1】

参考書: 現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版

科目名: **耳鼻咽喉科学**

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)、島田 亜紀(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・SGD

授業概要: 多様な状態を示す言語聴覚障害児・者に適切な言語聴覚療法を行う言語聴覚士となるために、耳鼻咽喉科学領域の耳科学および鼻科学の基礎知識を理解し、言語聴覚障害像として修得する(DP3、CP1(4))。

到達目標: (SBOs) 1)聴覚器の解剖学に精通し、聴覚機能のメカニズムを理解説明できる。
2)鼻・副鼻腔の解剖学に精通し、疾患と症候を理解説明できる。
3)耳鼻咽喉科領域において言語聴覚士が取り組む障害や役割について理解することができる。
4)耳鼻咽喉科領域において言語聴覚士が取り組む検査・評価や役割について理解することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題提出状況、小テスト等)の評価30%、単位認定試験70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 単なる知識の習得の場ではなく、自ら能動的に学ぶ場であることを理解しておくこと。毎回1時間以上の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜日～木曜日 12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理①	講義	島田
2	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理②	講義	島田
3	1)	【耳科学】聴覚器の解剖と生理③	講義	島田
4	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療①	講義	島田
5	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療②	講義	島田
6	1)	【耳科学】耳の疾患と症候、診断、治療③	講義	島田
7	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能①	講義	島田
8	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能②	講義	島田
9	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の構造と機能③	講義	島田
10	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療①	講義	島田
11	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療②	講義	島田
12	2)	【鼻科学】鼻・副鼻腔の疾患と症候、診断、治療③	講義	島田
13	3)	言語聴覚士が取り組む耳鼻咽喉科領域の障害	講義・SGD	長嶋
14	4)	耳鼻咽喉科における聴こえとことばの検査	講義・SGD	長嶋
15	3)4)	耳鼻咽喉科領域における言語聴覚療法	講義・SGD	長嶋

教科書: 言語聴覚士のための耳鼻咽喉科学第2版(鳥山稔・田内光 編) 医学書院【978-4-260-00444-2】
新耳鼻咽喉科学入門 改訂新版(言語聴覚士のための講義ノート)中野 雄一(著) 考古堂書店【978-4-87499-710-9】

参考書: 耳鼻咽喉科疾患ビジュアルブック 監修:落合慈之 編:中尾一成 学研メディカル秀潤社【978-4-7809-1050-6】

科目名: **臨床歯科医学**

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年次)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行する(DP3,4)のために歯科医学および口腔外科学について学び、口腔内の形態のおよび機能的障害について修得する(CP1)。また言語聴覚士として臨床現場に臨む際に必要な基本的知識を習得し、歯科専門職との更なる連携を目指す(CP5)。

到達目標: 1)歯・歯周組織の発生, 機能, 疾患およびそれに対する治療法について説明できる。
2)口腔ケアの意義および内容について説明できる。
3)口腔器官の構造, 機能, 疾患およびそれに対する治療法について説明できる。
4)言語障害と関係のある疾患およびそれに対する治療法について説明できる。
5)口腔領域の障害に対する歯科医学的対応について説明できる。
6)口腔機能障害(後天的疾患, 中枢性疾患, 加齢による)およびその治療法について説明できる。

評価方法: 単位認定試験90%、授業への取り組み姿勢(課題の提出状況・授業への参加の評価)を10%とし、単位認定を行う

準備学習・履修上の注意等: 口腔解剖学を修得済みであること。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。講義時には教科書を使うため、必ず持ってくること。

オフィスアワー: 火曜日12:30~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【歯科医学について①】 歯科医学の特徴, 概要 歯・歯周組織の発生, 機能	講義	中村
2	1)	【歯科医学について②】 歯・歯周組織の疾患, 治療	講義	中村
3	2)	【口腔ケアについて】 口腔ケアの意義, 内容	講義	中村
4	3)	【口腔外科学について①】 口腔・顎・顔面の発生, 構造, 機能	講義	中村
5	3)	【口腔外科学について②】 口腔・顎・顔面の疾患, 治療	講義	中村
6	3)	【口腔外科学について③】 顎関節・唾液腺の発生, 構造, 疾患, 治療	講義	中村
7	4)	【言語障害と関係のある疾患について①】 唇顎口蓋裂および関連類似疾患, 治療	講義	中村
8	4)	【言語障害と関係のある疾患について②】 口腔軟組織異常・顎変形症・顎の先天および発育異常・顎関節疾患, 治療	講義	中村
9	4)	【言語障害と関係のある疾患について③】 唾液腺疾患・末梢神経障害・口腔乾燥症, 治療	講義	中村
10	5)	【言語障害と関係のある疾患について④】 口腔粘膜疾患, 治療 口腔を構成する器官に影響を与える症候群	講義	中村
11	5)	【言語・咀嚼・摂食障害に対する歯科医学的対応について】 手術的療法, 人工材料による機能回復, 訓練, 歯科画像検査	講義	中村
12	6)	【口腔機能障害について①・後天的疾患 その1】 歯・口腔・顎・顔面の炎症・腫瘍による口腔機能障害, 治療	講義	中村
13	6)	【口腔機能障害について②・後天的疾患 その2】 歯・口腔・顎・顔面のう胞・外傷による口腔機能障害, 治療, 再建と機能回復	講義	中村
14	6)	【口腔機能障害について③】 中枢性疾患による口腔機能障害, 治療, 評価	講義	中村
15	6)	【口腔機能障害について④】 加齢による口腔機能障害および対応 筋機能療法	講義	中村

教科書: 言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学 第2版(夏目 長門) 医学書院【978-4-260-02812-7】

参考書: 適宜指示します

科目名: **呼吸発声発語系の構造、機能、病態**

担当者: 原 修一(保・言語) 宇高 二良(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 呼吸、発声、発語は一連の運動であり、切り離して考えることは出来ない。発語がヒト固有の機能である一方、呼吸、発声はほ乳類共通の機能であり、その相違点を念頭に置いた上で、言語聴覚士の臨床を行う必要がある。本講義は、高い知識を持った言語聴覚士になるために、これらの仕組みを十分に理解し、その知識を、言語聴覚士の臨床へ応用できるように修得する(DP3&4)。

到達目標: (SBOs) 1)呼吸発声発語器官の名称、形態および位置を説明できる。
2)肺、気管支等の呼気出力系の機能と構造を説明できる。
3)喉頭の発声機能と構造を説明できる。
4)鼻腔、口腔、咽頭の構音機能機能と構造を説明できる。
5)呼吸発声発語系機能を調べる諸検査を実施することができる。

評価方法: 試験(筆記)・レポート課題

準備学習・履修上の注意等: 呼吸、発声、発語器官は体表面から見えない管腔臓器であり、理解するための積極的姿勢と努力が必要である。講義終了の時点で十分な知識を獲得できるようにまとめや小テストの時間を挿んでゆく予定である。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	呼吸器系の基本構造・機能・病態(1)	講義	宇高
2	1)~4)	呼吸器系の基本構造・機能・病態(2)	講義	宇高
3	1)~4)	呼吸運動・呼吸器系の病態	講義	宇高
4	1)~5)	呼吸機能検査	講義	宇高
5	1)~4)	喉頭の基本構造	講義	宇高
6	1)~4)	喉頭の機能	講義	宇高
7	1)~4)	喉頭の検査	講義	宇高
8	1)~4)	喉頭の病態	講義	宇高
9	1)~4)	構音器官の基本構造	講義	宇高
10	1)~4)	構音運動	講義	宇高
11	1)~4)	構音器官の検査	講義	宇高
12	1)~4)	構音器官の病態	講義	宇高
13	1)~4)	音声機能の検査(1)	講義	原
14	1)~5)	音声機能の検査(2)	講義	原
15	1)~5)	音声機能の検査(3)	講義	原

教科書: 使用しない。

参考書: 新ことばの科学入門(廣瀬 肇) 医学書院【4-260-24437-X】

科目名: **聴覚系の構造、機能、病態**

担当者: 留守 拓也(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本科目では、言語聴覚士として必要な知識・技能を身につけるために(DP3)、正常聴覚系の構造・機能に関する基礎知識を修得する(CP1(1))。また、聴覚系の構造・機能と関連づけて、その病態について理解し修得する(CP1(4))。

到達目標: 1) 感覚・知覚・認知機能の概要について説明できる
(SBOs) 2) 聴覚系の概要を説明できる
3) 聴覚機能の概要を説明できる
4) 伝音系の概要を説明できる
5) 感音系の概要を説明できる
6) 聴覚障害と聴覚系の構造・機能との関連を説明できる
7) 耳音響放射と聴覚系の構造・機能との関連を説明できる
8) 聴性誘発電位と聴覚系の構造・機能との関連を説明できる
9) 聴覚補償と聴覚系の構造・機能との関連を説明できる

評価方法: 平常点(授業への参加状況、レポート等)30%、筆記試験得点70%。

準備学習・履修上の注意等: 聴覚系を中心に、発声発語系・中枢神経系についても、その構造と機能、発達、その他全般について、予め30分を目安に自習を済ませておいて下さい。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間に行う。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	感覚・知覚・認知機能	講義	留守
2	1)3)	聴覚機能の概要	講義	留守
3	1)~3)	聴覚系の構造・機能の概要	講義	留守
4	1)~4)	伝音系の構造・機能①	講義	留守
5	1)~4)	伝音系の構造・機能②	講義	留守
6	1)~5)	感音系の構造・機能①	講義	留守
7	1)~5)	感音系の構造・機能②	講義	留守
8	1)~5)	内耳の微細構造	講義	留守
9	1)~6)	伝音系の病態①	講義	留守
10	1)~6)	伝音系の病態②	講義	留守
11	1)~6)	感音系の病態①	講義	留守
12	1)~6)	感音系の病態②	講義	留守
13	1)~7)	耳音響放射の概要	講義	留守
14	1)~8)	聴性誘発電位の概要	講義	留守
15	1)~9)	聴覚補償(補聴器と人工内耳)	講義	留守

教科書: 資料配付致します。

参考書: 資料配付致します。

科目名: **神経系の構造、機能、病態**

担当者: 原 修一(保・言)、吉武義徳(視機能)、橋本洋一郎(非常勤講師)、杉下守弘(非常勤講師)、武居光雄(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 脳・神経系の構造と機能、および病態(神経症候学)を知ることが、言語聴覚士になるために必須の知識である。本講義では、脳・神経系の構造と機能を、運動・感覚・内臓(自律神経)という側面より理解する(DP1)。さらに、神経症候学(脳血管障害、感染症、変性疾患等)、高次脳機能障害の概要を理解し、言語聴覚障害の正確な評価や訓練に必要なプロセスを遂行できるようにする(DP3&4)。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 運動と脳、神経の関係を説明できる。
 - 2) 感覚と脳、神経の関係を説明できる。
 - 3) 内臓(自律神経)と脳、神経の関係を説明できる。
 - 4) 神経症候学全般について概要を説明できる。
 - 5) 神経系の疾患と言語聴覚療法との関連性について説明できる。
 - 6) 脳血管障害について説明できる。
 - 7) 神経系の臨床検査について説明できる。
 - 8) 大脳の主要な解剖学的領域について、画像診断学的に説明できる。
 - 9) 変性疾患・脱髄疾患・末梢神経疾患について説明できる。
 - 10) 発作性疾患について説明できる。

評価方法: 単位認定試験(100%)

準備学習・履修上の注意等: 特になし

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	神経症候学概論①	講義	吉武
2	1)2)3)	神経症候学概論②	講義	吉武
3	4)	神経疾患概論①	講義	吉武
4	4)	神経疾患概論②	講義	吉武
5	1)-5)	言語聴覚士と関連の深い神経系の構造・機能・病態①	講義	原
6	1)-5)	言語聴覚士と関連の深い神経系の構造・機能・病態②	講義	原
7	6)	脳血管障害① 一過性脳虚血発作、脳梗塞の症候と発生機序	講義	橋本
8	6)	脳血管障害② 脳出血の症候と発生機序	講義	橋本
9	6)	脳血管障害③ くも膜下出血等出血性疾患の症候	講義	橋本
10	7)	神経系臨床検査の方法と結果の解釈	講義	橋本
11	8)	神経系の画像診断①	講義	杉下
12	8)	神経系の画像診断②	講義	杉下
13	9)	変性疾患の症候と発生機序	講義	原
14	10)	発作性疾患の症候と発生機序①	講義	武居
15	10)	発作性疾患の症候と発生機序②	講義	武居

教科書: 臨床神経内科学(平山恵三)改訂6版 南山堂【978-4525-24766-9】

参考書: 使用しない

科目名: **生涯発達心理学**

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用いて評価、支援を行う言語聴覚士になるために、人間の生涯発達について、受精から死に至る心身の変化を生涯にわたっての必須の知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)生涯発達心理学の学問領域を理解する。
2)人間の発達の原理を理解する。
3)人間の発達課題とその主な内容について説明できる。
4)発達と、遺伝、環境の関係を説明できる。
5)諸側面の発達が測定できる。

評価方法: 平常点10%、中間テスト45%、期末試験45%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【生涯発達の意味を学ぶ】 生涯発達心理学が扱う3つの時期について列挙できる。	講義	松山
2	1)2)	【生涯発達心理学の対象について学ぶ】 個体発生と系統発生について説明できる。	講義	松山
3	2)	【人間の発達の特徴について学ぶ】 発達の各法則と、臨界期、最適期の意味を説明できる。	講義	松山
4	2)3)	【障がい児の発達の特徴について学ぶ】 障がい児の発達の主な特徴を列挙できる。	講義	松山
5	2)	【発達の要因について学ぶ】 成熟と学習について説明できる。	講義	松山
6	2)4)	【発達の要因に関する諸説について学ぶ①】 成熟優位説と経験説について説明できる。	講義	松山
7	2)4)	【発達の要因に関する諸説について学ぶ②】 輻輳説と相互作用説について説明できる。	講義	松山
8	3)	【ハヴィガーストの発達課題について学ぶ①】 映画「いけちゃんとおぼく」の視聴し、児童期の発達課題を考えることができる。	演習	松山
9	3)4)	【ハヴィガーストの発達課題について学ぶ②】 映画「いけちゃんとおぼく」の視聴し、児童期の発達課題を考えることができる。	演習	松山
10	3)4)	【エリクソンの人格発達理論について学ぶ①】 エリクソンの人格発達理論の概要を説明することができる。	講義	松山
11	3)4)	【エリクソンの人格発達理論について学ぶ②】 エリクソンの青年期の発達課題を説明することができる。	講義	松山
12	3)4)	【乳幼児期の発達課題について学ぶ①】 愛着の意味とその発達段階について説明できる。	講義	松山
13	3)4)5)	【乳幼児期の発達課題について学ぶ②】 愛着の質の測定方法について説明できる。	講義	松山
14	3)4)	【幼児期の養育環境について学ぶ①】 養育態度と発達について説明できる。	講義	松山
15	3)4)5)	【幼児期の養育環境について学ぶ②】 養育態度とその測定方法について説明できる。	講義	松山

教科書: 特に指定しない。

参考書: 図でわかる発達心理学 (新井 邦二郎) 福村出版 【978-4571230349】
図解雑学 発達心理学 (山下 富美代・井田 政則・山村 豊) ナツメ社 【978-4816】

科目名: **生涯発達心理学演習**

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用いて評価、支援を行うために、人間の生涯発達の各領域について、発達の原理や現象人間の必須の知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 発達の各領域の範疇について説明できる。
2) 発達の各領域の発達順序が説明できる。
3) 発達の各領域に関連する研究結果や諸説が理解できる。
4) 発達全般や各領域の水準が測定できる。

評価方法: 平常点20%、中間テスト45%、期末試験45%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【社会性の発達について学ぶ①】 乳児期の人の顔の知覚について説明できる。	講義	松山
2	1)2)	【社会性の発達について学ぶ②】 パーテンの遊びの発達について説明できる。	演習	松山
3	2)4)	【社会性の発達について学ぶ③】 集団の発達について説明できる。	講義	松山
4	1)2)	【認知の発達について学ぶ①】 ピアジェの思考の4つの発達段階とそのメルクマールについて列挙できる。	講義	松山
5	1)2)	【認知の発達について学ぶ②】 ピアジェの思考の発達段階のメルクマールについて説明できる。	講義	松山
6	1)2)	【認知の発達について学ぶ③】 ピアジェの感覚運動期と具体的操作期について説明できる。	講義	松山
7	1)3)	【認知の発達について学ぶ④】 学習の準備性と「発達の最近接領域」の違いについて説明できる。	講義	松山
8	1)3)	【知覚の発達について学ぶ①】 知覚の概念と特性について説明できる。	講義	松山
9	1)2)3)	【知覚の発達について学ぶ②】 視覚的断崖実験について説明できる。	講義	松山
10	1)2)	【運動の発達について学ぶ①】 運動発達の法則について列挙できる。	講義	松山
11	1)2)	【運動の発達について学ぶ②】 運動発達の標準月齢について列挙できる。	講義	松山
12	1)4)	【発達の評価方法について学ぶ②】 主な発達検査の目的と方法について説明できる。	講義	松山
13	4)	【発達の評価方法について学ぶ②】 遠城寺式乳幼児分析的発達検査の採点方法と分析結果について説明できる。	演習	松山
14	1)3)	【感情の発達について学ぶ①】 生理反応と情動の関係について説明できる。	講義	松山
15	1)2)	【感情の発達について学ぶ②】 感情の分化について説明できる。	講義	松山

教科書: 特に指定しない。

参考書: 図でわかる発達心理学(新井 邦二郎) 福村出版【978-4571230349】

科目名: **学習・認知心理学**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害者の評価や支援に資する基本的な心理学的知見を身につけるために(DP3,4)、直接経験、及び間接経験に基づく学習の基本的な原理、学習の礎となる感覚の種類とその特徴、知覚における基本的な現象を修得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs)
1) 生得的行動の例と学習された行動との違い、古典的条件づけ、試行錯誤学習を説明できる。
2) 行動主義、新行動主義に基づく学習理論、オペラント条件づけの基本的な現象を説明できる。
3) 技能学習、模倣学習、観察学習の基本的な現象を説明できる。
4) 感覚の種類、知覚(色、奥行き、形、運動)における基本的な現象を説明できる。

評価方法: 2回に1回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを30%、学期末の単位認定試験を70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	学習とは何か: 定義、生得的行動の例、学習された行動との違い	講義	内藤
2	1)	古典的条件づけ: 条件反射の形成、消去、自発的回復、般化、分化	講義	内藤
3	1)	試行錯誤学習: Thorndikeによる問題箱を用いた試行錯誤学習とその説明原理	講義	内藤
4	2)	行動主義に基づく学習理論: Watsonの行動主義、恐怖条件づけのメカニズム	講義	内藤
5	2)	新行動主義に基づく学習理論: Hull、Tolmanの学習理論	講義	内藤
6	2)	オペラント条件づけ(1): Skinner箱、正の強化、マガジン訓練、シェーピング	講義	内藤
7	2)	オペラント条件づけ(2): 強化のスケジュール	講義	内藤
8	2)	オペラント条件づけ(3): 臨床場面への応用(行動療法、応用行動分析)	講義	内藤
9	3)	技能学習: プラトー、結果の知識、集中と分散、転移	講義	内藤
10	3)	社会的学習(1): モデル、模倣、模倣学習	講義	内藤
11	3)	社会的学習(2): 観察学習、代理強化と代理罰、社会的学習理論	講義	内藤
12	4)	感覚(1): 学習の礎となる感覚の種類とその内容	講義	内藤
13	4)	感覚(2): 視覚優位の統合、網膜における2つの視細胞の働き	講義	内藤
14	4)	知覚(1): 色彩知覚、知覚の恒常性	講義	内藤
15	4)	知覚(2): 奥行き知覚の手がかり、形の知覚と群化の要因、運動知覚における諸現象	講義	内藤

教科書: 使用しない。講義レジュメを配布する。

参考書： 第1回に紹介する。

科目名: **学習・認知心理学演習**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害者の評価や支援に資する基本的な心理学的知見を身につけるために(DP3,4)、人間が持つ高次精神機能であるところの認知とその特徴を修得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs) 1) 認知心理学の成立の契機、記憶の過程、区分、記銘方略、忘却に関する主要な理論を説明できる。
2) 概念の構造に関する理論、文字のパターン認知についてのモデル、単語認知のモデルを説明できる。
3) 一般的知識の表象についてのモデル、スキーマとその特徴を説明できる。
4) 問題解決の理論、問題解決に影響を及ぼす要因、推理について説明できる。

評価方法: 2回に1回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを30%、学期末の単位認定試験を70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり1時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	認知心理学とは: 認知心理学の成立の契機、扱う領域	講義	内藤
2	1)	記憶(1): 記憶の3過程(覚える・覚えておく・思い出す)、記憶の時間による区分とその内容	講義	内藤
3	1)	記憶(2): CraikとLockhartの処理水準モデル、記銘方略	講義	内藤
4	1)	記憶(3): 顕在記憶と潜在記憶の違い、長期記憶との対応関係	講義	内藤
5	1)	記憶(4): Ebbinghausの再学習法、節約率、忘却曲線	講義	内藤
6	1)	記憶(5): 忘却に関する様々な説(不使用による減衰説、干渉説、検索失敗説)	講義	内藤
7	2)	概念と言語(1): カテゴリー化、カテゴリー、概念	講義	内藤
8	2)	概念と言語(2): 概念の構造に関する理論(定義的特性理論、プロトタイプ理論)	講義	内藤
9	2)	概念と言語(3): 文字のパターン認知についてのモデル(鑄型照合モデル)	講義	内藤
10	2)	概念と言語(4): 文字のパターン認知についてのモデル(特徴分析モデル)	講義	内藤
11	3)	知識と表象(1): 一般的知識の表象についてのモデル(階層的ネットワーク、活性化拡散)	講義	内藤
12	3)	知識と表象(2): スキーマとその特徴	講義	内藤
13	4)	問題解決と推理(1): 問題解決の理論(試行錯誤、洞察、情報処理理論的アプローチ)	講義	内藤
14	4)	問題解決と推理(2): 問題解決に影響を及ぼす要因	講義	内藤
15	4)	問題解決と推理(3): 帰納的推理と演繹的推理	講義	内藤

教科書: 使用しない。講義レジュメを配布する。

参考書: 第1回に紹介する。

科目名: **心理測定法演習**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害者の評価や支援に資する基本的な心理学的的方法論を身につけるために(DP3,4)、ヒトを対象としてデータを採取するときの様々な基本的技法と、それらの長所と短所を修得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs) 1)心理測定をおこなう目的、心理測定に伴う倫理的問題及びその対処方法を説明できる。
2)実験法と質問紙(調査)法の特徴、及びそれらの長所と短所を説明できる。
3)データの尺度水準の種類、及びそれらの特徴を説明できる。
4)データの分布とその表現方法、データの分布の要約統計量の種類及び算出方法を説明できる。
5)感覚・知覚心理学研究において用いられる測定法、測度を説明できる。
6)発達・教育心理学研究における測定法である検査法、検査の信頼性と妥当性を説明できる。
7)社会心理学研究において用いられる測定法、測度を説明できる。
8)標本と母集団の違い、統計的仮説検定や多変量解析法を説明できる。

評価方法: 2回に1回おこなう小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。この小テストを30%、学期末の単位認定試験を70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり1時間を目安に予習(次の回のレジュメを読むこと)・復習(小テストに備えてその日習ったレジュメの内容を復習すること)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	心理測定とは何か	講義	内藤
2	2)	心理測定の二大方法論:実験法と質問紙(調査)法	講義	内藤
3	3)	データの尺度水準	講義	内藤
4	4)	データの分布と要約統計量(1)	講義	内藤
5	4)	データの分布と要約統計量(2)	講義	内藤
6	5)	感覚・知覚心理学研究における測定(1)	講義	内藤
7	5)	感覚・知覚心理学研究における測定(2)	講義	内藤
8	5)	感覚・知覚心理学研究における測定(3)	講義	内藤
9	6)	発達・教育心理学研究における測定(1)	講義	内藤
10	6)	発達・教育心理学研究における測定(2)	講義	内藤
11	6)	発達・教育心理学研究における測定(3)	講義	内藤
12	7)	社会心理学研究における測定(1)	講義	内藤
13	7)	社会心理学研究における測定(2)	講義	内藤
14	8)	標本と母集団(1)	講義	内藤
15	8)	標本と母集団(2)	講義	内藤

教科書： 使用しない。講義レジュメを配布する。

参考書： 第1回に紹介する。

科目名: **言語学**

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査・検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できる(DP3)ためには、ことばを客観的に記述及び分析する力が求められる。言語聴覚士としてことばを記述分析するためには、ことばが持っている基本的な特徴や、個別言語の構造について理解しておく必要がある。本講義では、人間の言語とはどのような性質を持っているのかを様々な角度から考え、同時に、日本語の特徴も紹介しながら言語学の基本的な知識を身につけるとことを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)ことばに対する好奇心を持つ。
2)言語学の概説(目標、諸分野、基本的問題について説明できる)。
3)言語学に関する基本的概念と用語を説明できる。
4)言語類型論的に見た日本語の特徴を説明できる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 特になし。

オフィスアワー: 毎週木曜日10:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【講義概要の説明、言語の一般的な性質】 本講義が目指すことや、言語学の研究対象について理解する。	講義・演習	太田
2	2)	【言語学の基本概念を知る(ソシユール)】 ことばに対するソシユールの考え方を理解する。	講義・演習	太田
3	2)	【日本語の「語」を分析する(1)形態論 1】 「語」の分析方法を理解し、分析できる。	講義・演習	太田
4	2)	【日本語の「語」を分析する(2)形態論 2】 「語」の分析方法を理解し、分析できる。	講義・演習	太田
5	2)	【日本語の文を分析する(1)文の構造 統語論 1】 「文」がどのような構造で成り立っているか理解する。	講義・演習	太田
6	2)	【日本語の文を分析する(2)文の構造 統語論 2】 「文」がどのような構造で成り立っているか理解する。	講義・演習	太田
7	2)	【日本語の文を分析する(3)文の構造 統語論 3】 「文」がどのような構造で成り立っているか理解する。	講義・演習	太田
8	2)	【言語の分析方法(1)生成文法 1】 言語の分析方法の一つである生成文法の基本的な考え方を理解する。	講義・演習	太田
9	2)	【言語の分析方法(2)生成文法 2】 言語の分析方法の一つである生成文法の基本的な考え方を理解する。	講義・演習	太田
10	2)	【言語の分析方法(3)語用論 1】 言語の分析方法の一つである語用論の基本的な考え方を理解する。	講義・演習	太田
11	2)	【言語の分析方法(4)語用論 2】 言語の分析方法の一つである語用論の基本的な考え方を理解する。	講義・演習	太田
12	3)	【日本語について考える(1)】 日本語の特徴について理解する。	講義・演習	太田
13	3)	【日本語について考える(2)】 日本語の特徴について理解する。	講義・演習	太田
14	3)	【日本語について考える(3)】 日本語の特徴について理解する。	講義・演習	太田
15	3)	【日本語について考える(4)】 日本語の特徴について理解する。	講義・演習	太田

教科書: 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **音声学**

担当者: 太田 栄次(保・言)・中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査・検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できる(DP3)ためには、音声の違い、またその違いがどのように生成されるかについての知識が必要となる。例えば言葉の音が何かの理由でうまくいかない人(小児も含む)に言葉の指導をする場合、音声器官のどの部分をどの ように使う、どのような音を作り出されるのかを物理的、現実的な事実として捉えておく必要がある。本講では、音声を作り出すしくみや音声器官がどのように動くことによってそれぞれの音声の違いが作り出されるのかについて説明できることと、それぞれの音声の違いを聞きとりIPA表記として記述できることを目指す。

到達目標: 1) 音声学の概説(目標、諸分野、基本的問題を説明できる)。
(SBOs) 2) 音声生成の基本的な仕組みについて説明できる。
3) 日本語における母音や子音を国際音声字母(IPA)の方法に基づき記述できる。
4) 歯科疾患と発音の関係を説明できる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の 特になし。
注意等:

オフィスアワー: 毎週木曜日10:00~17:00(太田)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【講義概要の説明】 本講義の目標について理解する。	講義・演習	太田
2	2)	【音声とは何か】 音声学の研究対象について理解する。	講義・演習	太田
3	2)	【音声生成の仕組み】 音声生成の基本的な仕組みについて理解し、音声生成にかかわる音声器官を列挙できる。	講義・演習	太田
4	3)	【音声学と音韻論】 音韻論と音声学の違いについて理解し、例を挙げて説明することができる。	講義・演習	太田
5	3)	【単音(1) 単音の分類と音声表記】 音素、単音の概念、国際音声字母(IPA)の分類基準について説明できる。	講義・演習	太田
6	3)	【単音(2) 日本語の母音 1】 日本語の母音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
7	3)		講義・演習	太田
8	3)	【中間試験】 音声器官の名称と日本語の母音の記述法についての知識を定着させる。	講義・演習	太田
9	3)	【単音(3) 日本語の子音 1】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
10	2)	【単音(4) 日本語の子音 2】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
11	3)	【単音(5) 日本語の子音 3】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
12	3)	【単音(6) 日本語の子音 4】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
13	4)	【単音(7) 日本語の子音 5】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	中村
14	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (1):不正咬合と発音の関係	講義・演習	中村
15	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (2):舌癖と発音の関係①	講義・演習	中村

(3): 舌癖と発音の関係②

教科書: 基礎から学ぶ音声学 (鹿島 央) スリーエーネットワーク 【4-8831-231-8】

参考書: 使用しない。

科目名: **音声学**

担当者: 太田 栄次(保・言)・中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査・検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できる(DP3)ためには、音声の違い、またその違いがどのように生成されるかについての知識が必要となる。例えば言葉の音が何かの理由でうまくいかない人(小児も含む)に言葉の指導をする場合、音声器官のどの部分をどの ように使う、どのような音を作り出されるのかを物理的、現実的な事実として捉えておく必要がある。本講では、音声を作り出すしくみや音声器官がどのように動くことによってそれぞれの音声の違いが作り出されるのかについて説明できることと、それぞれの音声の違いを聞きとりIPA表記として記述できることを目指す。

到達目標: 1) 音声学の概説(目標、諸分野、基本的問題を説明できる)。
(SBOs) 2) 音声生成の基本的な仕組みについて説明できる。
3) 日本語における母音や子音を国際音声字母(IPA)の方法に基づき記述できる。
4) 歯科疾患と発音の関係を説明できる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の 特になし。
注意等:

オフィスアワー: 毎週木曜日10:00~17:00(太田)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【講義概要の説明】 本講義の目標について理解する。	講義・演習	太田
2	2)	【音声とは何か】 音声学の研究対象について理解する。	講義・演習	太田
3	2)	【音声生成の仕組み】 音声生成の基本的な仕組みについて理解し、音声生成にかかわる音声器官を列挙できる。	講義・演習	太田
4	3)	【音声学と音韻論】 音韻論と音声学の違いについて理解し、例を挙げて説明することができる。	講義・演習	太田
5	3)	【単音(1) 単音の分類と音声表記】 音素、単音の概念、国際音声字母(IPA)の分類基準について説明できる。	講義・演習	太田
6	3)	【単音(2) 日本語の母音 1】 日本語の母音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
7	3)		講義・演習	太田
8	3)	【中間試験】 音声器官の名称と日本語の母音の記述法についての知識を定着させる。	講義・演習	太田
9	3)	【単音(3) 日本語の子音 1】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
10	2)	【単音(4) 日本語の子音 2】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
11	3)	【単音(5) 日本語の子音 3】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
12	3)	【単音(6) 日本語の子音 4】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	太田
13	4)	【単音(7) 日本語の子音 5】 日本語の子音の調音を国際音声字母の方法に基づき記述できる。	講義・演習	中村
14	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (1):不正咬合と発音の関係	講義・演習	中村
15	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (2):舌癖と発音の関係①	講義・演習	中村

(3): 舌癖と発音の関係②

教科書: 基礎から学ぶ音声学 (鹿島 央) スリーエーネットワーク 【4-8831-231-8】

参考書: 使用しない。

科目名: **音声科学演習**

担当者: 太田 栄次(保・言)・中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: ことばの発音には、1年次前期に音声学で学んだ母音や子音の個々の発音だけではなく、アクセントやイントネーションなども含まれる。本講義では、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス、特に音声の情報収集・観察が遂行できること(DP3)を目的に、アクセントやイントネーションとは何かといった定義から始め、さらに記述方法や、その仕組みについて理解することを大きな目的とする。また講義の後半では、音声の物理的性質を音響分析ソフトで分析しながら観察し、言語が利用することのありうる音声の違いについて理解を深める。また、言語機能障害に関する異常構音を音声学的式に基づき説明することができることを目指す。

到達目標: (SBOs)
1) 音声生成の基本的な仕組みについて理解する。
2) 日本語のアクセントやイントネーションについて理解する。
3) 音声の物理的性質を観察する。
4) 歯科疾患と発音の関係を説明できる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 特になし。

オフィスアワー: 毎週木曜日10:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【前期の復習】 前期で身に付けた知識の再確認し、知識を定着させる。	講義・演習	太田
2	2)	【モーラと音節】 モーラと音節について理解し、単語をモーラや音節の単位に分けることができる。	講義・演習	太田
3	2)	【韻律(1) リズム】 言語ごとに異なるリズムがあるが、どのようなリズムがあるか列挙することができる。	講義・演習	太田
4	2)	【韻律(2) アクセント1】 音声学におけるアクセントについて説明することができる。	講義・演習	太田
5	2)	【韻律(3) アクセント2】 アクセントの仕組みに応じて個別言語を分類することができる。	講義・演習	太田
6	2)	【韻律(4) アクセント3】 日本語のアクセント体系について理解する。	講義・演習	太田
7	2)	【韻律(5) イントネーション1】 イントネーションについて説明することができる。	講義・演習	太田
8	2)	【韻律(6) イントネーション2】 日本語におけるイントネーションの機能について説明することができる。	講義・演習	太田
9	2)	【韻律(7) プロミネンス、ポーズ、テンポ】 プロミネンス、ポーズ、テンポについて説明することができる。	講義・演習	太田
10	2)	【音響分析ソフトを用いた演習(1)】 単音の観察 1	講義・演習	太田
11	3)	【音響分析ソフトを用いた演習(2)】 単音の観察 2	演習	太田
12	3)	【音響分析ソフトを用いた演習(3)】 アクセント・イントネーションの観察	演習	太田
13	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (1): 言語機能障害と発音の関係①	演習	太田
14	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (2): 言語機能障害と発音の関係②	演習	太田
15	4)	【歯科疾患と発音の関係】 (3): 言語機能障害と発音の関係③	演習	太田

教科書： 基礎から学ぶ音声学（鹿島 央）スリーエーネットワーク【4-8831-231-8】

参考書： 使用しない。

科目名: **音響学演習**

担当者: 山田 弘幸(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年次)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害に関わる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行できるために(DP3)、本科目では、言語聴覚士にとって必要な音響に関する基礎知識、音響・聴覚機能・発声発語機能等に関する測定や臨床検査に際して必要となる音響学的知識を修得する(CP1(4))。

到達目標: 1) 音響の概要について説明できる
(SBOs) 2) 聴覚系および聴覚の概要について説明できる
3) 音の3要素と聴覚の3属性について説明できる
4) 純音と複合音について説明できる
5) 音響スペクトルについて説明できる
6) 波動の概要について説明できる
7) デシベルについて説明できる
8) 音響分析について説明できる
9) 語音の音響学的特性の概要について説明できる

評価方法: 各コマ毎の確認テストにより学習進捗状況を把握し、必要なフィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(授業への参加状況、課題への取り組み状況、受講態度)の評価を20%、単位認定試験の得点を80%として単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 聴覚系のみならず発声発語系および中枢神経系の構造・機能・発達、その他全般について、1コマ当たり時間を目安に予習・復習をして下さい。

オフィスアワー: 随時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	オリエンテーション／音響(可聴音)と聴覚像(聴覚イメージ)	講義	山田
2	1)~5)	音の定義(音の物理・心理学的側面)／聴覚系の構造と機能	講義	山田
3	1)~6)	波動現象／純音と複合音	講義	山田
4	1)~5)	スペクトル構造と聴覚／デモンストレーション(正弦波、矩形波、三角波等)	講義	山田
5	1)~5)	純音のスペクトル構造と聴覚印象	講義	山田
6	1)~5)	複合音のスペクトル構造と聴覚印象	講義	山田
7	1)~5)	短音とそのスペクトル構造	講義	山田
8	1)~6)	音波の伝播・反射・干渉・共鳴・回折	講義	山田
9	1)~7)	デシベル、対数の概要／計算演習	講義	山田
10	1)~7)	音圧レベル／計算演習	講義	山田
11	1)~7)	聴カレベル	講義	山田
12	1)~7)	感覚レベル、騒音レベル(A特性重み付け音圧レベル)	講義	山田
13	1)~8)	サウンドスペクトログラフ	講義	山田
14	1)~9)	音源・フィルタモデル(音源特性、声道の周波数特性・伝達特性、放射特性)	講義	山田
15	1)~9)	母音・子音・半母音の音響的特徴／発話の超文節的要素	講義	山田

教科書: 言語聴覚士のための音響学(今泉 敏)医歯薬出版【978-4-263-21267-7】
「音響学」を学ぶ前に読む本(坂本真一、蘆原 郁)コロナ社【978-4-339-00891-3】

参考書: 言語聴覚療法習得のための必須基礎知識(山田弘幸)エスコアール【978-4-900851-77-1】
ゼロからはじめる音響学(青木直史)講談社【978-4061565296】

科目名: 聴覚心理学演習

担当者: 山田 弘幸(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年次)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセス(情報収集・観察・正確な検査の解釈・問題の抽出・全体像の把握)が遂行できるために(DP3)、本科目では、聴覚、音響に関する基礎的事項、種々の聴覚心理学的概念、聴覚認知に関わる臨床的概念について習得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs)

- 1) 聴覚系の概要について説明できる
- 2) 音の3要素について説明できる
- 3) 聴覚の3属性について説明できる
- 4) 心理物理学的測定法について説明できる
- 5) 純音と複合音について説明できる
- 6) 音響スペクトルについて説明できる
- 7) 尺度水準について説明できる
- 8) ラウドネス、ピッチについて説明できる
- 9) ソーン尺度、メル尺度について説明できる
- 10) マスキングについて説明できる
- 11) 聴覚フィルタ、臨界帯域について説明できる
- 12) 両耳聴について説明できる
- 13) 聴覚説について説明できる

評価方法: 各コマ毎の確認テストにより学習進捗状況を把握し、必要なフィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(授業への参加状況、課題への取り組み状況、受講態度)の評価を20%、単位認定試験の得点を80%として単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 聴覚系のみならず発声発語系および中枢神経系の構造・機能・発達、その他全般について、1コマ当たり1時間を目安に予習・復習をして下さい。

オフィスアワー: 随時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1), 3)	感覚・知覚・認知機能	講義	山田
2	1)~3)	聴覚と聴覚系の構造・機能との関連	講義	山田
3	1)~4)	感覚閾値、弁別閾値	講義	山田
4	1)~4)	心理物理学的測定法	講義	山田
5	1)~3)	音の3要素と聴覚の3属性	講義	山田
6	1)~3)	聴野	講義	山田
7	1)~4)8)	等ラウドネスレベル曲線	講義	山田
8	1)~6)	純音のスペクトル構造と聴知覚	講義	山田
9	1)~6)	複合音のスペクトル構造と聴知覚	講義	山田
10	1)~9)	ソーン尺度とメル尺度	講義	山田
11	1)~11)	聴覚フィルタおよび臨界帯域	講義	山田
12	1)~10)	同時マスキング、継時マスキング、中枢性マスキング	講義	山田
13	1)~12)	両耳聴	講義	山田
14	1)~13)	聴覚説(場所説、時間説)	講義	山田
15	1)~13)	短音の知覚/聴覚の情景分析、サウンドスケープ	講義	山田

教科書: 言語聴覚士テキスト 第2版(廣瀬 肇) 医歯薬出版【978-4-263-21366-7】
音響サイエンスシリーズ3 聴覚モデル(日本音響学会編) コロナ社【978-4-339-01323-8】

参考書: 言語聴覚療法習得のための必須基礎知識(山田弘幸) エスコアール【978-4-900851-77-1】
「音響学」を学ぶ前に読む本(坂本真一、蘆原 郁) コロナ社【978-4-339-00891-3】
言語聴覚士のための心理学(山田弘幸 編) 医歯薬出版【978-4-263-21269-1】

科目名: **言語発達学**

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用いて評価、支援を行う言語聴覚士になるために、コミュニケーションと言語の機能を把握し、乳幼児期を中心に、各時期の言語発達とその原理、評価方法について言語聴覚士にとって必須の知識を習得する。

到達目標: (SBOs)
1) コミュニケーションと言語の役割や、各機能が理解できる。
2) 言語発達の各時期とその特徴について説明できる。
3) 言語発達に関連する研究と諸説について説明できる。
4) 言語発達の把握方法を理解できる。

評価方法: 平常点20%と期末試験80%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回授業につき240分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【コミュニケーションの意味と方法を学ぶ】 バーバルコミュニケーションとノンバーバルコミュニケーションの役割と種類を説明できる。	講義	松山
2	1)3)	【言語を捉える側面を学ぶ】 言語を捉える3側面と語用論について説明できる。	講義	松山
3	1)3)	【言語の機能について考える①】 言語の3大機能を理解し、行動調節機能として言語について考えることができる。	講義	松山
4	1)3)	【言語の機能について考える②】 思考の体制化として言語について考えることができる。	講義	松山
5	1)2)	【言語発達の区分について学ぶ】 乳児期から児童期までの言語発達の区分を列挙できる。	講義	松山
6	1)2)	【前言語期の発達について学ぶ①】 前言語の音声言語発達について説明できる。	講義	松山
7	1)2)	【前言語期の発達について学ぶ②】 前言語のコミュニケーション発達について説明できる。	講義	松山
8	1)2)	【幼児期前期の言語発達について学ぶ】 幼児期前期の言語発達の過程について説明できる。	講義	松山
9	1)2)	【幼児期後期の言語発達について学ぶ】 幼児期後期の言語発達の過程について説明できる。	講義	松山
10	1)2)	【書きことばの発達について学ぶ】 書きことばと、話しことば、把握の発達の関連性について説明できる。	講義	松山
11	1)2)	【書きことばの障害について考える】 書きことばの障害と、その事例から書きことばの指導を考えることができる。	講義	松山
12	4)	【言語発達の測定方法について学ぶ①】 PVT-Rの目的と実施方法について説明できる。	講義	松山
13	4)	【言語発達の測定方法について学ぶ②】 PVT-Rの採点ができ、結果から言語発達水準が読み取ることができる。	講義	松山
14	1)3)	【言語獲得理論について学ぶ①】 言語獲得理論の諸理論について列挙できる。	講義	松山
15	1)3)	【言語獲得理論について学ぶ②】 言語獲得理論の諸理論の原理について説明できる。	講義	松山

教科書: 特に指定しない。

参考書： 言語聴覚障害総論Ⅱ（山崎 京子 編）建帛社【7679-4502-X】
発達心理学辞典（岡本 夏木・清水 御代明・村井 潤一 監修）ミネルヴァ書房【4-623-02470-9】

科目名: **言語聴覚障害概論**

担当者: 倉内 紀子(保・言)、原 修一(保・言)、長嶋比奈美(保・言)、中村 真理子(保・言)、太田 栄次(保・言)、戸高翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本科目では、言語聴覚障害の全体像の概要を理解するために(DP3、4)、人間のコミュニケーションや言語に関する基本事項を習得する(CP1)。また、言語聴覚士の仕事および言語聴覚障害に関連する保健・医療・福祉・教育分野についての理解を深める(DP5、CP1)。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 人間のコミュニケーションの概要について説明できる
 - 2) 記号、言語の基礎について説明できる
 - 3) 言語聴覚機能の概要について説明できる
 - 4) 「スピーチ・チェーン」の概要について説明できる
 - 5) 母語(言語)の獲得・発達の概要について説明できる
 - 6) コミュニケーション障害、言語聴覚障害の概要について説明できる
 - 7) 保健・医療・福祉・教育分野の概要について説明できる
 - 8) 言語聴覚士の仕事の概要について説明できる
 - 9) 主な言語聴覚障害の概要について説明できる
 - 10) 言語聴覚障害の評価の基礎について説明できる
 - 11) 言語聴覚障害の訓練の基礎について説明できる

評価方法: 平常点(授業への参加状況、レポート等)30%、筆記試験得点70%。

準備学習・履修上の注意等: 言語聴覚障害に関連する書籍に、日頃から目を通すようにすること。

オフィスアワー: 各教員の指示に従うこと。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1),2)	オリエンテーション	講義	倉内
2	1)~4)	「スピーチ・チェーン」とは	講義	原
3	1),4),6)	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	講義	太田
4	1)~5)	音声言語と文字言語	講義	太田
5	1)~3)	母語(言語)の獲得と発達の概要	講義	長嶋
6	6)~9)	「言語聴覚士」を知る(1)	講義	倉内
7	6)~9)	「言語聴覚士」を知る(2)	講義	倉内
8	1),3),6)	コミュニケーションにおける理解面の障害と表出面の障害	講義	原
9	8)~11)	聴覚障害とは	講義	長嶋
10	8)~11)	失語症とは	講義	原
11	8)~11)	構音障害とは	講義	原
12	8)~11)	摂食・嚥下障害とは	講義	中村
13	8)~11)	言語発達障害とは	講義	戸高
14	8)~11)	AAC(拡大・代替コミュニケーション)とは	講義	原
15	6)~11)	言語聴覚士の資格制度の概要および関連事項	講義	倉内

教科書: 特に設定しません。各教員より参考書が提示される予定です。

参考書: 図解 やさしくわかる言語聴覚障害(小嶋知幸) ナツメ社【978-4-816-35944-6】
言語聴覚士まるごとガイド(日本言語聴覚士協会)ミネルヴァ書房【978-4-623-03827-5】
ベーシック言語聴覚療法 ー目指せ! プロフェッショナルー(山田弘幸)医歯薬出版【978-4-263-21356-8】
言語聴覚療法習得のための必須基礎知識(山田弘幸)エスコアール【978-4-900851-77-1】
発達障害とことばの相談ー子どもの育ちを支える言語聴覚士のアプローチ(中川信子)小学館【9784-098-25047-9】
改訂 失語症の人と話そう(NPO法人 和音)中央法規【978-4-8058-3044-4】
嚥下障害のことがよくわかる本 食べる力を取り戻す(藤島一郎)講談社【978-4-062-59786-9】
ふしぎだね! 聴覚障害のおともだち(倉内紀子)ミネルヴァ書房【978-4-623-05108-3】

科目名: **言語聴覚障害診断学演習 I**

担当者: 松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)、長嶋比奈美(保・言)、戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行できる言語聴覚士になるために、言語聴覚障害診断に関連する基礎的概念を習得し、言語聴覚障害の評価・支援にかかわる知識・技能の獲得をはかる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 言語と聴覚の関係について説明できる。
 - 2) 主な言語聴覚障害とコミュニケーション上の問題が説明できる。
 - 3) リハビリテーションの主な流れを説明できる。
 - 4) 評価、診断の枠組みや実施に関連した基本概念を理解する。
 - 5) 小児健常例の観察ができる。
 - 6) 成人健常例の観察ができる。
 - 7) 観察結果を書くことができる。
 - 8) 報告書にまとめることができる。

評価方法: 平常点30%、期末試験70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回復習を行い、各回の関連を考えながら授業に臨むこと。
知識の習得だけでなく、知識を使って実際に活動できることを目指すこと
次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)4)	リハビリテーションにおける評価・診断を理解する口	講義	松山
2	1)2)	静止画を覚えて、正確に記述させる	講義	松山
3	1)2)	静止画を覚えて、正確に記述させる	講義	松山
4	4)	非言語情報を理解し、記述する方法を体験する口	講義	松山
5	4)	非言語情報を理解し、記述する方法を体験する口	演習	松山
6	7)	動画を見ながら、即時記録を取る(成人編)	演習	太田・戸高
7	5)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(成人編)	演習	太田・戸高
8	5)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(成人編)	演習	太田・戸高
9	5)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(成人編)	演習	太田・戸高
10	5)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(成人編)	講義	内藤・長嶋
11	6)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(小児編)	講義	内藤・長嶋
12	6)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(小児編)	演習	内藤・長嶋
13	6)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(小児編)	演習	内藤・長嶋
14	6)7)	動画を見ながら、即時記録を取る(小児編)	演習	内藤・長嶋
15	8)	動画を見ながら、即時記録を取る(小児編)	演習	内藤・長嶋

教科書: 言語聴覚士テキスト 第3版 (廣瀬 肇) 医歯薬出版【978-4263213667】

参考書: 演習で学ぶ言語聴覚療法評価入門 (山田 弘幸) 医歯薬出版【978-4263213896】

科目名: **言語聴覚障害診断学演習Ⅱ**

担当者: 倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害診断学演習Ⅱでは、評価・言語病理学的診断、訓練・指導、再評価という流れで進められる臨床の流れを理解するために(DP3、4)、評価・診断の基本概念を整理した上で、面接、及び観察の具体的手法と留意すべき視点について学ぶ(CP1)。臨床活動の基盤となる面接については、コミュニケーションの基本的事項とかかわり行動について理解を深め、グループ学習によるロールプレイ演習を通して、質問、傾聴などの技法の知識・技術を修得する(CP4)。

到達目標: (SBOs) 1) 言語聴覚士の臨床の流れと評価・診断の目的について説明できる。
2) 評価・診断の過程と留意事項について説明できる。
3) コミュニケーションの基本的事項とかかわり行動について説明できる。
4) 医療面接の技法を列挙し具体的に説明できる。
5) 成人症例に関するグループ学習、ロールプレイ演習、ケースカンファレンスに参加する。
6) 小児症例に関するグループ学習、ロールプレイ演習、ケースカンファレンスに参加する。
7) 面接技法の応用について説明できる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業への参加態度)の評価を40%、学期末の単位認定試験による評価を60%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業毎に提示される復習や予習の手がかりとなるテーマについてレポートを作成するなど、1回の授業につき30分を目安に予習・復習を行う。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	言語聴覚士の臨床の流れと評価・診断の過程	講義・SGD	倉内
2	3)	コミュニケーションの基本事項とかかわり行動	講義・SGD	倉内
3	4)	医療面接の技法(1) 開かれた質問と閉ざされた質問	講義・SGD	倉内
4	4)	医療面接の技法(2) 傾聴技法と要約技法	講義・SGD	倉内
5	5)	症例A(成人)の事例研究とグループ学習	講義・SGD	倉内
6	5)	症例A(成人) 第1回ロールプレイ演習	SGD	倉内
7	5)	症例A(成人) 第2回ロールプレイ演習	SGD	倉内
8	3)4)5)	症例Aのケースカンファレンス 工夫した点と改善点の検討	SGD	倉内
9	6)	症例B(小児)の事例研究とグループ学習	講義・SGD	倉内
10	6)	症例B(小児) 第1回ロールプレイ演習	SGD	倉内
11	6)	症例B(小児) 第2回ロールプレイ演習	SGD	倉内
12	3)4)6)	症例Bのケースカンファレンス 工夫した点と改善点の検討	SGD	倉内
13	2)3)4)5)6)	総合ケースカンファレンス 2症例の検討とロールプレイ演習のまとめ	講義・SGD	倉内
14	7)	面接技法の応用(1) 文献による検討	講義・SGD	倉内

教科書: はじめての医療面接 (斎藤 清二 著) 医学書院 【4-260-13867-7】

参考書: 標準言語聴覚障害学 言語聴覚障害学概論 (藤田 郁代 編) 医学書院 【978-4-260-00658-3】
改訂 言語聴覚障害総論 I (倉内 紀子 編) 建帛社 【978-4-7679-4521-7】

科目名: 失語症

担当者: 原 修一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 失語症は、言語聴覚士が取り扱うコミュニケーション障害ではメインになる障害である。本講義では、将来の臨床で即戦力となるべき、失語症に関する評価や診断、リハビリテーションプロセスを理解するための基本的知識・技術を習得する(DP1,3)。

到達目標: (SBOs) 1)失語症の定義・原因疾患、他のコミュニケーション障害との鑑別について説明できる。
2)言語情報処理モデルについて説明できる。
3)失語症の言語症状を説明できる。
4)失語症症候群について列挙し、それぞれを説明できる。
5)評価の枠組みと流れについて説明できる。
6)失語症の評価の枠組みと流れ、情報収集の方法について説明できる。
7)症例を見学し、失語症の症状が列挙できる。

評価方法: 出席回数、授業態度、提出物、小テストの結果、単位認定試験による総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 原則として、毎回、前回講義分の内容について小テストを行う。毎回、1時間以上の予習・復習による準備をしておいてください。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30-13:00、その他講義時間以外の在室時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	失語症の定義・鑑別(意識障害、認知症、構音障害、その他)・原因疾患	講義	原
2	1)	大脳の基本的構造と機能一言語領域、側性化、失語症の病巣	講義	原
3	2)	言語情報処理モデル	講義	原
4	3)	失語症の言語症状① 理解面の症状	講義	原
5	3)	失語症の言語症状② 発話面の症状	講義	原
6	3)	失語症の言語症状③ 読む能力の症状	講義	原
7	3)	失語症の言語症状④ 書く能力の症状	講義	原
8	3)	失語症の言語症状⑤ 計算能力の症状/近縁症状	講義	原
9	4)	失語症候群① 古典的失語症候群の分類と言語症状の特徴	講義	原
10	4)	失語症候群② 古典的失語症候群の分類と言語症状の特徴	講義	原
11	4)	失語症候群③ 純粹型、皮質下性、非定型失語群	講義	原
12	4)	失語症候群④ 純粹型、皮質下性、非定型失語群	講義	原
13	5)6)	評価 ① 情報収集:本人、家族との面接	講義・演習	原
14	5)-7)	評価 ② 情報収集:カルテ、関連職種、画像	講義・演習	原
15	5)-7)	評価 ③ スクリーニング検査、鑑別検査	講義・演習	原

教科書: 標準言語聴覚障害学 失語症学第2版(藤田郁代・他)医学書院【978-4-260-02095-4】

参考書: 失語症言語治療の基礎(紺野加奈江)診断と治療社【978-4-7878-1158】
言語聴覚療法シリーズ4 改訂失語症(石川裕治・他)建帛社【978-4-7679-4524-8】

科目名: 失語症演習 I

担当者: 原 修一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 失語症は、言語聴覚士の臨床において、その技術が最も問われるコミュニケーション障害の一つである。本講義は、標準失語症検査を中心とした、失語症評価の方法・記録・分析、鑑別診断について学ぶ。また、訓練プログラム立案に役立てるための言語の情報処理過程について理解することで、高い臨床的知識と技能を持った言語聴覚士を目指す(DP3&4)。

到達目標: (SBOs)

- 1) 言語機能と脳の関係、言語の4側面について説明できる。
- 2) 失語症の定義、原因疾患、障害部位を列挙できる。
- 3) 失語症の機能・構造レベルの評価について、種類と目的を説明できる。
- 4) 標準失語症検査(以下SLTA)の施行方法を理解し、実施できる。
- 5) 言語の情報処理過程を説明できる。
- 6) 掘り下げ検査の施行方法を理解し、実施できる。
- 7) 失語症の活動・参加レベルの評価について、種類を列挙し目的を説明できる。
- 8) 実用的コミュニケーション能力検査の施行方法を理解し、実施できる。
- 9) 評価結果を分析し、失語症の鑑別診断ができる。
- 10) 評価報告書の作成ができる。

評価方法: 平常点(出席、提出物、小テスト等)50%、単位認定試験50%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 原則として、毎回、前回講義分の内容について小テストを行うので準備をしておいてください。

オフィスアワー: 講義時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	言語機能と脳の関係、言語の4側面／失語症の定義、原因疾患、病巣	講義	原
2	3)	失語症の機能・構造レベルの評価	講義	原
3	4)5)	SLTAの「聴く」の施行方法	講義・演習	原
4	4)5)	SLTAの「話す」の施行方法	講義・演習	原
5	4)5)	SLTAの「読む」の施行方法	講義・演習	原
6	4)5)	SLTAの「書く」の施行方法	講義・演習	原
7	4)5)	SLTAの「計算」の施行方法、プロフィール作成、総合評価法	講義・演習	原
8	5)	認知神経心理学的モデルに基づく障害のメカニズム	講義・演習	原
9	6)	掘り下げ検査の種類・目的・施行方法	講義・演習	原
10	6)	掘り下げ検査の種類・目的・施行方法	講義・演習	原
11	7)	失語症の活動・参加レベルの評価	講義・演習	原
12	8)	実用的コミュニケーション能力検査の施行方法	講義・演習	原
13	9)10)	検査結果からみる言語症状の特徴や問題点の抽出／評価報告書の作成①	講義・演習	原
14	9)10)	検査結果からみる言語症状の特徴や問題点の抽出／評価報告書の作成②	講義・演習	原
15	9)10)	評価結果の分析、失語症の鑑別診断	講義	原

教科書: 失語症言語治療の基礎 (紺野 加奈恵) 診断と治療社 【4-7878-1158-4】
標準失語症検査マニュアル (日本高次脳機能障害学会) 新興医学出版社 【4-88002-618-2】

参考書: 標準言語障害学 失語症学 第2版(藤田郁代/立石雅子 編集)医学書院 【ISBN978-4-260-02095-4】

科目名: **失語症演習 II**

担当者: 飯干 紀代子(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義・演習

授業概要: ICFに基づく失語症の問題点抽出・訓練立案・実施・再評価のプロセスを学ぶ。
失語症訓練の背景となる治療理論を理解する。
演習活動を通して、失語症訓練立案と実施を体験する。(DP1~4)

到達目標: (SBOs)
1)失語症の治療理論を理解する。
2)失語症訓練の流れを理解する。
3)失語症訓練を立案する。
4)失語症訓練を実施する。

評価方法: 提出物15%、受講態度15%、単位認定試験70%

準備学習・履修上の注意等: 失語症演習 I の内容をよく理解しておくこと。臨床実習での症状の整理や訓練プログラム立案と関連付けて学習すること。

オフィスアワー: 講義時間の前後

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)	失語症の訓練目的・訓練形態・訓練立案のポイント	講義	飯干
2	1)	失語症の機能・構造レベルの治療理論	講義	飯干
3	1)2)3)4)	刺激促通法の理解と実践①	講義・演習	飯干
4	1)2)3)4)	刺激促通法の理解と実践②	講義・演習	飯干
5	1)2)3)4)	機能再編成法の理解と実践①	講義・演習	飯干
6	1)2)3)4)	機能再編成法の理解と実践②	講義・演習	飯干
7	1)	失語症の活動・参加レベルの治療理論	講義	飯干
8	1)2)3)4)	PACEの理解と実践①	講義・演習	飯干
9	1)2)3)4)	PACEの理解と実践②	講義・演習	飯干
10	1)2)3)4)	グループ訓練の理解と実践	講義・演習	飯干
11	1)2)3)4)	ICFに基づく失語症訓練立案と実施①	講義・演習	飯干
12	1)2)3)4)	ICFに基づく失語症訓練立案と実施②	講義・演習	飯干
13	1)2)3)4)	掘り下げ検査に基づく失語症訓練立案と実施①	講義・演習	飯干
14	1)2)3)4)	掘り下げ検査に基づく失語症訓練立案と実施①	講義・演習	飯干
15	2)	失語症者の社会活動・社会貢献	講義	飯干

教科書: 失語症臨床ガイド (竹内 愛子) 協同医書出版【4-7639-3037-0】
失語症者の実用コミュニケーション臨床ガイド (竹内 愛子) 協同医書出版【4-7639-3041-9】
標準言語聴覚障害学 失語症学第2版(藤田 郁代監修)医学書院【978-4-260-02095-4】

参考書: 使用しない。

科目名: **高次脳機能障害演習 I**

担当者: 原 修一(保・言)、飯干 紀代子(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 本講義は、言語聴覚士の臨床における訓練対象として多く近年問題になっている高次脳機能障害について、その階層性と脳機能との関連性を理解する。また、高次脳機能障害の各論(注意障害・遂行機能障害・失行・失認・半側空間無視)について、定義・症候・病巣・評価法を学ぶ。さらに演習活動を通して、各高次脳機能障害評価の施行方法について学ぶ(DP3&4)。

到達目標: (SBOs) 1)高次脳機能障害の階層性と脳機能との関連性を説明できる。
2)高次脳機能障害各論の定義と症候を説明できる。
3)高次脳機能障害と病巣の対応関係を図示できる。
4)高次脳機能障害の各評価を実施できる。

評価方法: 平常点(出席、提出物、小テスト等)50%、単位認定試験50%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 原則として、毎回、前回講義分の内容について小テストを行うので準備をしておいてください。

オフィスアワー: 講義時間以外の在室時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	高次脳機能障害の階層性と脳機能との関連性の理解	講義	原
2	4)	注意障害の定義、症候、病巣	講義・演習	原
3	4)	注意障害の評価	講義・演習	原
4	2)3)	遂行機能障害の定義、症候、病巣	講義	原
5	4)	遂行機能障害の評価	講義・演習	原
6	4)	失行の定義、症候、病巣	講義・演習	飯干
7	2)3)	失行の評価①	講義	飯干
8	4)	失行の評価②	講義・演習	飯干
9	4)	失認の定義、症候、病巣	講義・演習	飯干
10	2)3)	失認の評価①	講義	飯干
11	4)	失認の評価②	講義・演習	飯干
12	4)	失認の評価③	講義・演習	飯干
13	2)3)	半側空間無視の定義、症候、病巣	講義	飯干
14	4)	半側空間無視の評価①	講義・演習	飯干
15	4)	半側空間無視の評価②	講義・演習	飯干

教科書: 高次脳機能障害学 第2版(石合純夫)医歯薬出版【978-4-263-21396-4】

参考書: 使用しない

科目名: **高次脳機能障害演習Ⅱ**

担当者: 飯干 紀代子(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 高次脳機能障害の階層性と脳機能との関連を理解する。
高次脳機能障害の各論(注意障害・記憶障害・遂行機能障害・失行・失認・半側空間無視・認知症)について、定義・症候・病巣・評価・訓練を学ぶ。演習活動を通して、高次脳機能障害各論の評価結果分析と訓練立案の実際を体験する。(DP3~4)

到達目標: (SBOs) 1)高次脳機能障害の階層性と脳機能との関連性を説明できる。
2)高次脳機能障害各論の定義と症候を説明できる。
3)高次脳機能障害と病巣の対応関係を図示できる。
4)高次脳機能障害の評価を実施し、結果を分析できる。
5)得られた評価結果から高次脳機能障害に対する訓練を立案できる。

評価方法: 提出物15%、受講態度15%、単位認定試験70%

準備学習・履修上の注意等: 高次脳機能障害演習Ⅰの内容をよく理解しておくこと。臨床実習での症状の整理や訓練プログラム立案と関連付けて学習すること。

オフィスアワー: 講義時間の前後

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	注意障害の定義、症候、病巣	講義	飯干
2	4)5)	注意障害の評価	演習	飯干
3	4)5)	注意障害の訓練・支援	演習	飯干
4	1)2)3)	記憶障害の定義、症候、病巣	演習	飯干
5	4)5)	記憶障害の評価①	演習	飯干
6	4)5)	記憶障害の評価②	演習	飯干
7	4)5)	記憶障害の訓練・支援	講義	飯干
8	1)2)3)	遂行機能障害の定義、症候、病巣	演習	飯干
9	4)5)	遂行機能障害の評価①	演習	飯干
10	4)5)	遂行機能障害の評価②	演習	飯干
11	4)5)	遂行機能障害の訓練・支援	講義	飯干
12	1)2)3)	認知症の定義、症候、病巣	演習	飯干
13	4)5)	認知症の評価①	演習	飯干
14	4)5)	認知症の訓練・支援	演習	飯干
15	1)~5)	まとめ	講義・演習	飯干

教科書: 高次脳機能障害学 (石合 純夫) 医歯薬出版【4-263-21148-0】
よくわかる失語症セラピーと認知リハビリテーション (鹿島 晴雄・他) 永井書店【4-8159-1808-8】

参考書: 使用しない。

科目名: **言語発達障害 I**

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)|

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義・SGD

授業概要: 多様に状態を示す言語聴覚障害をもつ子どもや家族に対応できる言語聴覚士になるために、正常な言語発達の基礎知識を習得し、小児の各種言語聴覚障害の特徴を理解し説明できる能力を修得する(DP3、CP1(4))。

到達目標: (SBOs) 1)正常な言語発達のメカニズムについて理解できる。
2)年代ごとの正常な言語発達について説明できる。
3)小児の各種言語発達障害の概要について説明できる。
4)小児の各種言語発達障害の評価と診断について理解できる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題提出状況、小テスト等)の評価30%、単位認定試験70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 単なる知識の習得の場ではなく、自ら能動的に考える場であること理解しておくこと。
毎回1時間以上の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜日～木曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	言語発達の基盤について	講義・SGD	長嶋
2	1)2)	前言語期の言語発達について	講義・SGD	長嶋
3	1)2)	幼児期の言語発達について	講義・SGD	長嶋
4	1)2)	学童期の言語発達について	講義・SGD	長嶋
5	3)4)	知的障害(1)	講義・SGD	長嶋
6	3)4)	知的障害(2)	講義・SGD	長嶋
7	3)4)	自閉症スペクトラム障害(1)	講義・SGD	長嶋
8	3)4)	自閉症スペクトラム障害(2)	講義・SGD	長嶋
9	3)4)	注意欠如・多動性障害(1)	講義・SGD	長嶋
10	3)4)	注意欠如・多動性障害(1)	講義・SGD	長嶋
11	3)4)	脳性麻痺・重複障害(1)	講義・SGD	長嶋
12	3)4)	脳性麻痺・重複障害(2)	講義・SGD	長嶋
13	3)4)	学習障害	講義・SGD	長嶋
14	3)4)	特異的言語発達障害	講義・SGD	長嶋
15	3)4)	後天性言語障害	講義・SGD	長嶋

教科書: 言語聴覚士のための言語発達障害学第2版(石田宏代・大石敬子編著) 医歯薬出版【978-4-263-21719-1】
言語発達障害学 第2版(玉井ふみ他編) 医学書院【978-4-260-02079-4】

参考書: ことばの発達入門(秦野悦子編) 大修館書店【978-4-469-11062-3】
最新子どもの発達障害事典(原仁編) 合同出版【978-4-7726-1065-0】

科目名: **言語発達障害Ⅱ**

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)、倉井 成子(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・SGD

授業概要: 多様な症状を示す言語聴覚障害児に対して、適切な評価ができるようにするために、各種言語発達障害の特徴を詳細に理解し、言語発達障害に対応した検査・評価方法の概要と評価診断のあり方を修得する(DP3、CP1(4))。

到達目標: (SBOs)
1)言語発達障害を列挙し、概要を説明できる。
2)言語発達障害に対応した検査名を列挙できる。
3)言語発達障害に対応した検査概要を説明できる。
4)言語発達障害に対応した各種検査の評価について理解できる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(課題提出状況、小テスト、授業態度等)の評価を30%、単位認定試験を70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1年で履修した「言語発達障害学Ⅰ」を十分に復習しておくこと。
授業毎に指示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分を読んでおくこと。1回の授業につき1時間を目安に予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜日～木曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	言語発達障害の概説	講義・SGD	長嶋
2	2)3)4)	言語発達障害に関係する言語検査について(1)	講義・SGD	倉井
3	2)3)4)	言語発達障害に関係する言語検査について(2)	講義・SGD	倉井
4	2)3)4)	言語発達障害に関係する言語検査について(3)	講義・SGD	倉井
5	2)3)4)	言語発達障害に関係する言語検査について(4)	講義・SGD	倉井
6	2)3)4)	言語発達障害に関係する言語検査について(5)	講義・SGD	倉井
7	2)3)4)	言語発達障害に関係する発達検査について(1)	講義・SGD	長嶋
8	2)3)4)	言語発達障害に関係する発達検査について(2)	講義・SGD	長嶋
9	2)3)4)	言語発達障害に関係する知能検査について(1)	講義・SGD	長嶋
10	2)3)4)	言語発達障害に関係する知能検査について(2)	講義・SGD	長嶋
11	2)3)4)	言語発達障害に関係する心理検査について(1)	講義・SGD	長嶋
12	2)3)4)	言語発達障害に関係する心理検査について(2)	講義・SGD	長嶋
13	2)3)4)	言語発達障害に関係するその他の検査について(1)	講義・SGD	長嶋
14	3)4)5)	言語発達障害に関係するその他の検査について(2)	講義・SGD	長嶋
15	3)4)5)	言語発達障害の適切な評価診断のあり方	講義・SGD	長嶋

教科書: 言語聴覚士のための言語発達障害学(石田宏代・大石敬子編著)医歯薬出版【978-4-263-21268-4】
言語発達障害学 第2版(玉井ふみ 他編)医学書院【978-4-260-02079-4】
国リハ式<S-S法>言語発達遅滞検査マニュアル(改訂第4版) エスコアール【4-900851-24-8】

参考書: 知っておきたい発達障害のアセスメント(尾崎康子・三宅篤子編著)ミネルヴァ書房【978-4-634-07209-5】

科目名: **言語発達障害演習 I**

担当者: 戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 言語発達障害をもつ子どもたちに適切な支援を行うためには、言語発達を支える基盤と前言語期から学童期までの定型的な言語発達を理解する必要がある。加えて、言語発達を評価し、結果を解釈する力が求められる。そこで、各検査の特徴を理解した上で、対象児に必要な検査を選択し、実施できる言語聴覚士となるために(DP3)、言語発達障害の評価に用いられる知能検査、発達検査、言語検査の概要や記録、分析の方法を知り、多角的・総合的な評価方法を習得する(CP1(4))。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 言語発達障害の評価方法(基本的な検査方法の原理、施行方法など)について種類と目的を説明できる。
 - 2) 発達検査の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。
 - 3) 知能検査の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。
 - 4) WISC-IV知能診断検査の施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。
 - 5) 学習・認知の検査の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。
 - 6) 日本版K-ABC IIの施行方法、分析方法を理解し、実施できる。
 - 7) フロスティッグ、WAVES、HITSSの施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。
 - 8) 言語検査の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。
 - 9) LCスケールの施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。
 - 10) LCSAの施行方法、分析方法を理解し、実施することができる。
 - 11) コミュニケーション評価の概要や種類を理解し、各検査について検査内容や適応年齢を列挙することができる。

評価方法: 授業毎の確認テストやレポート課題により形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業への参加態度など)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として、総括的に評価する。評価の基準は、授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: これまで履修した「言語発達障害 I」、「言語発達障害 II」の講義資料を読んで、復習しておく。授業毎に提示されるテーマについてレポートを作成する。併せて、次回行う内容について教科書の該当ページ(前週に該当ページを伝達)を読んでおく。1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週(火)から(木)の12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション/言語発達障害に関する評価の目的と方法	講義	戸高
2	2)	発達検査の概要 (新版K式発達検査、遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、乳幼児精神発達診断法)	講義・演習	戸高
3	3)	知能検査の概要 (田中ビネー知能検査V、ウェクスラー式知能検査、その他の知能検査)	講義・演習	戸高
4	3)、4)	WISC-IV① 施行方法	講義・演習	戸高
5	3)、4)	WISC-IV② 施行方法	講義・演習	戸高
6	3)、4)	WISC-IV③ 分析方法	講義・演習	戸高
7	5)	学習・認知の検査の概要 (KABC-II、DN-CAS、読み書きの検査)	講義・演習	戸高
8	5)、6)	KABC-II① 施行方法	講義・演習	戸高
9	5)、6)	KABC-II② 施行方法	講義・演習	戸高
10	5)、6)	KABC-II③ 分析方法	講義・演習	戸高
11	7)	フロスティッグ、WAVES、HITSS 施行方法、分析方法	講義・演習	戸高
12	8)	言語検査の概要 (LCスケール、LCSA、ITPA、PVT-R、J-COSS日本語理解テスト)	講義・演習	戸高

13	8)、9)	LCスケール 施行方法、分析方法	講義・演習 戸高
14	8)、10)	LCSA 施行方法、分析方法	講義・演習 戸高
15	11)	コミュニケーション評価の概要	講義・演習 戸高

教科書: 言語聴覚士のための言語発達障害学 (石田宏代 他) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-21268-4】
日本版WISC-IVによる発達障害のアセスメント - 代表的な指標パターンの解釈と事例紹介 - (上野 一彦 他著) 日本文化科学社【978-4-8210-6371-0】

参考書: ことばの遅れ: 評価と対応 (栗原まな) 新興医学出版【978-4-88002-695-4】
臨床心理アセスメント 新改版 (松原達哉編) 丸善出版【978-4-62108-648-3】

科目名: **言語発達障害演習 II**

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)、戸高 翼(保・言)、倉井成子(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 多様な状態を示す言語聴覚障害児に対して、客観的に評価を行い、言語発達段階に即した支援ができる言語聴覚士となるために(DP4)、評価の分析方法や代表的なアプローチ法を理解し、具体的な訓練立案をするための方法を修得する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs)
1)言語発達障害児に対する評価および検査結果の解釈の方法を説明できる。
2)模擬症例情報を用いて、検査結果のまとめを記載し、分析および解釈を実施することができる。
3)言語発達障害児に対する助言・訓練のあり方について説明できる。
4)養育者に対する助言・指導のあり方について説明できる。
5)各関連機関との連携のあり方について説明できる。
6)具体的な訓練法について概要を説明できる。
7)言語発達障害児に対する臨床アプローチの方法を知り、訓練立案および実施のポイントと基本的方法を説明することができる。

評価方法: 授業毎の確認テストやレポート課題により形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業への参加態度など)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として、総括的に評価する。評価の基準は、授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: これまで履修した「言語発達障害 I」、「言語発達障害演習 I」の講義資料を読んで、復習しておく。授業毎に提示されるテーマについてレポートを作成する。併せて、次回行う内容について教科書の該当ページ(前週に該当ページを伝達)を読んでおく。1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週(火)から(木)の12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	言語発達障害児に対する評価および検査結果の解釈のあり方について	講義	長嶋
2	1)2)	症例を通して、具体的に評価および検査結果の解釈の仕方を学ぶ	講義、演習	戸高
3	3)	言語発達障害児に対する助言・訓練のあり方について	講義	長嶋
4	4)5)	養育者に対する助言・指導および各関連機関との連携のあり方について	講義、演習	長嶋
5	6)	インリアル・アプローチ、TEACCHプログラムについて	講義、演習	長嶋
6	6)7)	<S-S法>に基づく包括的な言語的働きかけのプログラムについて	講義、演習	倉井
7	6)7)	<S-S法>にみる言語的働きかけの原理について	講義、演習	倉井
8	6)7)	<S-S法>にみる発達のプログラムについて	講義、演習	倉井
9	6)7)	<S-S法>の結果を元に訓練立案と実施①(知的障害児に対して)	講義、演習	倉井
10	6)7)	<S-S法>の結果を元に訓練立案と実施②(自閉症スペクトラム児に対して)	講義、演習	倉井
11	6)7)	具体的な訓練の立案・実施ができる①(事物の基礎概念・身振り記号)	講義、演習	長嶋
12	6)7)	具体的な訓練の立案・実施ができる②(事物の記号:語彙)	講義、演習	長嶋
13	6)7)	具体的な訓練の立案・実施ができる③(語連鎖:意味-統語関係)	講義、演習	戸高
14	6)7)	具体的な訓練の立案・実施ができる④(文字、空間認知)	講義、演習	戸高
15	6)7)	具体的な訓練の立案・実施ができる⑤(質問-応答関係、文章)	講義、演習	戸高

教科書: 言語発達遅滞の言語治療 改定第2版(小寺富士著) 診断と治療社【978-4-78781-732-7】
<S-S法>言語発達遅滞訓練マニュアル<1>(佐竹恒夫他著) エスコアール【978-4-900851-22-1】
<S-S法>言語発達遅滞訓練マニュアル<2>(佐竹恒夫著) エスコアール【978-4-900851-23-8】

参考書: ことばの遅れ:評価と対応(栗原まな著) 新興医学出版【978-4-88002-695-4】
言語聴覚士のための事例で学ぶことばの発達障害(大石敬子、田中裕美子編) 医歯薬出版株式会社【978-4-263-21939-3】

科目名: **構音障害**

担当者: 中村真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練を遂行する(DP3,4)するうえで構音障害は、言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。そのため構音障害の発症のメカニズム、症状、評価の方法、訓練・指導法について修得する(CP1-1.1-2)。

到達目標: (SBOs)

- 1)呼吸・発声・共鳴・構音の発声・発語系のプロセスと背景となる解剖学的な身体の構造と機能が理解できる。
- 2)構音障害の概念と分類が説明できる。
- 3)運動障害性構音障害の各タイプの音声特徴、随伴する運動障害について理解できる。
- 4)運動障害性構音障害の評価のプロセスが理解できる。
- 5)発声発語器官の視診と触診、および運動の評価ができる。
- 6)器質性構音障害の原因である頭頸部癌の分類や特徴、再建法について理解できる。
- 7)器質性構音障害の原因である口蓋裂の分類や特徴について理解できる。
- 8)器質性構音障害に対する評価・訓練・指導法について理解できる。
- 9)機能性構音障害の定義について説明できる。
- 10)機能性構音障害の評価・診断・訓練法について理解できる。
- 11)筋機能訓練(MFT)について説明できる。
- 12)補綴装置について説明できる。
- 13)AACについて説明できる。

評価方法: 単位認定試験90%、出席回数と授業態度を10%として、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 事前に、1年生で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、各回の予・復習を1時間以上行ってください。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:15-13:10

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	頭頸部の解剖1 大脳、小脳、脳幹および脳神経の解剖とその機能、疾患	講義	中村
2	1)	頭頸部の解剖2 錐体路・錐体外路の解剖とその機能、異常反射、疾患	講義	中村
3	3)4)	運動障害性構音障害の各タイプの特徴、原因疾患、随伴する神経学的症状	講義	中村
4	2)5)	口腔内視診と発声発語器官の触診、運動の観察、反射の診かた	講義	中村
5	2)5)	歯科学的評価	講義	中村
6	2)5)	構音・プロソディーの評価	講義	中村
7	5)7)	器質性構音障害の原因疾患と構音の特徴(1) 唇顎口蓋裂	講義	中村
8	5)6)	器質性構音障害の原因疾患と構音・嚥下障害の特徴(2) 頭頸部癌・舌癌	講義	中村
9	5)7)	器質性構音障害の評価(2)口蓋裂の異常構音の評価	講義	中村
10	5)7)	器質性構音障害の評価(3)頭頸部癌・舌癌の構音評価	講義	中村
11	8)	器質性構音障害の訓練法	講義	中村
12	9)	機能性構音障害の原因疾患と構音の特徴	講義	中村
13	10)	機能性構音障害の評価・診断	講義	中村
14	11)	筋機能療法について	講義	中村
15	12)13)	補綴装置・AACについて	講義	中村

教科書: 発声発語障害学 第2版(熊倉 勇美 編) 医学書院【ISBN-13:978-4260020602】
口腔・中咽頭がんのリハビリテーション (溝尻源太郎・熊倉 勇美) 医歯薬出版株式会社【ISBN978-4-263-21522-7】

参考書: 適宜指示します。

科目名: **スピーチ・リハビリテーション**

担当者: 原 修一(保・言)、土屋美智子(非常勤講師)、兒玉成博(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 一連の話し言葉の障害(神経疾患による運動障害性構音障害、小児の機能性構音障害、口唇・口蓋裂を中心とした器質性構音障害、吃音、音声障害)の評価、訓練法を中心に学ぶ。言語聴覚として必要な、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施をするための高い臨床能力を身につける(DP3&4)。

到達目標: (SBOs)
1) 運動障害性構音障害に関連する発声・発語系の解剖と、構音の運動学的・音響学的特性が理解できる。
2) 機能性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる。
3) 口唇・口蓋裂の特徴、口唇・口蓋裂に伴う異常構音の音響学的特徴、系統的訓練法が理解できる。
4) 吃音に関する評価・訓練法が理解できる。
5) 音声障害の評価・訓練法が理解できる

評価方法: 単位認定試験 90%、出席 10%。

準備学習・履修上の注意等: 前期で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、講義時間と内容の関係上、臨床実習では不足する知識・技術がかなり生ずる可能性があります。毎日1時間以上の予習・復習と、講義終了後も継続的な話し言葉の障害に関する知識・技術の向上を図る必要があります。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30-13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動障害性構音障害(1) 神経系の解剖、運動障害性構音障害の特徴1	講義	原
2	1)	運動障害性構音障害(2) 運動障害性構音障害の特徴2	講義	原
3	1)	運動障害性構音障害(3) 運動障害性構音障害の評価	講義	原
4	2)3)	運動障害性構音障害(4) 運動障害性構音障害の訓練	講義	原
5	2)3)	機能性・器質性構音障害(1) 構音の発達、各構音障害の特徴・異常構音とは	講義	原
6	2)3)	機能性・器質性構音障害(2) 機能性・器質性構音障害の評価	講義	原
7	2)3)	機能性・器質性構音障害(3) 機能性・器質性構音障害の構音訓練	講義	原
8	4)	吃音(1) 吃音の基本的知識、吃音者の体験談の分析、吃音症状の理解	講義	土屋
9	4)	吃音(2) 吃音の進展段階と軌道論、原因論	講義	土屋
10	4)	吃音(3) 吃音の評価: 吃音検査法、総合評価	講義	土屋
11	4)	吃音(4) 吃音の指導・訓練法	講義	土屋
12	5)	音声障害(1)	講義	兒玉
13	5)	音声障害(2)	講義	兒玉
14	5)	音声障害(3)	講義	兒玉
15	5)	音声障害(4)	講義	兒玉

教科書: 標準言語聴覚障害学 発声発語障害 第2版(熊倉勇美ほか編) 医学書院【978-4-260-02060-2】

参考書: 口蓋裂の言語臨床 第3版(岡崎恵子他編) 医学書院【978-4-260-01239-3】
言語聴覚士テキスト(岩田 誠他編) 医歯薬出版【978-4-2632-1366-7】

科目名: **スピーチ・リハビリテーション演習 I**

担当者: 原 修一(保・言)、中村真理子(保・言)、北九州総合療育センター職員(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 発話機能は、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。本演習では、話し言葉の障害を中心とした、(リ)ハビリテーションに関する臨床能力を修得する。具体的には、小児の機能性構音障害、器質性構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワークを通じて身につける(DP3&4)。

到達目標: 1)機能性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる。
(SBOs) 2)口唇・口蓋裂の特徴、口唇・口蓋裂に伴う異常構音の音響学的特徴、系統的訓練法が理解できる。

評価方法: 形成的評価として、出席と授業態度、小テストで評価する。総括的評価として、単位認定試験を実施する。

準備学習・履修上の注意等: 前期で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、講義時間と内容の関係上、臨床実習では不足する知識・技術がかなり生ずる可能性があります。毎日1時間以上の予習・復習と、講義終了後においても継続的な話し言葉の障害に関する知識・技術の向上を図る必要があります。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30-13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	機能性構音障害(1) 機能性構音障害の特徴・評価	講義	原
2	1)	機能性構音障害(2) 構音検査の実施 1	講義	原
3	1)	機能性構音障害(3) 構音検査の実施 2・訓練プログラム立案	講義	原
4	1)	機能性構音障害(4) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 1 音の産生訓練	講義	原
5	1)	機能性構音障害(5) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 2 音の産生訓練	講義	原
6	1)	機能性構音障害(6) 機能性構音障害に対する訓練プログラム 3 系統的訓練	講義	原
7	2)	器質性構音障害(1) 口唇口蓋裂の原因、タイプ分類、手術	講義	中村
8	2)	器質性構音障害(2) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 1	講義	中村
9	2)	器質性構音障害(3) 口唇口蓋裂の歯科学的評価 2	講義	中村
10	2)	器質性構音障害(4) 口唇口蓋裂の言語聴覚療法的評価 1	講義	原
11	2)	器質性構音障害(5) 口唇口蓋裂の言語聴覚療法的評価 2	講義	原
12	2)	器質性構音障害(6) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 1	講義	北九州
13	2)	器質性構音障害(7) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 2	講義	北九州
14	2)	器質性構音障害(8) 口唇口蓋裂児を持つ保護者への指導	講義	北九州
15	2)	器質性構音障害(9) 口唇口蓋裂児の成長に伴う経時的アプローチ	講義	北九州

教科書: 標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第2版(藤田郁代 監修) 医学書院【978-4-2600-2060-2】
言語聴覚療法シリーズ7 改訂 機能性構音障害(本間慎治 編) 建帛社【978-4-7679-4527-9】
口蓋裂の言語臨床 第3版(岡崎 恵子 他著) 医学書院【978-4-260-01239-3】

参考書: 講義中に紹介します。

科目名: **スピーチ・リハビリテーション演習Ⅱ**

担当者: 原 修一(保・言)、中村真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 発話機能は、呼吸・発声・共鳴・構音およびプロソディーから構成される、極めて複雑なプロセスを経る機能であり、言語聴覚士になるための高い知識や技術の習得が必要となる。本演習では、話し言葉の障害を中心とした、リハビリテーションに関する臨床能力を修得する。具体的には、成人の運動障害性構音障害、器質性構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワークを通じて身につける(DP3&4)。

到達目標: 1)運動障害性構音障害における音の誤りの特徴と、対応する訓練法が理解できる。
(SBOs) 2)頭頸部癌の特徴と手術、手術後による舌切除後の問題や、構音の評価・訓練法が理解できる。

評価方法: 形成的評価として、出席と授業態度、小テストで評価する。総括的評価として、単位認定試験を実施する。

準備学習・履修上の注意等: 前期で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、講義時間と内容の関係上、臨床実習では不足する知識・技術がかなり生ずる可能性があります。毎日1時間以上の予習・復習と、講義終了後においても継続的な話し言葉の障害に関する知識・技術の向上を図る必要があります。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30-13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動障害性構音障害(1) 運動障害性構音障害の特徴・評価	講義	原
2	1)	運動障害性構音障害(2) 標準ディサースリア検査の実施 1	講義	原
3	1)	運動障害性構音障害(3) 標準ディサースリア検査の実施 2	講義	原
4	1)	運動障害性構音障害(4) 標準ディサースリア検査の実施 3	講義	原
5	1)	運動障害性構音障害(5) 運動障害性構音障害に対する訓練 1	講義	原
6	1)	運動障害性構音障害(6) 運動障害性構音障害に対する訓練 2	講義	原
7	2)	運動障害性構音障害(7) 運動障害性構音障害に対する訓練 3	講義	原
8	2)	運動障害性構音障害(8) 運動障害性構音障害に対する訓練 4	講義	原
9	2)	運動障害性構音障害(9) スピーチカニューレの取り扱い	講義	原
10	2)	運動障害性構音障害(10) 運動障害性構音障害とAAC	講義	原
11	2)	器質性構音障害(1) 頭頸部癌とは、頭頸部癌の手術、治療	講義	中村
12	3)	器質性構音障害(2) 頭頸部癌に関わる歯科学的問題 1	講義	中村
13	3)	器質性構音障害(3) 頭頸部癌に関わる歯科学的問題 2	講義	中村
14	3)	器質性構音障害(4) 舌切除者に対するスピーチリハビリテーション 1	講義	原
15	3)	器質性構音障害(5) 舌切除者に対するスピーチリハビリテーション 2	講義	原

教科書: 標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第2版(藤田郁代 監修) 医学書院【978-4-2600-2060-2】
言語聴覚療法シリーズ9 改訂 運動障害性構音障害(熊倉勇美 編) 建帛社【978-4-7679-4529-3】
言語聴覚療法シリーズ8 器質性構音障害(齊藤裕恵 編) 建帛社【978-4-7679-4508-8】

標準ディサースリア検査(西尾正輝 著) インテルナ出版【978-4-9006-3717-7】

参考書: 喉頭がん舌がんの人たちの言語と摂食・嚥下ガイドブック(菊谷武 監訳) 医歯薬出版【978-4-263-44271-5】

科目名: 嚥下障害

担当者: 中村 真理子(保・言)、山口 大樹(非常勤講師)、坂口 紅美子 (非常勤講師)、西中 幸美 (非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い評価・訓練に必要なプロセスを遂行する(GIO3.4)するうえで摂食嚥下障害は言語聴覚士が対象とする頻度が高い障害である。摂食嚥下障害とは、飲み込みが困難な状態であり、乳児から高齢者まで、多様な状態によって起こる問題である。飲むことができない、食べることができないことで、生命の危機に直面することもあり、摂食嚥下障害を早期に発見、対処することは、臨床的に極めて重要である。嚥下の定義、嚥下の仕組み、摂食嚥下障害をきたす要因、摂食嚥下障害の観察方法に関する知識を修得する(CP1-1,1-2)。

到達目標: (SBOs)

- 1) 正常な嚥下とそれに関わる筋肉、神経について説明できる。
- 2) 嚥下の正常発達、加齢による変化について説明できる。
- 3) 嚥下障害に関する評価の概要を知り、正常か異常かの判別ができる。
- 4) 飲食材の変化による嚥下の違いについて説明できる。
- 5) 薬物による副作用が嚥下に及ぼす影響について説明できる。

評価方法: 単位認定試験(100%)により評価する。

準備学習・履修上の注意等: 摂食・嚥下障害は、言語聴覚士の臨床上、最重要領域となっているため、予習として教科書の該当箇所を一読しておくこと。特に、解剖・生理学で学んだ消化管の解剖と生理をもう一度見直し、摂食・嚥下のプロセスがイメージできるようにすること。そのためにも、復習には1時間以上、2時間程度かける必要がある。講義終了後も、実習や臨床で十分取り組むことが出来るように、知識・技術を向上させていく必要がある。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	嚥下と摂食の定義およびその違いについて、簡潔に説明することができる。	講義	中村
2	1)	嚥下に関わる諸器官の図をもとに、その名称を答えることができる。	講義	山口
3	1)	嚥下の期と相について、他の学生に説明することができる。	講義・SGD	山口
4	1)~3)	正常に嚥下がなされるための要件について、自ら図を描いて説明ができる。	講義・SGD	山口
5	1)~3)	VF、VEを見て、正常な嚥下と異常な嚥下の違いを説明できる。	講義・SGD	山口
6	1)~3)	歯と咀嚼・嚥下との関係について説明できる。	講義	中村
7	1)~3)	準備期における摂食・嚥下障害について説明できる。	講義	中村
8	1)~3)	正常な嚥下運動について知るために、学生同士で演習を行う。水を飲むときや唾を飲むときに、喉頭や口腔周辺にどのような変化があるかを観察し、結果をディスカッションできる。	講義・SGD	中村
9	1)~3)	加齢による嚥下障害のメカニズムを説明できる。	講義	中村
10	3)4)	加齢に伴う姿勢の変化、脳卒中による身体の拘縮による姿勢の変化について知り、それがどのような影響を及ぼすかを説明できる。	講義・SGD	坂口
11	3)4)	嚥下障害者にとって、食形態の違いは飲み込みに多大な影響を及ぼす。それはどのような機序で起こるかを説明できる。	講義・SGD	坂口
12	1)~3)	嚥下の流体力学について理解し、説明できる。	講義	坂口
13	1)~3)	嚥下の流体力学について理解し、説明できる。	講義	坂口
14	3)4)	小児の摂食嚥下障害について	講義・SGD	西中

教科書: 標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学(熊倉 勇実 他) 医学書院【978-4-260-01516-5】

参考書: よくわかる摂食・嚥下のメカニズム 山田好秋 医歯薬出版株式会社ISBN978-4-263-44179-4

科目名: **嚥下障害演習 I**

担当者: 中村 真理子(保・言)・原 修一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 本講義は、利用者本位の言語聴覚士になるための最重要領域として、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得するために、摂食嚥下障害に関わる一連の評価(スクリーニング、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、摂食評価)について演習を通じて学び、摂食嚥下機能の評価と問題点の抽出、訓練プログラムが作成できる、高い技能を習得する(DP1-5)。

到達目標: (SBOs)
1)摂食・嚥下障害のスクリーニング検査が実施できる。
2)嚥下造影検査および嚥下内視鏡検査の概要と方法が説明できる。
3)嚥下造影検査及び嚥下内視鏡検査の動画を見て、摂食・嚥下機能における問題点を抽出できる。
4)摂食評価において、姿勢やベッドアップ角度の調節など、患者の摂食環境を整えることができる。
5)摂食評価において、患者が経口摂取できる食物形態とその調節について理解ができる。
6)口腔ケアの方法、義歯の管理方法について理解が出来る。

評価方法: 出席回数、講義態度、課題レポート提出等の形成的評価と、単位認定試験における論述試験の結果による統括的評価の2つを実施する。

準備学習・履修上の注意等: 言語聴覚士の最重要領域を学者として、頭頸部の解剖、神経学的知識に関する内容を含む、各回の予習・復習を1時間以上(2時間が望ましい)をしてください。また、学外臨床実習や臨床では、本講義での学んだことだけでは不十分です。日頃の摂食・嚥下障害に関する知識の向上が必要になります。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:15~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション、摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(1) 概要	講義・演習	原
2	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(2) 水飲みテスト・改訂水飲みテスト	演習	中村
3	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(3) 反復唾液嚥下テスト	演習	中村
4	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(4) 歯科学的評価	演習	中村
5	1)	摂食・嚥下機能のスクリーニング検査(5) 問診・質問紙による評価	演習	中村
6	2)	嚥下造影検査の原理と方法・観察評価	講義・演習	中村
7	2)	嚥下内視鏡検査の原理と方法・観察評価	講義・演習	中村
8	2)3)	フードテストの方法と評価(1)	演習	原
9	2)3)	フードテストの方法と評価(2)	演習	原
10	4)5)	段階的摂食評価(1)	演習	原
11	4)5)	段階的摂食評価(2)	演習	原
12	6)	口腔ケア(1)	演習	中村
13	6)	口腔ケア(2)	演習	中村
14	6)	義歯の管理	演習	中村
15	1)~6)	事例検討	演習	中村

教科書: 摂食・嚥下リハビリテーション 第3版(才藤 栄一・植田耕一郎 監修) 医歯薬出版【978-4-263-44447-4】

参考書: 標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学 (熊倉勇美・椎名英貴 編) 医学書院【978-4-260-01516-5】
嚥下障害の臨床—リハビリテーションの考え方と実際 (日本嚥下障害臨床研究会 編集) 医歯薬出版【978-4263213223】

科目名: **嚥下障害演習Ⅱ**

担当者: 原 修一(保・言)、山口 大樹(非常勤講師)、重田 律子(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーションは、言語聴覚士の臨床に最も重要な業務である。本講義では、摂食・嚥下障害について高い臨床能力を持つ言語聴覚士となるために、摂食・嚥下に関わる解剖・生理、摂食・嚥下障害の病態・障害像、評価、訓練、チームアプローチについての知識や技術を修得する(DP1-5)。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)摂食・嚥下の解剖と生理について説明できる。
 - 2)摂食・嚥下障害の病態を説明できる。
 - 3)言語聴覚士の役割とチームアプローチの重要性を説明できる。
 - 4)リスク管理について説明できる。
 - 5)各種スクリーニングテストについて説明できる。
 - 6)摂食・嚥下関連器官の評価が実施できる。
 - 7)正常嚥下と嚥下障害のVF・VE所見を説明できる。
 - 8)間接訓練について説明できる。
 - 9)直接訓練について説明できる。
 - 10)食形態の選択と一口量の調整について説明できる。
 - 11)評価に基づいて訓練を選択し訓練計画を作成できる。
 - 12)地域リハビリテーションなど、摂食・嚥下障害に関わる他職種との関連性について理解できる。

評価方法: 出席回数、授業中の提出物・演習の評価、及び単位認定試験で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 嚥下障害Ⅰ、嚥下障害Ⅱを十分に復習しておくこと。また、各回ごとに予・復習を1時間以上行うこと。摂食・嚥下機能の動き、実際の臨床場面を想定して講義に臨むこと。積極的に質問すること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	摂食・嚥下の解剖と生理	講義	原
2	2)	摂食・嚥下障害とその病態	講義	重田
3	3)	言語聴覚士の役割とチームアプローチの重要性	講義	重田
4	4)5)	リスク管理、各種スクリーニングテストについて	講義	重田
5	6)	嚥下関連器官機能の評価、演習	講義・演習	重田
6	7)	VF・VEによる評価	講義	重田
7	7)	VF・VEによる評価演習	講義・演習	重田
8	8)	摂食・嚥下障害の訓練 間接訓練・直接訓練(1)	講義	重田
9	8)	摂食・嚥下障害の訓練 間接訓練・直接訓練(2)	講義・演習	山口
10	9)	摂食・嚥下障害の訓練 間接訓練・直接訓練(3)	講義	山口
11	9)	摂食・嚥下障害の訓練 間接訓練・直接訓練(4)	講義・演習	山口
12	10)	食形態の選択と一口量の調整、代償法、介助方法の工夫	講義	山口
13	11)	評価結果の解釈と訓練計画の立案	SGD	山口
14	1)~11)	摂食・嚥下障害の疾患別対応	講義	山口
15	1)~11)	摂食・嚥下障害の地域リハビリテーションの実際・関連職種の役割	講義	山口

教科書: 摂食・嚥下リハビリテーション(才藤 栄一・向井 美恵 監修)第3版 医歯薬出版【978-4-263-44447-4】

参考書: 目で見える嚥下障害(DVD付)(藤島 一郎) 医歯薬出版【978-4-263-21856-3】
その他、講義内で連絡する

科目名: 聴覚障害

担当者: 倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 聴覚障害の(リ)ハビリテーションでは、発症時期、難聴の種類、聴力の程度、聴覚補償手段、コミュニケーション・モードの種類などによって多様なアプローチが求められる。聴覚障害では、新生児期から高齢期までの(リ)ハビリテーションに貢献できる言語聴覚士となるために(DP3、4)、聴覚障害の臨床について基礎的な知識を修得する(CP1)。

到達目標: (SBOs) 1) 聴覚の構造と機能について説明できる。
2) 聴性行動反応の発達について説明できる。
3) さまざまな基準による難聴の分類について説明できる。
4) 聴覚音声的環境における聴覚障害の影響について説明できる。
5) 成人聴覚障害のリハビリテーションの概要について説明できる。
6) 小児聴覚障害のリハビリテーションの概要について説明できる。
7) 補聴器と人工内耳の構造と機能について説明できる。

評価方法: 授業毎のレポート課題により形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業への参加態度)の評価を30%、学期末の単位認定試験による評価を70%として、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。
授業毎に提示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分(シラバスに記載)を読むしておく。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	聴覚の働きとその障害 疑似体験をとおして考える	講義・SGD	倉内
2	2)	聴性行動反応の発達 赤ちゃんが振り向けるようになるのはいつか	講義・SGD	倉内
3	1)3)	外耳・中耳の構造と機能 伝音系はどんな役割をしているか	講義・SGD	倉内
4	1)3)	内耳の構造と機能 感音系はどんな役割をしているか	講義・SGD	倉内
5	1)3)	聴覚障害の種類(1) オージオメータをさわってみよう	講義・SGD	倉内
6	1)3)	聴覚障害の種類(2) オージオグラムを作成してみよう	講義・SGD	倉内
7	4)5)6)	聴覚障害の影響 失聴時期による違いを考える	講義・SGD	倉内
8	4)5)	成人聴覚障害(1) リハビリテーションの概要	講義・SGD	倉内
9	4)5)	成人聴覚障害(2) コミュニケーションストラテジーの活用	講義・SGD	倉内
10	4)6)	小児聴覚障害(1) ハビリテーションの概要	講義・SGD	倉内
11	4)6)	小児聴覚障害(2) 療育・教育機関の特徴	講義・SGD	倉内
12	4)6)	小児聴覚障害(3) 指導方法とコミュニケーションモードの多様性	講義・SGD	倉内
13	7)	聴覚補償機器(1) 補聴器の構造と形態による分類	講義・SGD	倉内
14	7)	聴覚補償機器(2) 人工内耳の原理と補聴器との違い	講義・SGD	倉内

教科書: 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学第2版 (中村 公枝 他 編) 医学書院 【978-4-260-02117-3】
発達と障害を考える本9 ふしぎだね聴覚障害のおともだち (倉内 紀子 監) ミネルヴァ書房 【978-4-623-05108-3】

参考書: 言語聴覚療法シリーズ 改訂聴覚障害 I 基礎編 (山田 弘幸 編) 建帛社 【978-4-7679-4525-5】

科目名: **聴覚障害演習 I**

担当者: 戸高 翼(保・言)、倉内 紀子(保・言)、長嶋 比奈美(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年次)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: コミュニケーション障害としての聴覚障害を理解し、その種類と特性に応じた評価、指導・訓練ができる言語聴覚士となるために(DP3,4)、小児聴覚障害、成人聴覚障害、高齢者の聴覚障害、視覚聴覚二重障害の特徴を理解し、必要な指導・支援方法を修得することができる(CP1(4))。

到達目標: (SBOs)

- 1) 聴覚機能と言語機能との関連性について説明できる
- 2) 聴覚機能と母語獲得・発達との関連性について説明できる
- 3) 聴覚障害の原因疾患の概要について説明できる
- 4) 聴覚障害の評価方法について説明できる
- 5) 聴覚補償の概要について説明できる
- 6) 聴能訓練、聴覚学習の概要について説明できる
- 7) 高齢難聴者のコミュニケーション支援について説明できる
- 8) 視覚聴覚二重障害者のコミュニケーション支援について説明できる

評価方法: 授業毎の確認テストやレポート課題により形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業への参加態度など)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として、総括的に評価する。評価の基準は、授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: これまで履修した「耳鼻咽喉科学」、「聴覚障害」の講義資料を読んで、復習しておく。授業毎に提示されるテーマについてレポートを作成する。併せて、次回行う内容について教科書の該当ページ(シラバスを確認)を読んでおく。1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 各担当教員でオフィスアワーの時間が異なるため、各担当教員に講義開始時に確認をしてください。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	コミュニケーション障害としての聴覚障害	講義、演習	倉内
2	1)~3)	小児聴覚障害の原因、種類、特徴	講義	戸高
3	1)~4)	小児聴覚障害の評価①	講義、演習	戸高
4	1)~4)	小児聴覚障害の評価②	講義、演習	戸高
5	1)~6)	小児聴覚障害の聴覚補償、指導・訓練①	講義、演習	戸高
6	1)~6)	小児聴覚障害の聴覚補償、指導・訓練②	講義、演習	戸高
7	3)	成人聴覚障害の原因、種類、特徴	講義	長嶋
8	3)、4)	成人聴覚障害の評価①	講義、演習	長嶋
9	3)、4)	成人聴覚障害の評価②	講義、演習	長嶋
10	3)~6)	成人聴覚障害の聴覚補償、指導・訓練①	講義、演習	長嶋
11	3)~6)	成人聴覚障害の聴覚補償、指導・訓練②	講義、演習	長嶋
12	7)	高齢難聴者のコミュニケーション支援①	講義、演習	倉内
13	7)	高齢難聴者のコミュニケーション支援②	講義、演習	倉内
14	8)	視覚聴覚二重障害者のコミュニケーション支援①	講義、演習	倉内
15	8)	視覚聴覚二重障害者のコミュニケーション支援②	講義、演習	倉内

教科書: 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第2版(藤田 郁代 監修)医学書院【978-4-260-02117-3】

参考書: 言語聴覚士のための聴覚障害学(喜多村 健 編)医歯薬出版【978-4-263-21265-3】
発達と障害を考える本(9) ふしぎだね! ?聴覚障害のお友達(倉内 紀子 監修)ミネルヴァ書房【978-4-6230-5108-3】
言語聴覚士テキスト 第2版(廣瀬 肇) 医歯薬出版【978-4-263-21366-7】
言語聴覚療法シリーズ第5巻 改訂聴覚障害 I -基礎編- (山田 弘幸 編著) 建帛社【978-4-7679-4525-5】
言語聴覚療法シリーズ第6巻 改訂聴覚障害 II -臨床編- (山田 弘幸 編著) 建帛社【978-4-7679-4526-2】

科目名: **聴覚障害演習Ⅱ**

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)、倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 聴覚障害児・者に対して、聴覚補償の手段である補聴器および人工内耳の適切な装用指導・訓練ができるようになるために、器機の構造と機能、適合・調整などの基本事項を理解し、必要な臨床的知識・技術を習得する(DP3、CP1(4))。
また、小児および成人の聴覚障害の(リ)ハビリテーションの流れと言語聴覚士の役割を認識し、発症時期やライフステージを考慮した本人および家族への支援に必要な臨床的知識・技術を修得する(DP4、CP1(4))。

到達目標: (SBOs)
1)補聴器の適合・調整の手順について説明できる。
2)補聴器の装用効果の評価法と手続きについて説明できる。
3)人工内耳の適応基準、プログラミングの流れと具体的方法について説明できる。
4)人工内耳の装用効果の評価法と手続きについて説明できる。
5)小児の補聴器・人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法について説明できる。
6)成人の補聴器・人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法について説明できる。
7)補聴器・人工内耳装用児者の家族支援について説明できる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(課題提出状況、小テスト、授業態度等)の評価を30%、単位認定試験70%として、単位認定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき1時間以上の予習/復習を行うこと。
授業毎に指示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分を読んでおく。

オフィスアワー: 毎週月曜～木曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	補聴器の構造と機能	講義・演習	長嶋
2	1)	補聴器の適合と言語聴覚士の役割	講義・演習	長嶋
3	1)	補聴器の適合・調整の実際①	講義・演習	長嶋
4	1)	補聴器の適合・調整の実際②	講義・演習	長嶋
5	2)	補聴器の適合・調整の適切性の判断と装用指導	講義・演習	長嶋
6	1)2)5)	小児補聴器の装用指導・訓練の原則と方法	講義・演習	長嶋
7	1)2)6)	成人補聴器の装用指導・訓練の原則と方法	講義・演習	長嶋
8	3)	人工内耳の適応基準と言語聴覚士の役割	講義・演習	倉内
9	3)	人工内耳の音声情報処理と電荷量測定の手順	講義・演習	倉内
10	3)	人工内耳システムを用いたプログラミングの実際 成人への対応	講義・演習	倉内
11	3)	人工内耳システムを用いたプログラミングの実際 小児への対応	講義・演習	倉内
12	4)	人工内耳のプログラミングの適切性の判断と装用指導	講義・演習	倉内
13	3)4)5)	小児人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法	講義・演習	倉内
14	3)4)6)	成人人工内耳の装用指導・訓練の原則と方法	講義・演習	倉内
15	7)	補聴器・人工内耳装用児者の家族支援の原則と方法	講義・演習	長嶋

教科書: 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学(中村 公枝 他 編)医学書院【978-4-260-00993-5】
言語聴覚療法臨床マニュアル 改訂第3版(平野哲夫 他 編)協同医書【978-4-7639-3049-1】

参考書: 補聴器フィッティングと適応の考え方(小寺一興)診断と治療社【978-4-7878-2274-1】
言語聴覚療法シリーズ5 改訂 聴覚障害Ⅰー基礎編(山田弘幸 他)建帛社【978-4-7679-4525-5】
言語聴覚療法シリーズ6 改訂 聴覚障害Ⅱー臨床編(山田弘幸 他)建帛社【978-4-7679-4526-2】

科目名: **聴覚検査**

担当者: 戸高翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 聴覚検査は、難聴、言語障害の診断および治療、支援を考える上では、欠くことのできないものである。そのため、検査を実施する際には、高度な知識や技術の習得が要求される。そこで、聴覚の構造・機能・病態を理解した上で、検査の実施および解釈ができる言語聴覚士になるために(DP3)、成人聴覚検査、乳幼児聴覚検査、他覚的聴覚検査、その他各種聴覚検査法の原理、実施手続き、結果の分析について習得する(CP1(4))。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 聴覚検査に必要な予備知識について説明できる。
 - 2) 純音聴力検査の概要および検査前の準備、検査手順の説明ができ、実施ができる。
 - 3) 語音聴力検査の概要および検査前の準備、検査手順の説明ができ、実施ができる。
 - 4) 中耳機能検査の概要および検査手順の説明ができ、実施、解釈ができる。
 - 5) 内耳機能検査の概要および検査手順の説明ができ、実施、解釈ができる。
 - 6) 選別検査の概要および方法を説明し、実施することができる。
 - 7) 他覚的聴覚検査の概要および方法を知り、各検査の特徴を説明することができる。
 - 8) 乳幼児聴力検査の概要および検査手順の説明ができ、実施ができる。
 - 9) 検査結果から聴覚機能の状態を知ることができる。
 - 10) 聴覚補償機器の適用、選択、調整のために必要な検査を知り、必要な理由を説明することができる。

評価方法: 授業毎の確認テストやレポート課題により形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、小テスト、授業への参加態度など)の評価を30%、学期末の単位認定試験を70%として、総合的に評価する。評価の基準は、授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: これまで履修した「耳鼻咽喉科学」「聴覚障害」を十分に復習しておくこと。
授業毎に提示されるテーマについてレポートを作成する。併せて、次回行う内容について教科書の該当ページ(前週に該当ページを伝達)を読んでおく。1回の授業につき4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週(火)から(木)の12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション/聴覚検査の予備知識	講義	戸高
2	2)3)	純音聴力検査①オーゾグラム、気導聴力検査	講義、演習	戸高
3	3)	純音聴力検査②骨導	講義、演習	戸高
4	3)	純音聴力検査③マスキング	講義、演習	戸高
5	4)	語音聴力検査	講義、演習	戸高
6	5)6)	インピーダンス・オーゾメトリー・耳管機能検査	講義、演習	戸高
7	5)6)	自記オーゾメトリー	講義、演習	戸高
8	5)6)	閾値上聴力検査、耳鳴検査	講義、演習	戸高
9	7)	選別聴力検査	講義、演習	戸高
10	7)	聴性誘発反応	講義、演習	戸高
11	8)	耳音響放射	講義、演習	戸高
12	8)	乳幼児聴力検査①	講義、演習	戸高
13	9)	乳幼児聴力検査②	講義、演習	戸高
14	1)~7)、9)	後迷路障害および機能性難聴の検査	講義、SGD	戸高
15	1)~10)	補聴器・人工内耳装用のための検査	講義、SGD	戸高

教科書: 聴覚検査の実際 改訂3版(日本聴覚医学会編) 南山堂【978-4-525-37044-2】
言語聴覚療法シリーズ第5巻 改訂聴覚障害 I - 基礎編 - (山田弘幸編) 建帛社【978-4-7679-4525-5】

参考書: ENT臨床フロンティア 実践的耳鼻咽喉科検査法(小林俊光編) 中山書店【978-4-521-73459-0】

科目名: **聴覚検査演習**

担当者: 倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 聴覚検査の授業で取り上げた聴覚検査のうち、言語聴覚士が実施する代表的な聴覚検査を実施・分析できるようになるために(DP3)、検査機器を用いた演習やビデオ映像、及び各検査に関連した症例の検討を通して実践的に学び、検査の目的、手続き、結果の分析方法を修得する(CP4)。

到達目標: (SBOs) 1) 聴覚検査の種類を列挙し、聴覚検査の意義について説明できる。
2) 自覚的検査の種類を列挙し、それぞれの目的、手続き、結果の解釈について説明できる。
3) 他覚的検査の種類を列挙し、それぞれの目的、手続き、結果の解釈について説明できる。
4) 乳幼児聴覚検査の種類を列挙し、それぞれの目的、手続き、結果の解釈について説明できる。
5) 選別聴力検査の種類を列挙し、それぞれの目的、手続き、結果の解釈について説明できる。

評価方法: 授業毎のレポート課題により形成的評価を行う。学習への取り組み姿勢(課題の提出状況、授業への参加態度)の評価を30%、学期末の単位認定試験による評価を70%として、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回の授業につき1時間を目安に予習・復習を行うこと。
授業毎に指示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分(シラバスに記載)を読むしておく。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	聴覚検査の種類と検査の意義	講義、SGD	倉内
2	2)	自覚的検査(1) 純音聴力検査の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
3	2)	自覚的検査(2) 自記オーディオメトリーの方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
4	2)	自覚的検査(3) SISI検査の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
5	2)	自覚的検査(4) 語音了解閾値検査の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
6	2)	自覚的検査(5) 語音弁別検査の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
7	3)	他覚的検査(1) ティンパノメトリーの方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
8	3)	他覚的検査(2) 聴性脳幹反応(ABR)を指標にした検査の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
9	4)	乳幼児聴覚検査(1) 聴性行動反応聴力検査(BOA)の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
10	4)	乳幼児聴覚検査(2) 条件詮索反応聴力検査(COR)の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
11	4)	乳幼児聴覚検査(3) ピープショウテストの方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
12	4)	乳幼児聴覚検査(4) 遊戯聴力検査の方法と結果の解釈・症例検討	講義、SGD	倉内
13	5)	選別聴力検査(1) 新生児聴覚スクリーニング検査の流れ・症例検討	講義、SGD	倉内
14	5)	選別聴力検査(2) 自動ABRを用いた新生児聴覚スクリーニングの方法と結果の解釈	講義、SGD	倉内
15	5)	選別聴力検査(3) 年齢に応じた選別検査の方法と聴覚検査にかかわる法令	講義、SGD	倉内

教科書: 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第2版(中村 公枝 他 編) 医学書院 【978-4-260-02117-3】

科目名: **臨床実習 I**

担当者: 原 修一(保・言)・長嶋 比奈美(保・言)・戸高 翼(保・言)・倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 本実習では、言語聴覚士になるための基礎として、上級生の学内臨床実習の見学や模擬問診を中心に、学生個々が言語聴覚士として必要なスキルについて学習すること、実習協力者である障害者の見学を通じて、言語聴覚障害・摂食嚥下障害について考え、適切な臨床活動を行うための基礎的能力を養う。更に高齢者や小児の見学、ボランティア活動を通じ、高齢者における機能低下や心理的問題、乳幼児の正常発達を学び、言語聴覚士になるための広い視野で症例を見る力を身につける(DP1-4)。

到達目標: (SBOs) 1)言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。
2)臨床見学を通じ、症例の言語・行動に関する逐次記録やデイリーレポートを書くことができる。
3)言語聴覚療法に関する基礎的な知識を資料を使って、まとめることができる。
4)被験者役を行い、言語聴覚士が行う検査の概要を知り、理解することができる。
5)症例に対して適切な問診を実施することができる。
6)外部見学実習を通じて、高齢者における機能低下や心理的問題、乳幼児の正常発達を理解することができる。

評価方法: 出席回数、実習態度、実習日誌・レポート等提出物、単位認定試験により、包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 臨床実習では、臨床と同じようにユニフォームで活動する。ユニフォームは常に清潔にすること。髪型や身なりに留意すること。

オフィスアワー: 各教員毎に決まっているので、担当教員に確認をすること。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	オリエンテーション	実習	全担当者
2	1)2)	日誌の書き方	実習	全担当者
3	1)6)	外部見学実習(特別支援学校)	実習	全担当者
4	1)6)	外部見学実習(高齢者施設)	実習	全担当者
5	1)6)	外部見学実習(療育施設)	実習	全担当者
6	1)6)	外部見学実習(STの臨床)	実習	全担当者
7	3)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
8	3)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
9	3)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
10	3)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
11	3)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
12	3)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
13	1)~4)	「臨床実習Ⅲ」被験者	実習	全担当者
14	1)~4)	「臨床実習Ⅲ」被験者	実習	全担当者
15	1)~4)	「臨床実習Ⅲ」被験者	実習	全担当者

16	1)2)3)5)	模擬問診について	実習	全担当者
17	1)2)3)5)	模擬問診演習	実習	全担当者
18	1)2)3)5)	模擬問診演習	実習	全担当者
19	1)2)3)5)	模擬問診演習	実習	全担当者
20	1)2)3)5)	模擬問診演習	実習	全担当者
21	1)2)3)5)	模擬問診演習	実習	全担当者
22	1)2)3)5)	模擬問診演習	実習	全担当者
23	1)2)3)5)	模擬問診演習	実習	全担当者

教科書: 図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】
 言語聴覚療法 臨床マニュアル(平野哲雄・長谷川賢一・立石恒雄 編集)協同医書出版社【978-4-7639-3049-1】

参考書: 適宜指示します。

科目名: **臨床実習Ⅱ**

担当者: 原 修一(保・言)、長嶋 比奈美(保・言)、戸高 翼(保・言)、倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 学内臨床実習は、言語聴覚士を目指す者が、模擬的な臨床を通じ、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床能力を身につけるために実施される。本実習では、健常または障害児・者の評価を通じ、学生個人が言語聴覚士として必要なスキルや障害をトータルに見る視点をも身につけ、かつ、チーム活動の中で協調性や討議する能力、分析する能力を身につける(DP1-7)。

到達目標: (SBOs) 1) 言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。
2) 他者の話を聴き、言語聴覚療法に携わる者に必要な知識・技能・態度を理解することができる。
3) 臨床見学を通じ、症例の言語・行動に関する逐次記録をとることができる。
4) 臨床見学や逐次記録の内容より、症例の全体像や問題点を抽出することができる。
5) スクリーニング検査の結果から、必要な鑑別検査を選択できる。
6) チーム活動を通じ、協調性を発揮できる。
7) 実習日誌、計画書・報告書等、実習に必要な書類・レポートを、提出期限までに作成できる。

評価方法: 出席回数、実習日誌やレポート等提出物、単位認定試験により包括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 実習は全出席が基本である。欠席の場合は書類を提出する必要がある。

オフィスアワー: 各教員毎に決まっているので、担当教員に確認をすること。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	実習オリエンテーション	実習	全担当者
2	1)~3)	実習日誌の書き方	実習	全担当者
3	1)2)6)	高齢者施設・保育園実習1	実習	全担当者
4	1)2)6)	高齢者施設・保育園実習2	実習	全担当者
5	1)~7)	検査演習(SLTA・S-S法・構音検査)	実習	全担当者
6	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
7	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
8	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
9	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
10	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
11	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
12	1)~7)	カンファレンス見学、レポート作成	実習	全担当者
13	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
14	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
15	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者

16	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
17	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
18	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
19	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
20	1)~7)	「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」見学、逐次記録、問題点の抽出、報告書作成	実習	全担当者
21	1)~7)	カンファレンス見学・レポート作成	実習	全担当者
22	1)~7)	特別支援学校見学実習1	実習	全担当者
23	1)~7)	特別支援学校見学実習2	実習	全担当者

教科書： 図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】
言語聴覚療法 臨床マニュアル(平野哲雄・長谷川賢一・立石恒雄 編集)協同医書出版社【978-4-7639-3049-1】

参考書： 適宜指示します。

科目名: **臨床実習Ⅲ**

担当者: 原 修一(保・言)・長嶋 比奈美(保・言)・戸高 翼(保・言)・倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 学内臨床実習は、言語聴覚士を目指す者が、模擬的な臨床を通じ、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床能力を身につけるために実施される。本実習では、健常または障害児・者の評価を通じ、学生個人が言語聴覚士として必要なスキルや障害をトータルに見る視点をも身につけ、かつ、チーム活動の中で協調性や討議する能力、分析する能力を身につける(DP1-7)。

到達目標: (SBOs)
1)言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。
2)言語聴覚療法に関する基礎的な知識を資料を使って、まとめることができる。
3)スクリーニング検査の項目を立案できる。
4)スクリーニング検査の結果から、必要な鑑別検査を選択し、正確に実施できる。
5)チーム活動を通じ、協調性を発揮できる。
6)実習日誌、計画書・報告書等、実習に必要な書類・レポートを、提出期限までに作成できる。
7)3年生の学外実習の報告を聞き、次年度の自己の学内外実習に対する姿勢を身につけることができる。
8)外部見学実習を通じて、高齢者における機能低下や心理的問題、乳幼児の正常発達を理解することができる。

評価方法: 出席回数、実習内容・実習態度、実習日誌・計画書等提出物、単位認定試験によって総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 実習は全出席が基本である。欠席の場合は書類を提出する必要がある。

オフィスアワー: 各教員毎に決まっているので、担当教員に確認をすること。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	オリエンテーション	実習	全担当者
2	1)6)	日誌の書き方	実習	全担当者
3	8)	外部見学実習(高齢者施設・レクリエーション実施を含む)	実習	全担当者
4	8)	外部見学実習(高齢者施設・レクリエーション実施を含む)	実習	全担当者
5	8)	外部見学実習報告会	実習	全担当者
6	5)8)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
7	2)6)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
8	2)6)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
9	2)6)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
10	2)6)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
11	2)6)	言語聴覚療法に必要な基礎知識の整理	実習	全担当者
12	2)6)	評価計画書の作成	実習	全担当者
13	1)~6)	評価計画書の作成	実習	全担当者
14	1)~6)	評価計画書の作成	実習	全担当者
15	1)~6)	評価・検査の概要について	実習	全担当者

16	1)~6)	検査演習	実習	全担当者
17	1)~6)	検査演習	実習	全担当者
18	1)~6)	検査演習	実習	全担当者
19	1)~6)	検査演習	実習	全担当者
20	1)~6)	検査演習	実習	全担当者
21	1)~6)	検査演習	実習	全担当者
22	1)~6)	ハロー臨床見学、レポート作成	実習	全担当者
23	1)~6)	ハロー臨床見学、レポート作成	実習	全担当者

教科書： 図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】
 言語聴覚療法 臨床マニュアル(平野哲雄・長谷川賢一・立石恒雄 編集)協同医書出版社【978-4-7639-3049-1】
 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編(深浦順一他編) 建帛社【978-4-7679-4539-2】
 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編(深浦順一他編) 建帛社【978-4-7679-4540-8】

参考書： 適宜指示します。

科目名: **臨床実習Ⅳ**

担当者: 原 修一(保・言)・長嶋比奈美(保・言)・戸高 翼(保・言)・倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 学内臨床実習は、言語聴覚士を目指す者が、模擬的な臨床を通じ、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床能力を身につけるために実施される。本実習では、健常または障害児・者の評価を通じ、学生個人が言語聴覚士として必要なスキルや障害をトータルに見る視点を身につけ、かつ、チーム活動の中で協調性や討議する能力、分析する能力を身につける(DP1-7)。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。
 - 2) 臨床見学を通じ、症例の言語・行動に関する逐次記録をとることができる。
 - 3) 臨床見学や逐次記録の内容より、症例の全体像や問題点を抽出することができる。
 - 4) 症例に対して問診を実施することができる。
 - 5) 問診の内容から、スクリーニング検査の項目を立案できる。
 - 6) スクリーニング検査の結果から、必要な鑑別検査を選択し、正確に実施できる。
 - 7) 問診・諸検査結果、逐次記録から、症例の問題点を抽出し、訓練プログラムの立案を行うことができる。
 - 8) チーム活動を通じ、協調性を発揮できる。
 - 9) 実習日誌、計画書・報告書等、実習に必要な書類・レポートを、提出期限までに作成できる。
 - 10) 症例の評価に関するプレゼンテーションと討議ができる。
 - 11) 3年生の学外実習の報告を聞き、次年度の自己の学内外実習に対する姿勢を身につけることができる。

評価方法: 出席、実習態度、実習日誌やレポート等提出、単位認定試験により、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 実習は全出席が基本である。欠席の場合は、診断書等の書類を提出する必要がある。チーム学習が主体となるが、担当教員のデモやチーム内外の学生の良いところ、良い文書を吸収していくことが、学外実習や臨床につながる。

オフィスアワー: 各教員毎に決まっているので、担当教員に確認をすること。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	実習オリエンテーション・症例の評価計画	実習	全担当者
2	11)	「学外臨床実習」報告会	実習	全担当者
3	1)~9)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
4	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
5	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
6	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
7	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
8	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
9	8)10)	カンファレンス	実習	全担当者
10	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
11	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
12	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
13	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
14	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
15	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
16	1)~9)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
17	1)~9)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
18	1)~9)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
19	1)~9)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
20	1)~9)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者

21	1)~9)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
22	8)10)	カンファレンス準備・資料作成	実習	全担当者
23	8)10)	カンファレンス討議・症例報告書作成	実習	全担当者

教科書： 図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】
 言語聴覚療法 臨床マニュアル(平野哲雄・長谷川賢一・立石恒雄 編集)協同医書出版社【978-4-7639-3049-1】
 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編 (深浦順一他編) 建帛社【978-4-7679-4539-2】
 言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編 (深浦順一他編) 建帛社【978-4-7679-4540-8】

参考書： 適宜指示します。

科目名: **保健科学概論**

担当者: 原 修一(保・言)、中村真理子(保・言)、保健科学部・社会福祉学部内教員、外部講師

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年生)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 利用者本位かつ高い臨床能力を持つ言語聴覚士を目指す学生にとって、近年必要とされている保健・医療・福祉の連携を学ぶためには、保健・医療・福祉関連職種について知ることが必要不可欠である。本講義は、言語聴覚士および関連他職種の業務について、講義や体験学習を通じて知り、将来の保健・医療・福祉の連携のための基礎を学ぶ事を目的とする(DP1, 5, 6)。

到達目標: (SBOs)
1) 保健・医療・福祉連携の現況を知ることができる。
2) 講義や演習、施設体験を通じ、保健・医療・福祉職種の業務について学ぶことができる。
3) 保健・医療・福祉におけるデータを理解でき、言語聴覚士の業務に活用する力を習得できる。
4) 社会人として必要な資質を知り、その習得ができる。

評価方法: 出席および演習におけるレポートの提出を、評価方法とする。

準備学習・履修上の注意等: 1) 事前に、各粥腫についての業務に関して、予習しておくこと。
2) 演習の際は、各担当教員の指示に従うこと。

オフィスアワー: 本学科および各担当講師と事前にアポイントを取ること。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)、2)	言語聴覚士の業務、再確認	講義	原
2	1)、2)、3)	保健・医療・福祉におけるデータの利用(データの種類、データの読み方、活用法)	講義	原
3		リハビリテーション関連職種について知る(1)理学療法士	講義・演習	外部講師
4	1)、2)	リハビリテーション関連職種について知る(2)作業療法士	講義・演習	作業療法
5	1)、2)	医療関連職種について知る(1)看護師	講義・演習	外部講師
6	1)、2)	医療関連職種について知る(2)歯科領域	講義・演習	中村
7	1)、2)	医療関連職種について知る(3)臨床工学技士	講義・演習	臨床工学
8	1)、2)	医療関連職種について知る(4)視能訓練士	講義・演習	視機能療法
9	1)、2)	医療関連職種について知る(5)歯科衛生士	講義・演習	外部講師
10	1)、2)	医療関連職種について知る(6)義肢装具士	講義・演習	外部講師
11	1)、2)	保健関連領域の職種を知る 保健師	講義・演習	外部講師
12	1)、2)	福祉関連領域の職種を知る(1)社会福祉士	演習	社福学部
13	1)、2)	福祉関連領域の職種を知る(2)介護福祉士	演習	社福学部
14	1)、2)	社会人として必要な資質を知る 職場体験(1)	演習	原
15	4)	社会人として必要な資質を知る 職場体験(2)	演習	原

教科書: 特にありませんが、各講師より参考書等文献の指示があります。

参考書: 各講師の指示に従ってください。

科目名: **学外評価臨床実習**

担当者: 原 修一(保・言)・長嶋比奈美(保・言)・戸高 翼(保・言)・中村 真理子(保・言)・松山 光生(保・言)・太田 栄次(保・言)・内藤 健一(保・言)・倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 450 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 本実習の目的は、高い臨床知識・技術を持つ言語聴覚士を目指す者が、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床能力を身につけるために実施されることにある。本実習では、障害児・者の評価を中心とした業務や、実習指導者とのやり取りを通じ、学生個人が言語聴覚士として必要なスキルや症例の持つ障害の特性に応じた評価の技術、訓練プログラム立案のための能力、討議する能力、分析する能力を身につける。また、病院等の施設において勤務することに必要な、積極性や協調性などの基本的態度や、地域に根差した支援の方法、生涯にわたる自己研鑽をするための姿勢を学ぶ(DP1-7)。

到達目標: (SBOs) 1)言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。
2)実習の計画立案と実習後の分析、報告書の作成ができる。
3)症例に対して問診を実施し、問診の内容から必要なスクリーニング検査・鑑別検査を実施できる。
4)症例の観察、問診・諸検査結果、逐次記録から、症例の問題点を抽出し、訓練プログラムの立案ができる。
5)実習日誌、計画書・報告書等、実習に必要な書類・レポートを、提出期限までに作成・提出ができる。
6)症例の障害や原因疾患等に関する文献を探索し、引用ができる。
7)症例の評価に関するプレゼンテーションと討議ができる。
8)施設や所属する症例の特性を考慮しつつ、実習指導者や施設スタッフの指導の下、言語聴覚士としての評価・記録・報告ができる。

評価方法: 学内臨床実習30%、学外臨床実習50%、学外臨床実習後課題10%、単位認定試験10%

準備学習・履修上の注意等: 実習は全出席が基本である。欠席の場合は書類を提出する必要がある。

オフィスアワー: なし

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~8)	学外臨床実習	実習	全担当者

上記内容で160時間の実習を実施する

教科書: 今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書を適宜使用してください。

参考書: 言語聴覚士リスク管理ハンドブック(山本 徹他編)ヒューマン・プレス【978-4908933080】
高次脳機能障害ポケットマニュアル 第3版(原 寛美監修)医歯薬出版【978-4263214985】
嚥下障害ポケットマニュアル第3版(聖隷嚥下チーム 著)医歯薬出版【978-4263213827】
その他、今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書・参考書を適宜使用・引用してください。

科目名: **言語聴覚障害基礎ゼミ I**

担当者: 太田 栄次(保・言)、松山 光生(保・言)、内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚士に必要な知識と技能を身に付けるためには、日々の講義を理解することに加え、学生自らが主体的に学ぶことが必要となる。本講ではそのような主体的学習の根幹を成す基礎力(「読む力」「書く力」「話す力」「聞く力」)の確実な定着を図るとともに、それらの力を伸ばすことを目指す。特に、次の4点に力点を置く。

1. 自分の考えや意見を分かりやすく話す。
2. 相手の話を適切な態度で聴く。
3. 「読み・書き」能力を向上させ、主体的な学びの下地を作る。
4. 異なる社会的背景をもつ人々とコミュニケーションをとるために必要な幅広い一般常識を身に付ける。

以上1~4の目標を通して、適切な人間関係を築くためのコミュニケーション能力や、リテラシー能力(読み書き能力)の獲得をはかる。(DP2.3.7)

到達目標: (SBOs)

- 1) 話す際の態度を身につける。
- 2) 自分の考えや意見を分かりやすく話すことができる。
- 3) 話を聴く際の態度を身につける。
- 4) 分かりやすい文章を書くことができる。
- 5) 適切な文章を書くことができる。
- 6) 比較的長い文章を適切な文章のスタイルや構成のパターンで書くことができる。
- 7) 図書館やインターネットで自分の必要な情報を探することができる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 特になし。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1		【オリエンテーション】 本講義が目指すことを理解する。	講義・演習	全員
2	1)2)3)	【スピーチをする】 正式な場で話す際の態度を身につける。	講義・演習	全員
3	1)2)3)	【スピーチをする】 正式な場で話す際の態度を身につける。	講義・演習	全員
4	3)	【ノートを取り方】 効率の良い学習ができるようなノートの取り方について理解する。	講義・演習	全員
5	4)	【文の書き方(1)】 分かりやすい文の書き方を身に付ける。	講義・演習	全員
6	4)	【文の書き方(2)】 分かりやすい文の書き方を身に付ける。	講義・演習	全員
7	4)	【文の書き方(3)】 適切な文の書き方を身に付ける。	講義・演習	全員
8	5)	【文の書き方(4)】 適切な文の書き方を身に付ける。	講義・演習	全員
9	5)	【文の書き方(5)】 分かりやすい文・適切な文についての総合演習を通して知識の定着を図る。	講義・演習	全員
10	5)	【文の書き方(6)】 分かりやすい文・適切な文についての総合演習を通して知識の定着を図る。	講義・演習	全員
11	6)	【手紙の書き方(1)】 手紙の構造について理解する。	講義・演習	全員
12	6)	【手紙の書き方(2)】 手紙を書く際の言葉づかい(敬語)について理解する。	講義・演習	全員
13	6)	【手紙の書き方(3)】 封書の書き方について理解する。	講義・演習	全員

- | | | | |
|----|----|---|----------|
| 14 | 7) | 【図書の調べ方(1)】
検索するための適切なキーワードをから参考となる図書の情報を得ることができる。 | 講義・演習 全員 |
| 15 | 7) | 【図書の調べ方(2)】
検索するための適切なキーワードをから参考となる図書の情報を得ることができる。 | 講義・演習 全員 |
-

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **言語聴覚障害基礎ゼミⅡ**

担当者: 太田 栄次(保・言)、松山 光生(保・言)、内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚士に必要な知識と技能を身に付けるためには、日々の講義を理解することに加え、学生自らが主体的に学ぶことが必要となる。本講ではそのような主体的学習の根幹を成す基礎力(「読む力」「書く力」「話す力」「聞く力」)の確実な定着を図るとともに、それらの力を伸ばすことを目指す。特に、次の4点に力点を置く。

1. 自分の考えや意見を分かりやすく話す。
2. 相手の話を適切な態度で聴く。
3. 「読み・書き」能力を向上させ、主体的な学びの下地を作る。
4. 異なる社会的背景をもつ人々とコミュニケーションをとるために必要な幅広い一般常識を身に付ける。

到達目標: (SBOs)

- 1) 話す際の態度を身につける。
- 2) 自分の考えや意見を分かりやすく話すことができる。
- 3) 話を聴く際の態度を身につける。
- 4) 分かりやすい文章を書くことができる。
- 5) 適切な文章を書くことができる。
- 6) 比較的長い文章を適切な文章のスタイルや構成のパターンで書くことができる。
- 7) 文章の要点を捉えることができる。

評価方法: 平常点(授業態度+レポート等)30%と定期試験の点数70%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 特になし。

オフィスアワー: 毎週木曜日10:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	4)5)	【前期の復習】 前期で身に付けた知識の再確認し、知識を定着させる。	講義	太田
2	4)5)	【読んだ書籍をプレゼンテーションする(1)】 分りやすく書く際に留意すべきことについて身につける。	講義・演習	全員
3	4)5)6)	【読んだ書籍をプレゼンテーションする(2)】 適切な文章のスタイルや構成のパターンで分りやすく書くことができる。	講義・演習	全員
4	4)5)7)	【読んだ書籍をプレゼンテーションする(3)】 文章の要点を簡潔に書くことができる。	講義・演習	全員
5	4)5)	【読んだ書籍をプレゼンテーションする(4)】 調べたことを事実に基づいて書くことができる。	講義・演習	全員
6	1)2)3)	【読んだ書籍をプレゼンテーションする(5)】 自分の考えや意見を分りやすく話すことができる。	講義・演習	全員
7	1)2)3)	【読んだ書籍をプレゼンテーションする(6)】 自分の考えや意見を分りやすく話すことができる。	講義・演習	全員
8	3)	【インタビューする(1)】 相手の話を聴く際の態度を身につける。	講義・演習	全員
9	3)	【インタビューする(2)】 相手の話を聴く際の態度を身につける。	講義・演習	全員
10	3)	【インタビューする(3)】 適切な質問の仕方を知る。	講義・演習	全員
11	3)	【インタビューする(4)】 アポイントメントの取り方を知る。	講義・演習	全員
12	1)2)3)	【インタビューする(5)】 知り得たことを事実に基づいて話すことができる。	講義・演習	全員
13	4)5)6)	【意見文を書く(1)】 意見と事実の違いを知る。	講義・演習	全員
14	4)5)6)	【意見文を書く(2)】 意見文の文章構成について理解し、意見文の文章構成で文章作成ができる。	講義・演習	全員

意見文の文章構成について理解し、意見文の文章構成で文章作成ができる。

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害基礎ゼミⅢ

担当者: 松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 患者さんや家族、他職種の状態を把握、考慮したコミュニケーションができ、適切な人間関係を築き、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行できる言語聴覚士になるために、自立的な学習能力の基礎となるリテラシー能力の獲得とコミュニケーション能力の向上を図る。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 話す際の態度を身につける。
 - 2) レジюме、OHC、Power Point を用いて分かりやすく話すことができる。
 - 3) 文章の構成パターンに沿って書くことができる。
 - 4) 事実と意見を分けて書くことができる。
 - 5) 専門書から得た情報を、レジюмеの形で書くことができる。
 - 6) 症例報告の形式に沿って、評価結果と考察に分けて書くことができる。
 - 7) 言語聴覚障害に関する教科書や、専門書を読むことができる。
 - 8) 相手の話を聴く際の態度を身につける。
 - 9) 専門用語の表す意味を教科書や専門書を用いて調べることができる。

評価方法: 平常点40%、期末試験60%の点数で総合的に評価する。。

準備学習・履修上の注意等: 各活動が臨床や研究とどう結びつくか、自らで考えていってほしい。提出物の期日を必ず守ってほしい。次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)4)	【自らの文章能力を把握する】 これまで養ってきた文章能力を活かし、文章問題を解くことができる。	講義	松山・内藤・太田
2	4)	【意見と事実について学ぶ①】 意見と事実の違いについて説明できる。	演習	松山・内藤・太田
3	4)	【意見と事実について学ぶ②】 意見と事実の違いについて説明できる。	講義	松山・内藤・太田
4	3)4)	【意見と事実について学ぶ③】 意見と事実を区別しながら、文章を書くことができる。	演習	松山・内藤・太田
5	1)2)5)7)9)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ①】 ケースカンファレンス資料の重要な用語を抽出できる。	演習	松山・内藤・太田
6	1)2)5)7)9)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ②】 抽出された重要な用語と関連概念が考えることができる。	講義	松山・内藤・太田
7	1)2)5)7)9)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ③】 用語や概念について、適切な資料を使って調べることができる。	演習	松山・内藤・太田
8	1)2)5)7)9)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ④】 調べた事柄について、新たな課題を考えることができる。	講義	松山・内藤・太田
9	1)2)5)7)9)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑤】 調べた事柄と新たな課題について、レジюмеにまとめることができる。	演習	松山・内藤・太田
10	1)2)5)7)9)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑥】 調べた事柄と新たな課題について、OHCにまとめることができる。	演習	松山・内藤・太田
11	1)2)5)7)8)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑦】 調べた事柄と新たな課題について、プレゼンテーションの準備ができる。	講義	松山・内藤・太田
12	1)2)5)7)8)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑧】 調べた事柄と新たな課題について、プレゼンテーションできる。発表会①	演習	松山・内藤・太田
13	1)2)5)7)8)	【専門用語を調べ方、まとめ方を学ぶ⑨】 調べた事柄と新たな課題について、プレゼンテーションできる。発表会②	演習	松山・内藤・太田
14	4)6)7)	【症例報告の書き方を学ぶ①】 症例報告の構成と小児領域の主な項目について列挙できる。	演習	松山・内藤・太田

15 4)6)7) 【症例報告の書き方を学ぶ②】
小児領域の実際の症例報告から、各項目が抽出できる。

演習 松山・内藤・
太田

演習 松山・内藤・
太田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **言語聴覚障害基礎ゼミⅣ**

担当者: 松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 患者さんや家族、他職種の状況を把握、考慮したコミュニケーションができ、適切な人間関係を築き、言語聴覚障害にかかわる知識・技能を用い、評価に必要なプロセスが遂行できる言語聴覚士になるために、自立的な学習能力の基礎となるリテラシー能力の獲得とコミュニケーション能力の向上を図る。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 事実と意見を分けて書くことができる。
 - 2) 症例報告の形式に沿って、評価結果と考察に分けて書くことができる。
 - 3) 言語聴覚障害に関する教科書や、専門書を読むことができる。
 - 4) 言語聴覚障害に関する学術論文の概要が理解できる。
 - 5) 必要な専門書や学術論文をデータベースから探すことができる。

評価方法: 平常点40%、期末試験60%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、課題、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された小テストを再び、自分で解き完全に答えられるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ③】 小児領域の総合評価と他の項目の関係について説明できる。	講義	松山・内藤・ 太田
2	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ④】 小児領域の総合評価の内容について説明できる。	演習	松山・内藤・ 太田
3	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑤】「症例プロフィール」や「検査結果及び評価」の内容について、適切な資料を使って調べることができる。	演習	松山・内藤・ 太田
4	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑥】 「症例プロフィール」や「検査結果及び評価」の内容について、説明することができる。	演習	松山・内藤・ 太田
5	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑦】 小児領域の総合評価下書きシートの構造が理解できる。	演習	松山・内藤・ 太田
6	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑧】 小児領域の総合評価下書きシートに、適切な情報を書き込むことができる。	講義	松山・内藤・ 太田
7	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑨】 小児領域の総合評価下書きシートを使って、文章化できる。	演習	松山・内藤・ 太田
8	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑩】 成人領域の症例報告の主な項目について列挙できる。	講義	松山・内藤・ 太田
9	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑪】 成人領域の症例報告の各項目の内容について、適切な資料を使って調べることができる。	演習	松山・内藤・ 太田
10	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑫】 成人領域の症例報告の各項目の内容について、説明することができる。	演習	松山・内藤・ 太田
11	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑬】 成人領域の総合評価下書きシートの構造が理解できる。	講義	松山・内藤・ 太田
12	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑭】 成人領域の総合評価下書きシートに、適切な情報を書き込むことができる。	演習	松山・内藤・ 太田
13	1)2)3)	【症例報告の書き方を学ぶ⑮】 小児領域の総合評価下書きシートを使って、文章化できる。	演習	松山・内藤・ 太田
14	4)	【学術論文の探し方を学ぶ①】 学術論文の種類と構成について説明できる。	演習	松山・内藤・ 太田
15	5)	【学術論文の探し方を学ぶ②】 データベースを使って学術論文を検索できる。	演習	松山・内藤・ 太田

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: SGD

授業概要: 言語聴覚士にとって臨床研究的視点が重要であることを認識し(DP6、7)、小児および成人の聴覚障害に関連した研究論文の購読およびディスカッションを通して、臨床研究の方法論の基礎を修得する(CP6)。

到達目標: (SBOs) 1) 文献検索を行い、必要な論文を入手することができる。
2) 原著論文の構成を理解し、目的、方法の概要を説明できる。
3) 図表を読み取り、結果と考察のポイントを説明できる。
4) ディスカッションに参加し、質問や意見を述べるすることができる。
5) ディスカッションに参加し、質問に対して適切に対応することができる。
6) プレゼンテーション資料を作成し発表することができる。

評価方法: 平常点70%、提出物30%

準備学習・履修上の注意等: ゼミ活動を通して、自己主導型学習の習慣を身につけてほしい。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	文献検索の方法(1) 小児聴覚障害の研究論文を入手する	SGD	倉内
2	1)	文献検索の方法(2) 成人聴覚障害の研究論文を入手する	SGD	倉内
3	1)2)	論文購読(1) 目的、方法について発表する	SGD	倉内
4	1)2)3)	論文購読(2) 図表を読み取り結果について発表する	SGD	倉内
5	1)2)3)	論文購読(3) 考察のポイントを発表する	SGD	倉内
6	1)～5)	論文購読とディスカッション(1) 小児聴覚障害の研究テーマについて 検査・評価	SGD	倉内
7	1)～5)	論文購読とディスカッション(2) 小児聴覚障害の研究テーマについて 指導・訓練	SGD	倉内
8	1)～5)	論文購読とディスカッション(3) 小児聴覚障害の研究テーマについて その他	SGD	倉内
9	1)～5)	論文購読とディスカッション(4) 成人聴覚障害の研究テーマについて 検査・評価	SGD	倉内
10	1)～5)	論文購読とディスカッション(5) 成人聴覚障害の研究テーマについて 指導・訓練	SGD	倉内
11	1)～5)	論文購読とディスカッション(6) 成人聴覚障害の研究テーマについて その他	SGD	倉内
12	4)5)	総合ディスカッション(1) 小児聴覚障害領域のトピックのまとめ	SGD	倉内
13	4)5)	総合ディスカッション(2) 成人聴覚障害領域のトピックのまとめ	SGD	倉内
14	1)～6)	プレゼンテーション資料を用いて発表を行う(1)	SGD	倉内
15	1)～6)	プレゼンテーション資料を用いて発表を行う(2)	SGD	倉内

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: SGD

授業概要: 言語聴覚士にとって必要な臨床研究的視点を身につけるために、興味のある言語聴覚療法または医学的・心理学的領域に関わる雑誌論文の文献抄読を行い、研究手法や研究に必要な要素の基礎、またプレゼンテーションの方法、質疑応答を通じた討議能力を修得する(DP7、GP1(6))。

到達目標: (SBOs) 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。
2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。
3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。
4)教員や他学生の質問に対し、適切な説明ができるなどの討議ができる。
5)自己の興味のある、または学外臨床実習に向けた障害領域の知識を深めることができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、課題発表、討論等)の評価70%、提出物30%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 言語聴覚障害領域に関する文献を十分に読み込むこと。レジュメ等の準備も含め、プレゼンテーションには1時間以上の準備をかけること。質疑応答の内容を省みて、必要な知識を増やすこと。他学生が提供した情報・知識についても十分に復習すること。

オフィスアワー: 毎週月曜日～木曜日 12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)～5)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献検索の方法、読み方、まとめ方	SGD	長嶋
2	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
3	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
4	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
5	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
6	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
7	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
8	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
9	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
10	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
11	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
12	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
13	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
14	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	SGD	長嶋
15	1)～5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・まとめ	SGD	長嶋

教科書: 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

参考書: 言語障害の研究入門 (伊藤 元信) 協同医書出版社 【978-4-7639-3044-6】

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 原 修一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義では、言語聴覚療法または各学生本人が興味のある医学的・心理学的領域に関わる雑誌論文の文献抄読を中心に行い、言語聴覚士として必要になる研究手法や研究に必要な要素、プレゼンテーションの方法、質疑応答を通じた討議能力を養う(DP2-7)。また、学外臨床実習に臨むための準備段階として、本講義を通じ、実習対象施設の特性に準じた障害領域の知識を深め、かつ、将来の言語聴覚士としての臨床場面における倫理観、知識・研究手法考案のための基礎的方法を習得する(DP1-7)。

到達目標: (SBOs) 1) 必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。
2) 文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。
3) レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。
4) 教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。
5) 自己の興味のある、または学外臨床実習に向けた障害領域の知識を深めることができる。

評価方法: 出席、プレゼンテーションのレジュメ、プレゼンテーション・質疑応答の内容により、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 障害領域に関する文献を十分に読み込むこと。レジュメ等の準備も含め、プレゼンテーションには1時間以上の準備をかけること。質疑応答の内容を省みて、必要な知識を増やすこと。他学生が提供した情報・知識についても十分に復習すること。

オフィスアワー: 水曜日 12:30~13:10

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
2	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
3	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
4	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
5	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
6	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
7	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
8	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
9	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
10	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
11	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
12	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
13	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
14	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
15	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・まとめ	講義	原

教科書： 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

参考書： 言語障害の研究入門（伊藤 元信）協同医書出版社【978-4-7639-3044-6】

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点を、研究を通じてもつことができる言語聴覚士になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。
2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。
3) 情報に基づいて自分の考えを表現できる。
4) 相手の立場に立ち発言ができる。
5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。

評価方法: 平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 今後をしっかりと見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
2	1)~5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
3	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
4	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
5	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
6	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
7	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
8	1)~5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
9	1)~5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
10	1)~5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
11	1)~5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
12	1)~5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
13	1)~5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
14	1)~5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
15	1)~5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山

教科書： 特に指定しない。

参考書： 適宜紹介する。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 医療、特に言語聴覚療法をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うことができる(DP6)ためには、また、常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点をもつ(DP7, CP1(6))ことが求められる。本講義では、自分の興味にしたがって関連する論文を収集し、事前に読み込んだ上で、問題意識を持って調べ、発表する。教員は論文についてコメントするが、主に学生が主体となって議論する能力を育成する。このような活動を通じて、自ら問題を発見し、それについて情報を収集し、自ら考え、行動する能力を育成する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 調べる
 - ① 関連する論文を検索することができる。
 - ② 正確に理解するために不明な用語や知識について調べることができる。
- 2) 伝える
 - ① 発表内容を明瞭かつ簡潔に記したレジュメを作成することができる。
 - ② 論文から得られた知見は何か、疑問点や批判すべき点は何かについて明確に伝えることができる。
- 3) 考える
 - ① 論文を正確に読むための専門的基礎知識を身につける。
 - ② 問題について多角的に考えることができる。

評価方法: 平常点70%、提出物30%

準備学習・履修上の注意等: 自主的、意欲的に取り組む姿勢が必要不可欠

オフィスアワー: 毎週木曜日10:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1		講義の進め方の説明	講義・演習	太田
2	1)2)	指定された論文を読み、まとめて発表する。	演習	太田
3	1)2)	指定された論文を読み、まとめて発表する。	演習	太田
4	1)2)	指定された論文を読み、まとめて発表する。	演習	太田
5	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
6	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
7	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
8	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
9	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
10	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
11	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
12	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
13	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
14	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田
15	1)2)3)	各自で興味のある論文についてまとめ、発表する。	演習	太田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生涯自律性と問題発見・解決力を身につけた言語聴覚士となるために(DP6,7)、論文の集め方、読み方、まとめ方、発表の仕方の基礎を修得する(CP1(6))。

到達目標: 1)論文の集め方を説明できる。
(SBOs) 2)論文の読み方とまとめ方を説明できる。
3)先行研究で明らかになっていること、まだ明らかになっていないこと、研究の意義を説明できる。

評価方法: 平常点70%と提出物30%。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり1時間を目安に予習(次に発表する論文を検索し読むこと)・復習(発表の際に説明できなかった点などを調べること)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	研究をおこなう上での基礎事項の確認(1):論文の集め方	講義	内藤
2	2)	研究をおこなう上での基礎事項の確認(2):論文の読み方とまとめ方	講義	内藤
3	3)	課題論文発表(1-1):指定された論文を読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
4	3)	課題論文発表(1-2):指定された論文を読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
5	3)	論文発表(1-1):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
6	3)	論文発表(1-2):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
7	3)	論文発表(2-1):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
8	3)	論文発表(2-2):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
9	3)	論文発表(3-1):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
10	3)	論文発表(3-2):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
11	3)	論文発表(4-1):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
12	3)	論文発表(4-2):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
13	3)	論文発表(5-1):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
14	3)	論文発表(5-2):各自の関心のあるテーマに関する論文を集めて、読み、まとめ、発表し、議論する。	SGD	内藤
15	3)	先行研究のまとめ:これまで取り上げた論文をまとめ、各自の関心のあるテーマの今後の展望について、議論する。	SGD	内藤

教科書: 使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書: 適宜、紹介する。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: SGD

授業概要: 将来、専門職として臨床活動を行っていく時には、EBM(根拠に基づく医療)を提供していくことが求められる。つまり、臨床研究的視点を持ち、根拠に基づく言語聴覚療法を提供できる言語聴覚士になるために(DP6,7)、論文検索、抄読およびディスカッションを通して、研究の方法論の基礎を修得する(CP1(6))。

到達目標: (SBOs)
1) 研究をおこなう上で必要な基本事項を説明することができる。
2) プレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。
3) 論文を読み、不明や用語や知識について調べ、発表することができる。
4) 論文を読み、内容を簡潔にまとめ、知見等について発表することができる。
5) 発表会、もしくはディスカッションに参加し、質問や意見を述べるすることができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業への参加態度、発表態度など)の評価を70%、レポート等の提出物を30%として、総合的に評価する。評価の基準は、授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 準備学習: 毎授業時に課題発表を行ってもらうため、1コマあたり1時間を目安に予習を行うこと。
履修上の注意: 授業中には、積極的に討論に参加すること。

オフィスアワー: 毎週(火)から(木)の12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	研究をおこなう上での基本的事項の確認①(情報の集め方・整理の仕方)	SGD	戸高
2	1)	研究をおこなう上での基本的事項の確認②(論文の読み方・まとめ方)	SGD	戸高
3	5)	4年生の卒業論文の計画発表会に参加する	SGD	戸高
4	2)	各自で興味のある事柄についてプレゼンテーションを作成し、発表する。	SGD	戸高
5	3)~5)	課題発表: 指定された論文を読み、まとめて発表する①	SGD	戸高
6	3)~5)	課題発表: 指定された論文を読み、まとめて発表する②	SGD	戸高
7	5)	4年生の卒業論文の中間発表会(1)に参加する	SGD	戸高
8	3)~5)	自由発表: 各自で興味がある論文を読み、まとめて発表する①	SGD	戸高
9	3)~5)	自由発表: 各自で興味がある論文を読み、まとめて発表する②	SGD	戸高
10	3)~5)	自由発表: 各自で興味がある論文を読み、まとめて発表する③	SGD	戸高
11	3)~5)	自由発表: 各自で興味がある論文を読み、まとめて発表する④	SGD	戸高
12	3)~5)	自由発表: 各自で興味がある論文を読み、まとめて発表する⑤	SGD	戸高
13	3)~5)	自由発表: 各自で興味がある論文を読み、まとめて発表する⑥	SGD	戸高
14	3)~5)	自由発表: 各自で興味がある論文を読み、まとめて発表する⑦	SGD	戸高
15	3)~5)	発表のまとめ: 各自の関心のあるテーマについて、先行研究をまとめ発表する	SGD	戸高

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミ I

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚療法をめぐる社会的動向を把握し、障害にわたって自己研鑽を行うことができる自律性を養うため(DP7)本講義では、言語聴覚療法または各学生本人が興味のある医学的・心理学的領域に関わる雑誌論文の文献抄読を中心に行い、研究手法や研究に必要な要素、プレゼンテーションの方法、質疑応答を通じた討議能力を養う。学外臨床実習に臨むための準備段階として、本講義を通じ、実習対象施設の特性に準じた障害領域の知識を深め、かつ、将来の臨床場面における知識・研究手法考案のための基礎的方法を習得する(CP7)。

到達目標: (SBOs) 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。
2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。
3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。
4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。
5)自己の興味のある、または学外臨床実習に向けた障害領域の知識を深めることができる。

評価方法: 出席、プレゼンテーションのレジュメ、プレゼンテーション・質疑応答の内容により、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 障害領域に関する文献を十分に読み込むこと。レジュメ等の準備も含め、プレゼンテーションには1時間以上の準備をかけること。質疑応答の内容を省みて、必要な知識を増やすこと。他学生が提供した情報・知識についても十分に復習すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
2	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
3	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
4	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
5	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
6	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
7	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
8	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
9	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
10	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
11	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
12	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
13	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
14	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	中村
15	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・まとめ	講義	中村

教科書: 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

参考書: なぜあなたの研究は進まないのか(佐藤雅昭) メディカルレビュー社【978-4-7792-1725-8】

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅡ

担当者: 倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 仮説・検証のプロセスに基づく、科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得するために(DP6、7)、小児および成人・高齢期の聴覚障害に関連した研究テーマを設定して、調査または文献研究を実施し卒業論文を作成する(CP6)。

到達目標: (SBOs)
1) 研究テーマを設定し、研究計画を作成することができる。
2) 先行研究論文を収集し、問題の所在と背景について発表することができる。
3) 研究計画に基づき本研究を実施し、結果を整理することができる。
4) 結果に考察を加えて、発表することができる。
5) プレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。

評価方法: 平常点70%、提出物30%

準備学習・履修上の注意等: ゼミ活動を通して、自己主導型学習の習慣を身につけてほしい。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	研究テーマの設定(1) 問題の所在と背景について整理する	SGD	倉内
2	1)2)	研究テーマの設定(2) 問題の所在と背景について整理する	SGD	倉内
3	1)2)	論文購読とディスカッション(1) 重要な先行研究論文について概要を発表する	SGD	倉内
4	1)2)	論文購読とディスカッション(2) 重要な先行研究論文について概要を発表する	SGD	倉内
5	1)2)	論文購読とディスカッション(3) 複数の先行研究論文を比較して概要を発表する	SGD	倉内
6	1)2)	研究計画書の作成(1)	SGD	倉内
7	3)	研究計画書の作成(2)	SGD	倉内
8	3)	研究の実施(1) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
9	3)	研究の実施(2) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
10	3)	研究の実施(3) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
11	4)	研究の実施(4) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
12	4)	結果の分析(1) 結果を分析し報告する	SGD	倉内
13	5)	結果の分析(2) 結果を分析し報告する	SGD	倉内
14	5)	プレゼンテーションの準備 プレゼンテーション用資料を作成する	SGD	倉内
15		プレゼンテーションの実施	SGD	倉内

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅡ

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: SGD

授業概要: 臨床研究の方法論の基礎を身につけるために、興味を持った言語聴覚療法的知見について、雑誌論文の抄読や教員との討議を通じて、ポスターを作成し、発表する。その過程を通じて、文献の読み方やまとめ方の習得や、ポスタープレゼンテーション能力、質疑応答を通じた討議能力を修得する(DP7、CP1(6))。

到達目標: (SBOs)

- 1) 必要な雑誌論文を図書館等より収集することができる。
- 2) 文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋することができる。
- 3) 資料を基に、発表のためのポスターを作成することができる。
- 4) 教員に相談して得た知見や他学生の意見を、ポスターと発表内容に反映することができる。
- 5) 教員と他学生の前で、ポスターに関するプレゼンテーションができる。
- 6) 教員や学生の質問内容に対し、十分な回答や説明をすることができる。
- 7) 自己のプレゼンテーションを振り返り、4年次における研究計画を立てることができる。

評価方法: 教員とのやり取りにおけるポスターの改善の様子、ポスターと抄録内容、プレゼンテーションと質疑応答の内容などを、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 関連文献をできるだけ多く収集し、十分に読み込むこと。ポスター作成においては、教員との打ち合わせに時間をかけること。発表原稿を作成し、プレゼンテーションの練習を十分に行うこと。予測できる質疑応答と回答の内容を十分に考えること。他学生の作成したポスターデザインや内容、自己の質疑応答の内容を振り返り、必要な知識を増やすこと。

オフィスアワー: 毎週月曜日～木曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	ポスター作成に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(1)	SGD	長嶋
2	1)2)	ポスター作成に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(2)	SGD	長嶋
3	1)2)	ポスター作成に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(3)	SGD	長嶋
4	1)～4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(1)	SGD	長嶋
5	1)～4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(2)	SGD	長嶋
6	1)～4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(3)	SGD	長嶋
7	1)～4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(4)	SGD	長嶋
8	1)～4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(5)	SGD	長嶋
9	1)～4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(6)	SGD	長嶋
10	4)～6)	ポスターの完成とプレゼンテーション内容の検討(1)	SGD	長嶋
11	4)～6)	ポスターの完成とプレゼンテーション内容の検討(2)	SGD	長嶋
12	4)～6)	ポスターの完成とプレゼンテーション内容の検討(3)	SGD	長嶋
13	4)～6)	ポスターの完成とプレゼンテーション内容の検討(4)	SGD	長嶋
14	5)6)	ポスター発表会	SGD	長嶋
15	7)	自己のプレゼンテーションの振り返りと4年次における研究計画の立案	SGD	長嶋

教科書: 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

参考書: 言語障害の研究入門 (伊藤 元信) 協同医書出版社【978-4-7639-3044-6】

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅡ

担当者: 原 修一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 本ゼミでは、学外臨床実習で経験し、かつ各学生が興味を持つ言語聴覚療法的知見について、雑誌論文の抄読や教員との討議を通じて、ポスターを作成し、発表する。その過程を通じて、文献の読み方やまとめ方の習得や、ポスタープレゼンテーション能力、質疑応答を通じた討議能力を養う。また本ゼミは、4年次における卒業研究の準備や、言語聴覚士としての高い臨床能力やプレゼンテーション能力を持つための基礎的側面としての位置づけをもつ(DP1-4&7)。

到達目標: (SBOs) 1) 必要な雑誌論文を図書館等より収集することができる。
2) 文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋することができる。
3) 資料を基に、発表のためのポスターを作成することができる。
4) 教員に相談して得た知見や他学生の意見を、ポスターと発表内容に反映することができる。
5) 教員と他学生の前で、ポスターに関するプレゼンテーションができる。
6) 教員や学生の質問内容に対し、十分な回答や説明をすることができる。
7) 自己のプレゼンテーションを振り返り、4年次における卒業研究の計画を立てることができる。

評価方法: 出席、教員とのやり取りにおけるポスターの改善の様子、ポスターとプレゼンテーション用抄録の内容、プレゼンテーションと質疑応答の内容により、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: ポスターの内容に関する文献をできるだけ多く収集し、十分に読み込むこと。ポスター作成においては、教員との打ち合わせに時間をかけること。発表原稿を作成し、プレゼンテーションの練習を十分に行うこと。予測できる質疑応答と回答の内容を十分に考えること。他学生の作成したポスターデザインや内容、自己の質疑応答の内容を振り返り、4年次の卒業研究に関して必要な知識を増やすこと。

オフィスアワー: 水曜日 12:30~13:10

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1) 2)	ポスター作成に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(1)	SGD	原
2	1) 2)	ポスター作成に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(2)	SGD	原
3	1) 2)	ポスター作成に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(3)	SGD	原
4	1)~4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(1)	SGD	原
5	1)~4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(2)	SGD	原
6	1)~4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(3)	SGD	原
7	1)~4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(4)	SGD	原
8	1)~4)	ポスターの作成、教員・他学生との討議(5)	SGD	原
9	4)~6)	ポスターの完成とプレゼンテーション内容の検討(1)	SGD	原
10	4)~6)	ポスターの完成とプレゼンテーション内容の検討(2)	SGD	原
11	4)~6)	ポスターの完成とプレゼンテーション内容の検討(3)	SGD	原
12	5)6)	ポスター発表会	SGD	原
13	7)	自己のプレゼンテーションの振り返りと4年次における研究計画の立案(1)	SGD	原
14	7)	自己のプレゼンテーションの振り返りと4年次における研究計画の立案(2)	SGD	原

教科書: 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

参考書: 言語障害の研究入門 (伊藤 元信) 協同医書出版社 【978-4-7639-3044-6】

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅡ

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点を、研究を通じてもつことができる言語聴覚士になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ。

到達目標: (SBOs)
1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。
2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。
3) 情報に基づいて自分の考えを表現できる。
4) 相手の立場に立ち発言ができる。
5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。

評価方法: 平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 今後をしっかりと見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15～19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)～5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
2	1)～5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
3	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
4	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
5	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
6	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
7	1)～5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
8	1)～5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
9	1)～5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
10	1)～5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
11	1)～5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
12	1)～5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
13	1)～5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
14	1)～5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
15	1)～5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山

教科書： 特に指定しない。

参考書： 適宜紹介する。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅡ

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 医療、特に言語聴覚療法をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うことができる(DP6)ためには、また、常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点をもつ(DP7, CP1(6))ことが求められる。本ゼミでは、以上の力を養成することを目的に、学外臨床実習で経験し、かつ各学生が興味を持つ言語聴覚療法的知見について、雑誌論文の抄読や教員との討議を実施する。その過程を通じて、文献の読み方やまとめ方の習得や、プレゼンテーション能力、質疑応答を通じた討議能力を養う。また本ゼミは、4年次における卒業研究の準備としての位置づけをもつ。

到達目標: (SBOs) 1) 必要な雑誌論文を図書館等より収集することができる。
2) 文献より、発表に必要な要素を抜粋することができる。
3) 資料を基に、発表のためのレジュメを作成することができる。
4) 教員に相談して得た知見や他学生の意見を、レジュメと発表内容に反映することができる。
5) 教員と他学生の前で、レジュメに沿ったプレゼンテーションができる。
6) 教員や学生の質問内容に対し、十分な回答や説明をすることができる。
7) 自己の発表を振り返り、4年次における卒業研究の計画を立てることができる。

評価方法: 平常点70%、提出物30%

準備学習・履修上の注意等: レジュメの内容に関する文献をできるだけ多く収集し、十分に読み込むこと。レジュメ作成においては、教員との打ち合わせに時間をかけること。発表原稿を作成し、発表の練習を十分に行うこと。予測できる質疑応答と回答の内容を十分に考えること。他学生の作成したレジュメや内容、自己の質疑応答の内容を振り返り、4年次の卒業研究に関して必要な知識を増やすこと。

オフィスアワー: 水曜日 12:30~13:10

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	発表に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(1)	SGD	太田
2	1) 2)	発表に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(2)	SGD	太田
3	1) 2)	発表に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(3)	SGD	太田
4	1)~4)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(1)	SGD	太田
5	1)~4)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(2)	SGD	太田
6	1)~4)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(3)	SGD	太田
7	1)~4)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(4)	SGD	太田
8	1)~4)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(5)	SGD	太田
9	4)~6)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(6)	SGD	太田
10	4)~6)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(7)	SGD	太田
11	4)~6)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(8)	SGD	太田
12	4)~6)	レジュメの作成、教員・他学生との討議(9)	SGD	太田
13	7)	自己の発表の振り返りと4年次における研究計画の立案(1)	SGD	太田
14	7)	自己の発表の振り返りと4年次における研究計画の立案(2)	SGD	太田

教科書: 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

参考書: 言語障害の研究入門 (伊藤 元信) 協同医書出版社 【978-4-7639-3044-6】

科目名: **言語聴覚障害専門ゼミⅡ**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 生涯自律性と問題発見・解決力を身につけた言語聴覚士となるために(DP6,7)、研究計画の作成、及びデータ収集の方法の基礎を修得する(CP1(6))。

到達目標: 1)卒業論文のテーマを決定できる。
(SBOs) 2)研究計画を作成し、実施できる。

評価方法: 平常点70%と提出物30%。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり1時間を目安に予習(テーマの選定ないしは研究計画の作成)・復習(テーマの練り直しはいしは研究計画の修正)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	卒業論文のテーマの選定	SGD	内藤
2	1)	卒業論文のテーマの選定	SGD	内藤
3	1)	卒業論文のテーマの選定	SGD	内藤
4	1)	卒業論文のテーマの選定	SGD	内藤
5	1)	卒業論文のテーマの選定	SGD	内藤
6	1)	卒業論文のテーマの選定	SGD	内藤
7	1)	卒業論文のテーマの選定	SGD	内藤
8	2)	研究計画の作成	SGD	内藤
9	2)	研究計画の作成	SGD	内藤
10	2)	研究計画の作成	SGD	内藤
11	2)	研究計画の作成	SGD	内藤
12	2)	研究計画の作成	SGD	内藤
13	2)	研究計画の作成	SGD	内藤
14	2)	研究計画の作成	SGD	内藤
15	2)	研究計画の作成	SGD	内藤

教科書: 使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書: 適宜、紹介する。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅡ

担当者: 戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 将来、専門職として臨床活動を行っていく時には、EBM(根拠に基づく医療)を提供していくことが求められる。つまり、臨床研究的視点を持ち、根拠に基づく言語聴覚療法を提供できる言語聴覚士になるために(DP6,7)、興味のある研究テーマについて、テーマを絞り、研究計画を作成し、調査等を実践できる臨床研究の視点と方法論を修得する(CP1(6))。

到達目標: (SBOs) 1)卒業論文のテーマを設定することができる。
2)研究計画を作成することができる。
3)研究計画に沿って、調査等を実施することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業への参加態度、発表態度など)の評価を70%、レポート等の提出物を30%として、総合的に評価する。評価の基準は、授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 準備学習:自発的に卒業論文の作成に必要な学習を1コマあたり1時間を目安に行うこと。
履修上の注意:卒業論文計画の作成においては、指示持ちではなく、自ら考え、検証や推敲の作業を繰り返し行ってください。

オフィスアワー: 毎週(火)から(木)の12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	卒業論文のテーマの選定①	SGD	戸高
2	1)	卒業論文のテーマの選定②	SGD	戸高
3	1)	卒業論文のテーマの選定③	SGD	戸高
4	2)	卒業論文の計画書を作成する①	SGD	戸高
5	2)	卒業論文の計画書を作成する②	SGD	戸高
6	2)	卒業論文の計画書を作成する③	SGD	戸高
7	2)	卒業論文の計画書を作成する④	SGD	戸高
8	2)	卒業論文の計画書を作成する⑤	SGD	戸高
9	2)	卒業論文の計画書の発表	SGD	戸高
10	3)	研究計画書に沿って、データ収集を行う①	SGD	戸高
11	3)	研究計画書に沿って、データ収集を行う②	SGD	戸高
12	3)	研究計画書に沿って、データ収集を行う③	SGD	戸高
13	3)	研究計画書に沿って、データ収集を行う④	SGD	戸高
14	3)	研究計画書に沿って、データ収集を行う⑤	SGD	戸高
15	3)	データの確認、整理を行う	SGD	戸高

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅡ

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 常に問題意識を持ち、問題を解決するための視点を研究を通じて養うため(DP7)本ゼミでは、学外臨床実習で経験し、かつ各学生が興味を持つ言語聴覚療法的知見について、雑誌論文の抄読や教員との討議を通じて、ポスターを作成し、発表する。その過程を通じて、文献の読み方やまとめ方の習得、ポスタープレゼンテーション能力、質疑応答を通じた討議能力を養う(CP1-6)。また本ゼミは、4年次における卒業研究の準備としての位置づけをもつ。

到達目標: (SBOs) 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集することができる。
2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋することができる。
3)資料を基に、発表のためのポスターを作成することができる。
4)教員に相談して得た知見や他学生の意見を、ポスターと発表内容に反映することができる。
5)教員と他学生の前で、ポスターに関するプレゼンテーションができる。
6)教員や学生の質問内容に対し、十分な回答や説明をすることができる。
7)自己のプレゼンテーションを振り返り、4年次における卒業研究の計画を立てることができる。

評価方法: 出席、教員とのやり取りにおけるポスターの改善の様子、ポスターとプレゼンテーション用抄録の内容、プレゼンテーションと質疑応答の内容により、総括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: ポスターの内容に関する文献をできるだけ多く収集し、十分に読み込むこと。ポスター作成においては、教員との打ち合わせに時間をかけること。発表原稿を作成し、プレゼンテーションの練習を十分に行うこと。予測できる質疑応答と回答の内容を十分に考えること。他学生の作成したポスターデザインや内容、自己の質疑応答の内容を振り返り、4年次の卒業研究に関して必要な知識を増やすこと。

オフィスアワー: 水曜日 12:30~13:10

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(1)	SGD	中村
2	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(2)	SGD	中村
3	1)2)	研究に必要な文献収集と抄読・ポイントのまとめ(3)	SGD	中村
4	1)~4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(1)	SGD	中村
5	1)~4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(2)	SGD	中村
6	1)~4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(3)	SGD	中村
7	1)~4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(4)	SGD	中村
8	1)~4)	研究計画の立案、教員・他学生との討議(5)	SGD	中村
9	4)~6)	調査・研究の実施(1)	SGD	中村
10	4)~6)	調査・研究の実施(2)	SGD	中村
11	4)~6)	調査・研究の実施(3)	SGD	中村
12	5)6)	ポスター発表会	SGD	中村
13	7)	自己のプレゼンテーションの振り返りと4年次における研究計画の立案(1)	SGD	中村
14	7)	自己のプレゼンテーションの振り返りと4年次における研究計画の立案(2)	SGD	中村
15	7)	自己のプレゼンテーションの振り返りと4年次における研究計画の立案(3)	SGD	中村

教科書: 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

参考書: なぜあなたの研究は進まないのか(佐藤雅昭) メディカルレビュー社【978-4-7792-1724-1】

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅢ

担当者: 戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: SGD

授業概要: 将来、専門職として臨床活動を行っていく時には、EBM(根拠に基づく医療)を提供していくことが求められる。つまり、臨床研究的視点を持ち、根拠に基づく言語聴覚療法を提供できる言語聴覚士になるために(DP6,7)、興味のある研究テーマについて、データ分析と結果の解釈を行い、得られた成果を考察し、まとめる過程を通して、仮説・検証のプロセスや臨床研究の視点と方法論を修得する(CP1(6))。

到達目標: (SBOs) 1)結果を集計・分析し、考察することができる。
2)論文を作成することができる。
3)成果を発表することができる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業への参加態度、発表態度など)の評価を50%、卒業論文50%として、総括的に評価する。評価の基準は、授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 準備学習: 自発的に卒業論文の作成に必要な学習を1コマあたり1時間を目安に行うこと。
履修上の注意: 卒業論文の作成においては、指示持ちではなく、自ら検証や推敲の作業を繰り返し行ってください。

オフィスアワー: 毎週(火)から(木)の12:20~13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	結果の集計・分析①	SGD	戸高
2	1)	結果の集計・分析②	SGD	戸高
3	1)	結果の集計・分析③	SGD	戸高
4	1)	結果の解釈①	SGD	戸高
5	1)	結果の解釈②	SGD	戸高
6	1)	結果の解釈③	SGD	戸高
7	1)	結果の解釈④	SGD	戸高
8	2)	卒業論文作成①	SGD	戸高
9	2)	卒業論文作成②	SGD	戸高
10	2)	卒業論文作成③	SGD	戸高
11	2)	卒業論文作成④	SGD	戸高
12	2)	卒業論文作成⑤	SGD	戸高
13	2)	卒業論文作成⑥	SGD	戸高
14	2)	卒業論文作成⑦	SGD	戸高
15	3)	卒業研究発表会	SGD	戸高

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅢ

担当者: 中村 真理子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 常に問題意識を持ち、問題を解決するための視点を研究を通じてもつことができる(DP7)能力を養うため、本講義は、言語聴覚療法または各学生本人が興味のある医学的・心理学的領域に関わる雑誌論文の文献抄読、卒業研究の進行状況の説明・討議を中心に行い、将来の臨床に臨むための準備段階として、研究手法や研究に必要な要素、プレゼンテーションの方法、質疑応答を通じた討議能力を養う。その過程で、柔軟な思考力を培い、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を修得する(CP1-6)。

到達目標: (SBOs) 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。
2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。
3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。
4)教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。
5)自己の卒業研究について説明し、討議の中で指導等を受け、卒業論文を完成させることができる。

評価方法: 出席と各回で作成するレジュメ内容、討議内容、卒業論文の提出状況と内容により、統括的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 文献抄読は、学生が交代で行うので、一日1時間以上は、文献抄読のための時間を作る。日常的に図書館に行き、雑誌に目を通し、興味のある文献はコピーやPDFダウンロードにより保存しておくこと。

オフィスアワー: 水曜日 12:30~13:10

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究に関する説明	講義	中村
2	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
3	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
4	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
5	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
6	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
7	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
8	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
9	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
10	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
11	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
12	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
13	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
14	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
15	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村

16	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
17	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
18	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
19	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
20	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
21	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
22	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
23	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
24	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
25	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究の進捗状況説明と討議	講義	中村
26	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・卒論の進捗状況説明と論文完成	講義	中村
27	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・卒論の進捗状況説明と論文完成	講義	中村
28	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・卒論の進捗状況説明と論文提出	講義	中村
29	1)~5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議	講義	中村
30	1)~5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議	講義	中村

教科書： 特にありませんが、研究に必要な雑誌論文等を適宜指示します。

参考書： なぜあなたは論文が書けないのか(佐藤雅昭) メディカルレビュー社 【978-4-7792-1725-8】

科目名: **言語聴覚障害専門ゼミⅢ**

担当者: 内藤 健一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生涯自律性と問題発見・解決力を身につけた言語聴覚士となるために(DP6,7)、データ分析、及び結果の解釈の仕方の基礎を修得する(CP1(6))。

到達目標: 1)結果を適切に表示し、適切な分析法を選択できる。
(SBOs) 2)結果の解釈をおこなうことができる。

評価方法: 平常点50%と卒業論文50%。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり1時間を目安に予習(次に発表する論文を検索し読むこと)・復習(発表の際に説明できなかった点などを調べること)をおこなうこと。

オフィスアワー: 毎週火～金曜日12:15～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	結果の分析	SGD	内藤
2	1)	結果の分析	SGD	内藤
3	1)	結果の分析	SGD	内藤
4	1)	結果の分析	SGD	内藤
5	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
6	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
7	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
8	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
9	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
10	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
11	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
12	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
13	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
14	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤
15	2)	結果の解釈と卒業論文の作成	SGD	内藤

教科書: 使用しない。適宜、資料を配布する。

参考書: 適宜、紹介する。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅢ

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点を、研究を通じてもつことができる言語聴覚士になるために、各自で、卒業研究に関連する資料・文献を収集し、熟読する。その上で、問題を解決するための視点を、卒業研究の研究計画を通じて学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1) 今後の活動を見越して計画的に準備ができる。
2) 文献から得た情報を体系的に整理できる。
3) 情報を基づいて自分の考えを表現できる。
4) 相手の立場に立ち発言ができる。
5) ゼミ運営において自主的な行動ができる。

評価方法: 平常点70%、提出物30%で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 今後をしっかりと見据えて、真摯に取り組んでほしい。また、ゼミ運営にも積極的に参加してほしい。次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
2	1)~5)	【ゼミのあり方について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
3	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ①】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
4	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ②】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
5	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ③】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
6	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ④】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
7	1)~5)	【卒業研究に関連する文献を通して研方法について学ぶ⑤】 ゼミの中でゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
8	1)~5)	【研究テーマについて検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
9	1)~5)	【研究テーマについて検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
10	1)~5)	【研究テーマについて検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
11	1)~5)	【研究テーマについて検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
12	1)~5)	【研究計画について検討する①】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
13	1)~5)	【研究計画について検討する②】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
14	1)~5)	【研究計画について検討する③】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山
15	1)~5)	【研究計画について検討する④】 進捗状況の報告およびゼミ生同士・教員で討論をする。	SGD	松山

教科書： 特に指定しない。

参考書： 適宜紹介する。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅢ

担当者: 太田 栄次(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: 医療、特に言語聴覚療法をめぐる社会的動向を把握し、生涯にわたって自己研鑽を行うことができる(DP6)ためには、また、常に問題意識を持ち、問題意識を解決するための視点をもつ(DP7, CP1(6))ことが求められる。本講義では、自分が設定した具体的なテーマについて、学術的見地から客観的事実にもとづいて論理的に議論を展開し、明確な結論を提示する方法を学ぶ。また、卒業論文の内容もさることながら、口頭発表のしかた、配布資料の作り方など、就職後にも役に立つ具体的な技術も身に付けることを目指す。

到達目標: (SBOs)
1) 研究課題に関連した論文を検索することができる。
2) 論文を精読し、内容を正確に把握することができる。
3) 自分自身で疑問を持ち、そこからテーマを設定することができる。
4) 自らの問題意識や目的に応じて、データを収集することができる。
5) 自ら収集したデータを基に考察することができる。

評価方法: 平常点70%、提出物(卒業論文)30%

準備学習・履修上の注意等: 自主的、意欲的に取り組む姿勢が必要不可欠

オフィスアワー: 毎週木曜日10:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	講義の進め方の説明	講義・演習	太田
2	1)~3)	各自の研究課題に関連する論文の精読。また、研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
3	1)~3)	各自の研究課題に関連する論文の精読。また、研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
4	1)~3)	各自の研究課題に関連する論文の精読。また、研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
5	1)~4)	各自の研究課題に関連する論文の精読。また、研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
6	1)~4)	研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
7	1)~4)	研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
8	1)~4)	研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
9	1)~4)	研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
10	1)~4)	研究の進捗状況の報告及び検討	演習	太田
11	1)~5)	論文の作成	演習	太田
12	1)~5)	論文の作成	演習	太田
13	1)~5)	論文の作成	演習	太田
14	1)~5)	論文の作成	演習	太田
15	1)~5)	論文の要旨を発表	演習	太田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅢ

担当者: 原 修一(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本講義では、言語聴覚療法または各学生本人が興味のある医学的・心理学的領域に関わる卒業論文の完成を中心に行う。卒業論文の作成を通じ、研究手法や研究に必要な手続き、分析と卒論完成、プレゼンテーションの方法、質疑応答を通じた討議能力を養う(DP2-7)。

到達目標: (SBOs) 1)必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。
2)文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。
3)レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。
4)卒業論文を完成させることができる。
5)他学生との討議で、興味のある障害領域の知識を深めることができる。

評価方法: 出席、プレゼンテーションのレジュメ、プレゼンテーション・卒業論文の作成過程と内容により、総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 障害領域に関する文献を十分に読み込むこと。レジュメ等の準備も含め、プレゼンテーションには1時間以上の準備をかけること。質疑応答の内容を省みて、必要な知識を増やすこと。他学生が提供した情報・知識についても十分に復習し、卒業論文の作成に活かすこと。

オフィスアワー: 水曜日 12:30~13:10

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
2	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
3	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
4	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
5	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
6	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
7	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
8	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
9	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
10	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
11	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
12	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議	講義	原
13	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・卒論の完成	講義	原
14	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・卒論の完成	講義	原
15	1)~5)	言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・まとめ	講義	原

教科書: 雑誌論文を中心に、適宜指示します。

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅢ

担当者: 長嶋 比奈美(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・SGD

授業概要: 柔軟な思考力と問題解決能力を培い、臨床現場においてリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を身につけるために、卒業論文の作成を通して、仮説・検証のプロセスに基づく科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得する(DP7、CP1(6))。

到達目標: (SBOs)
1) 必要な雑誌論文を図書館等より収集できる。
2) 文献より、プレゼンテーションに必要な要素を抜粋し、レジュメを作成することができる。
3) レジュメ等の資料を基に、教員・他学生の前で文献のプレゼンテーションができる。
4) 教員や他学生の質問に対し、答えるなどの討議ができる。
5) 自己の卒業研究について説明し、討議の中で指導等を受け、卒業論文を完成させることができる。

評価方法: 研究への取り組み姿勢(課題提出状況、課題発表、討論等)の評価50%と、卒業論文50%で評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回1時間以上は、文献抄読・研究テーマのための学習時間を作る。常に問題意識を持ち、討論には、積極的に参加すること。

オフィスアワー: 毎週月曜日～木曜日 12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)～4)	オリエンテーション・言語聴覚療法等に関する文献抄読・討議・研究に関する説明	講義	長嶋
2	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
3	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
4	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
5	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
6	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
7	1)～4)	研究テーマに関する文献抄読・研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
8	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
9	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
10	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
11	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
12	1)～4)	卒業研究の進捗状況説明と討議	SGD	長嶋
13	4)5)	卒業論文の完成と修正	SGD	長嶋
14	4)5)	卒業論文の完成と提出	SGD	長嶋
15	4)5)	卒業論文内容のプレゼンテーションと討議	SGD	長嶋

教科書: 特にありませんが、研究に必要な雑誌論文等を適宜指示します。

参考書: 言語障害の研究入門 (伊藤 元信) 協同医書出版社【978-4-7639-3044-6】

科目名: 言語聴覚障害専門ゼミⅢ

担当者: 倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 仮説・検証のプロセスに基づく、科学的臨床および臨床研究の視点と方法論を修得するために(DP6、7)、小児および成人・高齢期の聴覚障害に関連した研究テーマを設定して、調査または文献研究を実施し卒業論文を作成する(CP6)。

到達目標: (SBOs)
1) 研究テーマを設定し、研究計画を作成することができる。
2) 先行研究論文を収集し、問題の所在と背景について発表することができる。
3) 研究計画に基づき本研究を実施し、結果を整理することができる。
4) 結果に考察を加えて、卒業論文を作成することができる。
5) 推敲を重ねて、卒業論文を完成させることができる。
6) プレゼンテーション資料を作成し発表することができる。

評価方法: 平常点50%、卒業論文50%

準備学習・履修上の注意等: ゼミ活動を通して、自己主導型学習の習慣を身につけてほしい。

オフィスアワー: 毎週月曜～水曜日12:00～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	研究テーマの設定 問題の所在と背景について整理し研究計画を作成する	SGD	倉内
2	1)2)	論文購読とディスカッション(1) 重要な先行研究論文について概要を発表する	SGD	倉内
3	1)2)	論文購読とディスカッション(2) 複数の先行研究論文を比較して概要を発表する	SGD	倉内
4	3)	研究の実施(1) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
5	3)	研究の実施(2) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
6	3)	研究の実施(3) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
7	3)	研究の実施(4) 研究の進捗状況の報告とディスカッション	SGD	倉内
8	4)	結果の分析と考察(1) 結果を分析し報告する	SGD	倉内
9	4)	結果の分析と考察(2) 結果に考察を加え発表する	SGD	倉内
10	4)	卒業論文の執筆(1) 方法と結果を仕上げ発表する	SGD	倉内
11	4)	卒業論文の執筆(2) 考察を仕上げ発表する	SGD	倉内
12	5)	卒業論文の執筆(3) 目的、方法、結果、考察の整合性について検討する	SGD	倉内
13	5)	卒業論文の完成 卒業論文を形式面も含めて最終チェックする	SGD	倉内
14	6)	プレゼンテーションの準備 プレゼンテーション用資料を作成する	SGD	倉内
15	6)	プレゼンテーションの実施	SGD	倉内

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 言語聴覚障害特講 I

担当者: 原 修一(保・言)、長嶋 比奈美(保・言)、中村 真理子(保・言)、松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)、戸高 翼(保・言)、倉内紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 高い臨床能力を持つ言語聴覚士になるために必要となる知識を、多数にわたる履修科目の枠を越えて、専門基礎分野および専門臨床分野の2系統に整理して理解する。また、人体の構造と機能について、中枢神経系、聴覚系、発声発語・摂食嚥下系の3系統に整理して理解し、さらに各系統の構造・機能の側面に病理・病態の側面も加えて統合的に学ぶ。これにより、高い専門知識・技術を習得した言語聴覚士となる基本となる、言語聴覚士国家試験を合格するための知識・技術の習得が達成できる(DP1-7)。

到達目標: (SBOs) 1)中枢神経系の構造・機能の概要について説明できる
2)聴覚系の構造・機能の概要について説明できる
3)発声発語・摂食嚥下系の構造・機能の概要について説明できる
4)3系統にわたる構造・機能について、統合して全体としての概要を説明できる
5)各系統の構造・機能の側面に、病理・病態の側面も加えて概要を説明できる
6)1)~5)を踏まえた上で、専門基礎科目との関連を説明することができる

評価方法: 出欠状況、各種小テスト、提出物、授業態度による形成的評価と、単位認定試験(筆記)による総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、学内・外臨床実習や国家試験につながる講義であるため、最低限1時間は本講義に関する予復習を行うこと。授業終了後も継続的な学習をすることが望ましい。

オフィスアワー: 教員により随時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	オリエンテーション	講義	原
2	1)~5)	言語発達障害系①	講義	長嶋
3	1)~5)	言語発達障害系②	講義	長嶋
4	1)~5)	言語発達障害系③	講義	戸高
5	1)~5)	高次脳機能障害系①	講義	原
6	1)~5)	高次脳機能障害系②	講義	原
7	1)~5)	発声・発語障害系①	講義	原
8	1)~5)	発声・発語障害系②	講義	中村
9	1)~5)	発声・発語障害系③	講義	中村
10	1)~5)	聴覚障害系①	講義	戸高
11	1)~5)	聴覚障害系②	講義	倉内
12	6)	言語聴覚障害総論①	講義	太田
13	6)	言語聴覚障害総論②	講義	松山
14	6)	言語聴覚障害総論③	講義	内藤
15	1)~6)	総括	講義	原

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: **高齢障害演習**

担当者: 中村 真理子(保・言), 飯干 紀代子(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 保健、医療、福祉に参画・連携し、地域に根差した、生涯にわたる支援を行うことができる(DP5)言語聴覚士となるため高齢者の身体的・精神的・社会的健康状態の特徴について取得する(CP1-1)。特にパーソンセンタードケアを学習し、認知症ケアに関する知識習得を図る(CP1-1)。また高齢者のシミュレーション体験を通して、授業で得た知識を再確認する(CP1-4)。

到達目標: (SBOs) 1) 高齢者を取り巻く社会的状況を理解する。
2) 老化の機序を理解する。
3) 高齢者に特有な感覚的・身体的・精神の特徴を理解する。
4) 高齢者の生活背景とそれを活かした働きかけができる。
5) 生涯発達における高齢者の位置づけとサクセスフルエイジングについて説明できる。

評価方法: 提出物85%、受講態度・出席15%

準備学習・履修上の注意等: 講義を受ける前に教科書をよく読んでおくこと

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	高齢者を取り巻く社会的状況	講義	中村
2	2)	老化の機序	講義	中村
3	3)	高齢者に特有の症状	講義	中村
4	2~3)	高齢者の身体的・感覚的低下を体験する①	演習	中村
5	2~3)	高齢者の身体的・感覚的低下を体験する②	演習	中村
6	2~3)	体験発表	演習	中村
7	5)	生涯発達心理学における高齢者	講義	中村
8	5)	サクセスフルエイジング・プロダクティブエイジング	講義	中村
9	4)	高齢者の生活史	講義	中村
10	4)	高齢者インタビュー①	演習	飯干
11	4)	高齢者インタビュー②	演習	飯干
12	4)	高齢者インタビュー③	演習	飯干
13	4)	メモリーブック作成①	演習	飯干
14	4)	メモリーブック作成②	演習	飯干
15	1~5)	総括	演習	中村

教科書: 認知症の看護・介護に役に立つよくわかるパーソン・センタード・ケア 池田書店 鈴木みずえ【ISBN978-4-262-14588-4】

参考書: 使用しない。

科目名: **新生児障害演習**

担当者: 笠井新一郎(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 胎児期から乳幼児期の言語聴覚障害児に対して、地域に根差した支援ができるようになるために(DP4)、新生児期から乳幼児期における言語聴覚障害を知り、その対応方法である乳幼児健診システムや養育者支援を理解する(CP1(4))。

到達目標: (SBOs)
1)胎児～乳児期前期までの言語発達障害児を列挙し、説明できる。
2)新生児期～乳児期前期における言語聴覚障害児を列挙し、説明できる。
3)早期発見・早期療育の意義と問題点について説明できる。
4)乳幼児健診について説明できる。
5)小児の摂食・嚥下障害について説明できる。
6)各関係機関との連携について説明できる。
7)乳児期の養育者支援について説明できる。

評価方法: レポート課題(20%)、出席(10%)、期末試験(60%)、その他の課題(10%)で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 1年で履修した言語発達障害学Ⅰを十分に復習しておくこと。各回の1時間以上の復習・予習を行うこと。新生児障害学は同時期に開講される言語発達障害学Ⅱ・Ⅲと密接に関連しているため、互いに独立した科目と考えず、関連付けながら予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間に実施

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	胎児から幼児前期(新生児を含む)の言語聴覚障害への対応について	講義	笠井
2	1)2)	新生児期～乳児期前期における言語聴覚障害の理解と対応について(1)	講義	笠井
3	1)2)	新生児期～乳幼児期における言語聴覚障害とその対応について(2)	講義	笠井
4	1)2)	新生児期～乳幼児期における言語聴覚障害とその対応について(3)	講義	笠井
5	1)2)3)	早期発見・早期療育の意義と問題点について(1)	講義	笠井
6	1)2)3)	早期発見・早期療育の意義と問題点について(2)	講義	笠井
7	1)2)3)	早期発見・早期療育の意義と問題点について(3)	講義	笠井
8	1)2)3)4)	乳幼児健診について(1)	講義	笠井
9	1)2)3)4)	乳幼児健診について(2)	講義	笠井
10	1)2)3)5)	小児の摂食・嚥下障害について(1)	講義	笠井
11	1)2)3)5)	小児の摂食・嚥下障害について(2)	講義	笠井
12	1)2)3)6)	乳児期における各関係機関との連携について(1)	講義	笠井
13	1)2)3)6)	乳児期における各関係機関との連携について(2)	講義	笠井
14	1)2)3)7)	乳児期の養育者支援について(1)	講義	笠井
15	1)2)3)7)	乳児期の養育者支援について(2)	講義	笠井

教科書: 使用しない。

参考書: 小児の神経と発達の診かた(前川喜平)新興医学出版【978-4-88002-613-1】
0～5歳児(6冊)(秋葉英則他監修)かもがわ出版【978-4-87699-592-3】

科目名: 言語聴覚療法管理運営学演習

担当者: 笠井 新一郎(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚療法の管理運営的な知識、医療経済的な視点を持ち、適切な評価と支援ができる言語聴覚士になるために(DP5)、診療報酬や、言語聴覚療法に必要な設備、備品を理解する(CP 1(1))。

到達目標: (SBOs) 1)日本の言語聴覚療法の歴史を、欧米との比較しながら説明できる。
2)言語聴覚士の立場から、病院経営について認識する。
3)診療報酬について説明できる。
4)言語聴覚療法を実施するにあたり、どのような設備が必要かについて説明できる。
5)言語聴覚療法を実施するにあたり、どのような備品が必要かについて説明できる。

評価方法: レポート課題(20%)、出席(20%)、試験(60%)などで総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 医療人として自覚を持って、この講義に対応してほしい。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間に実施

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	日本の言語聴覚療法の歴史の理解(欧米との比較)(1)	講義	笠井
2	1)2)	日本の言語聴覚療法の歴史の理解(欧米との比較)(2)	講義	笠井
3	1)2)	言語聴覚士の立場から、病院経営に対して理解(1)	講義	笠井
4	2)3)	言語聴覚士の立場から、病院経営に対して理解(2)	講義	笠井
5	2)3)	診療報酬(医療保険、介護保険)について(1)	講義	笠井
6	2)3)4)	診療報酬(医療保険、介護保険)について(2)	講義	笠井
7	2)3)4)	言語聴覚療法に必要な設備について(1)	講義	笠井
8	2)3)4)5)	言語聴覚療法に必要な設備について(2)	講義	笠井
9	2)3)4)5)	言語聴覚療法に必要な備品について(1)	講義	笠井
10	2)3)4)5)	言語聴覚療法に必要な備品について(2)	講義	笠井
11	2)3)4)5)	言語聴覚士のあり方について(1)	講義	笠井
12	2)3)4)5)	言語聴覚士のあり方について(2)	講義	笠井
13	2)3)4)5)	各機関・各職種との連携	講義	笠井
14	1)2)3)4)5)	言語聴覚療法の問題点と今後の課題(1)	講義	笠井
15	1)2)3)4)5)	言語聴覚療法の問題点と今後の課題(2)	講義	笠井

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: コミュニケーション機器論演習

担当者: 倉内 紀子(保・言)、原 修一(保・言)、長嶋比奈美(保・言)、松山 光生(保・言)、戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年次)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本科目では、言語聴覚障害者のコミュニケーション支援を行うことができる言語聴覚士になるために(DP2、4)、AAC(拡大・代替コミュニケーション)の概念と、多様なコミュニケーション障害への適応の実践について学ぶ(CP3、4)。

到達目標: (SBOs)
1) AACの定義について説明できる
2) AACにおけるSTの役割について説明できる
3) ローテク・コミュニケーション、ハイテク・コミュニケーションについて説明できる
4) 小児領域のAACの選択と支援方法について説明できる
5) 成人領域のAACの選択と支援方法について説明できる
6) スイッチの選択と操作について説明できる
7) 各種の障害とAACとの関連について説明できる

評価方法: 平常点(授業への参加状況、レポート等)50%、総括レポート得点50%。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回の授業につき、30分を目安に予習・復習を行って下さい。
授業の中で提示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分(シラバスに記載)を読むしておく。

オフィスアワー: 各教員の指示に従うこと。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	AACとは何か	講義・SGD	倉内
2	1)2)	小児領域のAACの選択と支援方法	講義・SGD	戸高
3	1)~3)	「読み書き」の困難さを補うAAC	講義・SGD	戸高
4	1)~4)	感覚障害とAAC	講義・SGD	長嶋
5	1)~5)	ST臨床におけるAAC	講義・SGD	倉内
6	1)~6)	発達障害の子どもを支援するAAC	講義・SGD	戸高
7	1)~7)	臨床の実際 小児①	講義・SGD	長嶋
8	1)~8)	臨床の実際 小児②	講義・SGD	長嶋
9	1)~9)	肢体不自由とは	講義・SGD	松山
10	1)~9)	肢体不自由児・者へのAACの適応	講義・SGD	松山
11	1)~9)	AACの活用の実践	講義・SGD	松山・倉内
12	1)~9)	スイッチの選択と操作	講義・SGD	原
13	1)~9)	臨床の実際 成人①	講義・SGD	原
14	1)~9)	臨床の実際 成人②	講義・SGD	原
15	1)~9)	まとめ	講義・SGD	倉内

教科書: 言語聴覚療法シリーズ16 改訂 AAC (久保 健彦 編著) 建帛社【978-4-7679-4536-1】

参考書: 使用しない

科目名: コミュニケーション機器論演習

担当者: 倉内 紀子(保・言)、原 修一(保・言)、長嶋比奈美(保・言)、松山 光生(保・言)、戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年次)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本科目では、言語聴覚障害者のコミュニケーション支援を行うことができる言語聴覚士になるために(DP2、4)、AAC(拡大・代替コミュニケーション)の概念と、多様なコミュニケーション障害への適応の実践について学ぶ(CP3、4)。

到達目標: (SBOs)
1) AACの定義について説明できる
2) AACにおけるSTの役割について説明できる
3) ローテク・コミュニケーション、ハイテク・コミュニケーションについて説明できる
4) 小児領域のAACの選択と支援方法について説明できる
5) 成人領域のAACの選択と支援方法について説明できる
6) スイッチの選択と操作について説明できる
7) 各種の障害とAACとの関連について説明できる

評価方法: 平常点(授業への参加状況、レポート等)50%、総括レポート得点50%。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回の授業につき、30分を目安に予習・復習を行って下さい。
授業の中で提示されるテーマについてレポートを作成する。教科書の次回授業部分(シラバスに記載)を読むしておく。

オフィスアワー: 各教員の指示に従うこと。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	AACとは何か	講義・SGD	倉内
2	1)2)	小児領域のAACの選択と支援方法	講義・SGD	戸高
3	1)~3)	「読み書き」の困難さを補うAAC	講義・SGD	戸高
4	1)~4)	感覚障害とAAC	講義・SGD	長嶋
5	1)~5)	ST臨床におけるAAC	講義・SGD	倉内
6	1)~6)	発達障害の子どもを支援するAAC	講義・SGD	戸高
7	1)~7)	臨床の実際 小児①	講義・SGD	長嶋
8	1)~8)	臨床の実際 小児②	講義・SGD	長嶋
9	1)~9)	肢体不自由とは	講義・SGD	松山
10	1)~9)	肢体不自由児・者へのAACの適応	講義・SGD	松山
11	1)~9)	AACの活用の実践	講義・SGD	松山・倉内
12	1)~9)	スイッチの選択と操作	講義・SGD	原
13	1)~9)	臨床の実際 成人①	講義・SGD	原
14	1)~9)	臨床の実際 成人②	講義・SGD	原
15	1)~9)	まとめ	講義・SGD	倉内

教科書: 言語聴覚療法シリーズ16 改訂 AAC(久保 健彦 編著) 建帛社【978-4-7679-4536-1】

参考書: 使用しない

科目名: **言語聴覚障害社会支援演習**

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 保健、医療、福祉、教育に参画・連携し、地域に根差した、生涯にわたる支援を行うことができる言語聴覚士になるために、社会からみた障がい児・者に焦点を当て、学齢期、死周期の問題について学ぶと同時に、社会態度とその変容について、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を習得する。

到達目標: 1)障がい児の学齢期の問題が理解できる
(SBOs) 2)死周期の問題と支援が理解できる
3)障がい児・者の差別に関する問題が理解できる

評価方法: 平常点60%、提出物40%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回授業につき120分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週木曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【特別支援教育について学ぶ①】 特別支援教育の意義について説明できる。	講義	松山
2	1)	【特別支援教育について学ぶ②】 特別支援教育の対象について説明できる。	講義	松山
3	1)	【特別支援教育について学ぶ③】 軽度発達障がい児とその教育的ニーズについて説明できる。	講義	松山
4	1)	【特別支援教育について学ぶ④】 特別支援教育の具体的な支援について理解することができる。	講義	松山
5	1)	【特別支援教育について学ぶ⑤】 特別支援教育の意義における言語聴覚士の役割について理解することができる。	講義	松山
6	2)	【障がい児・者に対する死周期の援助について学ぶ①】 ターミナル・ケアの意義について説明できる。	講義	松山
7	2)	【障がい児・者に対する死周期の援助について学ぶ②】 ターミナル・ケアの対象について説明できる。	講義	松山
8	2)	【障がい児・者に対する死周期の援助について学ぶ③】 ターミナル・ケアにおける言語聴覚士の役割について考えることができる。	演習	松山
9	3)	【障がい児・者に対する社会態度変容の手立てを学ぶ①】 障がい児・者に対する社会態度について理解することができる。	講義	松山
10	3)	【障がい児・者に対する社会態度変容の手立てを学ぶ②】 障がい児・者に対する社会態度について考えることができる。	講義	松山
11	3)	【障がい児・者に対する社会態度変容の手立てを学ぶ③】 障がい児・者に対する社会態度の測定について理解することができる。	講義	松山
12	3)	【障がい児・者に対する社会態度変容の手立てを学ぶ④】 障がい児・者に対する社会態度変容について理解することができる。	講義	松山
13	3)	【障がい児・者に対する社会態度変容の手立てを学ぶ⑤】 障がい児・者に対する社会態度変容の手立てについて考えることができる。	講義	松山
14	1)2)3)	【障がい児・者の社会的問題を学ぶ①】 障がい児・者を取り巻く社会の各側面について理解することができる。	講義	松山
15	1)2)3)	【障がい児・者の社会的問題を学ぶ②】 障がい児・者の社会的問題を総合的に考えることができる。	演習	松山

教科書: 特に指定しない。

参考書: 適宜紹介する。

科目名: **言語聴覚障害家族支援演習**

担当者: 松山 光生(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必須 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 患者さんや家族の状況を把握、考慮したコミュニケーションができ、適切な人間関係を築くことができる言語聴覚士になるために、障がい当事者や障がい児を持つ養育者、きょうだい、家族介護者の心理的問題について、手記や調査を教材に具体的イメージを持ち、受容過程とそれを促進するための心理について、コメディカルに携わる者にとって必須の知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)障がい当事者および家族の障害受容とその過程について理解する。
2)障がい当事者および家族の内的世界に共感する力を養う。
3)自らの考えを論理的に表現する。

評価方法: 平常点60%、提出物40%の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 次のように、1回授業につき240分を目安に予習、復習を行うこと。
授業プリントの次回授業部分を読んでおく(各授業で予告を行う)。
返却された提出物を再び、独力で完成できるようにしておくこと。

オフィスアワー: 毎週火・水曜日18:15~19:15

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)		講義	松山
2	1)		講義	松山
3	1)	【障害の主観性を考える】 障害を持つ意味を考えることできる。	講義	松山
4	2)3)	【障がい者のQOL(生活の質)と障害受容を学ぶ】 障害受容の重要性と各定義が理解できる。	講義	松山
5	2)3)	【中途障がい者の障害受容の段階について学ぶ】 中途障がい者の障害受容の段階を説明できる。	演習	松山
6	2)3)	【障がい児を持つ母親の受容について学ぶ】 障がい児を持つ母親の受容段階説と慢性悲観説を説明できる。	演習	松山
7	2)3)	【障がい児の各ライフステージと養育者の心理的問題について学ぶ】 障がい児のライフステージごとの養育者の心理的問題について理解できる。	演習	松山
8	2)3)	【障がい児の父親の心理的問題について学ぶ】 障がい児の父親の心理的問題について、母親の異同が理解できる。	演習	松山
9	2)3)	【障がい児を同胞にもつきょうだいの心理的問題について学ぶ】 障がい児を同胞にもつきょうだいの心理的問題とその援助が理解できる。	演習	松山
10	2)3)	【障がい児を持つ親が描いた手記から心理を理解する①】 障がい児を持つ親の心理を描いた手記を読み、養育者の心理的問題を抽出することができる。	演習	松山
11	2)3)	【障がい児を持つ親が描いた手記から心理を理解する②】 障がい児を持つ親の心理を描いた手記を読み、養育者の心理的問題を抽出することができる。	演習	松山
12	2)3)	【在宅高齢障がい者と家族介護者の支援を考える①】 在宅高齢障がい者の実態を説明できる	演習	松山
13	2)	【在宅高齢障がい者と家族介護者の支援を考える②】 家族介護者の実態を説明できる	演習	松山
	2)3)	【在宅高齢障がい者と家族介護者の支援を考える③】 家族介護者の心理的な問題を説明できる	演習	松山
	2)	【在宅高齢障がい者と家族介護者の支援を考える④】 家族介護者の心理的な問題を説明できる	講義	松山
		【在宅高齢障がい者と家族介護者の支援を考える⑤】		

14	2)	手記を通して、家族介護者の心理的な問題を抽出できる	講義	松山
15	2)	【在宅高齢障がい者と家族介護者の支援を考える⑥】 家族介護者の支援のあり方を説明できる	講義	松山

【在宅高齢障がい者と家族介護者の支援を考える⑦】
家族介護者の具体的な支援を考えられる

教科書： 特に指定しない。

参考書： 適宜紹介する。

科目名: **スピーチ・リハビリテーション演習**

担当者: 原 修一(保・言)、中村真理子(保・言)、北九州総合療育センター職員(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 運動障害性、機能的、器質性各構音障害の評価・訓練を中心に、検査や行動観察を用いての患者の適切な評価、及びそこから導き出された訓練の立案・実施の能力を、講義・グループワークを通じて身につける(DP3&4)。本演習を通じ、言語聴覚士に必要な、話し言葉の障害を中心とした、(リ)ハビリテーションに関する臨床能力(コミュニケーション能力、柔軟な思考力、必須の知識・技能)を修得する(DP1-4)。

到達目標: (SBOs) 1)運動障害性構音障害の呼吸・発声・共鳴・構音の特徴と訓練法が理解できる。
2)機能的構音障害の誤りの特徴と対応する訓練法が理解できる。
3)口唇・口蓋裂の特徴や手術法について理解できる。
4)口唇・口蓋裂に伴う異常構音の音響学的特徴、系統的訓練法が理解できる。
5)頭頸部癌による器質性構音障害の特徴や評価法、訓練法が理解できる。

評価方法: 形成的評価として、出席、小テストで評価する。総括的评价として、単位認定試験を実施する。

準備学習・履修上の注意等: 前期で学習した頭頸部の解剖と音声学(特に音声記号)について復習をしてください。また、講義時間と内容の関係上、臨床実習では不足する知識・技術がかなり生ずる可能性があります。毎日1時間以上の予習・復習と、講義終了後においても継続的な話し言葉の障害に関する知識・技術の向上を図る必要があります。

オフィスアワー: 毎週水曜日 12:30-13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	運動障害性構音障害(1) 運動障害性構音障害の特徴・評価	講義	原
2	1)	運動障害性構音障害(2) 標準ディサースリア検査の実施	講義	原
3	1)	運動障害性構音障害(3) 運動障害性構音障害の評価・訓練プログラム立案	講義	原
4	1)	運動障害性構音障害(4) 運動障害性構音障害に対する訓練プログラム	講義	原
5	2)	機能的構音障害(1) 機能的構音障害に対する評価・プログラム立案	講義	原
6	2)	機能的構音障害(2) 機能的構音障害に対する訓練プログラム	講義	原
7	3)4)	器質性構音障害(1) 口唇口蓋裂の原因、タイプ分類、異常構音の特徴	講義	中村
8	3)4)	器質性構音障害(2) 口唇口蓋裂の手術、歯の問題	講義	中村
9	3)4)	器質性構音障害(3) 鼻咽腔閉鎖機能不全に対する対応	講義	中村
10	3)4)	器質性構音障害(4) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 1	講義	北九州
11	3)4)	器質性構音障害(5) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 2	講義	北九州
12	3)4)	器質性構音障害(6) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 3	講義	北九州
13	3)4)	器質性構音障害(7) 口唇口蓋裂の異常構音へのアプローチ 4	講義	北九州
14	5)	器質性構音障害(8) 舌切除者に対するリハビリテーション 1	講義	中村
15	5)	器質性構音障害(9) 舌切除者に対するリハビリテーション 2	講義	原

教科書: 標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第2版(藤田郁代 監修) 医学書院【978-4-2600-2060-2】

言語聴覚療法シリーズ7 改訂 機能性構音障害 (本間 慎治 編) 建帛社【978-4-7679-4527-9】
言語聴覚療法シリーズ9 改訂 運動障害性構音障害 (熊倉 勇美 編) 建帛社【978-4-7679-4529-3】
口蓋裂の言語臨床 第3版 (岡崎 恵子 他著) 医学書院【978-4-260-01239-3】
言語聴覚療法シリーズ8 器質性構音障害 (齊藤 裕恵 編) 建帛社【978-4-7679-4508-8】

参考書: 標準ディサースリア検査 (西尾正輝 著) インテルナ出版【978-4-9006-3717-7】
喉頭がん舌がんの人たちの言語と摂食・嚥下ガイドブック (菊谷武 監訳) 医歯薬出版【978-4-263-44271-5】

科目名: **臨床実習Ⅴ**

担当者: 原 修一(保・言)・長嶋 比奈美(保・言)・戸高 翼(保・言)・倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 臨床実習は、言語聴覚士を目指す者が、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な臨床能力を身につけるために実施される。本実習では、健常または障害児・者の評価・訓練を通じ、学生個人が言語聴覚士として必要なスキルや症例の持つ障害の特性に応じた、総合的な評価・訓練の技術を身につける。また、チーム活動の中で協調性や討議する能力、分析する能力を身につける(DP1-7)。

到達目標: (SBOs)

- 1) 言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。
- 2) 実習の計画立案と実習後の分析、報告書の作成ができる。
- 3) 症例に対して問診を実施し、問診の内容から必要なスクリーニング検査・鑑別検査を実施できる。
- 4) 症例の観察、問診、諸検査結果、逐次記録から、症例の問題点を抽出し、訓練プログラムの立案ができる。
- 5) 症例の状態を観察しながら、訓練を実施し、訓練結果について考察ができる。
- 6) 症例の評価・訓練に関する考察ができる。
- 7) 実習日誌、計画書・報告書等、実習に必要な書類・レポートを、提出期限までに作成・提出ができる。
- 8) 症例の障害や原因疾患等に関する文献を探索し、引用ができる。
- 9) 症例の評価・訓練等に関するプレゼンテーションと討議ができる。
- 10) 施設や所属する症例の特性を考慮しつつ、実習指導者や施設スタッフの指導の下、言語聴覚士としての評価・訓練・記録・報告ができる。

評価方法: 出席回数、実習における基本的態度・知識・技術の習得度合、報告書・実習日誌等書類の提出状況・内容、単位認定試験にて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 実習は全出席が基本である。欠席の場合は診断書等の書類を提出する必要がある。

オフィスアワー: 各教員毎に決まっているので、担当教員に確認をすること。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~10)	実習オリエンテーション・症例の評価計画	実習	全担当者
2	1)~10)	「学外臨床実習」報告会	実習	全担当者
3	1)~10)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
4	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
5	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
6	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
7	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
8	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案・レポート作成	実習	全担当者
9	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
10	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
11	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
12	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
13	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
14	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
15	1)~10)	症例の訓練計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
16	1)~10)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
17	1)~10)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
18	1)~10)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
19	1)~10)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者
20	1)~10)	症例の評価計画・実施・報告書作成・次回訓練計画立案レポート作成	実習	全担当者

21	1)～10) カンファレンス討議・症例報告書作成	実習	全担当者
22	1)～10) 高齢者・小児施設でのレクリエーション企画・実施	実習	全担当者
23	1)～10) 高齢者・小児施設でのレクリエーション企画・実施	実習	全担当者

教科書： 図解 言語聴覚療法技術ガイド(深浦順一 編集主幹)文光堂【978-4-8306-4511-2】
言語聴覚療法 臨床マニュアル(平野哲雄・長谷川賢一・立石恒雄 編集)協同医書出版社【978-4-7639-3049-1】
言語聴覚士のための臨床実習テキスト 成人編 (深浦順一他編) 建帛社【978-4-7679-4539-2】
言語聴覚士のための臨床実習テキスト 小児編 (深浦順一他編) 建帛社【978-4-7679-4540-8】

参考書： 適宜指示します。

科目名: **学外臨床実習**

担当者: 原 修一(保・言)・長嶋比奈美(保・言)・戸高 翼(保・言)・中村 真理子(保・言)・松山 光生(保・言)・太田 栄次(保・言)・内藤 健一(保・言)・倉内 紀子(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 10 時間数: 450 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 本実習の目的は、高い臨床知識・技術を持つ言語聴覚士を目指す者が、利用者中心の言語聴覚療法を行うために必要な、高い臨床能力を身につけるために実施されることにある。本実習では、障害児・者の評価・訓練や、実習指導者とのやり取りを通じ、学生個人が言語聴覚士として必要なスキルや症例の持つ障害の特性に応じた評価・訓練の技術、討議する能力、分析する能力を身につける。また、病院等の施設において勤務することに必要な、積極性や協調性などの基本的態度や、地域に根差した支援の方法、生涯にわたる自己研鑽をするための姿勢を学ぶ(DP1-7)。

到達目標: (SBOs)

- 1) 言語聴覚士としての基本的コミュニケーション態度・マナーを示すことができる。
- 2) 実習の計画立案と実習後の分析、報告書の作成ができる。
- 3) 症例に対して問診を実施し、問診の内容から必要なスクリーニング検査・鑑別検査を実施できる。
- 4) 症例の観察、問診・諸検査結果、逐次記録から、症例の問題点を抽出し、訓練プログラムの立案ができる。
- 5) 症例の状態を観察しながら、訓練を実施し、訓練結果について考察ができる。
- 6) 症例の評価・訓練に関する考察ができる。
- 7) 実習日誌、計画書・報告書等、実習に必要な書類・レポートを、提出期限までに作成・提出ができる。
- 8) 症例の障害や原因疾患等に関する文献を探索し、引用ができる。
- 9) 症例の評価・訓練等に関するプレゼンテーションと討議ができる。
- 10) 施設や所属する症例の特性を考慮しつつ、実習指導者や施設スタッフの指導の下、言語聴覚士としての評価・訓練・記録・報告ができる。

評価方法: 学内臨床実習30%、学外臨床実習50%、学外臨床実習後課題10%、単位認定試験10%

準備学習・履修上の注意等: 実習は全出席が基本である。欠席の場合は書類を提出する必要がある。

オフィスアワー: 各教員の指示に従ってください。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~10)	学外臨床実習 上記内容で450時間の実習を実施する	実習	全担当者

教科書: 今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書を適宜使用してください。

参考書: 今までに受けた講義/演習/実習で用いた教科書を適宜使用してください。

科目名: **言語聴覚障害総合演習 I**

担当者: 原 修一(保・言)、長嶋 比奈美(保・言)、中村 真理子(保・言)、松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)、戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本演習は、高い臨床能力を持つ言語聴覚士として必要となる知識を、多数にわたる履修科目の枠を越えて、専門基礎分野および専門臨床分野の2系統に整理して理解する。また、人体の構造と機能について、中枢神経系、聴覚系、発声発語・摂食嚥下系の3系統に整理して理解し、さらに各系統の構造・機能の側面に病理・病態の側面も加えて統合的に学ぶ。本演習における学びは、学内外臨床実習における知識・技術の習得とその実行につながるものになる(DP1-7)。

到達目標: (SBOs) 1)中枢神経系の構造・機能の概要について説明できる
2)聴覚系の構造・機能の概要について説明できる
3)発声発語・摂食嚥下系の構造・機能の概要について説明できる
4)3系統にわたる構造・機能について、統合して全体としての概要を説明できる
5)各系統の構造・機能の側面に、病理・病態の側面も加えて概要を説明できる
6)1)~5)を踏まえた上で、専門基礎科目との関連を説明することができる

評価方法: 出欠状況、各種小テスト、提出物、授業態度による形成的評価と、単位認定試験(筆記)による総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、学内・外臨床実習や国家試験につながる講義であるため、最低限1時間は本講義に関する予復習を行うこと。授業終了後も継続的な学習をすることが望ましい。

オフィスアワー: 教員により随時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	オリエンテーション	講義	原
2	1)~5)	言語発達障害系①	講義	長嶋
3	1)~5)	言語発達障害系②	講義	長嶋
4	1)~5)	言語発達障害系③	講義	長嶋
5	1)~5)	高次脳機能障害系①	講義	原
6	1)~5)	高次脳機能障害系②	講義	原
7	1)~5)	発声・発語障害系①	講義	原
8	1)~5)	発声・発語障害系②	講義	中村
9	1)~5)	発声・発語障害系③	講義	中村
10	1)~5)	聴覚障害系①	講義	戸高
11	1)~5)	聴覚障害系②	講義	長嶋
12	6)	言語聴覚障害総論①	講義	太田
13	6)	言語聴覚障害総論②	講義	松山
14	6)	言語聴覚障害総論③	講義	内藤
15	1)~6)	総括	講義	原

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: **言語聴覚障害総合演習Ⅱ**

担当者: 原 修一(保・言)、倉内 紀子(保・言)、長嶋 比奈美(保・言)、中村 真理子(保・言)、松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)、戸高 翼(保・言)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 高い臨床能力を持つ言語聴覚士になるために必要となる知識を、多数にわたる履修科目の枠を越えて、専門基礎分野および専門臨床分野の2系統に整理して理解する。また、人体の構造と機能について、中枢神経系、聴覚系、発声発語・摂食嚥下系の3系統に整理して理解し、さらに各系統の構造・機能の側面に病理・病態の側面も加えて統合的に学ぶ。これにより、高い専門知識・技術を習得した言語聴覚士となる基本となる、言語聴覚士国家試験を合格するための知識・技術の習得が達成できる(DP1-7)。

到達目標: (SBOs) 1)中枢神経系の構造・機能の概要について説明できる
2)聴覚系の構造・機能の概要について説明できる
3)発声発語・摂食嚥下系の構造・機能の概要について説明できる
4)3系統にわたる構造・機能について、統合して全体としての概要を説明できる
5)各系統の構造・機能の側面に、病理・病態の側面も加えて概要を説明できる
6)1)~5)を踏まえた上で、専門基礎科目との関連を説明することができる

評価方法: 出欠状況、各種小テスト、提出物、授業態度による形成的評価と、単位認定試験(筆記)による総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は、学内・外臨床実習や国家試験につながる講義であるため、最低限1時間は本講義に関する予復習を行うこと。授業終了後も継続的な学習をすることが望ましい。

オフィスアワー: 教員により随時

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	オリエンテーション	講義	原
2	1)~5)	言語発達障害系①	講義	長嶋
3	1)~5)	言語発達障害系②	講義	長嶋
4	1)~5)	言語発達障害系③	講義	長嶋
5	1)~5)	聴覚障害系①	講義	倉内
6	1)~5)	聴覚障害系②	講義	倉内
7	1)~5)	発声・発語障害系①	講義	原
8	1)~5)	発声・発語障害系②	講義	中村
9	1)~5)	発声・発語障害系③	講義	中村
10	1)~5)	聴覚障害系③	講義	戸高
11	1)~5)	聴覚障害系④	講義	長嶋
12	6)	言語聴覚障害総論①	講義	太田
13	6)	言語聴覚障害総論②	講義	松山
14	6)	言語聴覚障害総論③	講義	内藤
15	1)~6)	総括	講義	原

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: **言語聴覚障害総合演習Ⅲ**

担当者: 原 修一(保・言)、長嶋比奈美(保・言)、松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)、中村真理子(保・言)、戸高 翼(保・言)、倉内 紀子(保・言)、榎山 美寿(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 20 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚療法学科4年次では、将来の言語聴覚士として、柔軟な思考力と臨床現場におけるリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を発揮できる確かな能力を身につける必要がある(DP3、4)。本講義では、臨床的な知識について、人体の構造と機能を中枢神経系、聴覚系、発声発語・摂食嚥下系の3系統に整理して理解し、さらに各系統の構造・機能の側面に病理・病態の側面も加えて統合的に学ぶ(CP1、4)。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)中枢神経系の構造・機能の概要について説明できる
 - 2)聴覚系の構造・機能の概要について説明できる
 - 3)発声発語・摂食嚥下系の構造・機能の概要について説明できる
 - 4)3系統にわたる構造・機能について、統合して全体としての概要を説明できる
 - 5)中枢神経系の構造・機能・病態の概要および相互の関連について説明できる
 - 6)聴覚系の構造・機能・病態の概要および相互の関連について説明できる
 - 7)発声発語・摂食嚥下系の構造・機能・病態の概要および相互の関連について説明できる
 - 8)3系統にわたる構造・機能・病態について、統合して全体としての概要を説明できる
 - 9)各種キーワードについて、単に辞書的定義を暗記するのではなく、具体例を挙げながらわかりやすく説明できる
 - 10)国家試験の過去問題・模擬試験問題について、根拠を挙げながら正誤について解説できる

評価方法: 講義時間中の各種小テスト、模擬試験、提出物による形成的評価、出欠状況、単位認定試験、学習態度による統括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は国家試験対策にも直結する講義である。よって、毎日規則正しい生活の中での1時間以上の予習復習が必要になる。また、日頃の学習態度も評価の対象となる。知識・技術・基本的態度共に「言語聴覚士としてふさわしいか」が統括的評価の基準となる。

オフィスアワー: 各教員の時間に準ずる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	オリエンテーション	講義	原
2	1)~8)	言語発達障害	講義	長嶋
3	1)~8)	高次脳機能障害	講義	原
4	1)~8)	発声・発語障害	講義	中村
5	1)~8)	聴覚障害	講義	倉内
6	1)~8)	言語聴覚障害総論系①	講義	太田/内藤
7	1)~8)	言語聴覚障害総論系②	講義	内藤/松山
8	1)~10)	国家試験問題解説①	講義	長嶋
9	1)~10)	国家試験問題解説②	講義	中村
10	1)~10)	国家試験問題解説③	講義	倉内
11	1)~10)	国家試験問題解説④	講義	太田/松山
12	1)~10)	国家試験問題解説⑤	講義	榎山
13	1)~10)	国家試験問題解説⑥	講義	榎山
14	1)~10)	国家試験問題解説⑦	講義	榎山
15	1)~10)	国家試験問題解説⑧	講義	榎山

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: **言語聴覚障害総合演習Ⅲ**

担当者: 原 修一(保・言)、長嶋比奈美(保・言)、松山 光生(保・言)、太田 栄次(保・言)、内藤 健一(保・言)、中村真理子(保・言)、戸高 翼(保・言)、倉内 紀子(保・言)、榎山 美寿(非常勤講師)

配当学科: 言語聴覚療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 20 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 言語聴覚療法学科4年次では、将来の言語聴覚士として、柔軟な思考力と臨床現場におけるリハビリテーションの一翼を担うことのできる臨床能力を発揮できる確かな能力を身につける必要がある(DP3、4)。本講義では、臨床的な知識について、人体の構造と機能を中枢神経系、聴覚系、発声発語・摂食嚥下系の3系統に整理して理解し、さらに各系統の構造・機能の側面に病理・病態の側面も加えて統合的に学ぶ(CP1、4)。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)中枢神経系の構造・機能の概要について説明できる
 - 2)聴覚系の構造・機能の概要について説明できる
 - 3)発声発語・摂食嚥下系の構造・機能の概要について説明できる
 - 4)3系統にわたる構造・機能について、統合して全体としての概要を説明できる
 - 5)中枢神経系の構造・機能・病態の概要および相互の関連について説明できる
 - 6)聴覚系の構造・機能・病態の概要および相互の関連について説明できる
 - 7)発声発語・摂食嚥下系の構造・機能・病態の概要および相互の関連について説明できる
 - 8)3系統にわたる構造・機能・病態について、統合して全体としての概要を説明できる
 - 9)各種キーワードについて、単に辞書的定義を暗記するのではなく、具体例を挙げながらわかりやすく説明できる
 - 10)国家試験の過去問題・模擬試験問題について、根拠を挙げながら正誤について解説できる

評価方法: 講義時間中の各種小テスト、模擬試験、提出物による形成的評価、出欠状況、単位認定試験、学習態度による統括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 本講義は国家試験対策にも直結する講義である。よって、毎日規則正しい生活の中での1時間以上の予習復習が必要になる。また、日頃の学習態度も評価の対象となる。知識・技術・基本的態度共に「言語聴覚士としてふさわしいか」が統括的評価の基準となる。

オフィスアワー: 各教員の時間に準ずる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	オリエンテーション	講義	原
2	1)~8)	言語発達障害	講義	長嶋
3	1)~8)	高次脳機能障害	講義	原
4	1)~8)	発声・発語障害	講義	中村
5	1)~8)	聴覚障害	講義	倉内
6	1)~8)	言語聴覚障害総論系①	講義	太田/内藤
7	1)~8)	言語聴覚障害総論系②	講義	内藤/松山
8	1)~10)	国家試験問題解説①	講義	長嶋
9	1)~10)	国家試験問題解説②	講義	中村
10	1)~10)	国家試験問題解説③	講義	倉内
11	1)~10)	国家試験問題解説④	講義	太田/松山
12	1)~10)	国家試験問題解説⑤	講義	榎山
13	1)~10)	国家試験問題解説⑥	講義	榎山
14	1)~10)	国家試験問題解説⑦	講義	榎山
15	1)~10)	国家試験問題解説⑧	講義	榎山

教科書: 指定しない。

参考書: 指定しない。

科目名: **発達心理学**

担当者: 有木 正浩(非常勤講師)

配当学科: 臨床福祉学科(1年) 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 胎児期から高齢期までの人間の心や行動がどのように変化していくのか。それはどのような要因によるのか。個人や家族、文化などによってどう異なるのか、といった点に注目し、人間の一生を理解する。それぞれの段階での発達課題や疑問点を中心に、具体的な事象を通して理解を深めていく。また、現在問題になっている「発達障がい」についても理解し、対応を学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)発達段階の特徴を説明できる。
2)発達段階における課題について説明できる。
3)発達障害について説明でき、支援方法について配慮できる。

評価方法: 授業に取り組む姿勢、課されたレポートなどと、期末試験の点数で総合的に判断する。

準備学習・履修上の注意等: 予習、復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の空き時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【発達心理学とは何か】 発達心理学の基本的概念を理解する。	講義	有木
2	1)2)	【胎児期・新生児期】 胎児期、新生児期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援の方法を修得する。	講義	有木
3	1)2)	【乳児期】 乳児期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援の方法を習得する。	講義	有木
4	1)2)	【幼児期・前期】 幼児前期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
5	1)2)	【幼児期・後期】 幼児後期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
6	1)2)	【発達検査・知能検査について】 発達検査や知能検査について理解するとともに、演習を行う。	講義・演習	有木
7	1)2)	【児童期・前期】 児童期前期の発達について理解し心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
8	1)2)	【児童期・後期】 児童期後期の発達について理解し心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
9	1)2)	【青年期】 青年期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
10	1)2)	【成人期】 成人期の発達について理解し、心理的問題について、適切な支援方法を習得する。	講義	有木
11	1)2)	【中年期・高齢期】 中年期・高齢期の発達について理解し、基本的知識を習得する。	講義	有木
12	1)2)	【中年期・高齢期】 中年期・高齢期に起こりうる心理的問題について支援方法を習得する。	講義	有木
13	1)2)	【発達心理学の研究方法】 発達心理学の視点を深めるため、研究方法について理解する。	講義	有木
14	3)	【発達障害の理解】	講義	有木

発達障害について理解し、基本的知識を習得する。

15

3) 【発達障害の対応】
発達障害の支援方法を習得する。

講義

有木

教科書： 発達心理学(無藤 隆、佐久間路子 編著) 学文社 (ISBN978-4-7620-1883-1)

参考書： 使用しない。

科目名: **基礎医学演習**

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 基礎医学演習では、解剖学、生理学、病理学の知識を基にして、実験、デモ実験観察を通じて人体の構造と機能についての理解を深める。また、視覚を中心に感覚の受容についても、実験、デモ実験観察を行い、そのメカニズムについての理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1)レポートの書き方を説明できる。
2)リムネア、培養細胞など実験動物の基本的な種類や飼育法、扱い方、培養法を説明できる。
3)pHメーターなどの実験器具の原理や取り扱い方を説明できる。リンゲル液の組成や電解質の役割を説明できる。
4)血圧計のしくみや血圧測定法について説明できる。
5)心電図のしくみや解析法を説明できる。
6)パルスオキシメーターによる酸素飽和度測定法について説明できる。
7)尿糖・尿たん白・尿潜血の検出法を説明できる。
8)血液型やその遺伝について説明できる。
9)レントゲン写真、CT、MRIの原理、胸部X線写真の見方を習得する。

評価方法: レポートと期末試験による。

準備学習・履修上の注意等: 原則全出席で、全レポートの提出が必須である。
15時間の予習復習が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	実習の説明や一般的注意、レポートの書き方を学ぶ。	講義	鬼塚
2	2)	実習1. 実験動物の基本的な種類や飼育法について学ぶ。	演習	鬼塚
3	3)	実習2. 生理食塩水(リンゲル液)の作成。モル濃度。pHメーターや電子天秤の使い方について学習する。実習2. 生理食塩水(リンゲル液)の作成	演習	鬼塚
4	4)	実習3. 手動および自動血圧計を用いて、血圧を測定し、精度を検討する。	演習	鬼塚
5	5)	実習4. 心電図の測定法および解析法について実習する。	演習	鬼塚
6	6)	実験5. パルスオキシメーターによる酸素飽和度測定法について実習する。	演習	鬼塚
7	7)	実験6. テステーブを用いて尿糖・尿たん白・尿潜血の検出法を実習する。	演習	鬼塚
8	7)	実験7. 心電図、血圧、酸素飽和度、尿糖・尿たん白・尿潜血を測定し、喫煙歴、飲酒歴、肥満などとの因果関係を調査するための研究計画を立案する。	演習	鬼塚
9	8)	実験8. 実際に今まで習得した方法を用いて、心電図、血圧、酸素飽和度、尿糖・尿たん白・尿潜血を測定し、喫煙歴、飲酒歴、肥満などの因果関係を調査する。	演習	鬼塚
10	4-7)	実験9. 実験6、7、8の結果をまとめてスライドにする。	演習	鬼塚
11	4-7)	実験10. 実験6、7、8の結果をまとめてスライドにして、発表、質疑応答する。	講義	鬼塚
12	4-7)	実習10. 実験6、7、8の結果をまとめてスライドにして、発表、質疑応答する。	演習	鬼塚
13	8)	実験11. 人工血液を用いたABO式血液型検査。血液型の遺伝について。	演習	鬼塚
14	9)	実験12. 胸部X線写真の見方を習得する。	演習	鬼塚
15	9)	実験13. CT、MRIの原理、見方を習得する。	演習	鬼塚

教科書: プリント配布。

参考書: 使用しない。

科目名: 視能学基礎演習 I

担当者: 内田憲之(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義/演習

授業概要: 視能訓練士をめざすには、まず眼という器官の構造と機能を知ることが必須である。視能学基礎演習 I では、社会に有為な視能訓練士になるために、まず眼に関する機能(視機能)を理解し、またその機能が障害をおった時の視的生活(QOVL)との関連性について理解する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 医療従事者としての心構えと姿勢が説明できる。
- 2) 眼という器官が持つ機能について説明できる。
- 3) 機能の障害による視生活への影響を説明できる。
- 4) 屈折異常について矯正方法を説明できる。
- 5) 屈折異常について臨床的特徴と自覚的症状を説明できる。
- 6) 矯正に必要な眼鏡レンズの基本的な機能を説明できる。

評価方法: 各回における小テストへの取り組み(30%)、単位認定試験(70%)として評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業の前後、配布する資料を用いて1時間以上の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	眼科医療の中の視能訓練士の役割を考える。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
2	2)3)	「みる」ことを数値化する意味を考える。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
3	2)3)	自分の眼の数値を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
4	2)3)	日常生活のなかのみえる「広さ」について体験する。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
5	2)3)	視覚の広さの重要性を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
6	2)3)	色と色を感じるメカニズムについて考える。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
7	2)3)	社会における色覚異常への対応について知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
8	2)3)	2つの眼で見るものが1つに見えるための働きを考える。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
9	2)3)	自分の眼の2つの像を1つにする能力を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
10	3)~5)	屈折異常としての近視の特徴と自覚症状を知る。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
11	6)	眼鏡レンズを用いた矯正の大まかな仕組みを知る。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
12	3)~5)	屈折異常としての遠視とその矯正を知る。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
13	3)~5)	遠視眼の臨床的特徴と自覚的症状を知る。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
14	3)~5)	屈折異常としての乱視とその矯正を知る。 <input type="checkbox"/>	講義	内田
15	3)~5)	乱視眼の臨床的特徴と自覚的症状を知る。 <input type="checkbox"/>	講義	内田

教科書: 視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書: 使用しない

科目名: **視能学基礎演習Ⅱ**

担当者: 内田 憲之(保・視)、田村 省悟(保・視)、塚田 貴大(保・視)、齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 視能訓練士は高い専門性を持って、チーム医療の一員として眼科医療に貢献することが求められる。眼科医療チームの中で活躍するためには、視能訓練士に職業人としての資質が求められるほか、情報を適切に収集し、整理した上で、相手にわかりやすく伝える力が求められる。本科目では、情報を収集し、要約する力および調査内容や意見をわかりやすく文書および口頭で伝える力を養うことを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1) 医療にとってのコミュニケーションと傾聴力の重要性が説明できる。
2) 視能矯正の目的について説明できる。
3) 視能矯正と障害について説明できる。
4) 視能訓練士の社会的意義を説明できる。
5) インフォームドコンセントとリスボン宣言を説明できる。
6) 視能訓練士の働く職場と役割について説明できる。
7) 学術的な施設利用とインターネット情報について説明できる。
8) プレゼンテーションを行うことができる。

評価方法: 課題発表時のピア評価(50%)とレポート評価(50%)

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業の前後、1時間以上の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	伝えること、受け取ることの重要性を知る。	講義	内田
2	2)3)	視能矯正の理念と目的を知る。	演習	内田
3	3)	視能障害を受けた患者の心理を知る。	演習	内田
4	1)4)	視能訓練士の業務について知る。	講義	内田
5	4)	視能訓練士の研究・教育・保健との関わりを知る。	演習	田村
6	6)	視能訓練士の倫理観を知る。	演習	内田
7	5)	医療における「説明と同意」「患者の権利」を知る。	講義	内田
8	6)	視能訓練士に必要な資質と適正を知る。	演習	内田
9	6)	大学病院にとっての視能訓練士の役割を知る。	演習	塚田
10	6)	一般眼科にとっての視能訓練士の役割を知る。	講義	齋藤
11	1)4)5)6)	患者の意向の尊重について知る。(患者参加型医療)	演習	内田
12	7)	情報収集の方法および法的な取扱いを知る。	演習	内田
13	7)8)	収集した情報を基に発表の為の手法を知る	講義	内田
14	7)8)	テーマに沿って情報の収集と整理を行う。	講義	内田
15	7)8)	プレゼンテーションを行う。	講義	内田

教科書: 視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書: 使用しない

科目名: 視器の解剖生理学演習

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義、演習

授業概要: 視器の解剖生理学演習では、視覚情報処理に関連する視覚器と神経系の構造と機能の概要について学ぶ。またそれらの疾患に関連する発生と遺伝について学ぶ。組織の顕微鏡観察実習、豚眼の解剖実習、頭蓋骨の観察実習を含む。

到達目標: (SBOs) 1)眼球の水平断面図を描き、各部の関係を説明できる。
2)眼球各部の組織構造と機能の概要を説明できる。
3)網膜の層構造とOCT像との対応を説明できる。
4)外眼筋の構造と作用を図を用いて説明できる。
5)視覚伝導路の構造と典型的な視野障がい説明できる。
6)眼球の主な血管系を説明できる。
7)内眼筋と外眼筋の神経支配について図示して説明できる。
8)眼窩の構造と主な神経血管と副鼻腔との関係を説明できる。
9)視覚に関連する脳の部位について、その位置を説明できる。

評価方法: 単位認定試験(選択形式問題、図示問題、スライド問題)で評価する。ただし小テストの平均得点率が60%以上の場合、本試験の選択形式問題の得点率が60%未満であっても50%以上であれば60%とみなす。

準備学習・履修上の注意等: 原則として全出席とし、全課題の提出を単位認定の前提とする。
授業時間以外に30時間の自習が求められる。
前回の授業内容について、原則的に毎回小テストを実施するので、特に十分な復習が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	角膜と強膜の構造と機能1	講義	川野
2	1)2)	角膜と強膜の構造と機能2、外膜を描く	講義、演習	川野
3	1)2)	ぶどう膜の構造と機能1	講義	川野
4	1)2)	ぶどう膜の構造と機能2、外膜とぶどう膜を描く	講義、演習	川野
5	1)~3)	網膜の構造と機能1	講義	川野
6	1)~3)	網膜の構造と機能2、外膜とぶどう膜と網膜を描く	講義、演習	川野
7	1)~3)	網膜の構造と機能3	講義	川野
8	1)~3)	網膜の組織の観察	実習	川野
9	2)	房水と眼圧	講義	川野
10	1)2)	水晶体と硝子体の構造と機能、眼球断面図を描く	講義、演習	川野
11	2)	眼瞼と涙器の構造と機能	講義	川野
12	2)	角膜、結膜、強膜の組織	実習	川野
13	4)	外眼筋の構造と機能	講義	川野
14	4)	外眼筋の走行を描く	演習	川野
15	4)	眼球運動モデルを作る	実習	川野
16	4)	眼球運動モデルを使う	演習	川野
17	1)~4)	豚眼の解剖1	実習	川野
18	1)~4)	豚眼の解剖2	実習	川野
19	5)	視覚伝導路の構造と機能1	講義	川野
20	5)	視覚伝導路の構造と機能2	講義、演習	川野
21	6)	眼球の血管系	講義、演習	川野

22	6)	眼球の血管系を描く	講義、演習	川野
23	7)	眼の自律神経系	講義、演習	川野
24	7)9)	対光反射経路を描く	実習	川野
25	7)9)	外眼筋の中樞支配	講義	川野
26	7)9)	外眼筋の中樞支配、水平眼球運動の調節経路を描く	講義、演習	川野
27	8)	頭蓋と眼窩	講義	川野
28	8)	眼窩を観察する	講義、演習	川野
29	9)	脳の観察	講義、演習	川野
30	1)~10)	学習のまとめ	講義、演習	川野

教科書： 標準眼科学 第13版（大野 重昭 他(編)）医学書院【978-4-260-02411-2】
 視能学 第2版（丸尾 敏夫 他(編)）文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書： 使用しない。

科目名: **屈折学基礎演習 I**

担当者: 内田 憲之(保・視)、恵下 敏(非常勤講師)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 視能訓練士の中心的業務である屈折状態の評価、屈折矯正および光学的視能矯正が実践できるようになるために、幾何光学、物理光学の基礎および眼球光学系の基本知識を理解し、屈折および屈折異常についての理解を深める。

到達目標: (SBOs) 1)幾何光学、波動光学の観点から、光の性質について説明できる。
2)レンズの特性について説明できる。
3)鏡の特性について説明できる。
4)プリズムの特性について説明できる。
5)眼球光学系の特徴について説明できる。
6)屈折異常の臨床特徴について説明できる。
7)眼鏡およびコンタクトレンズ矯正について説明できる。
8)プリズムの特徴と働きについて説明できる。

評価方法: 授業のはじめに、配布資料の内容について小テストを行う(形成的評価30%)。
学期末に単位認定試験を行う(総括的評価70%)。
なお、小テスト15%、レポート35%、単位認定試験50%とする。

準備学習・履修上の注意等: 配布資料を使用し1時間を目安に予習学習を行うこと。

オフィスアワー: 別途指示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【光の性質】 ・可視光、赤外線、紫外線の波長とその特性について説明できる。 ・反射、屈折の法則について説明できる。 □	演習	恵下
2	1)2)	【レンズの働き】 ・凸/凹レンズ、球面/円柱レンズのそれぞれの特徴について説明できる。 □	演習	恵下
3	1)2)	【物体と像の関係①】 ・結像の図式解法について説明できる。 □	演習	恵下
4	1)2)	【物体と像の関係②】 ・Vergenceの基本式と像の結像について説明できる。□ □	演習	恵下
5	1)2)	【物体と像の関係③】 ・厚肉レンズや複数のレンズ系による像の結像について説明できる。 □	演習	恵下
6	1)3)	【物体と像の関係④】 ・鏡による光の反射と像の見え方について説明できる。 □	演習	恵下
7	1)	【波動光学】 ・光の回折、偏光、干渉現象について説明できる。 ・フィルタの働きについて説明できる。 □	演習	恵下
8	1)	【波動光学と幾何光学】 両理論と眼光学との関連を説明できる。 □	演習	恵下
9	1)	【電磁波の量子力学】 近代量子力学の基礎を説明できる。□ □	演習	内田
10	5)	【Gullstrand模型眼常数】 正常な眼の数値と自分の眼の数値を比較して考える。□ □	演習	内田
11	6)7)	【屈折異常の総合的理解】 屈折矯正の原理と原則を知る。□ □	演習	内田
12	5)	【眼の調節機能】 眼の調節機能を数値的に体験する。□ □	演習	内田
13	2)7)	【眼鏡レンズ】 眼鏡レンズの種類と特徴を数値的に表現する方法を知る。 □	実習	内田
14	4)	【プリズムレンズ】 プリズムレンズの特性と使用法を知る。		

□
【収差】
レンズの収差と眼との関係を考える。□

教科書： 屈折異常とその矯正 第6版(所 敬) 金原出版【978-4-307-35159-1】

参考書： 別途指示する

科目名: 屈折学基礎演習Ⅱ

担当者: 内田 憲之(保・視)、田村 省悟(保・視)、塚田 貴大(保・視)、齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 視能訓練士の中心的業務である屈折矯正および光学的視能矯正が実践できるようになるために、屈折学基礎演習Ⅰで学んだ幾何光学、物理光学、量子光学、眼球光学系および屈折異常についての基礎知識を踏まえ、屈折および調節の評価について理解を深める。また、年齢に応じた患者対応や検査方法を理解する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 眼科医療における屈折矯正の役割を説明できる。
 - 2) 屈折、調節機能およびその異常について説明することができる。
 - 3) 屈折、調節異常の矯正原理について説明することができる。
 - 4) 屈折、調節検査の方法について説明することができる。
 - 5) 屈折、調節の評価について説明することができる。
 - 6) 年齢を考慮した患者対応ができる。

評価方法: 全出席を単位認定の必須要件とする。
毎回の授業のはじめに、前回授業の内容について小テストを行う(形成的評価として30%)。
学期末に単位認定試験を行う(総括的評価として70%)。

準備学習・履修上の注意等: 講義で配布する資料を用いて、1コマあたり1時間を目安に予習学習を行うこと。

オフィスアワー: 別途指示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	屈折検査と視力検査の重要性を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
2	2)~5)	他覚的屈折検査の方法を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
3	2)~5)	瞳孔間距離測定と裸眼視力検査の方法を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
4	2)~5)	仮の球面度数の使用用途を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
5	2)~5)	雲霧法を用いた乱視度測定の方法を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	塚田
6	2)~5)	ケラトメータによる乱視度の評価方法を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	塚田
7	2)~5)	クロスシリンダーを用いた乱視度測定の方法を知る。① <input type="checkbox"/>	演習	齋藤
8	2)~5)	クロスシリンダーを用いた乱視度測定の方法を知る。② <input type="checkbox"/>	演習	齋藤
9	2)~5)	二色テストの方法を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
10	4)	それぞれの乱視度数の検出法の使い分けを知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
11	2)~6)	小児の屈折検査の機器と使用法を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	田村
12	2)~6)	小児の屈折検査の注意点を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
13	2)~5)	左右で異なる屈折異常度を持つ眼の特徴を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
14	2)~6)	年齢による近見が明視可能な距離を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	内田
15	2)~5)	他覚的屈折検査である検影法を知る。 <input type="checkbox"/>	演習	塚田

教科書: 屈折異常とその矯正 第6版(所 敬)金原出版【978-4-307-35159-1】
理解を深めよう視力検査屈折検査 (所 敬)金原出版【978-4-307-35132-4】

参考書: 別途指示する

科目名: 屈折学評価実習 I

担当者: 内田 憲之(保・視)、田村 省悟(保・視)、塚田 貴大(保・視)、齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 視能訓練士の中心的業務である屈折矯正および光学的視能矯正が実践できるようになるために、視力・屈折検査の検査原理、検査条件、検査手技、結果の評価について習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 視力検査の検査原理、検査条件について説明することができる。
 - 2) 視力検査の検査手順に従い検査することができる。
 - 3) 視力検査の結果を評価することができる。
 - 4) 他覚的屈折検査の検査原理、検査条件について説明することができる。
 - 5) 他覚的屈折検査の検査手順に従い検査することができる。
 - 6) 他覚的屈折検査の結果を評価することができる。
 - 7) 自覚的屈折検査の検査原理、検査条件について説明することができる。
 - 8) 自覚的屈折検査の検査手順に従い検査することができる。
 - 9) 自覚的屈折検査の結果を評価することができる。
 - 10) レンズメーターによる眼鏡検査ができる

評価方法: 全出席を単位認定の必須要件とする。
実技試験(45%)、筆記試験(45%)、実習記録・レポート(10%)

準備学習・履修上の注意等: 配布する資料を用いてイメージトレーニングを行うこと。(予習)
また、授業終了後に、取り扱った内容についての自主実習を行うこと。(復習)

オフィスアワー: 別途指示する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	正常者に対する屈折検査と視力検査の数値を知る。□	実習	内田
2	4)~6)	機器を用いた他覚的な屈折検査と角膜曲率半径について測定する。□	実習	内田
3	4)~6)	瞳孔間距離と裸眼視力の測定をする。□	実習	内田
4	7)~9)	仮の球面度数を決めることができる。□	実習	内田
5	7)~9)	雲霧法を用いた乱視度測定を知る。① □	実習	塚田
6	7)~9)	雲霧法を用いた乱視度測定を知る。② □	実習	塚田
7	7)~9)	クロスシリンダーを用いた乱視度測定を知る。① □	実習	齋藤
8	7)~9)	クロスシリンダーを用いた乱視度測定を知る。② □	実習	齋藤
9	7)~9)	二色テストとレンズ交換法による矯正をする。□	実習	内田
10	7)~9)	患者により雲霧法とクロスシリンダーの検査法を選択できる。□	実習	内田
11	4)~6)	小児に対する視力検査が実施できる。① □	実習	田村
12	7)~9)	小児に対する視力検査が実施できる。② □	実習	内田
13	1)~3)	年齢に応じた検査の注意点を知る。□	実習	内田
14	1)~3)	視力の程度による検査法を選択できる。□	実習	内田
15	10)	自動式レンズメーターによる眼鏡レンズ度数が測定できる。□	実習	内田

教科書: 屈折異常とその矯正 第6版(所 敬)金原出版【978-4-307-35159-1】
理解を深めよう視力検査屈折検査 (所 敬)金原出版【978-4-307-35132-4】

参考書: 別途指示する

科目名: 屈折学評価実習Ⅱ

担当者: 内田 憲之(保・視)、塚田 貴大(保・視)、有安正視(非常勤講師)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 視能訓練士の中心的業務である屈折矯正および光学的視能矯正が実践できるようになるために、視力・屈折・調節検査の実践および結果の評価ができ、患者の視力・屈折・調節機能を総合的に評価することができる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 自覚的屈折検査の検査原理、検査条件について説明できる。
 - 2) 自覚的屈折検査の検査手順に従い検査できる。
 - 3) 他覚的屈折検査の検査原理、検査条件について説明できる。
 - 4) 他覚的屈折検査の検査手順に従い検査できる。
 - 5) 他覚的屈折検査の結果を評価できる。
 - 6) 調節検査の検査原理、検査条件について説明できる。
 - 7) 調節検査の検査手順に従い検査できる。
 - 8) 調節検査の結果を評価できる。
 - 9) 眼内レンズの役割、特徴について説明できる。
 - 10) 眼内レンズ度数の決定に必要な検査について説明できる。
 - 11) 患者の視力・屈折・調節機能を総合的に評価できる。
 - 12) レンズメータを用いた眼鏡度数の測定が行える。
 - 13) 角膜の形状解析が行える。

評価方法: 全出席を単位認定の必須要件とする。
実技試験(45%)、筆記試験(45%)、実習記録・レポート(10%)

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり1時間を目安として、授業終了後に、取り扱った内容についての自主実習を行うこと。

オフィスアワー: 別途指示する

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	3)~5)	他覚的屈折検査結果を使用した自覚的屈折検査の測定手技を知る。①□	実習	塚田
2	3)~5)	他覚的屈折検査結果を使用した自覚的屈折検査の測定手技を知る。②□	実習	塚田
3	3)~5)	測定した自覚的屈折検査結果を評価できる。□	実習	塚田
4	12)	レンズメータを用いた単焦点眼鏡度数の測定手技を知る。□	実習	内田
5	12)	レンズメータを用いた累進屈折力眼鏡の測定手技を知る。□	実習	内田
6	12)	レンズメータを用いたプリズム眼鏡の測定手技を知る。□	実習	内田
7	9)10)11)	【屈折評価の実際】 ・白内障の術前検査と眼軸長検査を説明できる。□	実習	有安
8	1)~5)	自覚的屈折検査の誘導と検査について患者に配慮する項目を知る。□	実習	内田
9	1)~5)	瞳孔間距離測定について患者に配慮する項目を知る。□	実習	内田
10	1)~5)	仮の球面度数を用いた測定理論が実践に応用できる。□	実習	内田
11	1)~5)	雲霧法を用いた測定理論が実践に応用できる。□	実習	内田
12	1)~5)	クロスシリンダーを用いた測定理論が実践に応用できる。□	実習	内田
13	6)~8)	近点計による調節機能の評価ができる。①□	実習	内田
14	6)~8)	近点計による調節機能の評価ができる。②□	実習	内田
15	13)	角膜形状解析装置を用いた眼の収差を評価できる。□	実習	塚田

教科書: 屈折異常とその矯正 第6版(所 敬)金原出版【978-4-307-35159-1】
理解を深めよう視力検査屈折検査 (所 敬)金原出版【978-4-307-35132-4】

参考書: 屈折異常とその矯正 改訂第5版(所 敬)金原出版【978-4-607-35134】

科目名: 屈折学特論演習

担当者: 内田 憲之(保・視)、沼田 公子(保・視)、塚田 貴大(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 屈折学特論演習では、1年次から3年次までに得た光学的基礎知識を礎とし、一人ひとりの患者の視生活に合わせ、屈折矯正法の目的・適応・方法の選択・効果判定などの一連の総合的判断力を養うことを基本とし、患者の“見る”をプロデュースするための基本的な知識と技術を理解することを目標とする。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 斜視患者の年齢に応じた態度を行うこと、守るべきマナーが説明できる。
 - 2) 斜視患者の主訴から検査法とそのプランニングが行える。
 - 3) 斜視患者への問診により病歴・診療録の記録と医師への報告が行える。
 - 4) 斜視患者の心理を理解し、配慮が行える。
 - 5) 屈折矯正に関わる薬理の使用用途が説明できる。
 - 6) 円錐角膜へコンタクトレンズを用いた治療と合わせ方が説明できる。
 - 7) 心因性視力障害や詐盲等に対する検査法と対応が説明できる。
 - 8) 臨床で起こる実際の症例から事前の対応を考える。
 - 9) 問診から想定される検査法と対処法が説明できる。
 - 10) 特殊眼鏡に対する屈折矯正が説明できる。
 - 11) 眼鏡やコンタクトレンズの処方箋の取扱いと問題点が説明できる。
 - 12) 両眼開放視力検査の意義と検査の方法について説明できる。

評価方法: 単位認定試験(100%)にて評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 授業前に配布する資料を基に事前学習をすること(予習)、授業後に使用した配布資料を基に復習を行うこと。

オフィスアワー: 在室中、いつでも。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	斜視患者に対する眼鏡処方症例検討①	演習	沼田
2	1)~4)	斜視患者に対する眼鏡処方症例検討②	演習	沼田
3	1)~4)	斜視患者に対する眼鏡処方症例検討③	演習	沼田
4	1)~4)	斜視患者に対する眼鏡処方症例検討④	演習	沼田
5	5)	屈折矯正に関わる薬理的症例検討	演習	塚田
6	6)	コンタクトレンズを用いた円錐角膜に対する屈折矯正の症例検討	演習	塚田
7	7)	心因性視力障害や詐盲等に対する症例検討	演習	塚田
8	8)9)	眼科で一般的な臨床的事例から患者に対する対応と屈折矯正を考える。①	演習	塚田
9	8)9)	眼科で一般的な臨床的事例から患者に対する対応と屈折矯正を考える。②	演習	内田
10	8)9)	眼科で一般的な臨床的事例から患者に対する対応と屈折矯正を考える。③	演習	内田
11	8)9)	眼科で一般的な臨床的事例から患者に対する対応と屈折矯正を考える。④	演習	内田
12	8)9)	眼科で一般的な臨床的事例から患者に対する対応と屈折矯正を考える。⑤	演習	内田
13	8)9)	眼科で一般的な臨床的事例から患者に対する対応と屈折矯正を考える。⑥	演習	内田
14	12)	両眼開放視力検査に関する実践的な測定法を考える。	演習	内田
15	11)	特殊眼鏡を希望する患者に対する対応	演習	内田

教科書: 使用しない

参考書: 屈折異常とその矯正

科目名: 保育

担当者: 安原 青児(福・子)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 視機能療法学科における本科目の目標は、環境を通して行われる養護と教育が一体となった保育の本質と、保育所の機能や役割を知り、将来、視能訓練士の臨床現場での業務に役立つよう、発達段階に沿った一般的な乳幼児期の子どもの成長及び心と身体の発達、子どもへの声掛けや保育的支援方法、保護者の子育てのニーズ等、基礎的知識を修得することである。加えて保育園での園児観察を通して、子どもの生活について理解する。また障害児や病児に対する理解や対応、保育教材の活用についても学んでいく。

到達目標: (SBOs) 1)保育の理念、概要を説明できる。
2)保育所の社会的機能や役割を法的根拠も含めて説明できる。
3)保育所保育の特性や保育職員の仕事などを説明できる。
4)年齢別の子どもの心身の発達について理解し、年齢に合わせた保育支援について説明できる。
5)乳幼児を持つ保護者の保育ニーズを理解し、支援のあり方を説明できる。
6)障害種別のそれぞれの特性や保育的対応について、基礎的に理解し説明ができる。
7)病児、障害児を含め、特別支援を必要とする子どもへの対応と保育教材等の活用方法を説明できる。

評価方法: 毎回の授業ではノートへのまとめと小レポートを義務付け、学んだことを客観的に振り返り、整理する。保育現場への複数回の学外演習では、事前・事後指導も含めて全員参加とし、レポートを課す。最終的な自筆ノートの提出、学外演習参加、各種レポート提出、単位認定試験を総合評価する。欠席は5回まで、遅刻・早退は3回で欠席1回分の減点とする。

準備学習・履修上の注意等: 専用のノートを1冊用意し、1回の授業につき60分を目安にノートへのまとめと予習・復習を丁寧に行うこと。学外演習として乳幼児にかかわる機会があるので、全般を通して体調管理、身だしなみ、マナーに十分気を付けること。体調不良その他で対応しにくい者は、学外演習への参加を認めないことがある。

オフィスアワー: 授業等のない時間は随時、研究室にて対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【授業概要】 保育の概要と授業の進め方、評価方法等を理解する。	講義	安原
2	1)2)	【保育所の理解1】 保育所の社会的機能や役割、法的根拠、保育の特性について理解する。	講義	安原
3	1)2)3)	【保育所の理解2】 保育所の生活の流れや保育職員の業務や支援の考え方について理解する。	講義	安原
4	3)4)	【子ども理解1】 子どもの年齢や発達段階の違い、特徴などを理解する。	講義	安原
5	3)4)	【子ども理解2】 環境を通して行われる保育内容と子どもの集団特性について理解する。	講義	安原
6	3)4)6)	【子ども理解3】 遊びを通して行われる保育内容と遊戯療法の個別支援について理解する。	講義	安原
7	4)5)	【保護者支援】 保育における保護者の支援ニーズ、また支援の方法について理解する。	講義	安原
8	6)	【障害児の理解と対応】 障害種別の理解とその特性、およびその支援の方法について理解する。	講義	安原
9	1)~5)	【学外演習1】 保育所における保育の実際。演習の事前指導として内容や心構えを学ぶ。	講義	安原
10	2)~5)	【学外演習2】 保育所における保育の実際。乳児(0, 1, 2歳児)への保育を体験的に学ぶ。	演習	安原
11	2)~5)	【学外演習3】 保育所における保育の実際。幼児(3, 4, 5歳児)への保育を体験的に学ぶ。	演習	安原
12	1)~5)	【学外演習4】 保育所における保育の実際。演習の事後指導として体験を総括する。	SGD	安原
13	5)6)7)	【病児への保育教材の活用1】 病児支援のプレパレーションや保育教材の意義、目的、活用法を理解する。	講義	安原

14	5)6)7)	【病児への保育教材の活用2】 病児支援のプレパレーションや保育教材の意義、目的、活用法を理解する。	講義	安原
15	1)~7)	【総括】 この科目で得た知識や学びを総括し、専門職者としての人間性を理解する。	SGD	安原

教科書： 使用しない。

参考書： 必要に応じて、授業で資料を配布する。

科目名: **保健・医療・福祉と関係法規**

担当者: 前田 和彦(薬・薬)、松野 康二(薬・薬)、川崎 順子(福・ス)、貫 優美子(福・臨)、河内 明夫(薬・薬)、徳永 仁(薬・薬)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: メディア授業

授業概要: 視能訓練士に必要な保健・医療・福祉の各法規と制度を学び、理解する。また、医療現場の実践として必要な診療録や処方せんの理解、医療情事者として知るべき医療のリスクマネジメントやインフォームド・コンセント等の生命倫理上の要点を理解することを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1) 視能訓練士に必要な社会保障制度の内容を説明できる。
2) 視能訓練士に必要な医療制度を説明できる。
3) 視能訓練士に必要な法制度を説明できる。
4) 医療・福祉と行政とのかかわりを概説できる。
5) 医療従事者にとって必要な生命倫理上の内容を概説できる。

評価方法: 試験にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: メディア講義となるので、きちんと視聴し、疑問点は調べるなど積極的な受講態度で取り組むこと。なお、講義の前後や週末、長期休暇等を利用し、計15時間以上の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: システム上のメールにて行う。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	社会保障制度の概要を理解する。	講義(VOD)	前田
2	3)4)	保健福祉制度と行政の概要を理解する1	講義(VOD)	松野
3	3)4)	社会福祉制度と行政の概要を理解する2	講義(VOD)	川崎
4	2)4)	医療体制の概要を理解する。	講義(VOD)	貫
5	2)	視能訓練士と医療経済について理解する。	講義(VOD)	河内
6	2)	診療録と処方せんについて理解する。	講義(VOD)	徳永
7	3)	医療法、薬事法の概要について理解する。	講義(VOD)	前田
8	3)	視能訓練士法を理解する。	講義(VOD)	前田
9	3)4)	学校保健法、感染症法の概要について理解する。	講義(VOD)	松野
10	3)4)	母子保健法、健康増進法の概要について理解する。	講義(VOD)	松野
11	3)4)	高齢者の医療の確保に関する法律、健康保健法の概要について理解する。	講義(VOD)	前田
12	3)4)	身体障害者福祉法、児童福祉法の概要について理解する。	講義(VOD)	川崎
13	5)	現代医療の進展と生命倫理上の要点について理解する。	講義(VOD)	前田
14	2)3)4)	保健医療福祉と関連組織について理解する。	講義(VOD)	川崎
15	5)	医療のリスクマネジメント、インフォームドコンセントとコンプライアンスについて理解する。	講義(VOD)	前田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **外眼筋の作用と眼球運動**

担当者: 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 眼科医療で活躍できうる視能訓練士となるためには、専門的知識、技術、態度および眼科医療における実践力を身につけることが求められる。本科目では、視能訓練士に求められる専門的知識のうち、外眼筋の作用、眼球運動のメカニズム、眼位の分類およびAC/A比に関する基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 外眼筋の形態的特徴について説明できる。
- 2) 各外眼筋の単独作用を説明できる。
- 3) 各外眼筋のともひき筋、直接はりあい筋を述べることができる。
- 4) Fick座標系、単眼運動の法則を説明できる。
- 5) 各外眼筋のともむき筋、間接はりあい筋を述べることができる。
- 6) 両眼離反運動、両眼運動の法則を説明できる。
- 7) 外眼筋の神経支配を説明できる。
- 8) 眼球運動の種類と役割を説明できる。
- 9) 眼位について説明できる。
- 10) 近見反応について説明できる。
- 11) AC/A比を算出および評価することができる。

評価方法: 毎回の講義開始前に、前回の講義内容を復習するための小テストを行う。
小テストの成績を20%、単位認定試験の成績を80%として総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 平日金曜日16:30~18:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	外眼筋の構造、外眼筋の付着部と走行	講義	田村
2	2)	外眼筋の単独作用	講義	田村
3	2)	外眼筋の最大作用	講義	田村
4	3)4)	Fick座標系、ともひき筋、直接はりあい筋、単眼運動の法則	講義	田村
5	5)6)	両眼共同運動、両眼離反運動、ともむき筋、間接はりあい筋、両眼運動の法則	講義	田村
6	5)	両眼共同運動と主作用筋	講義	田村
7	7)	外眼筋の支配神経、外眼筋の収縮メカニズム、外眼筋の位置覚と自己受容器	講義	田村
8	8)	眼球運動の種類、固視微動	講義	田村
9	1)~8)	1~8回のまとめ	講義	田村
10	9)	眼位	講義	田村
11	10)	輻湊・開散、調節、縮瞳	講義	田村
12	11)	AC/A比の定義、種類、影響因子	講義	田村
13	11)	AC/A比の測定法(gradient法、大型弱視鏡を用いた方法)	講義	田村
14	11)	AC/A比の正常と異常	講義	田村
15	9)~11)	10~14回のまとめ	講義	田村

教科書: 視能学第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編集) 文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書: 視能矯正学 改訂第3版(丸尾敏夫 編集) 金原出版【978-4-307-35152-2】

科目名: 両眼視の基礎

担当者: 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 眼科医療で活躍できうる視能訓練士となるためには、専門的知識、技術、態度および眼科医療における実践力を身につけることが求められる。本科目では、視能訓練士に求められる専門的知識のうち、正常な両眼視機能および異常な両眼視機能に関する基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 正常な両眼視機能について説明できる。
- 2) 両眼視の3要素を説明できる。
- 3) 両眼視機能の発達について説明できる。
- 4) 両眼視機能の成立条件を列挙し、それぞれの概要を説明できる。
- 5) 斜視の概要を説明できる。
- 6) 弱視の概要を説明できる。
- 7) 異常な両眼視機能について説明できる。
- 8) 単眼複視の原因、単眼複視と両眼複視の違いを説明できる。

評価方法: 毎回の講義開始前に、前回の講義内容を復習するための小テストを行う。
小テストの成績を20%、単位認定試験の成績を80%として総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 平日金曜日16:30~18:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	両眼視野、網膜正常対応	講義	田村
2	1)	ホロプテル円、Vieth-Muller円、Panumの融像感覚圏、固視ずれ	講義	田村
3	1)	生理的複視、生理的抑制	講義	田村
4	1)2)	同時視、融像、立体視、動体覚	講義	田村
5	3)	両眼視機能の発達	講義	田村
6	4)	両眼視機能の成立条件	講義	田村
7	5)	斜視総論	講義	田村
8	6)	弱視総論	講義	田村
9	7)	不同視と不等像視	講義	田村
10	7)8)	病的複視、単眼複視と両眼複視	講義	田村
11	7)	眼位異常と複視	講義	田村
12	7)	眼球運動障害と複視	講義	田村
13	7)	網膜対応異常の種類および定義	講義	田村
14	7)	網膜対応異常と複視	講義	田村
15	7)	混乱視、病的抑制	講義	田村

教科書： 視能学第2版（丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編集）文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書： 視能矯正学 改訂第3版（丸尾敏夫 編集）金原出版【978-4-307-35152-2】

科目名: **視覚生理学**

担当者: 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 視能障害および視能検査を理解する上で、視覚生理に関する基本的知識の習得が必要となる。本科目では、視覚の成り立ち、視機能に関する基本的知識を修得することを目的に、光覚、形態覚、色覚、視野について、それぞれ情報処理機構、正常像と異常像、影響する因子、評価法について学習する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 視覚の成り立ちを説明できる。
- 2) 視機能の正常と異常を説明できる。
- 3) 視機能に影響する因子について説明できる。
- 4) Purkinje現象を説明できる。
- 5) 小数視力、logMAR値を説明できる。
- 6) 動的視野と静的視野の定義を説明できる。
- 7) 色の3要素を説明できる。

評価方法: 毎回の授業において確認テストを行う。学習への取り組み姿勢(確認テスト、授業態度)を20%、学期末の単位認定試験を80%として、総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 平日金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	視覚生理の基礎□	講義	田村
2	1)4)	光覚(1) 網膜の光化学、比視感度□	講義	田村
3	1)2)3)	光覚(2) 明順応と暗順応□	講義	田村
4	1)	形態覚(1) 視力の概念□	講義	田村
5	2)5)	形態覚(2) 視力の分類①□	講義	田村
6	2)5)	形態覚(3) 視力の分類②□	講義	田村
7	3)	形態覚(4) 視力に影響する因子、網膜部位と視力□	講義	田村
8	1)2)3)	形態覚(5) コントラスト感度□	講義	田村
9	1)7)	色覚(1) 色の性質□	講義	田村
10	2)	色覚(2) 色覚異常の種類、遺伝□	講義	田村
11	2)	色覚(3) 色覚検査□	講義	田村
12	1)	視野(1) 概念、動的測定と静的測定□	講義	田村
13	3)	視野(2) 視野に影響する因子□	講義	田村
14	2)	視野(3) 視野異常①□	講義	田村
15	2)	視野(4) 視野異常②□	講義	田村

教科書: 視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書: 眼科プラクティス(6)眼科臨床に必要な解剖生理(大鹿 哲郎 編) 文光堂【978-4-8306-5563-0】
視能学エキスパート 視能検査学(和田直子・小林昭子・中川真紀・若山暁美 編) 医学書院【978-4-260-03258-2】

科目名: **眼科薬理学**

担当者: 渡辺 渡(保・臨工)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 眼科領域では、診断や治療に多くの薬物が利用されている。視能訓練士として、これらの作用を理解した上で適切に業務を遂行できるようになるために、診断および治療に用いる基本的な薬物について、その基礎知識を習得することが不可欠である。眼科薬理学では、主な眼疾患について、なぜ薬物を用いて診断や治療ができるのか理解できるようになるために、まず、薬物が作用する一般的なメカニズムについて習得し、続いて、眼科領域の主な疾患について、診断や治療にどのような薬物が使用されるのかその作用機序を含めて基礎知識を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) クスリの剤形と投与経路、およびクスリが吸収・分布・排泄されるしくみを説明できる
 - 2) クスリが作用し、効くしくみを説明できる
 - 3) クスリの副作用や有害反応のしくみを説明できる
 - 4) 眼球のしくみと主要な眼疾患を列挙できる
 - 5) 主要な眼疾患の病態を説明できる
 - 6) 主要な眼疾患の症状を説明できる
 - 7) 主要な眼疾患の診断薬と薬物療法について説明できる

評価方法: 平常点(受講態度、ホームワークの提出状況、小テスト等)を20%程度、期末試験を80%程度として評価する。

準備学習・履修上の注意等:

- ・眼球と付属器官および視覚に関する解剖・生理学、およびこれまでに学んだ眼科領域の疾患について、十分復習しておくこと。小テスト等にて確認し、平常点に加えることもある。
- ・毎回の授業の後、30分～90分を目途に必ず復習し、わからないことは友人や教員に質問して解決すること。
- ・週末を用いて、1時間～数時間を目途に、次回の授業の予習を必ず行うこと。予習とは、教科書や資料を読み、①理解すること、②わからない部分を明確にし、③その部分について可能な限り調べることである。
- ・授業前の10分間は、前回の授業を振り返り、思い出しておくこと。
- ・単位認定には、授業時間以外に計60時間以上(1コマあたり平均2時間以上)の自己学習が必要である。
- ・ホームワーク等、期限を過ぎた提出物は受け取らない。
- ・返却物を期限までに受け取らない場合は破棄し、平常点から減点する。
- ・遅刻、および教員が指定・許可した時間以外の私語は厳禁。(平常点の減点対象)

オフィスアワー: 月～金 13:00-17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	薬物の吸収・分布・排泄と作用点	講義	渡辺
2	2)	眼球のしくみ、骨格筋および平滑筋の収縮メカニズム	講義	渡辺
3	2)	神経系の概念、シナプス電位と活動電位	講義	渡辺
4	2)	感覚神経と運動神経の刺激伝導・伝達メカニズム	講義	渡辺
5	2)	自律神経の概念とその刺激伝導・伝達メカニズム	講義	渡辺
6	5-7)	交感神経系に作用する薬物	講義	渡辺
7	5-7)	副交感神経系に作用する薬物	講義	渡辺
8	5-7)	瞳孔径・調節に関する薬物①	講義	渡辺
9	5-7)	瞳孔径・調節に関する薬物②	講義	渡辺
10	5-7)	緑内障治療薬	講義	渡辺
11	5-7)	副腎皮質ホルモン関連薬	講義	渡辺
12	5-7)	白内障治療薬	講義	渡辺
13	5-7)	眼科関連感染症治療薬	講義	渡辺
14	5-7)	点眼薬の使用法、薬物の副作用	講義	渡辺
15	1-7)	総合演習	演習	渡辺

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない

科目名: 斜視・弱視の基本的知識

担当者: 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 斜視や弱視に対して適切な検査及び視能矯正・訓練を行うためには、斜視や弱視の病態に関する理解が必要である。
本科目では、斜視や弱視の原因、分類および臨床特徴に関する基本的知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 乳幼児の視覚発達の特徴について説明できる。
 - 2) 弱視の原因的分類について説明できる。
 - 3) 屈折異常弱視の特徴について説明できる。
 - 4) 不同視弱視の特徴について説明できる。
 - 5) 斜視弱視の特徴について説明できる。
 - 6) 微小斜視弱視の特徴について説明できる。
 - 7) 形態覚遮断弱視の特徴について説明できる。
 - 8) 眼科での身体表現性障害(解離性障害)の特徴について説明できる。
 - 9) 斜視の原因と分類について説明できる。
 - 10) 内斜視の分類とその検査所見を説明できる。
 - 11) 外斜視の分類とその検査所見を説明できる。
 - 12) 上下斜視、回旋斜視の原因について説明できる。
 - 13) A-V型斜視の特徴について説明できる。
 - 14) 交代性上斜位の特徴について説明できる。
 - 15) 微小斜視の特徴と検査法について説明できる。
 - 16) 麻痺性斜視の原因と特徴について説明できる。
 - 17) 斜視特殊型の分類と特徴について説明できる。

評価方法: 毎回の授業において確認テストを行う。
学習への取り組み姿勢(確認テスト、授業態度)を20%、学期末の単位認定試験を80%として、総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき4時間を目安に予習・復習を行うこと。

本科目での学習内容を理解するためには、「外眼筋の作用と眼球運動」、「両眼視の基礎」で学習した内容を十分に理解しておく必要がある。

オフィスアワー: 平日金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	乳幼児の視覚発達の特徴、弱視の定義と分類、屈折異常弱視□	講義	田村
2	4)5)6)	不同視弱視・微小斜視弱視・斜視弱視□	講義	田村
3	7)8)	形態覚遮断弱視、身体表現性障害(心因性視覚障害)□	講義	田村
4	9)	眼位の成り立ち、斜視の原因、分類□	講義	田村
5	10)	内斜視の分類、乳児内斜視□	講義	田村
6	10)	調節性内斜視□	講義	田村
7	10)	その他の内斜視□	講義	田村
8	11)	外斜視の分類、恒常性外斜視□	講義	田村
9	11)	間欠性外斜視□	講義	田村
10	12)~15)	上下斜視、回旋斜視、交代性上斜位、微小斜視、A-V型斜視□	講義	田村
11	16)	麻痺性斜視(1)□	講義	田村
12	16)	麻痺性斜視(2)□	講義	田村
13	16)	麻痺性斜視(3)□	講義	田村
14	17)	筋原性斜視、機械的斜視□	講義	田村
15	17)	その他の眼球運動障害を伴う斜視□	講義	田村

教科書： 視能学 第2版（丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編）文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書： 視能矯正学 改訂第3版（丸尾敏夫 編）金原出版【978-4307351522】
斜視と眼球運動異常（丸尾敏夫・久保田伸枝 著）文光堂【978-4-8306-5515-9】

科目名: **視能検査学実習 I**

担当者: 齋藤 真之介(保・視)・田村 省悟(保・視)・塚田 貴大(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 3 時間数: 90 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 眼科臨床における役割と責任を理解し、眼科医療に貢献できるようになるためには、病態評価および治療に結びつくような専門性の高い技能と医療従事者として適切な態度の修得が求められる。本科目では、視覚の入力系に関わる視能検査(視力検査、屈折検査、調節検査を除く)を正確に実施できるとともに、検査結果を正しく評価できるようになるために、各種検査の基本的知識(目的、原理、方法、評価法)と技術、医療従事者として適切な態度を修得する。

到達目標: (SBOs) 動的、静的、その他視野検査、眼圧、中心フリッカー、眼底、前眼部、超音波、眼軸長、色覚、固視、角膜内皮、涙液、眼瞼、眼球突出度、瞳孔検査について、下記の項目を行うことができる。

- 1) 検査目的を説明できる。
- 2) 検査の適応を説明できる。
- 3) 機器の構造、検査の原理を説明できる。
- 4) 検査の流れを説明できる。
- 5) 被検者への配慮ができる(検査説明、声かけ、誘導など)。
- 6) 機器を丁寧に扱うことができる。
- 7) 検査に適した環境および機器の設定ができる。
- 8) 基本に忠実に検査を行うことができる。
- 9) 再現性のある結果をだすことができる。
- 10) 指定された様式で検査結果を記載することができる。
- 11) 結果を評価することができる(正常値、正常像を説明できる)。

評価方法: 実技試験(10%)、筆記試験(90%)
全出席を単位認定の必須要件とする。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に実習課題を示す。期限までに実習課題レポートを提出すること。2年次開講科目「屈折学評価実習 I・II」、「視能検査学実習 I・II」の4科目では、視能検査の基本的知識と技術について学習する。これら科目で学習したことを互いに関連づけていくこと。教科書・参考書等の実習テーマに関する箇所を一読した上で実習に臨むこと。実習で不明な点や曖昧な点があったら、その都度、教員に確認して解決すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~11)	オリエンテーション・動的視野検査(Goldmann視野検査)	実習	齋藤
2	1)~11)	動的視野検査(Goldmann視野検査)	実習	齋藤
3	1)~11)	動的視野検査(Goldmann視野検査)	実習	齋藤
4	1)~11)	静的視野検査、その他の視野検査(SWAP、アムスラー、Mチャート等)	実習	田村
5	1)~11)	静的視野検査、その他の視野検査(SWAP、アムスラー、Mチャート等)	実習	田村
6	1)~11)	眼圧検査、中心フリッカー検査	実習	塚田
7	1)~11)	眼底検査	実習	塚田
8	1)~11)	眼底検査	実習	塚田
9	1)~11)	前眼部検査	実習	塚田
10	1)~11)	超音波検査、眼軸長検査	実習	齋藤
11	1)~11)	固視検査	実習	齋藤
12	1)~11)	色覚検査	実習	田村
13	1)~11)	角膜内皮細胞検査、涙液検査	実習	田村
14	1)~11)	眼瞼検査、眼球突出検査、瞳孔検査	実習	田村
15	1)~11)	総合実習	実習	全員

教科書: 視能学エキスパート 視能検査学(公益社団法人 日本視能訓練士協会)医学書院【978-4-260-03258-2】
理解を深めよう 視野検査(松本 長太 監修)金原出版【978-4-307-35133-1】

参考書： 眼科検査ガイド(眼科診療プラクティス編集委員) 文光堂【978-4-8306-5521-0】
眼科検査法ハンドブック 第4版(小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美都子 編) 医学書院【978-4-260-13780-5】

科目名: 視能検査学実習Ⅱ

担当者: 田村省悟(保・視)、齋藤真之介(保・視)、塚田貴大(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 3 時間数: 90 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 眼科医療に貢献できる視能訓練士となるためには、病態評価および治療に結びつく専門的知識および技術、医療従事者として適切な態度の修得が求められる。
本科目では、視覚の統合系、出力系に関わる視能検査(眼位・眼球運動検査、両眼視機能検査)を正確に実施できるとともに、検査結果を正しく評価できるようになるため、各種検査の基本的知識(目的、原理、方法、評価法)および技術、医療従事者として適切な態度を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 眼位検査の検査原理、検査条件について説明することができる。
 - 2) 眼位検査の検査手順に従い検査することができる。
 - 3) 眼位検査の結果を評価することができる。
 - 4) 眼球運動検査の検査原理、検査条件について説明することができる。
 - 5) 眼球運動検査の検査手順に従い検査することができる。
 - 6) 眼球運動検査の結果を評価することができる。
 - 7) 両眼視機能検査の検査原理、検査条件について説明することができる。
 - 8) 両眼視機能検査の検査手順に従い検査することができる。
 - 9) 両眼視機能検査の結果を評価することができる。

評価方法: 単位認定試験として、実技試験と筆記試験を行う。
実技試験の成績を40%、筆記試験の成績を60%として総合的評価を行う。
全出席を単位認定の必須要件とする。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の実習では実習課題を示す。期限までに実習課題レポートを提出すること。

オフィスアワー: 平日金曜日 14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	眼位検査① 定性検査(Cover test、Hirschberg法)	実習	田村
2	1)~3)	眼位検査② 定量検査(Prism cover test、Krimsky法)	実習	田村
3	1)~3)	眼位検査③ 定量検査(Prism cover test)	実習	田村
4	1)~3)	眼位検査④ 定量検査(Prism cover test)	実習	田村
5	1)~3)	眼位検査⑤ 自覚的斜視角、回旋偏位の測定	実習	田村
6	4)~6)	眼球運動検査① むき運動検査、ひき運動検査、輻湊検査、Parks 3 step test	実習	田村
7	4)~6)	眼球運動検査② Hess赤緑試験	実習	齋藤
8	4)~6)	眼球運動検査③ 複像検査、注視野検査	実習	齋藤
9	7)~9)	両眼視機能検査① 近見立体視検査	実習	田村
10	7)~9)	両眼視機能検査② 網膜対応検査	実習	田村
11	7)~9)	両眼視機能検査③ 網膜対応検査	実習	田村
12	7)~9)	大型弱視鏡検査① 同時視検査、感覚融像検査、運動融像検査、立体視検査	実習	塚田
13	1)~6)	大型弱視鏡検査② 他覚的斜視角の測定、 γ 角測定、9方向眼位検査	実習	塚田
14	1)~9)	総合実習①	実習	田村

15 1)~9) 総合実習②
眼位、眼球運動、両眼視機能検査とその評価

実習

田村
齋藤
塚田

教科書: 視能学 第2版 (丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書: 眼科検査ガイド 第2版 (根木昭・飯田知弘・近藤峰生・中村誠・山田昌和 編) 文光堂【978-4-8306-5547-0】
眼科検査法ハンドブック 第4版 (小口芳久・澤充・大月洋・湯澤美都子 編) 医学書院【978-4-260-13780-5】

科目名: 視能検査学実習Ⅲ

担当者: 田村省悟(保・視)、齋藤真之介(保・視)、後藤 禎久(非常勤講師)、有安 正規(非常勤講師)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 眼科医療に貢献できる視能訓練士となるためには、病態評価および治療に結びつく専門的知識および技術、医療従事者として適切な態度の修得が求められる。本科目では、視覚器の構造異常および視機能異常を評価できるようになるため、視覚電気生理学検査の原理、測定方法、評価法に関する基本的知識と技能を修得する。加えて、視野検査の評価法および網脈絡膜の画像診断検査に関する基本的知識と技能を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 網膜電図(ERG)の原理、測定方法、評価法について説明できる。
 - 2) 視覚誘発電位(VEP)の原理、測定方法、評価法について説明できる。
 - 3) 眼球電図(EOG)の原理、測定方法、評価法について説明できる。
 - 4) 電気眼振図(ENG)の原理、測定方法、評価法について説明できる。
 - 5) 筋電図(EMG)の原理、測定方法、評価法について説明できる。
 - 6) 疾患と視野との関係について説明することができる。
 - 7) 光干渉断層計(OCT)の原理、測定方法、評価法について説明できる。
 - 8) 代表的な網膜・硝子体疾患、視神経疾患の光干渉断層計(OCT)所見について説明できる。
 - 9) 眼底カメラの原理、撮影方法、評価法について説明できる。
 - 10) 代表的な網膜・硝子体疾患、視神経疾患の眼底所見について説明できる。
 - 11) 蛍光眼底造影の原理、評価法について説明できる。
 - 12) 代表的な網膜疾患、脈絡膜疾患の蛍光眼底造影所見について説明できる。
 - 13) 視能検査機器の規格、構成、安全管理について説明できる。

評価方法: 単位認定試験で評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマあたり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 平日金曜日16:30~18:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	視覚電気生理学検査に必要な視覚系の構造と機能、検査の種類と基本的知識	演習	田村
2	1)	網膜電図(ERG)	演習	田村
3	1)	網膜電図(ERG)	演習	田村
4	1)	網膜電図(ERG)	演習	田村
5	1)	網膜電図(ERG)の実践	演習	田村
6	1)	網膜電図(ERG)の実践	演習・実習	有安
7	2)	視覚誘発電位(VEP)	演習・実習	有安
8	2)	視覚誘発電位(VEP)	演習	田村
9	3)	眼球電図(EOG)	演習	田村
10	3)	眼球電図(EOG)	演習	田村
11	4)	眼振と電気眼振図(ENG)	演習	田村
12	4)	眼振と電気眼振図(ENG)	演習	田村
13	4)	視運動性眼振(OKN)と他覚的視力	演習	田村
14	5)	筋電図(EMG)	演習	田村
15	6)	視野検査と視野所見の読み方	演習	齋藤
16	6)	視野検査と視野所見の読み方	演習	齋藤
17	6)	視野検査と視野所見の読み方	演習	齋藤
18	6)	視野検査と視野所見の読み方	演習	齋藤
19	6)	視野検査と視野所見の読み方	演習	齋藤
20	6)	視野検査と視野所見の読み方	演習	齋藤

21	7)8)	視野検査と視野所見の読み方	演習・実習	後藤
22	7)8)	光干渉断層計(OCT)検査	演習・実習	後藤
23	7)8)	光干渉断層計(OCT)検査	演習・実習	後藤
24	9)10)	眼底写真撮影	演習・実習	後藤
25	9)10)	眼底写真撮影	演習・実習	後藤
26	9)10)	眼底写真撮影	演習・実習	後藤
27	11)12)	蛍光眼底造影検査	演習・実習	後藤
28	11)12)	蛍光眼底造影検査	演習・実習	後藤
29	11)12)	蛍光眼底造影検査	演習・実習	後藤
30	13)	視能検査機器の規格、構成、安全管理	演習	可児

教科書： 視能学エキスパート 視能検査学（和田直子・小林昭子・中川真紀・若山暁美 編集）医学書院【978-4-260-03258-2】
 視能学 第2版（丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編集）文光堂【978-4-8306-5539-5】

参考書： 眼科検査ガイド 第2版（根木昭・飯田知弘・近藤峰生・中村誠・山田昌和 編集）文光堂【978-4-8303-5547-0】
 目で見る臨床視覚電気生理学検査の進めかた（小口芳久）金原出版【978-4-307-35139-3】

科目名: **視能検査学実習Ⅳ**

担当者: 齋藤 真之介(保・視)、田村 省吾(保・視)、内田 憲之(保・視)、塚田 貴大(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 将来、医療・保健・福祉領域で視能訓練士として有為な人材となるためには、医療専門職者としてのマナーや良好なコミュニケーションを構築する態度、視能に関する専門知識や技術が必要である。臨床実習では、知識、技術、態度を統合・補完し、医療専門職者に求められる態度および視能訓練士に求められる専門性の高い実践力や応用力が必要となる。そこで、本科目では臨床実習で必要不可欠となる知識、技術、態度を向上させることを目的としこれまで学習した内容のシミュレーション実習を実施する。また、臨床実習目標、成績評価方法、実習記録、個人情報保護、学生心得について理解する。

到達目標 (SBOs): 患者を想定したシミュレーション実習として視力、屈折、眼圧、動的視野、静的視野、Amslerチャート、中心フリツカ、眼底、眼位、眼球運動、両眼視機能、大型弱視鏡、眼軸長、角膜内皮、涙液、色覚、レンズメータ、角膜形状解析検査について下記項目を行うことができる。

- 1) 検査目的を説明できる。
- 2) 検査の適応を説明できる。
- 3) 機器の構造、検査の原理を説明できる。
- 4) 検査の流れを説明できる。
- 5) 被検者への配慮ができる(検査説明、声かけ、誘導など)。
- 6) 機器を丁寧に取り扱い扱うことができる。
- 7) 検査に適した環境および機器の設定ができる。
- 8) 基本的に忠実に検査を行うことができる。
- 9) 再現性のある結果をだすことができる。
- 10) 指定された様式で検査結果を記載することができる。
- 11) 結果を評価することができる(正常値、正常像を説明できる)。

医療従事者としての態度の習得へ向け下記項目を行うことができる。

- 12) 患者の心理、医療者の心理について説明できる。
- 13) 医療コミュニケーションについて説明できる。
- 14) 眼科クレーム対応について説明できる。
- 15) 臨床実習の概要を説明できる。

評価方法: 実技試験(60%)、筆記試験(40%)
全出席を単位認定の必須要件とする。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に実習課題を示す。期限までに実習課題レポートを提出すること。
本科目は視能検査学実習の総合学習であるため関連科目で学習したことを互いに関連づけていくこと。
実習で不明な点や曖昧な点があったら、その都度、教員に確認して解決すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	15)	臨床実習概要: 目標、成績評価方法、実習記録、個人情報保護、学生心得	講義・演習	齋藤
2	1)~11)	シミュレーション実習①: 視力検査、屈折検査、眼圧検査、検影法	講義・演習	齋藤
3	1)~11)	シミュレーション実習②: 眼位・眼球運動、両眼視機能検査	講義・演習	田村
4	1)~11)	シミュレーション実習②: 眼位・眼球運動、両眼視機能検査	講義・演習	田村
5	1)~11)	シミュレーション実習③: レンズメータ、角膜形状解析	講義・演習	内田
6	1)~11)	シミュレーション実習③: レンズメータ、角膜形状解析	講義・演習	内田
7	1)~11)	シミュレーション実習④: 視野検査(動的、静的、Amslerチャート)	講義・演習	齋藤
8	1)~11)	シミュレーション実習④: 視野検査(動的、静的、Amslerチャート)	講義・演習	齋藤
9	1)~11)	シミュレーション実習⑤: 小児眼科検査、網膜電図	講義・演習	田村
10	1)~11)	シミュレーション実習⑤: 小児眼科検査、網膜電図	講義・演習	田村
11	1)~11)	シミュレーション実習⑥: 眼軸長測定検査、角膜内皮細胞検査、涙液検査	講義・演習	塚田
12	1)~11)	シミュレーション実習⑥: 眼軸長測定検査、角膜内皮細胞検査、涙液検査	講義・演習	塚田
13	1)~11)	シミュレーション実習⑦: 大型弱視鏡	講義・演習	塚田
14	1)~11)	シミュレーション実習⑦: 大型弱視鏡	講義・演習	塚田

15	1)～11)	網膜光干渉断層(OCT)による病態評価①	講義・演習	齋藤
16	1)～11)	網膜光干渉断層(OCT)による病態評価②	講義・演習	齋藤
17	1)～11)	シミュレーション実習⑧:眼底写真撮影、中心フリッカ、色覚	講義・演習	齋藤
18	1)～11)	シミュレーション実習⑧:眼底写真撮影、中心フリッカ、色覚	講義・演習	齋藤
19	1)～11)	シミュレーション実習①:視力検査、屈折検査、眼圧検査、検影法	講義・演習	内田
20	1)～11)	シミュレーション実習①:視力検査、屈折検査、眼圧検査、検影法	講義・演習	内田
21	1)～11)	シミュレーション実習⑩:高齢患者シミュレーション(低視力検査含)	講義・演習	齋藤
22	1)～11)	シミュレーション実習⑩:高齢患者シミュレーション(低視力検査含)	講義・演習	齋藤
23	1)～11)	シミュレーション実習③:視野検査(動的、静的、Amslerチャート)	講義・演習	田村
24	1)～11)	シミュレーション実習③:視野検査(動的、静的、Amslerチャート)	講義・演習	田村
25	12)	臨床心理、医療コミュニケーション	講義・演習	内田
26	12)	手紙と電話のマナー	講義・演習	内田
27	13)	眼科クレーム対応	講義・演習	塚田
28	14)	眼科臨床医療英語	講義・演習	塚田
29	1)～11)	総合実習①	講義・演習	全員
30	1)～11)	総合実習②	講義・演習	全員

教科書: ケーススタディで学ぶ 患者接遇パーフェクト・レッスン 患者対応マナーのランクアップ教本・決定版(小山美智子)
【ISBN978-4-87058-461-7】
OCT便利手帳(白神史雄)メジカルビュー【ISBN978-4-7583-1096-3】

参考書: 視能学エキスパート 視能検査学(公益社団法人 日本視能訓練士協会)医学書院【978-4-260-03258-2】
理解を深めよう 視野検査(松本 長太 監修)金原出版【978-4-307-35133-1】
眼科検査ガイド第2版(根木 昭 監修)文光堂【978-4-8306-5547-0】
眼科検査法ハンドブック 第4版(小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美都子 編)医学書院【978-4-260-13780-5】

科目名: **視能検査学総合実習 I**

担当者: 塚田 貴大(保・視)・沼田 公子(保・視)・内田 憲之(保・視)・齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 眼科臨床における視能訓練士の役割と責任を理解し、眼科医療に貢献するためには、病態評価および治療に結びつくような専門性の高い技能と、医療従事者として適切な態度の修得が求められる。

円滑な診療を実現するには、診療チームの中における視能訓練士の立場を自覚し、症例に応じた検査とその評価を、正確かつ迅速に行うための基本的知識・技術および判断力、柔軟性のある患者接遇技術が高いレベルで要求される。本科目では、シミュレーション実習を行い、臨床現場における実践的な視能検査技術を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 眼鏡度数の測定および眼鏡フィッティングの適切な評価ができる。
 - 2) 視力・屈折検査の特徴を理解し、その評価を行うことができる。
 - 3) 他覚的屈折検査の結果を利用して視力・屈折検査を行うことができる。
 - 4) 病態シミュレーション下における、視力・屈折検査とその評価を行うことができる。
 - 5) 視野検査(静的・動的)の具体的検査法と特徴を理解し、評価することができる。
 - 6) 病態シミュレーション下における、視野検査とその評価を行うことができる。
 - 7) 被検者への配慮ができる(検査説明、声かけ、誘導など)
 - 8) 個々の症例に必要な検査を的確に選択し、正確かつ迅速に施行することができる。

評価方法: 実技試験(20%)、筆記試験(80%)
全出席を単位認定の必須要件とする。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に実習課題を示す。期限までに実習課題レポートを提出すること。
教科書・参考書等の実習テーマに関する箇所を一読した上で実習に臨むこと。
実習で不明な点や曖昧な点があったら、その都度、教員に確認して解決すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)8)	眼鏡検査	実習	内田
2	2)7)8)	視力・屈折検査	実習	内田
3	2)7)8)	総合実習1(眼鏡検査、視力・屈折検査)	実習	内田・塚田
4	2)3)7)8)	他覚的屈折検査の結果を利用した視力・屈折検査	実習	沼田
5	2)3)4)7)8)	視力が不良な患者の視力・屈折検査	実習	沼田
6	2)3)7)8)	近見視力検査・不等像視検査	実習	塚田
7	2)3)7)8)	総合実習2(他覚的屈折検査の結果を利用した視力・屈折検査、眼鏡検査)	実習	内田・塚田
8	5)7)8)	動的視野検査、静的視野検査	実習	齋藤・塚田
9	5)7)8)	総合実習3(視野検査①)	実習	齋藤・塚田
10	5)6)7)8)	動的視野検査(緑内障)	実習	沼田
11	5)6)7)8)	動的視野検査(網膜色素変性)	実習	沼田
12	5)6)7)8)	動的視野検査(視神経疾患)	実習	沼田
13	5)6)7)8)	動的視野検査(頭蓋内疾患)	実習	沼田
14	5)6)7)8)	動的視野検査(心因性視野障害)	実習	沼田
15	5)6)7)8)	総合実習4(視野検査②)	実習	齋藤・塚田

教科書: 眼科検査ガイド(眼科診療プラクティス編集委員) 文光堂【978-4-8306-5521-0】
理解を深めよう 視力検査 屈折検査(所 敬 監修) 金原出版【978-4-307-35132-4】
理解を深めよう 視野検査(松本 長太 監修) 金原出版【978-4-307-35133-1】
視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】
屈折異常とその矯正 第6版(所 敬) 金原出版【978-4-307-35159-1】 ※第5版でも可
標準眼科学 第12版(大野 重昭 他) 医学書院【978-4-260-01651-3】

参考書: 眼科検査法ハンドブック 第4版(小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美都子 編) 医学書院【978-4-260-13780-5】

科目名: 視能検査学総合実習Ⅱ

担当者: 塚田 貴大(保・視)・沼田 公子(保・視)・内田 憲之(保・視)・齋藤 真之介(保・視)・貫 優美子(社・臨)・有安 正規(非常勤講師)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 眼科臨床における視能訓練士の役割と責任を理解し、眼科医療に貢献するためには、病態評価および治療に結びつくような専門性の高い技能と、医療従事者として適切な態度の修得が求められる。

臨床現場で医師・患者から信頼される視能訓練士になるためには、基礎的な知識・技術の上に、個々の疾患(患者)に応じた判断力、柔軟性が必要である。本科目ではシミュレーション実習を行い、疾患の臨床像(患者の訴え)と、生理や病理の理解を繋ぎ合わせ、一人ひとりの患者(疾患)に合わせた検査・訓練を施行するための視能検査技術を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 主要眼疾患の病態シミュレーション下において、正確な視能検査とその評価を行うことができる。
 - 2) 医療面接を理解し、患者を理解するための情報収集、患者とのラポールの構築、患者脅威聞くと治療への動機づけのための説明の主要3項目の説明ができる。
 - 3) 好ましい服装、身だしなみ、座る位置・距離、目線、アイコンタクト、顔の表情、態度、身振り、手振り、スキンシップ、声の調子などを理解し、患者への適切な配慮ができる。
 - 4) 主訴、現病歴、経過・症状、増悪要因、寛解要因、随伴症状、既往歴、家族歴、患者背景などの徴収すべき項目を列挙できる。
 - 5) 症例に応じた医療面接、検査計画の立案、検査の実施および検査結果の評価、訓練・治療計画の立案を行うことができる。
 - 6) 視能訓練・両眼視訓練の種類と内容を理解している。
 - 7) インシデント・アクシデントとレポートについて説明できる。
 - 8) 患者の安全を確保した移動、診療介助の方法を説明できる。
 - 9) 院内感染対策の基本を理解し、眼科領域のウィルス感染症の院内感染対策を述べることができる。
 - 10) 必要となる検査の優先度を的確に選択し、正確かつ迅速に施行することができる。
 - 11) 問題指向形システムでは異議、目的、記載法を説明でき、問題指向形診療録では意味、書き方、プロブレムを説明できる。

評価方法: 実技試験(20%)、筆記試験(80%)
全出席を単位認定の必須要件とする。

準備学習・履修上の注意等: 毎授業後に実習課題を示す。期限までに実習課題レポートを提出すること。
教科書・参考書等の実習テーマに関する箇所を一読した上で実習に臨むこと。
実習で不明な点や曖昧な点があったら、その都度、教員に確認して解決すること。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	2)-5)	医療面接の方法、診療録の記録と報告	実習	斎藤
2	1)-5)10)	網膜疾患に対する病態評価①	実習	塚田・斎藤
3	1)-5)10)	網膜疾患に対する病態評価②	実習	塚田・斎藤
4	1)-5)10)	網膜疾患に対する病態評価③	実習	塚田・斎藤
5	1)-5)10)	緑内障に対する病態評価①	実習	斎藤・塚田
6	1)-5)10)	緑内障に対する病態評価②	実習	斎藤・塚田
7	6)10)	視能訓練技術①	実習	沼田
8	6)10)	視能訓練技術②	実習	沼田
9	6)10)	視能訓練技術③	実習	沼田
10	3)5)6)10)11)	斜視・弱視に対する病態評価①	実習	内田・塚田
11	3)5)6)10)11)	斜視・弱視に対する病態評価②	実習	内田・塚田
12	3)5)6)10)11)	斜視・弱視に対する病態評価③	実習	内田・塚田
13	3)5)6)10)11)	斜視・弱視に対する病態評価④	実習	内田・塚田

14	1)-5)10)	症例検討(視覚発達支援を含む)	実習	有安
15	7)8)9)	医療安全対策/介助技術	実習	貫

教科書: 眼科検査ガイド(眼科診療プラクティス編集委員) 文光堂【978-4-8306-5521-0】
 理解を深めよう 視力検査 屈折検査(所 敬 監修) 金原出版【978-4-307-35132-4】
 理解を深めよう 視野検査(松本 長太 監修) 金原出版【978-4-307-35133-1】
 視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】
 屈折異常とその矯正 第6版(所 敬) 金原出版【978-4-307-35159-1】 ※第5版でも可
 標準眼科学 第12版(大野 重昭 他) 医学書院【978-4-260-01651-3】

参考書: 眼科検査法ハンドブック 第4版(小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美都子 編) 医学書院【978-4-260-13780-5】

科目名: 視能障害学 I

担当者: 沼田 公子 (保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 視能障害学 I では、主要な眼疾患について原因、症状、視能障害、治療法などの基本的知識を修得する。さらに眼科医療専門職としての自覚と学習の方向性を見出す。

到達目標: (SBOs) 1)原因、症状、視能障害、治療法を述べることができる。
2)麦粒腫と霰粒腫の違いを説明できる。
3)流行性結膜炎への対応を述べるができる。
4)涙道の概要を述べるができる。
5)白内障の手術法、術前・術後の屈折度と眼内レンズ度数との関係を説明できる。
6)房水の産生・流出、前房隅角の形状・機能と眼圧の関係および緑内障の分類とを関係づけることができる。
7)視路の障害部位と視野障害を関係づけて説明できる。
8)外眼筋の神経支配および作用と外眼筋麻痺による視能障害を関係づけて説明できる。
9)生活習慣病の概念を述べるができる。
10)糖尿病網膜症の病態を理解する。
11)血圧の概念を述べるができる。

評価方法: 毎回の授業前に前回授業の要点の試験を実施する。
毎授業の試験の評価を40%、学期末の単位認定試験60%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の 特になし。
注意等:

オフィスアワー: 講義・会議時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	この科目を学習する目的、眼瞼・結膜疾患(麦粒腫・霰粒腫・流行性結膜炎)	講義	沼田
2	1)	眼瞼疾患	講義	沼田
3	1)4)	角膜疾患(コンタクトレンズ装用による障害)	講義	沼田
4	1)5)	涙器疾患:涙道狭窄・閉鎖	講義	沼田
5	1)6)	水晶体疾患(白内障)	講義	沼田
6	1)	緑内障	講義	沼田
7	1)	網膜疾患(1):加齢黄斑疾患	講義	沼田
8	1)	網膜疾患(2):網膜剥離	講義	沼田
9	1)	ブドウ膜炎	講義	沼田
10	1)7)	視神経疾患:視神経炎、虚血性視神経症、うっ血乳頭	講義	沼田
11	1)	視路疾患:視交叉、視索	講義	沼田
12	8)	眼窩疾患:眼窩蜂巣炎、眼窩ふきぬけ骨折、甲状腺眼症	講義	沼田
13	1)9)10)11)	眼球運動障害	講義	沼田
14	1)	生活習慣病:糖尿病網膜症、高血圧網膜症	講義	沼田
15	1)	身体表現性障害(心因性視能障害)・老視 色覚異常	講義	沼田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **視能障害学Ⅱ**

担当者: 塚田 貴大(保・視)・鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 患者の主訴から診断に必要な検査計画を立案し、それを実施できるようになるためには、眼疾患の病態を理解する必要がある。本科目では、主要な眼疾患を取り上げ、それらの病態、検査、治療に関する基本的知識を修得する。さらに疾患の病態理解に必要な視覚器の構造と機能に関する基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs)
1) 眼球および視覚系の構造と機能について説明できる。
2) 主要な眼疾患において、疾患概念、病態を説明できる。
3) 主要な眼疾患において、診断に必要な検査項目を列挙し、検査所見を説明できる。
4) 主要な眼疾患において、治療法、予防法の概要を説明できる。
5) 院内感染の原因となる眼疾患を列挙し、感染防止対策について説明できる。

評価方法: 学期末の単位認定試験で統括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 教科書のうちテーマに関連する箇所を一読して講義に臨むこと。
講義後、学習内容を確認し、不明な点や曖昧な点は、その都度、解決すること。
授業前後の学習は、十分な時間(全授業あわせて60時間ほど)をかけることが求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	眼の構造と機能	講義	鬼塚
2	1)~4)	眼瞼疾患	講義	鬼塚
3	1)2)	結膜疾患①解剖・生理、病態	講義	鬼塚
4	5)	結膜疾患②感染防止対策	講義	鬼塚
5	1)~4)	涙器疾患	講義	鬼塚
6	1)3)	角膜疾患・強膜疾患① 解剖・生理、検査	講義	塚田
7	2)~4)	角膜疾患・強膜疾患② 病態、治療	講義	塚田
8	1)	水晶体の病変① 解剖・生理	講義	塚田
9	2)~4)	水晶体の病変② 病態、検査、治療	講義	塚田
10	1)	緑内障① 解剖・生理	講義	塚田
11	3)	緑内障② 検査	講義	塚田
12	2)3)	緑内障③ 病態	講義	塚田
13	2)~4)	緑内障④ 病態、治療	講義	塚田
14	1)	ぶどう膜疾患① 解剖・生理	講義	塚田
15	2)~4)	ぶどう膜疾患② 病態	講義	塚田

教科書: 標準眼科学 第12版(大野 重昭 他) 医学書院【978-4260016513】
視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】
※「視能学 増補版」でも可
「眼疾患 説明の仕方と解説」改訂3版 菅謙治(原著)直井信久(改訂)金芳堂 ISBN 978-4-7653-1514-2

参考書: 現代の眼科学 改訂第11版(所 敬 監修)金原出版【978-4-307-35146-1】
※購入する必要はありません

科目名: **視能障害学Ⅲ**

担当者: 塚田 貴大(保・視)・鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 患者の主訴から診断に必要な検査計画を立案し、それを実施できるようになるためには、眼疾患の病態を理解する必要がある。本科目では、主要な眼疾患を取り上げ、それらの病態、検査、治療に関する基本的知識を修得する。さらに疾患の病態理解に必要な視覚器の構造と機能に関する基本的知識を修得する。

到達目標: (SBOs)
1) 眼球および視覚系の構造と機能について説明できる。
2) 主要な眼疾患において、疾患概念、病態を説明できる。
3) 主要な眼疾患において、診断に必要な検査項目を列挙し、検査所見を説明できる。
4) 主要な眼疾患において、治療法、予防法の概要を説明できる。

評価方法: 学期末の単位認定試験で統括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 教科書のうちテーマに関連する箇所を一読して講義に臨むこと。
講義後、学習内容を確認し、不明な点や曖昧な点は、その都度、解決すること。
授業前後の学習は、十分な時間(全授業あわせて60時間ほど)をかけることが求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【網膜・硝子体疾患】① 解剖・生理	講義	
2	3)	【網膜・硝子体疾患】② 検査	講義	鬼塚
3	2)~4)	【網膜・硝子体疾患】③ 病態、検査、治療	講義	鬼塚
4	2)~4)	【網膜・硝子体疾患】④ 病態、検査、治療	講義	鬼塚
5	2)~4)	【網膜・硝子体疾患】⑤病態、検査、治療	講義	鬼塚
6	1)3)	【視神経疾患①】解剖・生理、検査	講義	鬼塚
7	2)~4)	【視神経疾患②】病態、治療	講義	塚田
8	1)~3)	【瞳孔異常①】解剖・生理、病態	講義	塚田
9	1)~3)	【瞳孔異常②】解剖・生理、病態	講義	塚田
10	1)~4)	【眼窩疾患】	講義	塚田
11	1)~4)	【眼外傷】	講義	塚田
12	1)~4)	【視覚器の発生と先天異常】	講義	塚田
13	1)~4)	【全身疾患と眼】	講義	塚田
14	1)~4)	【全身疾患と眼】	講義	塚田
15	1)~4)	【小児眼科】	講義	塚田

教科書: 標準眼科学 第12版(大野 重昭 他) 医学書院【978-4260016513】
視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】
※「視能学 増補版」でも可
「眼疾患 説明の仕方と解説」改訂3版 菅謙治(原著)直井信久(改訂)金芳堂 ISBN 978-4-7653-1514-2

参考書: 現代の眼科学 改訂第11版(所 敬 監修)金原出版【978-4-307-35146-1】
※購入する必要はありません

科目名: 視能障害学IV

担当者: 可児 一孝(保・視)、中馬 秀樹(非常勤講師)、尾崎 峯生(非常勤講師)、田淵 昭雄(非常勤講師)、中崎 秀二(非常勤講師)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 眼科医療で活躍できる視能訓練士となるためには、病態評価および治療に必要な専門的知識の修得が求められる。本科目では、神経眼科疾患を取り上げ、病態評価に必要な臨床症状および検査所見に関する基本的知識を修得する。さらに、眼科臨床で高頻度に見られる緑内障および白内障を取り上げ、問診から治療に至る各過程において、視能訓練士に必要な知識および技術を修得する。

- 到達目標 (SBOs)
- 1) 視神経交叉部、外側膝状体、視放線、後頭葉の疾患における症状および検査所見について説明できる。
 - 2) 神経眼科に関わる画像検査の原理および基本的評価法について説明できる。
 - 3) 視神経疾患(視神経炎、視神経症、うつ血乳頭)の原因、症状、検査所見について説明できる。
 - 4) 相対的瞳孔求心路障害を説明できる。
 - 5) 瞳孔の異常を伴う主要眼疾患の症状および検査所見について説明できる。
 - 6) 瞳孔不同の原因を説明できる。
 - 7) 対光反射・近見反応乖離を説明できる。
 - 8) 眼振を伴う主要眼疾患の症状および検査所見について説明できる。
 - 9) 視覚情報処理、高次視機能障害の症状について説明できる。
 - 10) 小児における主要眼疾患の症状および検査所見について説明できる。
 - 11) 緑内障の問診、検査、診察、治療における留意点を説明できる。
 - 12) 眼球運動障害を伴う主要眼疾患の症状および検査所見について説明できる。
 - 13) 眼運動神経麻痺の症状および検査所見について説明できる。
 - 14) 重症筋無力症および眼窩壁骨折の眼症状の発生機序、症状、検査所見について説明できる。
 - 15) 白内障の問診、検査、診察、治療における留意点を説明できる。

評価方法: 単位認定試験で評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。各回の講義は2コマとする。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~3)	視路疾患とその評価(X線、CT検査、MRI検査、超音波検査Bモードを含む)	講義	可児
2	1)~3)	視路疾患とその評価(X線、CT検査、MRI検査、超音波検査Bモードを含む)	講義	可児
3	3)4)	視神経疾患	講義	中馬
4	4)~7)	瞳孔疾患	講義	中馬
5	8)	眼振	講義	中馬
6	9)	高次視機能障害	講義	中馬
7	10)	小児眼科	講義	田淵
8	10)	小児眼科	講義	田淵
9	10)	小児眼科	講義	田淵
10	10)	小児の神経眼科	講義	尾崎
11	11)	緑内障の診断と治療	講義	尾崎
12	12)~14)	眼球運動障害	講義	尾崎
13	12)~14)	眼球運動障害	講義	尾崎
14	12)~14)	核・核下性眼球運動障害	講義	特別講師
15	15)	白内障の診断と治療	講義	中崎
16	15)	白内障の診断と治療	講義	中崎

教科書: 神経眼科診療のてびき 病歴と診察から導く鑑別疾患 第1版(石川 弘) 金原出版【978-4-307-35161-4】

参考書: 神経眼科学を学ぶ人のために(三村 治) 医学書院【978-4-260-02022-0】
標準眼科学 第12版(木下 茂・中澤 満・天野 史郎 編集) 医学書院【978-4-260-01651-3】

科目名: 視能リハビリテーション学演習

担当者: 齋藤 真之介(保・視)、山田 敏夫(非常勤講師)、林 京子(非常勤講師)、外部講師

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必須 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 障害者基本法で定められている「障がい者の自立と社会参加」へ向けて視能訓練士として必要な知識の修得と視能リハビリテーションに関わる技術を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 世界と日本における視覚障がいの現状を説明できる。
 - 2) QOLについて説明できる。
 - 3) QOVについて説明できる。
 - 4) ノーマライゼーションについて説明できる。
 - 5) 視覚障がい者の関係法規とその背景を説明できる。
 - 6) 視覚障がい者の総合的リハビリテーションを説明できる。
 - 7) 視覚障がい者に対する公的支援を説明できる。
 - 8) 原因疾患と視覚障がいを説明できる。
 - 9) 視能リハビリテーションにおける視能評価を理解し実践できる。
 - 10) 視覚障がい者の行動評価とQOL評価を理解できる。
 - 11) 視覚障がい者の歩行援助を行うことができる。
 - 12) 視覚障がい者の日常生活における不自由度を述べることができる。
 - 13) 視覚障がい者の日常生活動作の援助指導を述べることができる。
 - 14) 視覚情報端末を用いたロービジョンケアを説明できる。
 - 15) 重複障がい児への対応と視能訓練の実際を説明できる。
 - 16) 視覚障がいに対する補助具の適応、種類、特徴、有用性を説明できる。
 - 17) バリアフリー、ユニバーサルデザインについて説明できる。

評価方法: 全出席を単位認定の必須要件とする。学期末の単位認定試験で総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 講義前は1コマ当たり30分程度の予習を行うこと。講義後は要点を整理しレポートで提出すること。

オフィスアワー: 講義・会議時間以外の在室中。外部講師についてはメール等で対応する。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)4)	視能リハビリテーション総論(1):疫学と関係法規	講義・演習	齋藤
2	5)6)7)16)	視能リハビリテーション総論(2):視覚障がい者の総合的リハビリテーション	講義・演習	齋藤
3	8)	視覚障がいと原因疾患	講義・演習	齋藤
4	10)	視能と行動の評価:行動とQOLの評価	講義・演習	齋藤
5	9)	視能リハビリテーションにおける視能評価①(概要と演習)	講義・演習	齋藤
6	9)	視能リハビリテーションにおける視能評価②(概要と演習)	講義・演習	齋藤
7	9)	視能リハビリテーションにおける視能評価③(概要と演習)	講義・演習	齋藤
8	14)	視覚情報端末によるロービジョンケア(拡大読書器、タッチスクリーン端末)	講義・演習	齋藤
9	11)	歩行援助の基本(1):視覚障害者に対するガイドヘルプ①(概要と演習)	講義・演習	外部講師
10	11)	歩行援助の基本(1):視覚障害者に対するガイドヘルプ②(概要と演習)	講義・演習	外部講師
11	11)	歩行援助の基本(1):視覚障害者に対するガイドヘルプ③(概要と演習)	講義・演習	外部講師
12	11)	歩行援助の基本(1):視覚障害者に対するガイドヘルプ④(概要と演習)	講義・演習	外部講師
13	11)	歩行援助の基本(2):視覚障害者の歩行訓練①(概要と演習)	講義・演習	外部講師
14	11)	歩行援助の基本(2):視覚障害者の歩行訓練②(概要と演習)	講義・演習	外部講師
15	12) 13)	視覚障害者の生活活動の支障とリハビリテーションの実際①	講義・演習	外部講師
16	12) 13)	視覚障害者の生活活動の支障とリハビリテーションの実際②	講義・演習	外部講師
17	15)	重複障がい児に対する視能検査と評価(1)	講義・演習	林
18	15)	重複障がい児に対する視能検査と評価(2)	講義・演習	林
19	15)	重複障がい児に対する視能検査と評価(3)	講義・演習	林

20	16)	視覚補助具の利用とその原理(1):非光学的補助具①	講義・演習	山田
21	16)	視覚補助具の利用とその原理(1):非光学的補助具②	講義・演習	山田
22	17)	視覚障害者に有効な建築と空間デザイン:ユニバーサルデザインの実際	講義・演習	山田
23	16)	視覚補助具の利用とその原理(2):光学的補助具①	講義・演習	齋藤
24	16)	視覚補助具の利用とその原理(2):光学的補助具②	講義・演習	齋藤
25	16)	視覚補助具の利用とその原理(2):光学的補助具③	講義・演習	齋藤
26	16)	視覚補助具の利用とその原理(2):光学的補助具④	講義・演習	齋藤
27	16)	視覚補助具の利用とその原理(2):光学的補助具⑤	講義・演習	齋藤
28	16)	視覚補助具の利用とその原理(2):光学的補助具⑥	講義・演習	齋藤
29	16)	視覚補助具の利用とその原理(3):遮光眼鏡①	講義・演習	外部講師
30	16)	視覚補助具の利用とその原理(3):遮光眼鏡②	講義・演習	外部講師

教科書: 専門医のための眼科診療クオリファイ26 ロービジョンケアの実際 (山本修一)中山書店 【ISBN:978-4-521-73923-6】

参考書: 視能学第2版 (丸尾敏夫) 文光堂 【978-4-8306-5539-5】
 ロービジョンの総合的リハビリテーション (田淵昭雄) 自由企画出版 【978-4-88052-013-1】
 眼科プラクティス 14 ロービジョンケアガイド (樋田哲夫) 文光堂 【978-4-8306-5571-5 C3047】
 視覚障害者介護技術シリーズ3 初めてのガイド 全国視覚障害者情報提供施設協会 【ISBN978-4-86055-512-2】

科目名: 視能矯正・訓練学演習 I

担当者: 沼田 公子(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 3 時間数: 90 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 本科目では、斜視・弱視の各型、眼球運動障害を生じる疾患について臨床的特徴・検査所見・治療法を学び、臨床における診断と治療に応用する能力、視能障害への対処法および視能訓練士の主業務である視能矯正・訓練を実践するために必要な知識を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)弱視、斜視の分類を列挙できる。
- 2)弱視の病因・病態評価・治療方法を説明できる。
- 3)斜視の病因・病態評価・治療方法を説明できる。
- 4)眼球運動に関係する脳神経の走行経路および病変部位と眼球運動障害との関係を説明できる。
- 5)眼球運動障害の病因・病態・評価を具体的に述べるができる。
- 6)視能訓練の枠組みと適応を関係づけ説明できる。
- 7)視能訓練の原理・適応・具体的方法を述べるができる。
- 8)斜視各型の病態と手術方針を関係づけ説明できる。
- 9)斜視手術の禁忌・副作用を述べるができる。
- 10)眼振の分類・臨床的特徴・記載法・治療法を述べるができる。

評価方法: 毎回の授業前に前回授業の要点の試験を実施する。
毎授業の試験の評価を40%、学期末の単位認定試験60%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業は3コマ実施する。
毎授業後に配布資料を読み返すこと。

オフィスアワー: 講義・会議時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	この科目を学習する目的、斜視・弱視分類の枠組、弱視総論、弱視各型(1)斜視弱視、微小斜視弱視	講義	沼田
2	2)	弱視各型(2)不同視弱視・屈折異常弱視・経線弱視・形態覚遮断弱視	講義	沼田
3	3)	斜視各型(1)内斜視①乳児内斜視②調節性内斜視③その他の内斜視	講義	沼田
4	3)	斜視各型(2)外斜視:間欠性外斜視・恒常性外斜視・続発性外斜視	講義	沼田
5	3)	斜視各型(3):上下斜視・回旋斜視:交代性上斜位・上下斜視・回旋斜視	講義	沼田
6	3)	斜視各型(4):A-V斜視・微小斜視	講義	沼田
7	4)5)	眼筋麻痺(1)中枢性神経性障害:水平注視麻痺・上下注視麻痺・開散麻痺・輻湊麻痺・核間麻痺・double elevator palsy(2)末梢性神経障害:動眼神経麻痺	講義	沼田
8	4)5)	眼筋麻痺(2)末梢性神経障害:滑車神経麻痺	講義	沼田
9	4)5)	眼筋麻痺(2)末梢性神経障害:外転神経麻痺・全眼筋麻痺 神経筋接合部障害:筋原性斜視:重症筋無力症・慢性進行性外眼筋ミオパシー	講義	沼田
10	5)	筋原性障害:・甲状腺眼症、general fibrosis syndrome、固定斜視 機械的運動障害:眼窩底骨折・Brown症候群	講義	沼田
11	1)~5)	9~10回のまとめ	講義	沼田
12	6)7)	視能訓練(1):概要・光学的視能・矯正・遮閉法	講義	沼田
13	7)	視能訓練(2):抑制除去訓練・網膜対応異常矯正訓練・融像訓練・家庭訓練	講義	沼田
14	8)9)	斜視手術(1):手術方法と適応、副作用、禁忌	講義	沼田
15	10)	眼振:生理的眼振、病的眼振動、治療法(手術・プリズム療法)	講義	沼田

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 視能矯正・訓練学演習Ⅱ

担当者: 沼田 公子(保・視)、外部講師

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 視能矯正・訓練学総合演習Ⅱでは、弱視・斜視の臨床例についてPOS方式に従った病態評価、問題点抽出、疾患の鑑別診断に必要な検査および疾患の治療、その他の問題点に対するプランの作成を行い、論理的思考と症例考察能力を向上させる。また臨床例や自己が立案したプランで実施する検査の原理や手技についても確認を行う。

到達目標: (SBOs) 1)患者のプロフィール、経過および検査結果から病態を説明できる。
2)類似疾患鑑別のための検査を述べることができる。
3)検査の原理を説明できる。
4)症例の問題点解決の具体的方法を述べることができる。
5)症例の全体像から治療予後などを含めた症例の考察を文章で述べるができる。
6)症例の経過中に実践された検査・治療法とその結果について述べるができる。
7)屈折矯正手術の概要を述べるができる。

評価方法: 単位認定試験の評価を80%、提出物の評価を20%として総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業は2コマ実施する。
2年次および3年前期の斜視・弱視関連の授業および実習内容を復習しておくこと。
視能学、実習関連の教科書、視能矯正・訓練学Ⅰ、実習関連の配布資料、ノート類を持参すること。

オフィスアワー: 火曜日、木曜日(授業時間以外の在室中)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	弱視の病態評価(1)	講義・演習・SGD	沼田
2	1)~5)	弱視の病態評価(2)	講義・演習・SGD	沼田
3	1)~5)	弱視の病態評価(3)	講義・演習・SGD	沼田
4	1)~5)	弱視の病態評価(4)	講義・演習・SGD	沼田
5	1)~5)	内斜視の病態評価(1)	講義・演習・SGD	沼田
6	1)~5)	内斜視の病態評価(2)	講義・演習・SGD	沼田
7	1)~5)	内斜視の病態評価(3)	講義・演習・SGD	沼田
8	1)~5)	内斜視の病態評価(4)	講義・演習・SGD	沼田
9	1)~5)	外斜視の病態評価(1)	講義・演習・SGD	沼田
10	1)~5)	外斜視の病態評価(2)	講義・演習・SGD	沼田
11	1)~5)	外斜視の病態評価(3)	講義・演習・SGD	沼田
12	1)~5)	外斜視の病態評価(4)	講義・演習・SGD	沼田
13	1)~5)	斜視特殊型の病態評価(1)	講義・演習・SGD	沼田
14	1)~5)	斜視特殊型の病態評価(2)	講義・演習・SGD	沼田
15	1)~5)	斜視特殊型の病態評価(3)	講義・演習・SGD	沼田
16	1)~5)	斜視特殊型の病態評価(4)	講義・演習・SGD	沼田
17	1)~5)	麻痺性斜視の病態評価(1)	講義・演習・SGD	沼田
18	1)~5)	麻痺性斜視の病態評価(2)	講義・演習・SGD	沼田
19	1)~5)	麻痺性斜視の病態評価(3)	講義・演習・SGD	沼田
20	1)~5)	麻痺性斜視の病態評価(4)	講義・演習・SGD	沼田
21	1)~5)	麻痺性斜視の病態評価(5)	講義・演習・SGD	沼田
22	1)~5)	麻痺性斜視の病態評価(6)	講義・演習・SGD	沼田

23	6)	模擬カルテ症例のまとめ、考察(1)	SGD 講義・演習・沼田
24	6)	模擬カルテ症例のまとめ、考察(2)	SGD 講義・演習・沼田
25	6)	模擬カルテ症例のまとめ、考察(3)	SGD 講義・演習・沼田
26	6)	模擬カルテ症例のまとめ、考察(4)	SGD 講義・演習・沼田
27	6)	模擬カルテ症例のまとめ、考察(5)	SGD 講義・演習・沼田
28	6)	模擬カルテ症例のまとめ、考察(6)	SGD 講義・演習・沼田
29	7)	屈折矯正手術	SGD 講義・演習 外部講師
30	7)	屈折矯正手術	講義 外部講師

教科書： 使用しない。

参考書： 視能学第2版 丸尾敏夫ら編

科目名: 屈折学各論実習 I

担当者: 内田 憲之(保・視)、沼田 公子(保・視)、外部講師、塚田 貴大(保・視)、齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 視能訓練士は、眼鏡やコンタクトレンズの関連業務に携わることが多く、3割が眼鏡やコンタクトレンズに関するトラブルを経験しているという現状がある。これらのトラブルは、視能訓練士のみならず、所属する眼科医療機関に対する信頼性にまでその影響は及ぶ。そのため、臨床における眼鏡やコンタクトレンズに関しては、充分かつ高い知識・技能・態度が要求される。屈折学各論実習では、屈折矯正分野で高い評価を得る視能訓練士となるために、患者の“見る”をコンタクトレンズを用いて矯正するための基本的な知識と技術を理解することを目標とする。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 屈折矯正の原理・原則を理解する。
 - 2) 眼鏡とコンタクトレンズを使用しての屈折矯正の適応と方法について説明できる。
 - 3) 屈折矯正による効果の測定を患者のQOLに沿って効果が判定できる。
 - 4) 眼鏡とコンタクトレンズによる矯正の禁忌と注意点が説明できる。
 - 5) 各種のコンタクトレンズを患者に対し装用指導と自己管理が説明できる。
 - 6) 特殊コンタクトレンズとしてのオルソケラトロジーについて説明できる。
 - 7) コンタクトレンズの装脱及びその指導ができる。
 - 8) 模擬患者にコンタクトレンズを合わせることができる。
 - 9) 不当なコンタクトレンズ装用を原因とする眼障害と関連する前眼部疾患が説明できる。
 - 10) 白内障手術の術前検査が実践できる。
 - 11) 眼内レンズの種類と構造・光学的特性を述べるができる。

評価方法: 単位認定試験90%、実習レポート10%

準備学習・履修上の注意等: 評価方法のレポートは、教科書・参考書を用いて各回に関連するキーワードについてのレポート課題を各回ごとに提出してもらいます。このレポート課題を提出するための学習として90分程度の学習を行うこと。

オフィスアワー: 在室中はいつでも

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【さまざまな矯正法】 屈折異常と矯正法の選択の基本的考え方を知る。□	演習	内田
2	3)	【裸眼視力】 裸眼視力から屈折異常度とのかかわりを知る。□	演習	内田
3	4)	【スラントイリュージョン】 乱視矯正時の空間的な歪みについてその原因を知る。□	演習	内田
4	2)4)5)	【コンタクトレンズ①】 ソフトコンタクトレンズの構造や素材特性の特徴を理解する。□	演習	外部講師 /内田
5	2)4)5)	【コンタクトレンズ②】 ソフトコンタクトレンズの適切な選択ができる。□	演習	内田
6	2)4)5)	【コンタクトレンズ③】 ハードコンタクトレンズの基本を理解する。□	演習	沼田
7	2)4)5)	【コンタクトレンズ④】 適正なコンタクトレンズの選択と装脱指導ができる。□	演習	外部講師 /内田
8	2)4)5)7)	【コンタクトレンズ⑤】 コンタクトレンズの装脱指導およびとレンズケア指導ができる。□	演習	外部講師 /内田
9	2)6)	【オルソケラトロジー】 特殊な屈折矯正の方法を知る。□	演習	外部講師 /内田
10	2)3)4)5)9)	【前眼部】 前眼部病態と評価を行える。□	演習	塚田
11	1)~9)	コンタクトレンズ矯正のまとめ□	演習	塚田
12	1)10)	【白内障①】 術前検査の方法について詳細に学ぶ。□	演習	齋藤
13	1)11)	【白内障②】 眼内レンズについて種類と特徴を知る。	演習	内田

14	1)10)11) □ 【白内障に関する屈折矯正のまとめ】□	演習	塚田
15	1)10)11) 白内障患者に対する自覚的屈折検査を行える。□	演習	内田

教科書: すぐに役立つ臨床で学ぶ 眼鏡処方の実際(所 敬・梶田 雅義)金原出版【978-4-307-35140-9】

参考書: 使用しない

科目名: 屈折学各論実習Ⅱ

担当者: 塚田 貴大(保・視)、沼田 公子(保・視)、内田 憲之(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 視能訓練士は、眼鏡やコンタクトレンズの関連業務に携わることが多く、3割が眼鏡やコンタクトレンズに関するトラブルを経験しているという現状がある。これらのトラブルは、視能訓練士のみならず、所属する眼科医療機関に対する信頼性にまで影響し、臨床における眼鏡やコンタクトレンズに関しては、充分かつ高い知識・技能・態度が要求される。
本実習では、屈折矯正分野で高い評価を得る視能訓練士となるために、一人ひとりの患者の視生活を支えるという観点から、患者の様々なニーズに対応する屈折矯正を実践できる技能を習得することを目標とする。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 臨床における屈折矯正の意義と目的が説明できる。
 - 2) 眼鏡度数調整の目的・手順を理解し、流れに従って検査できる。
 - 3) 完全屈折矯正度数と日常利用度数との違いを理解する。
 - 4) 使用者の年齢や目的に応じた度数調整が行える。
 - 5) 適正眼鏡と治療用眼鏡の違いを理解し、症例に応じた検査が実施できる。
 - 6) 各種屈折矯正法について、その特徴を述べることができる。
 - 7) 遠視性屈折異常・弱視・不同視・斜視の模擬患者に対する眼鏡度数調整ができる。
 - 8) オートレフラクメータの測定値から屈折値を予測し、適切な遠用度数の決定ができる。
 - 9) 二重・三重焦点レンズの光学特性と処方概要を述べるができる。
 - 10) 累進屈折力レンズの光学特性と処方概要を述べるができる。
 - 11) 眼鏡レンズの特性に合わせたフレームのフィッティング評価ができる。
 - 12) 患者の訴えから眼鏡の不具合に対する原因を想定し、的確な説明ができる。

評価方法: 筆記試験70%、実技試験20%、レポート10%
全出席とレポート提出を単位認定の必須要件とする。

準備学習・履修上の注意等: 臨症的に何をどのように注意を払う必要があるかについて、1回の授業につき110分の復習とレポート作成を行い、よく考察を行う事。
教科書・参考書等の実習テーマに関連する箇所を一読した上で実習に臨むこと。
実習で不明な点や曖昧な点があったら、その都度、教員に確認して解決すること。
授業回数1回を2コマとする。

オフィスアワー: 在室中はいつでも

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)5)7)	【学童期・小児の眼鏡合わせ①】 感受性期の眼鏡の重要性。	演習	沼田
2	1)4)5)	【学童期・小児の眼鏡合わせ②】 学童期における学業や日常生活を考慮した度数調整。	演習	沼田
3	5)7)8)	【斜視・弱視】 斜視弱視の光学的治療法(プリズム眼鏡・弱視治療)。	演習	沼田
4	2)3)4)8)	【眼疾患と眼鏡度数決定】 眼精疲労などの眼疾患を考慮した矯正。	演習	沼田
5	2)3)4)5)	【成人および高齢者に対する眼鏡処方】 遠用眼鏡処方時の初期値から処方度数決定まで。	演習	塚田
6	2)3)6)	【強度乱視眼】 等価球面置換法(乱視が強い時の度数調整の方法)。	演習	塚田
7	1)2)3)4)	【成人の遠用眼鏡】 成年期～老年期の遠用眼鏡の度数合わせの注意点。	演習	塚田
8	1)2)4)	【近用眼鏡①】 近用明視を得るための眼鏡。	演習	塚田
9	1)2)4)	【近用眼鏡②】 クロスシリンダーを用いた近用度数測定。	演習	塚田
10	2)9)	【二重焦点・三重焦点レンズ】 遠近で境目のある眼鏡の度数調整。	演習	内田
11	2)5)10)	【累進屈折力レンズ】 累進屈折力レンズの種類と特徴を理解した適切なレンズの選択。	演習	内田

12	1)4)12) 【アイポイント】 瞳孔間距離・瞳孔中心と光学中心の位置の測定。	演習	内田
13	1)4)7)12) 【眼鏡のフィッティング】 眼鏡レンズを眼前の適切な位置への保持するための傾斜角・頂間距離などの評価。	演習	内田
14	11) 【眼鏡レンズの構造と性能】 眼鏡レンズの装用感を向上させるための工夫。	演習	内田
15	3)12) 【作成後の眼鏡の評価】	演習	塚田

教科書： すぐに役立つ臨床で学ぶ 眼鏡処方の実際(所 敬・梶田 雅義)金原出版【978-4-307-35140-9】

参考書： 使用しない

科目名: **臨地実習 I**

担当者: 齋藤 真之介(保・視)、沼田 公子(保・視)、塚田 貴大(保・視)、田村 省吾(保・視)、内田 憲之(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 7 時間数: 315 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 眼科診療および視能訓練士業務の実際の経験を通じて、視能訓練士に必要な専門知識・技能と、チーム医療における視能訓練士の役割と責任を理解する。患者に対する共感的態度、医療従事者および社会人として必要なコミュニケーション能力を身につける。学内での講義や実習、演習で習得した知識や技術を臨床現場で統合し、眼疾患、斜視・弱視など様々な視能障害をもつ患者の病態評価、訓練計画やリハビリテーション指導の立案に関わる実践的知識、検査技術と評価技能、これに必要な専門知識を向上させることを目的とする。

到達目標: (SBOs)

- 1) 実習生としての心構えを理解し、実践できる。
- 2) 社会人としての基本行動(挨拶、礼儀、整容、行動)が実践できる。
- 3) 視能訓練士の役割とチーム医療の一員としての責任を理解することができる。
- 4) 医療従事者としての守秘義務(個人情報保護など)の遂行ができる。
- 5) 医療従事者との良好なコミュニケーションを構築できる。
- 6) 患者接遇の基本用語を使用し、心のこもった対応ができる。
- 7) 患者様に分かりやすい検査説明ができる。
- 8) 検査機器を正しく扱うことができる。
- 9) 臨床症状から考えられる疾患と必要な検査を挙げることができる。
- 10) 視力、屈折検査とその評価を行うことができる。
- 11) 眼圧検査とその評価を行うことができる。
- 12) 視野検査とその評価を行うことができる。
- 13) 斜視検査(眼位、眼球運動、両眼視機能検査)とその評価を行うことができる。
- 14) 視能検査結果の評価や問題点抽出ができる。
- 15) 実習記録は専門用語を用い、指導内容や課題内容を記すことができる。

評価方法: 評価は臨床実習60%(実習指導者からの評価)、学内実習評価40%(事前事後指導期間中の提出物、小テスト、臨床実習報告会)で行う。臨床実習中において、無断で欠席、遅刻をした場合は大学側の判断により実習を中止する。

準備学習・履修上の注意等: 臨床実習の実習期間は約7週間である。
臨床実習期間中は実習ノートを作成し指導者へ提出すること。
臨床実習の事前指導および事後指導は臨床実習と別途行う。

オフィスアワー: 講義・会議時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1~79	1)~15)	臨床実習	実習	全員

教科書: ケーススタディで学ぶ 患者接遇パーフェクト・レッスン 患者対応マナーのランクアップ教本・決定版(小山美智子)【ISBN978-4-87058-461-7】
OCT便利手帳(白神史雄)メジカルビュー【ISBN978-4-7583-1096-3】

参考書: 眼科検査ガイド第2版(眼科診療プラクティス編集委員) 文光堂【978-4-8306-5547-0】
眼科検査法ハンドブック 第4版(小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美都子 編) 医学書院【978-4-260-13780-5】
視能学第2版(丸尾敏夫) 文光堂【978-4-8306-5539-5】

科目名: **臨地実習Ⅱ**

担当者: 齋藤 真之介(保・視)、沼田 公子(保・視)、塚田 貴大(保・視)、田村 省吾(保・視)、内田 憲之(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 7 時間数: 315 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 臨地実習Ⅰおよび学内での講義や実習、演習で修得した知識や技術、コミュニケーション能力を臨床現場で統合し、視能訓練士や医師、看護師などの医療従事者との関わりの中で、検査技術および評価技能を向上させる。さらに患者やその家族、医療従事者に信頼され、かつ必要とされる視能訓練士として業務を遂行できるように自己を向上させる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 実習生としての心構えを理解し、実践できる。
 - 2) 社会人としての基本行動(挨拶、礼儀、整容、行動)が実践できる。
 - 3) 視能訓練士の役割とチーム医療の一員としての責任を理解することができる。
 - 4) 医療従事者としての守秘義務(個人情報保護など)の遂行ができる。
 - 5) 医療従事者との良好なコミュニケーションを構築できる。
 - 6) 患者接遇の基本用語を使用し、心のこもった対応ができる。
 - 7) 患者様に分かりやすい検査説明ができる。
 - 8) 検査機器を正しく扱うことができる。
 - 9) 臨床症状から考えられる疾患と必要な検査を挙げることができる。
 - 10) 視力、屈折検査とその評価を行うことができる。
 - 11) 眼圧検査とその評価を行うことができる。
 - 12) 視野検査とその評価を行うことができる。
 - 13) 斜視検査(眼位、眼球運動、両眼視機能検査)とその評価を行うことができる。
 - 14) 視能検査結果の評価や問題点抽出ができる。
 - 15) 実習記録は専門用語を用い、指導内容や課題内容を記すことができる。
 - 16) 臨床実習で習得した態度、知識、技術を臨床実習報告会で発表することができる。

評価方法: 評価は臨床実習60%(実習指導者からの評価)、学内実習評価40%(事前事後指導期間中の提出物、小テスト、臨床実習報告会)で行う。臨床実習中において、無断で欠席、遅刻をした場合は大学側の判断により実習を中止する。

準備学習・履修上の注意等: 臨床実習の実習期間は約7週間である。
臨床実習期間中は実習ノートを作成し指導者へ提出すること。
臨床実習の事前指導および事後指導は臨床実習と別途行う。

オフィスアワー: 講義・会議時間以外の在室中

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1~79	1)~16)	臨床実習	実習	全員

教科書: 使用しない

参考書: ケーススタディで学ぶ 患者接遇パーフェクト・レッスン 患者対応マナーのランクアップ教本・決定版(小山美智子)【ISBN978-4-87058-461-7】
OCT便利手帳(白神史雄)メジカルビュー【ISBN978-4-7583-1096-3】
眼科検査ガイド第2版(眼科診療プラクティス編集委員)文光堂【978-4-8306-5547-0】
眼科検査法ハンドブック 第4版(小口芳久、澤充、大月洋、湯澤美都子 編)医学書院【978-4-260-13780-5】
視能学第2版(丸尾敏夫)文光堂【978-4-8306-5539-5】

科目名: **基礎ゼミ I**

担当者: 岡野真弓(保・視) 斎藤 真之介(保・視) 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 視能訓練士に求められるコミュニケーション能力の1つとして、「情報を適切に収集、理解し、相手にわかりやすく提供する力」があります。本科目ではe-learningを活用して、文章を正しく理解し、理解したことを第三者に説明する力を身につけます。

視能訓練士業務のうち、眼鏡、コンタクトレンズの調整や視能検査結果の評価において、基礎的な計算力、中学および高校数学の基本理解が求められます。
本科目ではe-learningを活用して、視能学を学ぶ上で基礎となる知識、特に数学に関する基本的知識を習得します。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 事実と意見を区別できる。
 - 2) 事実と意見をわかりやすく、正確に伝えることができる。
 - 3) 文章の要点を捉えることができる。
 - 4) 数学の基本ルールを理解し、基礎的な計算ができる。
 - 5) 指数・対数の基本概念を理解する。
 - 6) 三角関数の基本概念を理解する。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、学習教材の取組状況)の評価を60%、学期末の単位認定試験を40%として、総合的に評価する。

準備学習・履修上の 特になし
注意等:

オフィスアワー: 各教員の指定時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~5)	基礎ゼミⅡ:この科目を学習する目的を知ろう。	演習	鬼塚
2	1)~5)	論理的な文章作成の概念を知ろう。	演習	鬼塚
3	1)~5)	読解力を磨こう(1)	演習	鬼塚
4	1)~5)	読解力を磨こう(2)	演習	鬼塚
5	1)~5)	読解力を磨こう(3)	演習	鬼塚
6	1)~5)	読解力を磨こう(4)	演習	鬼塚
7	1)~5)	読解力を磨こう(5)	演習	鬼塚
8	1)~5)	文章の中から必要な項目を抽出しよう①	演習	鬼塚
9	1)~5)	文章の中から必要な項目を抽出しよう②	演習	鬼塚
10	1)~5)	文章の中から必要な項目を抽出しよう③	演習	鬼塚
11	6)~8)	数学の基礎計算①	演習	鬼塚
12	6)~8)	数学の基礎計算②	演習	鬼塚
13	6)~8)	数学の基礎計算③	演習	鬼塚
14	6)~8)	数学の基礎計算④	演習	鬼塚
15	6)~8)	数学の基礎計算⑤	演習	鬼塚
16	6)~8)	文章問題①	演習	鬼塚
17	6)~8)	文章問題②	演習	鬼塚
18	6)~8)	グラフの読み取り①	演習	鬼塚
19	6)~8)	グラフの読み取り②	演習	鬼塚
20	6)~8)	統計を用いた証明法	演習	鬼塚
21	9)~10)	英語の基本的文型①	演習	鬼塚
22	9)~10)	英語の基本的文型②	演習	鬼塚
23	9)~10)	英語の基本的文型③	演習	鬼塚
24	9)~10)	英語論文読解の基礎①	演習	鬼塚
25	9)~10)	英語論文読解の基礎②	演習	鬼塚
26	9)~10)	英語論文読解の実践①	演習	鬼塚
27	9)~10)	英語論文読解の実践②	演習	鬼塚
28	9)~10)	英語論文読解の実践③	演習	鬼塚
29	9)~10)	英語論文読解の実践④	演習	鬼塚
30	9)~10)	基礎ゼミⅢに向けた新たな目標を立てよう。	演習	鬼塚

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **基礎ゼミⅡ**

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(1年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 視能訓練士としての専門性を身につけるための基盤となる基礎的な科学力を身につけるためには、幾何光学、物理光学の基礎および眼球光学系の基本知識が求められる。そのため、これらを習得するためには数学の基本計算および基礎的な数式の理解が必要である。また、視能訓練士として必要な科学的思考力を養うためには、文章の構成を理解し要点を挙げることが求められる。そのためには文章および図表の内容を理解し、論理的に要点を挙げる力を身に付けることが必要である。本講義では、上記能力を身につける第1歩として、視能訓練士として必要な中学および高校の数学および国語の復習から始め、視能訓練士として必要な読解力、分析力、研究力の基盤となる知識を修得する。なお、対話型個別学習支援教材を並行して利用する。

到達目標: (SBOs)
1) 数学の基礎計算が確実にできる。
2) データの中から必要な情報を選択し分析に利用できる。
3) 文章のポイントを論理的に説明できる。
4) 図表の内容を照合させながら文章を読むことができる。
5) 事実と意見を識別できる。

評価方法: 学習への取り組み姿勢(授業態度、対話型個別学習支援教材の取組状況、ホームワークの提出状況等)の評価を20%、単位認定試験の成績を80%として総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1コマ当たり1時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~2)	数学の基礎計算①	講義	鬼塚
2	1)~2)	数学の基礎計算②	講義	鬼塚
3	1)~2)	数学の基礎計算③	講義	鬼塚
4	1)~2)	数学の基礎計算④	講義	鬼塚
5	1)~2)	数学の基礎計算⑤	講義	鬼塚
6	1)~2)	数学の基礎計算⑥	講義	鬼塚
7	1)~2)	数学の基礎計算⑦	講義	鬼塚
8	1)~2)	数学の基礎計算⑧	講義	鬼塚
9	1)~2)	数学の基礎計算⑨	講義	鬼塚
10	1)~2)	グラフの読み取り①	講義	鬼塚
11	1)~2)	グラフの読み取り②	講義	鬼塚
12	1)~2)	グラフの読み取り③	講義	鬼塚
13	1)~2)	図形の分析①	講義	鬼塚
14	1)~2)	図形の分析②	講義	鬼塚
15	1)~2)	図形の分析③	講義	鬼塚
16	3)~5)	文章の構造を知る①	講義	鬼塚
17	3)~5)	文章の構造を知る②	講義	鬼塚
18	3)~5)	文章の構造を知る③	講義	鬼塚
19	3)~5)	文章の構造を知る④	講義	鬼塚
20	3)~5)	文章の構造を知る⑤	講義	鬼塚
21	3)~5)	文章の構造を知る⑥	講義	鬼塚
22	3)~5)	文章の構造を知る⑦	講義	鬼塚

23	3)～5)	文章の構造を知る⑧	講義	鬼塚
24	3)～5)	読解力を磨く①	講義	鬼塚
25	3)～5)	読解力を磨く②	講義	鬼塚
26	3)～5)	読解力を磨く③	講義	鬼塚
27	3)～5)	読解力を磨く④	講義	鬼塚
28	3)～5)	読解力を磨く⑤	講義	鬼塚
29	3)～5)	読解力を磨く⑥	講義	鬼塚
30	3)～5)	読解力を磨く⑦	講義	鬼塚

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 専門ゼミⅠ

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅠは、卒業研究の第1段階であり、専門ゼミⅡの準備を行う。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
15	1)	実習報告会参加	演習	川野

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅠ

担当者: 齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅠは、卒業研究の第1段階であり、専門ゼミⅡの準備を行う。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
15	1)	実習報告会参加	演習	齋藤

教科書: 論文・レポートの基本 石黒 圭 日本実業出版社【ISBN978-4-534-04927-8】

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅠ

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 前期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅠは、卒業研究の第1段階であり、専門ゼミⅡの準備を行う。

到達目標: 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
(SBOs) 2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
15	1)	実習報告会参加	演習	鬼塚

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミ I

担当者: 塚田 貴大(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミ I は、卒業研究の第1段階であり、専門ゼミ II の準備を行う。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 在室時はいつでも

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
15	1)	実習報告会参加	演習	塚田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **専門ゼミ I**

担当者: 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミ I は、卒業研究の第1段階であり、専門ゼミ II の準備を行う。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 平日金曜日16:30~18:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
15	1)	実習報告会参加	演習	田村

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミ I

担当者: 内田 憲之(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミ I は、卒業研究の第1段階であり、専門ゼミ II の準備を行う。

到達目標: 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
(SBOs) 2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
15	1)	実習報告会参加	演習	内田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミ I

担当者: 吉武 重徳

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミ I は、卒業研究の第1段階であり、専門ゼミ II の準備を行う。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につける。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである

オフィスアワー: 金曜日 10:30~12:30 研究室 B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅡ

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中間段階であり、専門ゼミⅢで卒業論文が完成できるように、準備を行う。

到達目標: (SBOs)
1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	川野

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅡ

担当者: 齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中間段階であり、専門ゼミⅢで卒業論文が完成できるように、準備を行う。

到達目標: (SBOs)
1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	齋藤

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅡ

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中間段階であり、専門ゼミⅢで卒業論文が完成できるように、準備を行う。

到達目標: (SBOs)
1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅡ

担当者: 塚田 貴大(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中間段階であり、専門ゼミⅢで卒業論文が完成できるように、準備を行う。

到達目標: (SBOs)
1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 在室時はいつでも

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	塚田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅡ

担当者: 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中間段階であり、専門ゼミⅢで卒業論文が完成できるように、準備を行う。

到達目標: (SBOs)
1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 平日金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	田村

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅡ

担当者: 内田 憲之(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中間段階であり、専門ゼミⅢで卒業論文が完成できるように、準備を行う。

到達目標: (SBOs)
1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	内田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅡ

担当者: 吉武 重徳

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中途段階であり、最終目標である専門ゼミⅢの準備を行う。

到達目標: 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につける。
(SBOs) 2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 金曜日 10:30~12:30 研究室 B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	吉武
15	1)	実習報告会参加	演習	吉武

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅢ

担当者: 川野 純一(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅢでは、卒業論文を完成させる。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。
6)科学論文として体裁の整った卒業論文を書くことができる。

評価方法: ゼミの出席と提出された卒業論文で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
2	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
3	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
4	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
5	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
6	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
7	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
8	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
9	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
10	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
11	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
12	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
13	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
14	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野
15	1)-6)	ゼミ活動	演習	川野

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅢ

担当者: 鬼塚 信(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 専門ゼミⅢは、卒業研究の最終段階であり、卒業論文が完成を最終目標とする。ゼミ活動により自主的に研究テーマを見出し、それを解決するための方法、結果取得、解析、考察、論文作成が可能となり、また、共同で研究テーマについて探究できることを目標とする。

到達目標: (SBOs)
1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。
6)科学論文(卒業論文)を完成する。

評価方法: 卒業論文

準備学習・履修上の注意等: ゼミの出席と卒業論文で判定する。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
2	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
3	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
4	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
5	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
6	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
7	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
8	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
9	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
10	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
11	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
12	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
13	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
14	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚
15	1)-5)	ゼミ活動	演習	鬼塚

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅢ

担当者: 田村 省悟(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅢでは、卒業論文を完成させる。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。
6)科学論文として体裁の整った卒業論文を書くことができる。

評価方法: ゼミの出席と提出された卒業論文で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 平日金曜日14:55~16:25

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
2	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
3	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
4	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
5	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
6	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
7	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
8	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
9	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
10	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
11	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
12	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
13	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
14	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村
15	1)-6)	ゼミ活動	演習	田村

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅢ

担当者: 内田 憲之(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅢでは、卒業論文を完成させる。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。
6)科学論文として体裁の整った卒業論文を書くことができる。

評価方法: ゼミの出席と提出された卒業論文で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
2	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
3	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
4	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
5	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
6	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
7	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
8	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
9	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
10	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
11	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
12	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
13	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
14	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田
15	1)-6)	ゼミ活動	演習	内田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: **専門ゼミⅢ**

担当者: 塚田 貴大(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅢでは、卒業論文を完成させる。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。
6)科学論文として体裁の整った卒業論文を書くことができる。

評価方法: ゼミの出席と提出された卒業論文で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 在室時はいつでも

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
2	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
3	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
4	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
5	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
6	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
7	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
8	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
9	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
10	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
11	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
12	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
13	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
14	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田
15	1)-6)	ゼミ活動	演習	塚田

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅢ

担当者: 齋藤 真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅢでは、卒業論文を完成させる。

到達目標: (SBOs) 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につけている。
2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。
6)科学論文として体裁の整った卒業論文を書くことができる。

評価方法: ゼミの出席と提出された卒業論文で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
2	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
3	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
4	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
5	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
6	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
7	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
8	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
9	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
10	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
11	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
12	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
13	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
14	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤
15	1)-6)	ゼミ活動	演習	齋藤

教科書: 使用しない

参考書: 使用しない

科目名: 専門ゼミⅢ

担当者: 吉武重徳

配当学科: 4年

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: ゼミ活動により自主的にかつ共同して学ぶ喜びを体験し、視能訓練士としての科学的思考力と態度を身につけることを目標とする。専門ゼミⅡは、卒業研究の中途段階であり、最終目標である専門ゼミⅢの準備を行う。

到達目標: 1)視能訓練士として必要な科学的思考力と態度を身につける。
(SBOs) 2)自主的にかつ共同して学ぶことができる。
3)得られた事実について科学的、論理的にまとめることができる。
4)必要な文献を見つける方法について説明できる。
5)文献を読んで要約ができる。

評価方法: ゼミの出席と提出課題で判定する。

準備学習・履修上の注意等: 授業以外に30時間以上の学習が求められる。
表の1回の授業は2コマである。

オフィスアワー: 金曜日 10:30~12:30 研究室 B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1~5	ゼミ	演習	吉武
2	1~5	ゼミ	演習	吉武
3	1~5	ゼミ	演習	吉武
4	1~5	ゼミ	演習	吉武
5	1~5	ゼミ	演習	吉武
6	1~5	ゼミ	演習	吉武
7	1~5	ゼミ	演習	吉武
8	1~5	ゼミ	演習	吉武
9	1~5	ゼミ	演習	吉武
10	1~5	ゼミ	演習	吉武
11	1~5	ゼミ	演習	吉武
12	1~5	ゼミ	演習	吉武
13	1~5	ゼミ	演習	吉武
14	1~5	ゼミ	演習	吉武
15	1~5	ゼミ	演習	吉武

教科書: 指定なし。

参考書: 指定なし。

科目名: 視能学総合演習 I

担当者: 鬼塚 信(保・視)、川野純一(保・視)、沼田公子(保・視)、吉武 重徳(保・視)、田村省悟(保・視)、内田憲之(保・視)、塚田貴大(保・視)、齋藤真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 眼疾患や斜視・弱視の診断・治療につながる有用かつ正確な病態評価が行えるようになるために、1~2年次に学習した医学の基礎知識から視能の専門知識までを補完、統合し、臨床との関連性を考察していくことで、眼科臨床に役立つ実践的な知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 人体を構成する各臓器の構造と機能を説明できる。
 - 2) 視覚のメカニズムについて説明できる。
 - 3) 眼光学の基礎、屈折異常とその評価、屈折矯正について説明できる。
 - 4) 視機能を支えている様々な視覚原理を説明できる。
 - 5) 眼科で使用する薬物の作用、副作用、禁忌について説明できる。
 - 6) 眼科検査の原理、方法、評価について説明できる。
 - 7) 眼疾患の病態生理とその病態を評価するために必要な検査について説明できる。
 - 8) 弱視各型、斜視各型の定義、原因、臨床所見、訓練・治療について説明できる。
 - 9) 視能訓練の適応、原理、方法について説明できる。
 - 10) 斜視手術の適応、原理、方法について説明できる。
 - 11) 視能リハビリテーションの概要、視覚障害に対する補助具の適応、種類、特徴について説明できる。
 - 12) 視能訓練士として必要な関係法規や医療知識について説明できる。
 - 13) 斜視の鑑別に必要な小児における眼と身体の発達について説明できる。

評価方法: 期末に行う単位認定試験で行う。

準備学習・履修上の注意等: 教科書を使用し、検査学・屈折学・訓練学・眼疾患など総合的な復習を毎日2時間程度行うこと。

オフィスアワー: 各担当教員のオフィスアワーに準ずる。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~13)	視能訓練士として知っておくべき知識を知る。①	演習	内田
2	1)~13)	視能訓練士として知っておくべき知識を知る。②	演習	内田
3	1)~	総合演習①(基礎医学/眼の解剖と整理/外眼筋両眼視/光学の基礎)	演習	内田
4	4)12)13)	基礎医学大要(人体の機能と構造)	演習	川野
5	1)	基礎医学大要(心身の発達/疾病と障害)	演習	鬼塚
6	7)12)13)	基礎医学大要(視能訓練士法・保健医療福祉・安全管理/医療面接)	演習	吉武
7	12)	眼の解剖生理	演習	川野
8	2)	外眼筋の作用/眼球運動	演習	田村
9	1)	輻湊と開散/ AC/A比/両眼視	演習	田村
10	2)4)	光学の基礎(幾何光学/眼球光学/プリズム)	演習	内田
11	3)	総合演習②(屈折調節検査/視覚生理/視野異常検査/眼科検査)	演習	齋藤
12	3)4)6)7)	屈折調節検査/角膜形状解析	演習	内田
13	3)	視覚生理(形態覚・色覚・光覚)	演習	田村
14	4)	視野異常	演習	田村
15	6)7)	眼科一般検査/電気生理	演習	齋藤
16	6)7)	総合演習③(屈折矯正/眼科薬理/視能障害/斜視各型)	演習	塚田
17	3)5)7)8)	屈折矯正	演習	内田
18	3)	眼科薬理	演習	田村
19	5)	視能障害	演習	塚田
20	7)	眼球運動障害を伴わない斜視	演習	田村
21	8)	総合演習④(弱視各型検査/眼球運動障害/斜視検査(眼/斜視検査(両))	演習	田村
22	8)9)	弱視各型検査	演習	田村
23	8)9)	眼球運動障害を伴わない斜視	演習	塚田
24	8)9)	斜視検査(眼)	演習	田村
25	8)9)	斜視検査(両)	演習	田村
26	8)9)	総合演習⑤(神経眼科/ロービジョン/視能訓練/斜視治療)	演習	内田
27	6)~12)	神経眼科	演習	塚田
28	7)	ロービジョン	演習	塚田
29	10)11)12)	視能訓練	演習	塚田
30	8)9)	斜視治療(斜視の光学的治療・斜視手術)	演習	沼田
	8)10)			

教科書: 視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】
 標準眼科学 第12版(大野 重昭 他) 医学書院【978-4-260-01651-3】
 屈折異常とその矯正 第6版(所 敬) 金原出版【978-4-307-35159-1】
 理解を深めよう 視力検査 屈折検査(所 敬 監修) 金原出版【978-4-307-35132-4】
 理解を深めよう 視野検査(松本 長太 監修) 金原出版【978-4-307-35133-1】

参考書: 視能学エキスパート視能検査学(医学書院)【978-4-260-03258-2】、視能訓練学(医学書院)【978-4-260-03223-

科目名: **視能学総合演習**

担当者: 鬼塚 信(保・視)、川野純一(保・視)、沼田公子(保・視)、吉武 重徳(保・視)、田村省悟(保・視)、内田憲之(保・視)、塚田貴大(保・視)、齋藤真之介(保・視)

配当学科: 視機能療法学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 120 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 眼疾患や斜視・弱視の診断・治療につながる有用かつ正確な病態評価が行えるようになるために、1～3年次に学習した医学の基礎知識から視能の専門知識までを補完、統合し、臨床との関連性を考察していくことで、眼科臨床に役立つ実践的な知識を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 人体を構成する各臓器の構造と機能を説明できる。
 - 2) 視覚のメカニズムについて説明できる。
 - 3) 眼光学の基礎、屈折異常とその評価、屈折矯正について説明できる。
 - 4) 眼科で使用する薬物の作用、副作用、禁忌について説明できる。
 - 5) 眼科検査の原理、方法、評価について説明できる。
 - 6) 眼疾患の病態生理とその病態を評価するために必要な検査について説明できる。
 - 7) 弱視各型、斜視各型の定義、原因、臨床所見、訓練・治療について説明できる。
 - 8) 視能訓練の適応、原理、方法について説明できる。
 - 9) 斜視手術の適応、原理、方法について説明できる。
 - 10) 視能リハビリテーションの概要、視覚障害に対する補助具の適応、種類、特徴について説明できる。
 - 11) 視能訓練士として必要な関係法規について説明できる。
 - 12) 斜視の鑑別に必要な小児における眼と身体の発達について説明できる。

評価方法: 単位認定試験で評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 1～3年次で使用した教科書、配布資料等に目を通したうえで講義・演習に臨むこと。
講義後、必ず復習し、不明な点や曖昧な点は、その都度、解決すること。
予習復習には、60時間以上が求められる。

オフィスアワー: 後日連絡

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
		1)2)		
1	1)2)	眼の解剖と生理	演習	川野
2	1)	眼の解剖と生理	演習	川野
3	11)12)	人体の構造と機能、免疫と遺伝、病気のメカニズム	演習	鬼塚
4	2)	視能訓練士法・心身の発達・医療安全対策	演習	吉武
5	2)	外眼筋の作用と眼球運動	演習	吉武
6	2)	外眼筋の作用と眼球運動	演習	田村
7	2)	両眼視機能	演習	田村
8	7)	両眼視機能	演習	田村
9	7)	弱視各型、弱視検査	演習	田村
10	7)	弱視各型、弱視検査	演習	田村
11	7)	斜視各型①	演習	田村
12	7)	斜視各型②	演習	田村
13	7)	斜視各型③	演習	田村
14	7)	斜視各型④	演習	田村
15	7)	斜視各型⑤	演習	田村
16	5)	斜視各型⑥	演習	田村
17	5)	斜視検査①	演習	田村
18	5)	斜視検査②	演習	田村
19	5)	斜視検査③	演習	田村
20	8)	斜視検査④	演習	田村
21	8)	視能訓練①	演習	田村
22	8)	視能訓練②	演習	沼田
23	8)	視能訓練③	演習	沼田
24	8)	視能訓練④	演習	沼田
25	8)	視能訓練⑤	演習	沼田
26	9)	視能訓練⑥	演習	沼田
27	9)	斜視手術①	演習	沼田
28	6)	斜視手術②	演習	沼田
29	6)	視能障害学 眼疾病①	演習	沼田
30	6)	視能障害学 眼疾病②	演習	沼田
31	6)	視能障害学 眼疾病③	演習	塚田
32	6)	視能障害学 眼疾病④	演習	塚田
33	6)	視能障害学 眼疾病⑤	演習	塚田
34	6)	視能障害学 眼疾病⑥	演習	塚田
35	6)	視能障害学 神経眼科①	演習	塚田
36	6)	視能障害学 神経眼科②	演習	塚田
37	6)	視能障害学 神経眼科③	演習	塚田

38	6)	視能障害学	神経眼科④	演習	塚田
39	6)	視能障害学	神経眼科⑤	演習	塚田
40	5)	視能障害学	神経眼科⑥	演習	塚田
41	5)	眼科検査学	(電気生理学含む)①	演習	塚田
42	5)	眼科検査学	(電気生理学含む)②	演習	齋藤
43	5)	眼科検査学	(電気生理学含む)③	演習	齋藤
44	3)	眼科検査学	(電気生理学含む)④	演習	齋藤
45	3)	生理光学	光学の基礎①	演習	齋藤
46	3)	生理光学	光学の基礎②	演習	内田
47	3)	生理光学	屈折検査①	演習	内田
48	3)	生理光学	屈折検査②	演習	内田
49	3)	生理光学	眼鏡とコンタクトレンズ①	演習	内田
50	2)5)	生理光学	眼鏡とコンタクトレンズ②	演習	内田
51	2)5)	視覚生理学	形態覚①	演習	田村
52	2)5)	視覚生理学	形態覚②	演習	田村
53	2)5)	視覚生理学	視野(視野検査を含む)①	演習	田村
54	2)5)	視覚生理学	視野(視野検査を含む)②	演習	田村
55	2)5)	視覚生理学	色覚とその評価①	演習	田村
56	4)	視覚生理学	色覚とその評価②	演習	田村
57	4)	眼科薬理学	①	演習	田村
58	10)	眼科薬理学	②	演習	田村
59	10)	ロービジョン	①	演習	齋藤
60		ロービジョン	②	演習	齋藤

教科書: 視能学 第2版(丸尾敏夫・久保田伸枝・深井小久子 編) 文光堂【978-4-8306-5539-5】
標準眼科学 第12版(大野 重昭 他) 医学書院【978-4-260-01651-3】
屈折異常とその矯正 第6版(所 敬) 金原出版【978-4-307-35159-1】
理解を深めよう 視力検査 屈折検査(所 敬 監修) 金原出版【978-4-307-35132-4】
理解を深めよう 視野検査(松本 長太 監修) 金原出版【978-4-307-35133-1】

参考書: 視能訓練士セルフアセスメント 第6版(丸尾敏夫・久保田伸枝 編) 文光堂【978-4-8306-5541-8】

科目名: **病理学演習**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 病理学演習では病理学で学んだ疾病に関する知識を充実させるために、臨床工学技士国家試験及び統一模擬試験の問題を各自が主体的に解いていく。その場合、臨床医学分野の臓器別に特徴的な疾患と関連付けて知識を深める。

到達目標: (SBOs) 1)細胞障害とその修復を説明できる。
2)代謝障害の種類と特徴を説明できる。
3)循環障害の種類と特徴を説明できる。
4)炎症の種類と特徴を説明できる。
5)腫瘍の種類と特徴を説明できる。
6)感染症の種類と特徴を説明できる。
7)免疫異常の種類と特徴を説明できる。
8)先天異常の種類と特徴を説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回問題プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	細胞傷害、変性、萎縮、壊死、アポトーシスに関する問題	講義	近藤
2	1)	肥大、過形成、再生、化生、器質化に関する問題	講義	近藤
3	1)	創傷治癒、異物処理に関する問題	講義	近藤
4	2)	タンパク質代謝障害、糖質代謝障害に関する問題	講義	近藤
5	2)	脂質代謝障害、無機物代謝障害、色素代謝障害に関する問題	講義	近藤
6	3)	充血、うっ血、虚血、貧血、チアノーゼに関する問題	講義	近藤
7	3)	出血、血液凝固、線維素溶解、血栓症、塞栓症、梗塞に関する問題	講義	近藤
8	3)	浮腫、ショック、側副循環に関する問題	講義	近藤
9	4)	炎症の徴候、炎症の基本的な過程、炎症細胞に関する問題	講義	近藤
10	4)	炎症の経過・形態による分類に関する問題	講義	近藤
11	5)	腫瘍の分類・形態学的特徴・転移に関する問題	講義	近藤
12	5)	腫瘍の悪性度と分化度・異型度との関係、悪性腫瘍の病期に関する問題	講義	近藤
13	6)	感染症成立の要素に関する問題	講義	近藤
14	7)	免疫担当細胞、液性・細胞性免疫、アレルギー、自己免疫疾患に関する問題	講義	近藤
15	8)	奇形発生の形式、奇形の分類、染色体異常に関する問題	講義	近藤

教科書: わかりやすい病理学改訂第6版 (岩田隆子)南江堂 【4-524-26569-5】

参考書: 使用しません。

科目名: **解剖学演習**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 人体の正常な基本構造を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。解剖学演習では、正常な人体の構造と機能を理解するために、人体を構成する細胞・組織・器官の肉眼解剖および顕微解剖レベルでの構造と機能に関する基本的知識を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 消化管及び肝臓・膵臓の構造と機能について説明できる。
- 2) 腎臓と尿路の構造と機能について説明できる。
- 3) 内分泌系器官の構造と機能について説明できる。
- 4) 生殖器の構造と機能について説明できる。
- 5) 受精と胎児の発生について説明できる。
- 6) 感覚器の構造と機能について説明できる。
- 7) 中枢神経系の区分と機能について説明できる。
- 8) 末梢神経系の分類と機能について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	消化器系1: 口腔・咽頭・食道・胃の構造と機能を理解する。	講義	近藤
2	1)	消化器系2: 小腸・大腸の構造と機能、腹膜の区分を理解する。	講義	近藤
3	1)	消化器系3: 肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能を理解する。	講義	近藤
4	1)	消化器系4: 消化管の運動、栄養素の消化と吸収を理解する。	講義	近藤
5	2)	泌尿器系1: 腎臓の構造と機能を理解する。	講義	近藤
6	2)	泌尿器系2: 尿路の構造、尿の貯蔵と排尿の機序を理解する。	実習	近藤
7	3)	内分泌系: 内分泌系器官の構造とホルモンの種類・機能を理解する。	講義	近藤
8	4)	生殖器系1: 男性生殖器の構造と機能を理解する。	講義	近藤
9	4)	生殖器系2: 女性生殖器の構造と機能を理解する。	講義	近藤
10	4)5)	胎児の発生、妊娠と分娩、胎盤の構造と胎児の循環を理解する。	講義	近藤
11	6)	感覚器系1: 眼の構造と機能を理解する。	講義	近藤
12	6)	感覚器系2: 耳、皮膚の構造と機能を理解する。	講義	近藤
13	7)	神経系1: 脳の区分を理解する。	講義	近藤
14	7)8)	神経系2: 脊髄の構造と機能、脊髄神経の分布・機能を理解する。	講義	近藤
15	8)	神経系3: 脳神経と自律神経の種類と機能を理解する。	講義	近藤

教科書: 入門人体解剖学(藤田 恒夫) 南江堂【4-524-21557-7】

参考書: 使用しません。

科目名: **生理学演習**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 人体の正常な機能を知ることが医学の根本をなし、病理・病態を理解するために不可欠である。生理学演習では、人体の正常な機能を調節するホメオスタシス(恒常性)機構に関する基本的知識を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)血液と血液細胞の役割について説明できる。
2)呼吸機能について説明できる。
3)腎機能と酸塩基平衡について説明できる。
4)消化器系の機能(消化・吸収)について説明できる。
5)内分泌の機構とおもなホルモンの働きについて説明できる。
6)生殖とそれにかかわる性ホルモンの働きについて説明できる。
7)体温調節について説明できる。
8)神経系(中枢神経系、末梢神経系)の役割について説明できる。
9)感覚器の構造と機能について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	血液の役割(1)白血球と生体の防御機構を理解する。	講義	近藤
2	1)	血液の役割(2)止血の機序と線維素溶解を理解する。	講義	近藤
3	2)	呼吸機能(1)呼吸器の構造と呼吸運動を理解する。	講義	近藤
4	2)	呼吸機能(2)呼吸の調節と呼吸気量を理解する。	講義	近藤
5	2)	呼吸機能(3)ガスの交換と運搬、酸素解離曲線を理解する。	講義	近藤
6	3)	腎機能と酸塩基平衡(1)腎臓の構造と尿の生成を理解する。	講義	近藤
7	3)	腎機能と酸塩基平衡(2)細胞外液の調節と酸塩基平衡を理解する。	講義	近藤
8	4)	消化と吸収(1)消化管の構造と機能を理解する。	講義	近藤
9	4)	消化と吸収(2)肝臓、胆嚢、膵臓の構造と機能を理解する。	講義	近藤
10	5)	内分泌(1)内分泌系の一般性状、おもなホルモンの作用①(視床下部、下垂体、松果体)を理解する。	講義	近藤
11	5)	内分泌(2)おもなホルモンの作用②(甲状腺、副甲状腺、副腎、膵臓)を理解する。	講義	近藤
12	6)7)	内分泌(3)生殖と性ホルモン、体温調節を理解する。	講義	近藤
13	8)	神経系の構造と機能(1)中枢神経系の構造と機能を理解する。	講義	近藤
14	8)	神経系の構造と機能(2)末梢神経系の構造と機能を理解する。	講義	近藤
15	9)	感覚器の構造と機能の構造と機能を理解する。	講義	近藤

教科書: エッセンシャル解剖・生理学(堀川 宗之) 秀潤堂【4-7809-0804-6】

参考書: 使用しません。

科目名: **生化学**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 医学における生命現象の基礎とその病態を理解するために生化学に関する基礎知識を身につけることは重要である。生化学では、病因の基礎となるビタミン・糖質・脂質・アミノ酸とタンパク質・核酸の代謝などに関する基本的知識を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)細胞の構造と機能について説明できる。
- 2)各種生体成分の構造と機能について説明できる。
- 3)糖質の代謝(分解、合成)を説明できる。
- 4)脂質の代謝(分解、合成)を説明できる。
- 5)タンパク質とアミノ酸の代謝(分解、合成)を説明できる。
- 6)核酸とヌクレオチドの代謝(分解、合成)を説明できる。
- 7)遺伝情報の翻訳と転写について説明できる。
- 8)エネルギー代謝について説明できる。

評価方法: 授業確認小テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況、授業態度)の評価を20%及び学期末の単位認定試験を80%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 教材として毎回プリントを配布するので、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。返却された確認テストを再び自分で解き、完全に内容を理解すること。授業中の態度が悪い場合や、遅刻・途中退出が多い場合は、成績に考慮する。

オフィスアワー: 金曜日、13:00~17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	タンパク質・脂質の基本的な構造と機能を理解する。	講義	近藤
2	1)	糖質の基本的な構造と機能を理解する。	講義	近藤
3	2)	無機塩類の種類と機能、ビタミンの種類を理解する。	講義	近藤
4	3)	ビタミンの生理作用と欠乏症を理解する。	講義	近藤
5	4)	糖質代謝(1) 多糖類(デンプン)の消化・吸収を理解する。	講義	近藤
6	4)	糖質代謝(2) 解糖系、クエン酸回路、電子伝達系を理解する。	講義	近藤
7	4)	糖質代謝(3) 糖新生、ペントースリン酸回路、グリコーゲンの合成と分解を理解する。	講義	近藤
8	5)	脂質代謝(1) 脂質の種類と機能、脂肪酸の基本構造と種類を理解する。	講義	近藤
9	5)	脂質代謝(2) 脂質の消化・吸収、脂肪酸の分解を理解する。	講義	近藤
10	5)	脂質代謝(3) ケトン体の生成と利用、脂肪酸の生合成、コレステロールの生合成と利用を理解する。	講義	近藤
11	5)	脂質代謝(4) リポタンパク質の基本構造と種類、リポタンパク質の機能を理解する。	講義	近藤
12	6)	タンパク質代謝(1) タンパク質の消化・吸収、アミノ酸の合成を理解する。	講義	近藤
13	6)	タンパク質代謝(2) アミノ酸の分解、尿素の生成を理解する。	講義	近藤
14	7)	ヌクレオチド代謝 ヌクレオチドの合成・分解、尿酸の生成を理解する。	講義	近藤
15	8)	糖質・脂質・タンパク質の代謝の関連性を理解する。	講義	近藤

教科書: 臨床生化学(三井 和浩) メディカ出版【4-8404-2176-8】

参考書: 使用しません。

科目名: **基礎医工学実習**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、真茅孝志(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 臨床工学技士業務では、生命維持管理装置に関連した患者生体情報の検出と評価は極めて重要な技量の1つであり、患者生体情報を精度良く正確に検出し、適切に対応する事が臨床工学技士の役割でもある。本実習では臨床で実際に使用されている生体計測装置を見学実習し、計測装置の原理および操作方法の概略を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 医療現場での見学実習を行う際のマナーを身につける。
 - 2) 見学実習での集団行動を実践できる(報告・連絡・相談)。
 - 3) 臨床で使用される医療機器の代表的な装置について概略を説明できる。
 - 4) 心電図・血圧・パルスオキシメータの操作ができる。
 - 5) 脈波アンプの製作実習を通じて工具の使用法を習得する。
 - 6) 製作した脈波アンプで各自の脈波を計測し、脈波の意義を把握する。

評価方法: 筆記試験、レポート課題、口頭試問、実習に臨む姿勢や積極性などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 毎回の授業の前後、週末などの休暇期間中を利用して90分以上の予習・復習を行うこと。
事前に工具類の使用に習熟するようトレーニングすること。
生体アンプを製作し、計測装置やセンサーを生体に装着して生体情報の表示・記録および計測と評価が行えること。
白衣等を着用し、身なりを清潔に保つこと。
連絡のない遅刻・欠席は認めない。

オフィスアワー: 毎週木曜日18:00~19:00 1号棟B340

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【生体計測装置学ガイダンス】 事前学習のポイントと病院見学での留意事項、計測装置の種類と特徴、レポートの書き方を理解する。	実習	戸畑・右田
2	1)2)	【病院見学実習Ⅰ】 病院で実際に使用されている医療機器や計測装置を見学し、装置の役割を説明できる。	実習	戸畑・右田・ 他担当教員
3	1)2)	【病院見学実習Ⅱ】 病院で実際に使用されている医療機器や計測装置を見学し、装置の役割を説明できる。	実習	戸畑・右田・ 他担当教員
4	1)2)	【病院見学実習Ⅲ】 病院で実際に使用されている医療機器や計測装置を見学し、装置の役割を説明できる。	実習	戸畑・右田・ 他担当教員
5	3)4)	【血圧測定実習】 観血的・非観血的血圧測定における聴診法、オシロメトリック法、容積脈波法、トノメトリック法の実際を理解し、測定手技ができる。	実習	戸畑・右田
6	3)4)	【心電図・心電図モニタ実習】 心電図モニタにおける標準12誘導、標準肢誘導、単極肢誘導、単極胸部誘導、不整脈解析、電解質異常の解析、モニタ装着の実際を理解し、測定手技ができる。	実習	戸畑・右田
7	3)4)	【呼吸計測装置実習】 スパイロメータ、カブノメータを用いて肺気量分画、呼気炭酸ガス分圧を測定し、肺機能疾患の評価の実際を理解し、測定手技ができる。	実習	戸畑・右田
8	3)4)	【血液酸素飽和度計測実習】 血中の酸素飽和度測定をパルスオキシメータを用いて計測し、呼吸障害の程度と酸素療法の効果の実際を理解し、手測定技ができる。	実習	戸畑・右田
9	3)4)	【熱画像計測実習】 サーモグラフィー装置を用いて生体から放射される熱エネルギーを温度分布として画像表示する熱画像計測装置の実際を理解し、測定手技ができる。	実習	戸畑・右田
10	3)4)	【生体アンプ製作実習Ⅰ】 電気・電子工作に必要な器具・工具の使用法を理解し、電気・電子回路の工作手技ができる。	実習	戸畑・右田
11	5)6)	【生体アンプ製作実習Ⅱ】	実習	戸畑・右田

電気・電子工作に必要な器具・工具の使用方法を理解し、電気・電子回路の工作手技ができる。

12	5)6)	【生体アンプ製作実習Ⅲ】 センサ、トランスデューサを用いた生体信号の増幅回路を製作し、生体アンプの原理と構成を理解し、電気・電子回路の工作手技ができる。	実習	戸畑・右田
13	5)6)	【生体アンプ製作実習Ⅳ】 センサ、トランスデューサを用いた生体信号の増幅回路を製作し、生体アンプの原理と構成を理解し、電気・電子回路の工作手技ができる。	実習	戸畑・右田
14	5)6)	【生体アンプ製作実習Ⅴ】 センサ、トランスデューサを用いた生体信号の増幅回路を製作し、生体アンプの原理と構成を理解し、電気・電子回路の工作手技ができる。	実習	戸畑・右田
15	5)6)	【生体アンプ製作実習Ⅵ】 センサ、トランスデューサを用いた生体信号の増幅回路を製作し、生体アンプの原理と構成を理解し、電気・電子回路の工作手技ができる。	実習	戸畑・右田

教科書： 臨床工学講座 生体計測装置学（編集 石原 謙）医歯薬出版 【4-263-73406-3】

参考書： 使用しない。

科目名: **臨床感染免疫学**

担当者: 池脇 信直(生・医)、砂子澤 裕(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 主な病原微生物についてその基本的な知識を習得する。また、生体防御機構としての免疫応答を理解すると共に、代表的な免疫疾患を学習する。さらに、消毒・滅菌法の原則と実際についても習得する。感染防御対策ができる臨床工学技士になるために、臨床感染免疫学の基礎的な概念を修得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 微生物の特徴および微生物によって発症する主な感染症と生体防御機構について説明できる。
 - 2) 免疫応答における抗原、抗体、補体、免疫担当細胞、抗原提示細胞について説明できる。
 - 3) 免疫応答における主要組織適合抗原、表面マーカー、接着分子、サイトカインについて説明できる。
 - 4) 移植の種類、拒絶反応の分類と機序、免疫抑制剤、血液型検査法、血液製剤について説明できる。
 - 5) 癌の免疫療法、腫瘍マーカーについて説明できる。
 - 6) アレルギー、自己免疫疾患、免疫不全について説明できる。
 - 7) 消毒剤による化学的処理法について説明できる。
 - 8) 高圧蒸気滅菌およびガス滅菌等による物理的処理法について説明できる。

評価方法: 毎回の授業終了後に行う小試験、レポートおよび学期末の単位認定試験で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業は主にプロジェクターで講義内容および説明図を提示し、そのポイントを解説する形で進める。また、臨床感染免疫学に関するミニデモンストレーションを取り入れて授業を進める。授業の内容に関して予習項目・内容を指示するので、それに従って予習してくる。毎回の授業後は、授業中に自分でとったノート、配付されたプリントを使って授業内容をレポートにまとめて復習すること。1回の授業につき4時間を目安に予習と復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週月曜～金曜日: 12:20～13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【臨床感染免疫学の概要】 微生物によって発症する主な感染症と生体防御機構(免疫応答)	講義	池脇
2	1)	【微生物の概要1】 細菌	講義	砂子澤
3	1)	【微生物の概要2】 ウイルス	講義	砂子澤
4	1)	【微生物の概要3】 真菌、リケッチア、クラミジア、原虫	講義	砂子澤
5	2)	【抗原・抗体と補体系】 抗原および抗体の性状と抗原抗体反応、補体系の構成因子と生物活性	講義	池脇
6	3)	【免疫担当細胞】 免疫担当細胞と抗原提示細胞の働き	講義	池脇
7	1)~3)	【細胞表面マーカーとサイトカイン】 細胞表面マーカー(細胞表面抗原)とサイトカインの働き	講義	池脇
8	3)	【感染と免疫】 細菌、ウイルス、真菌、リケッチア、クラミジア、原虫に対する感染防御機構	講義	池脇
9	3)4)	【移植と免疫】 主要組織適合抗原、拒絶反応の機序と免疫抑制剤	講義	池脇
10	4)	【輸血と免疫】 血液型と血液製剤	講義	池脇
11	5)	【腫瘍(癌)と免疫】 癌の免疫療法と腫瘍マーカー	講義	池脇
12	6)	【免疫疾患】 アレルギー、自己免疫疾患、先天性・後天性免疫不全	講義	池脇
13	7)	【消毒滅菌法の原則と実際1】 消毒剤による化学的処理法	講義・演習	砂子澤
14	8)	【消毒滅菌法の原則と実際2】 高圧蒸気滅菌、ガス滅菌等による物理的処理法	講義・演習	砂子澤

教科書: コンパクト微生物学(改訂第4版)(小熊 恵二・堀田 博)南江堂 【978-4-524-26537-4】

参考書: 資料(プリント)を配付します。

科目名: **臨床薬理学**

担当者: 渡辺 渡(保・臨工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 薬物治療の進歩は目覚しく、医療の現場において薬物が関与する状況は多岐にわたっている。そのため、医療従事者として薬物の作用について理解することは重要である。臨床薬理学では、臨床工学技士が理解しておくべき薬物の作用と生体への影響、ならびに臨床応用に関する知識を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 薬物がどのようにして生体に作用するのか説明できる
 - 2) 自律神経系作用薬について、作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 3) 中枢神経系作用薬について、作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 4) 循環器系作用薬について、作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 5) 血液系作用薬について、作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 6) 利尿薬について、作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 7) 呼吸器系薬物について、作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 8) 消化器系作用薬について、作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 9) 抗炎症薬について作用機序と臨床応用を説明できる。
 - 10) 抗病原微生物薬について、臨床応用を述べることができる。
 - 11) 抗悪性腫瘍薬について、作用機序と臨床応用を説明できる。

評価方法: 単位認定試験を100%として総括的評価を行う。講義への積極的な参加(発言など)があった場合には、内容に応じて10%以内の範囲で加点する。

準備学習・履修上の注意等: 臨床薬理学は、生理学と密接に関連を持っているため、本科目を独立したものと考えず、関連講義の内容も復習しておくこと。
積極的な講義への参加(発言など)を歓迎する。
また、アクティブラーニングの促進のために、基礎知識確認を目的としてクリッカーを用いる。
毎回の授業の前後、週末および長期休暇期間を使って、計27.5時間の予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 毎週金曜日17:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	薬はどのようにして効くのかについて説明できる。	講義	渡辺
2	1)	薬物の体内動態について説明できる。	講義	渡辺
3	1)	薬理作用に影響を与える要因について列挙できる。	講義	渡辺
4	2)	自律神経系に作用する薬物を列挙できる。	講義	渡辺
5	3)	中枢神経系に作用する薬物を列挙できる①。	講義	渡辺
6	3)	中枢神経系に作用する薬物を列挙できる②。	講義	渡辺
7	4)	心臓血管系に作用する薬物を列挙できる。	講義	渡辺
8	5)	血液系に作用する薬物を列挙できる。	講義	渡辺
9		薬物の作用と臨床適用について説明できる。	演習	渡辺
10	6)	利尿薬を列挙できる。	講義	渡辺
11	7)	呼吸器系に作用する薬物を列挙できる。	講義	渡辺
12	8)	消化器系に作用する薬物を列挙できる。	講義	渡辺
13	9)	抗炎症薬を列挙できる。	講義	渡辺
14	10)	抗病原微生物薬を列挙できる。	講義	渡辺
15	11)	抗悪性腫瘍薬を列挙できる。	講義	

教科書: シンプル薬理学 (野村隆英 石川直久 編) 南江堂 【978-4-524-26767-5】

参考書: 使用しない。

科目名: **医用電気工学 I**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 電気工学は臨床工学技士が学ぶ工学的知識の最も重要な部分である。したがってこの分野をしっかりと学習する必要がある、この分野を理解しなければ他の分野の理解が難しくなる。ここでは、電気工学の基礎部分である直流回路について学習し、回路解析の考え方を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)臨床工学技士として医用電気工学の必要性を説明できる。
2)電圧、電流、抵抗の関係を説明できる。
3)抵抗の直列接続と電圧の関係を説明できる。
4)抵抗の並列接続と電流の関係を説明できる。
5)分圧と分流の関係を説明できる。
6)直流回路における電圧と電流の関係を説明できる。
7)抵抗の特性を説明できる。
8)電力とは何かを説明できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業の内容を理解するためには、予習・復習が必須である。講義毎に60分以上の復習を中心とした学習をおこなうこと。

オフィスアワー: 火曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301|

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【オームの法則】 電圧、電流、抵抗の関係である”オームの法則”を理解し説明できる。	講義	戸畑
2	3)	【抵抗の直列接続】 抵抗の直列接続を理解し説明できる。	講義	戸畑
3	4)	【抵抗の並列接続】 抵抗の並列回路を理解し説明できる。	講義	戸畑
4	3)4)5)	【抵抗の直・並列接続】 抵抗の直列および並列回路の組み合わせを理解し説明できる。	講義	戸畑
5	3)4)5)	【スイッチのある回路】 抵抗の直・並列回路にスイッチを接続した場合の回路の動作について理解し説明できる。	講義	戸畑
6	3)5)	【電圧降下】 電源と抵抗による回路での電圧降下について理解し説明できる。	講義	戸畑
7	3)5)	【電池の接続】 電池の直列接続、並列接続と電池の内部抵抗について理解し説明できる。	講義	戸畑
8	3)4)5)	【電圧計と倍率器】 電圧計を用いた電圧測定方法を理解し説明できる。	講義	戸畑
9	3)4)5)	【電流計と分流器】 電圧計を用いた電圧測定方法を理解し説明できる。	講義	戸畑
10	3)4)5)6)	【キルヒホッフの法則】 直流回路における”キルヒホッフの第1、第2法則”を理解し説明できる。	講義	戸畑
11	3)4)5)6)	【重ねの理】 直流回路における”重ねの理”の方法について理解し説明できる。	講義	戸畑
12	3)4)5)6)	【テブナンの定理】 複雑な回路を解析する上で重要な”テブナンの定理”について理解し説明できる。	講義	戸畑
13	7)	【電線の抵抗】 電線の抵抗が電線の材質、直径、長さ、温度により変化することを理解し説明できる。	講義	戸畑
14	8)	【電力】 電気エネルギーである電力について理解し説明できる。	講義	戸畑

電力を使用する場合の電力量と発熱の関係を理解し説明できる。

教科書： 臨床工学講座 医用電気工学 I 第2班（日本臨床工学技士施設協議会 監修、戸畑 裕志・中島 彰夫 編集）医歯薬出版株式会社

参考書： やさしい電気の基礎マスター（松浦真人）電気書院【978-4-485-61003-9】

科目名: **医用電気工学Ⅱ**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 医用電気工学Ⅰでは、電気工学の基礎部分である直流回路について学習した。医用電気工学Ⅱでは、直流回路に続き交流回路の基礎を学習し電気工学全般の考え方を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)交流電圧・電流の特性について説明できる。
2)交流における時間の表示を説明できる。
3)交流における大きさの表示を説明できる。
4)交流のベクトル表示を説明できる。
5)抵抗、コンデンサ、コイルの交流に対する特性を説明できる。
6)交流回路における電圧・電流の関係を説明できる。
7)交流における電力について説明できる。
8)交流の記号表示法について説明できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 三角関数、ベクトル、複素数、微積分を要するので計算力をつけておくこと。
授業の復習を毎回60分以上確実にこなすこと。

オフィスアワー: 月曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【交流とは】 直流と交流の基本的な違いについて理解し、説明できる。	講義	戸畑
2	1)2)3)	【交流電圧・電流の表し方】 交流電圧・電流における角速度・位相・周波数について理解し説明できる。	講義	戸畑
3	1)2)3)4)	【交流電圧・電流の表し方Ⅱ】 交流電圧・電流における瞬時値、最大値、ピークツーピーク値、平均値、実効値数について理解し説明できる。	講義	戸畑
4	4)5)	【交流回路のベクトル表示】 電気回路における交流電圧、交流電流のベクトルによる表示を理解し説明できる。	講義	戸畑
5	4)5)6)	【交流電圧・電流の表し方Ⅱ】 交流電圧・電流における瞬時値、最大値、ピークツーピーク値、平均値、実効値数について理解し説明できる。	講義	戸畑
6	4)5)6)	【RL、RC直列回路】 抵抗とコイル、抵抗とコンデンサの直列接続における回路内の電圧、電流の関係を理解し、説明できる。	講義	戸畑
7	4)5)6)	【RLC直列回路】 抵抗、コイル、コンデンサで形成される直列回路の電圧、電流の関係を理解し説明できる。	講義	戸畑
8	4)5)6)	【RL、RC並列回路】 抵抗とコイル、抵抗とコンデンサの並列接続における回路内の電圧、電流の関係を理解し説明できる。	講義	戸畑
9	4)5)6)	【RLC並列回路】 抵抗、コイル、コンデンサで形成される並列回路の電圧、電流の関係を理解し説明できる。	講義	戸畑
10	7)	【共振回路】 抵抗、コイル、コンデンサで形成される直列回路、並列回路の共振現象を理解し説明できる。	講義	戸畑
11	4)5)6)8)	【電力回路】 交流の電力(皮相電力、無効電力、有効電力)について理解し説明できる。	講義	戸畑
12	4)5)6)8)	【交流回路の記号表示法Ⅰ】 交流回路の解析を行うには作図的な方法としてベクトル表示があるが、ここでは複素数による計算により方法を学習する。リアクタンスの複表示を理解し説明できる。	講義	戸畑
	4)5)6)8)	【交流回路の記号表示法Ⅱ】	講義	戸畑

13	RLC直列回路における複素数計算を理解し、説明できる。		
4)5)6)8)	【交流回路の記号表示法Ⅲ】 RLC並列回路における複素数計算を理解し説明できる。	講義	戸畑
14	【交流ブリッジ回路】 直流ブリッジ回路の応用として交流のブリッジ回路について理解し説明できる。	講義	戸畑
15			

教科書： プログラム学習による基礎電気工学—交流編—(末武国弘監修、松下電器工学院編)廣濟堂出版【978-4-331-15052-8】

参考書： 基礎電気工学—電気回路編—(末武国弘監修 廣濟堂出版)【ISBN978-4-331-15055-9】

科目名: **医用電気工学演習 I**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 電気工学は臨床工学技士が学ぶ工学的知識の最も重要な部分である。したがってこの分野をしっかりと学習する必要がある。この分野を理解しなければ他の分野の理解が難しくなる。ここでは、医用電気工学 I で学ぶ直流回路について演習問題を行うことにより、解法を習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)電圧、電流、抵抗の関係式の解法ができる。
 - 2)抵抗の直列接続と電圧との関係式の解法ができる。
 - 3)抵抗の並列接続と電流の関係式の解法ができる。
 - 4)分圧と分流の関係式の解法ができる。
 - 5)直流回路における電圧と電流の関係式の解法ができる。
 - 6)各材質における抵抗値を算出できる。
 - 7)電力値を求めることができる。
 - 8)第2種ME実力検定試験問題における直流回路の問題を正確に解答できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義毎に60分以上の復習を中心とした学習をおこなうこと。

オフィスアワー: 火曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301|

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オームの法則】 演習問題を通して電圧、電流、抵抗の関係を理解し説明できる。	演習	戸畑
2	2)8)	【抵抗の直列接続】 演習問題を通して抵抗の直列接続を理解し説明できる。	演習	戸畑
3	3)8)	【抵抗の並列接続】 演習問題を通して抵抗の並列回路を理解し説明できる。	演習	戸畑
4	2)3)4)8)	【抵抗の直・並列接続】 演習問題を通して抵抗の直列および並列回路の組み合わせを理解し説明できる。	演習	戸畑
5	2)3)4)8)	【スイッチのある回路】 演習問題を通して抵抗の直・並列回路にスイッチを接続した場合の回路の動作について理解し説明できる。	演習	戸畑
6	2)4)8)	【電圧降下】 演習問題を通して電源と抵抗による回路での電圧降下について理解し説明できる。	演習	戸畑
7	2)4)8)	【電池の接続】 演習問題を通して電池の直列接続、並列接続と電池の内部抵抗について理解し説明できる。	演習	戸畑
8	2)3)4)8)	【電圧計と倍率器】 演習問題を通して電圧計を用いた電圧測定方法を理解し説明できる。	演習	戸畑
9	2)3)4)8)	【電流計と分流器】 演習問題を通して電圧計を用いた電圧測定方法を理解し説明できる。	演習	戸畑
10	2)3)4)5)8)	【キルヒホッフの法則】 演習問題を通して直流回路におけるキルヒホッフの第1~第2法則を理解し説明できる。	演習	戸畑
11	2)3)4)5)8)	【重ねの理】 直流回路における重ねの理の方法について理解し説明できる。	演習	戸畑
12	2)3)4)5)8)	【テブナンの定理】 複雑な回路を解析する上で重要なテブナンの定理について理解し説明できる。	演習	戸畑
13	6)8)	【電線の抵抗】 演習問題を通して電線の抵抗が電線の材質、直径、長さ、温度により変化することを理解し説明できる。	演習	戸畑
14	7)8)	【電力】	演習	戸畑

演習問題を通して電気エネルギーである電力について理解し説明できる。

15 7)8) 【電力量と発熱量】 演習問題を通して電力を使用する場合の電力量と発熱の関係を理解し説明できる。
講義

戸畑

教科書: プログラム学習による基礎電気工学 直流編 (末武 国弘 監修、松下電器工学院 編集) 廣濟堂出版 【4-331-15051-8】

参考書: 使用しない。

科目名: 医用電気工学演習Ⅱ

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 医用電気工学Ⅱで学ぶ交流について、演習問題を通して回路解析の手法を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)交流における時間表示の関係式の解法ができる。
2)交流における大きさの表示の関係式の解法ができる。
3)交流のベクトル表示ができる。
4)抵抗、コンデンサ、コイルの交流に対する特性の表示方法を説明できる。
5)交流回路における電圧・電流の関係の解法ができる。
6)交流における電力の関係式について説明できる。
7)交流の記号表示法およびこれを用いた交流回路の解法ができる。
8)第2種ME実力検定試験問題における直流回路の問題および臨床工学技士国家試験問題の直流回路の問題を正確に解答できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 三角関数、ベクトル、複素数、微積分を要するので計算力をつけておくこと。
授業の復習を毎回60分以上確実にこなすこと。

オフィスアワー: 月曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)8)	【交流】 演習問題を解くことにより直流と交流の基本的な違いについて理解し説明できる。	演習	戸畑
2	1)2)8)	【交流電圧・電流の表し方】 演習問題を解くことにより交流電圧・電流における角速度・位相・周波数について理解し説明できる。	演習	戸畑
3	3)8)	【交流電圧・電流の表し方Ⅱ】 交流電圧・電流における瞬時値、最大値、ピークツーピーク値、平均値、実効値数について理解し説明できる。	演習	戸畑
4	3)8)	【交流回路のベクトル表示】 演習問題を解くことにより電気回路における交流電圧、交流電流のベクトルによる表示を理解し説明できる。	演習	戸畑
5	3)4)5)8)	【リアクタンス】 演習問題を解くことにより交流における抵抗、コイル、コンデンサの性質を学習しリアクタンスについて理解し説明できる。	演習	戸畑
6	3)4)5)8)	【RL、RC直列回路】 抵抗とコイル、抵抗とコンデンサの直列接続における回路内の電圧、電流の関係を理解し説明できる。	演習	戸畑
7	3)4)5)8)	【RLC直列回路】 抵抗、コイル、コンデンサで形成される直列回路の電圧、電流の関係を理解し説明できる。	演習	戸畑
8	3)4)5)8)	【RL、RC並列回路】 抵抗とコイル、抵抗とコンデンサの並列接続における回路内の電圧、電流の関係を理解し説明できる。	演習	戸畑
9	3)4)5)8)	【RLC並列回路】 抵抗、コイル、コンデンサで形成される並列回路の電圧、電流の関係を理解し説明できる。	演習	戸畑
10	3)4)5)8)	【共振回路】 抵抗、コイル、コンデンサで形成される直列回路、並列回路の共振現象を理解し説明できる。	演習	戸畑
11	6)8)	【電力回路】 交流の電力(皮相電力、無効電力、有効電力)について理解し説明できる。	演習	戸畑
12	3)7)8)	【交流回路の記号表示法Ⅰ】 演習問題を解くことにより交流回路の解析を行うには作図的な方法としてベクトル表示があるが、ここでは複素数による計算により方法を学習する。リアクタンスの複	演習	戸畑

表示を理解し、説明できる。

- | | | | | |
|----|--------|---|----|----|
| 13 | 3)7)8) | 【交流回路の記号表示法Ⅱ】
演習問題を解くことによりRLC直列回路における複素数計算を理解し説明できる。 | 演習 | 戸畑 |
| 14 | 3)7)8) | 【交流回路の記号表示法Ⅲ】
演習問題を解くことによりRLC並列回路における複素数計算を理解し説明できる。 | 演習 | 戸畑 |
| 15 | 3)7)8) | 【交流ブリッジ回路】
直流ブリッジ回路の応用として交流のブリッジ回路について理解し説明できる。 | 演習 | 戸畑 |

教科書： プログラム学習による基礎電気工学 電気回路編（末武 国弘 監修、松下電器工学院 編集）廣濟堂出版【4-331-15055-0】

参考書： 基礎電気工学—電気回路編—（末武国弘監修 廣濟堂出版）【ISBN978-4-331-15055-9】

科目名: **医用電気工学実習**

担当者: 高木 俊明(非常勤講師)、戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 医用電気工学 I・II で学んだ内容を実験することによって学生各自が確認する。この実験は、学生にとって初めての電気・電子系実験となる。実験は13テーマを2名を一組として数組に分かれて行う。実験の内容は、医用電気工学と医用電子工学で学ぶ内容が含まれる。与えられたテーマの実験を漠然とするのではなく、“なぜ”教科書で習ったことと違う、“どうして?”疑問を持ちながら、自分で解決することができる。

到達目標: (SBOs) 1) 電気部品の役割について説明できる。
2) 電気部品の構造について説明できる。
3) 電気回路図を読むことができる。
4) オシロスコープで電気特性を確認することができる。
5) 実習内容についてテーマごとに説明できる。

評価方法: 実技試験、小試験、レポート課題にて総合的に評価。

準備学習・履修上の注意等: 各実験テーマごとに事前レポートを作成する。このレポートを準備学習時間として1テーマ当たり4時間を目安に予習・復習すること。
事前レポートの提出および本レポートを提出し合格すること。

オフィスアワー: 火曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【実習上の諸注意、実習報告書の書き方】 実習に必要な工具の理解およびレポートの書き方について説明できる。	実習	全員
2	1)2)3)4)5)	【直流回路実習】 直流回路について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
3	1)2)3)4)5)	【CRフィルター回路実習】 CRフィルター回路について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
4	1)2)3)4)5)	【最大供給電力実習】 最大供給電力について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
5	1)2)3)4)5)	【共振回路実習】 共振回路について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
6	1)2)3)4)5)	【電源の内部抵抗測定実習】 電源の内部抵抗について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
7	1)2)3)4)5)	【デジタル回路実習】 デジタル回路の基本であるゲート回路について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
8	1)2)3)4)5)	【実習後半の概略説明】 後半の実習を行う各種電子回路の説明ができる。	実習	全員
9	1)2)3)4)5)	【演算増幅器実習】 演算増幅器について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
10	1)2)3)4)5)	【ダイオード静特性実習】 ダイオード静特性について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
11	1)2)3)4)5)	【差動増幅器実習】 差動増幅器について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
12	1)2)3)4)5)	【整流回路実習】 整流回路について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
13	1)2)3)4)5)	【時定数回路実習】 時定数回路について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
14	1)2)3)4)5)	【サーミスタ温度計実習】 サーミスタ温度計について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員
15	1)2)3)4)5)	【溶液の伝導度測定実習】 溶液の伝導度測定について説明でき、特徴を列挙できる。	実習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 医用電気工学実習書(実研開発製作)・非売品

科目名: **医用電子工学 I**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 本科目は、医療機器の動作原理を理解する上で重要な各電子回路の基本となる各種素子の特性及び電圧や電流の増幅を中心に学習し回路の解析を修得する。

到達目標: (SBOs) 1) CR回路の周波数特性、過渡特性の関係式の説明ができる。
2) 半導体におけるダイオードの特性の整流特性の解析ができる。
3) トランジスタ回路の回路解析ができる。
4) 増幅回路の周波数特性を学習し周波数応答のグラフが書ける。
5) 増幅回路の増幅度の増幅度を説明できる。
6) 差動増幅器(OPアンプ)を使用した電子回路の特徴を説明できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業の復習を講義毎に60分以上おこなうこと。

オフィスアワー: 火曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301|

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【CRフィルター回路の特徴1】 CR回路の周波数特性について理解し遮断周波数を説明できる。	講義	戸畑
2	1)	【CRフィルター回路の特徴2】 CR回路の過渡応答について学習し時定数を説明できる。	講義	戸畑
3	2)	【半導体の種類と性質】 半導体とは何か、その構造、半導体となる物質について理解し説明できる。	講義	戸畑
4	2)	【ダイオードの特性】 半導体の代表であるダイオードの特性について理解し説明できる。	講義	戸畑
5	2)	【波形整形回路】 ダイオードを使用した波形整形回路について理解し説明できる。	講義	戸畑
6	3)	【トランジスタの動作原理】 トランジスタの基本構造および特性の基本を理解し説明できる。	講義	戸畑
7	4),5)	【増幅回路の周波数特性】 トランジスタ1段の増幅回路の周波数特性について理解し説明できる。	講義	戸畑
8	4),5)	【増幅回路の周波数特性】 トランジスタ2段の増幅回路の周波数特性について理解し説明できる。	講義	戸畑
9	4),5)	【負帰還増幅回路】 増幅回路に負帰還を加えた場合の臆度および周波数特性について理解、説明できる。	講義	戸畑
10	4),5)	【電界効果トランジスタ】 電界効果トランジスタの基本特性について理解し説明できる。	講義	戸畑
11	4),5),6)	【差動増幅器】 トランジスタを使用した場合の差動増幅器の基本について理解し説明できる。	講義	戸畑
12	4),5),6)	【演算増幅器】 演算増幅器(OPアンプ)との基本特性について理解し説明できる。	講義	戸畑
13	4),5),6)	【演算増幅器の基本】 OPアンプを使用した増幅回路(反転増幅回路、非反転増幅回路)について理解し説明できる。	講義	戸畑
14	4),5),6)	【演算増幅器による回路】 OPアンプを使用した加算回路、減算回路、積分回路、微分回路について理解し説明できる。	講義	戸畑
15	4),5),6)	【演算増幅器による差動増幅】 OPアンプによる差動増幅回路について理解し説明できる。	講義	戸畑

教科書： 臨床工学講座 医用電子工学 第2班（日本臨床工学技士施設協議会 監修、中島 彰夫 編集）医歯薬出版株式会社

参考書： アナログ電子回路（大類 重範）日本理工出版会【4-89019-191-7】
医・生物系のための電気・電子回路（堀川 宗之）コロナ(社)【4-339-00677-7】

科目名: **医用電子工学Ⅱ**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 医療機器に使用されている各種電気・電子回路の内、信号発信回路、変調・復調回路およびパルス回路を中心にデジタル回路について学習し回路の動作を習得する(デジタル回路は、コンピュータのハードウェアの基礎であり、アナログ回路と同様に信号処理や機器を制御していく上では必須の学習である)。

到達目標: 1)差動増幅器の特性が説明できる。
2)電源回路におけるダイオードとコンデンサの働きを説明できる。
3)発振の原理について学習し動作を説明できる。
4)パルスの発生および表現について説明できる。
5)デジタル回路における数の表現を説明できる。
6)デジタル回路の論理ゲートの使用法について説明できる。
7)論理回路の簡単化について説明できる。
8)AD/DA変換の基本を説明できる。
9)通信における変調・復調の概念を説明できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業の復習を講義毎に60分以上確実にこなすこと。

オフィスアワー: 月曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【演算増幅回路1】 差動増幅器(OPアンプ)の同相電圧除去比(CMRR)について説明できる。	講義	戸畑
2	2)	【演算増幅回路2】 差動増幅器(OPアンプ)の同相電圧除去比(CMRR)を求めることができる。	講義	戸畑
3	3)	【発振回路】 発振現象および発振を引き起こす回路の種類と原理を説明できる。	講義	戸畑
4	3)	【発振回路】 LC発信回路、CR発振回路、水晶発振回路について説明できる。	講義	戸畑
5	3)4)	【パルス回路】 パルス波とは何か。パルスの表し方について説明できる。	講義	戸畑
6	3)4)	【パルス回路】 パルス発生回路として代表的なマルチバイブレータについて説明できる。	講義	戸畑
7	5)	【デジタル回路(2進法)】 デジタル回路の基本である2進数、8進数、16進数について説明できる。	講義	戸畑
8	5)6)	【デジタル回路(ゲート回路Ⅰ)】 論理ゲートの種類とその動作を説明できる。	講義	戸畑
9	5)6)7)	【デジタル回路(ゲート回路Ⅱ)】 真理値表およびブール代数を用いた論理式の簡単化について説明できる。	講義	戸畑
10	5)6)7)	【デジタル回路(カウンタ回路Ⅰ)】 フリップフロップおよびラッチ回路について説明できる。	講義	戸畑
11	5)6)7)	【デジタル回路(カウンタ回路Ⅱ)】 カウンタ回路の基本について説明できる。	講義	戸畑
12	8)	【AD/DA変換】 アナログ量(連続量)をデジタル量(離散値)への変換方法を説明できる。	講義	戸畑
13	3)4)9)	【通信(変調回路)】 変調とは何かを理解でき説明できる(アナログ変調とデジタル変調の相違を説明できる)。	講義	戸畑
14	3)4)9)	【通信(復調回路)】 復調とは何かを理説明できる。	講義	戸畑
15	3)4)9)	【通信(復調回路)】	講義	戸畑

復調とは何かを説明できる。

講義

戸畑

教科書: アナログ電子回路(大類重範著)日本理工出版会【978-4-89019-191-8】

参考書: デジタル回路(高橋寛監修) Ohmsha【4-274-03533-6】

科目名: **医用電子工学演習 I**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 電気工学や電子工学の分野は臨床工学技士が理解しておくべき重要な領域である。本講義では単に電磁気学の内容を理解するだけでなく、電磁気学が他の学問分野や臨床工学技士の業務内容にどのように関連しているかを理解することを目標とする。例題による学習と問題演習によって、電磁気学の臨床工学分野への応用力を修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)電荷がつくる電界や磁気双極子がつくる磁界について性質が説明できる。
- 2)電界と電位の関係について説明できる。
- 3)電気力線や磁力線の性質について説明できる。
- 4)導体(金属)、半導体・絶縁体(誘電体)について説明できる。
- 5)電流がつくる磁界の性質について説明できる。
- 6)電気抵抗、コンデンサ、コイルの性質について説明できる。
- 7)電磁波の性質について説明できる。
- 8)電磁気学が臨床工学分野にどのように役立っているか説明できる

評価方法: 定期試験(前期中間試験、前期末試験)の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業の復習を講義毎に60分以上おこなうこと。

オフィスアワー: 火曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301|

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)8)	【電磁気学の歴史的発展と他の学問分野との関連】 電磁気学という学問の歴史的背景を理解し、物理学、工学、臨床工学分野との関連について理解する。	講義	戸畑
2	1)8)	【静電気とその性質】 演習を通して電荷・電子とその性質、静電気力・クーロン力について理解を深める。	講義・演習	戸畑
3	1)2)4)8)	【電界とガウスの定理】 演習を通して電界・電気力線・ガウスの定理について理解を深める。	講義・演習	戸畑
4	1)2)8)	【電位と等電位面】 演習を通して電位・等電位面について理解を深める。	講義・演習	戸畑
5	4)8)	【電流と導体】 演習を通して電流とその性質、導体・半導体・誘電体(絶縁体)について理解を深める。	講義・演習	戸畑
6	6)8)	【コンデンサ】 演習を通してコンデンサとその性質について理解を深める。	講義・演習	戸畑
7	1)~4)6)8)	【磁気現象・電磁波に関する復習】 8~13回目の講義時に行う演習のために講義を通じて復習し事前準備を行う。	講義・演習	戸畑
8	1)3)8)	【磁気の性質】 演習を通して磁石とその性質、磁界・磁極におけるクーロン力について理解を深める。	講義・演習	戸畑
9	5)8)	【電流がつくる磁界】 演習を通して電流がつくる磁界の性質、コイルが作る磁界について理解を深める。	講義・演習	戸畑
10	1)3)8)	【電磁誘導】 演習を通してファラデーの法則・レンツの法則・誘導起電力について理解を深める。	講義・演習	戸畑
11	6)8)	【コイルとインダクタンス】 演習を通してコイルとその性質、インダクタンスという概念、変圧器について理解を深める。	講義・演習	戸畑
12	1)3)5)8)	【電磁力】 演習を通して電磁力・フレミングの左手の法則・電流力・モータの原理	講義・演習	戸畑

について理解を深める。

- | | | | | |
|----|-------|--|-------|----|
| 13 | 7)8) | 【電磁波の性質】
演習を通して電磁波とその性質について理解を深める。 | 講義・演習 | 戸畑 |
| 14 | 1)~8) | 【電磁気学の臨床工学への応用①】
演習を通して学習した内容が臨床工学の分野でどのようなことに利用されているかについて理解を深める。
(主として生体計測器分野、生体機能代行装置分野) | 講義・演習 | 戸畑 |
| 15 | 1)~8) | 【電磁気学の臨床工学への応用②】
演習を通して学習した内容が臨床工学の分野でどのようなことに利用されているかについて理解を深める。
(主として生体計測器分野、生体機能代行装置分野) | 講義・演習 | 戸畑 |

教科書： 1. 臨床工学講座 医用電気工学2 (日本臨床工学技士教育施設協議会 監修、戸畑 裕志・中島 章夫) 医歯薬出版
株式会社【978-4-263-73402-5】

参考書： プログラム学習による 基礎電気工学—磁気・静電気編(末武国弘監修 松下電器工学院編著 廣濟堂出版)

科目名: **医用電子工学演習Ⅱ**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 医用電子工学Ⅱで学習する内容の演習問題を行い、医用電気工学における国家試験レベルの問題を正確に正答できる力を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 差動増幅器の特性の説明およびCMRRの計算方法を習得する。
2) 電源回路におけるダイオードとコンデンサの動作について習得する。
3) 発振の条件について習得する。
4) パルスの発生および表現方法を習得する。
5) デジタル回路における数の表現および演算法を習得する。
6) デジタル回路の論理ゲートの使用を習得する。
7) 論理回路の簡単化の手法を習得する。
8) AD/DA変換の手法を習得する。
9) 通信における変調・復調の手法を習得する。
10) 臨床工学技士国家試験問題における医用電子工学関連問題が正確に解ける。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業の復習を講義毎に60分以上確実にこなすこと。

オフィスアワー: 月曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)10)	【演算増幅回路】 差動増幅器(OPアンプ)の同相電圧除去比(CMRR)を説明できる。	演習	戸畑
2	2)10)	【演算増幅回路】 差動増幅器(OPアンプ)の同相電圧除去比(CMRR)を求めることができる。	演習	戸畑
3	3)10)	【発振回路】 発振現象および発振を引き起こす回路の種類と原理を説明できる。	演習	戸畑
4	3)10)	【発振回路】 LC発信回路、CR発振回路、水晶発振回路について説明できる。	演習	戸畑
5	3)4)10)	【パルス回路】 パルス波とは何か。パルスの表し方について説明できる。	演習	戸畑
6	4)10)	【デジタル回路】 演習により論理ゲートの種類とその動作を理解できる。	演習	戸畑
7	4)5)6)10)	【デジタル回路(2進法)】 デジタル回路の基本である2進数、8進数、16進数について説明できる。	演習	戸畑
8	4)5)6)10)	【デジタル回路(ゲート回路Ⅰ)】 論理ゲートの種類とその動作をし説明できる。	演習	戸畑
9	5)6)7)10)	【デジタル回路(ゲート回路Ⅱ)】 真理値表およびブール代数を用いた論理式の簡単化について説明できる。	演習	戸畑
10	5)6)7)10)	【デジタル回路(カウンタ回路Ⅰ)】 フリップフロップおよびラッチ回路について説明できる。	演習	戸畑
11	5)6)7)10)	【デジタル回路(カウンタ回路Ⅱ)】 カウンタ回路の基本について説明できる。	演習	戸畑
12	8)10)	【AD/DA変換】 アナログ量(連続量)をデジタル量(離散値)への変換方法を説明できる。	演習	戸畑
13	3)4)9)10)	【通信(変調回路)】 変調とは何かを理解でき説明できる。	演習	戸畑
14	3)4)9)10)	【通信(復調回路)】 復調とは何かを説明できる。	演習	戸畑
		【通信(復調回路)】		

教科書: 入門 電子回路 デジタル編 (家村 道雄 編集) オーム社/出版局 【978-4-274-20365-7】

参考書: 使用しない。

科目名: **医用電子工学実習**

担当者: 高木 俊明(非常勤講師)、戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 医療機器には電気・電子工学が応用されている。本実習では、医療機器の中でも心電図アンプ、デジタルカウンタ、A/D、D/Aコンバータの製作を行い、実際に生体からの信号を読み取ることで体系的な学習を目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)電子部品の役割について説明できる。
2)電子部品の構造について説明できる。
3)電子回路図を読むことができる。
4)心電図アンプについて説明できる。
5)デジタルカウンタについて説明できる。
6)A/D,D/A変換器について説明できる。
7)オシロスコープを使用し、電子部品の動作確認ができる。
8)はんだ付けなどアンプの製作ができる。

評価方法: 実技試験、小試験、レポート課題にて総合的に評価。

準備学習・履修上の注意等: 事前レポートの提出および本レポートを提出する。
予習2時間および復習2時間行う。

オフィスアワー: 月曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)7)8)	【製作実習に関する概要】 製作するにあたり工具・測定器の使用方法について説明できる。	実習	全員
2	1)2)3)4) 7)8)	【心電図アンプの製作①】 心電図アンプの概要について説明できる。	実習	全員
3	1)2)3)4) 7)8)	【心電図アンプの製作②】 心電図アンプの基板を基に製作する。	実習	全員
4	1)2)3)4) 7)8)	【心電図アンプの製作③】 心電図アンプの基板を基に製作する。	実習	全員
5	1)2)3)4) 7)8)	【心電図アンプの製作④】 増幅特性を測定し説明できる。	実習	全員
6	1)2)3)4) 7)8)	【心電図アンプの製作⑤】 時程数回路について説明できる。	実習	全員
7	1)2)3)4) 7)8)	【心電アンプの製作⑥】 心電図アンプで実際に心電図測定を行うことができる。 測定上の注意点など列挙できること。	実習	全員
8	1)2)3)5) 7)8)	【デジタルカウンタの製作①】 デジタルカウンタの概要について説明できる。	実習	全員
9	1)2)3)5) 7)8)	【デジタルカウンタの製作②】 デジタルカウンタの基板を基に製作できる。	実習	全員
10	1)2)3)5) 7)8)	【デジタルカウンタの製作③】 デジタルカウンタの基板を基に製作できる。	実習	全員
11	1)2)3)5) 7)8)	【デジタルカウンタの製作④】 デジタルカウンタの回路図を読み取り、特性を説明できる。	実習	全員
12	1)2)3)6) 7)8)	【A/D、D/Aコンバータの製作①】 A/Dコンバータの概略を説明できる。	実習	全員
13	1)2)3)6) 7)8)	【A/D、D/Aコンバータの製作②】 D/Aコンバータの概略を説明できる。	実習	全員
14	1)2)3)6) 7)8)	【A/D、D/Aコンバータの製作③】 A/D,D/Aコンバータの関連を説明できる。	実習	全員
15	1)2)3)6) 7)8)	【A/D、D/Aコンバータの製作④】 A/D,D/Aコンバータに外部の機器を接続し変換誤差について説明できる。	実習	全員

教科書： 実習に必要な機材、回路図等は随時指示する。

参考書： 使用しない。

科目名: 物性工学

担当者: 中島 章夫

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学技士に必要な生体物性工学について、生理・解剖学的な知識を元に、生体を“もの”として捉える視点を養い、物理的特性を工学的に理解することを目的とし、臨床現場で用いる物理的エネルギー(医療機器)を安全、かつ有効に利用できる基礎を養う。

到達目標: (SBOs)

1. 工学の基礎(物理・化学・電気工学・機械工学)と医学の基礎(解剖学・生理学)の知識が理解できている。
2. 生体物性に必要な工学的な原理(物理、化学、電気)が関連づけ説明できる。
3. 各種治療機器のエネルギー種類が分類できる。
4. 各種生体計測における計測の原理が説明できる。
5. 生体物性と臨床工学技士業務についての関連性について関連づけることができる。
6. マインドマップを通じて、興味を持った内容について深めるとともに、表現の工夫やモチベーション向上につなげる。

評価方法: 講義態度、プレゼン内容、確認演習、期末試験にて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 生体物性工学を学ぶための医学的基礎知識(生理学・解剖学)や工学的基礎知識(物理基礎、電気工学など)が必要となるので、復習しておくこと。
1コマあたり、4時間を目安に予習・復習を行うこと。予習は、教科書の該当単元についてノートにまとめ、復習は、提示したプリントをもとにノートをまとめるとよい。

オフィスアワー: 集中講義期間のみ。他期間はメール、Web上で指定したグループウェアで対応。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,2,3	【生体物性工学を学ぶための基礎知識①】 生体物性を学ぶための生理学的基礎知識を理解し、生体の特徴を説明できる。	講義	中島
2	1,2,3	【生体物性工学を学ぶための基礎知識②】 生体物性を学ぶための工学的基礎知識を理解し、物理的な単位について説明できる。	講義	中島
3	1,2,3	【生体物性序論】 生体物性工学を理解するための関連分野について理解する。	講義	中島
4	1,2,3,4,5	【生体物性ポイント整理】 生体の物理的な特異性について理解する。マインドマップを用いた知識習得のポイントを理解する。	講義	中島
5	4,5	【マインドマップ調査】 生体物性に関して各自で興味のあるキーワードについて調査し、少人数でグループディスカッションする。	SGD	中島
6	4,5	【生体の電気的特性①】 生体の電気現象である受動的電気特性と能動的電気特性について解剖生理・電気的な基礎知識を整理する。	講義	中島
7	4,5	【生体の電気的特性②】 受動的な電気特性(細胞の電気特性)について理解する。	講義	中島
8	4,5	【生体の電気的特性③】 能動的な電気特性について理解する。	講義	中島
9	4,5	【生体の機械的特性①】 生体組織の力学特性・流体力学的特性について理解する。	講義	中島
10	4,5	【生体の機械的特性②】 生体の音響特性について理解する。	講義	中島
11	4,5	【生体の熱的特性】 生体の温度に対する反応と熱作用について理解する。	講義	中島
12	4,5	【生体と放射線】 生体に関与する放射線の種類と性質、放射線の作用と障害について理解する。	講義	中島
13	4,5	【生体の光特性】	講義	中島

光・レーザの生体作用について理解する。

14	4,5	【生体における輸送現象】 体液の組成と物質移動の機序、肺・血液におけるガス輸送と腎臓における物質輸送について理解する。	プレゼン	中島
15	4,5,6	【マインドマッププレゼンテーション】 生体物性に関する各自のキーワードで作成したマインドマップについてプレゼンテーション・ディスカッションを行い、生体物性の基礎知識の理解度を深める。	講義	中島

教科書： 臨床工学講座 生体物性・医用材料工学(中島 章夫・氏平 政伸 編) 医歯薬出版【978-4-263-73407-0】

参考書： 臨床工学ライブラリーシリーズ2 生体物性/医用機械工学(池田 研二・嶋津 秀昭) 秀潤社【978-4-87962-225-7】
臨床工学シリーズ6 医用工学概論(嶋津 秀昭 他) コロナ社【978-4-339-07106-1】
臨床工学技士 ブルー・ノート 基礎編(見目 恭一 他) メジカルビュー社【978-4758314657】

科目名: **物性工学演習**

担当者: 中島 章夫(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床工学技士に必要な生体物性工学について、生理・解剖学的な知識を元に、生体を“もの”として捉える視点を養い、物理的特性を工学的に理解することを目的とし、臨床現場で用いる物理的エネルギー(医療機器)を安全、かつ有効に利用できる実践的な知識を演習を通してを養う。

到達目標: (SBOs)

1. 工学の基礎(物理・化学・電気工学・機械工学)と医学の基礎(解剖学・生理学)の知識が理解できている。
2. 生体物性に必要な工学的な原理を応用できる。
3. 各種治療機器のエネルギー種類が分類できる。
4. 各種生体計測におけるの計測の原理が説明できる。
5. 生体物性と臨床工学技士業務についての関連性について関連づけることができる。
6. 生体物性のキーワードをテーマとして、アクティブラーニングを取り入れること、物性工学的な観点から医療機器を理解する。
7. 国家試験やME2種問題の演習を通じて、生体物性の知識について知識を定着させる。

評価方法: 講義態度、アクティブラーニング内容、確認演習、期末試験にて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 生体物性工学を学ぶための医学的基礎知識(生理学・解剖学)や工学的基礎知識(物理基礎、電気工学など)が必要となるので、復習しておくこと。アクティブラーニングを取り入れたグループ形式の学習を行うので、事前にアクティブラーニングについて調査するとともに、生体物性に関係する医療機器・医療材料の中で最も興味のあるものを1つ選んでおくこと。1コマあたり、1時間を目安に予習・復習を行うこと。予習は、教科書の該当単元についてノートにまとめ、復習は、アクティブラーニングで行うテーマについて調査すること。講義中、アクティブラーニングで実施する内容の調査を行うのでPCを持参すること。

オフィスアワー: 集中講義期間のみ。他期間はメール、サイボウズLiveで対応。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1	【生体物性演習序論①】 生体に作用する各種物理的エネルギーの種類とその安全性について理解する。	講義	中島
2	1	【生体物性演習序論②】 生体に作用する各種物理的エネルギーの種類とその安全性について理解する。	講義	中島
3	2,3,4,5	【生体物性工学を学ぶための基礎演習①】 生体物性を学ぶための工学的基礎知識を理解し、受動的電気特性と能動的電気特性を比較説明できる。(確認演習①)	演習	中島
4	2,3,4,5	【生体物性工学を学ぶための基礎演習②】 生体物性を学ぶための工学的基礎知識を理解し、機械的作用と超音波作用について説明できる。(確認演習②)	演習	中島
5	2,3,4,5	【生体物性工学を学ぶための基礎演習③】 生体物性を学ぶための工学的基礎知識を理解し、熱作用と光作用について説明できる。(確認演習③)	演習	中島
6	2,3,4,5	【生体物性工学を学ぶための基礎演習④】 生体物性を学ぶための工学的基礎知識を理解し、放射線作用と電磁気作用について説明できる。(確認演習④)	演習	中島
7	2,3,4,5	【生体物性工学を学ぶための基礎演習⑤】 生体物性を学ぶための工学的基礎知識を理解し、物質輸送の機序について説明できる。(確認演習⑤)	演習	中島
8	5,6	【アクティブラーニング調査①】 物理的エネルギーを用いた医療機器に関して興味のある機器について調査し、少人数でグループディスカッションする。	SGD	中島
9	5,6	【アクティブラーニング調査②】 物理的エネルギーを用いた医療機器に関して興味のある機器について調査し、少人数でグループディスカッションする。	SGD	中島
10	5,6	【アクティブラーニング調査③】 物理的エネルギーを用いた医療機器に関して興味のある機器について調査し、少人数でグループディスカッションする。	SGD	中島

11	5,6	【アクティブラーニング①】 物理的エネルギーを用いた医療機器に関してアクティブラーニング形式でディスカッション等を行い、生体への治療効果と安全性の理解度を深める。	SGD	中島
12	5,6	【アクティブラーニング②】 物理的エネルギーを用いた医療機器に関してアクティブラーニング形式でディスカッション等を行い、生体への治療効果と安全性の理解度を深める。	SGD	中島
13	5,6	【アクティブラーニング③】 物理的エネルギーを用いた医療機器に関してアクティブラーニング形式でディスカッション等を行い、生体への治療効果と安全性の理解度を深める。	SGD	中島
14	7	【生体物性演習総合確認①】 生体物性に関して、国家試験やME2種問題を中心に、総合的に演習を行う。	演習	中島
15	7	【生体物性演習総合確認②】 生体物性に関して、国家試験やME2種問題を中心に、総合的に演習を行う。	演習	中島

教科書： 臨床工学講座 生体物性・医用材料工学（中島 章夫・氏平 政伸 編）医歯薬出版【978-4-263-73407-0】

参考書： 臨床工学ライブラリーシリーズ2 生体物性/医用機械工学（池田 研二・嶋津 秀昭）秀潤社【978-4-87962-225-7】
臨床工学シリーズ6 医用工学概論（嶋津 秀昭 他）コロナ社【978-4-339-07106-1】

科目名: **材料工学**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 医療機器・医療用具などに使用される材料をバイオマテリアルと呼ぶ。臨床工学技士はこれら多くの医療機器、医療用具を用いて治療にあたるため、材料の特性を正確に把握することはきわめて重要である。ここでは材料の生体適合性、特徴、使用目的や適正などについて学習し、臨床現場で材料に関しての指導的立場となるよう理解を深める。

到達目標: 1)医療に用いられる材料の特性、特徴、適正使用の意味が理解できる。
(SBOs) 2)血液透析実習において実習指導者の質問に対して的確に答えられる。

評価方法: 小テストおよび学期末定期試験にて評価。

準備学習・履修上の注意等: 各自のノート型パソコンが必要である。予習復習は講義日に20分以上行うこと。

オフィスアワー: 金曜日3限

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【医用材料の位置づけ】 医用材料とは何か? どのような特殊性があるのかについて学習する。	講義	竹澤
2	1)	【医用材料の種類】 医用材料の種類と性質について学習する。	講義	竹澤
3	1)	【医用材料の実際-1】 人工心臓の構造と用いられている材料を調査する。	SGD	竹澤
4	1)	【医用材料の実際-2】 人工心臓の構造と用いられている材料を調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤
5	1)	【医用材料の実際-3】 人工血管の構造と用いられている材料を調査する。	SGD	竹澤
6	1)	【医用材料の実際-4】 人工血管の構造と用いられている材料を調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤
7	1)	【医用材料の実際-5】 人工弁の構造と用いられている材料を調査する。	SGD	竹澤
8	1)	【医用材料の実際-6】 人工弁の構造と用いられている材料を調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤
9	2)	【医用材料の実際-7】 人工腎臓の構造と用いられている材料を調査する。	SGD	竹澤
10	2)	【医用材料の実際-8】 人工腎臓の構造と用いられている材料を調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤
11	1)	【医用材料の実際-9】 体外循環用のチューブに用いられている材料を調査する。	SGD	竹澤
12	1)	【医用材料の実際-10】 体外循環用のチューブに用いられている材料を調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤
13	1)	【医用材料の実際-11】 医療用セラミックスがどこに使用されているのかを調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤
14	1)	【医用材料の実際-12】 合成高分子材料がどこに使用されているのかを調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤
15	1)	【生体適合性】 生体適合性を向上させるための工夫について調査し、レポートを完成させる。	SGD	竹澤

教科書: 臨床工学講座 生体物性・医用材料工学 ISBN978-4-263-73407-0 ¥3,570-

参考書: 使用しない。

科目名: **材料工学演習**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 前期に学習した材料工学の知識を元に、国家試験全般の内容が理解できることを目的とする。

到達目標: 1)医療に用いられる材料の特性、特徴、適正使用の意味が理解できる。
(SBOs) 2)材料工学関連の国家試験問題を説明できる。
3)医療系国家試験問題が理解できる。

評価方法: 小テストおよび学期末定期試験にて評価。

準備学習・履修上の注意等: 各自のコンピュータを使用する。予習復習は30分以上行うこと。

オフィスアワー: 木曜1限

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【材料工学問題の傾向】 国家試験問題における材料工学の出題傾向が理解できる。	講義	竹澤
2	1)	【医用材料の過去問1】 国家試験過去問題の材料工学関連が理解できる。	SGD	竹澤
3	1)	【医用材料の過去問2】 国家試験過去問題の材料工学関連が理解できる。	SGD	竹澤
4	1)	【医用材料の過去問3】 国家試験過去問題の材料工学関連が理解できる。	SGD	竹澤
5	1)	【医用材料の過去問4】 国家試験過去問題の材料工学関連が理解できる。	SGD	竹澤
6	2)	【医用材料の過去問練習1】 国家試験過去問題の材料工学関連が説明できる。	SGD	竹澤
7	2)	【医用材料の過去問練習2】 国家試験過去問題の材料工学関連が説明できる。	SGD	竹澤
8	2)	【医用材料の過去問練習3】 国家試験過去問題の材料工学関連が説明できる。	SGD	竹澤
9	2)	【医用材料の過去問練習4】 国家試験過去問題の材料工学関連が説明できる。	SGD	竹澤
10	2)	【医用材料の過去問練習5】 国家試験過去問題の材料工学関連が説明できる。	SGD	竹澤
11	3)	【国家試験過去問練習1】 国家試験過去問題の医療系関連が理解できる。	SGD	竹澤
12	3)	【国家試験過去問練習2】 国家試験過去問題の医療系関連が理解できる。	SGD	竹澤
13	3)	【国家試験過去問練習3】 国家試験過去問題の医療系関連が理解できる。	SGD	竹澤
14	3)	【国家試験過去問練習4】 国家試験過去問題の医療系関連が理解できる。	SGD	竹澤
15	3)	【国家試験過去問練習5】 国家試験過去問題の医療系関連が理解できる。	SGD	竹澤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **医用機器工学**

担当者: 木塚 俊和(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 検査、診断、治療などの医療分野ではさまざまな機器が使用されている。これら機器を正しく使い、とっさの場合の適切な対応、或いは正しいメンテの為に機器の機構、動作に関する原理原則的な機械工学の知識、物の見方、考え方が必要である。本講座ではこれらのベースとなる、一般力学、材料力学、流体力学、波動、熱力学等についての基本知識、考え方を習得する。更に、人体を機械と同じ観点でとらえ、その機能や動作原理を工学的に考える力を修得する。
上記知識、考え方を踏まえ臨床工学技士の国家試験合格を目指す。

到達目標: (SBOs) ①力学の基礎: 力とこれによる運動と仕事、及びエネルギーとの関係について原理が説明できる。
②固体材料の変形と強度: 材料の弾性的性質、強度、及び破壊現象について説明できる。
③流体とその流れ: 液体、気体の流れの原理原則を理解し、体の循環系/呼吸系機能等の工学的な考察ができる。
④波動: 波動(音波、光)の概念、性質と波動(超音波等)を応用した機器の原理が説明できる。
⑤熱と熱力学: 熱に関する現象を熱エネルギーの概念で理解し、熱に関する医療機器の原理、生体での熱の流れの挙動が説明できる。

評価方法: 評価は講義の途中で行う演習問題、授業への参画態度等で~10%、学期末の単位認定試験で90%~として、総合評価を行う。総合評価60%以上で合格とする。

準備学習・履修上の注意等: 予習、復習は必ずやってくる。1コマあたり、予習、復習で4時間を目安として勉強すること。欠席が1/3を超えた場合は評価の対象とならない。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	①	【医用機器工学とは】 ・医用機器工学を学ぶ意義を認識し、物理法則と単位、及び次元の関係を理解する。 【力学の基礎】 ・力の定義、ニュートンの運動の法則、力のベクトルについて理解する。	講義	木塚
2	①	・特別な力(重力、引力、摩擦力)、及び剛体に働く力の釣り合いを理解、斜面に置かれた物体の釣り合いを図と式で表す。	講義	木塚
3	①	・力と運動、いろんな運動と力(等速運動、等加速度運動、円運動等)について数式を理解し、計算する。 ・慣性力、遠心力の意味を理解し、円運動の釣り合い条件を式で表す。	講義	木塚
4	①	・力と仕事の関係、及び力学的エネルギーを理解し、エネルギー保存則を用いて位置エネルギーと速度エネルギーの計算をする。 ・力学の基礎の総復習と演習により知識を再確認する。	講義	木塚
5	②	【固体材料の変形と強度】 ・弾性と塑性、応力について意味を正確に理解する。	講義	木塚
6	②	・縦ひずみと横ひずみ、せん断ひずみ、縦弾性係数について理解し、応力とひずみの概略相関線図を作成する。	講義	木塚
7	③	・安全率の意味、体積弾性率、梁の強さ/軸の強さの式を理解し、梁の曲げ時の発生応力を図により確認する。 ・材料の大変形による破局的破壊のメカニズムを理解し、又復習と演習を通じ知識を再確認する。	講義	木塚
8	③	【流体とその流れ】 ・圧力、パスカルの原理、絶対圧とゲージ圧について理解し、Pa、気圧、水銀柱の換算計算を行う。 ・連続の式、圧力差による流れ(トリチェリー、ベルヌーイの式)を理解し、水管内の静圧、全圧の計算を行う。 ・粘性流体の流れ(ニュートン流体、ハーゲンポアゼイユの法則等)を理解し、配管内流量を計算する。	講義	木塚
9	③	・層流と乱流の違いを理解し、毛細血管内の流れの判定をする。 又粘度計の原理を理解する。	講義	木塚

10	④	<ul style="list-style-type: none"> ・液滴の形成条件を理解し、液滴径と流量を計算する。 ・又ポンプの類別をし、適切な選定を行う。 ・総復習と演習により知識を再確認する。 【波動】 <ul style="list-style-type: none"> ・横波、縦波の特徴を理解し、縦波を横波表記する。波の図からその速度と周期等を計算する。波のエネルギー要因を知り、波の速度と媒質弾性率の関係の重要性を確認する。 ・波の反射、透過、屈折についてホイヘンスの原理を用い図で説明する。 	講義	木塚
11	④	<ul style="list-style-type: none"> ・音波と超音波の性質と属性について理解し、反射/透過に関する音響インピーダンスの重要性を式により確認する。 ・光の波動性(干渉、屈折)についてヤングの実験を通して理解し、スリットを通過した光の明線、暗線の位置を数式で確認する。 	講義	木塚
12	④	<ul style="list-style-type: none"> ・総復習と演習により知識を再確認する 	講義	木塚
13	⑤	【熱と熱力学】 <ul style="list-style-type: none"> ・熱、温度、熱に関する基本的な用語、物理量を理解し、伝導、対流、放射による熱の移動を数式で組み立て、評価する。 	講義	木塚
14	⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の熱移動と体温調節のメカニズムを理解する。 ・温度と相の変化に関する用語、熱膨張の式を理解する。気体の状態方程式を使い容積/圧力/温度の関係を計算する。 ・熱と仕事の関係、及び熱力学の第一法則を数式で表現する。第二法則について理解する。 	講義	木塚
15	①~⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・熱機関とエントロピー関連の用語を理解し、熱効率の計算をする。 【医用機器工学総復習及び演習】 <ul style="list-style-type: none"> ・総復習、演習により知識を再確認する。 	講義	木塚

教科書： 臨床工学講座 医用機械工学 著 嶋津秀昭、馬淵清資 医歯薬出版株式会社 【ISBN】978-4-263-73409-4
その他 配布プリント

参考書： 使用しない。

科目名: **医用機器工学演習**

担当者: 木塚 俊和(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 既に、医用機器工学講座で臨床工学技師に必要な機器工学の知識、物の見方、考え方を学んできた。一方で、実際には、これら知識を活用し、現場での具体的な種々の問題に対応する能力が求められている。本講座では、これら基本知識を基に、いかに種々の問題に対処し、解決するかという観点から、演習問題を主体に進める。又、同時に機器工学の原理原則も総復習することで、知識を深耕化、国家試験合格を目指す。

到達目標: (SBOs) ①力学:力、運動と仕事、エネルギーに関する具体的な問題に対応できる。
②固体材料の変形と強度:材料の弾性的性質、強度、及び破壊現象に関する具体的な問題に対応できる。
③流体とその流れ:液体、気体の流れ、体の循環系、呼吸系について具体的な問題に対応できる。
④波動:波動(音波、光)に関する具体的な問題に対応できる。
⑤熱と熱力学:熱に関する具体的な問題に対応できる。

評価方法: 評価は毎回行う演習問題、授業への参画態度、宿題等で~10%、期末試験90%~として、総合評価を行う。総合評価60点以上を合格とする。

準備学習・履修上の注意等: 予習、復習、宿題は必ずやってくる。1コマあたり予習復習で少なくとも1時間を目途に勉強すること。欠席が1/3を超えた場合は評価の対象とならない。演習は教科書、過去問参考に講師が作成したプリントで行う。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	①	【力学の基礎】演習 ・力の定義、基本的な力、ニュートンの運動の法則、 ・力の数式的取り扱いを復習し問題を解く。	演習	木塚
2	①	・特別な力(重力、引力、摩擦力)、剛体に働く力の釣り合い を復習し問題を解く。	演習	木塚
3	①	・力と運動、いろんな運動と力(等速運動、等加速度運動、円運動等) を復習し問題を解く。 ・慣性力と遠心力を復習し問題を解く。	演習	木塚
		・エネルギーとは、力と仕事、力学的エネルギー、 エネルギー保存則等を復習し問題を解く。		
4	②	② 【材料の変形と強度】演習 ・弾性と塑性、応力を復習し問題を解く。	演習	木塚
		・縦ひずみと横ひずみ、せん断ひずみ、縦弾性係数を復習し問題を解く。 ・安全率、体積弾性率、梁の強さ、軸の強さを復習し問題を解く。		
5	②	・大変形による破局的破壊を復習し問題を解く。	演習	木塚
6	③	③ 【流体とその流れ】演習 ・圧力、パスカルの原理、絶対圧とゲージ圧を復習し問題を解く。	演習	木塚
7	③	・連続の式、圧力差による流れを復習し問題を解く。	演習	木塚
		・粘性流体の流れ(ニュートン流体、ハーゲンポアセイユの法則等) を復習し問題を解く。		
8	③	・層流と乱流、粘度測定を復習し問題を解く。	演習	木塚
		・液滴の形成条件、ポンプを復習し問題を解く。		
9	④	④ 【波動】演習 ・波の特徴、波を表す式、波の持つエネルギー、波の速度を復習し 問題を解く。	演習	木塚
10	④	・波の反射、透過と屈折を復習し問題を解く。	演習	木塚

・音波と超音波を復習し問題を解く。

・光の波動性を復習し問題を解く。

11	⑤	【熱と熱力学】演習 ・熱とは、温度、熱に関する基本的な物理量を復習し問題を解く。	演習	木塚
12	⑤	・身体の熱移動と体温調節を復習し問題を解く。	演習	木塚
13	⑤	・温度と相の変化、熱膨張を復習し問題を解く。 ・熱と仕事、熱力学の法則を復習し問題を解く。	演習	木塚
14	⑤	・熱機関とエントロピーを復習し問題を解く。	演習	木塚
15	①~⑤	【医用機器工学演習総復習】	演習	木塚

教科書： 臨床工学講座 医用機械工学 著 嶋津秀昭、馬淵清資 医歯薬出版株式会社 【ISBN】978-4-263-73409-4
その他 配布プリント

参考書： 使用しない。

科目名: **医用化学**

担当者: 渡辺 渡(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学技士に必要な化学の基本知識を習得する。臨床現場で化学知識を有する職種は少ないため、化学関連業務が担えるだけの最低限の知識を身につける。

到達目標: 1) 化学の基本を理解する。
(SBOs) 2) 臨床工学に必要な化学的知識を身につける。

評価方法: 小テスト、レポート、定期試験。

準備学習・履修上の注意等: ノート型パソコンを使用する。各内容について30分は予習復習を行うこと。とくに、計算問題に関しては複数の学生と議論しながら徹底的に理解すること。

オフィスアワー: 木曜日12:15-13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【医療分野における化学の位置づけ】 臨床工学技士関連の医療分野では、必要とされる化学知識が限られている。どのような化学知識が要求されるのか、その概要を理解する。	講義	渡辺
2	1)	【原子と分子】 基本的な化学の考え方と、周期律表の中で重要な部分を把握する。	講義	渡辺
3	1)	【単位と記号】 化学に限らず、物理学一般に使用される単位系を理解する。	講義	渡辺
4	1)	【物質の電離】 イオンについて学習し、高校では習わなかったイオン濃度(当量濃度)の計算ができる。	講義	渡辺
5	2)	【電解質の計算】 血液透析分野で不可欠な、電解質の計算ができる。	講義・演習	渡辺
6	2)	【電解質の計算】 補液電解質の計算ができる。	演習	渡辺
7	2)	【浸透圧の計算】 浸透圧の概念、計算方法、実際の臨床で使用されている溶液や血液の浸透圧を理解する。	講義	渡辺
8	2)	【血液の成分分析】 ヒト血液を用いてICUにて使用する成分分析を行う。採血方法についても学習する。	演習	渡辺
9	2)	【血液凝固】 前回に引き続いてヒト血液を用いて凝固の実験を行う。	演習	渡辺
10	1)	【溶液のpH】 pHの概念と計算方法を学習する。	講義	渡辺
11	1)	【溶液のpH】 実際に溶液のpHを測定してどの程度のpHなのかを把握、理解する。	演習	渡辺
12	2)	【透析液ライン洗浄】 血液透析における透析液ライン洗浄の意味、具体的な方法を学習する。	講義・SGD	渡辺
13	2)	【透析液ライン洗浄1】 実際に透析液ライン洗浄を行い、洗浄の目的を理解する。	演習・SGD	渡辺
14	2)	【透析液ライン洗浄2】 透析液ライン洗浄の結果を把握する。	演習・SGD	渡辺
15	2)	【臨床工学と化学】 臨床工学技士業務の中における化学の重要性について理解する。	講義	渡辺

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: 応用数学

担当者: 堀 純也(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学の専門科目を学ぶためには、応用数学の基礎知識と素養が必要である。基礎数学から関数、極限、微分積分および微分方程式、フーリエ解析などについての計算能力を修得するとともに臨床工学の分野でこれらの数学がどのように応用されているかを理解することを目標とする。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 基本的な数学の考え方が理解できる。
 - 2) ブール代数の考え方を理解できる。
 - 3) 関数と極限について理解できる。
 - 4) 微分の概念の理解とその応用について説明できる。
 - 5) 積分の概念の理解とその応用について説明できる。
 - 6) 微分方程式を解くことができる。
 - 7) フーリエ解析の概念の理解とその応用について説明できる。
 - 8) ベクトルの概念の理解とその応用について説明できる。
 - 9) 数学の臨床工学への応用について説明できる。

評価方法: 適宜与える演習問題を解いてもらった後、説明を行ってもらうことで到達状況を確認し、フィードバックする。適宜行う演習(20%)および定期試験(80%)を基に総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 高等学校で学習する数学の内容はしっかり復習しておくこと。また、1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。応用数学演習の講義で行う演習内容も参考にすること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。E-Mailでも質問を受け付ける(<http://www.dap.ous.ac.jp/~j-hori/hori.html>)。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1,9)	【複素関数とその応用】 複素数の概念と医用電気・電子工学との関係について理解する。	講義, 演習	堀
2	2,9)	【ブール代数】 ブール代数の概念と医用電子工学との関係について理解する。	講義, 演習	堀
3	3,9)	【 n 次関数】 n 次関数とその臨床工学への応用について理解する。	講義, 演習	堀
4	3,9)	【三角関数】 三角関数とその臨床工学への応用について理解する。	講義, 演習	堀
5	3,9)	【指数関数・対数関数】 指数関数・対数関数とその臨床工学への応用について理解する。	講義, 演習	堀
6	3,4,9)	【関数の極限と導関数】 関数の極限と導関数について理解する。	講義, 演習	堀
7	4,9)	【 n 次関数, 三角関数の微分法】 n 次関数, 三角関数の微分法とその臨床工学分野における応用例を理解する。	講義, 演習	堀
8	4,9)	【指数関数, 対数関数の微分法】 指数関数, 対数関数の微分法とその臨床工学分野における応用例を理解する。	講義, 演習	堀
9	5,9)	【高次導関数と関数の展開】 高次導関数と関数の展開および臨床工学分野における応用例を理解する。	講義, 演習	堀
10	5,9)	【不定積分法】 不定積分とその臨床工学分野における応用例を理解する。	講義, 演習	堀
11	5,9)	【定積分】 定積分とその臨床工学分野における応用例を理解する。	講義, 演習	堀
12	4,5,6,9)	【微分方程式】 微分方程式とその臨床工学分野における応用例を理解する。	講義, 演習	堀
13	7,9)	【フーリエ解析】 フーリエ解析とその臨床工学分野における応用例を理解する。	講義, 演習	堀
14	8,9)	【ベクトル】 ベクトルとその臨床工学分野における応用例を理解する。	講義・演習	堀

15 1)~9) 【まとめ】
応用数学の臨床工学への応用について1~14回までのまとめを行う。

講義・演習 堀

教科書: 臨床工学シリーズ5 応用数学 (西村 千秋 著) コロナ社【978-4-339-07105-4】

参考書: 大学生のための基礎シリーズ1 数学入門 (上村 豊, 坪井 堅二 著) 東京化学同人【4-8079-0558-9】

科目名: 応用数学演習

担当者: 堀 純也(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 臨床工学の専門科目を学ぶためには、応用数学の基礎知識と素養が必要である。応用数学の講義で学んだ内容を演習を通じて定着させつつ、臨床工学分野において数学がどのように応用されているかを理解することを目標とする。
例題による学習と問題演習を中心とした授業を行う。

到達目標: (SBOs)
1)複素関数の基本的な計算ができる。
2)各種関数の性質と極限值を求める計算ができる。
3)基本的な関数の微分ができ、その応用例について説明ができる。
4)基本的な関数の積分ができ、その応用例について説明ができる。
5)行列の基本とその応用例について説明できる。
6)ベクトルの基本的性質とその応用例について説明できる。
7)数学が臨床工学分野にどのように役立っているか説明できる。

評価方法: 適宜与える演習問題を解いてもらった後、説明を行ってもらうことで到達状況を確認し、フィードバックする。講義中の演習(20%)と定期試験(80%)の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 事前に演習課題を課すことがあるので、その場合は前もって演習に取り組んでから講義に望むこと。演習の合間に簡単な講義を行うこともある。テキストは適宜プリントを配布する。また、1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間。E-Mailでも質問を受け付ける(<http://www.dap.ous.ac.jp/~j-hori/hori.html>)。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)7)	【基礎数学の問題演習】 虚数と複素数および集合と論理式について演習を通して理解を深める。	演習	堀
2	1)7)	【基礎数学の臨床工学への応用】 虚数と複素数および集合と論理式が臨床工学分野においてどのように利用されているかについて理解を深める。	演習	堀
3	2)7)	【関数と極限値の演習】 関数と極限値について理解を深める。	演習	堀
4	2)7)	【関数と極限値の臨床工学への応用】 関数と極限値が臨床工学分野においてどのように利用されているかについて理解を深める。	演習	堀
5	3)7)	【微分学の演習①】 n次関数、指数関数、対数関数、三角関数など基本的な関数の微分について理解を深める。	演習	堀
6	3)7)	【微分学の演習②】 テイラー展開、関数の増減・極大極小などの微分について理解を深める。	演習	堀
7	4)7)	【積分学の演習①】 不定積分に関して演習を通して理解を深める。	演習	堀
8	4)7)	【積分学の演習②】 定積分に関して演習を通して理解を深める。また、フーリエ級数について理解を深める。	演習	堀
9	3)4)7)	【微分方程式と微分・積分学の臨床工学への応用】 微分・積分が臨床工学分野においてどのように利用されているかについて理解を深める。	演習	堀
10	5)7)	【行列・行列式の演習①】 行列とその性質について演習を通して理解を深める。	演習	堀
11	5)7)	【行列・行列式の演習②】 行列式とその応用について演習を通して理解を深める。	演習	堀
12	5)7)	【行列・行列式の臨床工学への応用】 行列・行列式が臨床工学分野においてどのように利用されているかについて理解を深める。	演習	堀

13	6)7)	【ベクトルの演習①】 ベクトルとその基本的性質について演習を通して理解を深める。	演習	堀
14	6)7)	【ベクトルの演習②】 ベクトルの内積・外積とその性質について演習を通して理解を深める。	演習	堀
15	6)7)	【ベクトルの臨床工学への応用】 ベクトルが臨床工学分野においてどのように利用されているかを理解を深める。	演習	堀

教科書： 臨床工学シリーズ5 応用数学 (西村 千秋) コロナ社【4-339-07105-6】

参考書： 大学生のための基礎シリーズ1 数学入門 (上村 豊, 坪井 堅二) 東京化学同人【978-480-790558-4】

科目名: **医療情報処理工学**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: コンピュータとソフトウェアの仕組みについて理解する。また、画像処理、Excelマクロを用いたBASIC言語を習得する。さらに、高度なソフトを用いた周波数解析も行えるようにする。

到達目標: 1) コンピュータの物理的構造について理解する。
(SBOs) 2) 画像について理解する。
3) 病院内実務に不可欠なソフト操作・プログラミングができる。

評価方法: 毎回のミニレポートと定期試験にて評価。

準備学習・履修上の注意等: 各自のコンピュータを用いた演習を行う。予習復習は1時間程度をかけて徹底的に行うこと。とくに、マクロプログラムは就職後必須なので徹底した予習を行い、理解すること。

オフィスアワー: 金曜日5限

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【コンピュータの仕組み】 コンピュータのハードウェアについて理解する。	講義	竹澤
2	1)	【コンピュータの仕組み】 ハードウェアとソフトウェアの関係について理解する。	講義	竹澤
3	1)	【文字と画像】 ASCIIコードやビットマップ、圧縮操作や画像処理について、その基本を理解する。	演習	竹澤
4	1)	【画像処理】 各自のコンピュータを用いて、画像について理解する。	演習	竹澤
5	1)	【コンピュータプログラミング入門】 最も簡単なBASICプログラミングを、Excelファイル上で作成、理解する。	演習	竹澤
6	2)	【コンピュータプログラミング1】 BASICプログラミングによるマクロを理解し、課題を作成する。	講義	竹澤
7	2)	【コンピュータプログラミング2】 マクロを用いた処理を理解し、実行する。	演習	竹澤
8	3)	【コンピュータプログラミング3】 マクロを用いた複雑な処理を理解する。	演習 SGD	竹澤
9	3)	【コンピュータプログラミング4】 マクロを用いた複雑な処理を実行する。	演習 SGD	竹澤
10	3)	【コンピュータプログラミング5】 与えられた課題をマクロで処理し、実行する。	演習 SGD	竹澤
11	3)	【信号処理】 ナイキスト周波数など、信号処理について理解する。高速フーリエ変換ソフトを用いた周波数解析ができるようになる。	演習 SGD	竹澤
12	3)	【応用プログラミング1】 Excel上で課題に沿ったマクロプログラムが構築できる。	演習 SGD	竹澤
13	3)	【応用プログラミング2】 Excel上で課題に沿った高度なマクロプログラムが構築できる。	演習 SGD	竹澤
14	3)	【応用プログラミング3】 Excel上で移動平均マクロプログラムが構築できる。	演習 SGD	竹澤
15	3)	【応用プログラミング4】 Excel上で移動平均マクロプログラムが実行できる。	演習 SGD	竹澤

教科書: 臨床工学講座 医用情報処理工学 ISBN978-4-263-73405-6 ¥3,990-

参考書: 使用しない。

科目名: **医療情報処理工学実習**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 臨床国学業務に必要なコンピュータソフトウェアの使用方法を熟知し、かなりのレベルまで習得することを目的とする。臨床現場ではソフト操作を教える立場になるため、正しい使用方法、間違いやすい落とし穴、隠しキー操作など、日常業務に役立つ技術をマスターする。

到達目標: 1)Wordを活用して効率的な報告書が作成できる。
(SBOs) 2)Excelで情報を加工し、Wordに貼り付けることができる。
3)PowerPointを用いてわかりやすいプレゼンテーションができる。

評価方法: 毎回のミニレポートと定期試験(実習)にて評価。

準備学習・履修上の注意等: 各自のコンピュータを使用する。復習は必ず講義終了後に30分程度行い、操作方法をマスターすること。予習もしておくことが望まれる。

オフィスアワー: 金曜日5限

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【コンピュータソフトの基本】 どのようなソフトで何ができるのか、基本的な内容を把握する。	演習	竹澤
2	1)	【Word応用編-1】 Wordでの文書作成における便利な機能について学習する。インデント処理、タブキー、段落処理、文字飾りを習得する。	演習	竹澤
3	1)	【Word応用編-2】 Wordを用いた論文作成に必要な図表番号や文献番号の自動ナンバリング機能、自動目次作成機能を習得する。	演習	竹澤
4	1)	【Wordマスター】 今まで学習した内容を元に論文の体裁を整え、論文を完成させる。	演習	竹澤
5	2)	【Excel応用編-1】 Excelを用いた計算方法を学習する。	演習	竹澤
6	2)	【Excel応用編-2】 Excelによるグラフ作成とWordへの貼り付けについて学習する。	演習	竹澤
7	3)	【PowerPoint応用編-1】 Excelの図やインターネットの写真などを貼り付けて見栄えの良いプレゼン資料を作成する。	演習	竹澤
8	3)	【Power Point応用編-2】 テーマに沿った内容のプレゼン資料を作成する。	演習	竹澤
9	3)	【Power Point応用編-3】 テーマに沿った内容のプレゼン資料を作成する。	演習	竹澤
10	3)	【Power Point応用編-3】 テーマに沿った内容のプレゼン資料を発表する。	演習	竹澤
11	3)	【総合実習-1】 テーマに沿った内容の動画資料作成を行う。	演習・SGD	竹澤
12	3)	【総合実習-2】 テーマに沿った内容の動画資料作成を行う。	演習・SGD	竹澤
13	3)	【総合実習-3】 テーマに沿った内容の動画資料作成を行う。	演習・SGD	竹澤
14	3)	【総合実習-4】 テーマに沿った内容の動画資料発表を行う。	演習・SGD	竹澤
15	3)	【総合実習-5】 テーマに沿った内容の動画資料発表を行う。	演習・SGD	竹澤

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: システム工学

担当者: 福長 一義(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: システム工学に関連した専門用語とその定義を理解し、様々なシステムの構成と考え方を習得する。さらに、医用機器に用いられる自動制御機構を理解する目的で、自動制御の基礎理論およびフィードバック制御の考え方を学ぶ。また、システムや制御に関連した工学系の基礎知識の大切さを再認識し、これを様々な場面で役立てるためのセンスを磨く。

到達目標: (SBOs)

- 1) システムの定義と種類を整理して列挙できる。
- 2) 様々なシステムの構成と考え方を理解する。
- 3) 自動制御の基礎理論とフィードバック制御の考え方を説明できる。
- 4) 医用機器とシステム工学を関連づけることができる。
- 5) システムの信頼性と安全について理解する。
- 6) 実際に現れる諸現象を関数式で解析できる。

評価方法: 授業毎の確認テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。確認テスト30%、学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況)の評価を30%、及び授業中の口頭試問を40%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。1回の授業につき復習内容をまとめたマインドマップを作成し、次回の授業前までに提出すること。マインドマップは無地A4サイズに、色ペン5色以上でわかりやすく丁寧に描くこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【システム工学とは】 システム工学の基本的な用語と定義について学ぶ。	講義	福長
2	1)2)	【システム工学の基礎】 システムの構造と制御の基礎について学ぶ。	講義	福長
3	3)	【システムの設計と評価】 システムの設計と評価について学ぶ。	講義	福長
4	5)	【システムの信頼性】 システムの信頼性について学ぶ。	講義	福長
5	5)	【システムの故障】 システムの故障、修理、解析について学ぶ。	講義	福長
6	4)	【生体システム】 生体のシステムとその特徴について学ぶ。	講義	福長
7	3)	【制御の基礎】 制御の定義などの基礎について学ぶ。	講義	福長
8	3)	【制御の種類】 フィードバック制御などの制御の種類について学ぶ。	講義	福長
9	6)	【制御における関数】 制御に用いる関数について学ぶ。	講義	福長
10	6)	【ラプラス変換】 ラプラス変換について学ぶ。	講義	福長
11	6)	【ブロック線図】 図を用いた制御系の記述方法について学ぶ。	講義	福長
12	3)6)	【伝達関数】 式を用いた制御系の記述方法について学ぶ。	講義	福長
13	3)6)	【制御系の応答】 制御とその応答の特徴などについて学ぶ。	講義	福長
14	4)	【医療における制御】 医療に应用されているシステム工学、制御について学ぶ。	講義	福長

15 1)2)3)4)5)6【まとめと演習】
) これまでの総括と問題演習を行う。

講義

福長

教科書: 臨床工学講座 医用システム・制御工学 著 嶋津秀昭、堀内邦雄 【ISBN】978-4-263-73413-1

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床工学概論**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: オムニバス

授業概要: 臨床工学に必要な工学・医学の基礎知識を身につける。また、臨床工学科各教員による最新の臨床工学関連分野の情報をもとに、臨床工学に関連する技術について習得できる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1)臨床工学の最新の基礎知識を習得する。
 - 2)臨床工学のトピックスを自分の意見を持つことができる。
 - 3)臨床工学の物理現象について習得する。
 - 4)ME機器についての基礎知識を習得する。
 - 5)人工臓器についての基礎知識を習得する。

評価方法: 筆記試験にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 学習到達度向上のため、各授業テーマにおいて4時間を目安に予習・復習し、レポート作成すること。提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。

オフィスアワー: 月曜～金曜日15:00～17:00(8号棟2F準備室)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション・バイタルサインって何?】 バイタルサインについて理解・説明できる。	講義	丹下
2	1)2)	【高齢者が自立できる街造り】 高齢者が自立できる街のあり方について自分の意見を持つことができる。	講義	竹澤
3	3)4)5)	【血液はこうして洗う】 医用工学に必要な読解力を理解できる。	講義	丹下
4	4)	【臨床検査のしくみ】 医用工学に必要な読解力を理解できる。	講義	砂子澤
5	1)2)	【体の中はどうなっているのかな? (I)】 医用工学に必要な読解力を理解できる。	講義	近藤
6	1)2)	【体の中はどうなっているのかな? (II)】 医用工学に必要な読解力を理解できる。	講義	近藤
7	1)2)3)4)	【高気圧酸素治療と生体反応～ダイハードな人体の不思議な世界から～】 教員のトピックを理解できる。	講義	右田
8	1)5)	【人工臓器最前線】 教員のトピックを理解できる。	講義	竹澤
9	1)5)	【自分の心臓と機械の心臓】 教員のトピックを理解できる。	講義	丹下
10	1)2)	【臨床工学とインドの聖人の教えについて】 教員のトピックを理解できる。	講義	右田
11	1)5)	【人工呼吸とは?】 教員のトピックを理解できる。	講義	戸畑
12	1)5)	【ハイテクとローテク】 世界の医工学のトピックを理解できる。	講義	丹下
13	1)4)5)	【パルスオキシメータについて】 教員のトピックを理解できる。	講義	戸畑
14	1)2)	【こわーいバイ菌の話】 教員のトピックを理解できる。	講義	砂子澤
15	1)	【最新の研究】 教員のトピックを理解できる。	講義	丹下

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **臨床工学演習**

担当者: 丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 選択

単位数: 1

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 演習

授業概要: 臨床工学に必要な医学的・工学的知識を身につけ、第2種ME技術実力検定試験問題を解きながら医療で使用されるさまざまな機器の用語を理解し、説明できることを目的とする。

到達目標: (SBOs) 1)臨床工学に必要な基礎計算力を身につけることができる。
2)臨床工学に必要な基礎生理学について説明できる。
3)臨床工学に必要な臓器と人工臓器について説明できる。
4)MEに必要な臨床工学知識を身につけることができる。
5)MEに必要な医学的知識を身につけることができる。
6)MEの過去問をベースとした臨床工学基礎知識を身につける。

評価方法: 筆記試験、小試験、レポート課題にて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 事前学習として第2種ME実力検定試験の過去問題を配布するため各自学習すること。提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習すること。

オフィスアワー: 月曜～金曜日15:00～17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【臨床工学に関する演習①】 臨床工学で用いる電気数学演習を行い、学生個人の能力を把握する。	演習	丹下
2	2)3)	【臨床工学における医学的知識①】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、特徴を列挙できる。	講義・演習	丹下
3	2)3)	【臨床工学における医学的知識②】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、特徴を列挙できる。	講義・演習	丹下
4	2)3)	【臨床工学における医学的知識③】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、特徴を列挙できる。	講義・演習	丹下
5	2)3)	【臨床工学における医学的知識④】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、特徴を列挙できる。	講義・演習	丹下
6	2)3)	【臨床工学における医学的知識⑤】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、特徴を列挙できる。	講義・演習	丹下
7	2)3)	【臨床工学における医学的知識⑥】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、特徴を列挙できる。	講義・演習	丹下
8	1)	【臨床工学に関する演習②】 電気数学の演習を行い、学生自身が成績向上度を把握する。	演習	丹下
9	2)3)	【臨床工学における医学的知識⑦】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、ME2種の傾向を理解できる。	講義・演習	丹下
10	2)3)	【臨床工学における医学的知識⑧】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、ME2種の傾向を理解できる。	講義・演習	丹下
11	2)3)	【臨床工学における医学的知識⑨】 臨床工学に必要な工学知識について理解し、ME2種の傾向を理解できる。	講義・演習	丹下
12	4)5)6)	【MEに必要な臨床工学①】 演習問題により臨床工学分野に必要な知識をの理解できる。	演習	丹下
13	4)5)6)	【MEに必要な臨床工学②】 演習問題により臨床工学分野に必要な知識をの理解できる。	演習	丹下
14	4)5)6)	【MEに必要な臨床工学③】 演習問題により臨床工学分野に必要な知識をの理解できる。	演習	丹下
15	4)5)6)	【MEに必要な臨床工学③】 演習問題により臨床工学分野に必要な知識をの理解できる。	演習	丹下

教科書： 小野 哲章、堀川 宗之、渡辺 敏、峰島 三千男（編集）：臨床工学技士標準テキスト(第2版増補) 金原出版株式会社

参考書： 使用しない。

科目名: **医用工学**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 医用工学に関する最新のトピックスをそれぞれ担当教員が教授する。また、医用工学に必要な不可欠である物理化学特性について理解する。特に臨床工学では工学知識が必須であり、4年間で学ぶ物理・化学・生物の基本を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 医用工学に必要な工学知識を身につける。
2) 医用工学に必要な物理学特性が理解できる。
3) 医用工学に必要な化学特性について理解できる。
4) 医用工学に必要な電気特性について理解できる。
5) 医用工学に必要な生理学特性について理解できる。

評価方法: 筆記試験にて評価する。

準備学習・履修上の注意等: 準備学習としてそれぞれのテーマに沿ったレポートを提出すること。
1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。

オフィスアワー: 月曜～金曜日15:00～17:00(8号棟2F準備室)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【医用工学について】 医用と工学の融合である医用工学について特徴を理解できる。	講義	丹下
2	1)2)	【力学・機械工学について】 医用工学に必要な力学特性・機械工学特性の基礎について理解できる。	講義	竹澤
3	1)2)3)	【炎光反応について】 医用工学に必要な基礎数学について学習する。	講義	竹澤
4	1)2)	【機械特性について】 医用工学に必要な機械特性について学習する。	講義	丹下
5	1)2)	【医学に用いられる工学について】 医用工学に必要な工学技術について学習する。	講義	丹下
6	1)2)	【波動と音波特性について】 波動について学習する。	講義	砂子澤
7	1)2)	【光特性について】 医療に用いられる生体光特性について学習する。	講義	砂子澤
8	1)4)	【電気特性について①】 生体への電流刺激を体験し、その危険性について理解し説明できる。	講義	戸畑
9	1)4)	【電気特性について②】 電気メスにより肉片を切開や凝固し、高周波電流の特性を理解し切開や凝固のメカニズムの違いを説明できる。	講義	戸畑
10	1)5)	【呼吸特性について】 医用工学で用いられる呼吸特性について説明できる	講義	右田
11	1)5)	【ハイテクとローテクについて】 世界の医工学について特性を説明できる	講義	丹下
12	1)5)	【血液について】 血液の塗抹標本を作製・観察することによって、血液の組成を理解し説明できる。	講義	近藤
13	1)5)	【浸透圧特性について】 食塩水の浸透圧の変化と細胞(赤血球)の形の変化との関係を理解し説明できる。	講義	近藤
14	1)5)	【高気圧環境と生体反応】 高気圧下の酸素分圧と溶解型酸素を理解し、低酸素症について概説する。	講義	右田
15	1)	【医用工学の過去、現在そして未来】 幅広い知識が求められる将来の医用工学について持論を展開できる。	講義	丹下

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **医用工学演習**

担当者: 丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 実際のME機器を使用し、構造・機能を理解する。また、人工臓器について調査し医用工学全般の知識向上を図る。人工臓器は人工心臓・人工腎臓以外に数多く存在する。ここでは、一人に1つの人工臓器を割り当て、それぞれが調査し、プレゼンテーションを行うことで知識の習得・伝達技術を学習する。

到達目標: (SBOs)
1)医用工学に必要な基礎知識を身につけることができる。
2)医用工学のどこに工学が使用されているかについて説明できる。
3)ME機器を分解し、使用されている電子機器および特殊部品の構造について説明できる。
4)人工臓器についてプレゼンテーションを行うことができる。

評価方法: 筆記試験、小試験、レポート課題、プレゼンテーションにて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: MS Power Pointを使用したプレゼンテーションを行うため、各自事前予習・作成すること。提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。講義に際し、1コマ当たり4時間を目安に予習・復習、およびプレゼンテーションを作成すること。

オフィスアワー: 月曜～金曜日15:00～17:00(8号棟2F準備室)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【医用工学について】 医用と工学の融合である医用工学について特徴を理解できる。。	演習	丹下
2	1)2)	【医用工学におけるフローチャートの理解】 血液透析に用いる患者監視装置のフローチャートを理解できる。	講義・演習	丹下
3	2)	【患者監視装置の分解組立て①】 血液透析に用いられる患者監視装置を分解・組立てを行い、構造が理解できる。	講義・演習	丹下
4	2)	【患者監視装置の分解組立て②】 血液透析に用いられる患者監視装置を分解・組立てを行い、構造が理解できる。	講義・演習	丹下
5	2)	【患者監視装置についての理解】 分解・組立てを行った患者監視装置の構造・原理を理解できる。	講義・演習	丹下
6	2)	【医用工学と人工臓器について】 人工臓器を列挙できる。	講義・演習	丹下
7	3)4)	【人工臓器について】 各々に1つの人工臓器をテーマとし、それぞれ調査する。	講義・演習	丹下
8	3)4)	【人工臓器について②】 調査した人工臓器についてプレゼンテーションの準備を行う。	演習	丹下
9	3)4)	【人工臓器について③】 人工臓器についてプレゼンテーションにまとめる。	講義・演習	丹下
10	3)4)	【人工臓器プレゼンテーション①】 各々が調査した人工臓器についてプレゼンテーションを行う。	SGD	丹下
11	3)4)	【人工臓器プレゼンテーション②】 各々が調査した人工臓器についてプレゼンテーションを行う。	SGD	丹下
12	3)4)	【人工臓器プレゼンテーション③】 各々が調査した人工臓器についてプレゼンテーションを行う。	SGD	丹下
13	3)4)	【人工臓器プレゼンテーション④】 各々が調査した人工臓器についてプレゼンテーションを行う。	SGD	丹下
14	3)4)	【人工臓器プレゼンテーション⑤】 各々が調査した人工臓器についてプレゼンテーションを行う。	SGD	丹下
15	3)4)	【人工臓器プレゼンテーション⑥】 各々が調査した人工臓器についてプレゼンテーションを行う。	SGD	丹下

教科書: 使用しない。

参考書： MEの基礎知識と安全管理 改訂第5版（日本生体医工学会ME技術教育委員会）南江堂【4-524-24361-7】
臨床工学技士標準テキスト（小野 哲章・峰島 三千男・堀川 宗之・渡辺 敏）金原出版【4-307-77168-9】

科目名: **生体機能工学**

担当者: 福長 一義(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 選択

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 生体機能代行装置とその周辺技術についての基礎的な知識を習得し、原理を理解することを目標とする。本講義は、受講者がこれまでに学んできた基礎医学と基礎工学の応用分野であり、個々の学問の重要性を再認識し、医用工学の知識体系化を図るための機会とする。また、各論を学ぶために必要となる基礎医用工学を身につける。

到達目標: (SBOs)

- 1) 人工心肺装置の構成要素とキーワードを挙げ、原理、構造、仕組みを説明できる。
- 2) 人工呼吸器の構成要素とキーワードを挙げ、原理、構造、仕組みを説明できる。
- 3) 血液浄化装置の構成要素とキーワードを挙げ、原理、構造、仕組みを説明できる。
- 4) 既に習得した基礎学問の知識を応用できる。
- 5) 基礎科目の重要性を再認識し、自己の到達度を評価できる。(復習につなげる)

評価方法: 授業毎の確認テストにより学習進捗状況を把握し、フィードバックを行う。確認テスト30%、学習への取り組み姿勢(テスト返却の受け取り状況、課題の提出状況)の評価を30%、及び授業中の口頭試問を40%として、単位認定を行う。評価の基準は授業開始日に説明する。

準備学習・履修上の注意等: 生体機能代行装置について復習しておくこと。1回の授業につき60分を目安に予習・復習を行うこと。1回の授業につき復習内容をまとめたマインドマップを作成し、次回の授業前までに提出すること。マインドマップは無地A4サイズに、色ペン5色以上でわかりやすく丁寧に描くこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	4)5)	【生体機能代行装置とは】 生体機能代行装置と臨床工学との関連について学ぶ。	講義	福長
2	1)4)5)	【循環系①】 生体の血液循環、および体外循環について学ぶ。	講義	福長
3	1)4)5)	【循環系②】 血液ポンプの構造、機能および必要性能について学ぶ。	講義	福長
4	1)4)5)	【循環系③】 人工肺の構造、材料および必要性能について学ぶ。	講義	福長
5	1)4)5)	【循環系④】 人工心肺装置の構成要素について学ぶ。	講義	福長
6	2)4)5)	【呼吸系①】 生体の呼吸、および人工呼吸について学ぶ。	講義	福長
7	2)4)5)	【呼吸系②】 血液ガスの正常値、単位、計算方法習得する。	講義	福長
8	2)4)5)	【呼吸系③】 換気と二酸化炭素分圧との関係について学ぶ。	講義	福長
9	2)4)5)	【呼吸系④】 酸素解離曲線と酸素分圧との関係について学ぶ。	講義	福長
10	2)4)5)	【呼吸系⑤】 人工心肺装置の構成要素について学ぶ	講義	福長
11	3)4)5)	【代謝系①】 生体の腎機能、および血液透析について学ぶ	講義	福長
12	3)4)5)	【代謝系②】 グラム当量、浸透圧などの単位、計算方法について学ぶ。	講義	福長
13	3)4)5)	【代謝系③】 透析液の基本的な組成について学ぶ。	講義	福長
14	3)4)5)	【代謝系④】 血液透析装置の構成要素について学ぶ。	講義	福長
15	4)5)	【人工臓器】 人工心臓、人工関節などの人工臓器について学ぶ。	講義	福長

教科書： 臨床工学技士ポケットレビュー帳（福長一義）メジカルビュー【978-4758316873】

参考書： 解剖生理学および生理学で使した教科書を持参すること。

科目名: **画像診断学**

担当者: 吉武 重徳(保・視)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 選択|※2011年度以 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学技士として、必要な医療画像に対する、解剖・生理・病態を理解して、診断から治療にいたる一連の流れを習得する。

到達目標: (SBOs) 1)画像診断に関する基礎:解剖生理学について説明できる。
2)画像より診断を説明できる。
3)画像診断を応用して、治療する疾患と治療方法を説明できる。

評価方法: 授業における教官により行われる質疑応答態度、および毎回の小テストによる評価。

準備学習・履修上の注意等: 授業における内容に対して各回復習を確実にに行い習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。予習復習の時間を1回あたり目安として1時間を確保すること。

オフィスアワー: 毎週月曜日13:00~15:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【X線撮影解剖との関連】 X線撮影画像をみて、どのように画像上、立体が平面画像になるのかを学ぶ。	講義	吉武
2	1)	【X線撮影臨床における応用】 臨床応用を総論的に俯瞰する。特に著しい進歩について学習する。	講義	吉武
3	1)	【CTを読む】 CTスライスから、各臓器の構造を再構築して解剖を理解する。	講義	吉武
4	1)	【超音波画像診断】 超音波画像の原理と臨床応用を学習する。	講義	吉武
5	1)2)	【呼吸器系1】 解剖をよく理解して、X線画像でどのように表現されているのかを考える。	講義	吉武
6	1)2)	【呼吸器系2】 呼吸器系1で学習したことえを踏まえて、病態とあわせて画像診断を考えてみる。	講義	吉武
7	1)2)	【呼吸器系3】 呼吸器系1、2とあわせて、3D上で、同様に画像が構築され、病態と結びつのか考える。	講義	吉武
8	1)2)	【循環器系1】 心臓・大血管系の解剖を考え、X線、CTではどのように正常構造が描かれるかを学習する。	講義	吉武
9	1)2)	【循環器系2】 循環器系1を踏まえ、病態とあわせて考え学習する。	講義	吉武
10	1)2)3)	【循環器系3】 循環器系1、2を踏まえ、画像上での治療効果の判定の利点と限界を学習する。	講義	吉武
11	1)2)	【腹部臓器1】 腹部臓器の解剖を考え、X線、CTではどのように正常構造が描かれるかを学習する。	講義	吉武
12	1)2)3)	【腹部臓器2】 腹部臓器1を踏まえ、病態とあわせて考え学習する。	講義	吉武
13	1)2)	【脊髄・脳神経1】 脊髄・脳神経の解剖を考え、X線、CTではどのように正常構造が描かれるかを学習する。	講義	吉武
14	1)2)3)	【脊髄・脳神経2】 脊髄・脳神経1を踏まえ、病態とあわせて考え学習する。	講義	吉武
15	1)2)	【MRI】 原理とその表現について、臨床工学科学学生として、重要となる部分を学習する。	講義	吉武

教科書： 診断画像解剖学テキスト（小谷 正彦）文光堂【978-4830-64211-1】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体計測装置学 I**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)

配当学科: 臨床工学科(1年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学領域の中の生体計測では、いかに患者の医療データを歪みなく、しかも精度良く検出することができるか、またその装置が安全性と信頼性を十分に兼ね備えているかを評価することが重要である。医療機器は広範囲の分野におよび、各分野の基礎知識に始まり総合的な知識が要求される。生体計測装置学 I では、生体計測用機器の基礎特性について学ぶことを目的とする。

到達目標: (SBOs)
1)生体計測論について説明できる。
2)生体計測装置の基本構成について説明できる。
3)生体計測法について説明できる。
4)生体計測装置の原理・構造を説明できる。
5)生体計測装置の取扱と注意点を列挙し説明できる。
6)生体計測装置の保守管理について説明できる。
7)生体計測装置を正確かつ安全に操作できる。

評価方法: 筆記試験(60%)、小試験(20%)、レポート課題(20%)にて総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守し、授業日前までに授業内容の予習および授業後には復習を最低1時間は行うこと。また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日12:00~13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【生体計測の基礎1】 誤差・基本単位・組立単位・接頭語等、生体計測論について説明できる。	講義	砂子澤
2	1)	【生体計測の基礎2】 有効数字、生体計測の統計処理等、生体計測の基礎について説明できる。	講義	砂子澤
3	2)3)	【生体情報計測1】 生体計測装置の基本構成について説明できる。	講義	砂子澤
4	2)3)	【生体情報計測2】 生体用電極・分極・インピーダンスについて説明できる。	講義	砂子澤
5	2)3)	【生体情報計測3】 生体計測用増幅器(入力インピーダンス・差動増幅器・弁別比・感度・周波数特性等)について説明できる。	講義	砂子澤
6	2)3)	【生体情報計測4】 生体信号と雑音対策について説明できる。	講義	砂子澤
7	2)3)	【生体情報計測5】 生体信号変換処理技術(AD変換・サンプリング周波数・標準化・加算平均法等)について説明できる。	講義	砂子澤
8	2)3)	【生体用フィルターとシールド】 生体用フィルターの特性およびシールド法について説明できる。	講義	砂子澤
9	2)3)	【生体計測用センサ】 圧力・温度・光・磁気等、各種生体計測用センサについて説明できる。	講義	砂子澤
10	4)~7)	【生体計測機器の測定条件】 心電計・脳波計・筋電計・心音計・眼振計等、生体計測機器の測定条件について説明できる。	講義	砂子澤
11	4)~7)	【生体電気現象の計測】 心電計・医用テレメータ・脳波計・筋電計・眼振計等の特性について説明できる。	講義	砂子澤

12	4)~7)	【生体物理・化学現象の計測1】 心音計・脈波計・容積脈波計・血流計等の特性について説明できる。	講義	砂子澤
13	4)~7)	【生体物理・化学現象の計測2】 血圧計・呼吸流量計・血液ガス分析装置・体温計等の特性について説明できる。	講義	砂子澤
14	4)~7)	【医用画像診断装置1】 超音波診断装置の特性について説明できる。	講義	砂子澤
15	4)~7)	【医用画像診断装置2】 X線CT・MRI・PET・SPECT等の特性について説明できる。	講義	砂子澤

教科書： 臨床工学講座 生体計測装置学（編集 石原 謙）医歯薬出版【4-263-73406-3】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体計測装置学Ⅱ**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 生体計測装置は単体で使用するもの、治療機器と共に使用するもの、ICUやCCUあるいは手術室などで医療システムの中に組み込まれて使用するものなど極めてその使用範囲は広い。生体計測装置学Ⅱでは、生体計測装置の基礎的な原理・構造は無論、生体という計測対象の特異性について、また変動する測定データの評価方法について理解し説明できることを目的とする。また、生体計測装置の特性について理解し、SGDによるプレゼンテーション発表も行う。

到達目標: (SBOs)

- 1) 生体情報計測法と臨床的意義について説明できる。
- 2) 生体計測装置の構成および情報処理技術について説明できる。
- 3) 循環器系計測装置の特性を説明し、データ評価できる。
- 4) 脳・神経・筋系計測装置の特性を説明し、データ評価できる。
- 5) 呼吸器系計測装置の特性を説明し、データ評価できる。
- 6) 画像診断計測装置の特性を説明し、データ評価できる。
- 7) 生体計測装置の保守管理について説明できる。
- 8) 生体計測装置の取扱と注意点を列挙し説明できる。
- 9) 生体計測装置を正確かつ安全に操作できる。
- 10) 生体計測装置の特性を調査し、プレゼンテーション発表できる。

評価方法: 筆記試験(40%)、プレゼンテーション(40%)、小試験(10%)、レポート課題(10%)にて総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守し、授業日前までに授業内容の予習および授業後には復習を最低1時間は行うこと。また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日12:00~13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)10)	【生体計測法と生体計測機器概論】 生体計測法と臨床的意義について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
2	1)2)10)	【生体情報計測】 生体計測装置の構成・増幅・変換処理技術・雑音対策等について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
3	3)8)9)10)	【心電計・心電図モニター・ホルタ心電計・心音計他】 心電計・心電図モニター・ホルタ心電計・心音計等、循環器系計測機器について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
4	3)8)9)10)	【脈波計・容積脈波計】 脈波計・容積脈波計等、生体の物理・化学現象について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
5	3)8)9)10)	【血圧計】 観血式・非観血式血圧測定法・その他の血圧測定法について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
6	3)8)9)10)	【血流計】 心拍出量計・電磁血流計・超音波血流計等、血流測定法について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
7	4)8)9)10)	【脳波計・大脳誘発電位計・聴性脳幹反応他】 脳波計・大脳誘発電位計・聴性脳幹反応等、脳・神経・筋系計測機器について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
8	4)8)9)10)	【筋電計・誘発筋電計他】 筋電計・誘発筋電計等、脳・神経・筋系計測機器について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
9	5)8)9)10)	【呼吸計測装置1】 スパイロメータ・呼吸流量計等、呼吸器系計測機器について説明できる。	講義・SGD	砂子澤
10	5)8)9)10)	【呼吸計測装置2】 血液ガス分析・パルスオキシメータ・カプノメータ等、呼吸器系計測機器について説明できる。	講義・SGD	砂子澤

- | | | |
|----|---|------------|
| 11 | 6)8)9)10) 【医用赤外線画像装置・体温計】
生体温計測法について説明できる。 | 講義・SGD 砂子澤 |
| 12 | 6)8)9)10) 【超音波診断装置】
超音波診断装置による画像診断法について説明できる。 | 講義・SGD 砂子澤 |
| 13 | 6)8)9)10) 【生体磁気計測】
心磁図・脳磁図・肺磁図等、生体磁気計測について説明できる。 | 講義・SGD 砂子澤 |
| 14 | 6)8)9)10) 【X線CT・MRI他】
X線CT・MRI等、医用画像診断装置について説明できる。 | 講義・SGD 砂子澤 |
| 15 | 7)8)9)10) 【生体計測機器の保守管理】
生体計測機器の外観・作動・機能点検等、保守点検・保守管理について説明できる。 | 講義・SGD 砂子澤 |

教科書： 臨床工学講座 生体計測装置学（編集 石原 謙）医歯薬出版【4-263-73406-3】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体計測装置学演習**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 選択※2011年度以 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 生体計測装置学演習では、生体計測機器について原理・構造等の理解を深め、正確かつ安全な生体計測のための基礎的知識・技術および生体計測装置・治療装置などの相互干渉などについて理解し説明できることを目的とする。また、診断用計測装置とモニタリング装置の相違点についても学ぶ。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 生体計測装置の基礎について説明できる。
 - 2) 生体計測装置の情報処理技術について説明できる。
 - 3) 循環器系計測装置の原理・構造について説明できる。
 - 4) 呼吸器系計測装置の原理・構造について説明できる。
 - 5) 脳・神経・筋系計測装置の原理・構造について説明できる。
 - 6) 画像診断計測装置の原理・構造について説明できる。
 - 7) 検体計測装置の原理・構造について説明できる。
 - 8) 生体計測装置の保守管理について説明できる。
 - 9) 生体計測装置の取扱と注意点を列挙し説明できる。
 - 10) 生体計測装置を正確かつ安全に操作できる。

評価方法: 筆記試験(60%)、小試験(20%)、レポート課題(20%)にて総合的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守し、授業日前までに授業内容の予習および授業後には復習を最低1時間は行うこと。また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日12:00~13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【生体計測機器の基礎】 生体計測機器の基礎計測論について説明できる。	講義・演習	砂子澤
2	2)	【生体情報計測法】 生体計測機器の構成・増幅・変換処理技術・雑音対策等について説明できる。	講義・演習	砂子澤
3	3)9)10)	【循環器系計測機器の構成と原理1】 心電図・医用テレメータ・心音図等について説明できる。	講義・演習	砂子澤
4	3)9)10)	【循環器系計測機器の構成と原理2】 血圧計(観血式・非観血式・その他)について説明できる。	講義・演習	砂子澤
5	3)9)10)	【循環器系計測機器の構成と原理3】 血流計測法について説明できる。	講義・演習	砂子澤
6	4)9)10)	【呼吸器系計測機器の構成と原理1】 呼吸モニタ等、呼吸器系計測機器について説明できる。	講義・演習	砂子澤
7	4)9)10)	【呼吸器系計測機器の構成と原理2】 血液ガス分析装置等、呼吸器系計測機器について説明できる。	講義・演習	砂子澤
8	5)9)10)	【脳・神経・筋系計測機器の構成と原理1】 脳波・大脳誘発電位等、脳・神経・筋系計測機器について説明できる。	講義・演習	砂子澤
9	5)9)10)	【脳・神経・筋系計測機器の構成と原理2】 筋電図・誘発筋電図等、脳・神経・筋系計測機器について説明できる。	講義・演習	砂子澤
10	6)9)10)	【医用画像計測機器の構成と原理1】 サーモグラフィ等、医用画像計測機器について説明できる。	講義・演習	砂子澤
11	6)9)10)	【医用画像計測機器の構成と原理2】 体温計測・体温計(電子体温計・深部体温計等)・サーミス	講義・演習	砂子澤

タ等について説明できる。

- | | | | |
|----|---------|---|-----------|
| 12 | 6)9)10) | 【超音波診断装置の構成と原理】
超音波診断装置について説明できる。 | 講義・演習 砂子澤 |
| 13 | 7) | 【検体計測装置の構成と原理】
自動分析化学装置・吸光光度計等、検体計測装置について説明できる。 | 講義・演習 砂子澤 |
| 14 | 8) | 【生体計測機器の保守管理】
生体計測機器の外観・作動・機能点検等、保守点検・保守管理について説明できる。 | 講義・演習 砂子澤 |
| 15 | 9)10) | 【新しい医用生体計測機器】
最新の医用生体計測機器について説明できる。 | 講義・演習 砂子澤 |

教科書： 臨床工学講座 生体計測装置学（編集 石原 謙）医歯薬出版 【4-263-73406-3】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体計測装置学実習**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)、右田 平八(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 前期 授業形態: 実習

授業概要: 臨床工学技士業務では、生命維持管理装置に関連した患者生体情報の検出と評価は極めて重要な技量の一つである。患者生体情報は精度よく正確に検出し、適切に対応することが臨床工学技士の役割でもある。本実習では、臨床で実際に使用されている生体計測装置を取扱い、各計測装置の原理および操作方法・保守管理を実践的に習得することを目的とする。

到達目標: (SBOs)
1) 計測機器の各種名称と役割を説明できる。
2) 計測機器の作動原理と使用目的を説明できる。
3) 取扱と注意点を理解し、具体的に説明できる。
4) 計測データについて理解し、評価できる。
5) 計測機器を確実に操作できる。

評価方法: 筆記試験(40%)、小試験(20%)、レポート課題(40%)にて総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守し、実習日前までに実習内容の予習および実習後には復習を最低1時間は行うこと。また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日12:00～13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【全体説明会】 計測機器備品管理および事前学習・レポートの書き方を習得できる。	実習	砂子澤・右田
2	2)～5)	【血圧計測実習Ⅰ】 聴診法、オシロメトリック法、容積脈波法、トノメトリ法等の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
3	2)～5)	【血圧計測実習Ⅱ】 聴診法、オシロメトリック法、容積脈波法、トノメトリ法等の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
4	2)～5)	【心電図・心電図モニタ計測実習Ⅰ】 各誘導法、心電図解析、モニタ電極の装着等の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
5	2)～5)	【心電図・心電図モニタ計測実習Ⅱ】 各誘導法、心電図解析、モニタ電極の装着等の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
6	2)～5)	【呼吸計測装置実習Ⅰ】 スパイロメータによる肺気量分画、肺機能疾患の評価の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
7	2)～5)	【呼吸計測装置実習Ⅱ】 カプノメータによる呼気炭酸ガス分圧の測定および評価の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
8	2)～5)	【呼吸計測装置実習Ⅲ】 パルスオキシメータによる酸素飽和度の測定および評価の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
9	2)～5)	【熱画像計測実習Ⅰ】 サーモグラフィによる熱画像計測の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
10	2)～5)	【熱画像計測実習Ⅱ】 サーモグラフィによる熱画像計測の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
11	2)～5)	【自律神経系計測実習Ⅰ】 周波数スペクトル解析による自律神経系の評価の実際と技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
12	2)～5)	【自律神経系計測実習Ⅱ】 周波数スペクトル解析による自律神経系の評価の実際と技術を	実習	砂子澤・右田

習得できる。

13	2)~5)	【超音波診断装置実習Ⅰ】 超音波診断装置による心臓断層像計測の実際と評価、技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
14	2)~5)	【超音波診断装置実習Ⅱ】 超音波診断装置による心臓断層像計測の実際と評価、技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田
15	2)~5)	【超音波診断装置実習Ⅲ】 超音波診断装置による腹部断層像計測の実際と評価、技術を習得できる。	実習	砂子澤・右田

教科書： 臨床工学講座 生体計測装置学（編集 石原 謙）医歯薬出版【4-263-73406-3】
別途、実習書およびプリントを配布

参考書： 使用しない。

科目名: **臨床検査機器学**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床検査機器学では、生体を医学的に診断・治療を目的に検査を行うための、検査理論を基礎として学ぶ。臨床検査機器の構成、生体の電気現象、化学・物理現象の基礎と計測、物理エネルギーを外部から与えた場合の生体計測および臨床検査機器の保守管理について講義を行う。将来必要な臨床で使用される臨床検査機器について、目的、測定法、臨床的意義等を理解し、臨床検査データ解釈についても説明出来ることを目的とする。

到達目標: (SBOs)

- 1) 臨床検査の基礎理論について説明できる。
- 2) 臨床検査の臨床的意義を説明できる。
- 3) 臨床検査の実際と臨床応用について説明できる。
- 4) 臨床検査の臨床的解釈について説明できる。
- 5) 臨床検査機器の取扱・注意点について説明できる。
- 6) 臨床検査機器を正確かつ安全に操作できる。
- 7) 患者データを読解できる。

評価方法: 筆記試験(60%)、小試験(20%)、レポート課題(20%)にて総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守し、授業日前までに授業内容の予習および授業後には復習を最低1時間は行うこと。また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日12:00~13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【臨床検査機器総論】 臨床検査の臨床的意義および臨床検査機器について説明できる。	講義	砂子澤
2	1)	【Vital signs】 Vital signs(体温・脈拍・呼吸・血圧・意識レベル)について説明できる。	講義	砂子澤
3	2)~6)	【一般臨床検査】 尿検査・尿試験紙検査(蛋白・糖・沈渣他)・糞便・脳脊髄液・胸水・腹水・喀痰・分泌液等の検体検査について説明できる。	講義	砂子澤
4	2)~6)	【血液学的検査】 血球数(赤血球・白血球・血小板)・末梢血液像・凝固線溶系検査について説明できる。	講義	砂子澤
5	2)~6)	【生化学的検査】 糖・蛋白・各種電解質・各種血清酵素等の検査について説明できる。	講義	砂子澤
6	2)~6)	【免疫学的検査】 感染症・アレルギー・免疫グロブリン・血液型・HBV・HCV・HIV・輸血検査等の検査について説明できる。	講義	砂子澤
7	2)~6)	【心機能検査】 心電図・心音図・心臓カテーテル検査の原理・応用・臨床的解釈・臨床応用について説明できる。	講義	砂子澤
8	2)~6)	【血流測定】 生体内の血流測定法の原理・応用・臨床的解釈・臨床応用について説明できる。	講義	砂子澤
9	2)~6)	【超音波診断装置】 心臓エコー、腹部エコーの原理・応用・臨床的解釈・臨床応用について説明できる。	講義	砂子澤
10	2)~6)	【呼吸機能検査】 呼吸調節・換気機能・ガス交換機能等の呼吸機能検査機器の原理・応用・臨床的解釈・臨床応用について説明できる。	講義	砂子澤
11	2)~6)	【血液ガス分析】 血液ガス分析装置の原理・応用・臨床的解釈・臨床応用について説明できる。	講義	砂子澤

12	2)~6)	【神経・筋機能検査】 脳波・筋電図等の原理・応用・臨床的解釈・臨床応用について説明できる。	講義	砂子澤
13	2)~6)	【画像診断検査】 単純X線撮影・CT・MRI・核医学検査等の原理・応用・臨床的解釈・臨床応用について説明できる。	講義	砂子澤
14	2)~6)	【臨床検査領域における感染症対策】 微生物・ウイルス等による臨床検査領域における感染症対策について説明できる。	講義	砂子澤
15	7)	【臨床検査データ読解】 臨床検査データから患者情報について説明できる。	講義	砂子澤

教科書： 標準臨床検査医学第4版（高木康・山田俊幸）医学書院【4-260-01600-1】

参考書： 使用しない。

科目名: **医用治療機器学**

担当者: 右田 平八(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 医用治療機器学では、臨床利用されている医用治療機器の原理・構造・治療条件・操作法等について基本的概念を習得する。また医用治療機器は、効果と同時に安全性が優先されることから、運用上での落とし穴や、不具合が生じた場合の発見方法、緊急時を含む対処方法を、保守点検方法を習得する。

到達目標: (SBOs)
1) 医用治療機器の作用と治療効果を説明できる。
2) 医用治療機器の原理・構造を説明できる。
3) 医用治療機器の取扱と注意点を列挙し説明できる。
4) 医用治療機器の保守管理について説明できる。
5) 医用治療機器を正確かつ安全に操作できる。

評価方法: 筆記試験、小試験、レポート課題にて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業に際しては、シラバスを確認して90分を目安に予習・復習を行うこと。
毎授業後にレポートをまとめ、提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。

オフィスアワー: 毎週木曜日18:00～19:00 1号棟B340

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)～5)	【医用治療機器概論】 医用治療機器の基礎を理解できる。	講義	右田
2	1)～5)	【ペースメーカ】 ペースメーカの原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
3	1)～5)	【除細動器】 除細動器の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
4	1)～5)	【電気メス】 電気メスの原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
5	1)～5)	【電磁波治療器】 電磁波治療器の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
6	1)～5)	【レーザー手術装置】 レーザー手術装置の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
7	1)～5)	【内視鏡手術装置】 内視鏡手術装置の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
8	1)～5)	【熱治療機器】 熱治療機器の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
9	1)～5)	【超音波吸引装置】 超音波吸引装置の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
10	1)～5)	【光凝固装置】 光凝固装置原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
11	1)～5)	【冷凍手術装置】 冷凍手術装置の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
12	1)～5)	【機械的治療機器】 機械的治療機器の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
13	1)～5)	【結石破碎装置】 結石破碎装置の原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
14	1)～5)	【輸液ポンプ】 輸液ポンプの原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田
15	1)～5)	【シリンジポンプ】 シリンジポンプの原理・構造・操作・保守管理方法を説明できる。	講義	右田

教科書: 臨床工学講座 医用治療機器学 (編集 篠原 一彦) 医歯薬出版 【4-263-73400-1】

参考書： 使用しない。

科目名: **医用治療機器学演習**

担当者: 右田 平八(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 選択 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 医用治療機器の原理、臨床での具体的な使用方法、保守点検、安全対策などの基本知識を学び、将来の臨床業務に役立てるように習得する。本講義で与えられた課題を考察し、次の実習へと継続させていく。また、臨床工学士国家試験、ME1種、2種技術実力検定試験を見据えての演習も習得する。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 医用治療機器の基礎、作用と副作用と治療に用いる物理エネルギーの種類と特性を説明できる。
 - 2) ペースメーカーの原理・構造・操作・保守管理について説明できる。
 - 3) 除細動器の原理・構造・操作・保守管理、目的や適応症、不整脈について説明できる。
 - 4) 電気メスの原理・構造・操作・保守管理、歴史、基礎、事故と安全対策等について説明できる。
 - 5) マイクロ波手術装置の原理・構造・操作・保守管理、歴史等について説明できる。
 - 6) レーザ治療の変遷や基礎知識、装置の原理・構造・保守管理について説明できる。
 - 7) 内視鏡の歴史と概要、原理と構造・保守管理、内視鏡による診断と治療について説明できる。
 - 8) 内視鏡外科手術装置の機器の原理・構造・操作・保守管理、留意点について説明できる。
 - 9) 超音波の性質、発生法、医療への応用と超音波吸引装置の原理・構造・操作・保守管理について説明できる。
 - 10) 超音波凝固切開装置の原理・構造・操作・保守管理、適応と対象疾患について説明できる。
 - 11) 冷凍手術の作用機序と治療の特徴、冷凍手術器の原理・構造・操作・保守管理について説明できる。
 - 12) ハイパーサーミア(癌温熱療法)装置についての理工学的基礎と生物学的基礎について説明できる。
 - 13) 体外衝撃波結石砕石術の原理・構造・操作・保守管理について説明できる。
 - 14) 輸液ポンプの構成と分類、流量の制御方式、使用手順、原理・構造・操作・保守管理について説明できる。
 - 15) 心血管系インターベンションの目的と歴史・臨床及び使用機器と方法、また、吸引器の種類と目的について説明できる。

評価方法: 筆記試験、小試験、レポート課題にて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 臨床の実際についてはスライドにて説明する。1コマ当たり90分を目安に教科書の予習をし、講義後は質問できるように復習を必ず行うこと。提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。

オフィスアワー: 毎週木曜日18:00~19:00 1号棟B340

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【医用治療機器概論】治療の基礎、作用と副作用と治療に用いる物理エネルギーの種類と特性を説明できる。	講義・演習	右田
2	1)2)	【ペースメーカー】ペースメーカーの原理・構造・操作・保守管理について、歴史・周辺機器を説明できる。	講義・演習	右田
3	3)	【除細動器】除細動器(AEDを含む)の原理・構造・操作・保守管理、目的や適応症、不整脈について説明できる。	講義・演習	右田
4	4)	【電気メス】電気メスの原理・構造・操作・保守管理、歴史、基礎、事故と安全対策等について説明できる。	講義・演習	右田
5	5)	【マイクロ波手術装置】マイクロ波手術装置の原理・構造・操作・保守管理、歴史等について説明できる。	講義・演習	右田
6	6)	【レーザー手術装置】レーザー手術装置において、レーザー治療の変遷や基礎知識、装置の原理・構造・保守管理について説明できる。	講義・演習	右田
7	7)	【内視鏡】内視鏡の歴史と概要、原理と構造・保守管理、内視鏡による診断と治療について説明できる。	講義・演習	右田
8	8)	【内視鏡外科手術装置】内視鏡外科手術装置の機器の原理・構造・操作・保守管理、留意点について説明できる。	講義・演習	右田
9	9)	【超音波吸引装置】超音波の性質、発生法、医療への応用と超音波吸引装置の原理・構造・操作・保守管理について説明できる。	講義・演習	右田
10	10)	【超音波凝固切開装置】超音波凝固切開装置の原理・構造・操作・保守管理、適応と対象疾患について説明できる。理解する。	講義・演習	右田
11	11)	【熱治療装置】冷凍手術の作用機序と治療の特徴、冷凍手術器の原理・構造・操作・保守管理について説明できる。	講義・演習	右田
12	12)	【ハイパーサーミア】ハイパーサーミア(癌温熱療法)装置についての理工学的基礎と生物学的基礎について説明できる。	講義・演習	右田

- 13 13) 【結石破石装置】体外衝撃波結石碎石術の原理・構造・操作・保守管理について説明できる。 講義・演習 右田
- 14 14) 【輸液ポンプ】輸液ポンプの構成と分類、流量の制御方式、使用手順、原理・構造・操作・保守管理について説明できる。 講義・演習 右田
- 15 15) 【心血管系インターベンション・吸引器】心血管系インターベンションの目的と歴史・臨床及び使用機器と方法について理解する。また、吸引器の種類と目的について説明できる。 講義・演習 右田

教科書： 臨床工学講座 医用治療機器学 監修 日本臨床工学技士教育施設協議会 編集 篠原 一彦 医歯薬出版株式会社【978-4-263-73400-1】

参考書： MEの基礎知識と安全管理 監修 (社)日本エム・イー学会ME技術教育研究会 南江堂【4-524-22408-4】

科目名: 医用治療機器学実習

担当者: 砂子澤 裕(保・工)、右田 平八(保・工)・外部講師

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 本実習は、生体の治療を目的とした治療機器である除細動器・ペースメーカー・電気メス・IABP・輸液ポンプ・シリンジポンプ・保育器・急性血液浄化治療・心臓カテーテル治療等の構造・原理・保守管理を中心に実習を行う。また、医用治療機器による事故症例について症例検討会によるプレゼンテーション発表も行う。

到達目標: (SBOs)

- 1) 医用治療機器の各種名称と役割を説明できる。
- 2) 治療機器の作動原理と使用目的を説明できる。
- 3) 取扱と注意点を理解し具体的に説明できる。
- 4) 副作用を概説できる。
- 5) 治療機器を確実に操作できる。

評価方法: 筆記試験(40%)、小試験(20%)、レポート課題(40%)にて総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守し、実習日前までに実習内容の予習および実習後には復習を最低1時間は行うこと。また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日12:00～13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【全体説明会】 治療機器備品管理および事前学習・レポートの書き方を習得する。	実習	砂子澤・右田
2	2)～5)	【除細動器実習】 除細動器の実際と保守管理技術を習得する。	実習	砂子澤・右田
3	2)～5)	【ペースメーカー実習】 ペースメーカーの実際と保守管理技術を習得する。	実習	砂子澤・右田
4	2)～5)	【電気メス実習】 電気メスの実際と保守管理技術を習得する。	実習	砂子澤・右田
5	2)～5)	【IABP実習】 IABPの実際と保守管理技術を習得する。	実習	砂子澤・右田
6	2)～5)	【輸液ポンプ実習】 輸液ポンプの実際と保守管理技術を習得する。	実習	砂子澤・右田
7	2)～5)	【シリンジポンプ実習】 シリンジポンプの実際と保守管理技術を習得する。	実習	砂子澤・右田
8	2)～5)	【急性血液浄化療法実習】 急性血液浄化療法の実際および患者管理技術を習得する。	実習	外部講師
9	2)～5)	【低圧持続吸引器実習】 低圧持続吸引器の実際と保守管理技術を習得する。	実習	外部講師
10	2)～5)	【医用治療機器と保守管理実習】 臨床使用される医用治療機器と保守管理技術を習得する。	実習	外部講師
11	2)～5)	【心臓カテーテル検査実習】 心臓カテーテル検査の実際技術を習得する。	実習	外部講師
12	2)～5)	【AED・除細動器実習】 AED・除細動器の実際技術を習得する。	実習	外部講師
13	2)～5)	【医用テレメータ・EMC実習】 医用テレメータ・EMCの実際技術を習得する。	実習	外部講師
14	3)4)	【事件事例と症例検討会1】 医用治療機器による事故症例を挙げ、その問題点・対処法を自己で考え理解し、プレゼンテーションにて説明・発表できる。	SGD	砂子澤・右田・外部講師
15	3)4)	【事件事例と症例検討会2】 医用治療機器による事故症例を挙げ、その問題点・対処法を自己で考え理解し、プレゼンテーションにて説明・発表できる。	SGD	砂子澤・右田・外部講師

教科書： 臨床工学講座医用治療機器学（編集 篠原 一彦）医歯薬出版【4-263-73400-1】
別途、実習書およびプリントを配布

参考書： 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学 I**

担当者: 丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 血液透析を主体とした血液浄化療法の、工学的な手技手法ならびに医学面での諸問題を講義する。血液透析とはどのようなものか、具体的にどのような方法で行い、治療を受ける患者はどのような状態になっているのかを習得する。臨床ビデオ、実際に使用する器具を用いた講義内容であり、将来臨床工学技士を目指す学生、医療系企業への就職を希望する学生双方に役立つ内容で構成し、血液透析全般について理解・説明ができる。

到達目標: (SBOs) 1)血液透析の原理について説明できる。
2)工学的手法を用いた血液透析の原理について説明できる。
3)透析膜の特徴・溶質除去について説明できる。
4)血液透析の歴史について説明できる。
5)血液透析の手技について説明できる。
6)透析中のトラブルおよび合併症について説明できる。
7)透析液ライン(配管)の現状および細菌について説明できる。
8)血液浄化療法について説明できる。

評価方法: レポート、小テスト、期末試験の点数で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 準備学習としてレポートを提出する。
1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。
提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。

オフィスアワー: 月曜～金曜日15:00～17:00(8号棟2F準備室)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【血液透析とは】 1年次での病院見学を思い出すため、血液透析の実際についてビデオで確認を行う。透析の現状についても学習する。	講義・SGD	丹下
2	1)	【血液透析の物理学】 透析で行われている工学的現象について、理解する。総括物質移動係数、境界層など、高度な工学的知識を学ぶ。	講義・演習	丹下
3	1)2)3)	【透析膜と溶質透過性】 市販透析膜の特徴、型分類、溶質除去について学習する。	講義	丹下
4	1)4)	【血液透析の実際】 透析が現状に至った歴史も含めて、現在の透析方法について理解する。	講義・SGD	丹下
5	1)3)5)	【血液透析手技】 透析準備、透析開始、透析中のトラブル、終了操作、後片付けといった一連の動作について学習する。	講義	丹下
6	1)6)	【血液透析施行での諸問題】 透析中起こりうる不均衡症候群、クロッティング、リーク、エア混入などについて、その原因と対処法を学ぶ。実践医療で不可欠な内容である。	講義	丹下
7	7)	【透析液ライン管理方法】 臨床工学技士業務の中心となるライン管理について学習する。細菌繁殖、洗浄方法、分析方法の具体的方法を習得する。	講義	丹下
8	1)2)	【腹膜透析法と合併症】 血液透析以外の慢性腎不全対策として、腹膜透析療法がある。この回では腹膜透析の方法、実際の操作について学習する。	講義	丹下
9	6)	【臨床上の諸問題－長期透析患者】 日本の透析レベルは世界最高であり、長期透析患者が多い。しかし、骨障害など多くの合併症を抱えることがあるため、その原因と対策について学ぶ。	講義	丹下
10	6)	【臨床上の諸問題－高齢者・DM】 1年次に学習した患者心理ビデオを元に、高齢透析患者や糖尿病性腎症患者への接し方、患者の心理、医療者としての心構えを学習する。	講義・SGD	丹下
11	8)	【臨床検査データ】 透析患者の臨床データについて学び、患者指導における注意点を把握する。	講義	丹下

12	2)3)	<p>【プールモデル】 生体内をプールに見立てたプールモデルは、薬剤投与でよく用いられるが、血液透析でもプールモデルを用いて体内溶質挙動を推測することが可能である。とくに、透析指標としてのK_t/Vはプールモデルが元となっており、工学的な意味を学習することは重要であり、工学者としての知識を習得することを目的とする。</p>	講義・演習	丹下
13	8)	<p>【血液浄化療法(血漿交換・吸着)-1】 他の血液浄化療法として行われている血漿交換、免疫吸着について学習する。</p>	講義	丹下
14	8)	<p>【血液浄化療法(血漿交換・吸着)-2】 13回同様、他の血液浄化療法として行われている血漿交換、免疫吸着について学習する。</p>	講義	丹下
15	8)	<p>【将来の血液浄化療法】 患者サイドにたつて、これからの血液透析はどうあるべきかを考える。単に一般的知識を述べるのではなく、自らの考えを披露して明日を担う臨床工学者としての意見を確立する。</p>	SGD	丹下

教科書： 臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法（編集 竹澤真吾・出淵靖志）医歯薬出版【4-263-73408-7】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学Ⅱ**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 生体機能代行装置学Ⅱでは、心臓のポンプ作用が停止している間の全身臓器への血液灌流・酸素供給・炭酸ガスの排泄機能を代行させる体外循環装置の原理・構造・操作法・患者管理・保守管理について理解し説明できることを目的とする。また、補助循環・人工心臓等、体外循環の最新の進歩と派生する諸問題についても講義を行う。

到達目標: 1)人工心肺装置の背景と装置の変遷を説明できる。
(SBOs) 2)作動原理と制御装置について説明できる。
3)各種デバイスについて説明できる。
4)パラメータについて理解し、適切に評価できる。
5)使用薬剤の目的と作用について概説できる。

評価方法: 筆記試験(60%)、小試験(20%)、レポート課題(20%)にて総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守し、授業日前までに授業内容の予習および授業後には復習を最低1時間は行うこと。また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日12:00～13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【体外循環技術概論】 体外循環の歴史・心臓生理・解剖について説明できる。	講義	砂子澤
2	2)3)	【体外循環装置の基本構成】 体外循環装置の回路構成について説明できる。	講義	砂子澤
3	2)3)	【血液ポンプ】 ローラポンプ・遠心ポンプ等の特性について説明できる。	講義	砂子澤
4	2)3)	【人工肺】 人工肺の種類・構造等、特性について説明できる。	講義	砂子澤
5	2)~4)	【体外循環の病態生理1】 体外循環中の適正灌流量・灌流圧・静脈血酸素飽和度・各臓器への影響について説明できる。	講義	砂子澤
6	2)~4)	【体外循環の病態生理2】 血液希釈・低体温による影響および血液に及ぼす影響について説明できる。	講義	砂子澤
7	2)~4)	【体外循環の病態生理3】 体外循環中のモニタリング項目(動脈圧・中心静脈圧・体温等)について説明できる。	講義	砂子澤
8	2)~5)	【体外循環操作技術1】 体外循環充填液および抗凝固剤・中和剤・取扱について説明できる。	講義	砂子澤
9	2)~5)	【体外循環操作技術2】 充填薬液予定表の作成について説明できる。	講義	砂子澤
10	2)~5)	【体外循環操作技術3】 心筋保護法と心筋保護装置について説明できる。	講義	砂子澤
11	2)~5)	【体外循環操作技術4】 体外循環の脱血・送血法および体外循環装置の操作法・離脱法について説明できる。	講義	砂子澤
12	2)~5)	【体外循環における事故と安全対策】 体外循環の安全管理とトラブルシューティングについて説明できる。	講義	砂子澤
13	2)~5)	【体外循環装置の保守管理】 体外循環装置の保守管理について説明できる。	講義	砂子澤
14	2)~5)	【補助循環と人工心臓】 IABP・PCPS・VAD等について説明できる。	講義	砂子澤

体外循環の最新の進歩と派生する諸問題について説明できる。

教科書: 臨床工学講座 体外循環装置 (見目 恭一・福長 一義 編著) 医歯薬出版 【4-263-73411-7】
最新 人工心肺 理論と実際 第5版 (上田 裕一・碓氷 章彦 編) 名古屋大学出版会 【4-8158-0864-8】

参考書: 使用しない。

科目名: 生体機能代行装置学Ⅲ

担当者: 右田 平八(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 人工呼吸療法や酸素療法を学ぶうえで、呼吸器の解剖、生理の理解は欠かせない。そこで呼吸器の解剖、生理を基盤として、人工呼吸療法や酸素療法の原理、ならびにそれらの有用性と適応疾患に関する知識を深める。また、人工呼吸療法や酸素療法で使用する装置とともに、呼吸管理を行う上で重要な監視装置(モニタ)の原理、構造について修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 呼吸器の正常な解剖、組織を説明できる。
- 2) 呼吸器の生理(換気、ガス交換)の概要を説明できる。
- 3) 血液によるガスの運搬と細胞が行う内呼吸について説明できる。
- 4) 気体の物理的性質を説明できる。
- 5) 血液ガス、酸塩基平衡について説明できる。
- 6) 人工呼吸療法や酸素療法で使用する各種装置の原理、構造について説明できる。
- 7) 人工呼吸療法や酸素療法が必要となる代表的な疾患を列挙し、その概要について説明できる。
- 8) 人工呼吸器の代表的な換気様式を列挙し、それぞれの換気様式について説明できる。
- 9) 人工呼吸中の吸湿療法(加温・加湿)の重要性と吸入療法について説明できる。
- 10) 人工呼吸器の警報(アラーム)を列挙し、その意義について説明できる。
- 11) 酸素吸入療法や高気圧酸素療法について説明できる。

評価方法: おもに定期試験の成績で評価するが、受講姿勢なども加味する。

準備学習・履修上の注意等: 受講にあたり、すでに履修済みの解剖学、生理学を復習しておくこと。また、1コマあたり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	呼吸器の正常構造について	講義	右田
2	2)	呼吸器の生理(1) 換気メカニズムと肺気量分画	講義	右田
3	2)	呼吸器の生理(2) 肺胞でのガス交換	講義	右田
4	3)	血液によるガスの運搬と内呼吸について	講義	右田
5	4)5)6)	気体の性質と血液ガス分析について	講義	右田
6	5)	血液ガスと酸塩基平衡について	講義	右田
7	6)	呼吸管理で用いられるモニタ(1) パルスオキシメータ	講義	右田
8	6)	呼吸管理で用いられるモニタ(2) カプノメータ	講義	右田
9	7)	呼吸不全や低酸素血症をきたす疾患とその病態について	講義	右田
10	6)	人工呼吸器の構造について(麻酔器の構造も含む)	講義	右田
11	8)	人工呼吸器による換気様式(1) 自発呼吸がない状態で用いられる換気様式について	講義	右田
12	8)	人工呼吸器による換気様式(2) 自発呼吸下で用いられる換気様式について	講義	右田
13	6)9)10)	人工呼吸中の吸湿療法と吸入療法、ならびに人工呼吸器の安全管理について	講義	右田
14	6)11)	酸素療法について	講義	右田
15	1)~11)	総括	講義	右田

教科書: 臨床工学講座 生体機能代行装置学 呼吸療法装置(日本臨床工学技士教育施設協議会 監修、廣瀬 稔・生駒 俊和 編集) 医歯薬出版
【978-4-263-73410-0】
* 講義の際にプリントも配布する。

参考書: 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学演習 I**

担当者: 丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 生体機能代行装置学演習 I では、臨床工学技士業務の一つである血液浄化療法を中心に、講義、演習を行う。血液浄化療法における基礎医学、臨床医学、医療機器、患者管理等を含めた医学的、工学的諸問題について理解し説明できる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 血液浄化療法の臨床的意義について説明できる。
 - 2) 血液浄化療法の種類・原理・構造について説明できる。
 - 3) 血液浄化療法の特性について説明できる。
 - 4) 血液浄化療法装置の具体的な操作技術・取扱・注意点について説明できる。
 - 5) 透析液清浄化対策を含めた水処理システムについて説明できる。
 - 6) 血液浄化療法の患者監視システムについて説明できる。
 - 7) 血液浄化療法の事故事例を列挙し、具体的な安全対策・対処法について説明できる。
 - 8) 急性血液浄化療法の特性を説明できる。
 - 9) 血液浄化療法患者の検査データを読解することができる。
 - 10) 血液浄化療法装置の安全管理・保守管理することができる。

評価方法: 筆記試験、小試験、レポート課題にて総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 事前学習としてテキストを中心に予習および事後レポート作成する。提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。1コマ当たり4時間を目安に予習・復習すること。

オフィスアワー: 月曜～金曜日15:00～17:00(8号棟2F準備室)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【血液浄化療法概論】 血液浄化療法の歴史・生体腎と人工腎の相違・臨床的意義	講義・演習	丹下
2	1)	【血液浄化療法における代謝系の病態生理】 腎・泌尿器系の解剖生理および病態生理等	講義・演習	丹下
3	2)3)4)	【血液浄化療法における物理】 血液浄化療法における流体力学と物質輸送論	講義・演習	丹下
4	2)3)4)	【血液透析の原理と構成1】 血液浄化療法の種類・原理・構造	講義・演習	丹下
5	2)3)4)	【血液透析の原理と構成2】 血液透析膜の性能評価・構造および透析液・抗凝固薬・シャント等	講義・演習	丹下
6	2)3)4)	【血液浄化技術1】 血液浄化療法の治療モード	講義・演習	丹下
7	2)3)4)	【血液浄化技術2】 腹膜透析	講義・演習	丹下
8	5)	【水処理装置】 水処理装置・透析液供給装置・透析用監視装置・透析液清浄化対策	講義・演習	丹下
9	6)7)	【血液浄化療法における患者管理】 血液透析中の患者管理・チェック項目および食事療法	講義・演習	丹下
10	6)7)	【血液浄化療法における事故事例と安全対策1】 血液浄化療法における事故事例と安全対策	講義・演習	丹下
11	6)7)	【血液浄化療法における感染症と合併症対策2】 血液浄化療法における感染症と長期透析患者の合併症対策	講義・演習	丹下
12	8)	【急性血液浄化療法技術】 CHD・CHF・CHDF等の急性血液浄化療法技術	講義・演習	丹下
13	8)	【アフエレーシス療法】 血漿交換・吸着療法等	講義・演習	丹下
14	9)	【臨床検査データ読解】 血液浄化療法患者の臨床検査データ読解	講義・演習	丹下

15 10) 【血液浄化療法における安全管理・保守点検技術】
血液浄化装置の始業・使用中・終業・定期点検等の保守点検・安全管理技術

丹下
講義・演習

教科書： 血液浄化療法ハンドブック改訂第5版増補版（透析療法合同専門委員会 編）協同医書出版社【4-7639-5019-2】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学演習Ⅱ**

担当者: 右田 平八(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 本講義は生体機能代行装置学で学習する人工心肺装置、補助循環装置が生命維持管理装置の主たる装置であることから、臨床工学技士が主業務として行う生命維持管理装置の操作および保守点検の実施能力育成を目的とする。生体機能代行装置を理解するためには、代行する臓器の機能、能力を知ることが重要であるが患者の評価・管理についても理解しておく必要がある。救急救命・集中治療領域に関わる生体機能代行装置の演習を行い、生体臓器の機能代行装置を具体的に習得する。

到達目標: (SBOs) 1)人工心肺装置の背景と装置の変遷を説明できる。
2)作動原理と制御装置について説きみできる。
3)各種デバイスについて説明できる。
4)パラメータについて理解し、適切に評価できる。
5)使用薬剤の目的と作用について概説できる。

評価方法: 筆記試験、レポート課題、口頭試問、演習に臨む姿勢や積極性などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業毎の予習・復習は90分を目安に行うこと。
提出物等は、提出期限を必ず厳守すること。

オフィスアワー: 毎週木曜日18:00~19:00 1号棟B340

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【体外循環ガイドス】 体外循環概要と医療事故の背景を理解し、臨床工学技士の業務を説明できる。	演習	右田
2	2)3)	【体外循環の基礎】 人工心肺装置の原理と装置構成を解説できる。	演習	右田
3	2)3)	【人工心肺システムの概要】 人工心肺装置のシステムと保守管理について説明できる。	演習	右田
4	2)3)	【人工心肺での生体反応】 血管抵抗の変化、酸素消費量、異物との接触反応について説明できる。	演習	右田
5	2)3)4)	【患者情報の見方】 患者情報の入手と還流量の決定、充填液充填、ポンプオクリュージョン調整法を解説できる。	演習	右田
6	2)3)4)	【人工心肺装置関連の保守管理】 各装置の定期点検と保守点検の具体的内容を解説できる。	演習	右田
7	2)3)4)	【補助循環装置演習】 大動脈バルーンポンプ、経皮的な心肺補助法の原理と構成を解説できる。	演習	右田
8	2)3)4)5)	【血液ガス分析】 ABG分析によるpH,PaCO ₂ ,HCO ₃ ,PaO ₂ ,BEの値から患者評価法を解説できる。	演習	右田
9	2)3)4)5)	【バイタルサインおよび循環動態の評価】 人工心肺装置が血圧、脈拍、呼吸、体温に及ぼす影響を解説できる。	演習	右田
10	2)3)4)5)	【各種構成要素の機能と特徴】 血液ポンプ、安全監視機器、人工肺、ベントポンプ、各種フィルタをDVDを見て解説できる。	演習	右田
11	2)3)4)5)	【体外循環とモニター】 人工心肺側モニター、強制脱血と陰圧モニター、生体側モニターを評価できる。	演習	右田
12	2)3)4)5)	【低体温体外循環法】 単純低体温法と生体の変化、超低体温の病態生理説明できる。	演習	右田
13	2)3)4)5)	【心筋保護法と注入回路】 低温化学的心筋保護法と化学的心停止、付加的保護をDVD等を見て解説できる。	演習	右田
14	2)3)4)5)	【胸部大動脈手術の体外循環】 体外循環を必要とする胸部大動脈疾患をDVD等を見て解説できる。	演習	右田
		【体外循環の合併症と対策】		

15 1)~5) 空気塞栓、微少塞栓、肺合併症、腎合併症、人工心肺装置の故障と対応を説明で 演習
きる。

右田

教科書： 臨床工学講座 体外循環装置（見目恭一・福長一義 編著）医歯薬出版 【4-263-73411-7】
最新 人工心肺 理論と実際 第4版（上田 裕一 編）名古屋大学出版会 【4-8158-0861-1】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学演習Ⅲ**

担当者: 右田 平八(保・工)、外部講師

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 慢性期・急性期に発症する呼吸不全や重篤な低酸素症に対して用いられる酸素療法と人工呼吸器の原理や構成、それらの機能について習得するとともに非侵襲的な換気様式と高気圧酸素下で行われる特殊な酸素療法である高気圧酸素治療について解説する。人工呼吸器は一定期間、連続使用される生命維持管理装置であり保守点検及び安全使用のための精度管理を必要とする特定保守管理医療機器であることから保守管理項目や実施方法について習得する。

到達目標: (SBOs) 1)人工呼吸器の歴史的背景と装置の変遷を説明できる。
2)自発呼吸と人工呼吸の違いを説明できる。
3)各種換気様式の相違点を説明できる。
4)特殊な換気モードの目的と効果を説明できる。
5)付属機器の使用目的を説明できる。
6)装置操作および保守が実際に行える。
7)患者の評価が適切に行える。
8)各種トラブルシューティングに対応できる。

評価方法: 筆記試験、レポート課題、口頭試問、演習に臨む姿勢や積極性などを総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業に際しては、シラバスを確認して90分を目安に予習・復習を行うこと。
提出物等は、提出期限を必ず厳守すること。

オフィスアワー: 毎週金曜日18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【人工呼吸管理の進歩】 自発呼吸と機械換気の相違と生体に及ぼす影響を説明できる。	演習	右田 外部講師
2	2)3)	【低酸素血症と酸素療法】 低酸素血症の病態と酸素療法のデバイスを説明できる。	演習	右田 外部講師
3	2)3)	【気管内挿管と気道管理】 気管挿管チューブの影響と管理、気道の管理方法を説明できる。	演習	右田 外部講師
4	2)3)4)	【人工呼吸中のモニタⅠ】 人工呼吸中に使用される酸素化モニタの種類と原理、その使用方法を説明できる。	演習	右田 外部講師
5	2)3)4)	【人工呼吸中のモニタⅡ】 人工呼吸中に使用される換気モニタと循環動態のモニタリングを説明できる。	演習	右田 外部講師
6	3)4)5)6)	【非侵襲的陽圧換気法】 無呼吸・低呼吸症候群に用いられる連続気道内陽圧換気法を説明できる。	演習	右田 外部講師
7	6)7)8)	【人工呼吸器の換気モードⅠ】 従量換気(VCV)と従圧換気(PCV)を相違と利点を説明できる。	演習	右田 外部講師
8	5)6)7)8)	【人工呼吸器の換気モードⅡ】 自発呼吸補助モードとPAV(ProportionalAssistVentilation)を説明できる。	演習	右田 外部講師
9	6)7)8)	【人工呼吸中のモニタⅢ】 人工呼吸器の呼吸パターンと描出されるグラフィックモニタをマスターする。	演習	右田 外部講師
10	6)7)8)	【高気圧酸素治療Ⅰ】 高気圧酸素環境下での生体反応と安全管理を説明できる。	演習	右田 外部講師
11	6)7)8)	【高気圧酸素治療Ⅱ】 高気圧酸素治療で使用される医療機器と留意点を説明できる。	演習	右田 外部講師
12	4)~8)	【ARDSの病態と肺保護換気】 急性呼吸促進症候群の病態と肺保護換気の方法を説明できる。	演習	右田 外部講師
13	4)~8)	【人工呼吸器関連の感染対策】 人工呼吸器由来の感染および対策を説明できる。	演習	右田 外部講師
14	4)6)7)	【呼吸不全の呼吸管理方法】 呼吸不全の管理と急性増悪時の治療を説明できる。	演習	右田 外部講師

【人工呼吸器と関連機器の保守管理】
人工呼吸器の保守点検(日常・定期点検)の点検項目を作成する。

教科書: 使用しない。

参考書: 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学演習Ⅳ**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、真茅 孝志(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 国家試験合格を目指して、国家試験過去問を中心に解説講義・演習を行い、国家試験対策を実施する。過去問を対象に各自の不得意内容を把握、弱点克服による国家試験全員合格(100%達成)を目指す。また、臨床工学技士全国統一模擬試験(日本臨床工学技士教育施設協議会主催)を3回実施し、達成率を把握、自己弱点克服による合格安全圏を目指す。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 国家試験合格を目指し、過去問の出題傾向を分析できる。
 - 2) 国家試験合格を目指し、過去問の出題傾向についてキーワードを抽出できる。
 - 3) 国家試験合格を目指し、不得意内容を把握し弱点克服できる。
 - 4) 国家試験合格を目指し、国試対策ノートを作成することができる。
 - 5) 臨床工学技士全国統一模擬試験にて70%以上取得することができる。
 - 6) 臨床工学技士国家試験受験判定試験で70%以上取得することができる。

評価方法: 臨床工学技士全国統一模擬試験(3回)および臨床工学技士国家試験受験判定試験結果で臨床工学科専門科目担当教員全員により評価。

準備学習・履修上の注意等: 毎回模擬試験を行うので、実力がある程度達しているもの以外の受講は不可能である。学習度によって担当教員が適時入れ替わる。また、正当な理由なく欠席することは原則認めない。毎日3時間以上は予習復習を行うこと。

オフィスアワー: 月~金 12:15-13:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~6)	【国家試験対策演習1】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
2	1)~6)	【国家試験対策演習2】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
3	1)~6)	【国家試験対策演習3】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
4	1)~6)	【臨床工学技士全国統一模擬試験1】 全国統一模擬試験第1回目を行い、理解度を把握する。	講義・演習	全員
5	1)~6)	【国家試験対策演習4】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
6	1)~6)	【国家試験対策演習5】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
7	1)~6)	【臨床工学技士全国統一模擬試験2】 全国統一模擬試験第2回目を行い、理解度を把握する。	講義・演習	全員
8	1)~6)	【国家試験対策演習6】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
9	1)~6)	【国家試験対策演習7】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
10	1)~6)	【臨床工学技士全国統一模擬試験3】 全国統一模擬試験第3回目を行い、理解度を把握する。	講義・演習	全員
11	1)~6)	【国家試験対策演習8】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
12	1)~6)	【国家試験対策演習9】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
13	1)~6)	【国家試験対策演習10】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
14	1)~6)	【国家試験対策演習11】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
15	1)~6)	【国家試験対策演習12】	講義・演習	全員

国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学実習 I**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 生体機能代行装置学実習 I では、臨床工学技士業務である血液浄化技術について、その原理・構造および具体的な操作技術・取扱・注意点について実習を行う。また、血液透析業務に不可欠な透析手技全般を習得するとともに、水溶液系で実際に透析を行い、溶質除去特性について理解することを目的とする。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 血液浄化療法の特性について説明できる。
 - 2) 血液浄化療法の治療原理・構造について説明できる。
 - 3) 血液浄化療法装置の具体的な操作技術・取扱・注意点について説明できる。
 - 4) 各実習テーマについて理解し、その臨床的意義について説明できる。
 - 5) 各実習テーマより得られた結果に対し、自己で考察し適切に報告できる。
 - 6) 血液浄化回路を適切に取扱いかつ確実にプライミング技術を習得できる。
 - 7) 血液浄化療法装置の安全管理・保守管理することができる。

評価方法: レポート課題(30%)、筆記試験(30%)、実技試験(30%)、口頭試問(10%)により総括的評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 提出物等は、提出期日を必ず厳守すること。
実習日前までに実習内容の予習および実習後には復習を最低1時間は行うこと。
また正当な理由がない限り、無断欠席・遅刻は原則認めない。

オフィスアワー: 隔週木曜日12:00~13:00、8号棟1F、Q-101

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)	【オリエンテーション】 実習を行う上での注意事項の説明を受け、実習方法、透析準備方法(プライミング)、透析装置の使用法を習得できる。その後各自の血液回路、ダイアライザーを用いてプライミングの練習を実施できる。	実習	砂子澤・丹下
2	1)2)	【班ごとの透析実験練習】 班に分かれて透析実験の練習を実施できる。	実習	砂子澤・丹下
3	3)4)5)	【班ごとの透析実験-1】 班に分かれて透析実験を実施し、5テーマを順番に行い全員が全てのテーマについて内容を把握できる。	実習	砂子澤・丹下
4	3)4)5)	【班ごとの透析実験-2】 班に分かれて透析実験を実施し、5テーマを順番に行い全員が全てのテーマについて内容を把握できる。	実習	砂子澤・丹下
5	3)4)5)	【班ごとの透析実験-3】 班に分かれて透析実験を実施し、5テーマを順番に行い全員が全てのテーマについて内容を把握できる。	実習	砂子澤・丹下
6	3)4)5)	【班ごとの透析実験-4】 班に分かれて透析実験を実施し、5テーマを順番に行い全員が全てのテーマについて内容を把握できる。	実習	砂子澤・丹下
7	3)4)5)	【班ごとの透析実験-5】 班に分かれて透析実験を実施し、5テーマを順番に行い全員が全てのテーマについて内容を把握できる。	実習	砂子澤・丹下
8	3)4)5)	【再透析実験1】 実験に失敗した内容を再度行い、確実に原理などを習得できる。	実習	砂子澤・丹下
9	3)4)5)	【再透析実験2】 実験に失敗した内容を再度行い、確実に原理などを習得できる。	実習	砂子澤・丹下

10	6)7)	【プライミング練習-1】 実技試験の対象となるプライミング方法を習得できる。	実習	砂子澤・丹下
11	6)7)	【プライミング練習-2】 実技試験の対象となるプライミング方法を習得できる。	実習	砂子澤・丹下
12	6)7)	【プライミング練習-3】 実技試験の対象となるプライミング方法を習得できる。	実習	砂子澤・丹下
13	6)7)	【プライミング実技評価-1】 プライミング技術が十分身についたかどうかを確認するため、実技評価を受ける。	実習	砂子澤・丹下
14	6)7)	【プライミング実技評価-2】 1回目の評価で不十分な点があった場合には、2回目の評価を受ける。	実習	砂子澤・丹下
15	6)7)	【プライミング実技評価-3】 2回目の評価で不十分な点があった場合には、3回目の評価を受ける。	実習	砂子澤・丹下

教科書： 臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置（編集 竹澤 真吾・出淵 靖志）医歯薬出版【4-263-73408-7】
血液浄化療法ハンドブック改訂第6版（透析療法合同専門委員会 編）協同医書出版社【4-7639-5020-8】
別途、実習書およびプリントを配布

参考書： 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学実習Ⅱ**

担当者: 右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、外部講師

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 体外循環技術は習得困難な特殊な領域から、現在では救命救急・集中治療領域で日常的に行われる手技の1つとして普及している。臨床工学技士が習得しておくべき臨床技術として人工心肺装置をはじめとする装置を実際に作動させる。本実習では臨床で実際に使用されている体外循環装置の操作、保守点検を実践的に学習することで確実な操作技術を習得する。

到達目標: (SBOs) 1) 体外循環の実際をイメージできる。
2) 人工心肺のオペレーションを実技できる。
3) パラメータについて理解し、適切に評価できる。
4) 臨床工学技士の法的責任を説明できる。

評価方法: 筆記試験、レポート課題、口頭試問、実習に臨む姿勢や積極性などを総合的に評価する。
外部講師とのコミュニケーション能力を評価する。

準備学習・履修上の注意等: 人工心肺装置に関連する機器操作が的確に行えること。
シラバスを確認し、予習・復習は90分を目安に行うこと。
無断遅刻・欠席は認めない。
白衣等を着用し、身なりを清潔に保ち身だしなみを整えること。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間 |

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【体外循環の実際】 体外循環実習における事前学習のポイントと実習での留意事項、計測装置の種類と特徴、レポートの書き方を解説できる。	実習	右田・砂子澤
2	2)	【人工心肺装置実習】 人工心肺装置の原理と構成を理解し、操作、保守管理技術を実施できる。	実習	外部講師
3	2)3)	【人工心肺システムの実際】 人工心肺装置の主回路、副回路、心筋保護液供給回路等を理解し、操作、保守管理が実施できる。	実習	外部講師
4	2)3)	【人工心肺中の病態実習】 人工心肺による生体反応での病態生理を理解し、至適還流量の実際と管理技術を手技できる。	実習	外部講師
5	2)3)	【オペレーション実習Ⅰ】 人工心肺回路、ポンプチューブおよび回路接続チューブ、貯血槽、人工心肺中の血液浄化技術を手技できる。	実習	外部講師
6	2)3)	【オペレーション実習Ⅱ】 人工心肺側モニター、生体側モニター、連続心拍出量、混合静脈血酸素飽和度測定技術を手技できる。	実習	外部講師
7	2)3)	【オペレーション実習Ⅲ】 生体の酸素需要と灌流量、濯流量と臓器循環、血液希釈/低体温と灌流量、血液希釈技術を手技できる。	実習	外部講師
8	2)3)	【オペレーション実習Ⅳ】 低温化学的心筋保護法、心筋保護液の注入方法、大動脈遮断解除後の処置技術を手技できる。	実習	外部講師
9	2)3)	【オペレーション実習Ⅴ】 新生児・乳児期開心術時の心筋保護、新生児・乳児期早期の心筋保護法技術を説明できる。	実習	外部講師
10	2)3)	【オペレーション実習Ⅵ】 体外循環開始から完全灌流中の循環管理、大動脈遮断解除を説明できる。	実習	外部講師
11	2)3)	【オペレーション実習Ⅶ】 体外循環を必要とする胸部大動脈疾患の上行大動脈置換術、弓部置換術、下行大動脈置換術を説明できる。	実習	外部講師
12	2)3)	【オペレーション実習Ⅷ】 大動脈内バルーンポンピング(IABP)の原理と血行動態的効果、適応と禁忌、	実習	外部講師

IABP挿入患者の管理技術を説明できる。

13	2)3)	【オペレーション実習Ⅸ】 体外設置型補助人工心臓、埋め込み型補助人工心臓、補助人工心臓の適応・装着・離脱技術を説明できる。	実習	外部講師
14	2)3)	【オペレーション実習Ⅹ】 体外循環に際しての血液節減と自己血輸血、人工心肺の無血充填技術を手技で きる。	実習	外部講師
15	4)	【人工心肺の特徴と臨床工学技士業務の責任】 人工心肺の特徴を理解し、関連医療法の法的解釈と業務責任を解説できる。	実習	右田・砂子 澤 外部講師

教科書： 臨床工学講座 体外循環装置（見目恭一・福長一義 編著）医歯薬出版 【4-263-73411-7】
最新 人工心肺 理論と実際 第4版（上田 裕一 編）名古屋大学出版会 【4-8158-0861-1】

参考書： 使用しない。

科目名: **生体機能代行装置学実習Ⅲ**

担当者: 右田 平八(保・工)、外部講師

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 45 開講期: 後期 授業形態: 実習

授業概要: 人工呼吸器の使用は重篤な換気障害を呈する呼吸不全患者、全身麻酔の手術や術後における場合など多岐に亘るが患者の状態によって適切な機器選定や設定をリアルタイム行わなければならない。本実習では呼吸不全における人工呼吸器の各種設定と患者呼吸評価法について習得することを目的とする。また医療法改正により臨床工学技士の人工呼吸器使用時の喀痰等の吸引操作が可能となったので呼吸理学療法の手技と併せて実践的に習得する。

到達目標: (SBOs) 1)人工呼吸器の歴史的背景と装置の変遷を理解する。
2)自発呼吸と人工呼吸の違いを理解する。
3)各種換気様式を理解する。
4)特殊な換気モードを理解する。
5)付属機器の使用目的を理解する。
6)装置操作および保守が実際に行える。
7)患者の評価が適切に行える。
8)各種トラブルシューティングに対応できる。

評価方法: 筆記試験、レポート課題、口頭試問、実習に臨む姿勢や積極性などを総合的に評価する。
外部講師とのコミュニケーション能力を評価する。

準備学習・履修上の注意等: 全ての人工呼吸器が取扱えるように実際に操作すること。
人工呼吸器に関連する機器操作が的確に行えること。
白衣等を着用し、身なりを清潔に保つこと。
授業毎の予習・復習は90分を目安に行うこと。
連絡のない遅刻・欠席は認めない。

オフィスアワー: 毎週金曜日18:00~19:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【呼吸療法ガイダンス】 呼吸療法に関連する各種装置・器具等について解説する。	実習	右田
2	2)3)	【人工呼吸器セッティング実習】 人工呼吸器の回路組立と基本設定の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
3	2)3)	【人工呼吸器の換気モード設定実習Ⅰ】 従量式(VCV)と従圧式(PCV)の換気モードの実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
4	2)3)4)	【人工呼吸器の換気モード設定実習Ⅱ】 自発呼吸補助モードとPAV(Proportional Assist Ventilation)の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
5	2)3)4)	【人工呼吸器の換気モード設定実習Ⅲ】 非侵襲的陽圧換気法(NIPPV)の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
6	3)4)5)6)	【人工呼吸器の機種操作実習】 各種人工呼吸器のオペレーションの実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
7	6)7)8)	【人工呼吸器トラブルシューティング実習】 人工呼吸器のトラブルシューティングと対応の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
8	5)6)7)8)	【症例検討会シミュレーション実習】 呼吸不全症例をシミュレーションしSmall Group Learning手法を用いた症例検討会を実践し、習得する。	実習	右田 外部講師
9	6)7)8)	【呼吸機能評価法実習】 呼吸指標と血液ガス像(ABG)評価の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
10	6)7)8)	【気管内吸引操作実習】 人工呼吸器の喀痰吸引の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
11	6)7)8)	【呼吸理学療法実習】 体位排痰と排痰補助法の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
12	4)~8)	【高気圧酸素治療装置実習Ⅰ】 高気圧酸素治療装置操作の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師

13	4)~8)	【高気圧酸素治療装置実習Ⅱ】 高気圧酸素治療装置に用いるME機器の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田 外部講師
14	4)6)7)	【肺保護換気と患者評価実習】 肺保護換気的具体的方法の実際を理解し、手技を習得する	実習	右田 外部講師
15	5)6)	【人工呼吸器の保守点検実習】 人工呼吸器の保守点検の実際を理解し、手技を習得する。	実習	右田

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **医用機器安全管理学**

担当者: 戸畑 裕志(保・工),外部講師

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 前期

授業形態: 講義

授業概要: 医療機器を安全に管理運用するために必要な電気、医療ガス、滅菌・消毒法、ヒューマンファクタの基本を習得する。

到達目標: (SBOs)

- 1) 医療機器使用時の安全性について説明できる。
- 2) 生体へのエネルギーの安全値について説明できる。
- 3) 医療機器の使用環境の概略を説明できる。
- 4) 医療機器の電氣的安全性のJISについて説明できる。
- 5) 医療施設における電気設備のJISについて説明できる。
- 6) 医療ガスの安全性について説明できる。
- 7) 医療施設における医療ガス設備のJISについて説明できる。
- 8) 医療機器の電磁環境について説明できる。
- 9) ヒューマンファクターエンジニアリングの概要が説明できる。
- 10) 医療機器の滅菌と消毒について説明できる。
- 11) 臨床工学技士に関連する法律の説明ができる。
- 12) 臨床工学技士国家試験問題における医用機器安全管理学分野の問題を正確に解答できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 授業の復習を講義毎に60分以上おこなうこと。

オフィスアワー: 火曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【臨床工学と安全管理の重要性】 臨床工学における安全管理の重要性を説明できる。	講義	戸畑
2	1)2)11)	【各種エネルギーと生体物性】 生体へエネルギー(電気、器械、熱、光、放射線)が加わったときの反応を説明できる。	講義	戸畑
3	1)2)12)	【医療機器使用時の電氣的安全性】 生体へ電気エネルギー(電流)が加わった時の特性を説明できる。	講義	戸畑
4	3)12)	【規格の体系】 医療機器の電氣的安全の概要を説明できる。 医療機器に表示されている各種図記号の意味を説明できる。	講義	戸畑
5	3)12)	【漏れ電流の分類】 医療機器の漏れ電流の分類と特徴を説明できる。	講義	戸畑
6	3)12)	【漏れ電流の測定】 医療機器の漏れ電流の測定法を説明できる。	講義	戸畑
7	5)12)	【病院電気設備の安全基準】 病院の電気設備の特殊性を説明できる。 病院電気設備における接地、非接地配線方式、非常電源の種類と特徴について説明できる。	講義	戸畑
8	6)	【医療ガスの安全性】 過去の医療事故を検証し安全の重要性について説明できる。	講義	戸畑
9	6)12)	【医療ガスの基礎】 医療ガスの種類と性質について説明できる。	講義	戸畑
10	7)12)	【医療ガス設備1】 医療ガスの中央配管方式の概略と特徴を説明できる。	講義	外部講師 ・戸畑
11	7)12)	【医療ガス設備2】 医療ガスボンベに充填されたガスの状態と取り扱い方法を説明できる。	講義	外部講師 ・戸畑
12	6)7)8)12)	【信頼性工学とシステム安全】 医療機器の信頼性の基礎および医療機器が単独でなくシステムとして使用される場合の信頼性について説明できる。	講義	戸畑
13	2)3)8)	【電磁環境】	講義	戸畑

医療機器が使用される電磁環境について説明できる。

- | | | | | |
|----|--------|---|----|------|
| 14 | 10)12) | 【医療機器の滅菌消毒1】
医療機器による院内感染やその対策について概要を説明できる。 | 講義 | 外部講師 |
| 15 | 10)12) | 【医療機器の滅菌消毒2】
医療機器の洗浄・消毒・滅菌について説明できる。 | 講義 | 外部講師 |

教科書： 臨床工学講座 医療機器安全管理学（篠原 一彦・出淵 靖志 編集）医歯薬出版株式会社【978-4-263-73403-2】
MEの基礎知識と安全管理（日本生体医工学会ME技術教育委員会 監修）南江堂【978-4-524-24361-7】

参考書： 臨床工学(CE)とME機器・システムの安全(渡辺敏)コロナ社【4-339-07182-x】

科目名: **医用機器安全管理学演習**

担当者: 戸畑 裕志(保・工),外部講師

配当学科: 臨床工学科(3年生)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 演習

授業概要: 機器を安全に管理運用するために必要なヒューマンファクタの基本と病院での安全管理体制について講義および演習により習得する。

到達目標: (SBOs) 1) ヒューマンファクターエンジニアリング(HF)の概要が説明できる。
2) 医療とHFの関連を説明できる。
3) 医療におけるリスクを説明できる。
4) 医療現場での医療事故対策について説明できる。
5) 薬事法の概略が説明できる。
6) 医療法の概略が説明できる。
7) 臨床工学技士法について説明できる。
8) 医療機器安全管理体制について説明できる。
9) 医療機器安全管理責任者について説明できる。

評価方法: 定期試験、レポート、授業態度で総合的に評価する。

準備学習・履修上の注意等: 講義毎に60分以上の復習をおこなうこと

オフィスアワー: 月曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301|

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【医療安全における人間工学】 医療安全の背景と人間工学との関連を説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
2	2)	【ヒューマンエラーと医療安全】 ヒューマンエラーの分類について説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
3	3)	【医療におけるリスクマネジメントの基礎】 医療におけるリスクマネジメントとセーフティマネジメントを説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
4	4)	【医療事故とその対策】 ヒューマンファクタから見た医療事故対策の概略を説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
5	5)	【薬事法】 薬事法の概要について説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
6	6)	【医療法】 医療法の概要について説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
7	7)	【臨床工学技士法】 臨床工学技士法の概要について説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
8	5)6)	【医療機器安全管理における薬事法】 製造業と医療施設での薬事法の取り組みの相違を説明できる。	講義・演習	戸畑、外部講師
9	5)6)	【医療機器安全管理における医療法】 製造業と医療施設での医療法の取り組みの相違を説明できる。	講義・演習	外部講師
10	8)9)	【医療機器安全管理責任者】 医療現場の安全管理体制について説明できる。	講義・演習	外部講師
11	8)9)	【医療機器安全管理責任者の実際】 医療機器安全管理責任者と臨床工学技士の関連について説明できる。	講義・演習	外部講師
12	4)8)9)	【医療機器の安全管理体制の構築1】 基幹病院での安全管理体制について説明できる。	講義・演習	外部講師
13	4)8)9)	【医療機器の安全管理体制の構築2】 特定機能病院での安全管理体制について説明できる。	講義・演習	外部講師
14	4)8)9)	【病院における医療機器管理の実際1】 医療施設でおこなわれている医療機器保守点検の概略について説明できる。	講義・演習	外部講師
15	4)8)9)	【病院における医療機器管理の実際2】 医療施設でおこなわれている医療機器保守点検方法について説明できる。	講義・演習	外部講師

教科書： 医療安全に活かす医療人間工学（佐藤幸光、佐藤久美子 著）医療科学社 【978-4-86003-376-7】

参考書： 使用しない。

科目名: **医用機器安全管理学実習**

担当者: 戸畑 裕志(保・工)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 1

時間数: 45

開講期: 後期

授業形態: 実習

授業概要: 医療機器を安全に管理運用するための保守管理に関する基本技術を習得する。実習には自ら測定装置を製作するものもある。

到達目標: (SBOs) 1)医療現場に即応した測定方法を習得する。
2)医療機器の電氣的安全性における電力測定、漏れ電流測定の方法を習得する。
3)医療施設における電源設備の取り扱いの概略を実習設備において習得する。
4)医療施設における医療ガス設備の取り扱いの概略を実習設備において習得する。
5)医療機器の保守点検技術の基礎を習得する(パルスオキシメータ、人工呼吸器の初級メンテナンスができる)。

評価方法: 実習レポートおよび日本生体医工学会主催の第2種ME実力検定試験の得点を考慮して評価する。

準備学習・履修上の注意等: 各実習に対しては事前レポートを提出し、実習終了後には事後レポートを提出する。各レポートの作成のための学習時間は各2～3時間行う。

オフィスアワー: 月曜日13:10～16:25|木曜日 9:00～12:15|8号棟301

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【実習レポートの書き方】 実習に際しての態度、レポートの書き方、測定装置の取り扱いについて理解する。	講義・実習	戸畑,向井
2	1)2)	【漏れ電流測定器の制作】 電氣的安全測定における生体模擬インピーダンスを理解し簡易漏れ電流測定装置を製作できる。	実習	戸畑,向井
3	1)2)	【漏れ電流測定器の特性評価】 簡易漏れ電流測定装置の周波数特性を中心に測定できる。	実習	戸畑,向井
4	1)2)	【医療機器の漏れ電流の測定1】 簡易漏れ電流測定器を用いて医療機器の漏れ電流を測定できる。	実習	戸畑,向井
5	1)2)	【医療機器の漏れ電流の測定2】 簡易漏れ電流測定器を用いて医療機器の漏れ電流を測定できる。	実習	戸畑,向井
6	1)	【後半の実習に関する予備実習】 実習の後半のテーマに関する取り組み方と実習方法に関しての実習講義の内容が理解でき説明できる。	実習・講義	戸畑,向井
7	1)2)	【医療機器の電力測定】 医療機器の電力測定をデジタルマルチメータを用いておこなう方法について習得する。	実習	戸畑,向井
8	1)3)	【医用コンセントと分電盤の対応】 医療電源設備における各室の医用コンセントとの配線遮断器の関連を実習を通して確認することを習得する。	実習	戸畑,向井
9	1)3)	【医用コンセントの保持力測定】 医用コンセントの保持力を測定するために簡易測定器を製作し保持力測定を行う技術を習得する。	実習	戸畑,真茅
10	1)3)4)	【接地線抵抗測定】 医療機器の接地線抵抗が測定できる。	実習	戸畑,向井
11	1)4)	【医療ガス設備の点検法】 各種医療ガス配管内の圧力・流量測定および湿潤器の保守点検ができる。	実習	外部講師
12	1)5)	【人工呼吸器の保守点検】 人工呼吸器(ベネット840)の動作原理を理解し分解組み立てができる。	実習	外部講師
13	1)5)	【人工呼吸器の保守点検】 人工呼吸器(ベネット840)の性能および安全点検ができる。	実習	外部講師

14	1)5)	【パルスオキシメータの保守点検】 パルスオキシメータの動作原理を理解し分解組み立てができる。	実習	外部講師
15	1)5)	【パルスオキシメータの保守点検】 パルスオキシメータの性能点検および安全点検ができる。	実習	外部講師

教科書： 必要に応じて指示をする。

参考書： 使用しない。

科目名: **患者安全管理学**

担当者: 北野 達也(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: この講義では、患者本位で安全で安楽な質の高い医療提供を基本とし、患者の権利、安全文化の確立手法、事例分析後の有効活用等学問体系的に学び、医療安全管理体制構築のための手法を見出すとともに、医療機関において医療安全管理者、ファシリテータとして組織マネジメントを実践するための手法などを修得する。

到達目標: (SBOs)

- 1)患者-医療者間パートナーシップについて理解し、患者安全管理学を学問体系的に学ぶことの重要性を説明できる。
- 2)患者の権利、医療人としての職業倫理・責務、法的責任について理解し、説明できる。
- 3)システム不全、ヒューマン・エラー、CRM(Crew Resource Management)、医療事故要因分析手法(SHELL,4M4E,RCAなど)等について理解し、改善策を提案できる。
- 4)医療安全管理者の役割、適任者人選、リーダーシップのあり方、医療安全管理部門設置の必要性について理解し、説明できる。
- 5)継続的な医療安全の確保や医療の質の向上のための改善提案を列举し、これらについて議論し、具体的な方策を提案できる。
- 6)Yes,and哲学、コーチング、ファシリテーション、インプロヴィゼーション教育導入などNon-Technical Skillsの強化、組織マネジメントの効果的な実施方法、医療安全管理体制構築の手法について具体的な方策を提案できる。
- 7)医療機関で医療安全管理者、ファシリテータとして実践するためのオペレーション・マネジメントについて理解し、具体的な方策を提案できる。

評価方法: ①期末テストによる評価:60%、②授業参加(積極的な授業参加、討論、発言、レポートなど):40%

準備学習・履修上の注意等: 携帯電話電源切又はマナーモード、飲食禁、講義中入退室禁。SGD時は活発に議論できるように予習してくる事。
各回講義内容に応じ、講義前予習(専門用語、関連文献等の検索)、講義後の復習として、学習内容についてまとめ、国内外関連文献検索等によりさらに知識を深めること。※1コマ当たり4時間を目安に予習・復習を行うこと。

オフィスアワー: 講義前後の可能な時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【Introduction: 患者安全管理学とは】 患者安全管理学について、患者-医療者間パートナーシップ、安全文化などについて	講義	北野
2	2)	【医療安全管理学Ⅰ】 患者の権利、医療人としての職業倫理・責務、法的責任、Patients Safety Manager、JCAHO、IOM、AHRQ、NHSなどについて	講義	北野
3	3)4)	【医療安全管理学Ⅱ】 医療安全推進、行政機関の取り組み、各医療機関の取り組み、医療事故調査制度、現状把握のための院内医療安全パトロールの実施などについて	講義	北野
4	3)4)	【医療安全管理学Ⅲ】 インシデント・アクシデント事例分析、警鐘事象(sentinel events)、有害事象(adverse events)、医療事故報告制度と活用方法	講義	北野
5	3)4)	【医療安全管理学Ⅳ】 システム不全、ヒューマン・エラー、CRM、医療事故要因分析手法(SHELL,4M4E,RCAなど)による有効活用、航空業界の応用	講義	北野
6	3)4)	【医療安全管理学Ⅴ】 医療事故発生メカニズム、問題解決・改善、再発防止策及び未然防止対策、ヒューマンファクター工学応用	SGD	北野
7	4)5)	【医療安全管理学Ⅵ】 人材育成・再開発、シミュレーション教育、安全教育、危険予知トレーニング、人材適正配置、意識改革、継続的な取り組み、CRM、Team STTEPPS等チームワーク・システムの重要性、Yes,and哲学、コーチング、ファシリテーション、インプロヴィゼーション教育導入の重要性	演習	北野
8	1)~5)	【1~7回のまとめ】 1~7回のまとめ演習	課題レポート	北野
9	6)	【組織構築Ⅰ】 医療安全管理者の役割、医療安全管理者(適任者)人選のあり方、リーダーシップのあり方、医療安全管理部門設置の必要性	講義	北野

10	6)	【組織構築Ⅱ】 チーム医療の担い手として各部署間コミュニケーションを図り、組織横断的に取り組むことのできるCoordinator / Negotiatorとしての役割、医療オペレーション・マネジメント導入について、医学教育技法、医療面接技法などについて	講義	北野
11	6)	【組織構築Ⅲ】 院内医療安全研修会、安全大会などの効果的実施のための手法、説明責任、医療事故訴訟対応及びADR(裁判外紛争解決)など	講義	北野
12	6)	【質評価、質改善】 医療安全管理と公益財団法人日本医療機能評価機構、ISO認証の関わり	講義	北野
13	7)	【医療安全の確保と医療の質向上】 継続的な医療安全の確保や医療の質の維持に向けて	講義	北野
14	7)	【医療安全管理体制構築Ⅰ】 医療安全管理における新たな分析手法、Non-Technical Skillsの強化、U理論による行動変容プロセス、組織マネジメントの効果的実施について	演習	北野
15	7)	【医療安全管理体制構築Ⅱ】 医療安全管理体制構築のための課題設定、具体的な方策立案、問題解決の手法	講義	北野

教科書： 使用しません。講義時に配布するプリントを使用する。

参考書： 使用しません。講義時に配布するプリントを使用する。

科目名: **臨床医学総論 I**

担当者: 吉武 重徳(保・視)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 腎臓の解剖、生理学から、病態を臨床的に評価し、どのように治療がおこなわれているのかを、学習していく。この時に、将来、機器を通して患者に接していく上で、腎臓病が、如何に関与してくるのかを学ぶ。

到達目標: (SBOs) 1)腎臓に関する基礎:解剖生理学について説明できる。
2)腎臓に関する診断治療を説明できる。
3)腎臓器疾患の病態が説明できる。
4)腎臓モニタ、補助機械について説明できる。

評価方法: 授業における教官により行われる質疑応答態度、および期末試験による評価。

準備学習・履修上の注意等: 授業における内容に対して各回復習を確実にに行い習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。予習復習の時間を1回あたり目安として1時間を確保すること。

オフィスアワー: 金曜日11:00~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【腎臓の解剖と生理1)】 なぜ“尿”がでていのか?解剖についてまず考える。	講義	吉武
2	1)	【腎臓の解剖と生理2)】 前回とあわせて、“尿”について生理的なことから考えてみる。	講義	吉武
3	1)	【腎臓疾患の症状】 腎臓の機能低下でそのような、他覚所見があり自覚所見があるのか学習する。	講義	吉武
4	1)3)	【急性腎不全1)】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
5	1)3)	【急性腎不全2)】 前回は踏まえ、治療と予後について学習する。	講義	吉武
6	4)	【尿毒症】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
7	1)3)	【慢性腎不全1)】 CKDについて概念を学び病態について考える。	講義	吉武
8	1)3)	【慢性腎不全2)】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
9	1)3)	【慢性腎不全3)】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
10	1)3)	【糸球体疾患血液疾患】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
11	1)3)	【腎尿細管疾患】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
12	2)3)	【尿路閉塞症】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
13	2)3)	【腎血管性疾患】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
14	2)3)	【結石症とESWL】 症状と病態について学習する。予防法と治療について学習する。	講義	吉武
15	2)3)	【尿路感染症】症状と病態について学習する。予防法と治療について学習する。	講義	吉武

教科書: 標準腎臓病学 (菱田 明・楨野 博史) 医学書院 【978-4)2)601)1)9955】

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床医学総論Ⅱ**

担当者: 吉武 重徳(保・視)

配当学科: 臨床工学科(2年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 後期 授業形態: 講義

授業概要: 腎臓の解剖、生理学から、全身疾患との関連を病態を臨床的に評価し、どのように治療がおこなわれているのかを、学習していく。ここでは、集中治療医学との医療機器を通じた臨床医学を加えての学習する。

到達目標: (SBOs) 1)腎臓に関する基礎:解剖生理学について説明できる。
2)内科的疾患について診断治療を説明できる。
3)集中治療における医療機器について説明できる。
4)腎臓を中心とした病態生理・疾患を全身症状とあわせて説明できる。

評価方法: 授業における教官により行われる質疑応答態度、および期末試験による評価。

準備学習・履修上の注意等: 授業における内容に対して各回復習を確実にに行い習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。予習復習の時間を1回あたり目安として1時間を確保すること。

オフィスアワー: 金曜日11:00~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【血液浄化療法の応用と限界】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
2	1)3)	【集中治療と血液透析1)】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
3	1)3)	【集中治療と血液透析2)】 予防法と治療について学習する。	講義	吉武
4	1)3)	【長期血液透: 病態、合併症】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
5	1)3)	【腎臓移植】 概念を学び病態と透析における限界について考える。	講義	吉武
6	1)3)	【感染症と敗血症の概念】 概念を学び病態について考える。症状と病態について学習する。	講義	吉武
7	1)3)	【感染症と敗血症の治療】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
8	1)3)	【膠原病】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
9	1)3)	【内分泌疾患1)】 この2)つの関係を考え予防法と治療について学習する。	講義	吉武
10	1)3)	【内分泌疾患2)】 概念を学び病態について考える。予防法と治療について学習する。	講義	吉武
11	1)3)	【血液疾患、凝固異常】 血液疾患、凝固異常が腎臓に及ぼす影響について考え概念を学び病態について考える。	講義	吉武
12	1)3)	【電解質代謝異常:pHについてももう一度考える】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
13	1)2)4)	【高血圧と腎臓】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
14	1)2)4)	【腎尿路感染症】 概念を学び病態について考える。	講義	吉武
15	1)2)4)	【糖尿病の血管障害】 概念を学び病態について考える。予防法と治療について学習する。	講義	吉武

教科書: 標準腎臓病学 (菱田 明・楨野 博史) 医学書院 【978-4)2)601)1)9955】

参考書: 使用しない。

科目名: **臨床医学総論Ⅲ**

担当者: 吉武重徳(保・視)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学技士として、循環器疾患の病態について学び、診断・治療における、補助循環方法等についての役割を習得する

到達目標: (SBOs) 1)呼吸に関する基礎:解剖生理学について説明できる。
2)呼吸に関する診断治療を説明できる。
3)呼吸器疾患の病態が説明できる。
4)呼吸モニタ、補助機械について説明できる。

評価方法: 授業における教官により行われる質疑応答態度、および毎回の小テストによる評価。

準備学習・履修上の注意等: 授業における内容に対して各回復習を確実にに行い習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。予習復習の時間を1回あたり目安として1時間を確保すること。

オフィスアワー: 金曜日11:00~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【急性呼吸不全1】 病態を理解して、診断と治療を考えてみる。	講義	吉武
2	1)3)	【急性呼吸不全2】 予防法と治療について学習する。	講義	吉武
3	1)3)	【慢性呼吸不全1】 病態を理解して、診断と治療を考えてみる。	講義	吉武
4	1)3)	【慢性呼吸不全2】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
5	1)3)	【慢性呼吸不全3】 予防法と治療について学習する。	講義	吉武
6	1)3)	【人工呼吸器を装着した患者の管理1】 病態を理解して、診断と治療を考えてみる。	講義	吉武
7	1)3)	【人工呼吸器を装着した患者の管理2】 病態を理解して、診断と治療を考えてみる。	講義	吉武
8	1)3)	【全身性疾患と呼吸機能】 神経疾患等の呼吸器以外の疾患による、呼吸器への影響を学ぶ。	講義	吉武
9	1)3)	【人工呼吸器を装着した患者の管理3】 病態を理解して、診断と治療を考えてみる。	講義	吉武
10	1)3)	【人工呼吸関連肺炎】 概念を学び病態に着いて考える。症状と病態について学習する。	講義	吉武
11	1)3)	【肺梗塞】 症状と病態について学習する。さらに予防法と治療について学習する。	講義	吉武
12	1)3)	【低酸素状態と低酸素血症】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
13	1)2)4)	【高炭酸ガス血症】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
14	1)2)4)	【人工呼吸の恩恵と限界】 人工呼吸器の利点と、限界について考えてみる。	講義	吉武
15	1)2)4)	【臨床工学と人工呼吸器】 人工呼吸器は進歩してきているが、患者は何を望んでいるかを考えてみる。	講義	吉武

教科書: シンプル内科学(寺野 彰) 南江堂【978-4-524-22344-2】

参考書： 使用しない。

科目名: **臨床医学総論IV**

担当者: 吉武重徳(保・視)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 30

開講期: 後期

授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学技士として、循環器疾患の病態について学び、診断・治療における、補助循環方法等についての役割を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)循環に関する基礎:解剖生理学について説明できる。
2)循環に関する診断治療を説明できる。
3)循環器疾患の病態が説明できる。
4)循環モニタ、補助機械について説明できる。

評価方法: 授業における教官により行われる質疑応答態度、および毎回の小テストによる評価。

準備学習・履修上の注意等: 授業における内容に対して各回復習を確実にに行い習得すること。2回目以降の授業では、これまでの講義内容の復習を行うので重要なポイントを習得すること。次回の講義の内容を事前に通知するので、テキスト等で予習を行うこと。予習復習の時間を1回あたり目安として1時間を確保すること。

オフィスアワー: 金曜日10:30~12:30 研究室B-331

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)3)	【心不全1】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
2	1)3)	【心不全2】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
3	1)3)	【心不全3】 予防法と治療について学習する。	講義	吉武
4	1)3)	【後天性心臓病】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
5	1)3)	【冠動脈疾患1】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
6	1)3)	【冠動脈疾患2】 予防法と治療について学習する。	講義	吉武
7	1)3)	【脳循環障害・脳卒中】 脳卒中の概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
8	1)3)	【脳循環障害・脳梗塞】 前回につづいて予防法と治療について学習する。	講義	吉武
9	1)3)	【末梢循環不全と心臓】 症状と病態について学習する。	講義	吉武
10	1)2)4)	【感染症と心臓病】 概念を学び病態に着いて考える。 感染性の心内膜炎について症状と病態について学習する。	講義	吉武
11	1)2)4)	【心臓手術と体外循環】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
12	1)2)4)	【高血圧】 概念を学び病態に着いて考える。予防法と治療について学習する。	講義	吉武
13	1)2)4)	【PCPS、VAS】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
14	1)2)4)	【補助循環】 概念を学び病態に着いて考える。	講義	吉武
15	1)2)4)	【心臓移植】 この治療法の適応、禁忌さらに恩恵と限界について学ぶ。	講義	吉武

教科書: 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **看護学概論**

担当者: 米倉 修司(非常勤講師)

配当学科: 臨床工学科(3年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義・演習

授業概要: 臨床工学技士は医師の指示のもとに、生命維持装置の操作や医療機器の保守・定期点検などを行う重要な役割を担う業務である。その生命維持装置や医療機器は、患者またはクライアントに使用されるために単に機器の取り扱いを習熟するだけでなく、「人間」への理解を深め配慮できることが重要である。そのために、患者に寄り添う看護師と同様、看護の本質を学ぶことによって、業務と対象との関連性、業務の法的な位置づけや関連性、社会との関わりなどを理解し、修得する必要がある。更に看護における基本的援助技術を演習することによって、ベッドサイドの協働者としての役割を修得する。

到達目標 (SBOs):

- 1)看護実践の基礎を学ぶことによって、実践科学としての看護学、看護の機能、看護者の役割などを臨床工学技士の立場から理解し説明できる。
- 2)看護サービスの利用者である人間(対象)を、ニーズや成長・発達、健康障害、環境との関係、ライフサイクルなどの基本的な視点からみて、臨床工学技士の立場から対象を身体的・心理社会的存在として理解し、配慮できる。
- 3)看護ケアの基本的役割、看護における基本的援助技術を臨床工学技士の立場から学び、実施することができる。
- 4)クリティカルケア領域で展開されている看護を臨床工学技士の立場から理解し、生命維持装置が必要な患者管理の理解を深める事ができる。

評価方法: 筆記試験

準備学習・履修上の注意等: 予習・復習を行うこと。
講義資料(パワーポイント)を配布しているので、それをノート代わりに内容の追加すること。
基本的看護技術ではより実践的に学ぶために、GWを通して必要物品・場面設定やプレゼンテーションを学生自身で行う。

オフィスアワー: 講義前後の時間

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	看護とはなにか ～歴史と理念, 定義～	講義	米倉修司
2	1)	看護教育と組織の特徴	講義	米倉修司
3	1)	看護における法的側面、看護における倫理と価値	講義	米倉修司
4	2)	看護の対象、ライフサイクルと健康	講義	米倉修司
5	2)	看護実践のための理論的根拠、看護過程	講義	米倉修司
6	2)	看護実践のための理論的根拠、看護過程	講義	米倉修司
7	3)	看護における基本的援助技術	講義	米倉修司
8	3)	看護における基本的援助技術(演習のための導入)	講義	米倉修司
9	3)	看護における基本的援助技術(演習)	演習GW	米倉修司
10	3)	看護における基本的援助技術(演習)	演習GW	米倉修司
11	4)	集中(クリティカル)ケア看護技術	講義	米倉修司
12	4)	集中ケア看護技術	講義	米倉修司
13	4)	集中ケア看護における基本的援助技術(演習)	演習GW	米倉修司
14	4)	集中ケア看護における基本的援助技術(演習)	演習GW	米倉修司
15	1)~4)	総括	講義	米倉修司

教科書: ナースのためのやさしくわかる 基礎看護技術 石田弘子(監修) ナツメ社

参考書: クリティカルケア看護技術の実践と根拠 道又元裕 編集 中山書店2011年初版
系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学1 看護学概論 藤崎 郁 他 医学書院 2012年第15版

科目名: **臨床実習**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、真茅孝志(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 4 時間数: 180 開講期: 前期 授業形態: 学外実習

授業概要: 臨床工学技士として業務に従事するため、血液浄化業務、人工心肺業務、人工呼吸業務、高気圧酸素療法業務、集中治療室業務および手術室業務、医療機器管理業務などの臨床業務についての実際のスキルを学習する。とくに、臨床での手技、機器の操作、心構え、患者や医療スタッフとの接し方を経験し、医療従事者として活躍できるだけの最低限の知識、技術を習得する。

到達目標: (SBOs) 1)患者心理やコミュニケーション(報告・連絡・相談)の重要性を理解する。
2)医療スタッフの専門職名称と役割が説明できる。
3)生命維持管理装置の構成及び適応疾患と病態について概説できる。
4)臨床データから患者の状態と評価が適切に行える。
5)トラブルシューティングに対応できる。
6)医療機器の安全管理について具体的に説明できる。

評価方法: 各実習施設の実習指導者が評価。

準備学習・履修上の注意等: 実習に耐えうる実力があるもの以外の受講は不可能である。
実習期間は各施設との協議により異なる。
白衣等の定められた服装を着用し、身なりを清潔に保つこと。
連絡のない遅刻・欠席は認めない。

オフィスアワー: 各教員のオフィスアワーに準ずる

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 各実習施設でのオリエンテーションを受けて実習がスムーズに行くよう理解する。	講義	施設担当者
2	1)2)	【血液浄化業務実習1】 血液浄化の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
3	1)2)3)	【血液浄化業務実習2】 血液浄化の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
4	3)4)	【血液浄化業務実習3】 血液浄化の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
5	3)4)	【血液浄化業務実習4】 血液浄化の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
6	3)4)5)	【血液浄化業務実習5】 血液浄化の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
7	3)4)5)6)	【血液浄化業務実習6】 血液浄化の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
8	1)2)	【人工心肺業務実習1】 人工心肺の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
9	2)3)	【人工心肺業務実習2】 人工心肺の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
10	3)4)	【人工心肺業務実習3】 人工心肺の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
11	1)2)	【手術室業務実習1】 手術室の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
12	2)3)	【手術室業務実習2】 手術室の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
13	3)4)	【手術室業務実習3】 手術室の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
14	1)~4)	【高気圧酸素業務実習1】 高気圧酸素の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者

15	1)~4)	【高気圧酸素業務実習2】 高気圧酸素の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
16	1)2)3)	【集中治療業務実習1】 集中治療の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
17	3)4)	【集中治療業務実習2】 集中治療の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
18	3)4)	【集中治療業務実習3】 集中治療の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
19	3)4)5)6)	【集中治療業務実習4】 集中治療の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
20	1)~4)	【救命救急業務実習1】 救命救急の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
21	1)~4)	【救命救急業務実習2】 救命救急の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
22	3)5)6)	【ME機器管理業務実習1】 ME機器管理の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
23	3)5)6)	【ME機器管理業務実習2】 ME機器管理の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
24	3)5)6)	【ME機器管理業務実習3】 ME機器管理の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
25	3)5)6)	【ME機器管理業務実習4】 ME機器管理の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
26	2)4)	【臨床検査業務実習】 臨床検査の業務について臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
27	3)4)5)	【医療治療機器業務実習1】 医療治療機器を用いた業務について幅広く臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
28	3)4)5)	【医療治療機器業務実習2】 医療治療機器を用いた業務について幅広く臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
29	3)4)5)	【生体計測装置業務実習1】 生体計測装置を用いた業務について幅広く臨床現場で学習する。	実習	施設担当者
30	3)4)5)	【生体計測装置業務実習2】 生体計測装置を用いた業務について幅広く臨床現場で学習する。	実習	施設担当者

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **臨床指導**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、真茅孝志(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学技士として業務に従事するため、血液浄化業務、人工心肺業務、人工呼吸業務、高気圧酸素療法業務、集中治療室業務および手術室業務、医療機器管理業務などの臨床業務についてのスキルを学習し、臨床実習を補完する。臨床実習の進め方、留意事項、目的を理解、確認し、円滑に進行できるよう自らが考え、行動できるように学習する。

到達目標: (SBOs) 1)臨床工学技士としての医療倫理、法的責任を概説できる。
2)医療現場で医学の基礎および感染対策を理解する。
3)病院システムとチーム医療の必要性や重要性を理解する。
4)医療機器に用いられる医用工学技術を理解する。
5)実習内容を理解し適切なレポートを作成できる。
6)実習内容を理解し適切なプレゼンテーションができる。

評価方法: 小テストおよびレポートにて評価。

準備学習・履修上の注意等: 臨床実習と同様、重要な講義である。理解度が不足している学生は単位取得が不可能である。

オフィスアワー: 講義後(内容によっては長時間対応可能)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)	【オリエンテーション】 実習と平行することがあるので、進め方について全員の理解を得る。	講義	全員
2	2)	【感染防止対策】 ワクチン接種も含めた感染対策を理解し、実際の臨床でのトラブル事例などを元に自らが臨床実習でどのようにすべきかをシミュレーションできる。	講義	全員
3	3)	【病院のシステムと特徴】 病院システムの詳細について説明できる。	講義	全員
4	1)2)3)	【医療施設における業務】 臨床工学技士業務について、法律と実際の作業を説明できる。	講義	外部講師
5	1)2)3)	【臨床実習の進め方】 実習の進め方、過去のトラブル事例などを説明できる。	演習	全員
6	5)	【実習報告書の作成方法】 実習報告書(日報)の書き方、留意点について説明できる。	演習	全員
7	1)2)3)	【臨床実習の留意事項】 各実習施設で異なる実習プログラムについて理解し、与えられた実習環境の中で何を学ぶべきかを考えられる。	演習	全員
8	1)2)3)	【医療事故防止対策】 起こりうる医療事故について再度学習し、その対策について説明できる。	演習	全員
9	1)2)3)	【各施設での患者管理】 実習施設での患者管理方法などを学習、実習でとまどわないよう実践できる。	演習	外部講師
10	1)2)3)	【患者安全管理1】 実習中の患者安全を確保するため、どこに注意すべきか、何をを行い、何をしてはいけないのかについて説明できる。(ブレインストーミング方式の予定)	演習	外部講師
11	1)~4)	【患者安全管理2】 実際の医療機器に関する安全管理について説明できる。	演習	外部講師
12	5)6)	【実習ポイント1】 各実習内容での学習ポイントはどこか、どのようなことが求められているのかを説明できる。	演習	全員
13	5)6)	【実習ポイント2】 各実習内容での学習ポイントはどこか、どのようなことが求められているのかを説明できる。	演習	全員
14	5)6)	【実習ポイント3】	演習	全員

各実習内容での学習ポイントはどこか、どのようなことが求められているのかを説明できる。

15 5)6) 【実習ポイント4】 各実習内容での学習ポイントはどこか、どのようなことが求められているのかを説明できる。 演習 全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **総合演習**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、吉武 重徳(保・工)、真茅 孝志(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 1 時間数: 30 開講期: 前期 授業形態: 演習

授業概要: 国家試験過去問を中心に解説・演習を行い、国家試験対策を実施する。過去問を対象に各自の不得意内容を把握、弱点克服による国家試験全員合格(100%達成)を目指す。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 国家試験合格を目指し、過去問の出題傾向を分析できる。
 - 2) 国家試験合格を目指し、過去問の出題傾向についてキーワードを抽出できる。
 - 3) 国家試験合格を目指し、不得意内容を把握し弱点克服できる。
 - 4) 国家試験合格を目指し、国試対策ノートを作成することができる。

評価方法: 国試過去問ベースの模擬試験により評価。

準備学習・履修上の注意等: 毎回過去問試験を行うので、実力がある程度達しているもの以外の受講は不可能である。学習度によって担当教員が適時入れ替わる。また、正当な理由なく欠席することは原則認めない。最低毎日2時間は予習復習をすること。

オフィスアワー: 火曜日13:10-17:00

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)~4)	【国家試験対策解説・演習1】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
2	1)~4)	【国家試験対策解説・演習2】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
3	1)~4)	【国家試験対策解説・演習3】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
4	1)~4)	【国家試験対策解説・演習4】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
5	1)~4)	【国家試験対策解説・演習5】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
6	1)~4)	【国家試験対策解説・演習6】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
7	1)~4)	【国家試験対策解説・演習7】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
8	1)~4)	【国家試験対策解説・演習8】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
9	1)~4)	【国家試験対策解説・演習9】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
10	1)~4)	【国家試験対策解説・演習10】 国試過去問の中で、不得意内容を中心に演習を行い、十分理解する。	講義・演習	全員
11	1)~4)	【国家試験過去問試験1】 国試過去問を行い、不得意部分の理解と全体の学習度を把握する。	講義・演習	全員
12	1)~4)	【国家試験過去問試験2】 国試過去問を行い、不得意部分の理解と全体の学習度を把握する。	講義・演習	全員
13	1)~4)	【国家試験過去問試験3】 国試過去問を行い、不得意部分の理解と全体の学習度を把握する。	講義・演習	全員
14	1)~4)	【国家試験過去問試験4】 国試過去問を行い、不得意部分の理解と全体の学習度を把握する。	講義・演習	全員
15	1)~4)	【国家試験過去問試験5】 国試過去問を行い、不得意部分の理解と全体の学習度を把握する。	講義・演習	全員

教科書: 各自今までに購入した教科書全て

参考書： 各自今までに購入した参考書全て

科目名: **卒業研究**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、吉武 重徳(保・工)、真茅孝志(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 卒業研究では、配属された教員の指導の元で専門的、かつ高度な研究に従事し、その研究手法と意義について学習する。研究内容は最先端であることが多く、学会での発表や学会誌への論文投稿なども、場合によっては行う。自らが考え、学士としてふさわしい論文を作成すべく努力することが望まれる。

- 到達目標: (SBOs)
- 1) 研究デザインを構築することができる。
 - 2) 研究計画書を作成することができる。
 - 3) 関連する研究テーマに関し、文献学的調査することができる。
 - 4) 研究基本骨子を作成し、予備研究および本研究に取り組むことができる。
 - 5) 研究結果を分析し、自己で考察することができる。
 - 6) 研究結果を卒業論文として整理することができる。
 - 7) 研究結果に対し、成果発表としてプレゼンテーションできる。

評価方法: 卒業論文発表会での全教員による評価をもって判定する。

準備学習・履修上の注意等: 希望担当教員を選ぶことが可能だが、希望者の人数によっては第一希望とはならないことがある。また、研究進捗状況が思わしくない場合には、担当教員と協議の上論文発表を見合わせることもある。毎日5時間以上は卒業研究を行い、担当教員と頻りに結果等の打ち合わせをすること。

オフィスアワー: 担当教員とは随時可能。時間に縛られることなく自由に研究活動、教員との意見交換をすべき。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【オリエンテーション】 担当教員との意見交換を行い、何をテーマとしたいのか明確にする。	講義	全員
2	1)2)3)	【テーマ発表】 各自の卒論テーマを決定する。	実習	全員
3	1)2)3)	【卒業論文概要作成1】 卒業論文の概要を作成する。	実習	全員
4	1)2)3)	【卒業論文概要作成2】 卒業論文の概要を作成する。	実習	全員
5	1)2)3)	【既往研究調査1】 類似する既往研究を調査する。	実習	全員
6	1)2)3)	【既往研究調査2】 類似する既往研究を調査する。	実習	全員
7	1)2)3)	【既往研究調査3】 類似する既往研究を調査する。	実習	全員
8	1)2)3)	【概要の見直し】 既往研究の結果を基に、卒論概要の見直しを行う。	実習	全員
9	4)5)	【基本骨子作成1】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	全員
10	4)5)	【基本骨子作成2】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	全員
11	4)5)	【予備実験1】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	全員
12	4)5)	【予備実験2】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	全員
13	4)5)	【実験方法見直し】 実験方法の見直しと、具体的なスケジュール立案を行う。	実習	全員
14	4)5)	【卒論実験1】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
15	4)5)	【卒論実験2】	実習	全員

		論文作成のための実験を行う。		
16	4)5)	【卒論実験3】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
17	4)5)	【卒論実験4】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
18	4)5)	【卒論実験5】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
19	4)5)	【卒論実験6】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
20	4)5)	【卒論実験7】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
21	4)5)	【卒論実験8】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
22	4)5)	【卒論実験9】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
23	4)5)	【卒論実験10】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
24	4)5)	【実験結果整理および検討1】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	全員
25	4)5)	【実験結果整理および検討2】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	全員
26	4)5)	【追実験および論文作成】 不足データを補うとともに、論文の目次作成、使用するグラフの抽出を行う。	実習	全員
27	6)	【論文作成】 論文の本文を作成する。	実習	全員
28	6)	【論文の見直し】 担当教員の意見も十分考慮し、論文内容を検討する。	実習	全員
29	7)	【発表準備】 卒業論文発表用のパワーポイントファイルを作成、完成させる。	実習	全員
30	7)	【卒論発表会】 発表会にて卒論の内容を公開する。	実習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **卒業研究**

担当者: 戸畑裕志

配当学科: 第4学年(戸畑研究室生)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 1120(1 開講期: 前期 授業形態: 研究進捗状況発表

授業概要: 1)各自の研究テーマにしたがって研究を行い、不明な点に関しては議論をしながら研究を進める。

到達目標: 1)自ら研究テーマを設定
(SBOs) 2)研究方法の決定
3)結果の処理方法
4)結果の妥当性に関する検討
5)再実験
6)論文の作成

評価方法: 臨床工学科卒業研究発表会(11月23日)にて成果を発表し臨床工学科教員全員で合否判定を行う。

準備学習・履修上の注意等: 研究時間は、毎日である。基本的には、9:00~18:00を研究時間とする。

オフィスアワー: 火曜日13:10~16:25|木曜日 9:00~12:15|8号棟301|

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
月	1)	研究テーマに関する検討	演習	戸畑
~	1)	テーマに類似した文献検索	演習	
金	1)	研究テーマの妥当性の検討	演習	
曜	1)	研究テーマ決定	演習	
日	2)	方法論の検討	演習	
	2)	実験方法の確認	演習	
	2)	予備実験	演習	
	2)	実験方法の見直し	演習	
	2)	実験方法の確定	演習	
	2)	実験データの収集1	演習	
	2)3)	データの妥当性の検討	演習	
	2)3)4)	実験データの処理	演習	
	2)3)4)	実験データ処理の妥当性の検討	演習	
	4)5)	再実験の可否	演習	
	6)	論文作成	演習	
	6)	論文発表	演習	

教科書: 特になし、各自文献検索すること。

参考書: 文献を検索する。

科目名: **卒業研究**

担当者: 近藤 照義(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 前期

授業形態: 講義・実習

授業概要: 卒業研究では、配属された教員の指導の元で専門的、かつ高度な研究に従事し、その研究手法と意義について学習する。研究内容は最先端であることが多く、学会での発表や学会誌への論文投稿なども、場合によっては行う。自らが考え、学士としてふさわしい論文を作成すべく努力することが望まれる。

到達目標: (SBOs)

- 1) 研究デザインを構築することができる。
- 2) 研究計画書を作成することができる。
- 3) 関連する研究テーマに関し、文献学的調査することができる。
- 4) 研究基本骨子を作成し、予備研究および本研究に取り組むことができる。
- 5) 研究結果を分析し、自己で考察することができる。
- 6) 研究結果を卒業論文として整理することができる。
- 7) 研究結果に対し、成果発表としてプレゼンテーションできる。

評価方法: 卒業論文発表会での全教員による評価をもって判定する。

準備学習・履修上の注意等: 希望担当教員を選ぶことが可能だが、希望者の人数によっては第一希望とはならないことがある。また、研究進捗状況が思わしくない場合には、担当教員と協議の上論文発表を見合わせることもある。

オフィスアワー: 担当教員とは随時可能。時間に縛られることなく自由に研究活動、教員との意見交換をすべき。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【オリエンテーション】 担当教員との意見交換を行い、何をテーマとしたいのか明確にする。	講義	近藤
2	1)2)3)	【テーマ発表】 各自の卒論テーマを決定する。	実習	近藤
3	1)2)3)	【卒業論文概要作成1】 卒業論文の概要を作成する。	実習	近藤
4	1)2)3)	【卒業論文概要作成2】 卒業論文の概要を作成する。	実習	近藤
5	1)2)3)	【既往研究調査1】 類似する既往研究を調査する。	実習	近藤
6	1)2)3)	【既往研究調査2】 類似する既往研究を調査する。	実習	近藤
7	1)2)3)	【既往研究調査3】 類似する既往研究を調査する。	実習	近藤
8	1)2)3)	【概要の見直し】 既往研究の結果を基に、卒論概要の見直しを行う。	実習	近藤
9	4)5)	【基本骨子作成1】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	近藤
10	4)5)	【基本骨子作成2】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	近藤
11	4)5)	【予備実験1】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	近藤
12	4)5)	【予備実験2】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	近藤
13	4)5)	【実験方法見直し】 実験方法の見直しと、具体的なスケジュール立案を行う。	実習	近藤
14	4)5)	【卒論実験1】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
15	4)5)	【卒論実験2】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤

16	4)5)	【卒論実験3】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
17	4)5)	【卒論実験4】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
18	4)5)	【卒論実験5】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
19	4)5)	【卒論実験6】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
20	4)5)	【卒論実験7】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
21	4)5)	【卒論実験8】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
22	4)5)	【卒論実験9】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
23	4)5)	【卒論実験10】 論文作成のための実験を行う。	実習	近藤
24	4)5)	【実験結果整理および検討1】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	近藤
25	4)5)	【実験結果整理および検討2】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	近藤
26	4)5)	【追実験および論文作成】 不足データを補うとともに、論文の目次作成、使用するグラフの抽出を行う。	実習	近藤
27	6)	【論文作成】 論文の本文を作成する。	実習	近藤
28	6)	【論文の見直し】 担当教員の意見も十分考慮し、論文内容を検討する。	実習	近藤
29	7)	【発表準備】 卒業論文発表用のパワーポイントファイルを作成、完成させる。	実習	近藤
30	7)	【卒論発表会】 発表会にて卒論の内容を公開する。	実習	近藤

教科書： 使用しません。

参考書： 使用しません。

科目名: **卒業研究**

担当者: 砂子澤 裕(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修

単位数: 2

時間数: 60

開講期: 前期

授業形態: 講義・実習

授業概要: 卒業研究では、配属された教員の指導の下で専門的、かつ高度な研究に従事し、その研究手法と意義について学習する。研究内容は最先端であることが多く、学会での発表や学会誌への論文投稿なども、場合によっては行う。自らが考え、学士としてふさわしい論文を作成すべく努力することが望まれる。

到達目標: (SBOs)

- 1) 研究デザインを構築することができる。
- 2) 研究計画書を作成することができる。
- 3) 関連する研究テーマに関し、文献学的調査することができる。
- 4) 研究基本骨子を作成し、予備研究および本研究に取り組むことができる。
- 5) 研究結果を分析し、自己で考察することができる。
- 6) 研究結果を卒業論文として整理することができる。
- 7) 研究結果に対し、成果発表としてプレゼンテーションできる。

評価方法: 卒業論文発表会で臨床工学科全教員による評価をもって判定する。

準備学習・履修上の注意等: 希望担当教員を選ぶことが可能だが、希望者の人数によっては第一希望とはならないことがある。また、研究進捗状況が思わしくない場合には、担当教員と協議の上論文発表を見合わせることもある。

オフィスアワー: 毎週月曜日から金曜日12:00～13:00、1号棟3F、B-332

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【オリエンテーション】 担当教員との意見交換を行い、何をテーマとしたいのか明確にする。	講義	砂子澤
2	1)2)3)	【テーマ発表】 各自の卒論テーマを決定する。	実習	砂子澤
3	1)2)3)	【卒業論文概要作成1】 卒業論文の概要を作成する。	実習	砂子澤
4	1)2)3)	【卒業論文概要作成2】 卒業論文の概要を作成する。	実習	砂子澤
5	1)2)3)	【既往研究調査1】 類似する既往研究を調査する。	実習	砂子澤
6	1)2)3)	【既往研究調査2】 類似する既往研究を調査する。	実習	砂子澤
7	1)2)3)	【既往研究調査3】 類似する既往研究を調査する。	実習	砂子澤
8	1)2)3)	【概要の見直し】 既往研究の結果を基に、卒論概要の見直しを行う。	実習	砂子澤
9	4)5)	【基本骨子作成1】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	砂子澤
10	4)5)	【基本骨子作成2】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	砂子澤
11	4)5)	【予備実験1】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	砂子澤
12	4)5)	【予備実験2】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	砂子澤
13	4)5)	【実験方法見直し】 実験方法の見直しと、具体的なスケジュール立案を行う。	実習	砂子澤
14	4)5)	【卒論実験1】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
15	4)5)	【卒論実験2】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤

16	4)5)	【卒論実験3】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
17	4)5)	【卒論実験4】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
18	4)5)	【卒論実験5】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
19	4)5)	【卒論実験6】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
20	4)5)	【卒論実験7】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
21	4)5)	【卒論実験8】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
22	4)5)	【卒論実験9】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
23	4)5)	【卒論実験10】 論文作成のための実験を行う。	実習	砂子澤
24	4)5)	【実験結果整理および検討1】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	砂子澤
25	4)5)	【実験結果整理および検討2】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	砂子澤
26	4)5)	【追実験および論文作成】 不足データを補うとともに、論文の目次作成、使用するグラフの抽出を行う。	実習	砂子澤
27	6)	【論文作成】 論文の本文を作成する。	実習	砂子澤
28	6)	【論文の見直し】 担当教員の意見も十分考慮し、論文内容を検討する。	実習	砂子澤
29	7)	【発表準備】 卒業論文発表用のパワーポイントファイルを作成、完成させる。	実習	砂子澤
30	7)	【卒論発表会】 発表会にて卒論の内容を公開する。	実習	砂子澤

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: 卒業研究

担当者: 竹澤真吾(保・臨)、戸畑裕志(保・臨)、近藤照義(保・臨)、右田平八(保・臨)、砂子澤裕(保・臨)、丹下佳洋(保・臨)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義

授業概要: 臨床工学領域のテーマを研究し、卒業研究論文を作成する。論文の書き方について担当教員からの指導のもと作成する。また、プレゼンテーションにより、自分の研究テーマの進捗状況を報告できる。一つのテーマについて参考文献等を適宜使用し、論文として完成できる能力を身に付けることができる。

到達目標: (SBOs) 1) 既往研究を参考文献をもとに調査することができる。
2) 研究論文の構成について(【緒言】、【方法】、【結果】、【考察】、【結語】)それぞれについて記述することができる。
3) 卒業研究に必要な器具を適切に使用することができる。
4) 進捗状況についてプレゼンテーションできる。
5) 他の研究テーマについて積極的に質問することができる。
6) 論文作成できる。

評価方法: 臨床工学科全教員による「卒業研究発表会」にてプレゼンテーションに合格し、論文提出により評価を行う。

準備学習・履修上の注意等: 既往研究について自ら調査すること。卒業研究計画書を作成し、研究を行う。
1コマ当たり4時間以上予習すること。

オフィスアワー: 9:00～18:00(8号棟2F準備室、1号棟3F研究室)

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
		1), 2) 研究テーマについて先行研究を調査する。	SGD	全員
1		1), 2) 研究テーマについて先行研究を文献ソフトを使用し調査する。	SGD	全員
2		1), 2) 研究テーマについて研究計画書を作成する。	SGD	全員
3		1), 2) 研究を実施する。	SGD	全員
4		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
5		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
6		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
7		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
8		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
9		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
10		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
11		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
12		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
13		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
14		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
15		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
16		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
17		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
18		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
19		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
20		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
21		3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員

22	3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
23	3), 4), 5) 研究を実施する。進捗状況について報告する。	SGD	全員
24	4), 6) 卒業研究プレゼンテーションを作成する。	SGD	全員
25	4), 6) 卒業研究プレゼンテーションを作成する。	SGD	全員
26	4), 6) 卒業研究プレゼンテーションを作成する。	SGD	全員
27	4), 6) 卒業論文を作成する。	SGD	全員
28	4), 6) 卒業研究発表会のプレゼンテーションを作成する。	プレゼン テーション	全員
29			
30			

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。

科目名: **卒業研究**

担当者: 竹澤 真吾(保・工)、戸畑 裕志(保・工)、近藤 照義(保・工)、真茅孝志(保・工)、右田 平八(保・工)、砂子澤 裕(保・工)、丹下 佳洋(保・工)

配当学科: 臨床工学科(4年)

必修・選択: 必修 単位数: 2 時間数: 60 開講期: 前期 授業形態: 講義・実習

授業概要: 卒業研究では、配属された教員の指導の元で専門的、かつ高度な研究に従事し、その研究手法と意義について学習する。研究内容は最先端であることが多く、学会での発表や学会誌への論文投稿なども、場合によっては行う。自らが考え、学士としてふさわしい論文を作成すべく努力することが望まれる。

到達目標: (SBOs) 1) 研究デザインを構築することができる。
2) 研究計画書を作成することができる。
3) 関連する研究テーマに関し、文献学的調査することができる。
4) 研究基本骨子を作成し、予備研究および本研究に取り組むことができる。
5) 研究結果を分析し、自己で考察することができる。
6) 研究結果を卒業論文として整理することができる。
7) 研究結果に対し、成果発表としてプレゼンテーションできる。

評価方法: 卒業論文発表会での全教員による評価をもって判定する。

準備学習・履修上の注意等: 希望担当教員を選ぶことが可能だが、希望者の人数によっては第一希望とはならないことがある。また、研究進捗状況が思わしくない場合には、担当教員と協議の上論文発表を見合わせることもある。

オフィスアワー: 担当教員とは随時可能。時間に縛られることなく自由に研究活動、教員との意見交換をすべき。

授業計画

回数	SBOsNo.	授業内容	授業方法	担当
1	1)2)3)	【オリエンテーション】 担当教員との意見交換を行い、何をテーマとしたいのか明確にする。	講義	全員
2	1)2)3)	【テーマ発表】 各自の卒論テーマを決定する。	実習	全員
3	1)2)3)	【卒業論文概要作成1】 卒業論文の概要を作成する。	実習	全員
4	1)2)3)	【卒業論文概要作成2】 卒業論文の概要を作成する。	実習	全員
5	1)2)3)	【既往研究調査1】 類似する既往研究を調査する。	実習	全員
6	1)2)3)	【既往研究調査2】 類似する既往研究を調査する。	実習	全員
7	1)2)3)	【既往研究調査3】 類似する既往研究を調査する。	実習	全員
8	1)2)3)	【概要の見直し】 既往研究の結果を基に、卒論概要の見直しを行う。	実習	全員
9	4)5)	【基本骨子作成1】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	全員
10	4)5)	【基本骨子作成2】 実験方法の基本骨子を作成する。	実習	全員
11	4)5)	【予備実験1】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	全員
12	4)5)	【予備実験2】 予備実験を行い、実験方法のあり方が妥当かどうかを判断する。	実習	全員
13	4)5)	【実験方法見直し】 実験方法の見直しと、具体的なスケジュール立案を行う。	実習	全員
14	4)5)	【卒論実験1】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
15	4)5)	【卒論実験2】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員

16	4)5)	【卒論実験3】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
17	4)5)	【卒論実験4】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
18	4)5)	【卒論実験5】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
19	4)5)	【卒論実験6】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
20	4)5)	【卒論実験7】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
21	4)5)	【卒論実験8】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
22	4)5)	【卒論実験9】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
23	4)5)	【卒論実験10】 論文作成のための実験を行う。	実習	全員
24	4)5)	【実験結果整理および検討1】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	全員
25	4)5)	【実験結果整理および検討2】 実験結果の整理と検討を行う。	実習	全員
26	4)5)	【追実験および論文作成】 不足データを補うとともに、論文の目次作成、使用するグラフの抽出を行う。	実習	全員
27	6)	【論文作成】 論文の本文を作成する。	実習	全員
28	6)	【論文の見直し】 担当教員の意見も十分考慮し、論文内容を検討する。	実習	全員
29	7)	【発表準備】 卒業論文発表用のパワーポイントファイルを作成、完成させる。	実習	全員
30	7)	【卒論発表会】 発表会にて卒論の内容を公開する。	実習	全員

教科書： 使用しない。

参考書： 使用しない。
